

---

逗子市高齢者保健福祉計画(平成30年度～平成32年度)  
策定に向けたアンケート調査結果

---

報 告 書



平成29年3月  
逗子市

# 目次

第1編 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査対象及び抽出方法、抽出数、回収数	1
3 調査票の配布・回収方法及び調査の実施時期	2
第2編 調査結果からの総括と課題ポイント	3
1 日常生活の状況について	3
2 介護者の状況について	3
3 在宅生活のための支援	4
4 認知症対策の充実	6
5 事業者と連携したサービス提供基盤の確保	7
6 医療と介護の連携の推進	8
7 ケアマネジャーの課題	9
第3編 要介護認定者調査結果	11
回答を行った方（単一回答形式）	11
回答を行った方の本人からみた関係（単一回答形式）	11
I あなたとあなたのご家族の生活状況	12
問1 性別（単一回答形式）	12
問2 年齢（単一回答形式）	12
問3-1 家族構成（単一回答形式）	13
問3-2 親族の住まい（単一回答形式）	15
問3-3 世帯人数（数量回答形式）	15
問3-3 一緒に暮らしている方（複数回答形式）	16
問3-4 普段、一緒に過ごしている方（複数回答形式）	16
問4-1 要介護度（単一回答形式）	17
問4-2 介護・介助が必要になった主な原因（複数回答形式）	17
問4-3 主にどなたから介護・介助を受けているか（単一回答形式）	19
問4-4 主な介護者とは同居しているか（単一回答形式）	19
問4-5 あなたを主に介護・介助してくれている方の年齢（単一回答形式）	20
問4-6 主な介護者の実状（複数回答形式）	20
問5-1 悩みや心配事の相談に乗ってくれる人の有無（単一回答形式）	21
問5-4 ①悩みや心配事の相談に乗ってくれる人（複数回答形式）	21
問5-2 何かあった時に家事を手伝ってくれる人の有無（単一回答形式）	23
問5-4 ②何かあった時に家事を手伝ってくれる人（複数回答形式）	23
問5-3 災害や緊急時に支援をしてくれる人の有無（単一回答形式）	24
問5-4 ③災害や緊急時に支援をしてくれる人（複数回答形式）	24
問6 制度の内容やサービスについて、相談しやすいところ（複数回答形式）	25
問7 現在心配なこと・困っていること（複数回答形式）	27
問8-1 現在、収入のある仕事をしているか（単一回答形式）	27
問8-2 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じるか（単一回答形式）	28
問9-1 逗子市での居住期間（通算）（単一回答形式）	28
問9-2 居住地域（単一回答形式）	29
問9-3 住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらか（単一回答形式）	29

問 9-4 住まいの住居の種類 (単一回答形式)	30
問 9-5 住まい(主に生活する部屋)は 2 階以上にあるか (単一回答形式)	30
問 9-5-1 住まいにおけるエレベーター・昇降機の設置の有無 (単一回答形式)	31
<b>II 健康状態</b>	32
問 1 普段、自分で健康だと思うか (単一回答形式)	32
問 2 現在治療中、または後遺症のある病気 (複数回答形式)	32
問 3 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいるか (単一回答形式)	34
問 4 入院・通院状況 (複数回答形式)	34
問 4-1 通院の方法 (複数回答形式)	35
問 4-2 通院先 (単一回答形式)	37
問 4-3 通院の頻度 (単一回答形式)	37
問 4-4 通院時の介助の必要性の有無 (単一回答形式)	37
問 5 健康状態について思い当たるもの (複数回答形式)	38
問 6 転倒について思い当たるもの (単一回答形式)	38
問 7 6 か月間で 2 ~ 3 kg 以上の体重減少の有無 (単一回答形式)	39
問 8 ①身長 (数量回答形式)	39
問 8 ②体重 (数量回答形式)	40
問 8 BMI (数量回答形式)	40
問 9 口腔機能について思い当たるもの (複数回答形式)	41
問 10 1 日の食事の回数 (単一回答形式)	41
問 11 食事を抜くことの有無 (単一回答形式)	42
問 12 どなたかと食事をともにする機会があるか (単一回答形式)	42
問 12-1 食事をともにする人は誰か (複数回答形式)	44
問 13 もの忘れについて思い当たるもの (複数回答形式)	45
<b>III 日常生活</b>	46
問 1 日常生活についてできるもの (複数回答形式)	46
問 2 生活しているうえで、とくに困っていること (複数回答形式)	46
<b>IV 外出・社会参加</b>	48
問 1 運動・外出について思い当たるもの (複数回答形式)	48
問 1-1 外出を控えている理由 (複数回答形式)	48
問 2 ①買い物で外出する頻度 (単一回答形式)	49
問 2 ②散歩で外出する頻度 (単一回答形式)	49
問 3 外出する際の移動手段 (複数回答形式)	50
問 4 人との交流等について思い当たるもの (複数回答形式)	52
問 5 社会参加・地域活動等への参加状況 (複数回答形式)	53
<b>V 介護保険</b>	54
問 1 今後充実して欲しいもの (複数回答形式)	54
問 2-1 これからの生活の意向 (複数回答形式)	54
問 2-2 現在の生活の場所 (単一回答形式)	55
問 3 介護保険のサービスの利用の有無 (単一回答形式)	55
問 4-1 介護サービスを利用していない理由 (複数回答形式)	56
問 4-2 今後、利用を考えている介護保険サービス (単一回答形式)	56
問 4-2-1 在宅で利用できるサービスの中で考えているもの (複数回答形式)	57
問 4-2-2 入所・入居を考えている施設等 (複数回答形式)	58

問 5-1-1	自分のケアプランの内容を知っているか（単一回答形式）	58
問 5-1-1-1	ケアプランについて不満な点（複数回答形式）	59
問 5-1-2	ケアマネジャーや地域包括支援センター職員について不満な点（複数回答形式）	60
問 5-2-1	サービスで不満なもの（複数回答形式）	61
問 5-2-2	①家庭を訪問するサービス（重視したいこと）（複数回答形式）	62
問 5-2-2	②施設へ通所・入所するサービス（重視したいこと）（複数回答形式）	62
問 5-2-2	③（介護予防）福祉用具貸与（重視したいこと）（複数回答形式）	63
問 5-2-2	④移送サービス（重視したいこと）（複数回答形式）	63
問 5-3-1	認定された限度額のどの程度までサービスを利用しているか（単一回答形式）	64
問 5-3-2	〈限度額を超えて利用〉限度額を超えて利用している理由（単一回答形式）	64
問 5-3-3	〈限度額を超えて利用〉主に利用しているサービス（複数回答形式）	65
問 5-3-4	〈限度額までは利用していない〉利用された額は限度額の何割ぐらいか（単一回答形式）	66
問 5-3-5	〈限度額までは利用していない〉限度額まで利用していない理由（単一回答形式）	66
問 5-4-1	介護保険 3 施設等への入所・入居希望（単一回答形式）	67
問 5-4-2	申し込んでいる施設〈介護保険 3 施設〉（単一回答形式）	67
問 5-4-3	入居を希望されている施設〈その他の生活の場〉（単一回答形式）	67
問 5-4-4	入所を希望する理由（複数回答形式）	68
問 5-4-5	入所・入居を希望する時期（複数回答形式）	68
問 6-1-1	《施設入所者》入所するまでの待機期間（複数回答形式）	69
問 6-1-2	《施設入所者》現在の施設への入所以前、主に過ごしていた場所（単一回答形式）	69
問 6-2	《施設入所者》現在入所している施設について不満な点（複数回答形式）	70
問 6-3	《施設入所者》今後、暮らしていきたい場所（複数回答形式）	70
問 6-4	《施設入所者》自分のケアプランを知っているか（単一回答形式）	71
問 6-4-1	《施設入所者》自分のケアプランについてどう思うか（単一回答形式）	71
問 7-1	《要支援 1・2 の認定者》現在利用しているサービス（複数回答形式）	72
問 7-2	《要支援 1・2 の認定者》なくなった時に支障を来たサービス（複数回答形式）	73
問 8-1	《介護保険サービス利用者》介護保険サービスの利用料の負担者（単一回答形式）	74
問 8-2	《介護保険サービス利用者》介護保険サービスの支払額を知っているか（単一回答形式）	74
問 8-3	《介護保険サービス利用者》介護保険サービス利用料の支払額（単一回答形式）	75
問 8-4	《介護保険サービス利用者》利用料の支払額の負担感（単一回答形式）	75
VI	高齢者福祉全般	76
問 1	介護給付以外のサービスの利用状況（単一回答形式）	76
問 1	介護給付以外のサービスの利用意向（単一回答形式）	77
第 4 編	介護者調査結果	78
I	介護者の状況	78
問 1-1	介護者の人数（単一回答形式）	78
問 1-2	要介護者と同居している人数（単一回答形式）	78
問 2-1	主な介護者と要介護者の関係（単一回答形式）	80
問 2-2	主な介護者の性別（単一回答形式）	80
問 2-3	主な介護者の年齢（単一回答形式）	81
問 2-4	主な介護者は要介護者と同居しているか（単一回答形式）	83
問 2-4-1	主な介護者が要介護者のところに着くまでの時間（数量回答形式）	83
問 2-4-1	主な介護者の住まい（単一回答形式）	84
問 3	介護を始めてからの期間（単一回答形式）	84

問 4 今困っていること（複数回答形式）	85
問 5 介護の負担感を感じたことの有無（単一回答形式）	86
問 5-1-1 介護に負担を感じ、誰か（どこか）に相談したか（単一回答形式）	86
問 5-1-2 誰（どこ）へ相談したか（複数回答形式）	87
問 5-1-3 相談したことがない理由（複数回答形式）	87
<b>II 要介護者の状況</b>	88
問 1-1 現在、要介護者が生活している場所（単一回答形式）	88
問 1-2 要介護者の要介護度（単一回答形式）	88
問 1-3 要介護者の心身の状況（複数回答形式）	89
問 1-4 認知症の対応について困っていること（複数回答形式）	90
問 2 介護保険サービスの利用（単一回答形式）	91
問 3 介護保険サービスを利用していない理由（複数回答形式）	91
問 4 要介護者は、現在、定期的に医師の往診を受けているか（単一回答形式）	92
<b>III 在宅サービスの利用</b>	93
問 1-1 要介護者のケアプランを知っているか（単一回答形式）	93
問 1-1-1 現在の要介護者のケアプランについて不満な点（複数回答形式）	93
問 2-1 要介護者のケアマネジャーとよく連絡している人（単一回答形式）	94
問 2-2 要介護者の現在の担当ケアマネジャーについて不満に感じる点（複数回答形式）	94
問 3-1 現在、利用しているサービス（複数回答形式）	95
問 3-2 ①もっと利用したいサービス（複数回答形式）	97
問 3-2 ②利用しにくいサービス（複数回答形式）	98
問 3-3 希望するサービス(問 3-1 以外)（複数回答形式）	99
<b>IV 要介護者が施設に入所している状況</b>	100
問 1-1 要介護者のケアプランを知っているか（単一回答形式）	100
問 1-2 施設で行う要介護認定調査に立ち会っているか（単一回答形式）	100
問 1-3 現在、要介護者が入所・入院している施設について不満な点（複数回答形式）	101
問 2 要介護者が暮らしてほしいと思う場所（複数回答形式）	101
<b>V 介護者支援サービス</b>	102
問 1 介護者支援サービスの利用状況（単一回答形式）	102
問 1 介護者支援サービスの利用意向（単一回答形式）	103
<b>VI 高齢者福祉全般</b>	104
問 1 「介護保険サービス以外」で利用している支援サービス（複数回答形式）	104
問 2 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（複数回答形式）	105
問 3 介護保険制度等の内容やサービスについて相談しやすい場所（複数回答形式）	106
<b>第 5 編 サービス提供事業所調査</b>	107
<b>I 事業所の概要、サービスの提供状況、運営状況</b>	107
問 1-1 法人の種類（複数回答形式）	107
問 2-1 サービス事業の今後の展開（複数回答形式）	107
問 2-1 新規サービス予定（単一回答形式）	108
問 3 ①現在の実施状況〈保健福祉関連の物品やサービス〉（複数回答形式）	109
問 3 ②逗子市での実施予定〈保健福祉関連の物品やサービス〉（複数回答形式）	110
問 4 サービスは利用者の希望どおりに提供されていると思うか（単一回答形式）	111
問 5 事業を展開するに当たり苦慮していること（複数回答形式）	112
問 6 介護保険制度や業務の情報取得に有効だと思うもの（複数回答形式）	112

問 7-① 関係者間の連携・連絡の方法（複数回答形式）	113
問 7-② 関係者間の連携・連絡の現状の評価（単一回答形式）	116
問 7-② 関係者間の連携・連絡の現状の評価 ～加重平均値による分析～	118
問 8 要介護者が緊急事態に直面したときのマニュアルの作成状況（複数回答形式）	119
問 9-1 利用者・契約者等の苦情や相談で多いもの（複数回答形式）	119
問 9-2 苦情や相談の解決のために特別な機関を設置しているか（単一回答形式）	119
問 9-2-1 特別な機関はどのようなものか（単一回答形式）	121
問 10-1 教育研修で行っていること（複数回答形式）	121
問 10-1 「外部の研修会・講習会への派遣」の取組頻度（単一回答形式）	122
問 10-1 「外部から講師を招き事業所内で研修会・講習会を開催」の取組頻度（単一回答形式）	122
問 10-1 「事業所内スタッフによる研修会・講習会の開催」の取組頻度（単一回答形式）	122
問 10-1-1 研修会・講習会のテーマ（複数回答形式）	123
<b>II 医療・介護連携</b>	124
問 1 退院支援・調整について感じていること（単一回答形式）	124
問 1 退院支援・調整について感じていること ～加重平均値による分析～	126
問 2-1 日常の療養支援において連携を強化したい関係者（複数回答形式）	127
問 2-2 多職種連携について感じていること（単一回答形式）	128
問 2-2 多職種連携について感じていること ～加重平均値による分析～	129
問 2-3 「問 2-2 の①」のシステムや仕組みの導入の有無（単一回答形式）	130
問 3-1 急変時の対応で感じていること（単一回答形式）	131
問 3-1 急変時の対応で感じていること ～加重平均値による分析～	132
問 3-2 利用者の容態が急変し病院等での受診が必要となるケースの件数（単一回答形式）	133
問 3-3 日中に容態が急変した場合に受診する場所（複数回答形式）	133
問 3-4 夜間休日に容態が急変した場合に受診する場所（複数回答形式）	134
問 3-5 容態急変時に受診先で苦慮したことがあるか（単一回答形式）	134
問 3-5-1 容態急変時に具体的に苦慮したこと（複数回答形式）	134
問 3-6 容態急変時のマニュアルが定められているか（単一回答形式）	135
問 3-7 利用者の容態急変時における課題や要望（自由回答形式）	135
問 4-1 在宅での看取りに関わった経験（単一回答形式）	136
問 4-2 在宅での看取りについて感じていること（単一回答形式）	137
問 4-2 在宅での看取りについて感じていること ～加重平均値による分析～	138
<b>III 市の介護保険事業との連携</b>	139
問 1 逗子市で質の良いサービスを提供するため、市に期待すること（複数回答形式）	139
問 2-1 移送サービスの現在の提供状況（単一回答形式）	139
問 2-2 移送サービスの今後の（も）提供予定（単一回答形式）	140
問 2-2-1 移送サービスの提供予定時期（単一回答形式）	140
問 3 介護保険制度を円滑に運営するため、市として必要な取組（複数回答形式）	141
<b>第 6 編 介護支援専門員（ケアマネジャー）調査</b>	142
<b>I あなたご自身のこと</b>	142
問 1 性別（単一回答形式）	142
問 2 年齢（数量回答形式）	142
問 3 ケアマネジャーの仕事を始めてからの年数（単一回答形式）	143
問 4 ケアマネジャー以外の資格（複数回答形式）	144
問 5 所属の施設や機関の種別（複数回答形式）	144

問 6 所属の施設・機関の事業所形態（複数回答形式）	145
問 7 事業所の形態（単一回答形式）	145
問 7-1 併設サービスの種類（複数回答形式）	146
<b>II 勤務形態など</b>	147
問 1 勤務形態（単一回答形式）	147
問 2 ケアマネジャーの仕事は専任か（単一回答形式）	147
問 2-1 勤務時間に占めるケアマネジャー業務の割合（数量回答形式）	148
問 2-2 兼務している業務の種類（複数回答形式）	148
問 3 1ヶ月の実労働時間（単一回答形式）	149
問 4 あなたはキャリアアップを考えているか（単一回答形式）	149
<b>III ケアプラン作成・給付管理業務など</b>	150
問 1 あなたが現在受け持っている依頼主の居住地（複数回答形式）	150
問 1-2 依頼主の最も多い居住地（単一回答形式）	150
問 2-1-①ケアプランの作成件数(居宅)（数量回答形式）	151
問 2-1-②給付管理件数(居宅)（数量回答形式）	152
問 2-1-③介護予防支援業務受託件数（数量回答形式）	153
問 2-2 ケアマネジャーが担当するのが適切な利用者数（単数回答形式）	154
問 2-3-① 要介護認定申請代行件数（数量回答形式）	155
問 2-3-② 住宅改修理由書作成件数（数量回答形式）	156
問 2-3-③ 福祉用具購入費支給申請代行件数（数量回答形式）	157
問 2-3-④ 要介護認定調査の受託件数（数量回答形式）	158
問 2-4 給付管理業務の実施方法（単一回答形式）	159
問 3-1-1 ケアプラン作成に際し、重視していること（複数回答形式）	159
問 3-1-2 「問 3-1-1」の中でも最も重視していること（単一回答形式）	160
問 3-2 ケアプラン作成で重視していること（単一回答形式）	161
問 3-3 ケアプラン作成時に事務所の経営的観点からの条件提示等があるか（単一回答形式）	162
問 3-4 ケアプラン作成に当たり、困ること（複数回答形式）	162
問 3-5 ケアプラン作成で困ったときの相談先（複数回答形式）	163
問 4 利用者が主体的にサービスを選択・利用できるよう、心がけていること（複数回答形式）	164
問 5-1 サービス担当者会議で主治医と連携しているケースの頻度（単一回答形式）	165
問 5-2 主治医と連携していない理由（単一回答形式）	165
問 5-3 サービス担当者会議でとくに問題となる点（複数回答形式）	166
問 6 モニタリングの実施について問題となる点（複数回答形式）	167
問 7-1 サービス担当者（事業者）間の連絡の主な方法（複数回答形式）	168
問 7-2 利用者の体調変化など緊急時への対策（複数回答形式）	169
問 7-3 地域包括支援センターとの連絡体制の望ましいあり方など（自由回答形式）	170
<b>IV 逗子市の提供サービス</b>	171
問 1-1 不足していると思われるサービス（複数回答形式）	171
問 1-2 質が悪いと思われるサービス（複数回答形式）	172
問 1-3 今後の需要の増加が見込まれるサービス（複数回答形式）	173
問 1-4 福祉サービスで今後も必要なサービス（複数回答形式）	174
問 2 逗子市におけるサービス利用で気づいている点・問題と感ずる点（自由回答形式）	174
<b>V 医療・介護連携</b>	176
問 1 退院支援・調整について感じていること（単一回答形式）	176

問 1 退院支援・調整について感じていること ～加重平均値による分析～	178
問 2-1 日常の療養支援において連携を強化したい関係者（複数回答形式）	179
問 2-2 多職種連携について感じていること（単一回答形式）	180
問 2-2 多職種連携について感じていること ～加重平均値による分析～	181
問 2-3 「問 2-2 の①」のシステムや仕組みの導入の有無（単一回答形式）	182
問 3-1 急変時の対応で感じていること（単一回答形式）	183
問 3-1 急変時の対応で感じていること ～加重平均値による分析～	184
問 3-2 利用者の容態が急変し病院等での受診が必要となるケースの件数（単一回答形式）	185
問 3-3 日中に容態が急変した場合に受診する場所（複数回答形式）	185
問 3-4 夜間休日に容態が急変した場合に受診する場所（複数回答形式）	186
問 3-5 容態急変時に受診先で苦慮したことがあるか（単一回答形式）	186
問 3-5-1 容態急変時に具体的に苦慮したこと（複数回答形式）	186
問 3-6 容態急変時のマニュアルが定められているか（単一回答形式）	187
問 3-7 利用者の容態急変時における課題や要望（自由回答形式）	187
問 4-1 在宅での看取りに関わった経験（単一回答形式）	188
問 4-2 在宅での看取りについて感じていること（単一回答形式）	189
問 4-2 在宅での看取りについて感じていること ～加重平均値による分析～	190
<b>VI 権利擁護、市の制度運営等</b>	191
問 1 ①成年後見制度の認知度（単一回答形式）	191
問 1 ②成年後見制度について利用者やその家族から相談はあるか（単一回答形式）	191
問 1 ③成年後見制度の利用をすすめたことがあるか（単一回答形式）	191
問 2-1 高齢者虐待の情報を把握しているか（単一回答形式）	192
問 2-1-1 高齢者虐待で担当している案件で多いケース（複数回答形式）	192
問 2-2 虐待に至る要因は何であると思うか（複数回答形式）	193
問 3 望ましいケアマネジメントのために必要な事項（複数回答形式）	193
問 4 質の良いサービスを提供するため、市に期待すること（複数回答形式）	194
問 5 介護保険制度を円滑に運営していくために、市として必要な取組（複数回答形式）	195
<b>第 7 編 自由回答意見</b>	196
I 要介護認定者調査 自由回答結果	196
II 介護者調査 自由回答結果	199
III サービス提供事業所調査 自由回答結果	203
IV 介護支援専門員（ケアマネジャー）調査 自由回答結果	205
<b>第 8 編 日常生活圏域ニーズ調査(概要版)</b>	207
1 調査の概要	207
(1) 調査対象	207
(2) 調査方法	207
(3) 調査期間	207
(4) 調査項目	207
(5) 回収結果	207
2 回答者の属性	208
(1) 年齢構成	208
(2) 認定・該当状況	208
(3) 世帯構成	208
(4) 圏域	208



3	生活機能	209
	(1)基本チェックリスト主要評価項目	209
	(2)その他の評価項目	211
4	健康・疾病	212
	(1)疾病	212
	(2)運動習慣	213
5	保健福祉サービス	213
	(1)利用したいサービス	213
	(2)参加したい事業	214
	(3)市が主催している講座等への参加意向	214
<b>第9編 在宅介護実態調査</b>		215
1	調査目的	215
2	調査対象、回収数	215
	(1)調査対象者	215
	(2)調査事例数	215
	(3)調査期間	215
	(4)調査方法	215
3	調査結果	215
<b>資料1 調査項目対照表</b>		216
<b>資料2 調査票</b>		221

### 報告書の見方

- ・比率はすべて百分率で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しています。このため、百分率の合計が 100.0%にならないことがあります。
- ・基数となる実数はNとして掲載し、各グラフの比率はNを母数とした割合を示しています。
- ・本文中の「単一回答形式」、「複数回答形式」、「自由回答形式」は以下の略称となります。
  - 単一回答形式: 選択肢のなかから1つを選択
  - 複数回答形式: 選択肢のなかから複数を選択
  - 数量回答形式: 数値を回答欄に記述
  - 自由回答形式: 文字や数値を回答欄に記述
- ・図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていないものです。

## 第1編 調査の概要

## 1 調査目的

逗子市では、平成30年度以降の高齢者保健福祉計画を策定するにあたり、基礎調査の一環として、サービスを利用する側（要支援・要介護認定者、介護者）と提供する側（サービス提供事業所、介護支援専門員（ケアマネジャー））に対するアンケート調査を実施しました。

市民が安心して心豊かに過ごしていくためには、地域の中で、自立的に生活や健康づくりを実践していけるような環境づくり、必要に応じて相談やサービス利用が展開できるような環境づくりが望まれます。そのため、介護保険制度では、介護・医療・住まい・生活支援・介護予防が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築が求められています。また、平成27年度の介護保険法改正では、新しい介護予防・日常生活支援総合事業の実施が位置づけられ、「介護予防事業の見直し」「予防給付の訪問・通所介護を地域支援事業（総合事業）に移行」が求められており、市町村は平成29年4月までに実施（逗子市は平成29年4月から実施）することになっています。

そこで、平成26年3月に策定した現行の『逗子市高齢者保健福祉計画（平成27年度～平成29年度）』の見直しにあたり、高齢者等の実状や各種事業の現状と課題を把握し、制度改正を反映した次期プランを策定するための基礎資料として、アンケート調査を実施しました。

本報告書は、このような意図に基づき行われたアンケート調査の結果を報告するものです。

## 2 調査対象及び抽出方法、抽出数、回収数

	調査名	概要	抽出数	回収数 (回収率)
1	要介護認定者等（調査名は「要介護認定者」と総称）	平成28年11月1日現在で、要支援・要介護認定を受けている方から無作為に抽出	600	362 (60.3%)
2	介護者	要介護認定者等個別調査票を送付した方の介護者	600	273 (45.5%)
3	サービス提供事業所	<u>【逗子市】</u> すべての介護保険事業所（但し、居宅療養管理指導のみ提供している事業所は除く） <u>【鎌倉市、横須賀市、葉山町、金沢区】</u> 給付実績のある事業所	261事業所	155 (59.4%)
4	介護支援専門員（ケアマネジャー）	<u>【逗子市、鎌倉市、横須賀市、葉山町、金沢区】</u> 居宅：逗子市介護保険被保険者の担当をしているケアマネジャー 施設：逗子市介護保険被保険者が入所している施設のケアマネジャー	居宅：62事業所 148名 施設：49事業所 126名 計274名	167 (61.0%)

参考 平成25年度調査の回収率は「1 要介護認定者等：58.7%」、「2 介護者：49.3%」、「3 サービス提供事業所：54.0%」、「4 介護支援専門員（ケアマネジャー）：51.7%」となっています。

## 参考：配布数の妥当性について

■「標本誤差」は次の数式によって算出されます。

$$\text{標本誤差} = 1.96 \sqrt{\frac{n-N}{n-1} \times \frac{P(1-P)}{N}}$$

n = 母集団数  
N = 比率算出の基数 (サンプル数)  
P = 回答比率

■標本誤差は回答率によって異なります。回答率が50%の場合、標本誤差が最も大きくなります。国や地方自治体を実施する多くの調査では、この50%の場合に標本誤差が5%以内に収まるように標本数を計算しています。

■要介護認定者(母集団)は、3,828名(平成28年7月現在の実数)を基準としています。600名を対象とする場合、回収見込は、前回同様の回答率(58.7%)として、352名になると見込みました。要介護認定者(母集団)に対して、352名の回答があった場合、それぞれの回答率ごとの誤差の範囲は以下の早見表のようになります。本調査でも、回答率が50%の場合に標本誤差が5%以内に収まるようにする必要がありますが、以下の早見表が示すように、誤差が5.0%となり、一般的な基準を満たすこととなります。このような根拠により、本調査の配布数を決定しました。なお、この表の見方について、さらに例示すると、「ある設問の選択肢の回答比率が95%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は±2.2%以内(97.2%~92.8%)である」と捉えることができることを示しています。

標本誤差早見表

回答率(%)	5.0%	10.0%	15.0%	20.0%	25.0%	30.0%	35.0%	40.0%	45.0%	50.0%	n数	母集団
	95.0%	90.0%	85.0%	80.0%	75.0%	70.0%	65.0%	60.0%	55.0%	50.0%		
標本誤算の範囲	±2.2	±3.0	±3.6	±4.0	±4.3	±4.6	±4.7	±4.9	±5.0	±5.0	352	3,828

### 3 調査票の配布・回収方法及び調査の実施時期

- ①調査票の配布・回収方法：郵送による配布・回収(督促1回)
- ②調査実施時期：平成28年11月25日(金)~12月20日(火)

## 第2編 調査結果からの総括と課題ポイント

### 1 日常生活の状況について

#### 高齢者世帯、高齢者ひとり暮らし世帯への支援体制の充実

○家族構成は、「その他の世帯（同居世帯）」が最多で32.0%（116件）となっていますが、「ひとり暮らし」が27.3%（99件）、「配偶者のみ（あなたと二人世帯）」が25.1%（91件）となっています。「年齢別」にみると、「ひとり暮らし」が『70～74歳』で22.2%（4件）、『75～79歳』で21.8%（12件）、『80～84歳』で28.6%（22件）、『85歳以上』で31.6%（59件）と年齢が上がるにつれて高まる傾向にあります。【認定者調査結果、I問3-1 家族構成】

◎ひとり暮らし高齢者の割合が高齢になるほど高くなる主な理由としては配偶者との死別が想定されます。長期的にみると、高齢化及び核家族化の進行に伴い、ひとり暮らし高齢者が年々増加していくと考えられ、介護保険サービスや見守りを必要とする家庭も増えることが予想されます。

#### 外出する際の移動手段の確保

○【外出する際の移動手段】は、「自動車（人に乗せてもらう）」が最多で37.8%（137件）、次いで、「徒歩」が36.5%（132件）、「タクシー」が33.1%（120件）となっています。一方、公共交通機関の利用状況は、「路線バス」が21.8%（79件）、「電車」が15.7%（57件）となっています。【要介護認定者調査 IV 問3 外出する際の移動手段】

◎身体的状況や公共交通の不便な地域に住む方など、徒歩での移動や公共交通機関での移動が困難で、「自動車（人に乗せてもらう）」や「タクシー」での移動に頼る方が多く見られます。外出機会が減少することで閉じこもりがちとなり、そこから認知症や要介護状態が悪化するリスクが高くなることが考えられます。便利に外出することができる支援が求められます。

### 2 介護者の状況について

#### 周囲の支援やサービスが受けられる環境の整備

○介護者の人数は、「1人」が最多で56.0%（153件）、次いで、「2人」が28.2%（77件）、「3人以上」が8.4%（23件）となっています。【介護者調査、I問1-1 介護者の人数】

◎今後も、介護者が介護を一人で抱え込むことがないよう、周囲の支援やサービスが受けられる環境を整備することが必要です。

#### 老老介護や介護離職の課題

○主な介護者の年齢は、「50～59歳」が最多で17.6%（48件）、次いで、「65～69歳」が16.1%（44件）、「80～84歳」が13.6%（37件）となっています。また、「主な介護者と要介護者の関係別」にみると、『配偶者（夫・妻）』では「80～84歳」が33.7%（33件）、『息子』では「65～69歳」が30.8%（12件）、『娘』では「50～59歳」が29.4%（25件）、『子の配偶者』

## 第2編 調査結果からの総括と課題ポイント

では「50～59歳」が45.8%（11件）と最多となっています。【介護者調査、I問2-3 主な介護者の年齢】

- ◎配偶者が介護者の場合は介護者も高齢化し、息子、娘、子の配偶者の場合は、「50～59歳」「60～64歳」「65～69歳」の年齢層が多くなっています。高齢化に伴い高齢者が高齢者を介護する老老介護の現状が顕在化するとともに、介護者が息子、娘、子の配偶者の場合は、介護離職の問題に直面している可能性が示唆されます。在宅で介護を維持していくためには、介護者の負担の軽減が必要であり、適切な介護サービスの利用の促進や介護者同士の交流の場による介護者のケアも重要になってきます。

### 介護者の負担感の軽減

- 【介護の負担感を感じたことの有無】は、「負担を感じたことがある」が68.5%（187件）、「負担を感じたことがない」が21.6%（59件）となっています。【介護者調査、I問5 介護の負担感を感じたことの有無】
- 【介護に負担を感じ、誰か（どこか）に相談したか】は、「相談をしたことがある」が68.4%（128件）、「相談をしたことがない」が29.9%（56件）となっています。【I問5-1-1 介護に負担を感じ、誰か（どこか）に相談したか】
- 【誰（どこ）へ相談したか】は、「ケアマネジャー」が最多で74.2%（95件）、次いで、「家族」が49.2%（63件）、「かかりつけの医師」が23.4%（30件）となっています。また、「地域包括支援センター」については、8.6%（11件）となっています。【介護者調査、I問5-1-2 誰（どこ）へ相談したか】
- ◎介護者の約7割が負担感を感じ、そのうち約3割が、相談したことがないという状況にあります。相談相手としては、ケアマネジャーが最も多く、ケアマネジャーの対応が重要なものとなっています。また、地域包括支援センターの割合が低くなっています。

## 3 在宅生活のための支援

### 在宅での介護を続けられるための日常生活支援と介護者支援

- 【これからの生活の意向】は、「自宅で、介護保険のサービスを利用しながら暮らしたい」が最多で48.6%（176件）、次いで、「自宅で、家族からのみの介護を受けながら暮らしたい」が20.7%（75件）、「特別養護老人ホームで暮らしたい」が11.3%（41件）、「有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅等で暮らしたい」が8.8%（32件）となっています。【要介護認定者調査 V問2-1 これからの生活の意向】
- ◎訪問介護や通所介護といったサービス利用による生活と、家族による介護を希望する人が約7割となっており、高齢者の多くで「在宅志向」となっています。在宅での生活が続けられるよう、居宅サービスの提供と、在宅生活の支援が重要です。

### 要支援1、要支援2の方のサービス提供体制の確保

- 要支援1・2の認定者の方が現在利用しているサービスは、「介護予防通所リハビリテーション（デイケア）」が最多で27.0%（33件）、次いで、「介護予防訪問介護（ホームヘルプ）」が12.3%（15件）、「介護予防福祉用具貸与」が10.7%（13件）となっています。なお、「無回答」が

## 第2編 調査結果からの総括と課題ポイント

45.1% (55 件) と高い割合となっています。【認定者調査結果、V 問 7-1 《要支援 1・2 の認定者》現在利用しているサービス】

※「介護予防通所リハビリテーション(デイケア)」が最多となっていますが、実際のサービス支給実績は「介護予防通所介護(デイサービス)」の方が多く、サービス名に対する認識違いがあるものと思われます。今後は、回答者にとってわかりやすい記載となるよう、改善します。

○【生活しているうえで、とくに困っていること】は、「電球替えや部屋の模様替え」が最多で 27.9% (101 件)、次いで、「掃除」が 26.2% (95 件)、「草むしりなど庭の手入れ」が 25.4% (92 件)「買い物」が 22.1% (80 件)、「食事の用意」が 17.1% (62 件)、「ゴミ捨て」が 16.9% (61 件)となっています。『要支援』では「電球替えや部屋の模様替え」が最多で 39.3% (48 件)、次いで、「草むしりなど庭の手入れ」が 36.1% (44 件)、「掃除」が 33.6% (41 件)となっています。【認定者調査結果、Ⅲ 問 2 生活しているうえで、とくに困っていること】

◎平成 29 年 4 月より、本市では、総合事業の実施により、介護予防給付のうち、介護予防訪問介護と介護予防通所介護のサービスが地域支援事業へ移行します。そのために既存の高齢者福祉サービスの見直しを含め、地域支援事業としてのサービス提供の体制を整えることが求められます。

### 適切なサービスの利用促進

○高齢者全般において、【現在、利用しているサービス】は、「(介護予防)福祉用具貸与」が最多で 36.7% (73 件)、次いで、「(介護予防)通所リハビリテーション(デイケア)」が 36.2% (72 件)、「移送サービス」が 21.1% (42 件)となっています。【介護者調査、Ⅲ 問 3-1 現在、利用しているサービス】

※「(介護予防)通所リハビリテーション(デイケア)」が最多となっていますが、実際のサービス支給実績は「(介護予防)通所介護(デイサービス)」の方が多く、サービス名に対する認識違いがあるものと思われます。今後は、回答者にとってわかりやすい記載となるよう、改善します。

○【「介護保険サービス以外」で利用している支援サービス】は、「とくにない」が最多で 39.9% (109 件)、次いで、「紙おむつの支給」が 12.1% (33 件)、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が 11.7% (32 件)となっています。【介護者調査、VI 問 1 「介護保険サービス以外」で利用している支援サービス】

○【今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】は、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」が最多で 28.9% (79 件)、次いで、「紙おむつの支給」が 26.7% (73 件)、「外出同行(通院、買い物など)」が 16.1% (44 件)となっています。【介護者調査、VI 問 2 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】

◎在宅で介護を維持していくためには、介護者の負担の軽減が必要であり、適切な介護サービスの利用の促進や介護者同士の交流の場による介護者のケアも重要になってきます。また、介護保険サービス以外には、「紙おむつの支給」や「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」の利用意向は高くなっています。

**逗子市で不足しているサービスや需要の増加が見込まれるサービス**

- 【逗子市における介護保険サービスの量で不足していると思われるサービス】は、「夜間対応型訪問介護」が最多で33.9%（39件）、次いで、「(介護予防)通所リハビリテーション」が30.4%（35件）、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が25.2%（29件）となっています。【介護支援専門員（ケアマネジャー）調査、IV 問 1-1 逗子市における介護保険サービスの量で不足していると思われるサービス】
- 【逗子市における介護保険サービスで今後の需要の増加が見込まれるもの】は、「夜間対応型訪問介護」が最多で32.2%（37件）、次いで、「(介護予防)訪問介護」が27.8%（32件）、「(介護予防)通所リハビリテーション」が24.3%（28件）となっています。前回調査では、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が最多で25.8%（32件）、次いで、「短期入所療養介護」が24.2%（30件）、「短期入所生活介護」が22.6%（28件）、「夜間対応型訪問介護」が21.0%（26件）となっていました。「夜間対応型訪問介護」、「(介護予防)訪問介護」、「(介護予防)通所リハビリテーション」の割合が前回調査と比較し、高まっており、ニーズが変化している状況が見られます。【介護支援専門員（ケアマネジャー）調査、IV 問 1-3 逗子市における介護保険サービスで今後の需要の増加が見込まれるもの】
- ◎ケアマネジャーへの調査では、逗子市で不足しているサービスや需要の増加が見込まれるサービスは、「(介護予防)訪問介護」や、「夜間対応型訪問介護」、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」など、自宅での生活援助・身体介護を行うサービスの割合が高くなっています。

**4 認知症対策の充実****認知症対策**

- 【要介護者の心身の状況】は、「日常生活の一部に手助けが必要」が最多で42.5%（116件）、次いで、「日常生活のすべてについて手助けが必要」が27.8%（76件）、「日常生活はなんとか一人できる」が18.7%（51件）、「認知症の症状が少しあるが、なんとか一人でも生活できる」が17.9%（49件）、「認知症の症状がかなりあり、一日中目が離せない」が11.7%（32件）となっています。【介護者調査、II 問 1-3 要介護者の心身の状況】
- 【認知症の対応について困っていること】は、「会話が成立しない」が最多で42.0%（34件）、次いで、「自分の時間が持てない」が34.6%（28件）、「日中の見守りが大変である」が32.1%（26件）となっています。【介護者調査、II 問 1-4 認知症の対応について困っていること】
- ◎要介護者の心身の状況により、全面的な介助が必要な方、認知症の症状がある方がいずれも約3割となっています。今後、高齢者の増加に伴い、増える認知症高齢者への対応が求められています。認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を支援するための研修等が重要となってきます。また、認知症に関連する予防及び権利擁護について、関係所管との連携を強化することが求められています。



## 5 事業者と連携したサービス提供基盤の確保

## サービス提供基盤の確保

- 【法人の種類】は、「営利法人(有限会社・株式会社)」が最多で60.0% (93件)、次いで、「医療法人(社団・財団)」が14.2% (22件)、「社会福祉法人(社会福祉協議会以外)」が7.7% (12件)となっています。前回調査では、「営利法人(有限会社・株式会社)」が最多で54.8% (74件)、次いで、「医療法人(社団・財団)」が17.8% (24件)、「社会福祉法人(社会福祉協議会以外)」が12.6% (17件)となっていました。「営利法人(有限会社・株式会社)」の割合が前回調査と比較し、高まっています。【サービス提供事業所調査、I 問1-1 法人の種類】
- 【事業を展開するに当たり苦慮していること】は、「スタッフの人数不足」が最多で65.8% (102件)、次いで、「スタッフの技術不足」が27.7% (43件)、「利用者・家族の都合によるキャンセルや時間変更」が25.2% (39件)となっています。前回調査では、「スタッフの人数不足」が最多で55.6% (75件)、次いで、「スタッフの技術不足」が25.2% (34件)、「利用者・家族の都合によるキャンセルや時間変更」が23.0% (31件)となっていました。【サービス提供事業所調査、I 問5 事業を展開するに当たり苦慮していること】
- ◎サービス提供事業所を経営するうえでの課題は、「スタッフの技術不足」と「利用者・家族の都合によるキャンセルや時間変更」の割合が前回調査と比べて高まっていますが、「スタッフの人数不足」については、前回調査に比べ10.2ポイントも高まっており、人材の確保が十分に改善していない状況が見られました。

## 外部連携の充実

- ◎「関係者間の連携・連絡の現状の評価」の回答結果を、それぞれ選択肢に応じ点数化し、それぞれの項目ごとのポイント(加重平均値:最小2ポイント~最大8ポイント)を算出しました。8項目のうち、上位3件を挙げると、「1 ケアマネジャーと事務職〈内部連携〉(n=113)」が6.42ポイント、「8 利用者や家族との連絡〈外部連携〉(n=144)」が6.38ポイント、「2 ケアマネジャーとサービス従事者〈内部連携〉(n=117)」が6.06ポイントとなっています。一方、下位3件を挙げると、「7 逗子市でのサービス提供における事業所間の連携〈外部連携〉(n=115)」が5.58ポイント、「4 地域包括支援センターとの連携〈外部連携〉(n=130)」が5.64ポイント、「6 利用者の主治医との連携〈外部連携〉(n=140)」が5.74ポイントと低く、外部連携が相対的に課題であると考えられます。【サービス提供事業所調査、I 問7-②現状の評価】

## 情報提供の充実

- 【介護保険制度や業務に必要な情報を得るのに有効と思うもの】は、「かながわ福祉情報コミュニティ」が最多で76.1% (118件)、次いで、「国・県・市区町村」が69.7% (108件)、「研修会・講習会等」が57.4% (89件)となっています。【サービス提供事業所調査、I 問6 介護保険制度や業務に必要な情報を得るのに有効と思うもの】
- ◎今後も大幅な制度改正が見込まれるため、最新の介護保険制度の情報提供が重要になってきます。

## 6 医療と介護の連携の推進

## 医療と介護の連携

- 【介護・介助が必要になった主な原因】は、「骨・関節の病気」が最多で 19.6% (71 件)、次いで、「認知症 (アルツハイマー病)」が 19.3% (70 件)、「外傷 (転倒・骨折等)」が 17.4% (63 件)、「脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)」が 16.9% (61 件) となっています。【要介護認定者調査 I 問 4-2 介護・介助が必要になった主な原因】
- ◎骨折・転倒や脳血管疾患は治療を伴うため、医療機関や医師との関係が深くなってきます。また、認知症は、早期受診・早期対応が重要となってきます。自宅や地域の施設等において、適切な介護サービスを利用しながら地域で暮らし続けられるためには、医療と介護の連携強化は重要な課題です。さらに、日常的な健康維持・増進活動や、特定健康診査などの受診による原因疾病の予防、早期発見、早期支援を行うことも重要です。

## 日々の療養支援

- 【日常の療養支援において連携を強化したい関係者】は、「かかりつけ医 (診療所)」が最多で 71.0% (110 件)、次いで、「かかりつけ医 (病院)」が 64.5% (100 件)、「訪問看護ステーション」が 44.5% (69 件) となっています。診療所・病院のかかりつけ医との連携強化を 6 割以上が希望しています。【サービス提供事業所調査、II 問 2-1 日常の療養支援において連携を強化したい関係者】
- 「多職種連携について感じていること」の回答結果を、それぞれ選択肢に応じ点数化し、それぞれの項目ごとのポイント (加重平均値：最小 2 ポイント～最大 10 ポイント) を算出しました。
- ①「多職種連携を円滑に進めるため、情報共有するシステムや書式 (連絡票など) を作成し、運用すべきである」(n=146) が 7.68 ポイント、②「多職種との連携強化のためには、連携する関係者との研修機会は、もっとあった方が良いと思う」(n=146) が 7.46 ポイントとなっており、相対的に重要であると考えられます。【サービス提供事業所調査、II 問 2-2 【多職種連携】について感じていること】
- 【問 2-2 の「①多職種連携を円滑に進めるため、情報共有するシステムや書式 (連絡票など) を作成し、運用すべきである」のシステムや仕組みの導入の有無】は、「導入している」が 21.9% (34 件)、「導入していない」が 64.5% (100 件) となっています。【サービス提供事業所調査、II 問 2-3 「問 2-2 の①」のシステムや仕組みの導入の有無】
- ◎日々の療養支援のためには、診療所・病院のかかりつけ医との連携強化のほか、多職種連携を進める情報共有システムや、関係者間での共通の書式の検討、研修機会及び顔の見える関係構築等の課題が見られます。

## 急変時の対応

- 【日中に容態が急変した場合に受診する場所】は、「救急車対応」が最多で 67.7% (105 件)、次いで、「かかりつけ医 (病院)」が 61.3% (95 件)、「かかりつけ医 (診療所)」が 54.8% (85 件) となっています。【サービス提供事業所調査、II 問 3-3 日中に容態が急変した場合に受診する場所】

## 第2編 調査結果からの総括と課題ポイント

- 【夜間休日に容態が急変した場合に受診する場所】は、「救急車対応」が最多で71.6% (111件)、次いで、「かかりつけ医 (病院)」が38.1% (59件)、「かかりつけ医 (診療所)」が27.7% (43件)となっています。【サービス提供事業所調査、II 問3-4 夜間休日に容態が急変した場合に受診する場所】
- 【容態急変時にどこを受診したら良いのか苦慮したことがあるか】は、「はい」が28.4% (44件)、「いいえ」が62.6% (97件)となっています。【サービス提供事業所調査、I 問7-②現状の評価】
- 【容態急変時に具体的に苦慮したこと】は、「夜間帯または休日のため、どこを受診して良いか判らなかつた」が最多で61.4% (27件)、次いで、「その他」が29.5% (13件)、「高齢者や認知症を理由に受診を断られた」が18.2% (8件)となっています。【サービス提供事業所調査、II 問3-5 容態急変時にどこを受診したら良いのか苦慮したことがあるか】
- ◎急変時の対応については、連携体制のあり方や医療機関の受入れ対応、ルール作りなどが課題となっています。

### 在宅での看取り

- 【在宅での看取りに関わった経験】は、「はい」が54.2% (84件)、「いいえ」が36.8% (57件)となっています。【サービス提供事業所調査、II 問4-1 在宅での看取りに関わった経験】
- 【① 在宅で看取りをすることは、事業所職員にとって負担が大きい】では、「そう思う」が最多で34.8% (54件)、次いで、「どちらとも言えない」が26.5% (41件)、「そう思わない」が14.2% (22件)となっています。【サービス提供事業所調査、II 問4-2 【在宅での看取り】①】
- 【② 今後、在宅で看取るケースは増えていくと感じている】は、「そう思う」が最多で45.2% (70件)、次いで、「非常にそう思う」が25.2% (39件)、「どちらとも言えない」が16.1% (25件)となっています。【サービス提供事業所調査、II 問4-2 【在宅での看取り】②】
- ◎約半数の事業所が在宅での看取りにかかわった経験があります。負担が大きいと考えている方が約4割となっています。在宅での看取りは、今後もさらに増えることが予想されますが、体制整備が課題となっています。

## 7 ケアマネジャーの課題

### ケアマネジャーの仕事の状況

- 【ケアマネジャーの仕事は専任か】は、「専任」が77.4% (89件)、「兼任」が21.7% (25件)となっています。【介護支援専門員 (ケアマネジャー) 調査、II 問2 ケアマネジャーの仕事は専任か】
- 【①ケアプランの作成件数(居宅)～あなたの扱い件数(総数)～《単位：件/月》】は、「30件～35件未満」が最多で20.9% (24件)、次いで、「35件～40件未満」が16.5% (19件)、「25件～30件未満」が14.8% (17件)となっています。【介護支援専門員 (ケアマネジャー) 調査、III 問2-1-①ケアプランの作成件数(居宅)【あなたの扱い件数(総数)】《単位：件/月》】

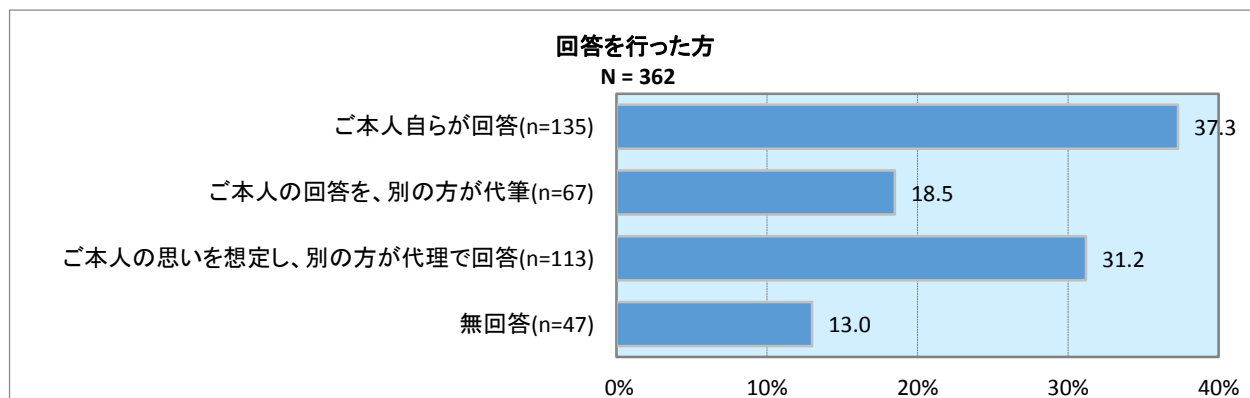
## 第2編 調査結果からの総括と課題ポイント

- 【ケアプラン作成に当たり、困ること】は、「利用者本人と家族の意向との調整」が最多で63.5%（73件）、次いで、「主治医との連絡・連携」が40.9%（47件）、「計画検討やケアプラン作成のための時間の確保」が39.1%（45件）となっています。【介護支援専門員（ケアマネジャー）調査、Ⅲ 問3-4 ケアプラン作成に当たり、困ること】
- ◎ケアプラン作成においては、「利用者本人と家族の意向との調整」や「主治医との連絡・連携」に負担感を感じているとともに、「計画検討やケアプラン作成のための時間の確保」ができていない状況が見られます。

## 第3編 要介護認定者調査結果

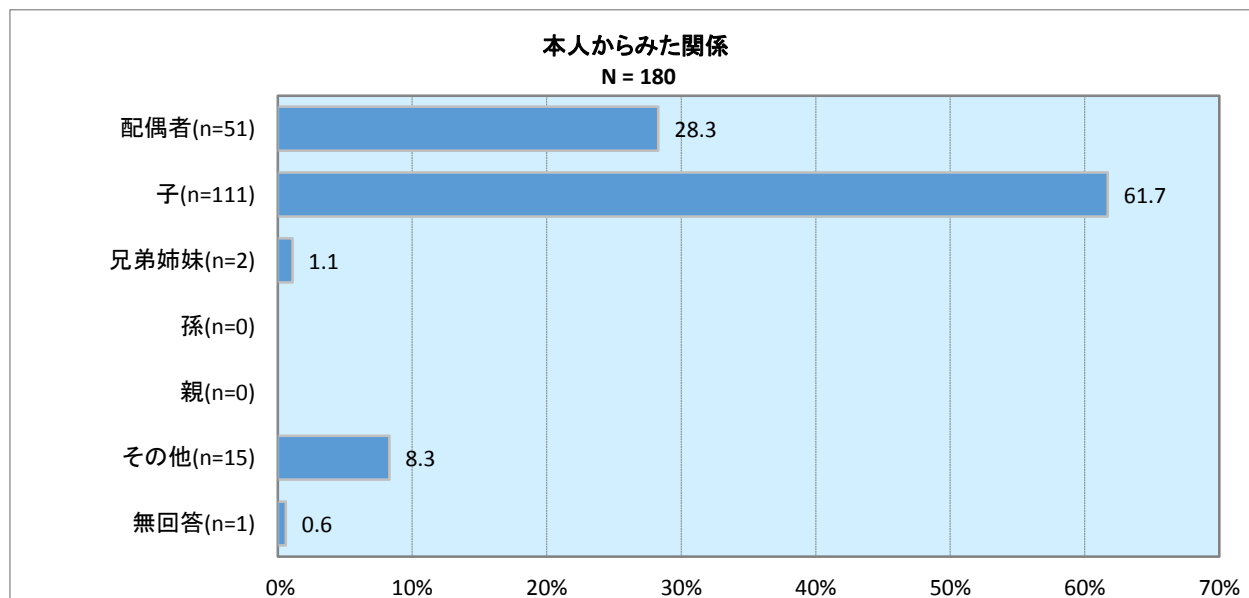
### 回答を行った方（単一回答形式）

- 【回答を行った方】は、「ご本人自らが回答」が最多で37.3%（135件）、「ご本人の回答を、別の方が代筆」が18.5%（67件）、「ご本人の思いを想定し、別の方が代理で回答」が31.2%（113件）となっています。



### 回答を行った方の本人からみた関係（単一回答形式）

- 【回答を行った方の本人からみた関係】は、「子」が最多で61.7%（111件）、次いで、「配偶者」が28.3%（51件）、「その他」が8.3%（15件）となっています。

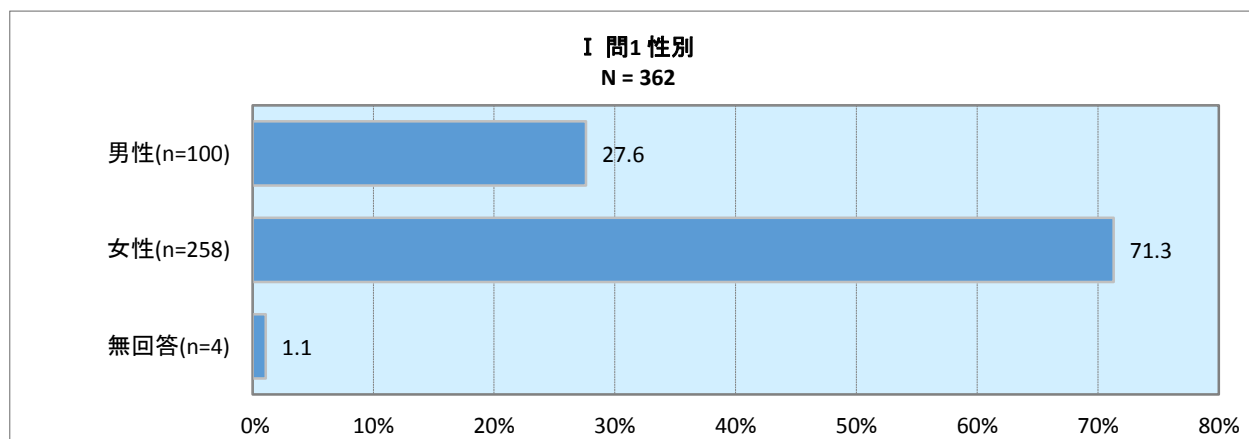


回答条件：【回答を行った方】で、「ご本人の回答を、別の方が代筆」「ご本人の思いを想定し、別の方が代理で回答」の場合のみ

**I あなたとあなたのご家族の生活状況**

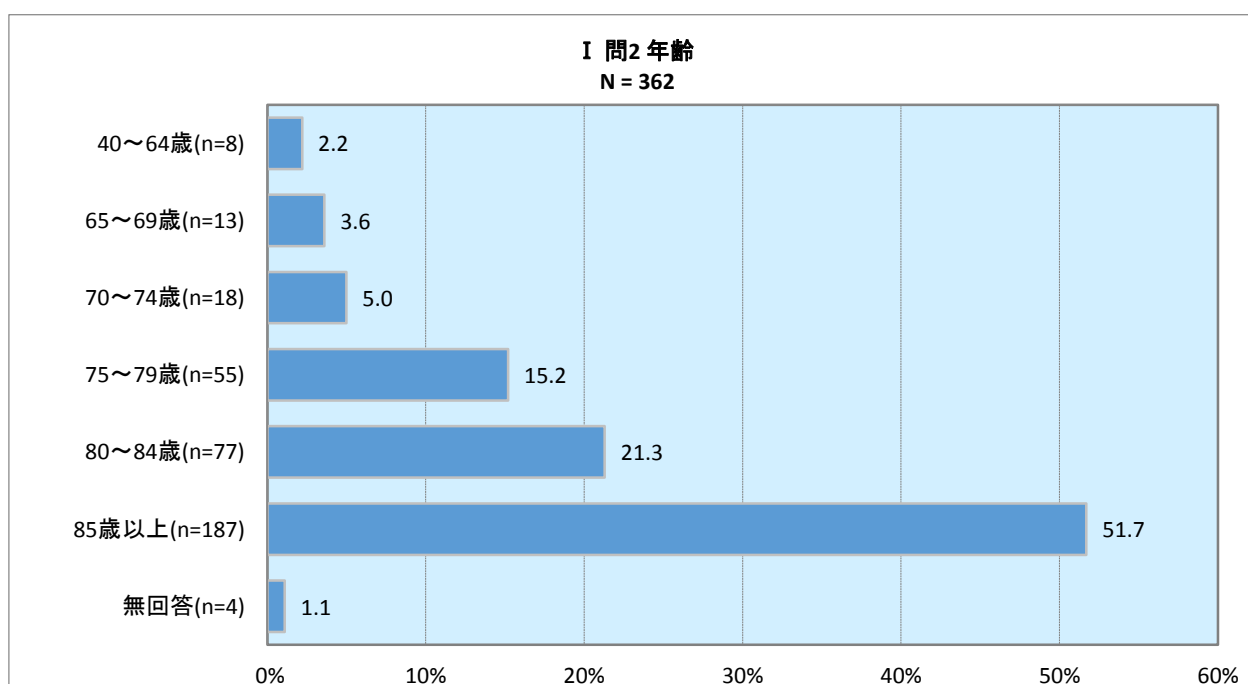
問1 性別 (単一回答形式)

●【性別】は、「男性」が27.6% (100件)、「女性」が71.3% (258件)となっています。



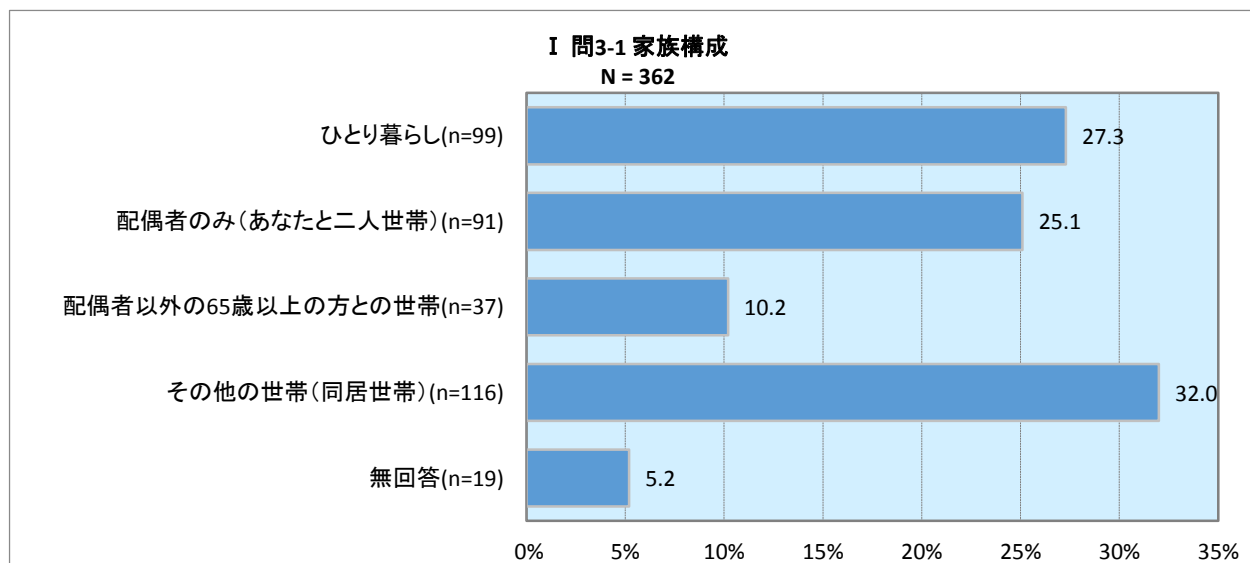
問2 年齢 (単一回答形式)

●【年齢】は、「85歳以上」が最多で51.7% (187件)、次いで、「80～84歳」が21.3% (77件)、「75～79歳」が15.2% (55件)となっています。



問3-1 家族構成 (単一回答形式)

- 【家族構成】は、「その他の世帯(同居世帯)」が最多で32.0%(116件)、次いで、「ひとり暮らし」が27.3%(99件)、「配偶者のみ(あなたと二人世帯)」が25.1%(91件)となっています。



【クロス集計結果一覧】 (上位1位をセルに色付け)

- 「年齢別」にみると、「ひとり暮らし」が『70～74歳』で22.2%(4件)、『75～79歳』で21.8%(12件)、『80～84歳』で28.6%(22件)、『85歳以上』で31.6%(59件)と年齢が上がるにつれて高まる傾向にあります。

上段:度数 下段:%		I 問3-1 家族構成					
		合計	ひとり暮らし	配偶者のみ (あなたと二人世帯)	配偶者以外の 65歳以上 の方との世帯	その他の世帯 (同居世帯)	無回答
全体		362 100.0	99 27.3	91 25.1	37 10.2	116 32.0	19 5.2
I 問2 年齢	40～64歳	8 100.0	1 12.5	1 12.5	2 25.0	4 50.0	- -
	65～69歳	13 100.0	1 7.7	4 30.8	1 7.7	5 38.5	2 15.4
	70～74歳	18 100.0	4 22.2	8 44.4	1 5.6	5 27.8	- -
	75～79歳	55 100.0	12 21.8	28 50.9	- -	14 25.5	1 1.8
	80～84歳	77 100.0	22 28.6	19 24.7	6 7.8	26 33.8	4 5.2
	85歳以上	187 100.0	59 31.6	30 16.0	27 14.4	62 33.2	9 4.8
	無回答	4 100.0	- -	1 25.0	- -	- -	3 75.0

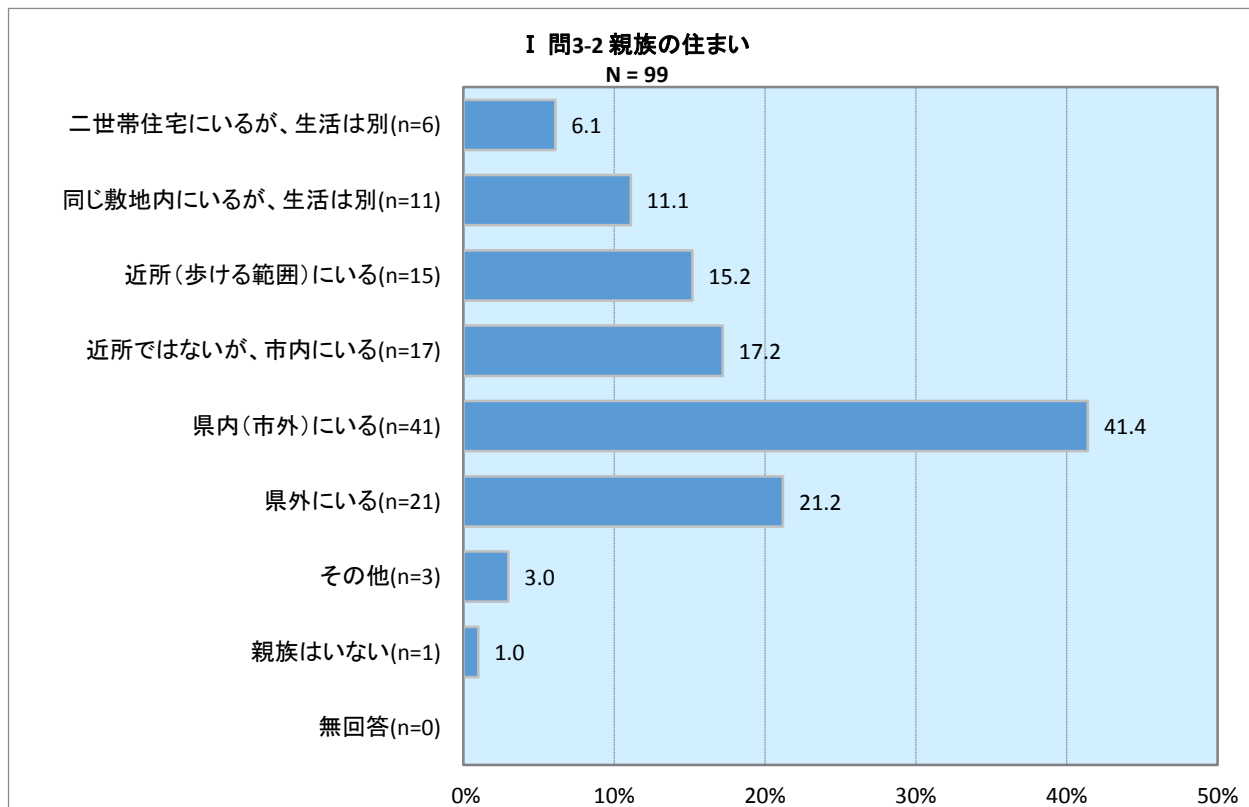
第3編 要介護認定者調査結果 (I あなたとあなたのご家族の生活状況)

上段:度数 下段:%		I 問3-1 家族構成					
		合計	ひとり暮らし	配偶者のみ (あなたと二人世帯)	配偶者以外の65歳以上の方との世帯	その他の世帯(同居世帯)	無回答
全体		362 100.0	99 27.3	91 25.1	37 10.2	116 32.0	19 5.2
I 問4-1 要介護度	要支援1	58 100.0	19 32.8	11 19.0	2 3.4	22 37.9	4 6.9
	要支援2	64 100.0	29 45.3	13 20.3	3 4.7	15 23.4	4 6.3
	要介護1	35 100.0	12 34.3	6 17.1	5 14.3	11 31.4	1 2.9
	要介護2	67 100.0	16 23.9	21 31.3	8 11.9	20 29.9	2 3.0
	要介護3	47 100.0	9 19.1	12 25.5	7 14.9	18 38.3	1 2.1
	要介護4	34 100.0	5 14.7	14 41.2	3 8.8	10 29.4	2 5.9
	要介護5	41 100.0	6 14.6	9 22.0	7 17.1	17 41.5	2 4.9
	わからない	3 100.0	-	2 66.7	1 33.3	-	-
	無回答	13 100.0	3 23.1	3 23.1	1 7.7	3 23.1	3 23.1
I 問4-3 主にどなたから介護・介助を受けているか	配偶者(夫・妻)	106 100.0	1 0.9	74 69.8	3 2.8	27 25.5	1 0.9
	息子	37 100.0	13 35.1	-	9 24.3	14 37.8	1 2.7
	娘	79 100.0	18 22.8	2 2.5	11 13.9	39 49.4	9 11.4
	子の配偶者	22 100.0	1 4.5	-	5 22.7	15 68.2	1 4.5
	孫	-	-	-	-	-	-
	兄弟姉妹	4 100.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	-	-
	介護サービスのヘルパー	40 100.0	28 70.0	4 10.0	2 5.0	5 12.5	1 2.5
	その他	30 100.0	17 56.7	3 10.0	4 13.3	5 16.7	1 3.3
	いない	14 100.0	7 50.0	2 14.3	1 7.1	4 28.6	-
	無回答	30 100.0	12 40.0	5 16.7	1 3.3	7 23.3	5 16.7



問3-2 親族の住まい (単一回答形式)

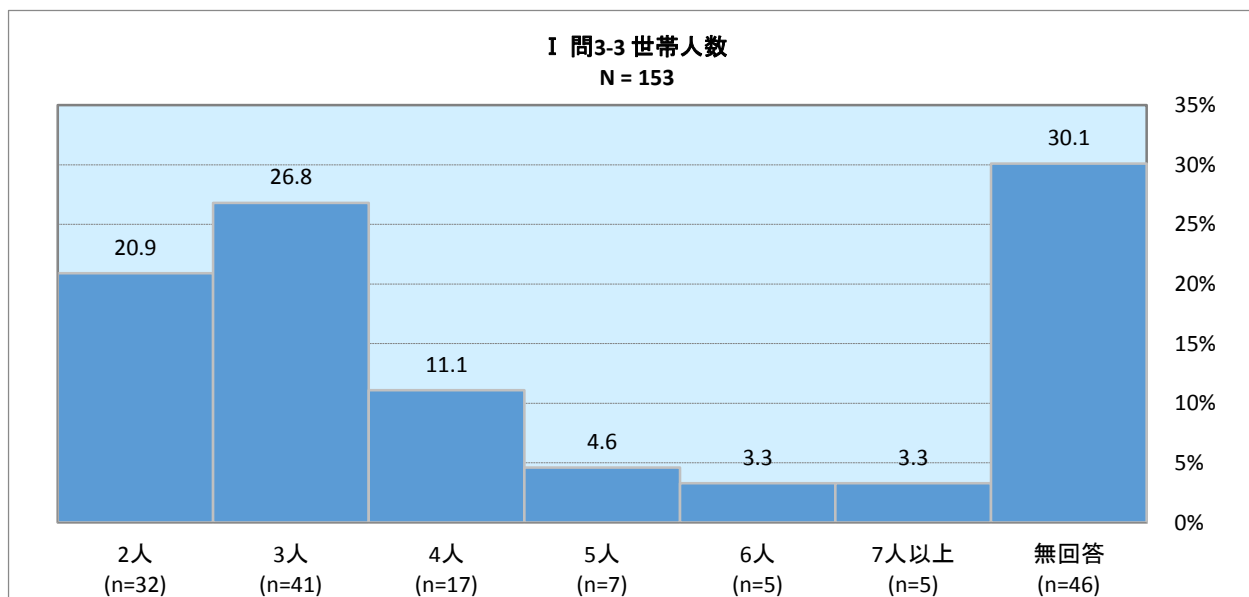
●【親族の住まい】は、「県内(市外)にいる」が最多で41.4%(41件)、次いで、「県外にいる」が21.2%(21件)、「近所ではないが、市内にいる」が17.2%(17件)となっています。



回答条件：【I 問3-1 家族構成】で「一人暮らし」の場合のみ回答

問3-3 世帯人数 (数量回答形式)

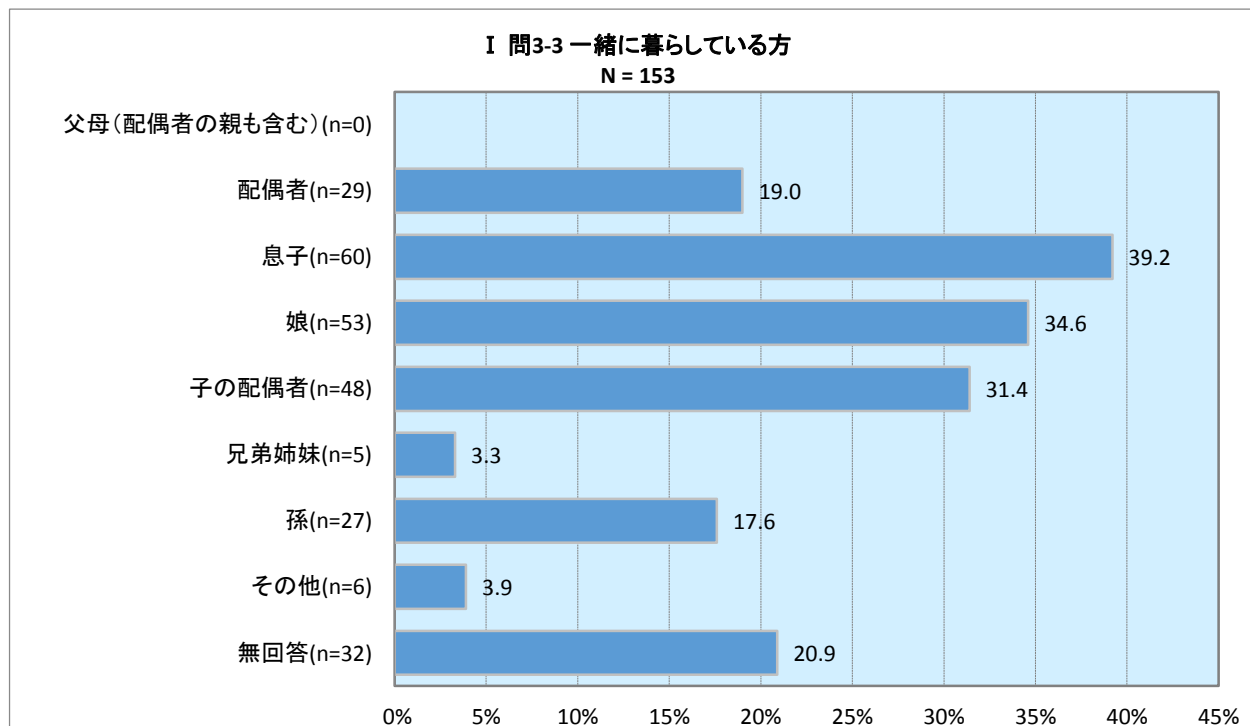
●【世帯人数】は、「3人」が最多で26.8%(41件)、次いで、「2人」が20.9%(32件)、「4人」が11.1%(17件)となっています。



回答条件：【I 問3-1 家族構成】で、「配偶者以外の65歳以上の方との世帯」「その他の世帯(同居世帯)」の場合のみ回答

問3-3 一緒に暮らしている方 (複数回答形式)

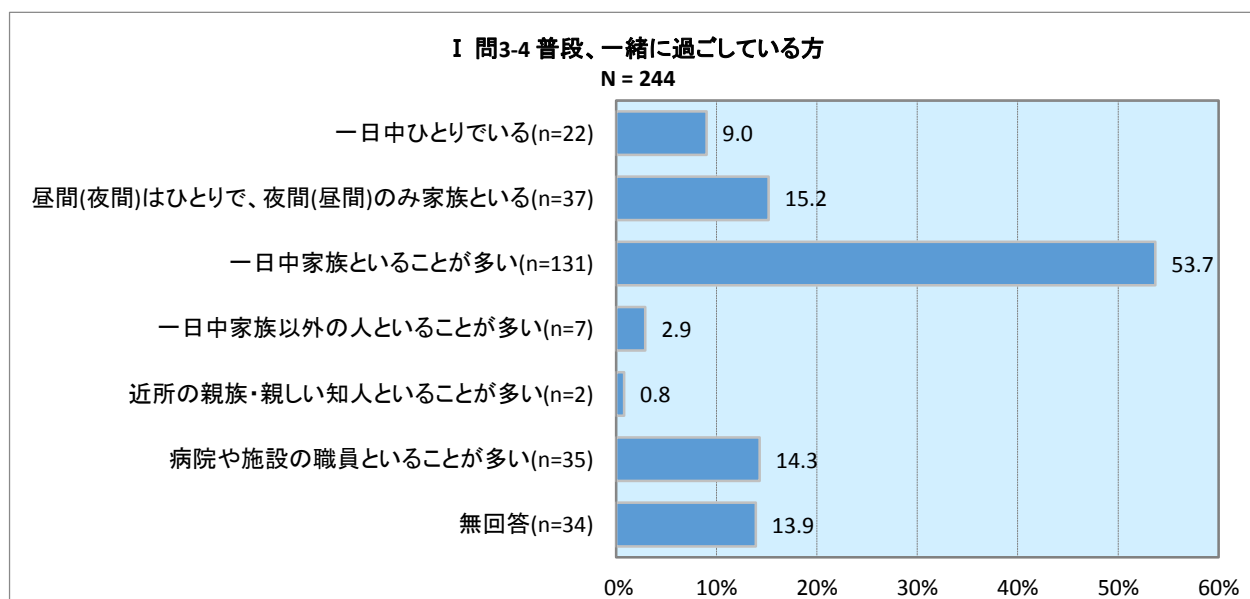
- 【一緒に暮らしている方】は、「息子」が最多で39.2% (60件)、次いで、「娘」が34.6% (53件)、「子の配偶者」が31.4% (48件) となっています。



回答条件：【I 問3-1 家族構成】で、「配偶者以外の65歳以上の方との世帯」「その他の世帯(同居世帯)」の場合のみ回答

問3-4 普段、一緒に過ごしている方 (複数回答形式)

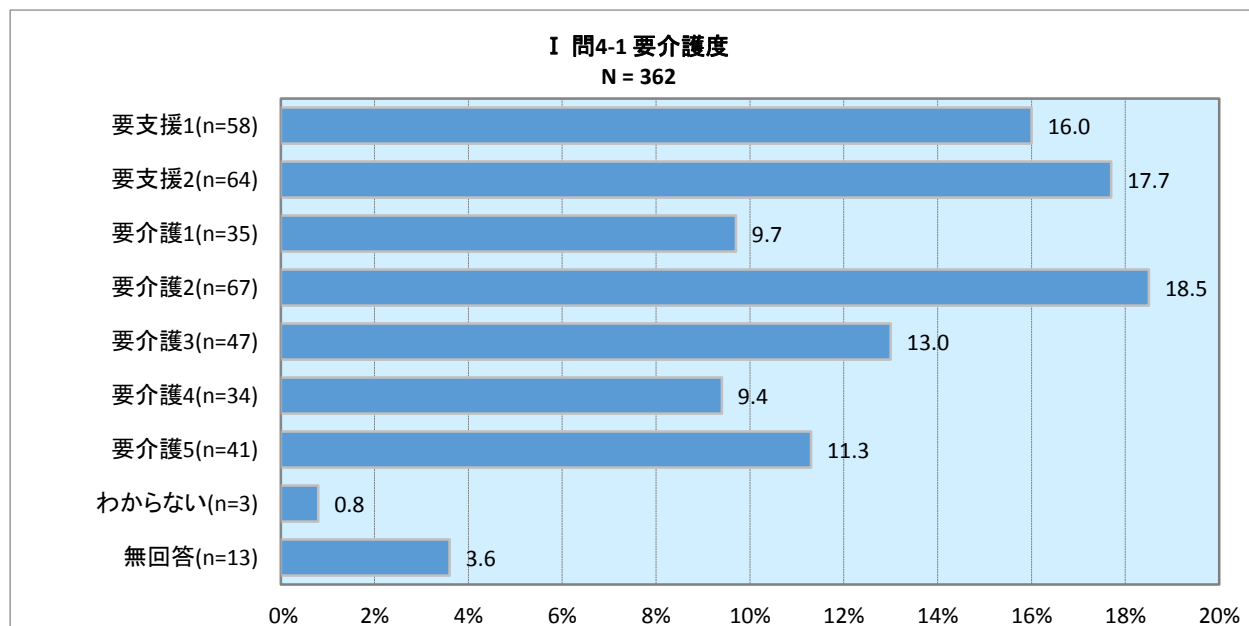
- 【普段、一緒に過ごしている方】は、「一日中家族といることが多い」が最多で53.7% (131件)、次いで、「昼間(夜間)はひとりで、夜間(昼間)のみ家族といる」が15.2% (37件)、「病院や施設の職員といることが多い」が14.3% (35件) となっています。



回答条件：【I 問3-1 家族構成】で、「配偶者のみ(あなたと二人世帯)」「配偶者以外の65歳以上の方との世帯」「その他の世帯(同居世帯)」の場合のみ回答

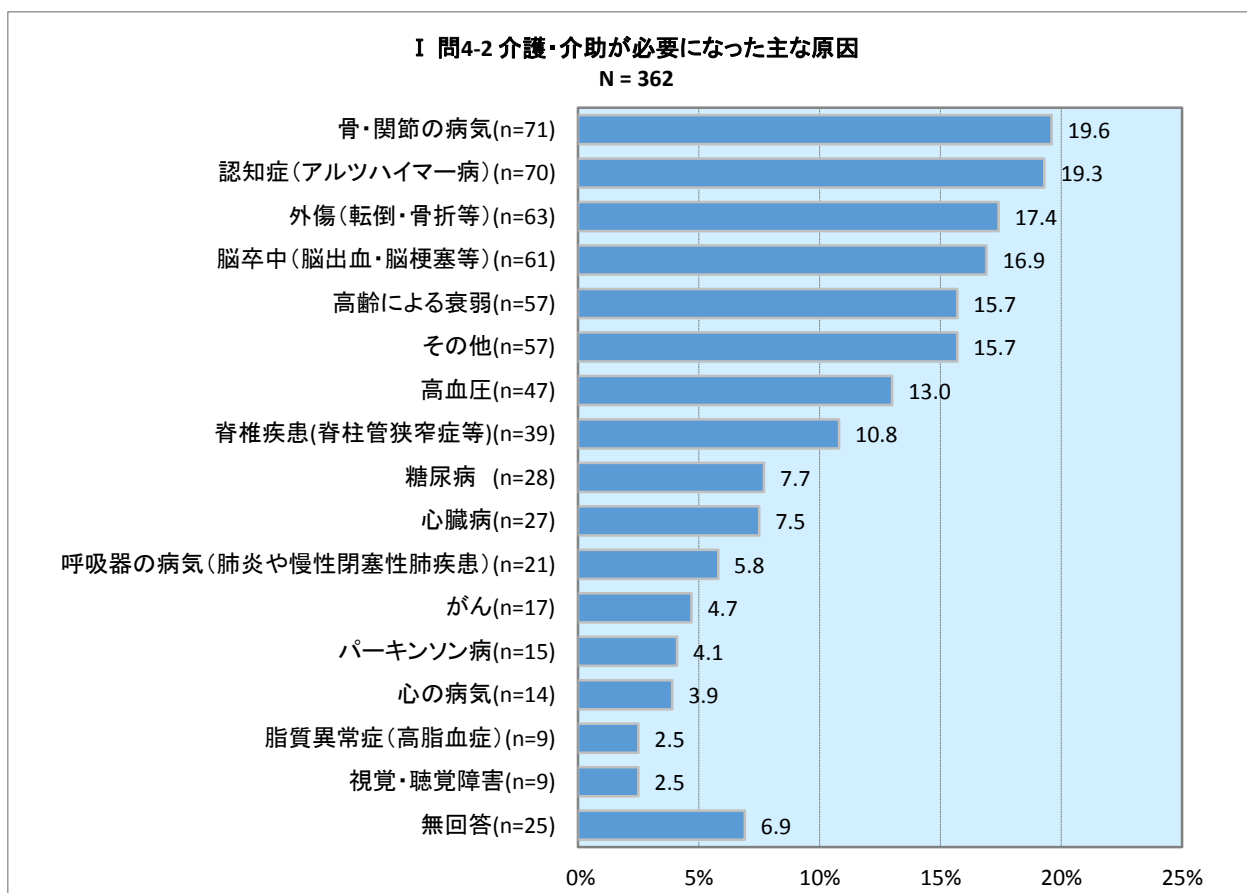
問4-1 要介護度 (単一回答形式)

●【要介護度】は、「要介護2」が最多で18.5% (67件)、次いで、「要支援2」が17.7% (64件)、「要支援1」が16.0% (58件)となっています。



問4-2 介護・介助が必要になった主な原因 (複数回答形式)

●【介護・介助が必要になった主な原因】は、「骨・関節の病気」が最多で19.6% (71件)、次いで、「認知症 (アルツハイマー病)」が19.3% (70件)、「外傷 (転倒・骨折等)」が17.4% (63件)となっています。

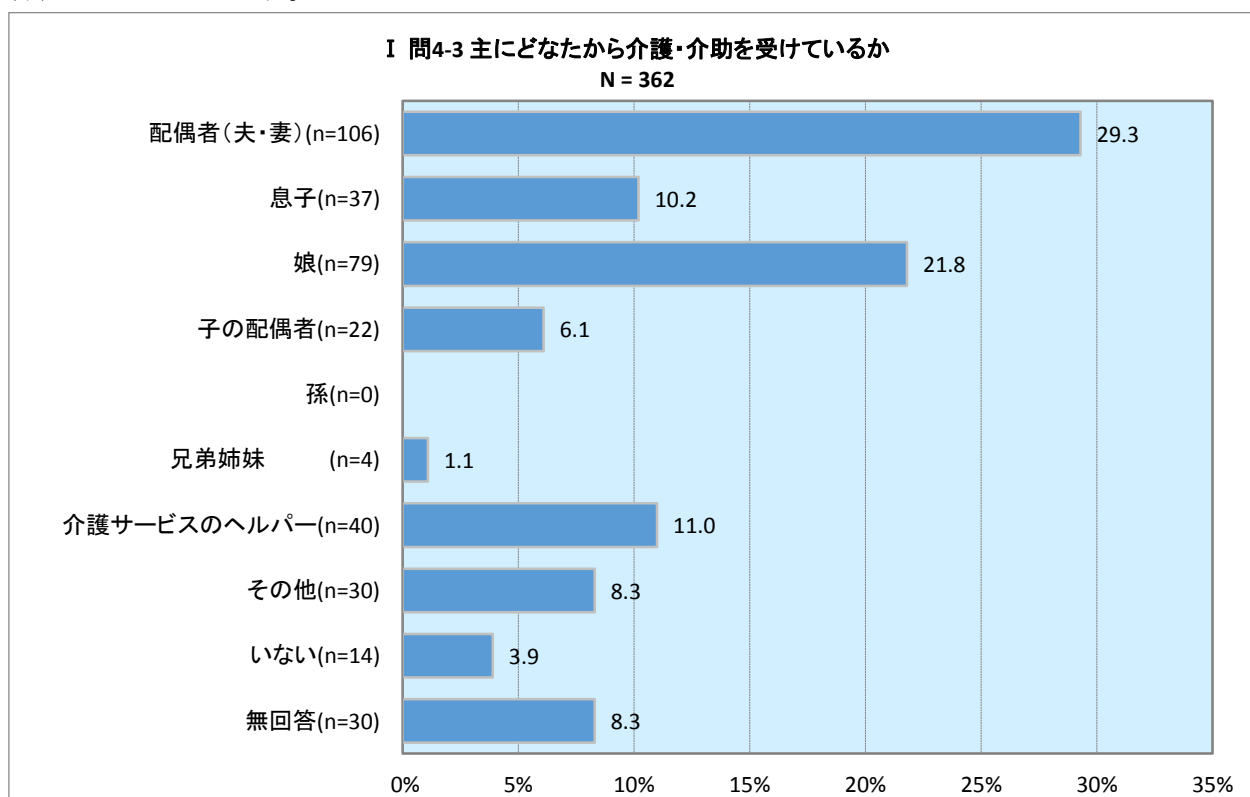


その他

- ・リウマチ (4件)
- ・うつ病 (4件)
- ・骨折 (4件)
- ・歩行が困難 (3件)
- ・足、腰等の痛み、違和感 (3件)
- ・交通事故 (1件)
- ・太もも筋力低下 (1件)
- ・透析中 (1件)
- ・封入体筋炎 (1件)
- ・ぜんそく、肺気腫、逆流性食道炎 (1件)
- ・大腸に穴があく (1件)
- ・脳炎 (1件)
- ・高次脳機能障害 (1件)
- ・飲酒 (1件)
- ・狭心症、てんかん、低換気症候群、慢性膀胱炎、腹部大動脈瘤術後丸1年経過 (1件)
- ・高齢で1人暮らしのため (1件)
- ・貧血 (1件)
- ・肝臓病 (1件)
- ・ぼうこう機能障害前立腺肥大症による (1件)
- ・変形腰椎症 (1件)
- ・黄色靭帯骨化症 (1件)
- ・尿疾患 (1件)
- ・神経炎 (1件)
- ・認知症 (1件)
- ・多発性硬化症 (1件)
- ・皮ふアレルギー (1件)
- ・骨髄異形成症候群 (1件)
- ・肺がん (1件)
- ・前立腺がん (1件)
- ・食道がん手術 (1件)
- ・脳がん、肺がん、直腸がん (1件)
- ・中咽頭がん (1件)
- ・手術の後遺症 (1件)
- ・股関節 (両足) 手術 (1件)
- ・脳腫瘍の手術 (1件)
- ・胆のう炎による手術 (1件)
- ・変形性膝関節症で手術 (1件)
- ・正常圧水頭症 (1件)
- ・頭痛、多発性便化症 (1件)
- ・頭 (精神) (1件)

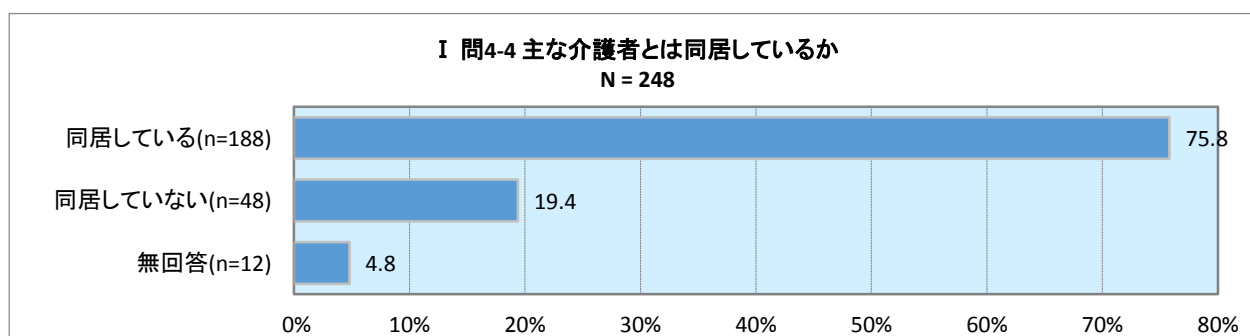
問4-3 主にどなたから介護・介助を受けているか (単一回答形式)

- 【主にどなたから介護・介助を受けているか】は、「配偶者(夫・妻)」が最多で29.3% (106件)、次いで、「娘」が21.8% (79件)、「介護サービスのヘルパー」が11.0% (40件) となっています。



問4-4 主な介護者とは同居しているか (単一回答形式)

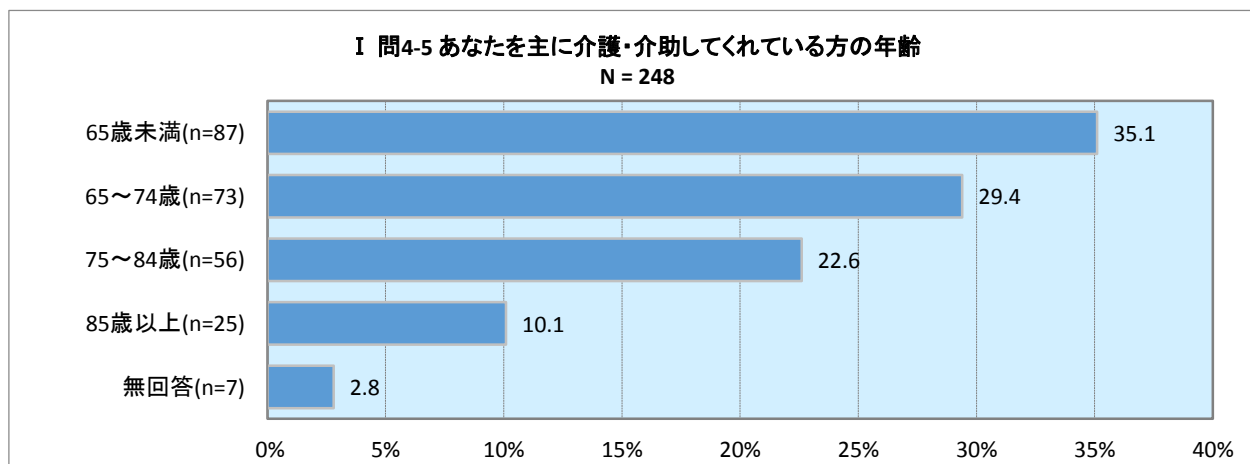
- 【問4-4 主な介護者とは同居しているか】は、「同居している」が75.8% (188件)、「同居していない」が19.4% (48件) となっています。



回答条件：【I 問4-3 主にどなたから介護・介助を受けているか】で、「配偶者(夫・妻)」「息子」「娘」「子の配偶者」「孫」「兄弟姉妹」の場合のみ回答

問4-5 あなたを主に介護・介助してくれている方の年齢 (単一回答形式)

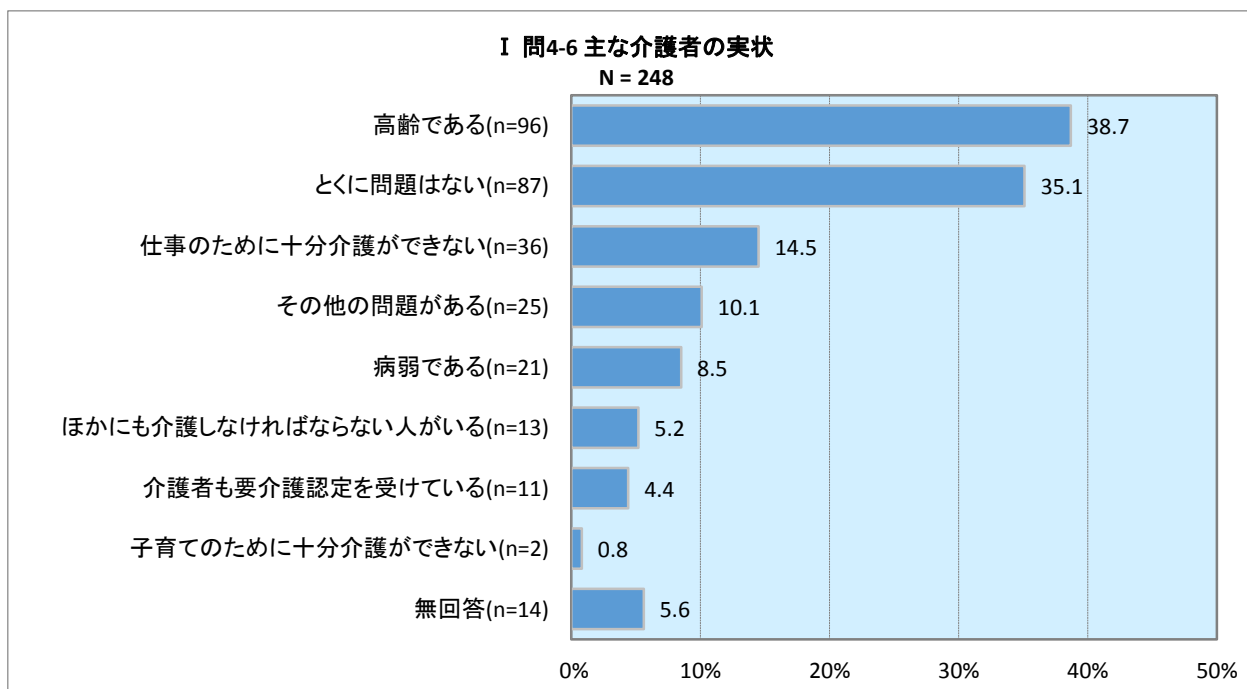
●【あなたを主に介護・介助してくれている方の年齢】は、「65歳未満」が最多で35.1% (87件)、次いで、「65～74歳」が29.4% (73件)、「75～84歳」が22.6% (56件)となっています。



回答条件：【I 問4-3 主にどなたから介護・介助を受けているか】で、「配偶者 (夫・妻)」「息子」「娘」「子の配偶者」「孫」「兄弟姉妹」の場合のみ回答

問4-6 主な介護者の実状 (複数回答形式)

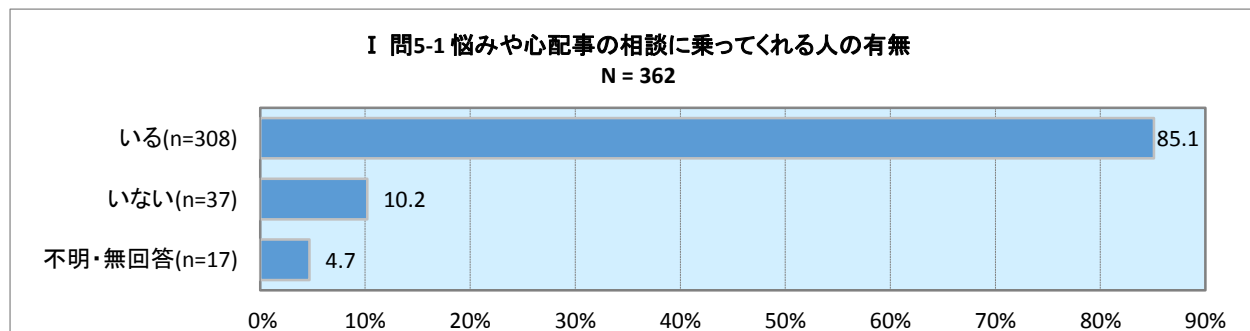
●【主な介護者の実状】は、「高齢である」が最多で38.7% (96件)、次いで、「とくに問題はない」が35.1% (87件)、「仕事のために十分介護ができない」が14.5% (36件)となっています。



回答条件：【I 問4-3 主にどなたから介護・介助を受けているか】で、「配偶者 (夫・妻)」「息子」「娘」「子の配偶者」「孫」「兄弟姉妹」の場合のみ回答

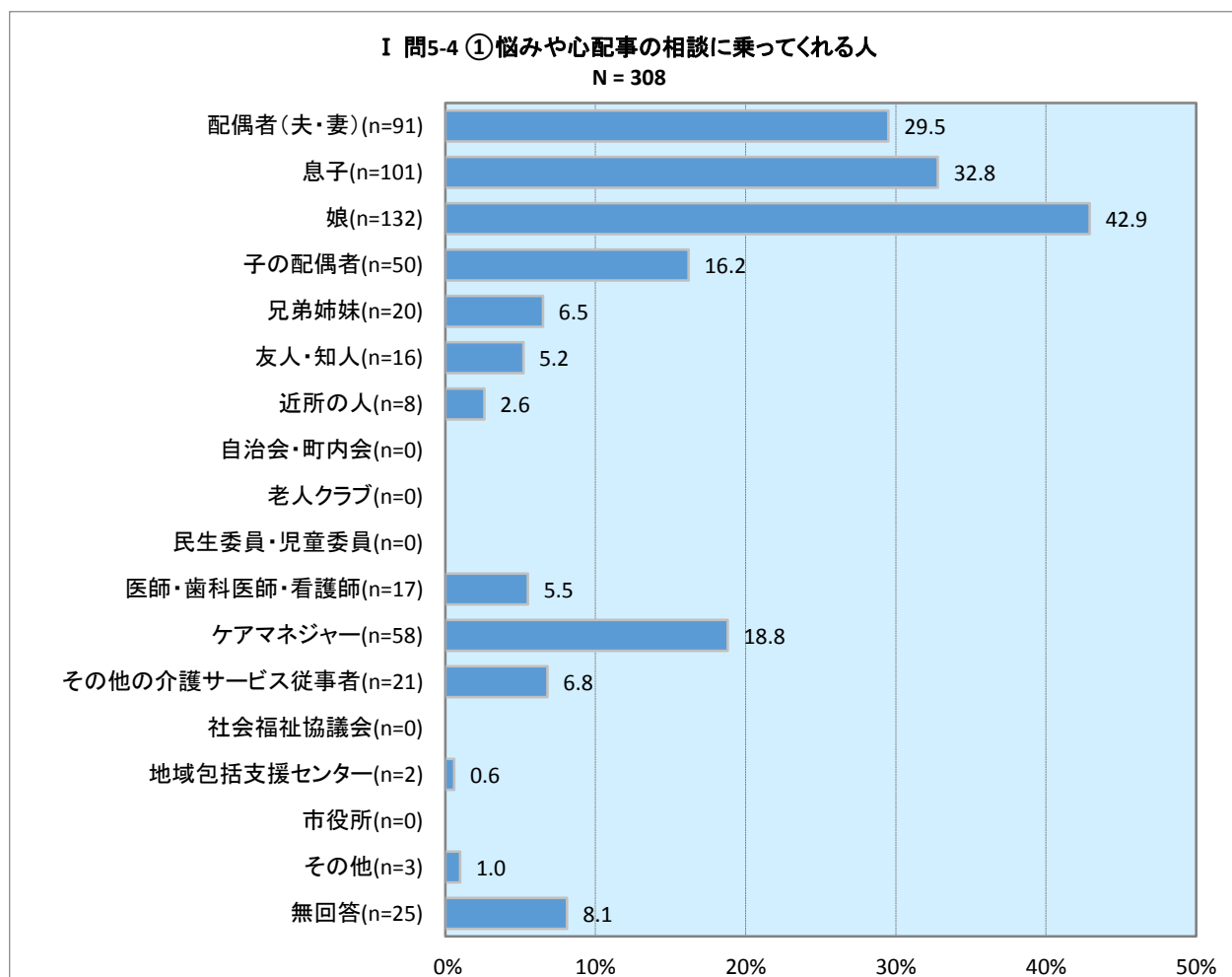
問5-1 悩みや心配事の相談に乗ってくれる人の有無 (単一回答形式)

●【悩みや心配事の相談に乗ってくれる人の有無】は、「いる」が85.1% (308件)、「いない」が10.2% (37件)となっています。



問5-4 ①悩みや心配事の相談に乗ってくれる人 (複数回答形式)

●【悩みや心配事の相談に乗ってくれる人】は、「娘」が最多で42.9% (132件)、次いで、「息子」が32.8% (101件)、「配偶者 (夫・妻)」が29.5% (91件)となっています。



回答条件：【I 問5-1 悩みや心配事の相談に乗ってくれる人の有無】で、「いる」の場合のみ回答

第3編 要介護認定者調査結果 (I あなたとあなたのご家族の生活状況)

【クロス集計結果一覧】 (上位1位をセルに色付け)

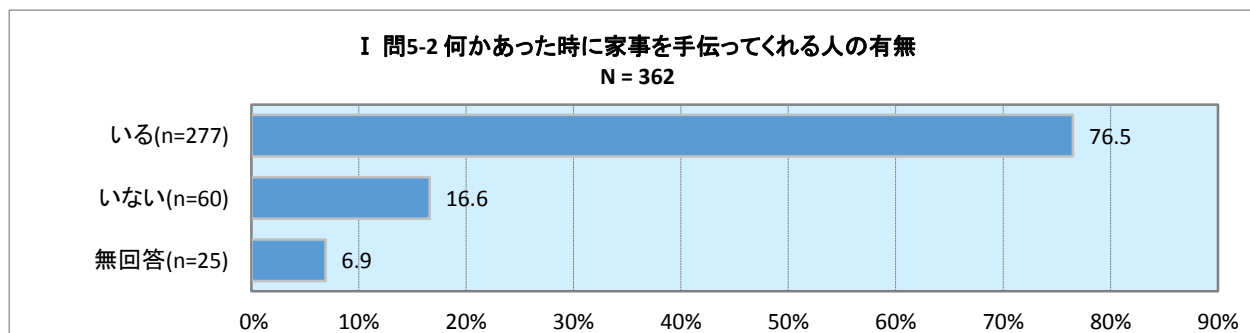
- 「要介護度別」にみると、家族や親族以外では、「ケアマネジャー」が『要介護1』で29.4% (10件)、『要介護2』で22.8% (13件)、『要介護3』で22.2% (10件)、『要介護4』で27.6% (8件)、『要介護5』で24.3% (9件)と高い割合になっています。

上段:度数 下段:%		I 問5-4 ①悩みや心配事の相談に乗ってくれる人														
		合計	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	兄弟 姉妹	友人・ 知人	近所 の人	医師・ 歯科 医師・ 看護師	ケア マネ ジャー	その 他の 介護 サー ビス 従事 者	地域 包括 支援 セン ター	その 他	無回 答	
全体	308 100.0	91 29.5	101 32.8	132 42.9	50 16.2	20 6.5	16 5.2	8 2.6	17 5.5	58 18.8	21 6.8	2 0.6	3 1.0	25 8.1		
I 問2 年齢	40~64歳	8 100.0	1 12.5	3 37.5	2 25.0	3 37.5	-	2 25.0	-	-	-	-	-	3 37.5		
	65~69歳	10 100.0	5 50.0	1 10.0	1 10.0	-	1 10.0	1 10.0	-	1 10.0	2 20.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0		
	70~74歳	15 100.0	7 46.7	2 13.3	4 26.7	-	2 13.3	2 13.3	-	1 6.7	1 6.7	-	-	-		
	75~79歳	47 100.0	25 53.2	13 27.7	20 42.6	2 4.3	1 2.1	3 6.4	2 4.3	3 6.4	9 19.1	-	-	-	4 8.5	
	80~84歳	63 100.0	23 36.5	19 30.2	29 46.0	11 17.5	4 6.3	4 6.3	4 6.3	4 6.3	11 17.5	3 4.8	1 1.6	2 3.2	4 6.3	
	85歳以上	163 100.0	29 17.8	63 38.7	75 46.0	34 20.9	11 6.7	4 2.5	2 1.2	8 4.9	35 21.5	16 9.8	-	1 0.6	13 8.0	
	無回答	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
I 問 3-1 家 族構 成	ひとり暮らし	83 100.0	5 6.0	32 38.6	39 47.0	9 10.8	5 6.0	7 8.4	6 7.2	3 3.6	17 20.5	10 12.0	1 1.2	2 2.4	8 9.6	
	配偶者のみ	75 100.0	56 74.7	18 24.0	24 32.0	4 5.3	6 8.0	-	-	5 6.7	12 16.0	3 4.0	-	-	8 10.7	
	配偶者以外の65歳 以上の方との世帯	33 100.0	3 9.1	13 39.4	18 54.5	11 33.3	3 9.1	1 3.0	-	2 6.1	5 15.2	1 3.0	-	-	1 3.0	
	その他の世帯(同居 世帯)	101 100.0	25 24.8	34 33.7	44 43.6	23 22.8	6 5.9	7 6.9	2 2.0	6 5.9	21 20.8	5 5.0	-	1 1.0	6 5.9	
	無回答	16 100.0	2 12.5	4 25.0	7 43.8	3 18.8	-	1 6.3	-	1 6.3	3 18.8	2 12.5	1 6.3	-	2 12.5	
I 問 4-1 要 介護 度	要支援1	48 100.0	11 22.9	20 41.7	21 43.8	7 14.6	6 12.5	5 10.4	1 2.1	1 2.1	3 6.3	2 4.2	-	1 2.1	3 6.3	
	要支援2	49 100.0	10 20.4	16 32.7	22 44.9	5 10.2	3 6.1	6 12.2	4 8.2	6 12.2	4 8.2	3 6.1	1 2.0	-	5 10.2	
	要介護1	34 100.0	11 32.4	13 38.2	13 38.2	13 38.2	-	-	-	-	3 8.8	10 29.4	3 8.8	-	1 2.9	1 2.9
	要介護2	57 100.0	21 36.8	20 35.1	32 56.1	4 7.0	7 12.3	1 1.8	1 1.8	3 5.3	13 22.8	1 1.8	-	-	2 3.5	
	要介護3	45 100.0	15 33.3	17 37.8	22 48.9	9 20.0	2 4.4	-	2 4.4	-	10 22.2	3 6.7	-	-	4 8.9	
	要介護4	29 100.0	11 37.9	3 10.3	10 34.5	2 6.9	-	-	-	1 3.4	8 27.6	2 6.9	-	1 3.4	2 6.9	
	要介護5	37 100.0	8 21.6	11 29.7	10 27.0	10 27.0	1 2.7	4 10.8	-	3 8.1	9 24.3	6 16.2	1 2.7	-	5 13.5	
	わからない	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0	-	-	-	1 50.0	
	無回答	7 100.0	3 42.9	1 14.3	2 28.6	-	1 14.3	-	-	-	-	1 14.3	-	-	2 28.6	



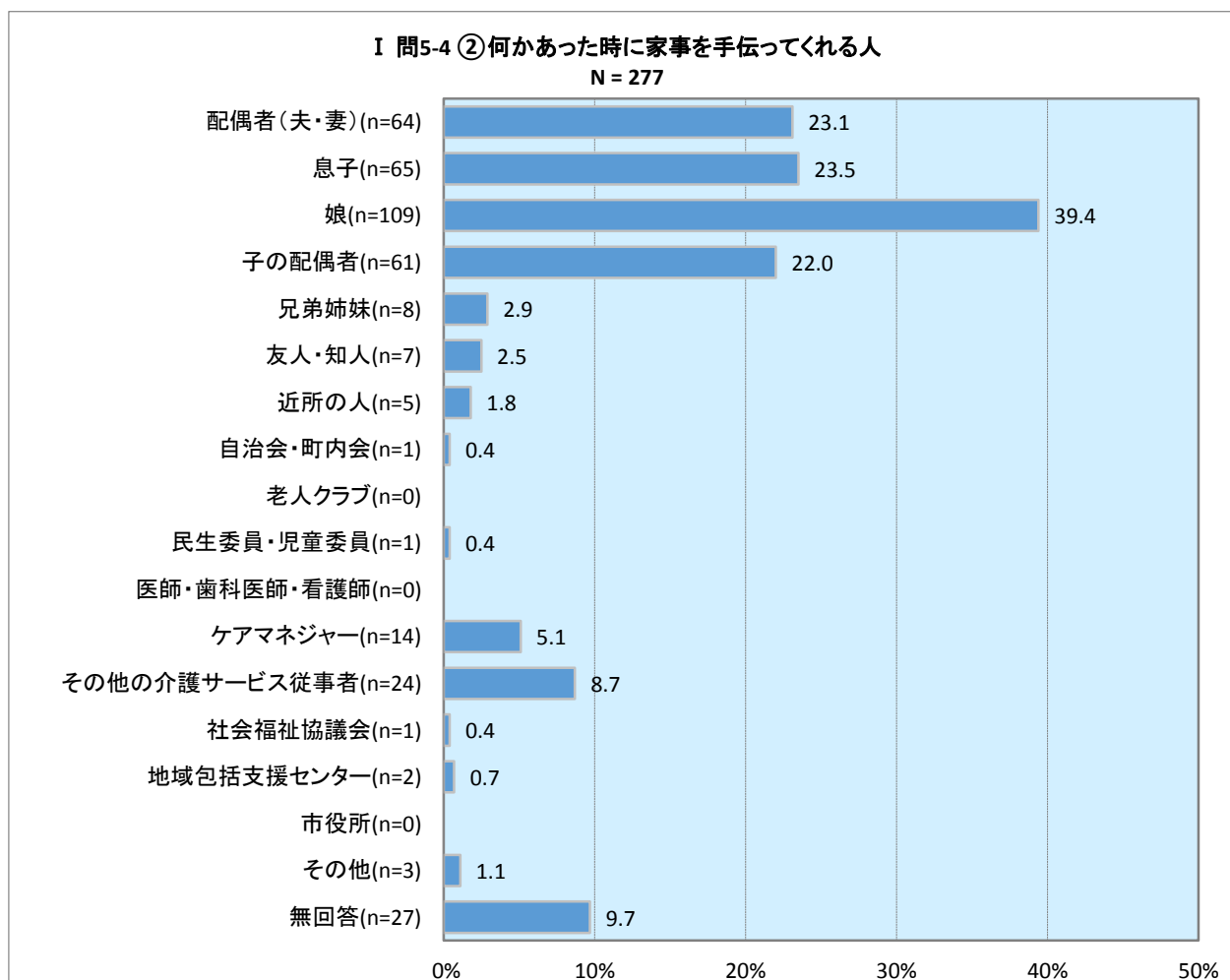
問5-2 何かあった時に家事を手伝ってくれる人の有無 (単一回答形式)

- 【何かあった時に家事を手伝ってくれる人の有無】は、「いる」が76.5% (277件)、「いない」が16.6% (60件)となっています。



問5-4 ②何かあった時に家事を手伝ってくれる人 (複数回答形式)

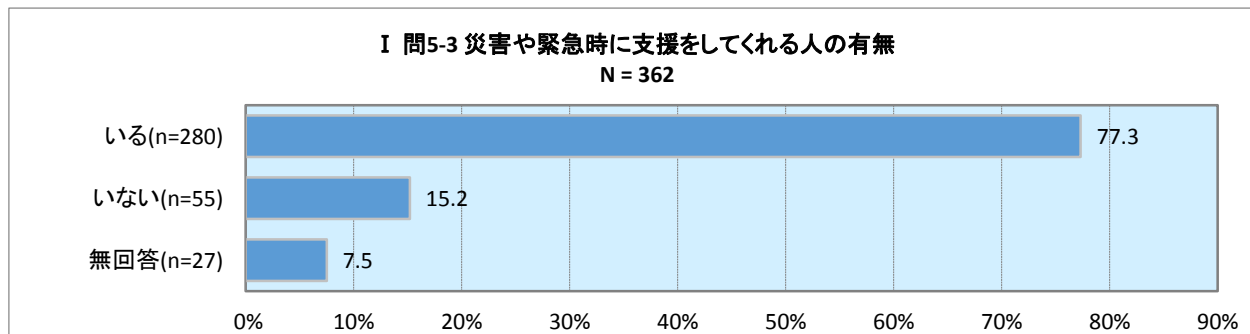
- 【何かあった時に家事を手伝ってくれる人】は、「娘」が最多で39.4% (109件)、次いで、「息子」が23.5% (65件)、「配偶者 (夫・妻)」が23.1% (64件)となっています。



回答条件：【I 問5-2 何かあった時に家事を手伝ってくれる人の有無】で、「いる」の場合のみ回答

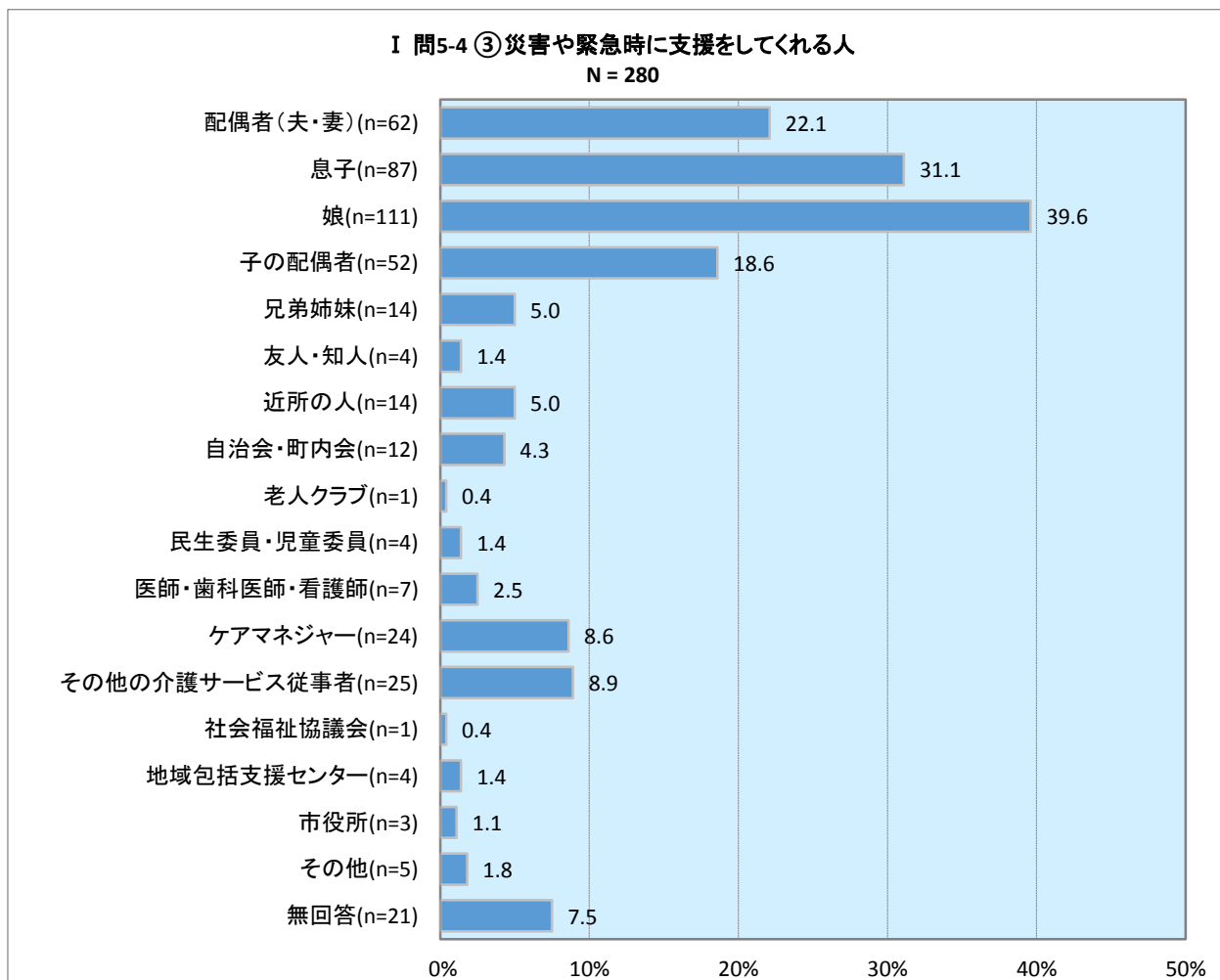
問5-3 災害や緊急時に支援をしてくれる人の有無 (単一回答形式)

●【災害や緊急時に支援をしてくれる人の有無】は、「いる」が77.3% (280件)、「いない」が15.2% (55件) となっています。



問5-4 ③災害や緊急時に支援をしてくれる人 (複数回答形式)

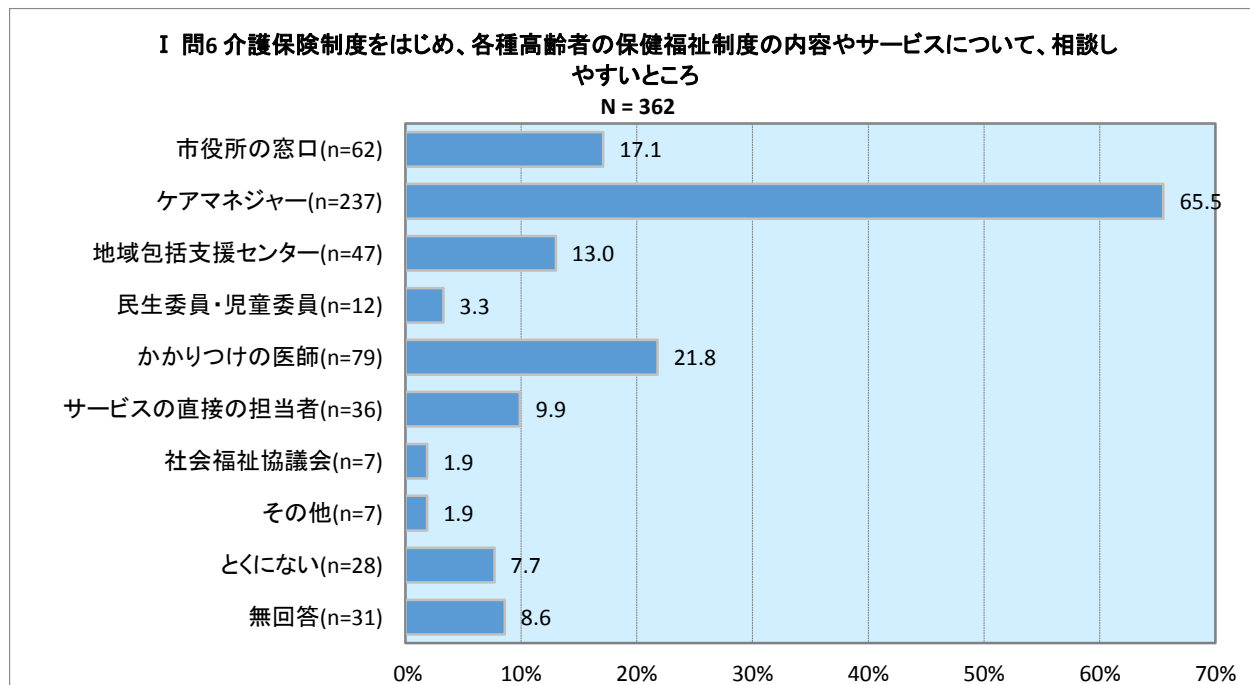
●【災害や緊急時に支援をしてくれる人】は、「娘」が最多で39.6% (111件)、次いで、「息子」が31.1% (87件)、「配偶者 (夫・妻)」が22.1% (62件) となっています。



回答条件：【I 問5-3 災害や緊急時に支援をしてくれる人の有無】で、「いる」の場合のみ回答

問6 制度の内容やサービスについて、相談しやすいところ（複数回答形式）

- 【介護保険制度をはじめ、各種高齢者の保健福祉制度の内容やサービスについて、相談しやすいところ】は、「ケアマネジャー」が最多で65.5%（237件）、次いで、「かかりつけの医師」が21.8%（79件）、「市役所の窓口」が17.1%（62件）となっています。



【クロス集計結果一覧】（上位1位をセルに色付け）

- 「年齢別」「家族構成別」「要介護度別」「居住地域別」にみると、すべての属性で「ケアマネジャー」が最多となっています。

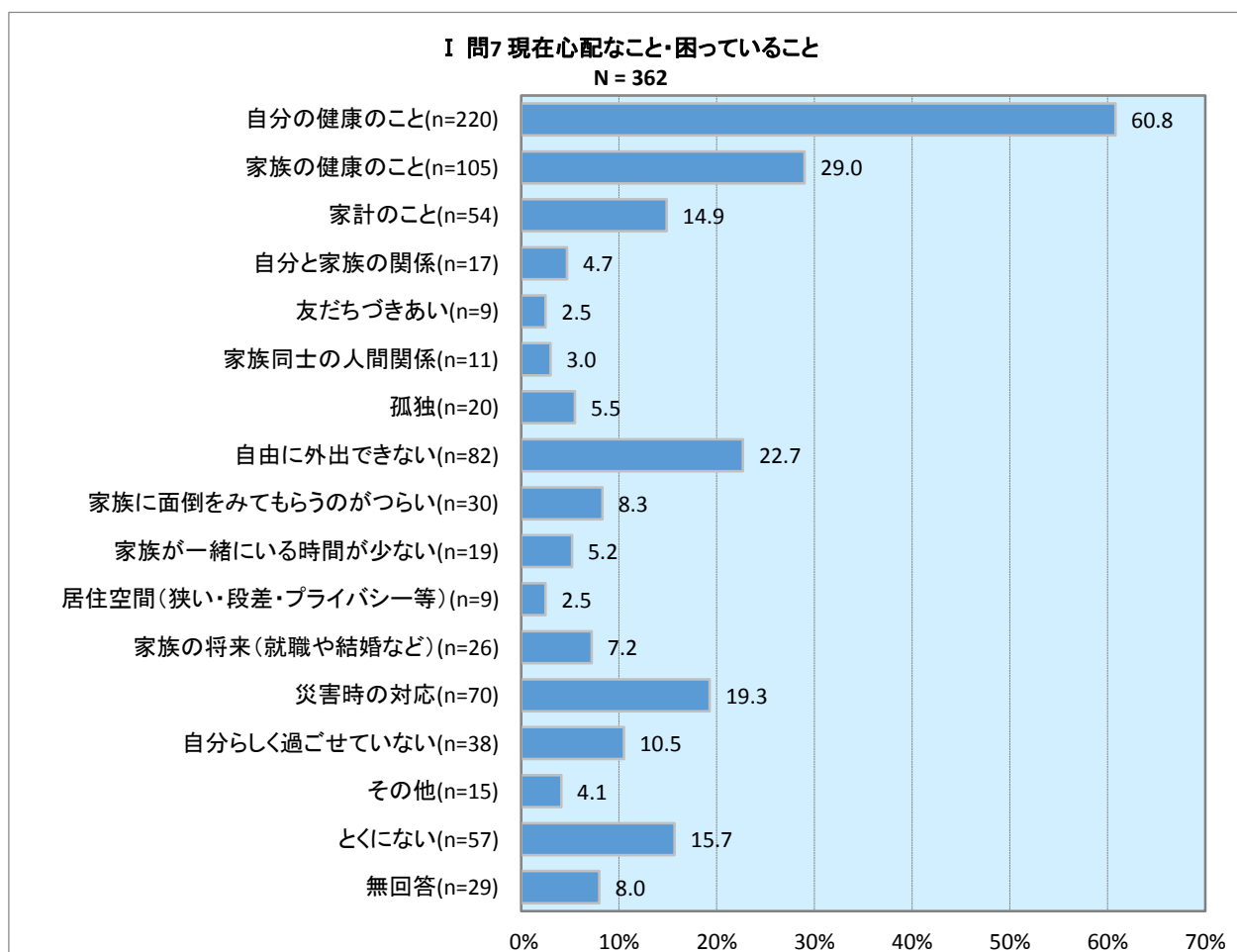
上段:度数		I 問6 介護保険制度をはじめ、各種高齢者の保健福祉制度の内容やサービスについて、相談しやすいところ										
下段:%		合計	市役所の窓口	ケアマネジャー	地域包括支援センター	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	サービスの直接の担当者	社会福祉協議会	その他	とくにない	無回答
全体		362	62	237	47	12	79	36	7	7	28	31
		100.0	17.1	65.5	13.0	3.3	21.8	9.9	1.9	1.9	7.7	8.6
I 問2 年齢	40～64歳	8	3	6	1	-	2	-	-	-	-	2
		100.0	37.5	75.0	12.5	-	25.0	-	-	-	-	25.0
	65～69歳	13	1	9	3	1	5	3	-	-	2	2
		100.0	7.7	69.2	23.1	7.7	38.5	23.1	-	-	15.4	15.4
	70～74歳	18	2	10	2	-	4	1	-	-	1	2
		100.0	11.1	55.6	11.1	-	22.2	5.6	-	-	5.6	11.1
	75～79歳	55	12	34	5	1	11	6	-	1	9	1
	100.0	21.8	61.8	9.1	1.8	20.0	10.9	-	1.8	16.4	1.8	
80～84歳	77	16	51	16	3	18	2	2	2	5	6	
	100.0	20.8	66.2	20.8	3.9	23.4	2.6	2.6	2.6	6.5	7.8	
85歳以上	187	28	124	20	7	39	24	5	4	11	17	
	100.0	15.0	66.3	10.7	3.7	20.9	12.8	2.7	2.1	5.9	9.1	
無回答	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	
	100.0	-	75.0	-	-	-	-	-	-	-	25.0	

第3編 要介護認定者調査結果 (I あなたとあなたのご家族の生活状況)

上段:度数 下段:%		I 問6 介護保険制度をはじめ、各種高齢者の保健福祉制度の内容やサービスについて、相談しやすいところ										
		合計	市役所の窓口	ケアマネジャー	地域包括支援センター	民生委員・児童委員	かかりつけの医師	サービスの直接の担当者	社会福祉協議会	その他	とくにな	無回答
I 問3-1 家族構成	ひとり暮らし	99 100.0	14 14.1	64 64.6	15 15.2	7 7.1	21 21.2	11 11.1	4 4.0	2 2.0	8 8.1	7 7.1
	配偶者のみ(あなたと二人世帯)	91 100.0	17 18.7	60 65.9	12 13.2	2 2.2	20 22.0	8 8.8	2 2.2	-	9 9.9	7 7.7
	配偶者以外の65歳以上の方との世帯	37 100.0	4 10.8	24 64.9	2 5.4	-	10 27.0	5 13.5	-	-	3 8.1	4 10.8
	その他の世帯(同居世帯)	116 100.0	25 21.6	78 67.2	18 15.5	3 2.6	26 22.4	11 9.5	1 0.9	5 4.3	5 4.3	10 8.6
	無回答	19 100.0	2 10.5	11 57.9	-	-	2 10.5	1 5.3	-	-	3 15.8	3 15.8
I 問4-1 要介護度	要支援1	58 100.0	11 19.0	32 55.2	12 20.7	4 6.9	13 22.4	2 3.4	1 1.7	3 5.2	7 12.1	1 1.7
	要支援2	64 100.0	17 26.6	36 56.3	17 26.6	3 4.7	17 26.6	6 9.4	3 4.7	-	5 7.8	2 3.1
	要介護1	35 100.0	5 14.3	25 71.4	1 2.9	1 2.9	6 17.1	7 20.0	1 2.9	1 2.9	5 14.3	2 5.7
	要介護2	67 100.0	6 9.0	52 77.6	7 10.4	2 3.0	13 19.4	5 7.5	-	2 3.0	4 6.0	6 9.0
	要介護3	47 100.0	6 12.8	37 78.7	4 8.5	-	10 21.3	3 6.4	1 2.1	-	3 6.4	3 6.4
	要介護4	34 100.0	3 8.8	24 70.6	1 2.9	-	5 14.7	3 8.8	-	1 2.9	4 11.8	4 11.8
	要介護5	41 100.0	10 24.4	26 63.4	4 9.8	1 2.4	12 29.3	10 24.4	1 2.4	-	-	7 17.1
	わからない	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-	-	1 33.3	-	-	-	-	-
	無回答	13 100.0	2 15.4	4 30.8	1 7.7	1 7.7	2 15.4	-	-	-	-	6 46.2
I 問9-2 居住地域	逗子	51 100.0	12 23.5	32 62.7	5 9.8	1 2.0	13 25.5	7 13.7	-	-	2 3.9	6 11.8
	桜山	49 100.0	2 4.1	36 73.5	6 12.2	1 2.0	4 8.2	3 6.1	1 2.0	-	5 10.2	4 8.2
	沼間	51 100.0	11 21.6	32 62.7	6 11.8	-	10 19.6	5 9.8	1 2.0	1 2.0	4 7.8	4 7.8
	池子	42 100.0	8 19.0	26 61.9	6 14.3	2 4.8	7 16.7	2 4.8	3 7.1	1 2.4	7 16.7	2 4.8
	山の根	24 100.0	2 8.3	19 79.2	-	1 4.2	6 25.0	4 16.7	-	1 4.2	1 4.2	2 8.3
	久木	57 100.0	13 22.8	31 54.4	5 8.8	1 1.8	13 22.8	8 14.0	-	2 3.5	4 7.0	3 5.3
	小坪	58 100.0	8 13.8	44 75.9	11 19.0	4 6.9	15 25.9	5 8.6	1 1.7	1 1.7	4 6.9	2 3.4
	新宿	23 100.0	6 26.1	16 69.6	7 30.4	2 8.7	11 47.8	2 8.7	1 4.3	1 4.3	1 4.3	2 8.7
	無回答	7 100.0	-	1 14.3	1 14.3	-	-	-	-	-	-	6 85.7

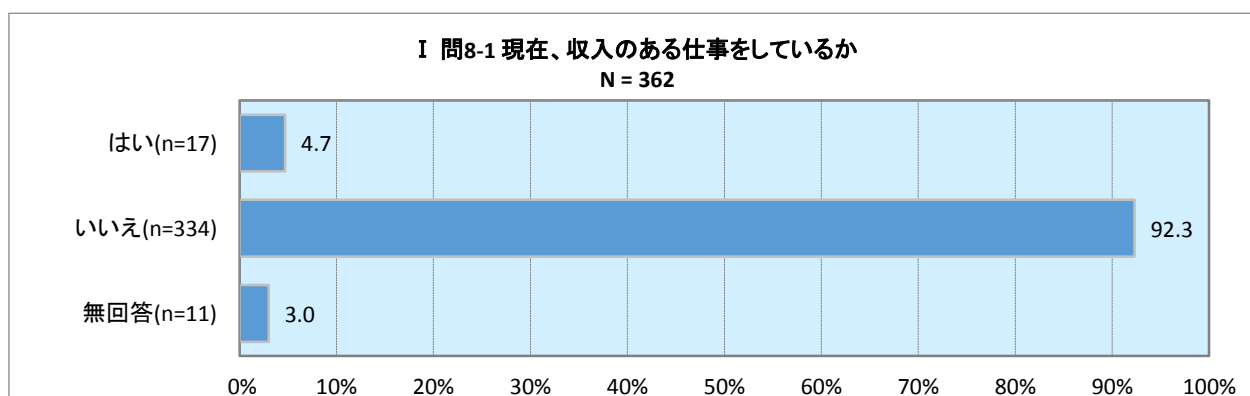
問7 現在心配なこと・困っていること (複数回答形式)

●【現在心配なこと・困っていること】は、「自分の健康のこと」が最多で60.8% (220件)、次いで、「家族の健康のこと」が29.0% (105件)、「自由に外出できない」が22.7% (82件) となっています。



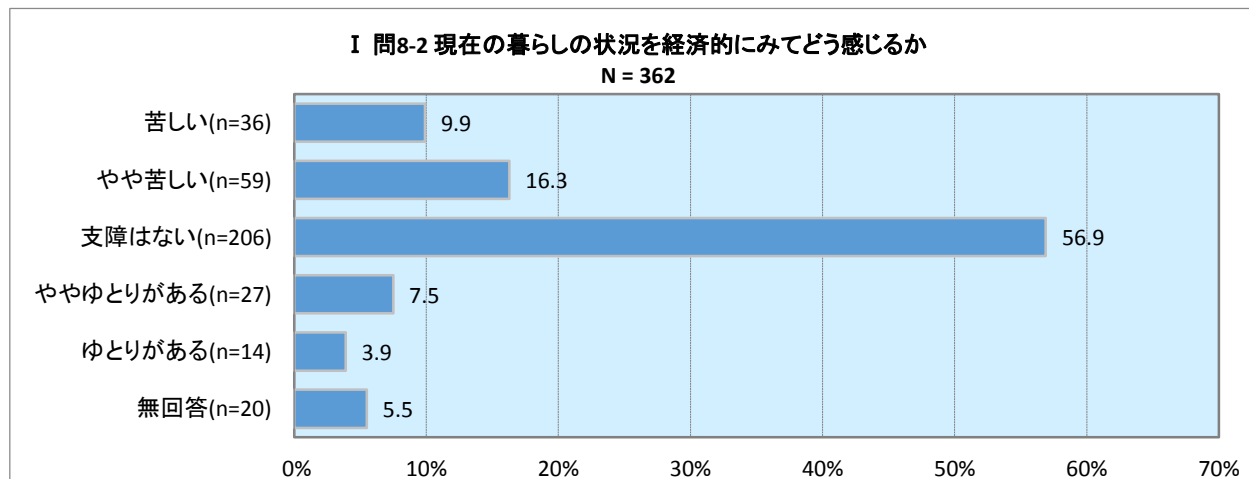
問8-1 現在、収入のある仕事をしているか (単一回答形式)

●【現在、収入のある仕事をしているか】は、「はい」が4.7% (17件)、「いいえ」が92.3% (334件) となっています。



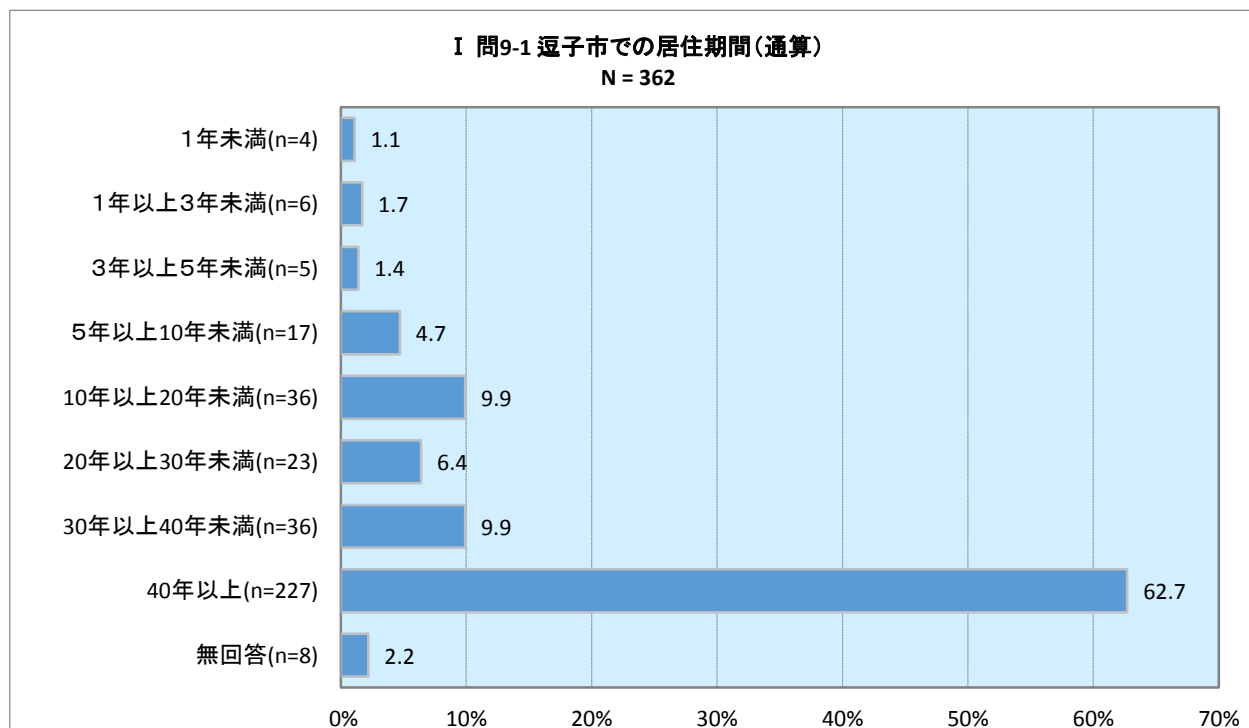
問8-2 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じるか (単一回答形式)

- 【現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じるか】は、「支障はない」が最多で 56.9% (206 件)、次いで、「やや苦しい」が 16.3% (59 件)、「苦しい」が 9.9% (36 件) となっています。



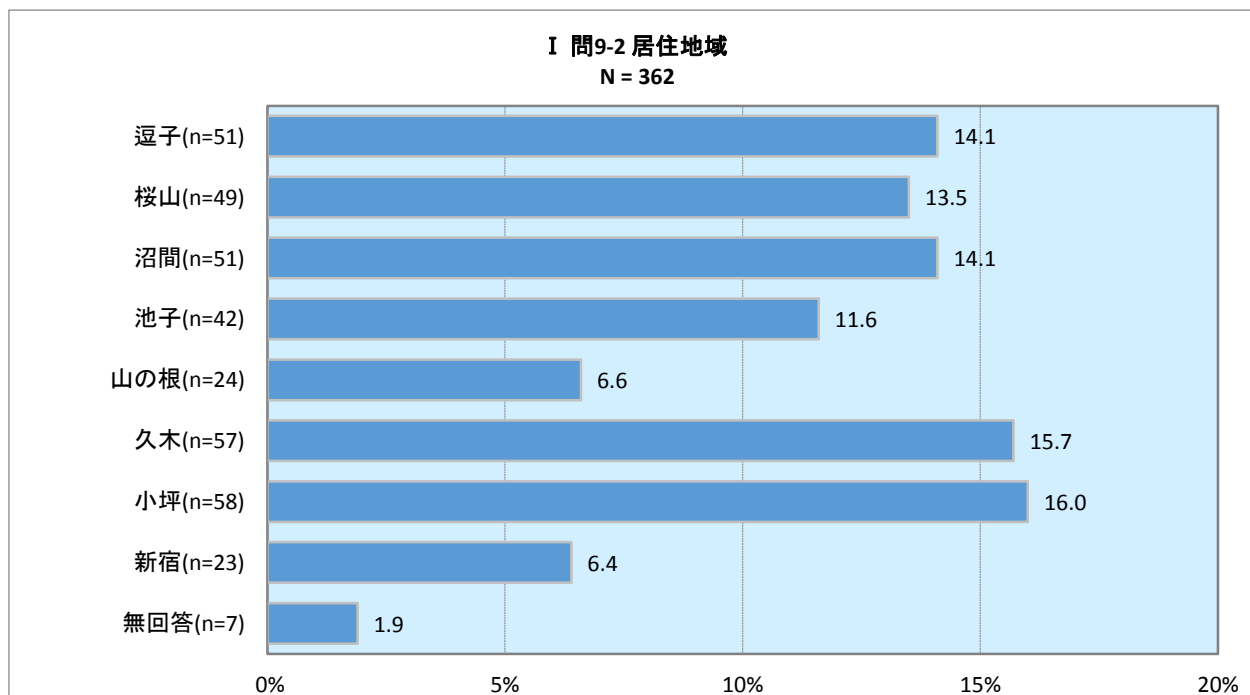
問9-1 逗子市での居住期間 (通算) (単一回答形式)

- 【逗子市での居住期間 (通算)】は、「40年以上」が最多で 62.7% (227 件)、次いで、「10年以上 20年未満」と「30年以上 40年未満」が 9.9% (36 件) となっています。



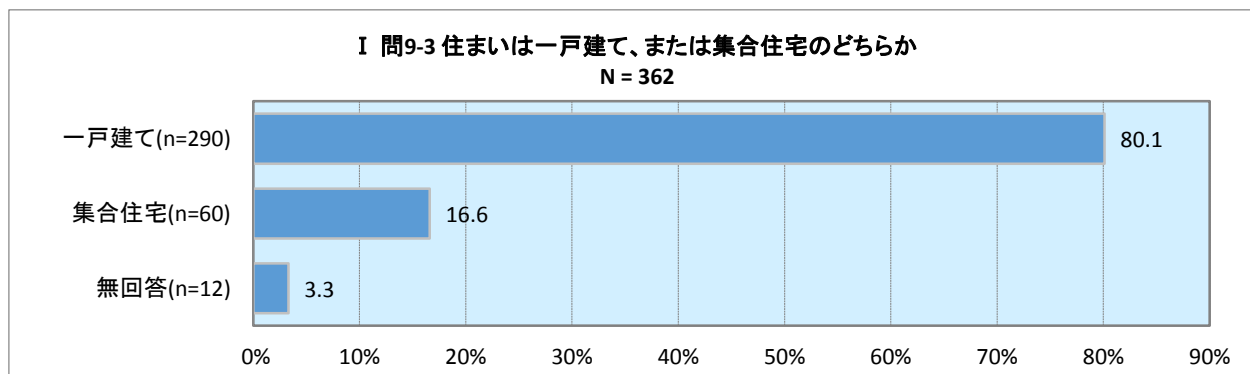
問9-2 居住地域 (単一回答形式)

- 【居住地域】は、「小坪」が最多で16.0% (58件)、次いで、「久木」が15.7% (57件)、「逗子」と「沼間」が14.1% (51件) となっています。



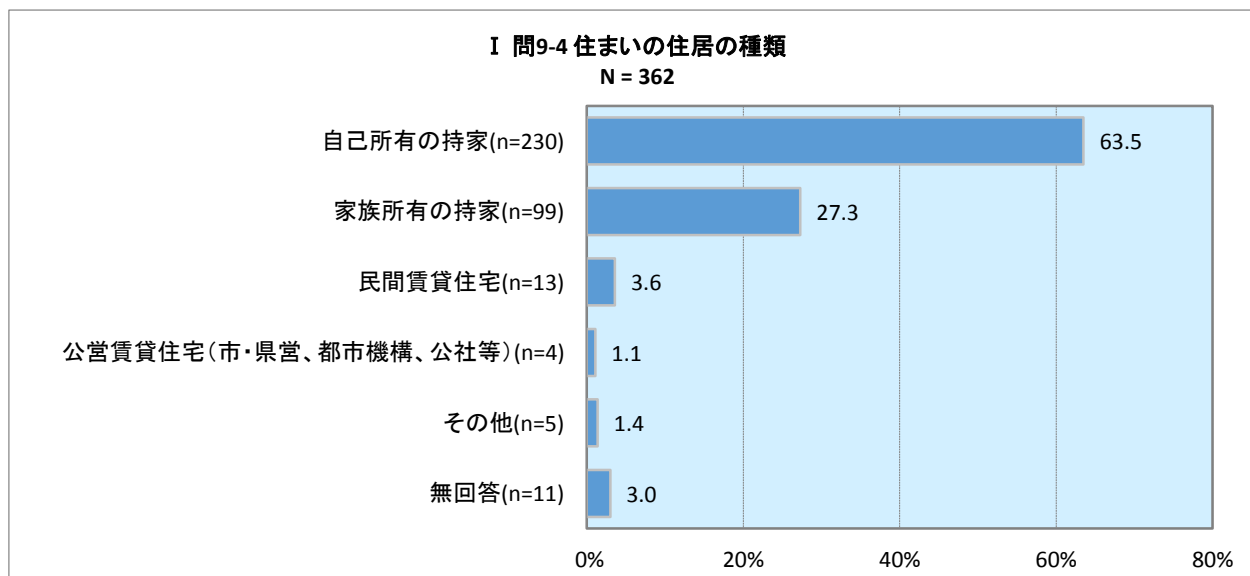
問9-3 住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらか (単一回答形式)

- 【住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらか】は、「一戸建て」が80.1% (290件)、「集合住宅」が16.6% (60件) となっています。



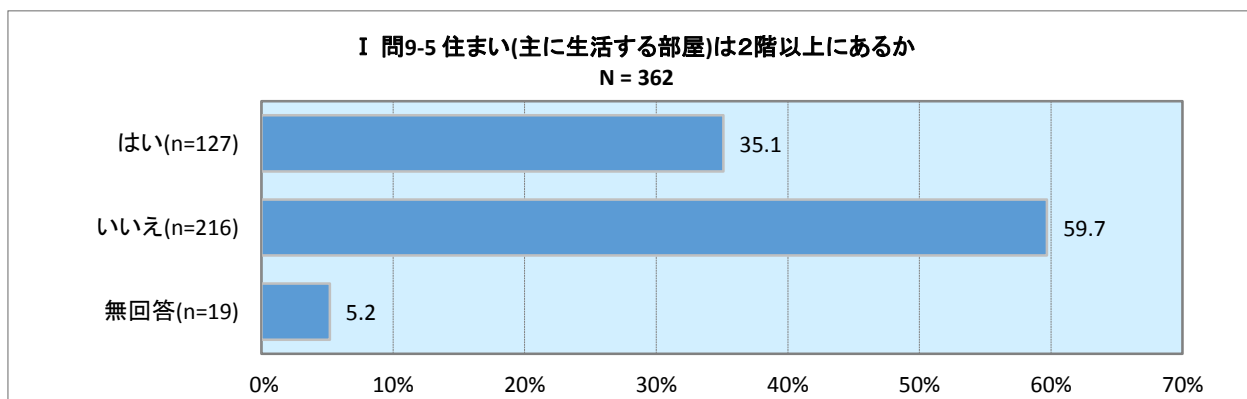
問9-4 住まいの住居の種類 (単一回答形式)

●【住まいの住居の種類】は、「自己所有の持家」が最多で63.5% (230件)、次いで、「家族所有の持家」が27.3% (99件)、「民間賃貸住宅」が3.6% (13件)となっています。



問9-5 住まい(主に生活する部屋)は2階以上にあるか (単一回答形式)

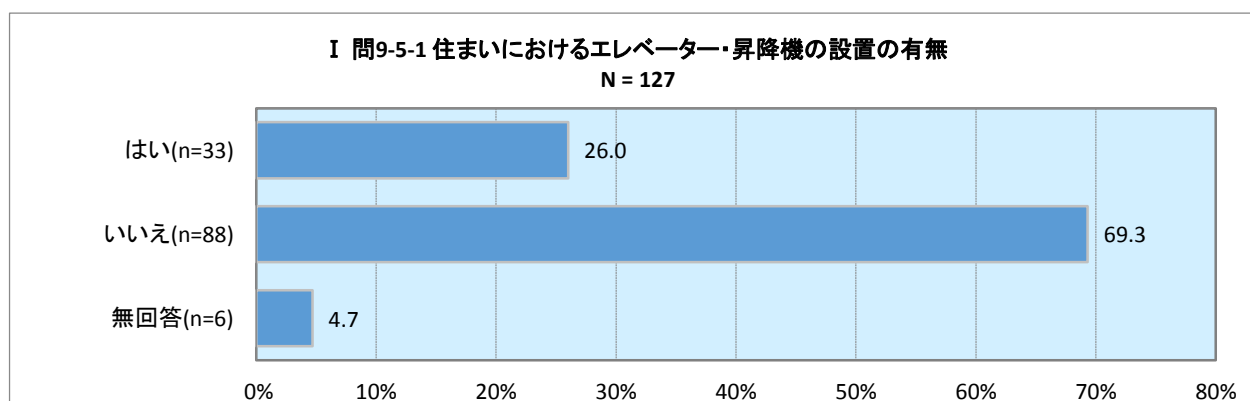
●【住まい(主に生活する部屋)は2階以上にあるか】は、「はい」が35.1% (127件)、「いいえ」が59.7% (216件)となっています。





問9-5-1 住まいにおけるエレベーター・昇降機の設置の有無 (単一回答形式)

- 【住まいにおけるエレベーター・昇降機の設置の有無】は、「はい」が26.0% (33件)、「いいえ」が69.3% (88件) となっています。

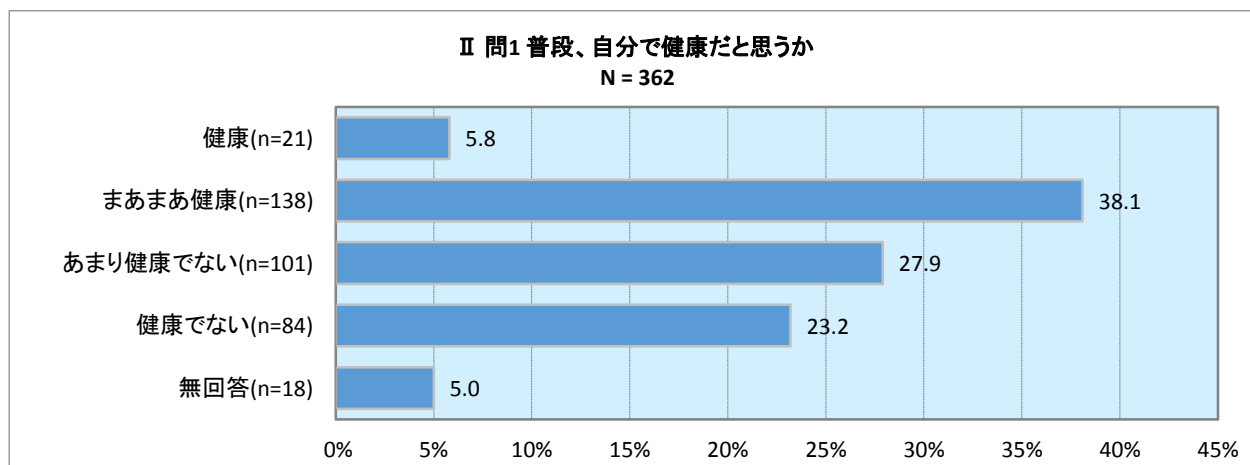


回答条件：【I 問 9-5 住まい(主に生活する部屋)は2階以上にあるか】で、「はい」(2階以上あり)の場合のみ回答

## Ⅱ 健康状態

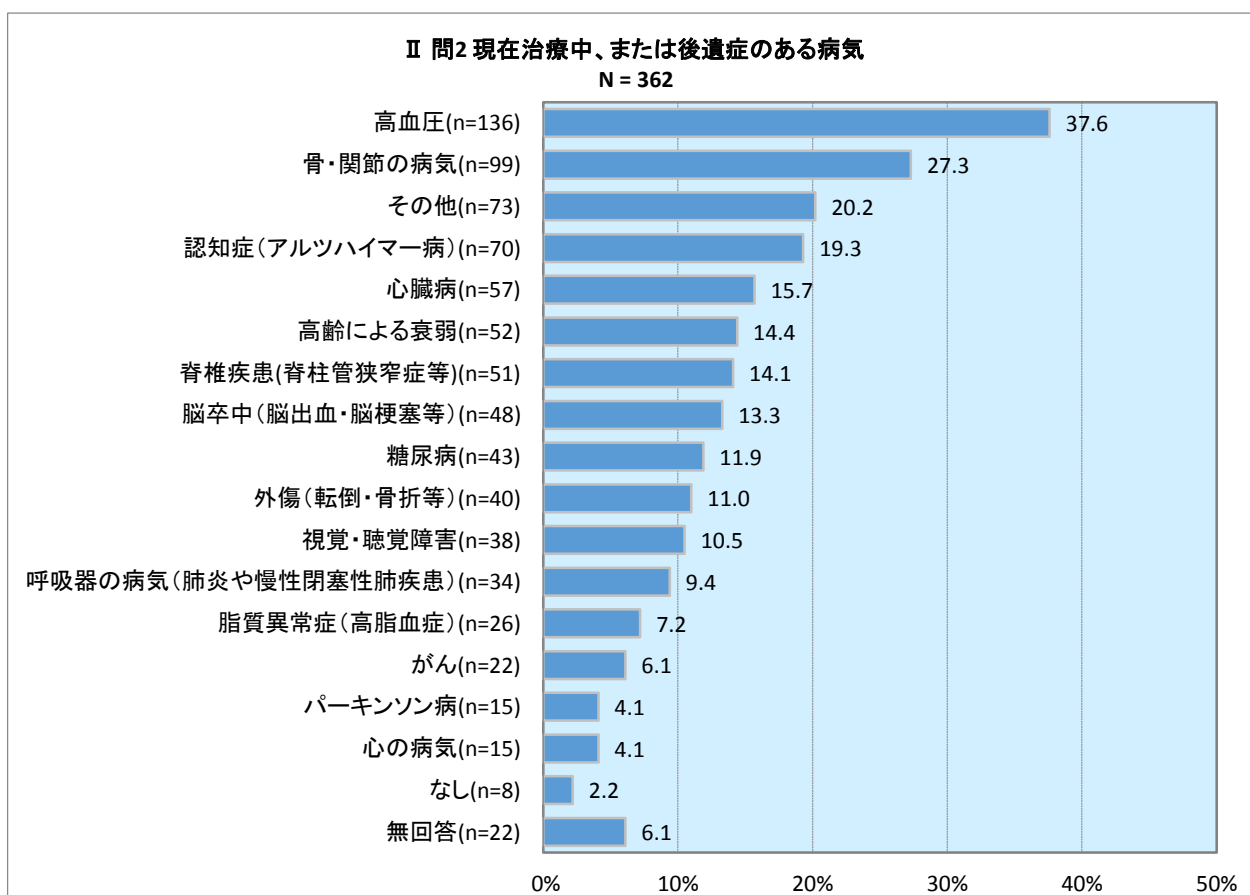
## 問1 普段、自分で健康だと思うか（単一回答形式）

- 【普段、自分で健康だと思うか】は、「まあまあ健康」が最多で38.1%（138件）、次いで、「あまり健康でない」が27.9%（101件）、「健康でない」が23.2%（84件）となっています。



## 問2 現在治療中、または後遺症のある病気（複数回答形式）

- 【現在治療中、または後遺症のある病気】は、「高血圧」が最多で37.6%（136件）、次いで、「骨・関節の病気」が27.3%（99件）、「その他」が20.2%（73件）となっています。

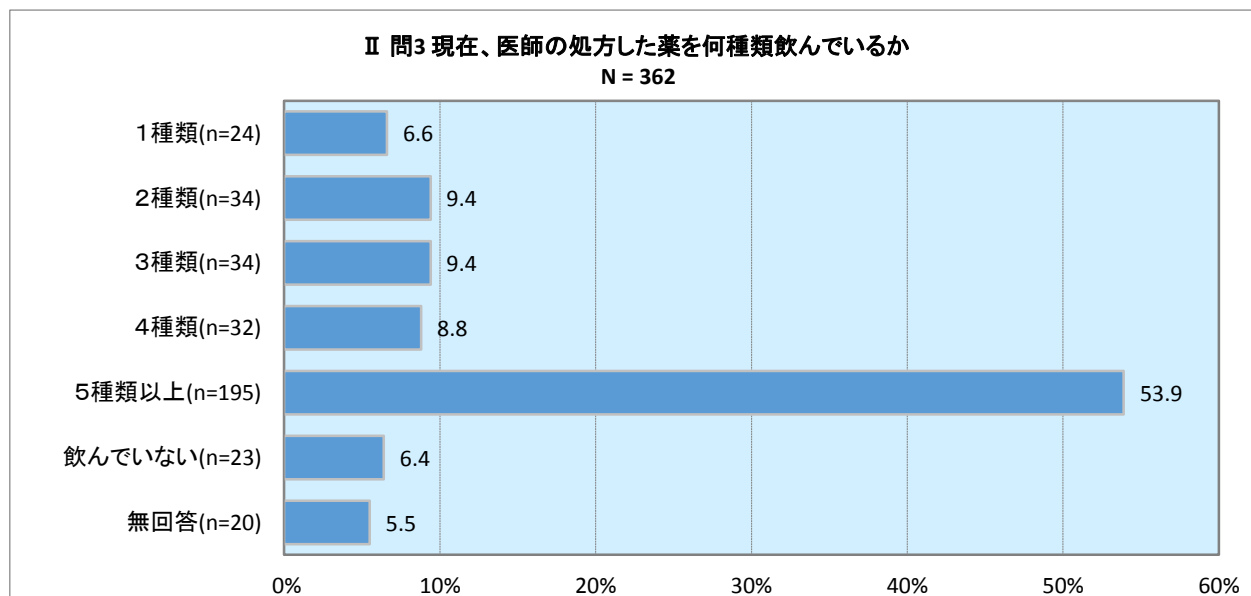


## その他

- |                             |                              |              |
|-----------------------------|------------------------------|--------------|
| ・足、腰等の痛み、違和感 (9件)           | ・尿トラブル (7件)                  | ・リウマチ (5件)   |
| ・腎疾患 (4件)                   | ・歯 (4件)                      | ・視力の衰え (3件)  |
| ・脳神経 (3件)                   | ・てんかん (2件)                   | ・めまい (2件)    |
| ・正常圧水頭症 (2件)                | ・多発性硬化症 (2件)                 | ・透析中 (2件)    |
| ・うつ病 (1件)                   | ・ころびやすい、忘れっぽい (1件)           |              |
| ・ぜんそく、肺気腫 (1件)              | ・認知症 (1件)                    | ・胃弱 (1件)     |
| ・黄色靭帯骨化症で手術 (1件)            | ・花粉症 (1件)                    |              |
| ・原発性胆汁性肝硬変 (1件)             | ・呼吸器が弱い (1件)                 |              |
| ・骨髄異形成症候群 (1件)              | ・骨折した両大腿骨が痛くなる (1件)          |              |
| ・左目緑内障術後失明 (1件)             | ・肢体型ジフトロフィ (1件)              | ・失語症 (1件)    |
| ・食道がん手術で胃を食道にした (1件)        | ・神経か通院中、不安神経症 (1件)           |              |
| ・水頭症の手術後のケア (1件)            | ・前立腺がん (1件)                  |              |
| ・前立腺肥大症 (1件)                | ・腸閉そく予防 (1件)                 | ・頭 (精神) (1件) |
| ・年令によるおとろえによるもの (1件)        | ・背骨補強手術後の定期健診。その他にリンパ浮腫 (1件) |              |
| ・皮膚科疾患 (アレルギー、アトピーetc) (1件) |                              |              |
| ・不整脈 (1件)                   | ・類天疱瘡 (1件)                   | ・貧血、浮腫 (1件)  |

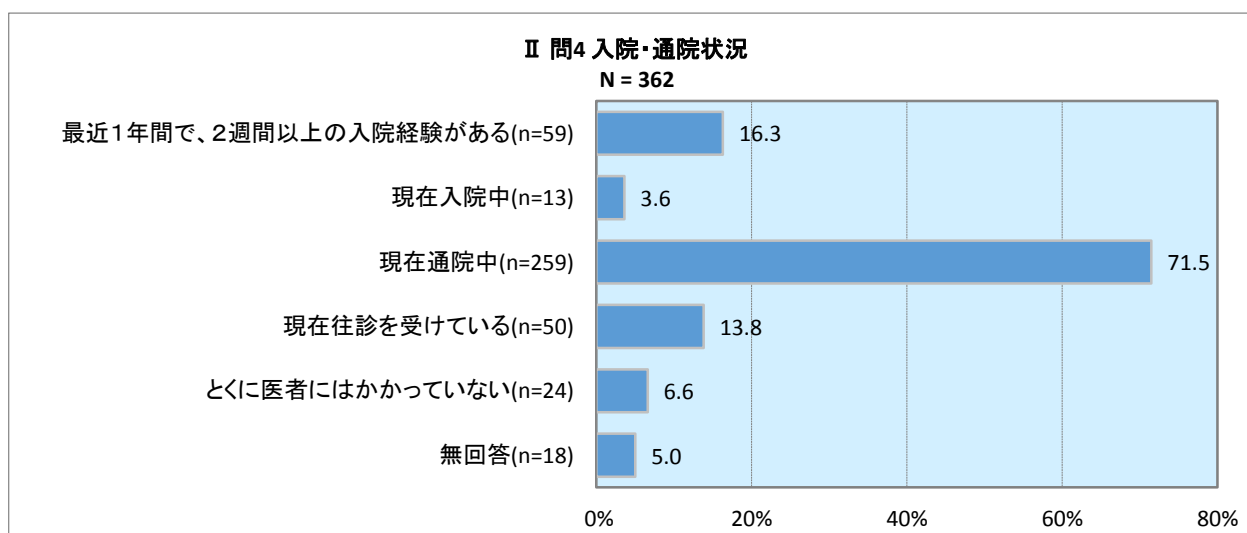
問3 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいるか（単一回答形式）

●【現在、医師の処方した薬を何種類飲んでいるか】は、「5種類以上」が最多で53.9%（195件）、次いで、「2種類」と「3種類」が9.4%（34件）となっています。



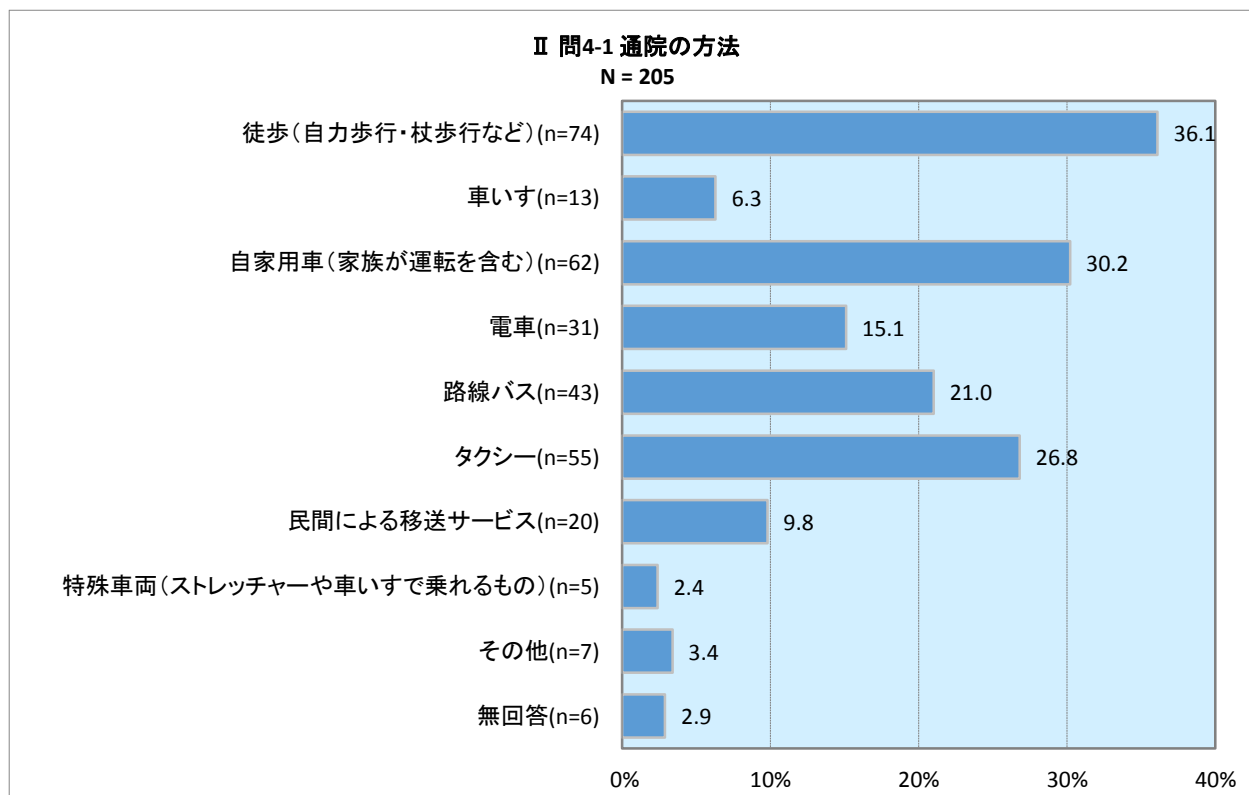
問4 入院・通院状況（複数回答形式）

●【入院・通院状況】は、「現在通院中」が最多で71.5%（259件）、次いで、「最近1年間で、2週間以上の入院経験がある」が16.3%（59件）、「現在往診を受けている」が13.8%（50件）となっています。



問4-1 通院の方法（複数回答形式）

- 【通院の方法】は、「徒歩（自力歩行・杖歩行など）」が最多で36.1%（74件）、次いで、「自家用車（家族が運転を含む）」が30.2%（62件）、「タクシー」が26.8%（55件）となっています。



回答条件：【Ⅱ 問4 入院・通院状況】で、「現在通院中」の場合のみ回答

【クロス集計結果一覧】（上位1位をセルに色付け）

- 「年齢別」「家族構成別」「要介護度別」「居住地域別」における違いが見られます。

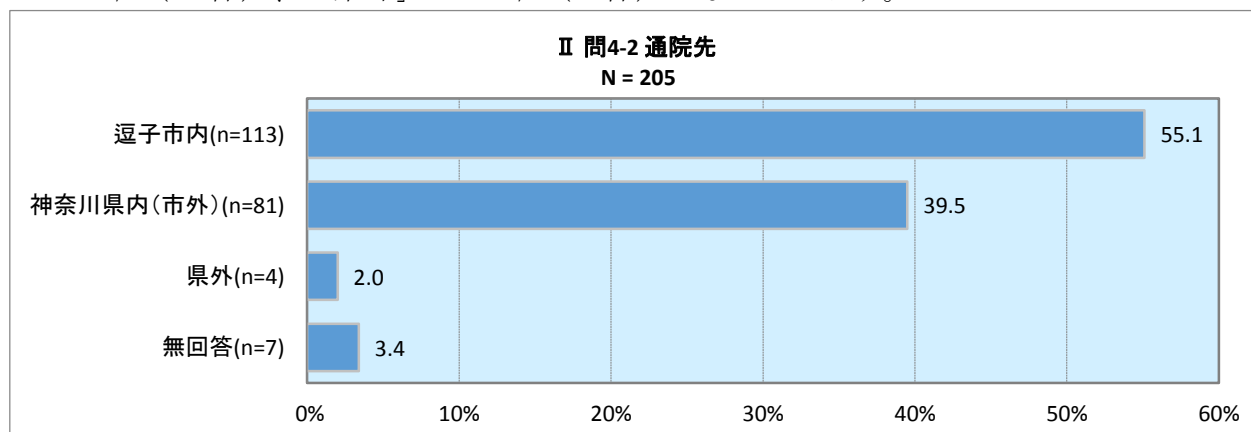
上段: 度数	下段: %	Ⅱ 問4-1 通院の方法										
		合計	徒歩 (自力歩行・杖歩行など)	車いす	自家用車 (家族が運転を含む)	電車	路線バス	タクシー	民間による移送サービス	特殊車両	その他	無回答
全体	205	100.0	74 36.1	13 6.3	62 30.2	31 15.1	43 21.0	55 26.8	20 9.8	5 2.4	7 3.4	6 2.9
Ⅰ 問2 年齢	40～64歳	2	-	2 100.0	-	-	-	-	-	-	1 50.0	-
	65～69歳	5	1 20.0	1 20.0	2 40.0	-	-	-	1 20.0	1 20.0	-	1 20.0
	70～74歳	9	3 33.3	-	5 55.6	3 33.3	2 22.2	2 22.2	-	-	-	-
	75～79歳	39	15 38.5	2 5.1	7 17.9	6 15.4	10 25.6	15 38.5	9 23.1	-	1 2.6	1 2.6
	80～84歳	52	18 34.6	3 5.8	15 28.8	13 25.0	16 30.8	9 17.3	3 5.8	1 1.9	1 1.9	2 3.8
	85歳以上	97	36 37.1	5 5.2	33 34.0	9 9.3	15 15.5	29 29.9	7 7.2	3 3.1	4 4.1	2 2.1
	無回答	1	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3編 要介護認定者調査結果 (II 健康状態)

上段:度数 下段:%		II 問4-1 通院の方法										
		合計	徒歩 (自力歩行・杖歩行など)	車いす	自家用車(家族が運転を含む)	電車	路線バス	タクシー	民間による移送サービス	特殊車両	その他	無回答
I 問3-1 家族構成	ひとり暮らし	54 100.0	25 46.3	-	11 20.4	9 16.7	17 31.5	15 27.8	2 3.7	-	3 5.6	2 3.7
	配偶者のみ(あなたと二人世帯)	49 100.0	17 34.7	4 8.2	11 22.4	11 22.4	13 26.5	15 30.6	9 18.4	1 2.0	-	1 2.0
	配偶者以外の65歳以上の方との世帯	25 100.0	6 24.0	2 8.0	11 44.0	4 16.0	2 8.0	6 24.0	2 8.0	2 8.0	1 4.0	-
	その他の世帯(同居世帯)	68 100.0	21 30.9	7 10.3	28 41.2	6 8.8	8 11.8	17 25.0	7 10.3	2 2.9	3 4.4	2 2.9
	無回答	9 100.0	5 55.6	-	1 11.1	1 11.1	3 33.3	2 22.2	-	-	-	1 11.1
I 問4-1 要介護度	要支援1	42 100.0	24 57.1	-	14 33.3	14 33.3	13 31.0	7 16.7	1 2.4	-	-	1 2.4
	要支援2	51 100.0	22 43.1	-	7 13.7	10 19.6	16 31.4	20 39.2	1 2.0	-	1 2.0	2 3.9
	要介護1	23 100.0	10 43.5	2 8.7	7 30.4	3 13.0	2 8.7	2 8.7	5 21.7	1 4.3	2 8.7	-
	要介護2	37 100.0	11 29.7	2 5.4	15 40.5	1 2.7	5 13.5	12 32.4	7 18.9	-	1 2.7	-
	要介護3	24 100.0	2 8.3	2 8.3	14 58.3	1 4.2	1 4.2	8 33.3	2 8.3	1 4.2	1 4.2	-
	要介護4	10 100.0	1 10.0	5 50.0	2 20.0	1 10.0	2 20.0	2 20.0	1 10.0	1 10.0	-	-
	要介護5	8 100.0	-	2 25.0	3 37.5	-	-	1 12.5	3 37.5	2 25.0	2 25.0	-
	わからない	1 100.0	-	-	-	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-
	無回答	9 100.0	4 44.4	-	-	-	3 33.3	2 22.2	-	-	-	3 33.3
I 問9-2 居住地域	逗子	28 100.0	14 50.0	3 10.7	9 32.1	5 17.9	2 7.1	2 7.1	3 10.7	-	2 7.1	1 3.6
	桜山	33 100.0	9 27.3	4 12.1	11 33.3	4 12.1	6 18.2	11 33.3	3 9.1	2 6.1	-	1 3.0
	沼間	31 100.0	9 29.0	2 6.5	8 25.8	5 16.1	5 35.5	11 25.8	8 9.7	-	-	1 3.2
	池子	21 100.0	9 42.9	1 4.8	3 14.3	8 38.1	8 42.9	9 23.8	5 14.3	3 -	1 4.8	-
	山の根	12 100.0	3 25.0	1 8.3	5 41.7	2 16.7	2 16.7	4 33.3	1 8.3	1 8.3	-	1 8.3
	久木	35 100.0	15 42.9	1 2.9	12 34.3	5 14.3	4 11.4	12 34.3	3 8.6	2 5.7	-	1 2.9
	小坪	33 100.0	9 27.3	1 3.0	12 36.4	2 6.1	8 24.2	10 30.3	3 9.1	-	3 9.1	1 3.0
	新宿	10 100.0	5 50.0	-	1 10.0	-	1 10.0	3 30.0	1 10.0	-	1 10.0	-
	無回答	2 100.0	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-

問 4-2 通院先（単一回答形式）

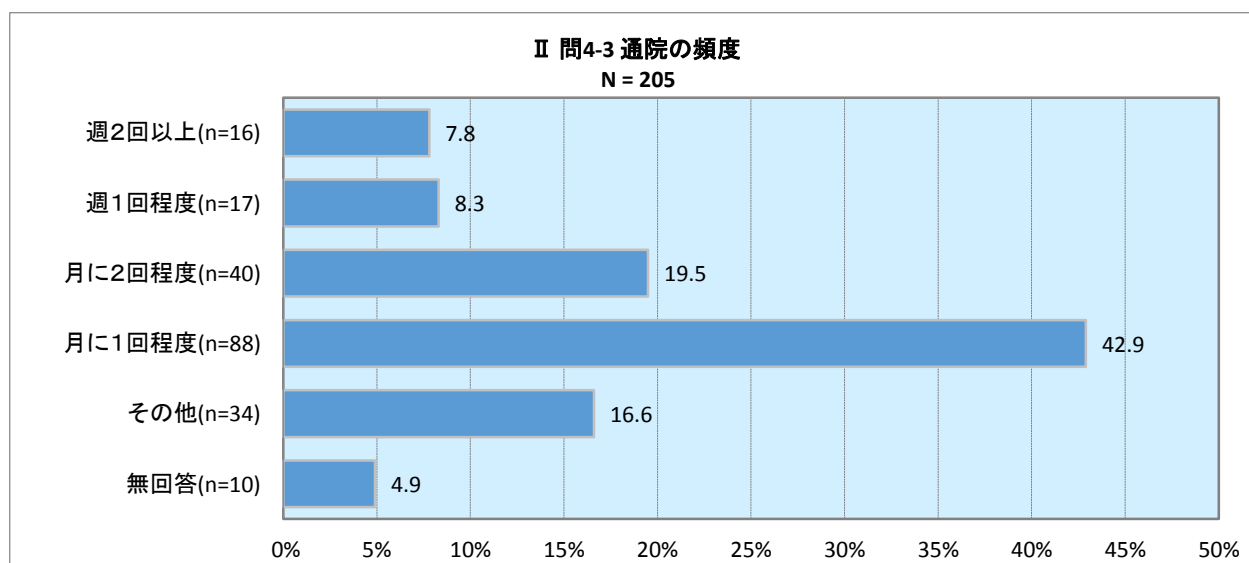
●【通院先】は、「逗子市内」が最多で 55.1%（113 件）、次いで、「神奈川県内（市外）」が 39.5%（81 件）、「県外」が 2.0%（4 件）となっています。



回答条件：【Ⅱ 問 4 入院・通院状況】で、「現在通院中」の場合のみ回答

問 4-3 通院の頻度（単一回答形式）

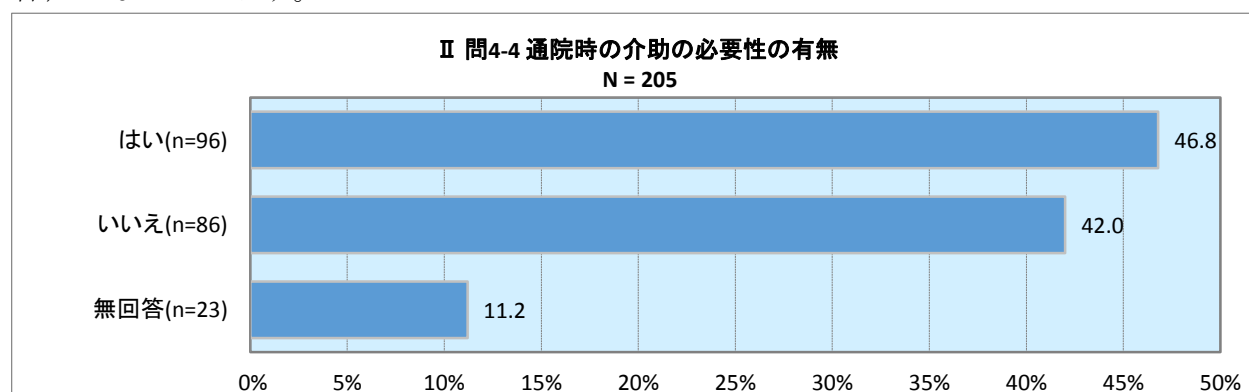
●【通院の頻度】は、「月に1回程度」が最多で 42.9%（88 件）、次いで、「月に2回程度」が 19.5%（40 件）、「その他」が 16.6%（34 件）となっています。



回答条件：【Ⅱ 問 4 入院・通院状況】で、「現在通院中」の場合のみ回答

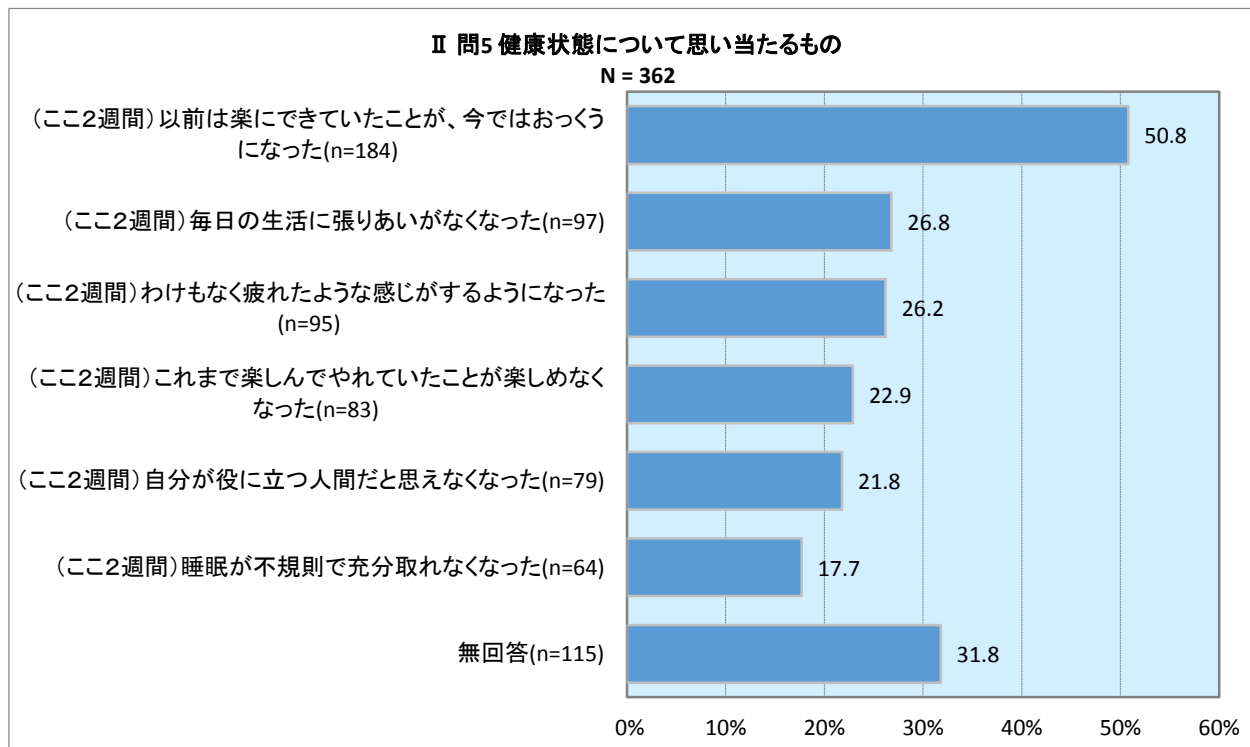
問 4-4 通院時の介助の必要性の有無（単一回答形式）

●【通院時の介助の必要性の有無】は、「はい」が 46.8%（96 件）、「いいえ」が 42.0%（86 件）となっています。



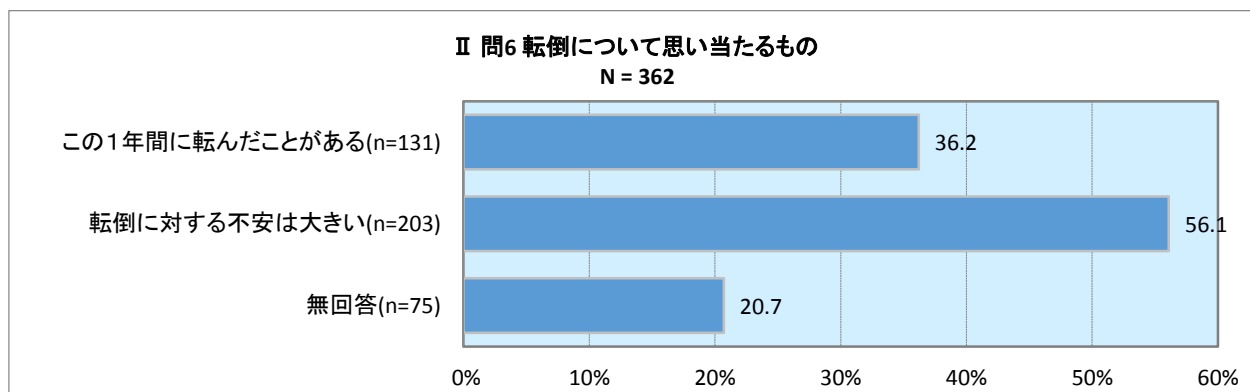
## 問5 健康状態について思い当たるもの（複数回答形式）

- 【健康状態について思い当たるもの】は、「（ここ2週間）以前は楽にできていたことが、今ではおっくうになった」が最多で50.8%（184件）、次いで、「（ここ2週間）毎日の生活に張りあいが無くなった」が26.8%（97件）、「（ここ2週間）わけもなく疲れたような感じがするようになった」が26.2%（95件）となっています。



## 問6 転倒について思い当たるもの（単一回答形式）

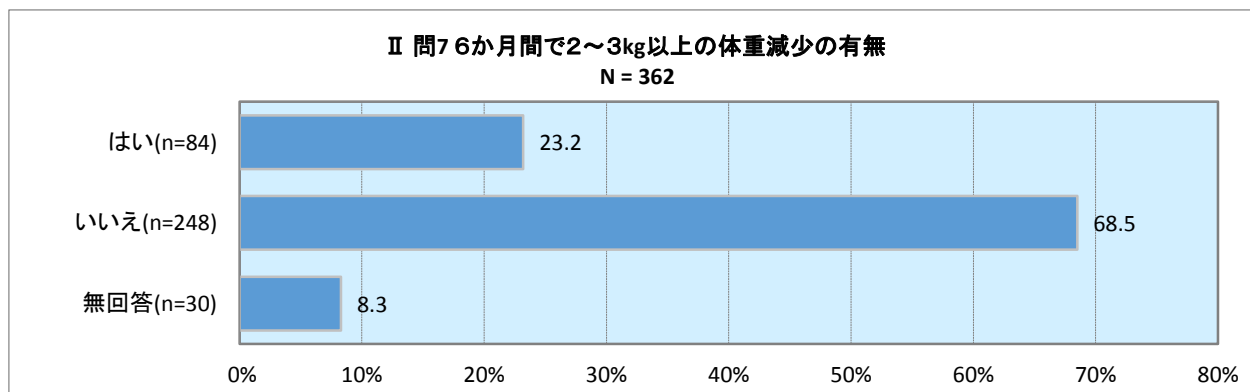
- 【転倒について思い当たるもの】は、「この1年間に転んだことがある」が36.2%（131件）、「転倒に対する不安は大きい」が56.1%（203件）となっています。





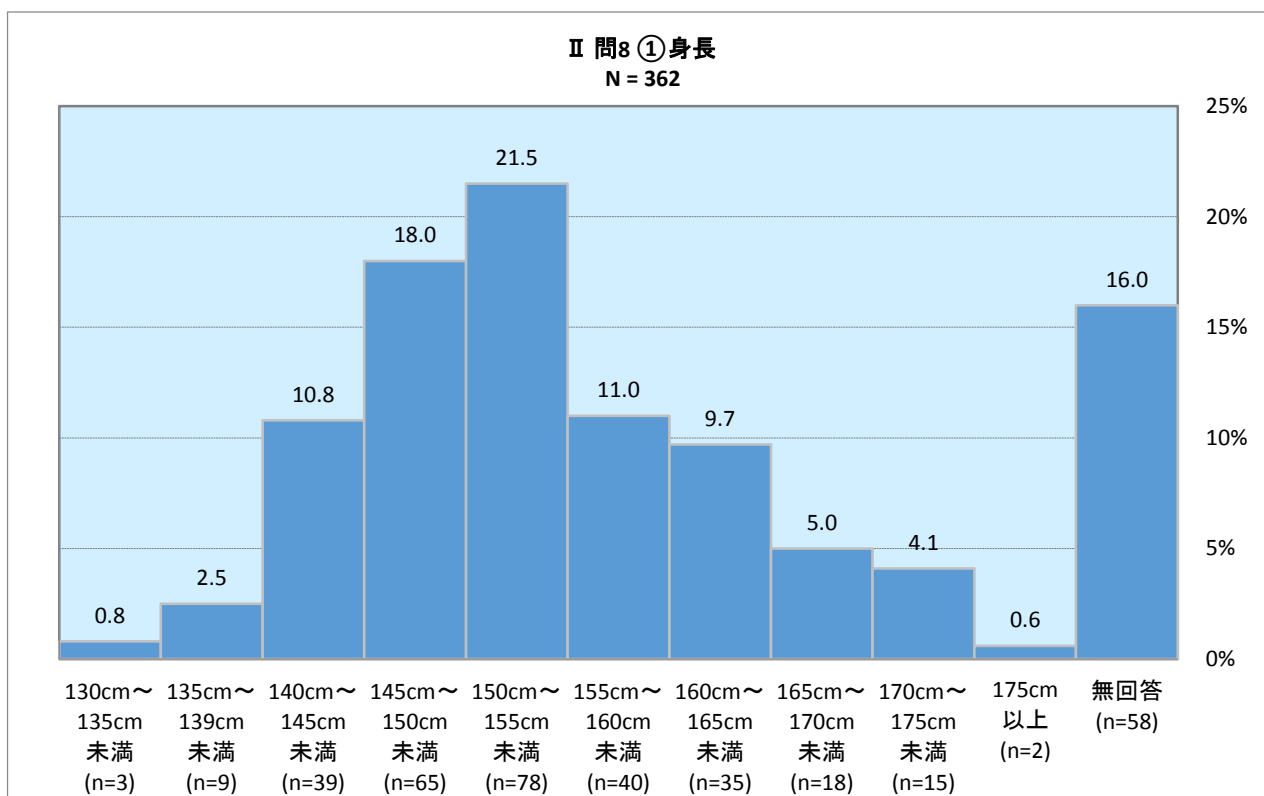
問7 6か月間で2～3kg以上の体重減少の有無（単一回答形式）

●【6か月間で2～3kg以上の体重減少の有無】は、「はい」が23.2%（84件）、「いいえ」が68.5%（248件）となっています。



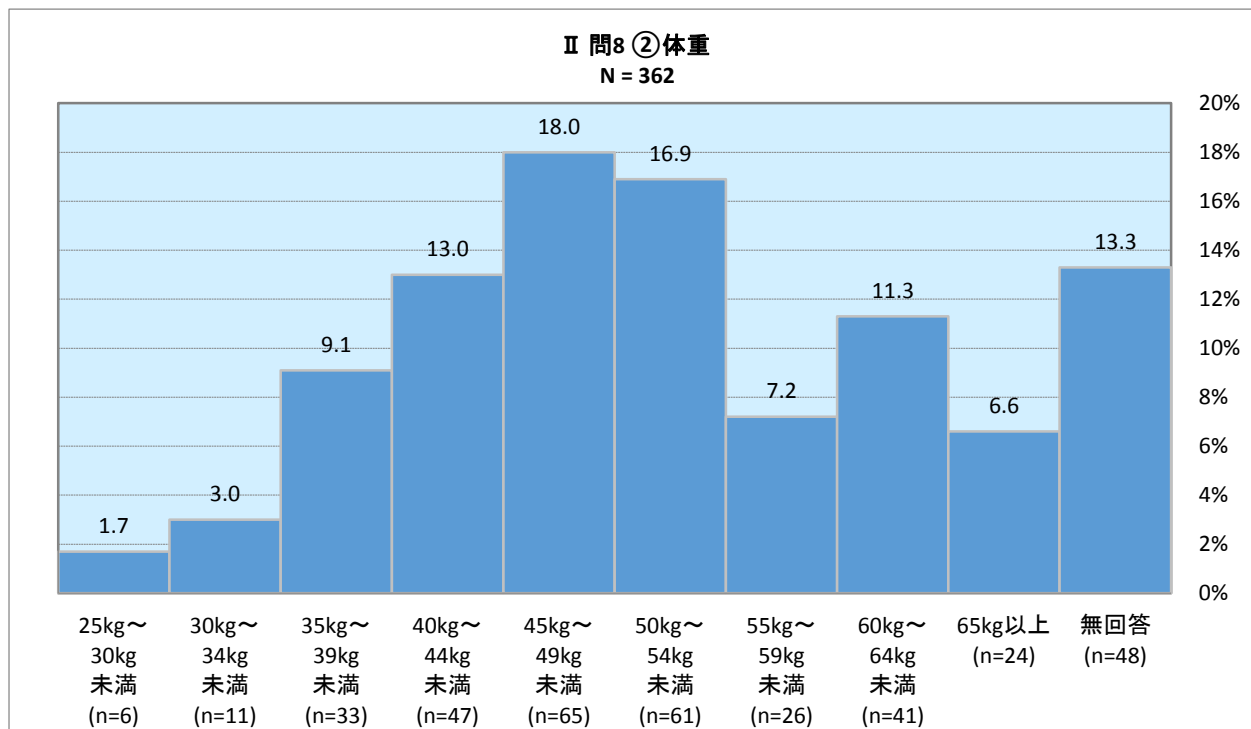
問8 ①身長（数量回答形式）

●【身長】は、「150cm～155cm 未満」が最多で21.5%（78件）、次いで、「145cm～150cm 未満」が18.0%（65件）、「155cm～160cm 未満」が11.0%（40件）となっています。



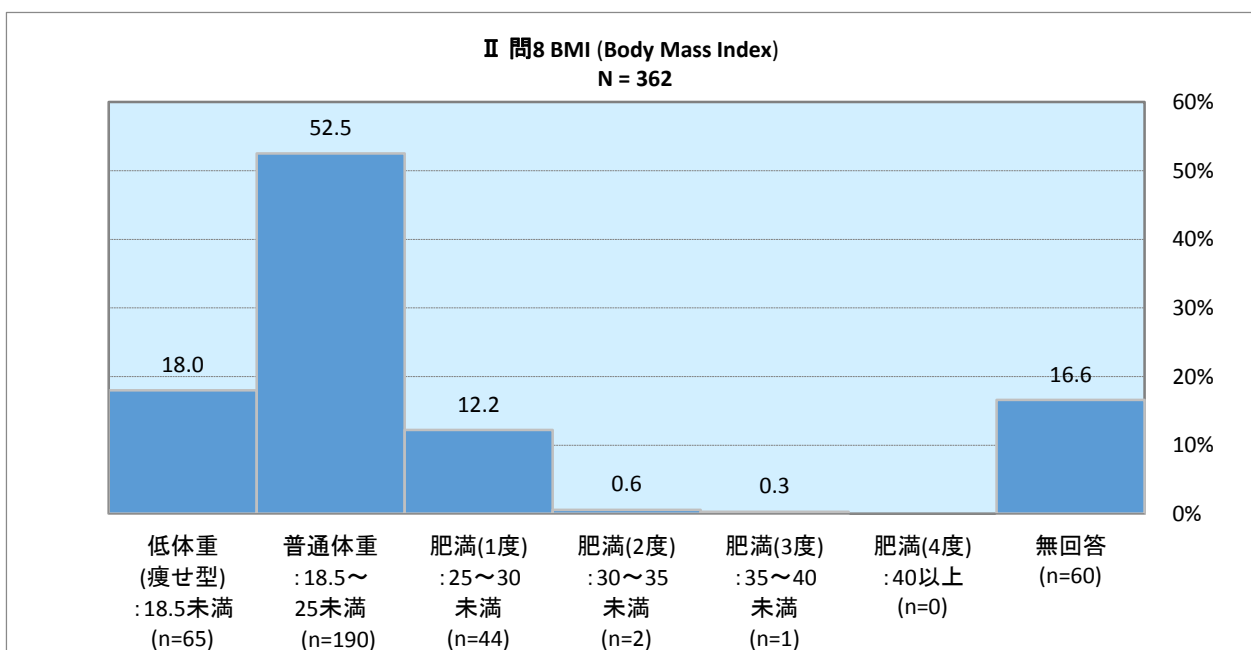
問8 ②体重（数量回答形式）

●【体重】は、「45kg～49kg 未満」が最多で18.0%（65件）、次いで、「50kg～54kg 未満」が16.9%（61件）、「40kg～44kg 未満」が13.0%（47件）となっています。



問8 BMI（数量回答形式）

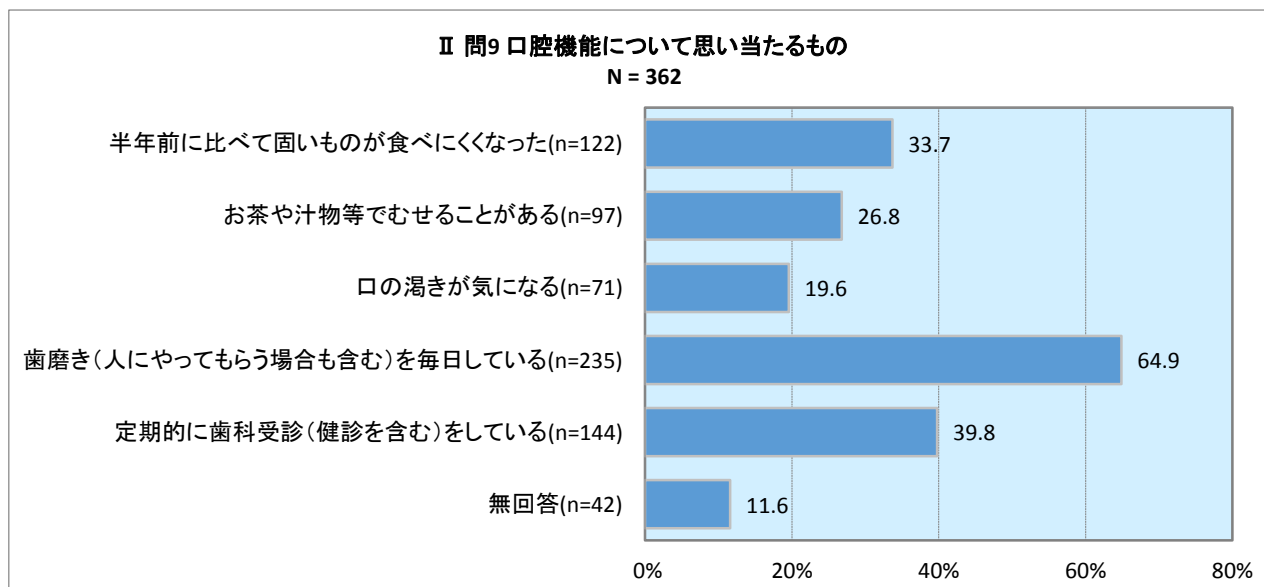
●【BMI】は、「普通体重：18.5～25 未満」が最多で52.5%（190件）、次いで、「低体重(痩せ型)：18.5未満」が18.0%（65件）、「肥満(1度)：25～30 未満」が12.2%（44件）となっています。



算出方法：問8の「①身長」および「②体重」により算出

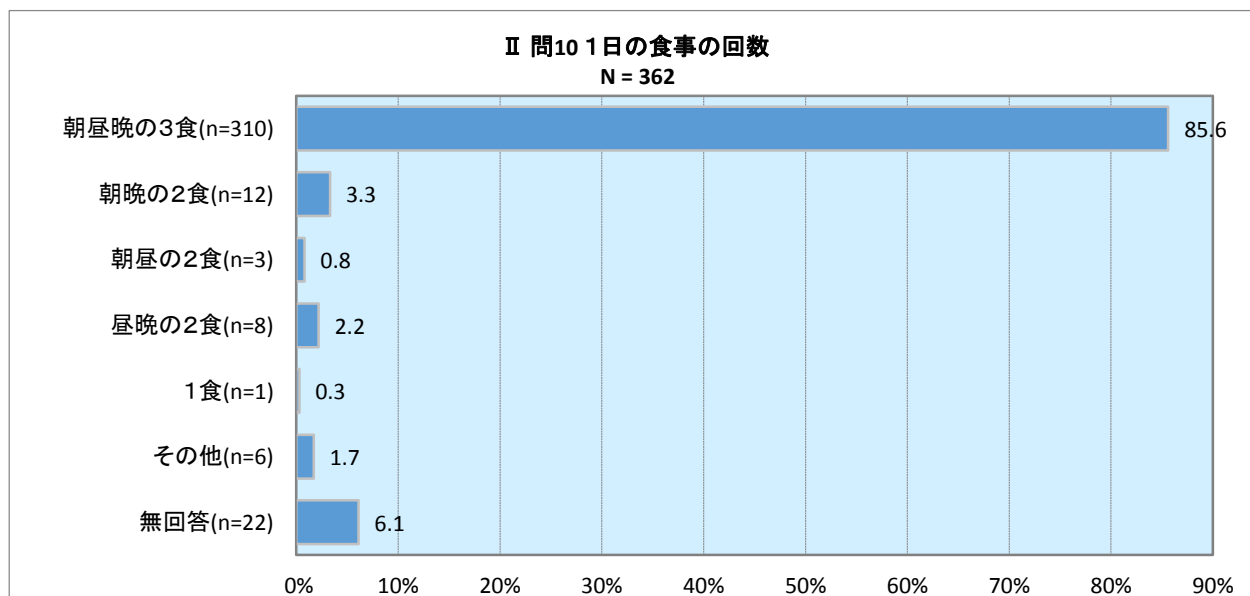
## 問9 口腔機能について思い当たるもの（複数回答形式）

- 【口腔機能について思い当たるもの】は、「歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日している」が最多で64.9%（235件）、次いで、「定期的に歯科受診（健診を含む）をしている」が39.8%（144件）、「半年前に比べて固いものが食べにくくなった」が33.7%（122件）となっています。



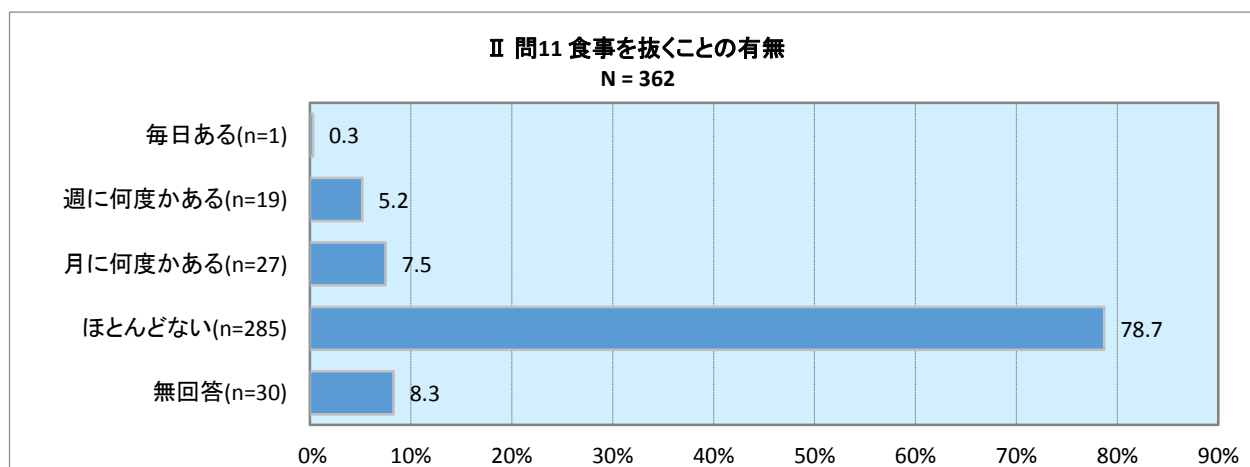
## 問10 1日の食事の回数（単一回答形式）

- 【1日の食事の回数】は、「朝昼晩の3食」が最多で85.6%（310件）、次いで、「朝晩の2食」が3.3%（12件）、「昼晩の2食」が2.2%（8件）となっています。



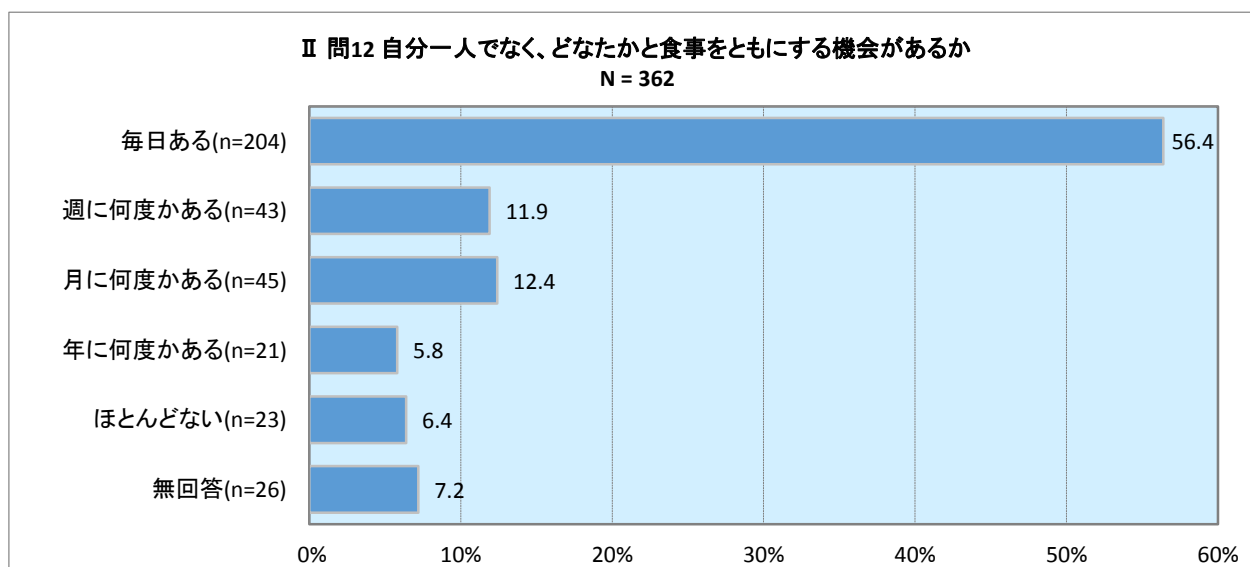
問11 食事を抜くことの有無（単一回答形式）

●【食事を抜くことの有無】は、「ほとんどない」が最多で78.7%（285件）、次いで、「月に何度かある」が7.5%（27件）、「週に何度かある」が5.2%（19件）となっています。



問12 どなたかと食事をとにもする機会があるか（単一回答形式）

●【どなたかと食事をとにもする機会があるか】は、「毎日ある」が最多で56.4%（204件）、次いで、「月に何度かある」が12.4%（45件）、「週に何度かある」が11.9%（43件）となっています。



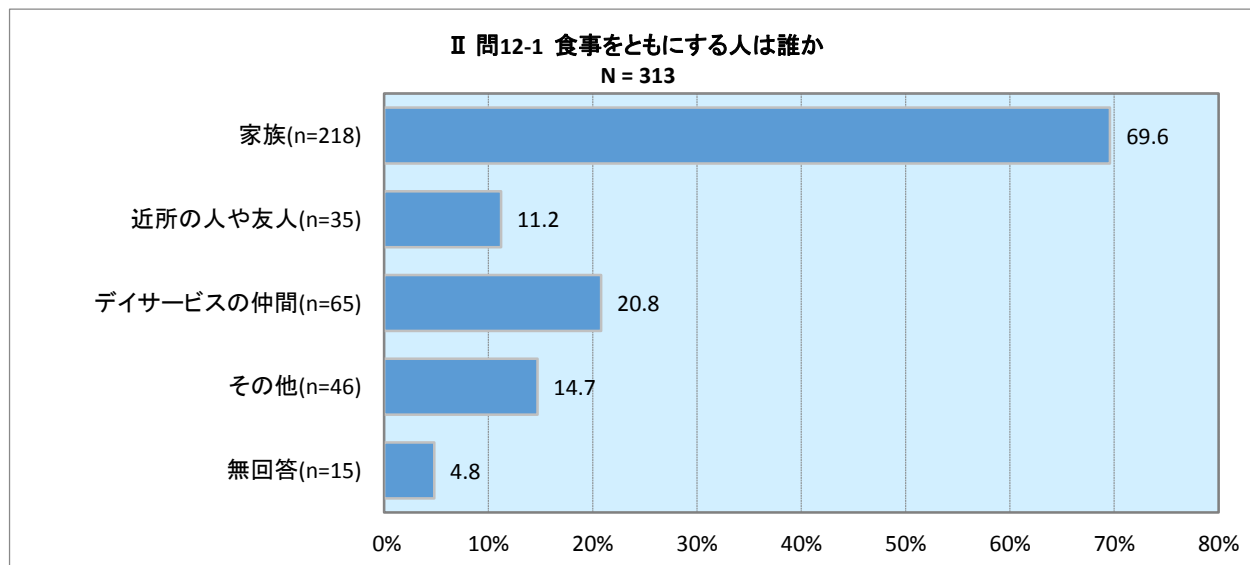
【クロス集計結果一覧】（上位1位をセルに色付け）

- 「年齢別」「家族構成別」「要介護度別」にみると、すべての属性で、「毎日ある」の割合が高くなっています。

度数 単位:		Ⅱ 問12 自分一人ではなく、どなたかと食事をとる機会があるか						
		合計	毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全体		349 100.0	198 56.7	42 12.0	43 12.3	21 6.0	22 6.3	23 6.6
I 問2 年齢	40～64歳	8 100.0	6 75.0	-	-	-	1 12.5	1 12.5
	65～69歳	12 100.0	9 75.0	-	1 8.3	-	-	2 16.7
	70～74歳	17 100.0	11 64.7	1 5.9	-	1 5.9	3 17.6	1 5.9
	75～79歳	54 100.0	34 63.0	6 11.1	9 16.7	3 5.6	1 1.9	1 1.9
	80～84歳	73 100.0	36 49.3	7 9.6	11 15.1	5 6.8	9 12.3	5 6.8
	85歳以上	183 100.0	102 55.7	28 15.3	21 11.5	11 6.0	8 4.4	13 7.1
	無回答	2 100.0	-	-	1 50.0	1 50.0	-	-
I 問3-1 家族構成	ひとり暮らし	96 100.0	28 29.2	20 20.8	24 25.0	10 10.4	11 11.5	3 3.1
	配偶者のみ(あなたと二人世帯)	88 100.0	69 78.4	4 4.5	3 3.4	4 4.5	1 1.1	7 8.0
	配偶者以外の65歳以上の方との世帯	36 100.0	20 55.6	4 11.1	2 5.6	3 8.3	3 8.3	4 11.1
	その他の世帯(同居世帯)	113 100.0	72 63.7	12 10.6	13 11.5	2 1.8	7 6.2	7 6.2
	無回答	16 100.0	9 56.3	2 12.5	1 6.3	2 12.5	-	2 12.5
I 問4-1 要介護度	要支援1	58 100.0	25 43.1	5 8.6	14 24.1	7 12.1	6 10.3	1 1.7
	要支援2	64 100.0	23 35.9	11 17.2	13 20.3	10 15.6	4 6.3	3 4.7
	要介護1	35 100.0	20 57.1	6 17.1	4 11.4	-	3 8.6	2 5.7
	要介護2	67 100.0	38 56.7	14 20.9	8 11.9	-	3 4.5	4 6.0
	要介護3	47 100.0	36 76.6	4 8.5	2 4.3	2 4.3	1 2.1	2 4.3
	要介護4	34 100.0	30 88.2	-	1 2.9	1 2.9	-	2 5.9
	要介護5	41 100.0	23 56.1	2 4.9	1 2.4	1 2.4	5 12.2	9 22.0
	わからない	3 100.0	3 100.0	-	-	-	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-

問12-1 食事をとともにする人は誰か（複数回答形式）

- 【食事をとともにする人は誰か】は、「家族」が最多で69.6%（218件）、次いで、「デイサービスの仲間」が20.8%（65件）、「その他」が14.7%（46件）となっています。



回答条件：【Ⅱ 問12 自分一人ではなく、どなたかと食事をとともにする機会があるか】で、「毎日ある」「週に何度かある」「月に何度かある」「年に何度かある」の場合のみ回答

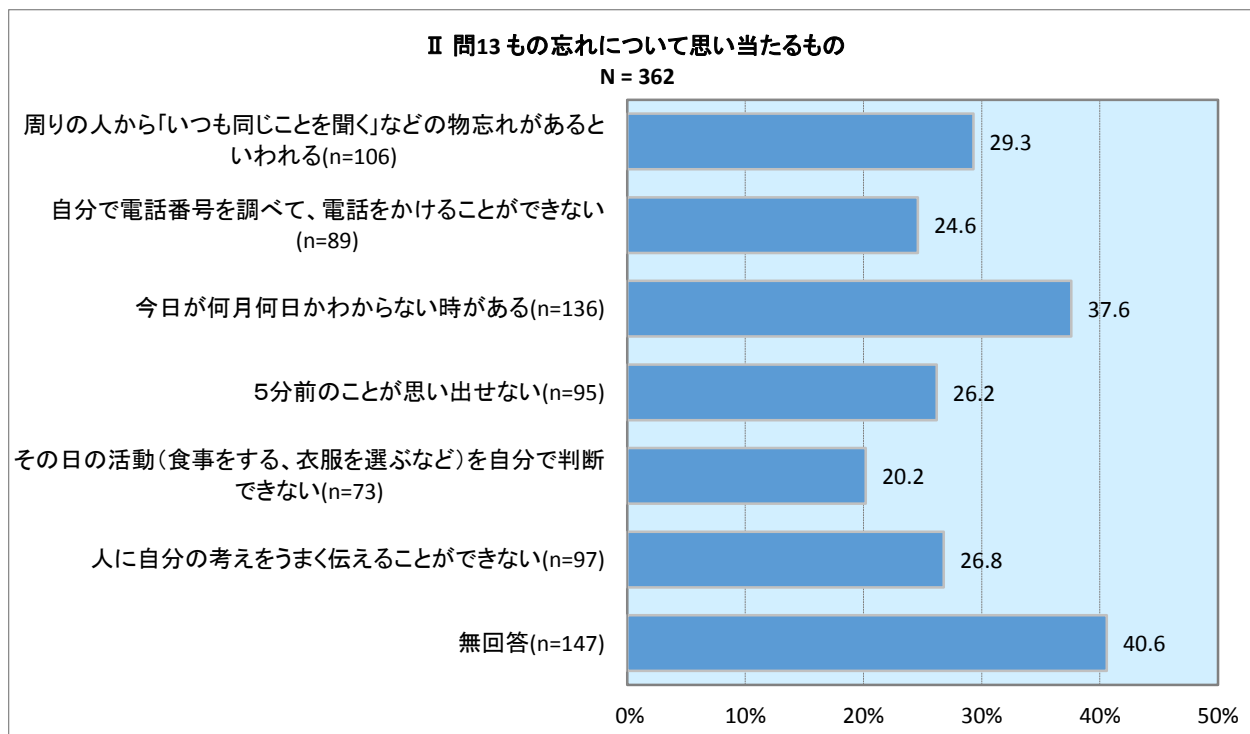
【クロス集計結果一覧】（上位1位をセルに色付け）

- 「家族構成別」にみると、『ひとり暮らし』では、「家族」以外で、「近所の人や友人」が23.8%（20件）、「デイサービスの仲間」が20.2%（17件）と高くなっています。

上段:度数 下段:%		Ⅱ 問12-1 食事をとともにする人は誰か					
		合計	家族	近所の人や友人	デイサービスの仲間	その他	無回答
全体		313 100.0	218 69.6	35 11.2	65 20.8	46 14.7	15 4.8
Ⅰ 問3-1 家族構成	ひとり暮らし	84 100.0	34 40.5	20 23.8	17 20.2	23 27.4	7 8.3
	配偶者のみ(あなたと二人世帯)	82 100.0	69 84.1	5 6.1	12 14.6	7 8.5	2 2.4
	配偶者以外の65歳以上の方との世帯	29 100.0	22 75.9	3 10.3	11 37.9	3 10.3	1 3.4
	その他の世帯(同居世帯)	102 100.0	82 80.4	5 4.9	25 24.5	11 10.8	2 2.0
	無回答	16 100.0	11 68.8	2 12.5	-	2 12.5	3 18.8

## 問13 もの忘れについて思い当たるもの（複数回答形式）

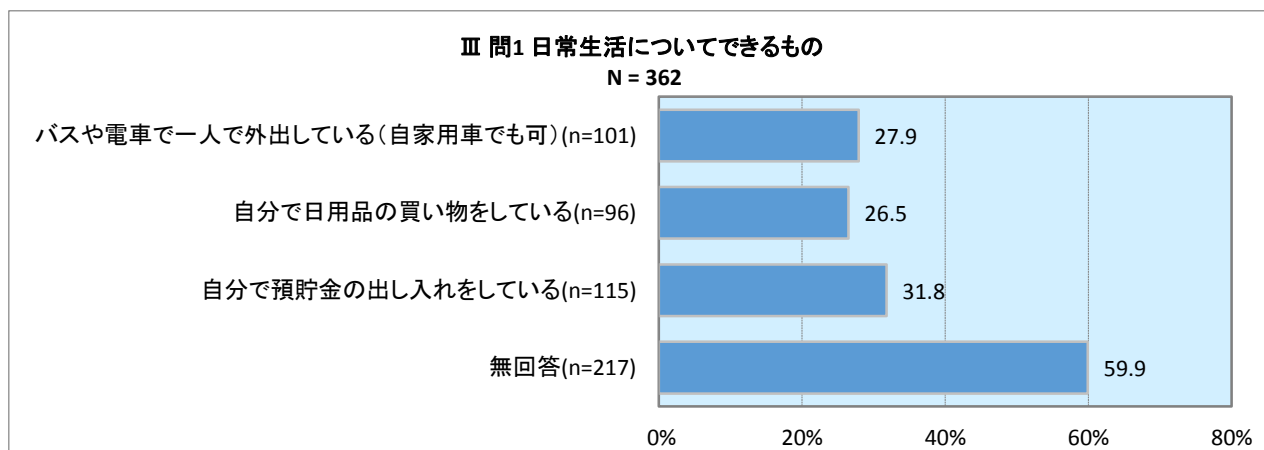
- 【もの忘れについて思い当たるもの】は、「今日が何月何日かわからない時がある」が最多で37.6%（136件）、次いで、「周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると いわれる」が29.3%（106件）、「人に自分の考えをうまく伝えることができない」が26.8%（97件）となっています。



## Ⅲ 日常生活

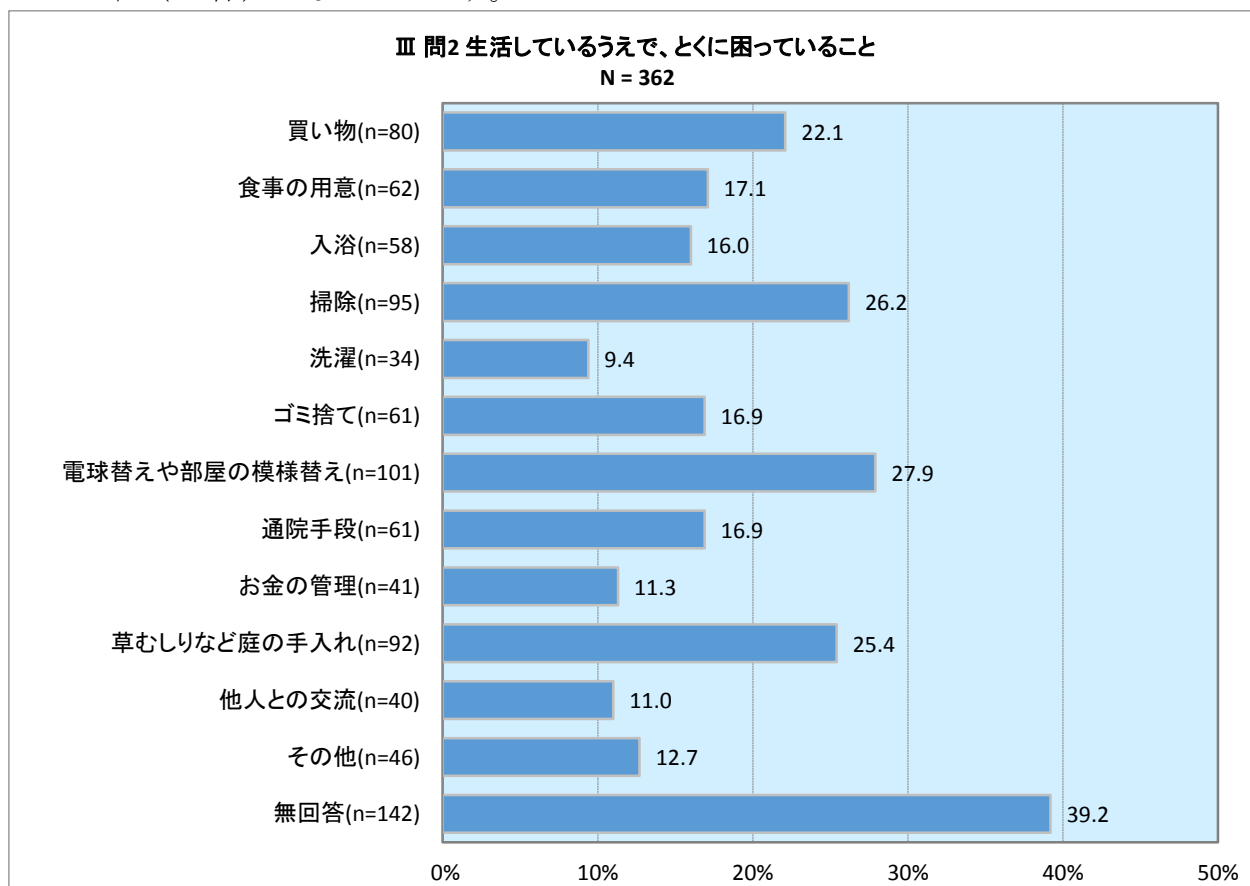
## 問1 日常生活についてできるもの（複数回答形式）

- 【日常生活についてできるもの】は、「自分で預貯金の出し入れをしている」が最多で31.8%（115件）、次いで、「バスや電車で一人で外出している（自家用車でも可）」が27.9%（101件）、「自分で日用品の買い物をしている」が26.5%（96件）となっています。



## 問2 生活しているうえで、とくに困っていること（複数回答形式）

- 【生活しているうえで、とくに困っていること】は、「電球替えや部屋の模様替え」が最多で27.9%（101件）、次いで、「掃除」が26.2%（95件）、「草むしりなど庭の手入れ」が25.4%（92件）となっています。





第3編 要介護認定者調査結果 (Ⅲ 日常生活)

【クロス集計結果一覧】 (上位1位をセルに色付け)

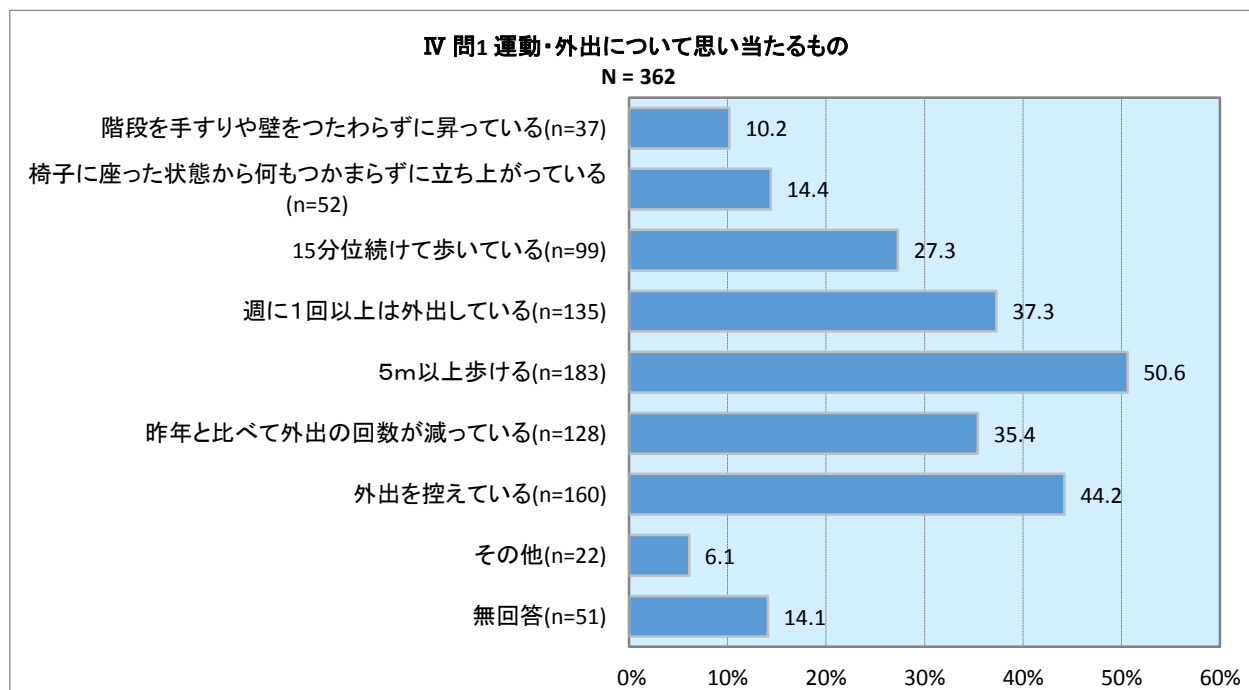
- 「要介護度別」にみると、『要支援1』では「草むしりなど庭の手入れ」が最多で32.8% (19件)、次いで、「掃除」が29.3% (17件)、「電球替えや部屋の模様替え」が25.9% (15件)、『要支援2』では「電球替えや部屋の模様替え」が最多で51.6% (33件)、次いで、「草むしりなど庭の手入れ」が39.1% (25件)、「掃除」が37.5% (24件)となっています。

上段:度		Ⅲ 問2 生活しているうえで、とくに困っていること														
下段:%		合計	買い物	食事の用意	入浴	掃除	洗濯	ゴミ捨て	電球替えや部屋の模様替え	通院手段	お金の管理	草むしりなど庭の手入れ	他人との交流	その他	無回答	
全体		362 100.0	80 22.1	62 17.1	58 16.0	95 26.2	34 9.4	61 16.9	101 27.9	61 16.9	41 11.3	92 25.4	40 11.0	46 12.7	142 39.2	
I 問4-1 要介護度	要支援1	58 100.0	13 22.4	9 15.5	3 5.2	17 29.3	1 1.7	4 6.9	15 25.9	11 19.0	3 5.2	19 32.8	4 6.9	4 6.9	15 25.9	
	要支援2	64 100.0	19 29.7	11 17.2	8 12.5	24 37.5	2 3.1	9 14.1	33 51.6	7 10.9	3 4.7	25 39.1	5 7.8	5 7.8	14 21.9	
	要介護1	35 100.0	10 28.6	7 20.0	3 8.6	8 22.9	2 5.7	7 20.0	9 25.7	4 11.4	8 22.9	8 22.9	6 17.1	6 17.1	13 37.1	
	要介護2	67 100.0	19 28.4	19 28.4	16 23.9	24 35.8	11 16.4	18 26.9	21 31.3	16 23.9	7 10.4	19 28.4	8 11.9	12 17.9	17 25.4	
	要介護3	47 100.0	9 19.1	7 14.9	12 25.5	9 19.1	7 14.9	10 21.3	10 21.3	10 21.3	11 23.4	11 23.4	7 14.9	7 14.9	29 61.7	
	要介護4	34 100.0	6 17.6	5 14.7	11 32.4	7 20.6	6 17.6	6 17.6	6 17.6	8 23.5	6 17.6	4 11.8	4 11.8	2 5.9	21 61.8	
	要介護5	41 100.0	2 4.9	2 4.9	5 12.2	3 7.3	3 7.3	3 7.3	3 7.3	3 7.3	2 4.9	4 9.8	5 12.2	10 24.4	24 58.5	
	わからない	3 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3 100.0
	無回答	13 100.0	2 15.4	2 15.4	-	3 23.1	2 15.4	4 30.8	4 30.8	2 15.4	1 7.7	2 15.4	1 7.7	-	6 46.2	

## IV 外出・社会参加

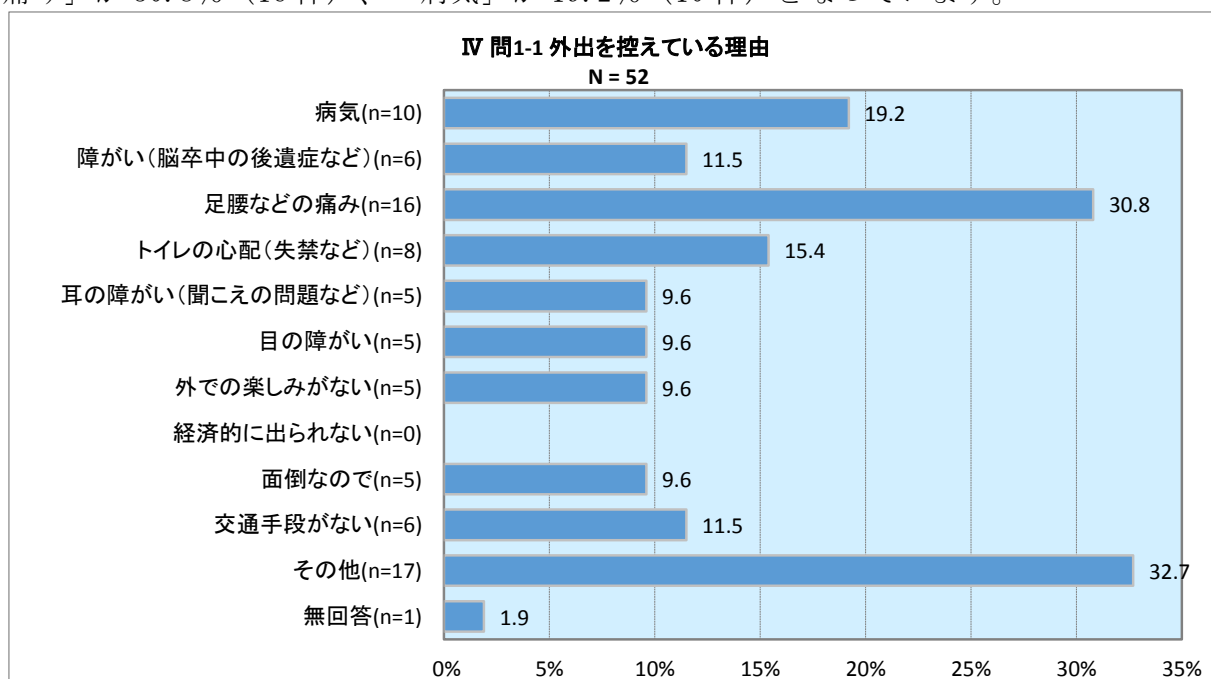
## 問1 運動・外出について思い当たるもの（複数回答形式）

- 【運動・外出について思い当たるもの】は、「5m以上歩ける」が最多で50.6%（183件）、次いで、「外出を控えている」が44.2%（160件）、「週に1回以上は外出している」が37.3%（135件）となっています。



## 問1-1 外出を控えている理由（複数回答形式）

- 【外出を控えている理由】は、「その他」が最多で32.7%（17件）、次いで、「足腰などの痛み」が30.8%（16件）、「病気」が19.2%（10件）となっています。



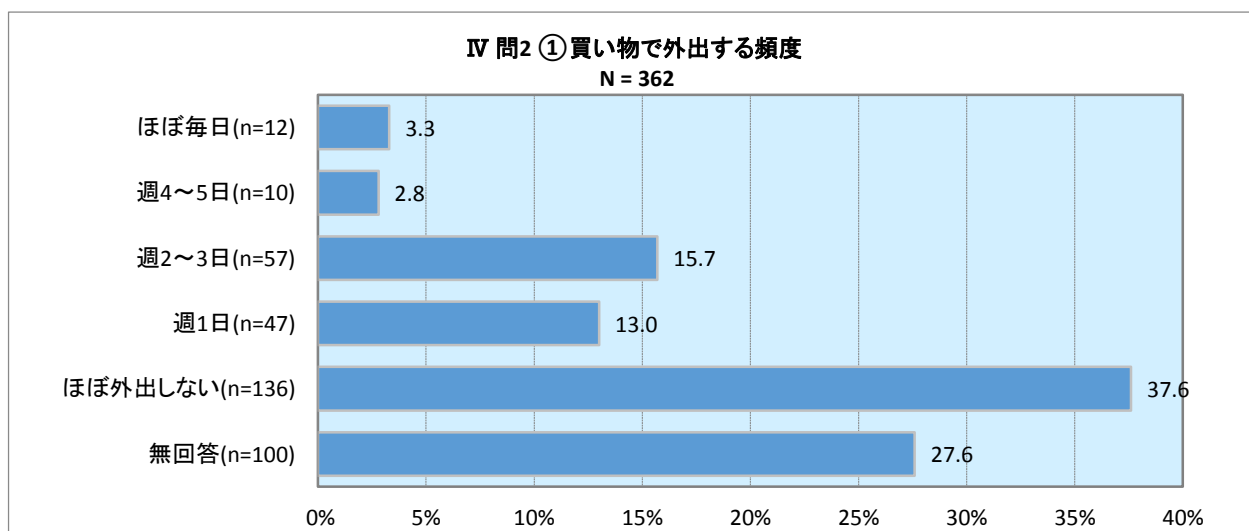
回答条件：【IV 問1 運動・外出について思い当たるもの】で、「外出を控えている」の場合のみ回答

その他

- ・車いすのため。(6件)
- ・両足人工股関節なので、歩行には杖が必要。一人での外出は不可。
- ・デイサービス時、車いすで介助してもらう。
- ・近いので、やっと病院へ行っている。
- ・施設に入る前はデイサービスや通所以外、外出しない。
- ・2年前転倒以来、車いすでの生活で肩肘を痛く自分では移動できない。
- ・外出は好きでないし、しない。
- ・病院に行く以外、外出しない。
- ・全身「まひ」しているので、動けない。

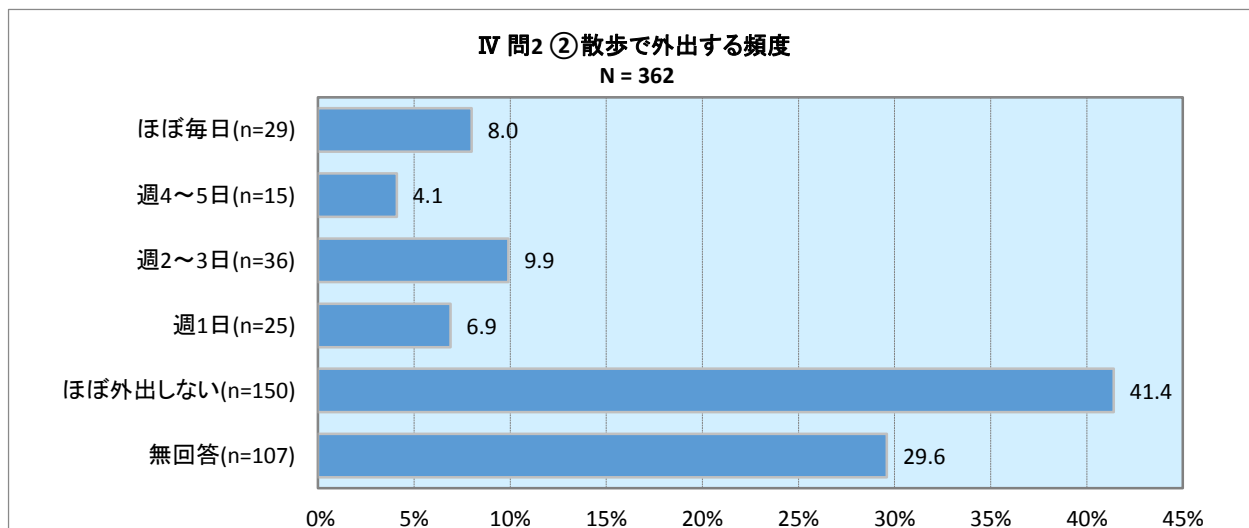
問2 ①買い物で外出する頻度 (単一回答形式)

●【買い物で外出する頻度】は、「ほぼ外出しない」が最多で37.6% (136件)、次いで、「週2~3日」が15.7% (57件)、「週1日」が13.0% (47件) となっています。



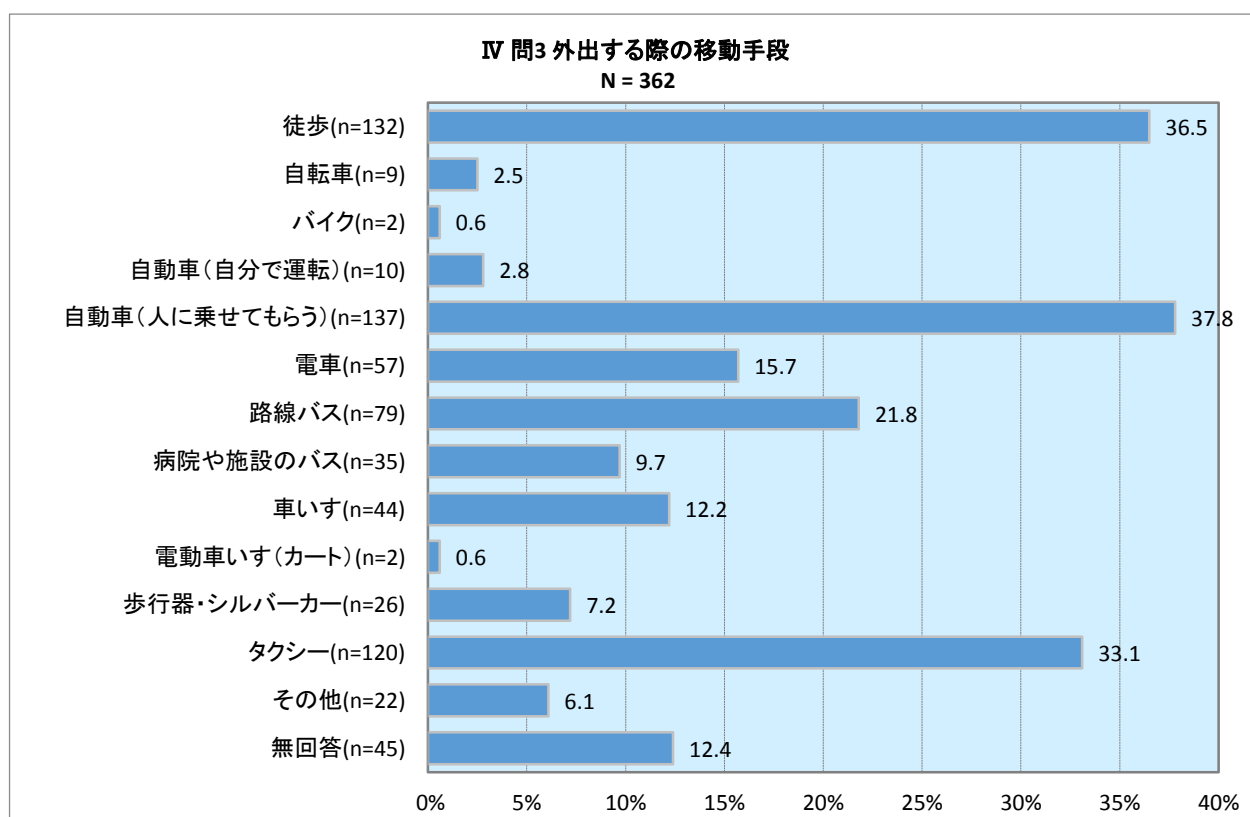
問2 ②散歩で外出する頻度 (単一回答形式)

●【散歩で外出する頻度】は、「ほぼ外出しない」が最多で41.4% (150件)、次いで、「週2~3日」が9.9% (36件)、「ほぼ毎日」が8.0% (29件) となっています。



問3 外出する際の移動手段 (複数回答形式)

- 【外出する際の移動手段】は、「自動車 (人に乗せてもらう)」が最多で 37.8% (137 件)、次いで、「徒歩」が 36.5% (132 件)、「タクシー」が 33.1% (120 件) となっています。



【クロス集計結果一覧】 (上位 1 位をセルに色付け)

- 「家族構成別」にみると、『ひとり暮らし』と『配偶者のみ (あなたと二人暮らし)』では「徒歩」や「タクシー」、『配偶者以外の 65 歳以上の方との世帯』と『その他の世帯 (同居世帯)』では「自動車 (人に乗せてもらう)」の割合が高くなる傾向が見られました。

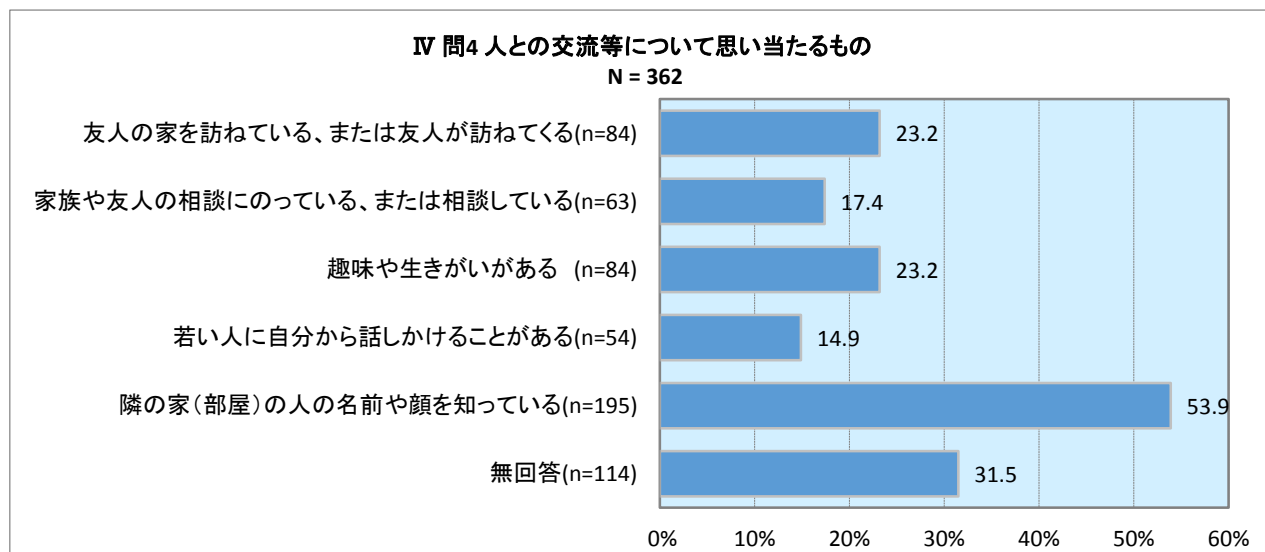
上段:度数		IV 問3 外出する際の移動手段														
		合計	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体		362	132	9	2	10	137	57	79	35	44	2	26	120	22	45
		100.0	36.5	2.5	0.6	2.8	37.8	15.7	21.8	9.7	12.2	0.6	7.2	33.1	6.1	12.4
I 問2 年齢	40~64歳	8	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	1	-	3
		100.0	-	-	-	-	25.0	-	-	-	50.0	-	-	12.5	-	37.5
	65~69歳	13	5	1	-	1	4	2	1	-	3	-	-	-	-	3
		100.0	38.5	7.7	-	7.7	30.8	15.4	7.7	-	23.1	-	-	-	-	23.1
	70~74歳	18	6	2	-	1	5	4	5	1	1	-	1	5	1	3
		100.0	33.3	11.1	-	5.6	27.8	22.2	27.8	5.6	5.6	-	5.6	27.8	5.6	16.7
	75~79歳	55	25	2	-	1	19	14	17	5	3	-	1	22	4	2
		100.0	45.5	3.6	-	1.8	34.5	25.5	30.9	9.1	5.5	-	1.8	40.0	7.3	3.6
80~84歳	77	37	3	1	3	27	19	27	10	8	-	5	26	3	9	
	100.0	48.1	3.9	1.3	3.9	35.1	24.7	35.1	13.0	10.4	-	6.5	33.8	3.9	11.7	
85歳以上	187	58	1	1	3	79	18	29	19	25	2	19	65	13	24	
	100.0	31.0	0.5	0.5	1.6	42.2	9.6	15.5	10.2	13.4	1.1	10.2	34.8	7.0	12.8	
無回答	4	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	1	1	
	100.0	25.0	-	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-	-	25.0	25.0	25.0	

第3編 要介護認定者調査結果 (IV 外出・社会参加)

上段:度数 下段:%		IV 問3 外出する際の移動手段															
		合計	徒歩	自転車	バイク	自動車(自分で運転)	自動車(人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答	
I 問3-1 家族構成	ひとり暮らし	99 100.0	41 41.4	2 2.0	-	1 1.0	33 33.3	16 16.2	30 30.3	9 9.1	7 7.1	-	8 8.1	39 39.4	7 7.1	10 10.1	
	配偶者のみ(あなたと二人世帯)	91 100.0	36 39.6	3 3.3	1 1.1	6 6.6	29 31.9	19 20.9	21 23.1	8 8.8	10 11.0	-	5 5.5	36 39.6	5 5.5	11 12.1	
	配偶者以外の65歳以上の方との世帯	37 100.0	11 29.7	-	-	1 2.7	16 43.2	5 13.5	3 8.1	3 8.1	4 10.8	2 5.4	-	8 21.6	4 10.8	8 21.6	
	その他の世帯(同居世帯)	116 100.0	38 32.8	4 3.4	1 0.9	1 0.9	53 45.7	15 12.9	23 19.8	14 12.1	19 16.4	-	12 10.3	32 27.6	3 2.6	14 12.1	
	無回答	19 100.0	6 31.6	-	-	1 5.3	6 31.6	2 10.5	2 10.5	1 5.3	4 21.1	-	1 5.3	5 26.3	3 15.8	2 10.5	
I 問4-1 要介護度	要支援1	58 100.0	38 65.5	2 3.4	-	4 6.9	21 36.2	19 32.8	24 41.4	5 8.6	-	-	3 5.2	18 31.0	-	1 1.7	
	要支援2	64 100.0	35 54.7	3 4.7	-	3 4.7	21 32.8	16 25.0	25 39.1	8 12.5	1 1.6	-	8 12.5	37 57.8	2 3.1	1 1.6	
	要介護1	35 100.0	15 42.9	-	-	1 2.9	19 54.3	2 5.7	6 17.1	1 2.9	3 8.6	-	5 14.3	11 31.4	3 8.6	4 11.4	
	要介護2	67 100.0	23 34.3	2 3.0	2 3.0	1 1.5	24 35.8	12 17.9	12 17.9	8 11.9	10 14.9	-	6 9.0	24 35.8	8 11.9	3 4.5	
	要介護3	47 100.0	9 19.1	-	-	-	25 53.2	3 6.4	3 6.4	5 10.6	5 10.6	1 2.1	3 6.4	15 31.9	2 4.3	8 17.0	
	要介護4	34 100.0	2 5.9	-	-	-	7 20.6	2 5.9	3 8.8	6 17.6	10 29.4	-	-	7 20.6	4 11.8	10 29.4	
	要介護5	41 100.0	-	-	-	-	13 31.7	-	1 2.4	1 2.4	14 34.1	1 2.4	1 2.4	3 7.3	3 7.3	16 39.0	
	わからない	3 100.0	3 100.0	1 33.3	-	1 33.3	1 33.3	2 66.7	1 33.3	1 33.3	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	13 100.0	7 53.8	1 7.7	-	-	6 46.2	1 7.7	4 30.8	-	1 7.7	-	-	5 38.5	-	2 15.4	
I 問9-2 居住地域	逗子	51 100.0	24 47.1	-	-	-	21 41.2	8 15.7	7 13.7	2 3.9	10 19.6	1 2.0	4 7.8	16 31.4	4 7.8	8 15.7	
	桜山	49 100.0	19 38.8	1 2.0	-	-	20 40.8	7 14.3	10 20.4	5 10.2	11 22.4	-	4 8.2	16 32.7	1 2.0	4 8.2	
	沼間	51 100.0	17 33.3	-	-	-	23 45.1	9 17.6	14 27.5	5 9.8	4 7.8	-	3 5.9	19 37.3	4 7.8	5 9.8	
	池子	42 100.0	14 33.3	1 2.4	-	1 2.4	12 28.6	10 23.8	12 28.6	5 11.9	2 4.8	-	1 2.4	12 28.6	2 4.8	10 23.8	
	山の根	24 100.0	8 33.3	2 8.3	-	3 12.5	7 29.2	2 8.3	3 12.5	2 8.3	5 20.8	-	3 12.5	5 20.8	1 4.2	3 12.5	
	久木	57 100.0	22 38.6	3 5.3	1 1.8	2 3.5	23 40.4	6 10.5	8 14.0	7 12.3	6 10.5	1 1.8	6 10.5	21 36.8	4 7.0	5 8.8	
	小坪	58 100.0	18 31.0	2 3.4	1 1.7	3 5.2	24 41.4	9 15.5	21 36.2	6 10.3	2 3.4	-	3 5.2	20 34.5	3 5.2	6 10.3	
	新宿	23 100.0	7 30.4	-	-	1 4.3	6 26.1	4 17.4	4 17.4	3 13.0	4 17.4	-	2 8.7	10 43.5	2 8.7	1 4.3	
	無回答	7 100.0	3 42.9	-	-	-	1 14.3	2 28.6	-	-	-	-	-	1 14.3	1 14.3	3 42.9	

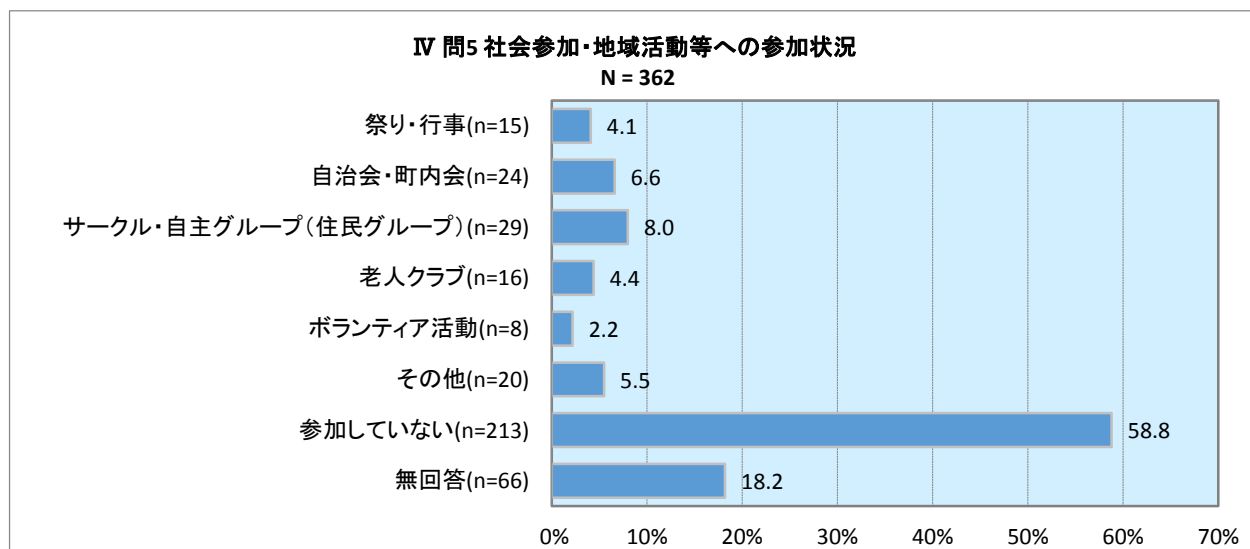
問4 人との交流等について思い当たるもの（複数回答形式）

●【人との交流等について思い当たるもの】は、「隣の家（部屋）の人の名前や顔を知っている」が最多で53.9%（195件）、次いで、「友人の家を訪ねている、または友人が訪ねてくる」と「趣味や生きがいがある」が23.2%（84件）となっています。



問5 社会参加・地域活動等への参加状況 (複数回答形式)

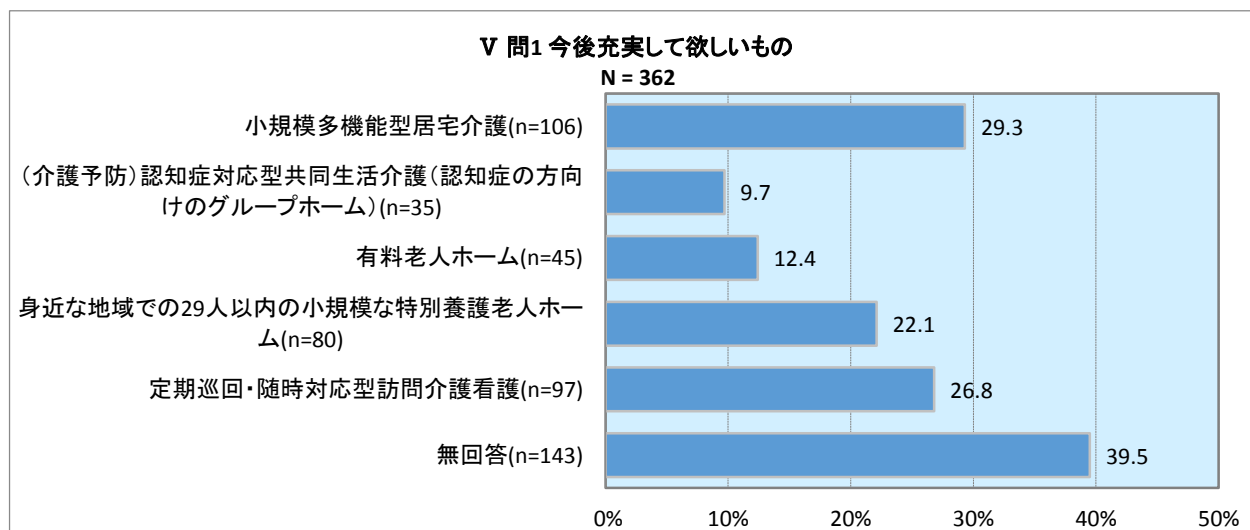
●【社会参加・地域活動等への参加状況】は、「参加していない」が最多で 58.8% (213 件)、次いで、「サークル・自主グループ (住民グループ)」が 8.0% (29 件)、「自治会・町内会」が 6.6% (24 件) となっています。



## V 介護保険

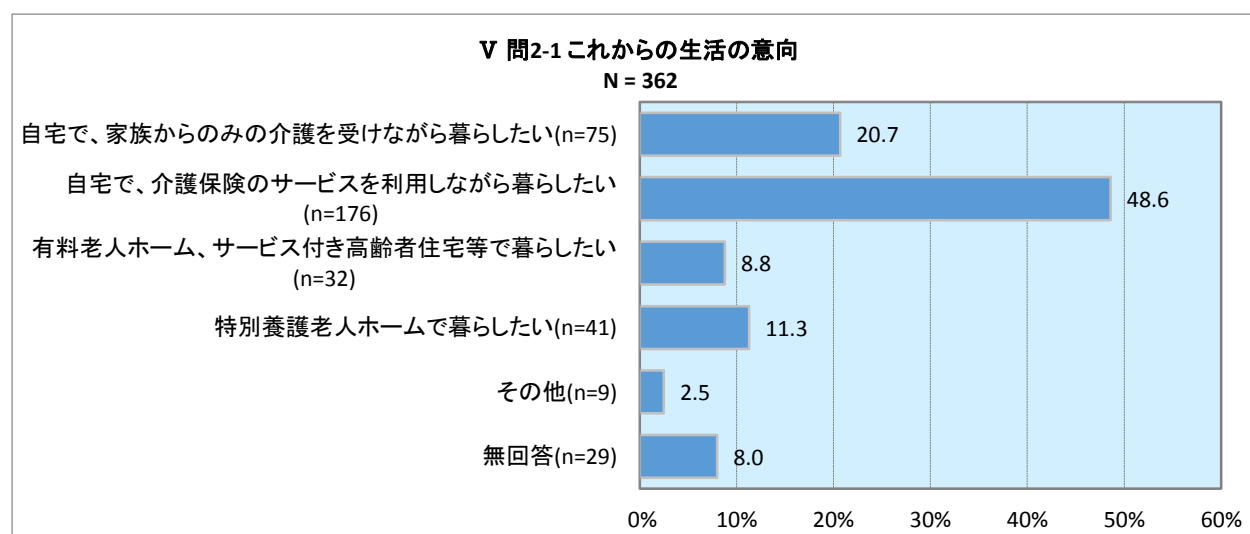
## 問1 今後充実して欲しいもの（複数回答形式）

- 【今後充実して欲しいもの】は、「小規模多機能型居宅介護」が最多で29.3%（106件）、次いで、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が26.8%（97件）、「身近な地域での29人以内の小規模な特別養護老人ホーム」が22.1%（80件）となっています。



## 問2-1 これからの生活の意向（複数回答形式）

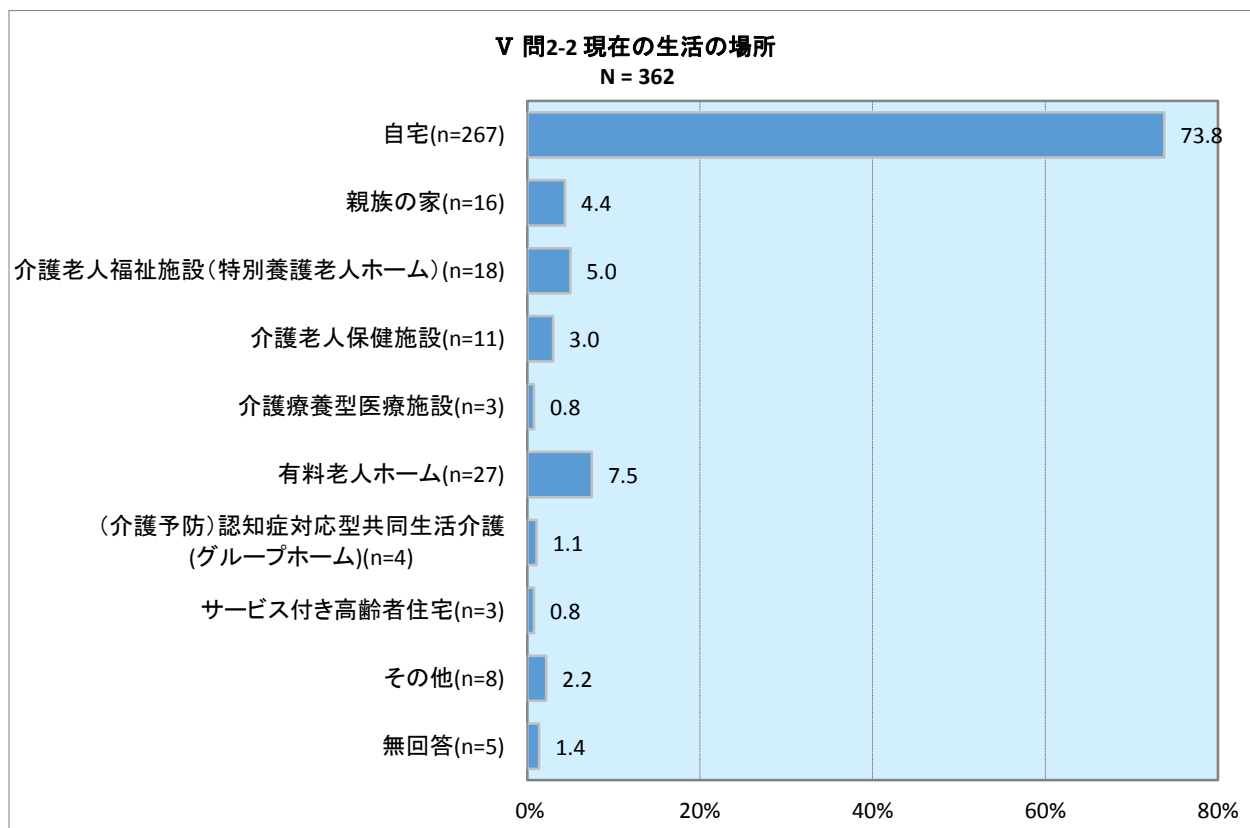
- 【これからの生活の意向】は、「自宅で、介護保険のサービスを利用しながら暮らしたい」が最多で48.6%（176件）、次いで、「自宅で、家族からのみの介護を受けながら暮らしたい」が20.7%（75件）、「特別養護老人ホームで暮らしたい」が11.3%（41件）となっています。





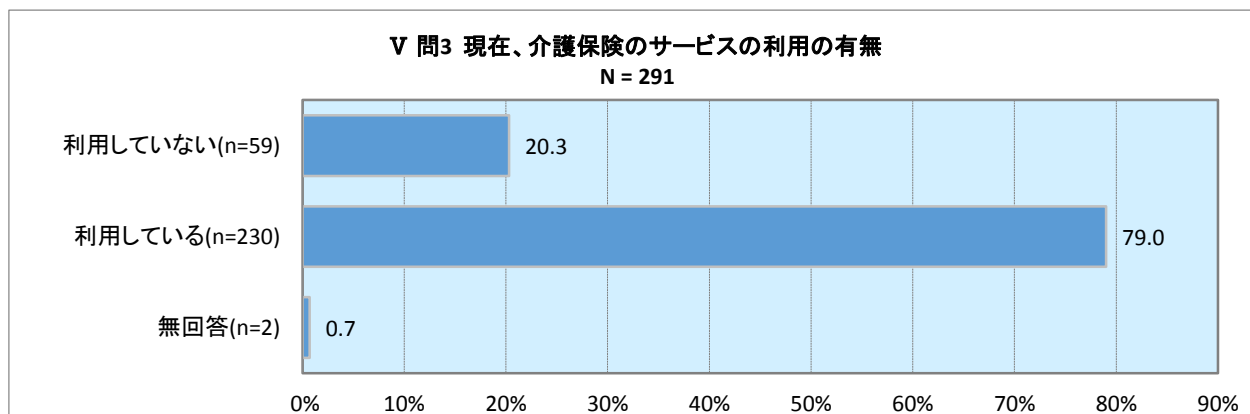
問2-2 現在の生活の場所（単一回答形式）

●【現在の生活の場所】は、「自宅」が最多で73.8%（267件）、次いで、「有料老人ホーム」が7.5%（27件）、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が5.0%（18件）となっています。



問3 介護保険のサービスの利用の有無（単一回答形式）

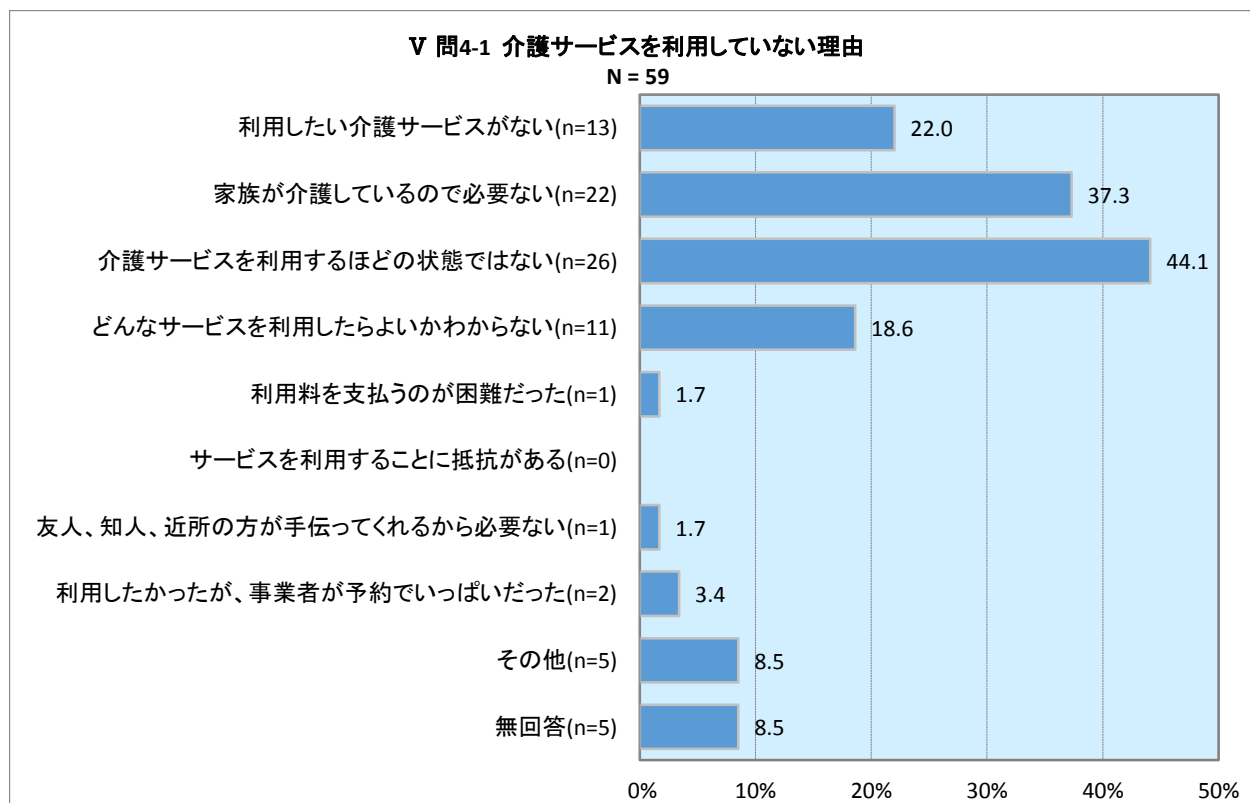
●【介護保険のサービスの利用の有無】は、「利用している」が79.0%（230件）、「利用していない」が20.3%（59件）となっています。



回答条件：【Ⅴ 問2-2 現在の生活の場所】で、「自宅」「親族の家」「その他」の場合のみ回答

問4-1 介護サービスを利用していない理由（複数回答形式）

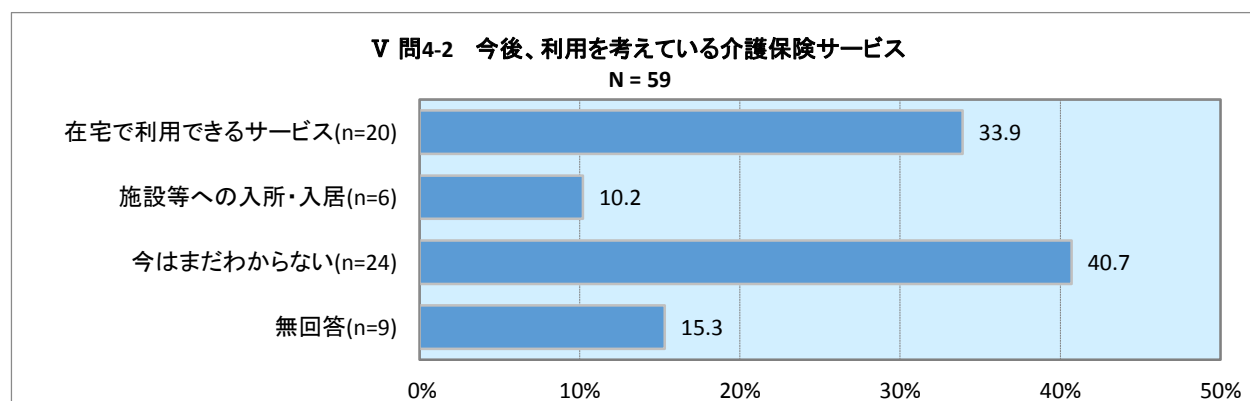
●【介護サービスを利用していない理由】は、「介護サービスを利用するほどの状態ではない」が最多で44.1%（26件）、次いで、「家族が介護しているので必要ない」が37.3%（22件）、「利用したい介護サービスがない」が22.0%（13件）となっています。



回答条件：【V 問3 現在、介護保険のサービスの利用の有無】で、「利用していない」の場合のみ回答

問4-2 今後、利用を考えている介護保険サービス（単一回答形式）

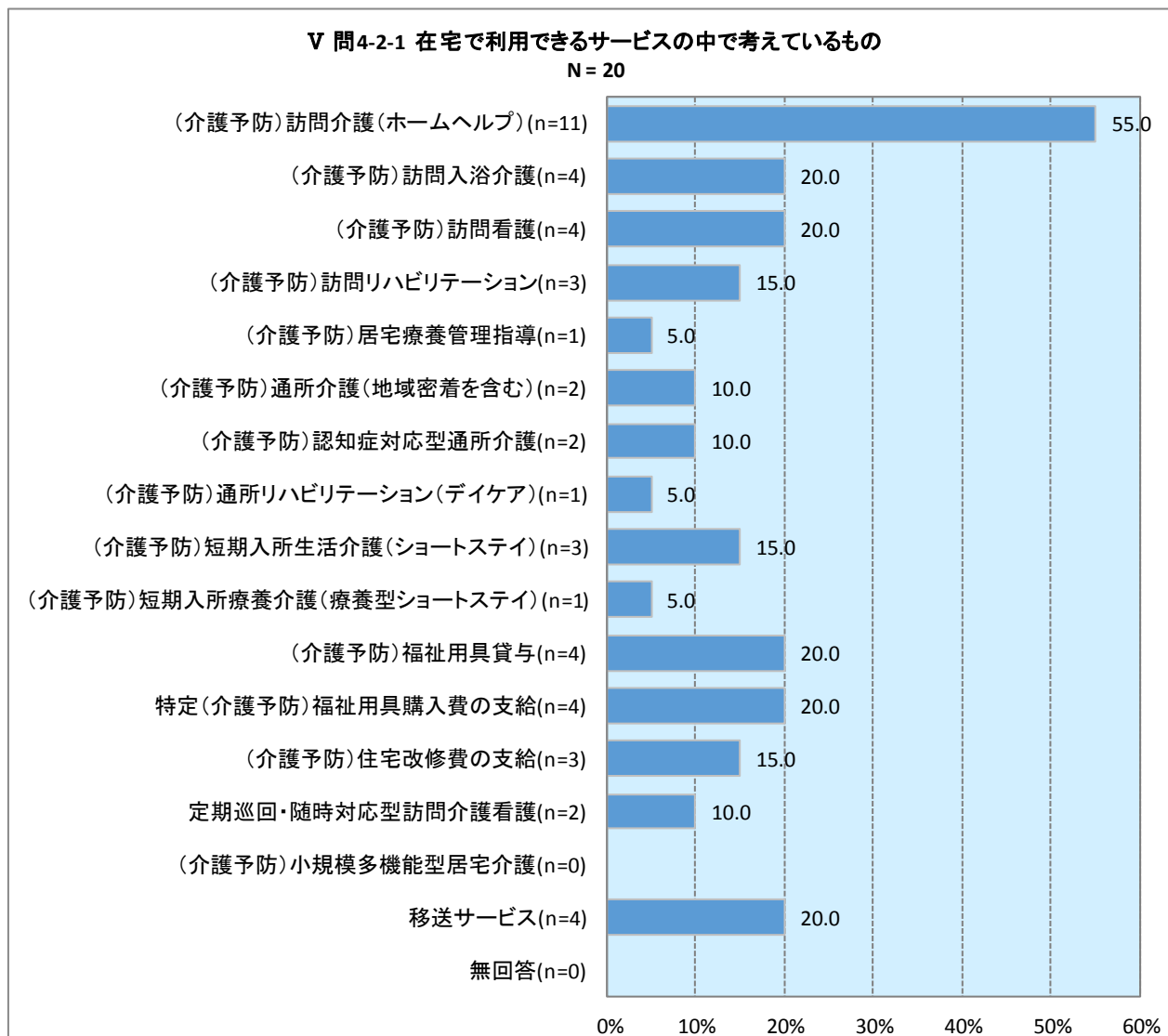
●【今後、利用を考えている介護保険サービス】は、「今はまだわからない」が最多で40.7%（24件）、次いで、「在宅で利用できるサービス」が33.9%（20件）、「施設等への入所・入居」が10.2%（6件）となっています。



回答条件：【V 問3 現在、介護保険のサービスの利用の有無】で、「利用していない」の場合のみ回答

問4-2-1 在宅で利用できるサービスの中で考えているもの（複数回答形式）

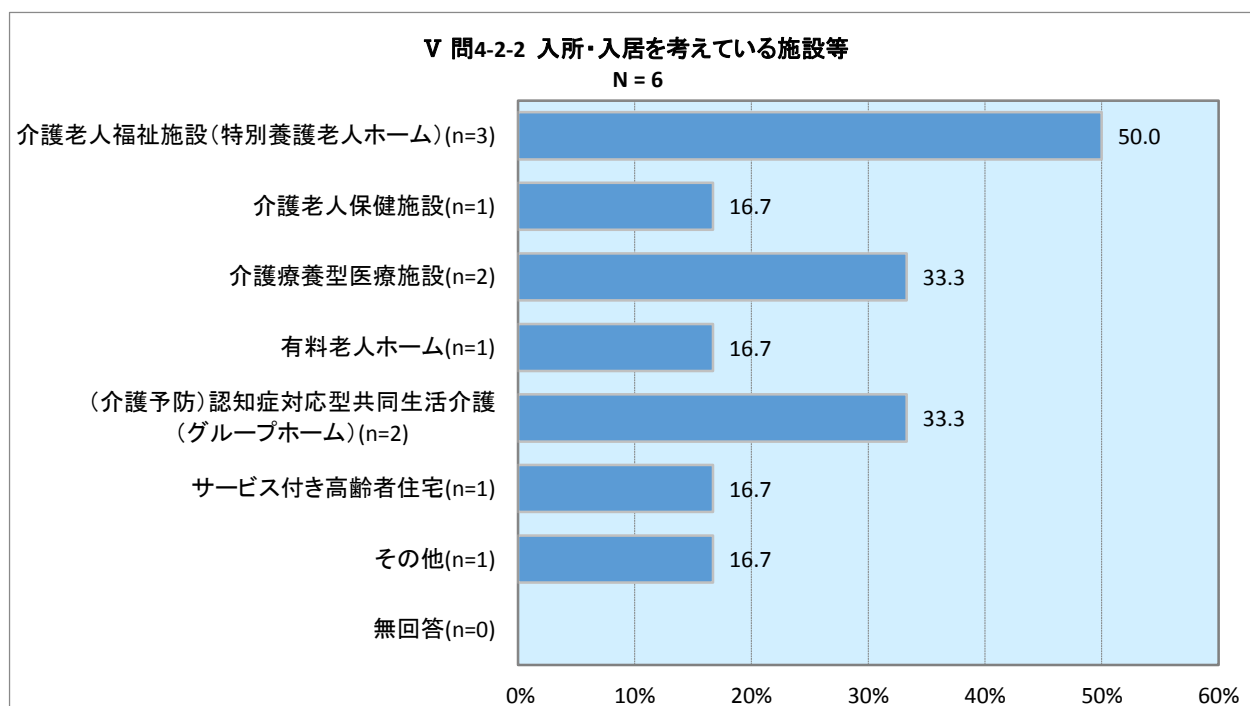
●【在宅で利用できるサービスの中で考えているもの】は、「（介護予防）訪問介護（ホームヘルプ）」が最多で55.0%（11件）、次いで、「（介護予防）訪問入浴介護」、「（介護予防）訪問看護」、「（介護予防）福祉用具貸与」、「特定（介護予防）福祉用具購入費の支給」、「移送サービス」が20.0%（4件）となっています。



回答条件：【Ⅴ 問4-2 今後、利用を考えている介護保険サービス】で、「在宅で利用できるサービス」の場合のみ回答

## 問4-2-2 入所・入居を考えている施設等（複数回答形式）

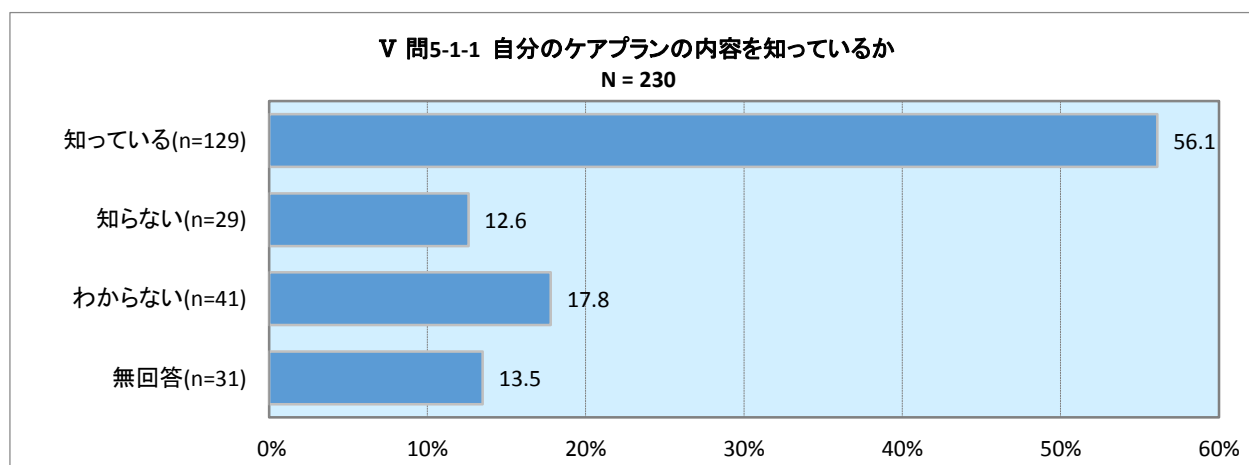
- 【入所・入居を考えている施設等】は、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が最多で50.0%（3件）、次いで、「介護療養型医療施設」と「（介護予防）認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」が33.3%（2件）となっています。



回答条件：【Ⅴ 問4-2 今後、利用を考えている介護保険サービス】で、「施設等への入所・入居」の場合のみ回答

## 問5-1-1 自分のケアプランの内容を知っているか（単一回答形式）

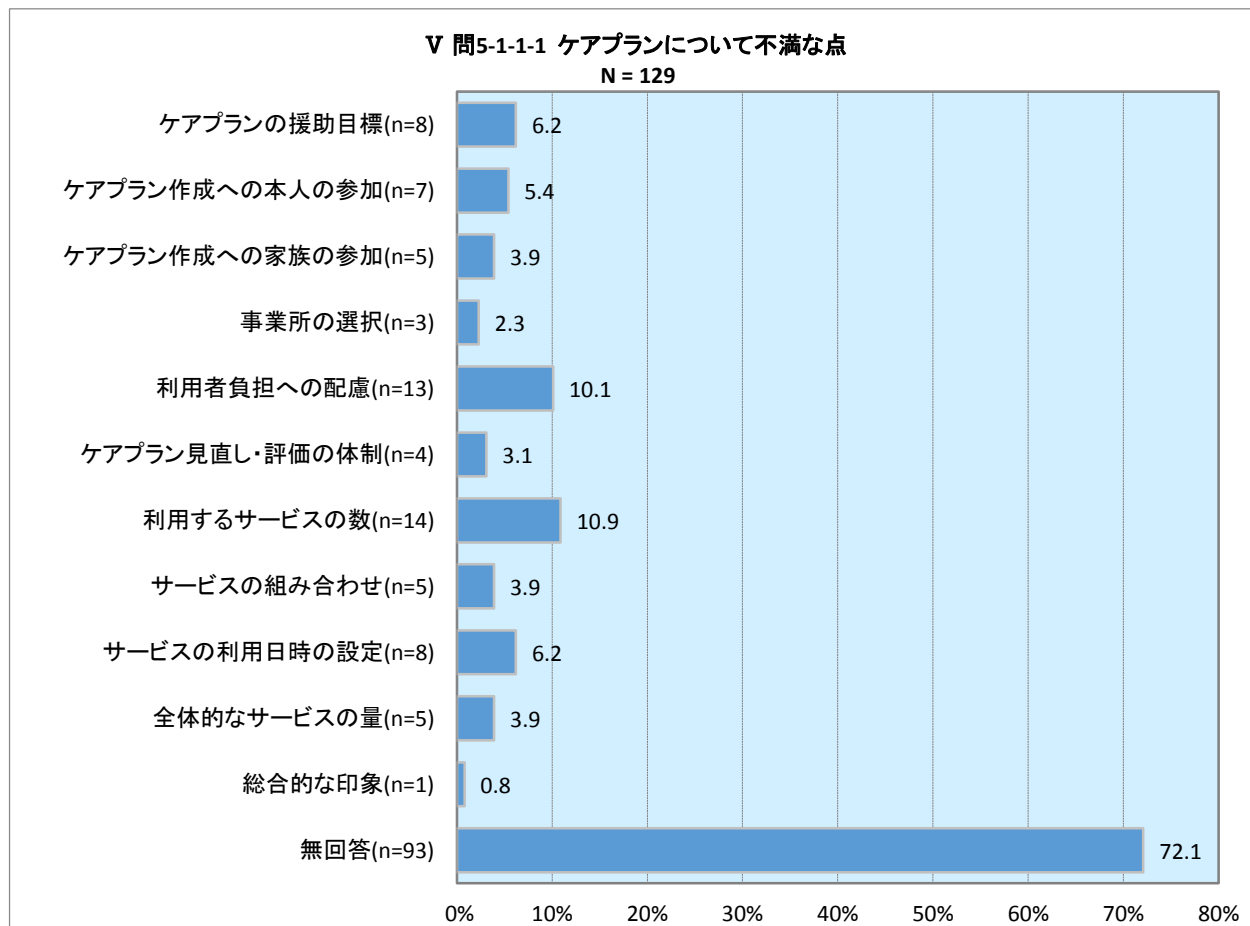
- 【自分のケアプランの内容を知っているか】は、「知っている」が最多で56.1%（129件）、次いで、「わからない」が17.8%（41件）、「知らない」が12.6%（29件）となっています。



回答条件：【Ⅴ 問3 現在、介護保険のサービスの利用の有無】で「利用している」の場合のみ回答

問5-1-1-1 ケアプランについて不満な点（複数回答形式）

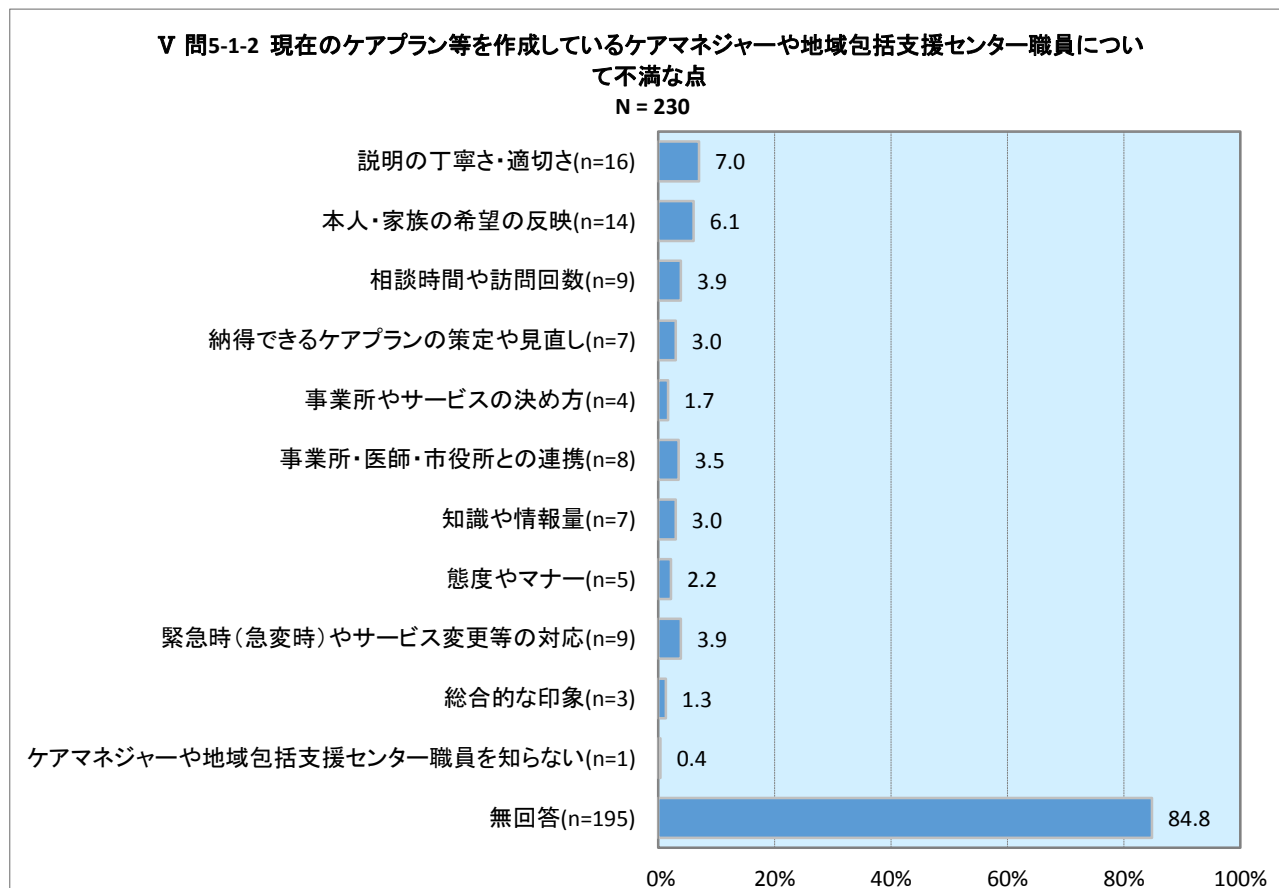
●【ケアプランについて不満な点】は、「利用するサービスの数」が最多で10.9%（14件）、次いで、「利用者負担への配慮」が10.1%（13件）、「ケアプランの援助目標」と「サービスの利用日時の指定」が6.2%（8件）となっています。なお、「無回答」が72.1%（93件）と高い割合となっています。



回答条件：【Ⅴ 問5-1-1 自分のケアプランの内容を知っているか】で「知っている」の場合のみ回答

問5-1-2 ケアマネジャーや地域包括支援センター職員について不満な点（複数回答形式）

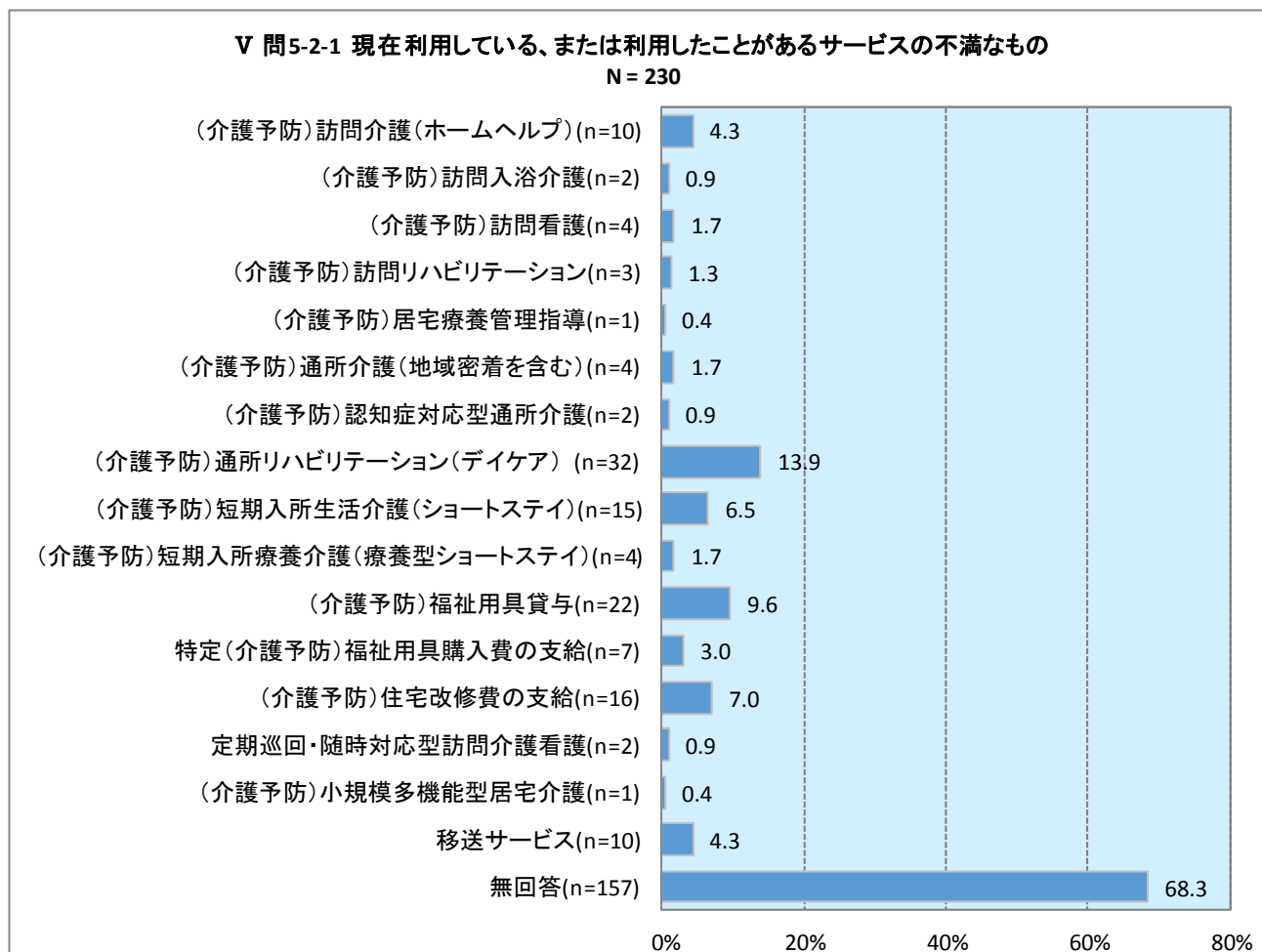
●【問 5-1-2 現在のケアプラン等を作成しているケアマネジャーや地域包括支援センター職員について不満な点】は、「説明の丁寧さ・適切さ」が最多で7.0%（16件）、次いで、「本人・家族の希望の反映」が6.1%（14件）となっています。なお、「無回答」が84.8%（195件）と高い割合となっています。



回答条件：【V 問3 現在、介護保険のサービスの利用の有無】で「利用している」の場合のみ回答

問5-2-1 サービスで不満なもの（複数回答形式）

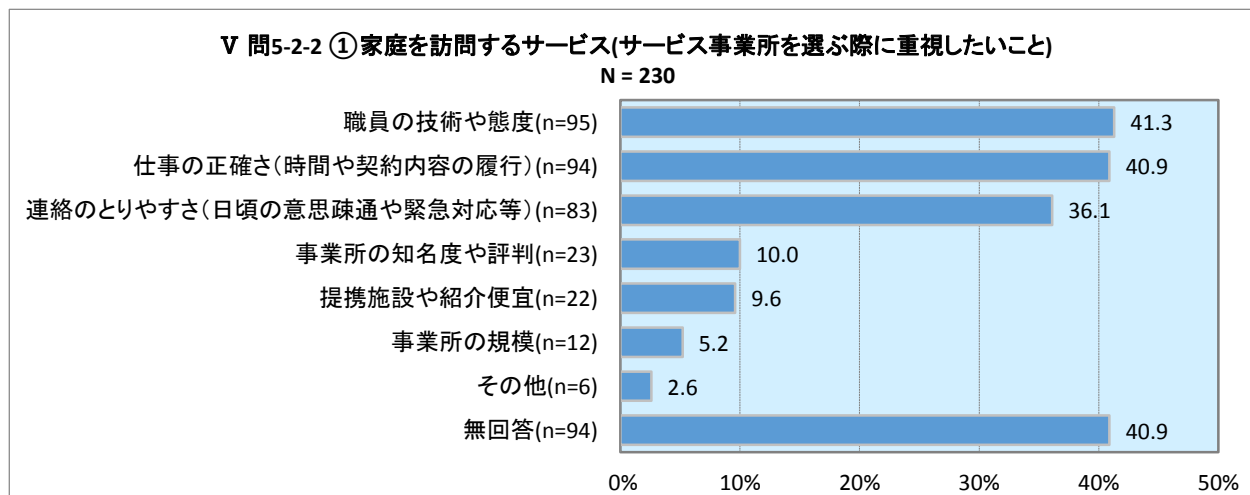
●【現在利用している、または利用したことがあるサービスの不満なもの】は、「（介護予防）通所リハビリテーション（デイケア）」が最多で13.9%（32件）、次いで、「（介護予防）福祉用具貸与」が9.6%（22件）、「（介護予防）住宅改修費の支給」が7.0%（16件）となっています。なお、「無回答」が68.3%（157件）と高い割合となっています。



回答条件：【V 問3 現在、介護保険のサービスの利用の有無】で「利用している」の場合のみ回答

## 問5-2-2 ①家庭を訪問するサービス(重視したいこと) (複数回答形式)

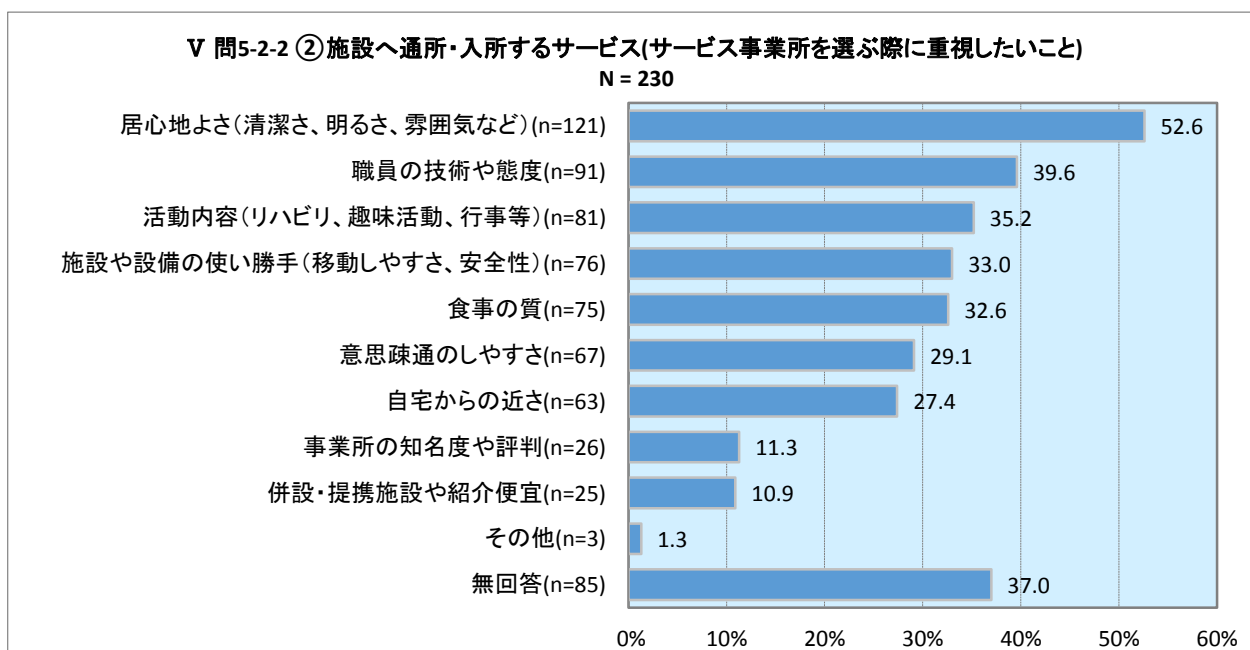
- 【家庭を訪問するサービス(サービス事業所を選ぶ際に重視したいこと)】は、「職員の技術や態度」が最多で41.3% (95件)、次いで、「仕事の正確さ(時間や契約内容の履行)」が40.9% (94件)、「連絡のとりやすさ(日頃の意思疎通や緊急対応等)」が36.1% (83件)となっています。



回答条件：【Ⅴ 問3 現在、介護保険のサービスの利用の有無】で「利用している」の場合のみ回答

## 問5-2-2 ②施設へ通所・入所するサービス(重視したいこと) (複数回答形式)

- 【施設へ通所・入所するサービス(サービス事業所を選ぶ際に重視したいこと)】は、「居心地よさ(清潔さ、明るさ、雰囲気など)」が最多で52.6% (121件)、次いで、「職員の技術や態度」が39.6% (91件)、「活動内容(リハビリ、趣味活動、行事等)」が35.2% (81件)となっています。

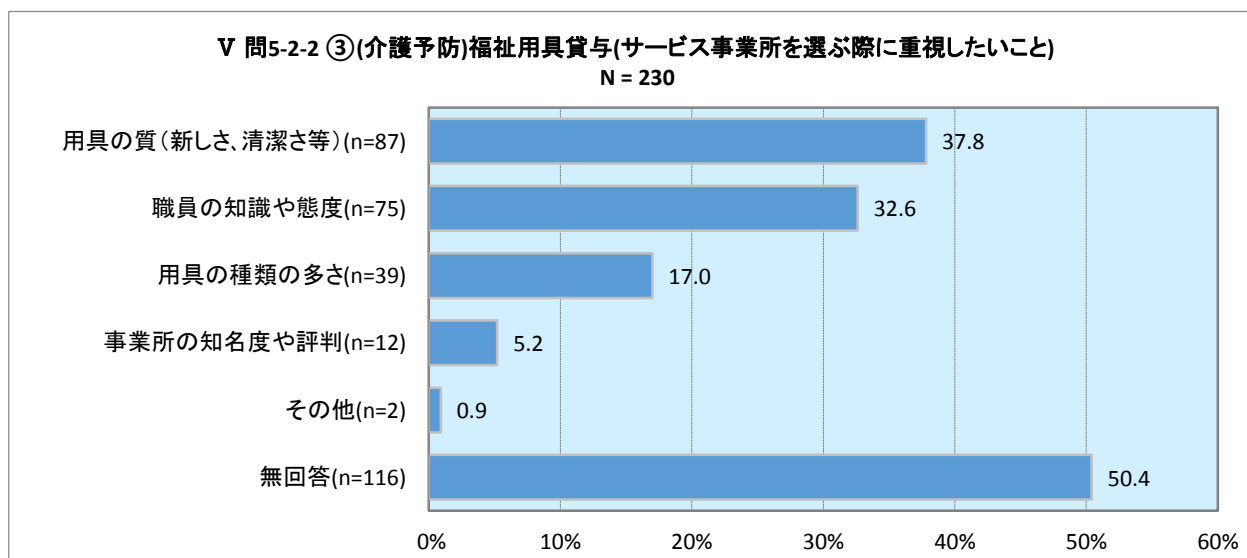


回答条件：【Ⅴ 問3 現在、介護保険のサービスの利用の有無】で「利用している」の場合のみ回答



## 問5-2-2 ③(介護予防)福祉用具貸与(重視したいこと) (複数回答形式)

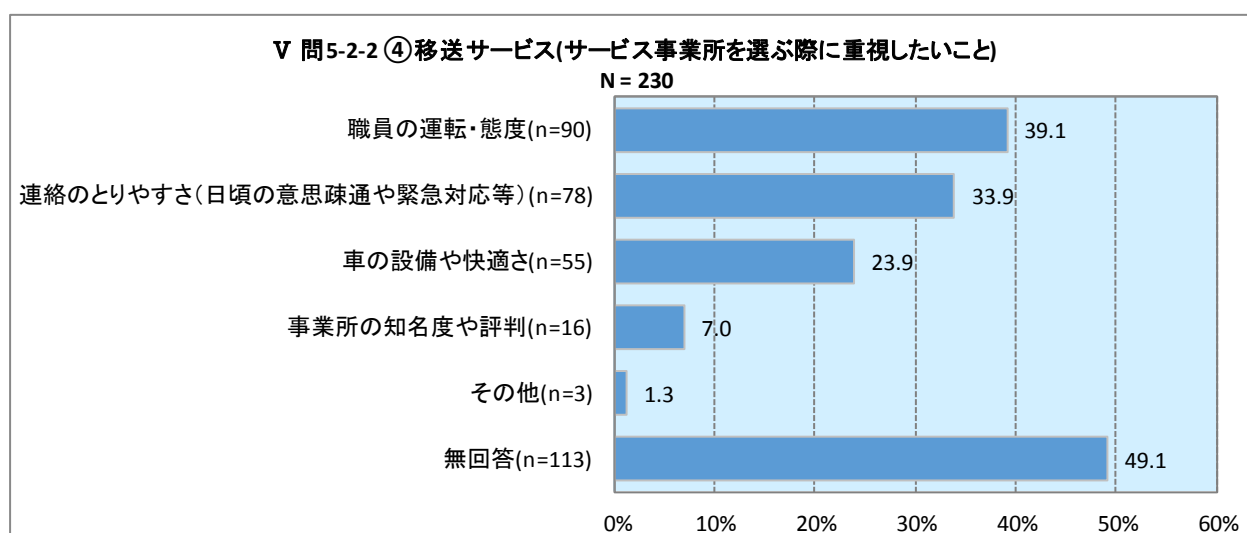
- 【(介護予防)福祉用具貸与(サービス事業所を選ぶ際に重視したいこと)】は、「用具の質(新しさ、清潔さ等)」が最多で37.8%(87件)、次いで、「職員の知識や態度」が32.6%(75件)、「用具の種類が多さ」が17.0%(39件)となっています。



回答条件：【Ⅴ 問3 現在、介護保険のサービスの利用の有無】で「利用している」の場合のみ回答

## 問5-2-2 ④移送サービス(重視したいこと) (複数回答形式)

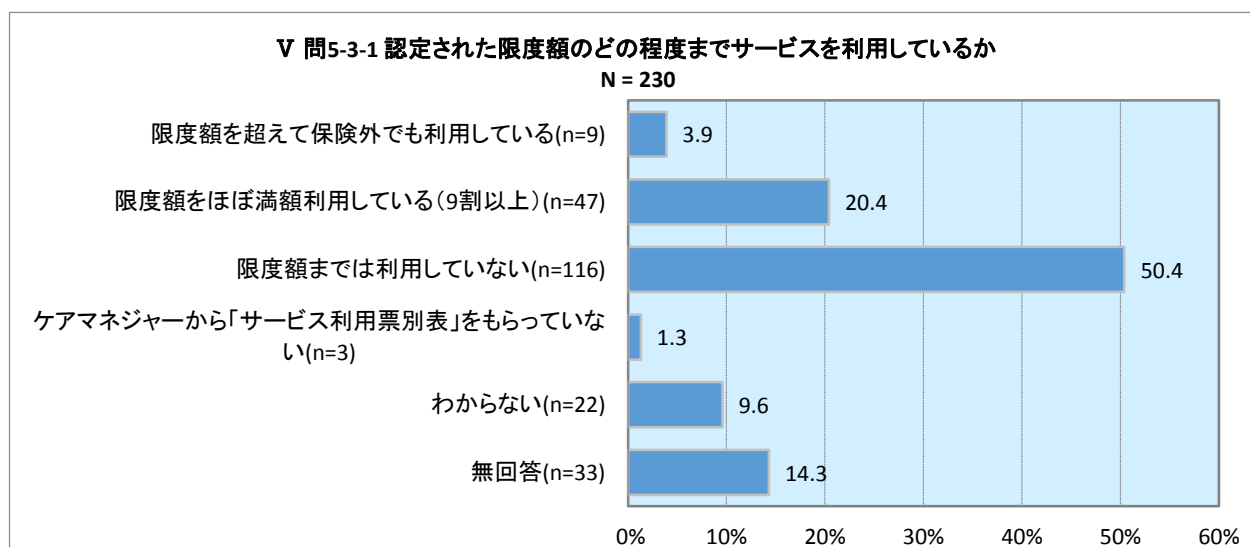
- 【移送サービス(サービス事業所を選ぶ際に重視したいこと)】は、「職員の運転・態度」が最多で39.1%(90件)、次いで、「連絡のとりやすさ(日頃の意思疎通や緊急対応等)」が33.9%(78件)、「車の設備や快適さ」が23.9%(55件)となっています。



回答条件：【Ⅴ 問3 現在、介護保険のサービスの利用の有無】で「利用している」の場合のみ回答

問5-3-1 認定された限度額のどの程度までサービスを利用しているか（単一回答形式）

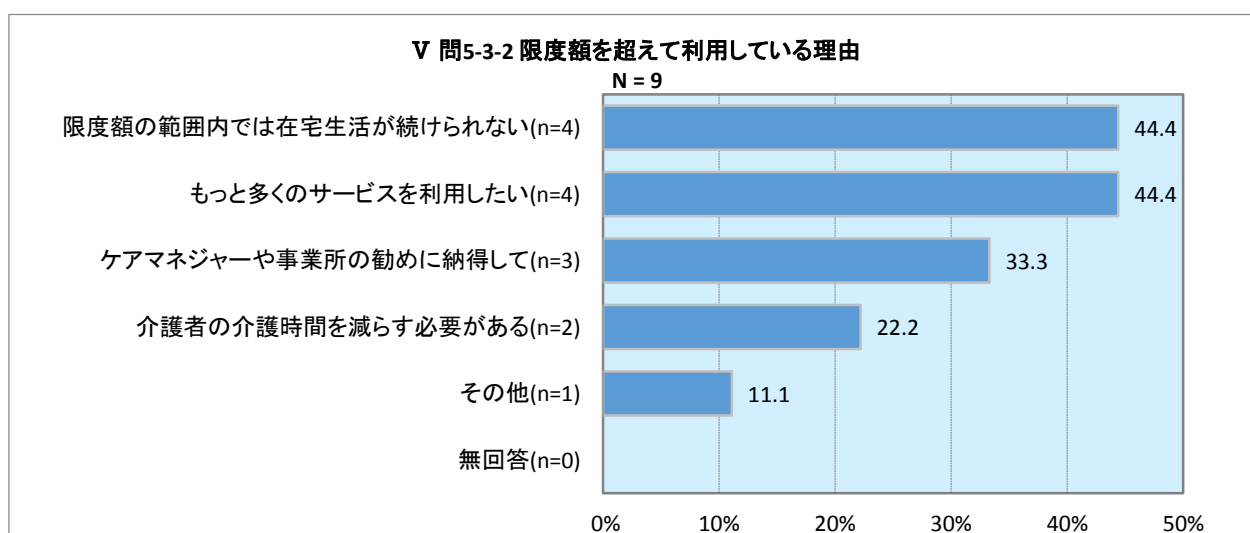
- 【認定された限度額のどの程度までサービスを利用しているか】は、「限度額までは利用していない」が最多で50.4%（116件）、次いで、「限度額をほぼ満額利用している（9割以上）」が20.4%（47件）、「わからない」が9.6%（22件）となっています。



回答条件：【Ⅴ 問3 現在、介護保険のサービスの利用の有無】で「利用している」の場合のみ回答

問5-3-2 〈限度額を超えて利用〉限度額を超えて利用している理由（単一回答形式）

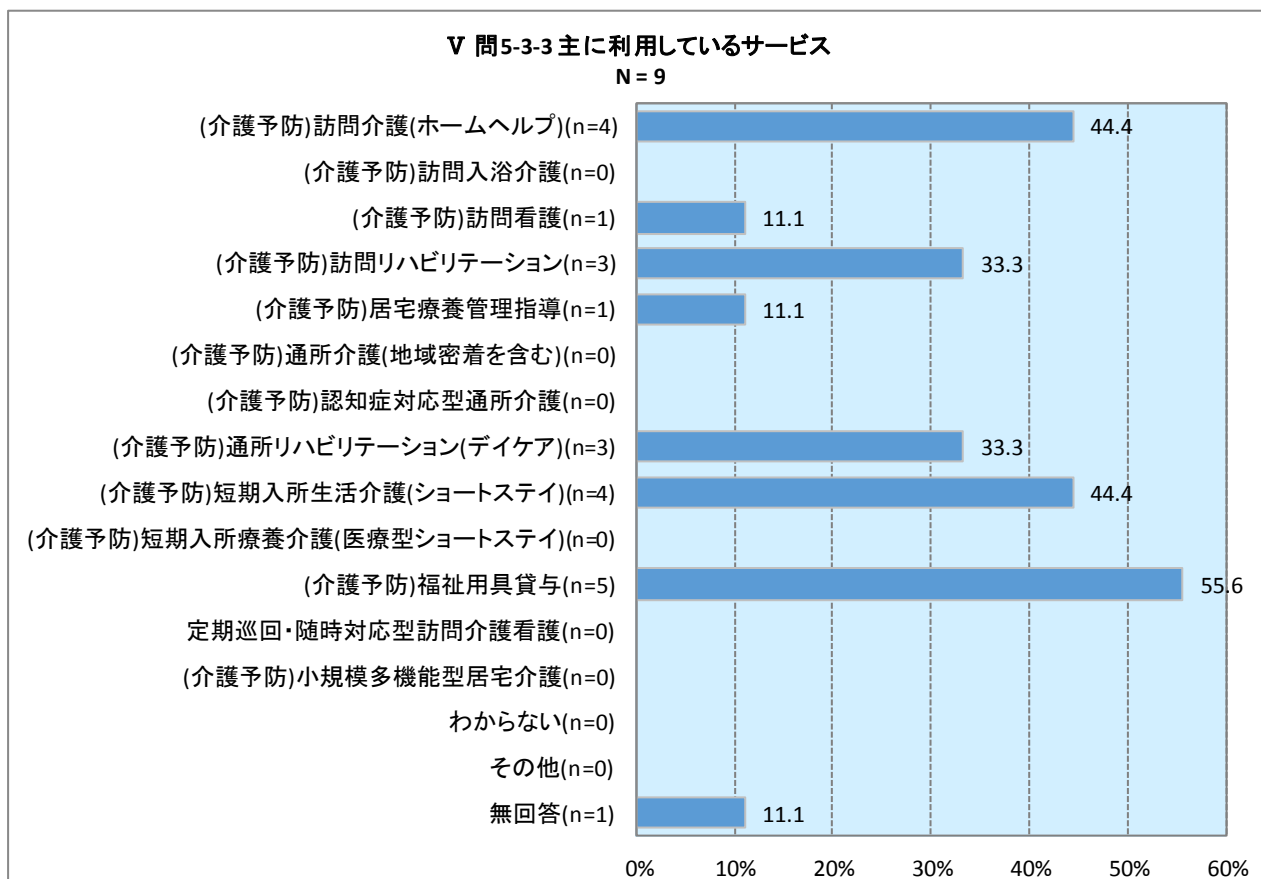
- 【限度額を超えて利用している理由】は、「限度額の範囲内では在宅生活が続けられない」と「もっと多くのサービスを利用したい」が最多で44.4%（4件）、次いで、「ケアマネジャーや事業所の勧めに納得して」が33.3%（3件）となっています。



回答条件：【Ⅴ 問5-3-1 認定された限度額のどの程度までサービスを利用しているか】で、「限度額を超えて保険外でも利用している」の場合のみ回答

問5-3-3 〈限度額を超えて利用〉主に利用しているサービス（複数回答形式）

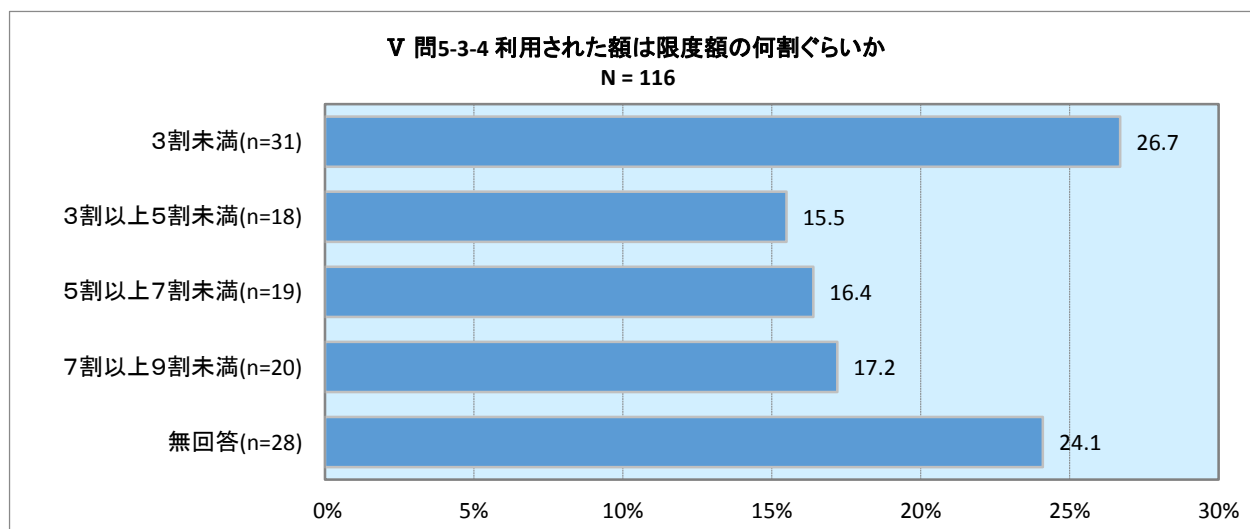
●【主に利用しているサービス】は、「(介護予防)福祉用具貸与」が最多で55.6%（5件）、次いで、「(介護予防)訪問介護(ホームヘルプ)」と「(介護予防)短期入所生活介護(ショートステイ)」が44.4%（4件）となっています。



回答条件：【V 問5-3-1 認定された限度額のどの程度までサービスを利用しているか】で、「限度額を超えて保険外でも利用している」の場合のみ回答

問5-3-4〈限度額までは利用していない〉利用された額は限度額の何割ぐらいか（単一回答形式）

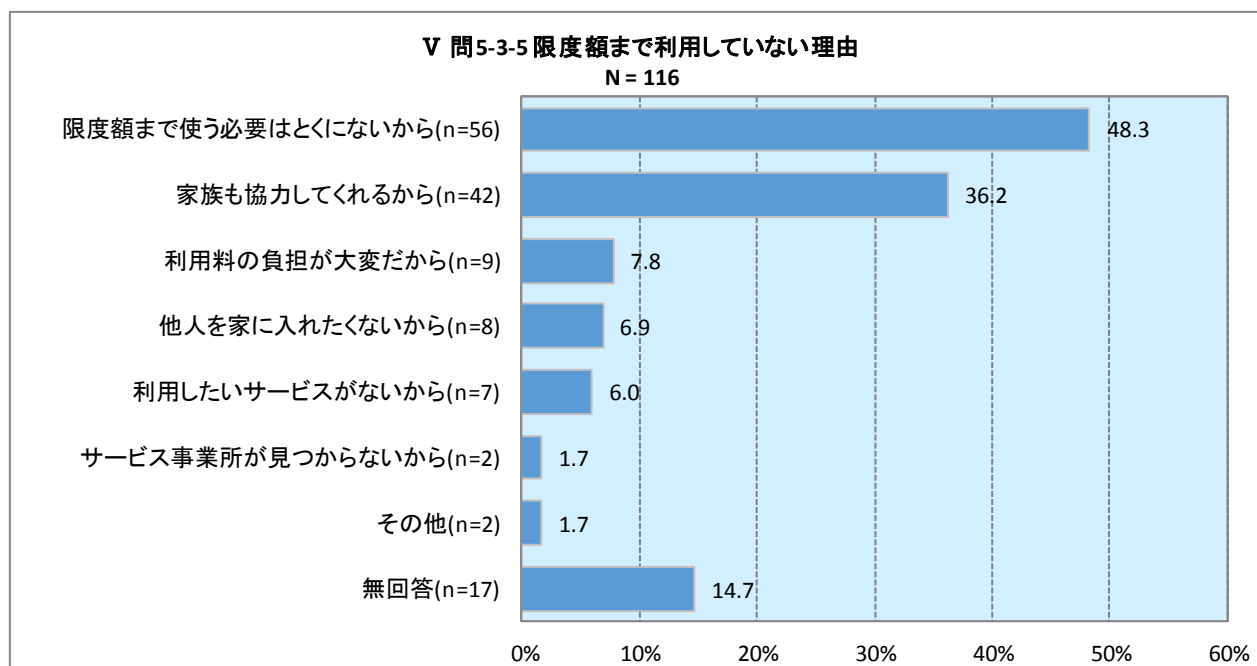
●【利用された額は限度額の何割ぐらいか】は、「3割未満」が最多で26.7%（31件）、次いで、「7割以上9割未満」が17.2%（20件）、「5割以上7割未満」が16.4%（19件）となっています。



回答条件：【V 問5-3-1 認定された限度額のどの程度までサービスを利用しているか】で、「限度額までは利用していない」の場合のみ回答

問5-3-5〈限度額までは利用していない〉限度額まで利用していない理由（単一回答形式）

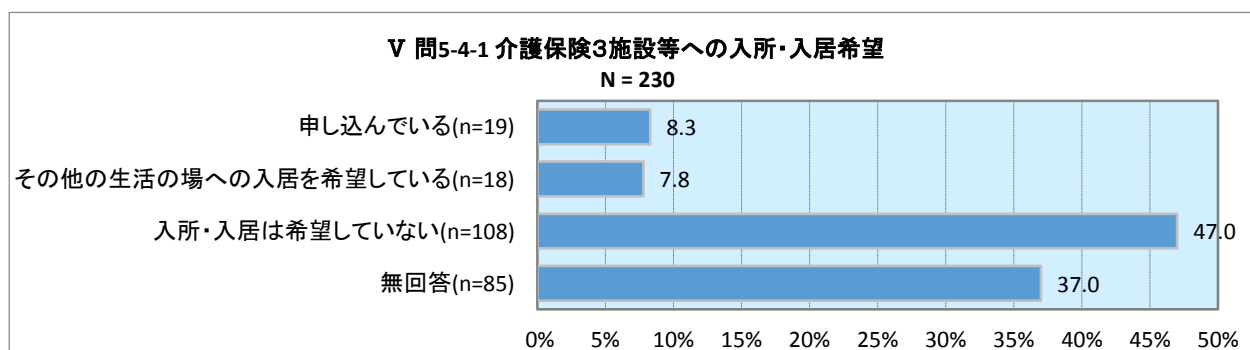
●【限度額まで利用していない理由】は、「限度額まで使う必要はとくにないから」が最多で48.3%（56件）、次いで、「家族も協力してくれるから」が36.2%（42件）、「利用料の負担が大変だから」が7.8%（9件）となっています。



回答条件：【V 問5-3-1 認定された限度額のどの程度までサービスを利用しているか】で、「限度額までは利用していない」の場合のみ回答

問5-4-1 介護保険3施設等への入所・入居希望（単一回答形式）

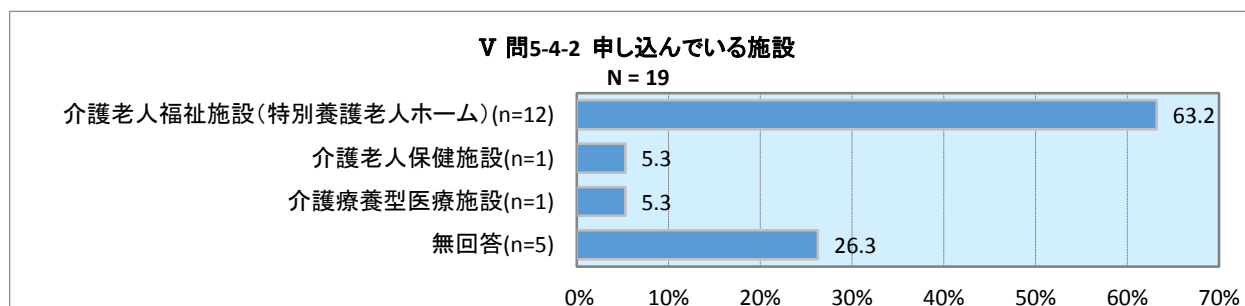
- 【介護保険3施設等への入所・入居希望】は、「入所・入居は希望していない」が最多で47.0%（108件）、次いで、「申し込んでいる」が8.3%（19件）、「その他の生活の場への入居を希望している」が7.8%（18件）となっています。



回答条件：【V 問3 現在、介護保険のサービスの利用の有無】で「利用している」の場合のみ回答

問5-4-2 申し込んでいる施設（介護保険3施設）（単一回答形式）

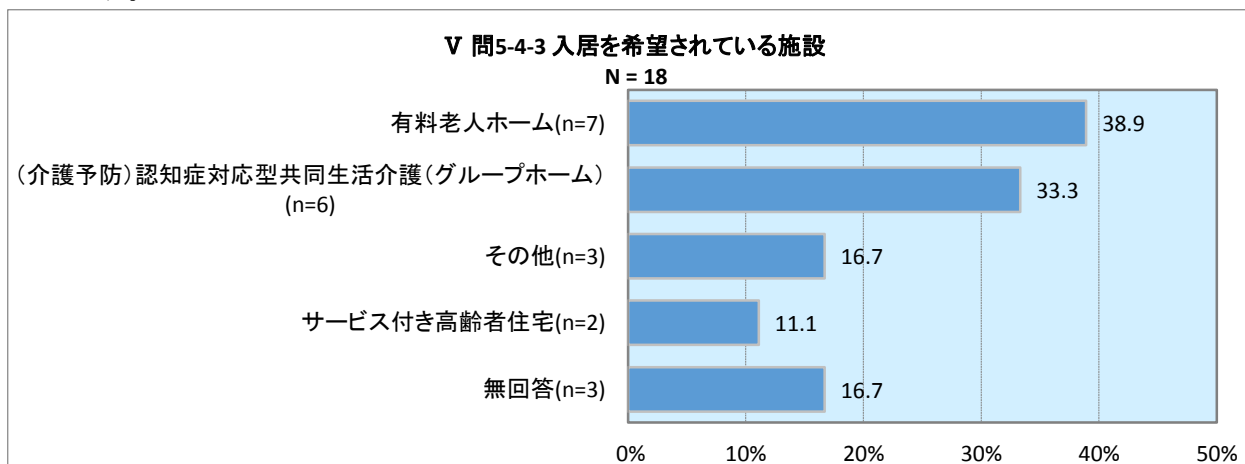
- 【申し込んでいる施設（介護保険3施設）】は、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が最多で63.2%（12件）、次いで、「介護老人保健施設」と「介護療養型医療施設」が5.3%（1件）となっています。



回答条件：【V 問5-4-1 介護保険3施設等への入所・入居希望】で「申し込んでいる」の場合のみ回答

問5-4-3 入居を希望されている施設（その他の生活の場）（単一回答形式）

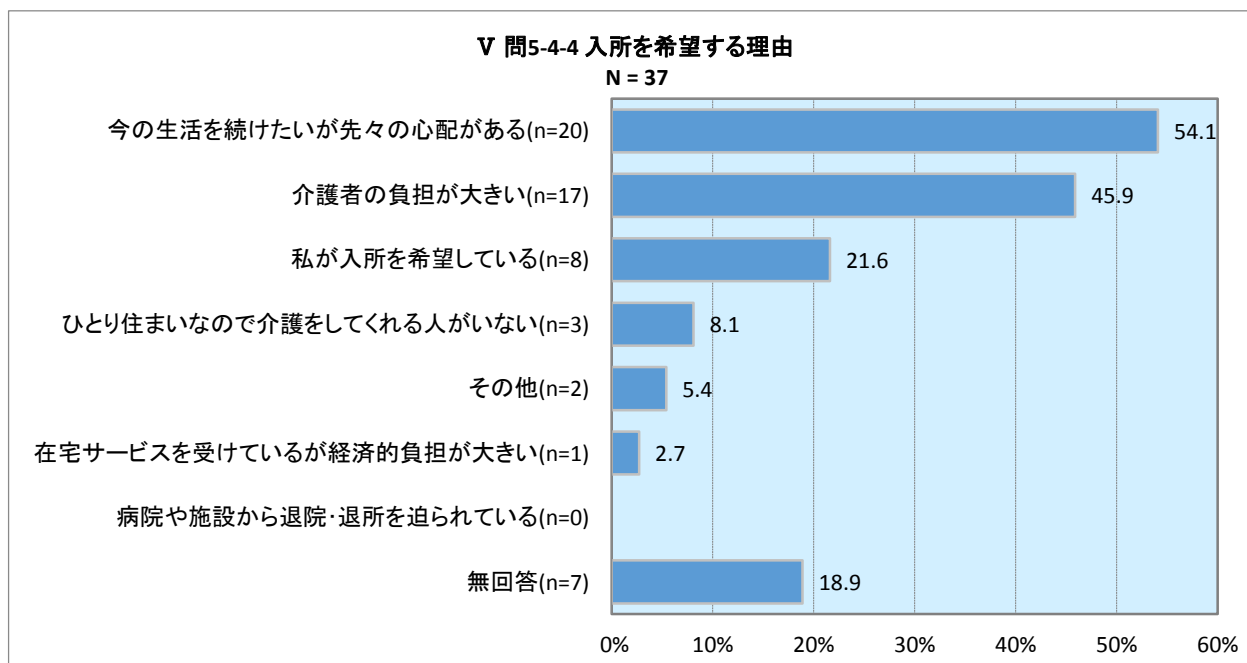
- 【入居を希望されている施設（その他の生活の場）】は、「有料老人ホーム」が最多で38.9%（7件）、次いで、「（介護予防）認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」が33.3%（6件）となっています。



回答条件：【V 問5-4-1 介護保険3施設等への入所・入居希望】で、「その他の生活の場への入居を希望している」の場合のみ回答

問5-4-4 入所を希望する理由（複数回答形式）

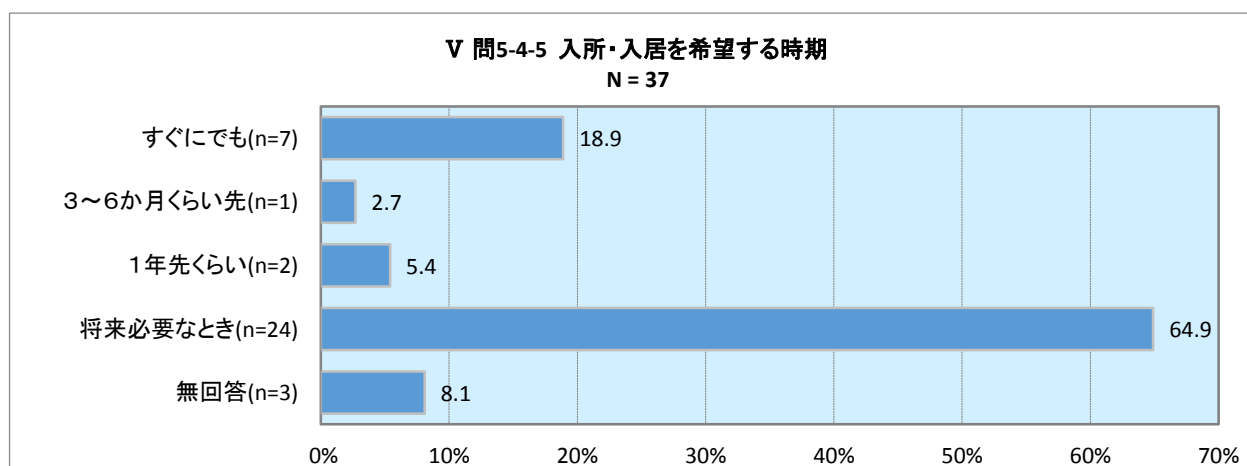
- 【入所を希望する理由】は、「今の生活を続けたいが先々の心配がある」が最多で 54.1%（20 件）、次いで、「介護者の負担が大きい」が 45.9%（17 件）、「私が入所を希望している」が 21.6%（8 件）となっています。



回答条件：【V 問 5-4-1 介護保険 3 施設等への入所・入居希望】で「申し込んでいる」「その他の生活の場への入居を希望している」の場合のみ回答

問5-4-5 入所・入居を希望する時期（複数回答形式）

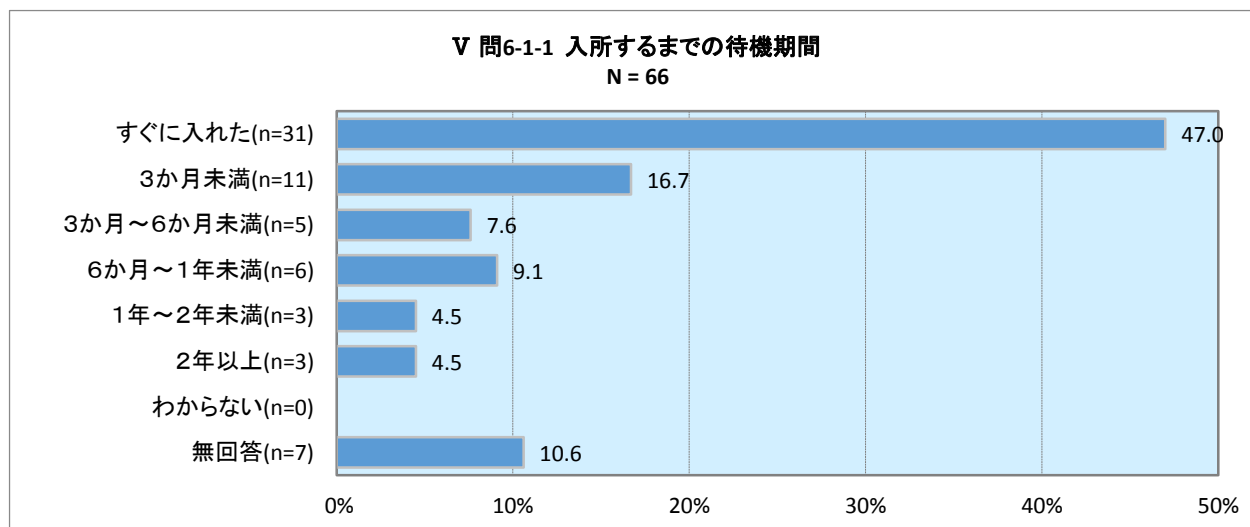
- 【入所・入居を希望する時期】は、「将来必要なとき」が最多で 64.9%（24 件）、次いで、「すぐにでも」が 18.9%（7 件）、「1 年先くらい」が 5.4%（2 件）となっています。



回答条件：【V 問 5-4-1 介護保険 3 施設等への入所・入居希望】で「申し込んでいる」「その他の生活の場への入居を希望している」の場合のみ回答

## 問6-1-1 《施設入所者》入所するまでの待機期間（複数回答形式）

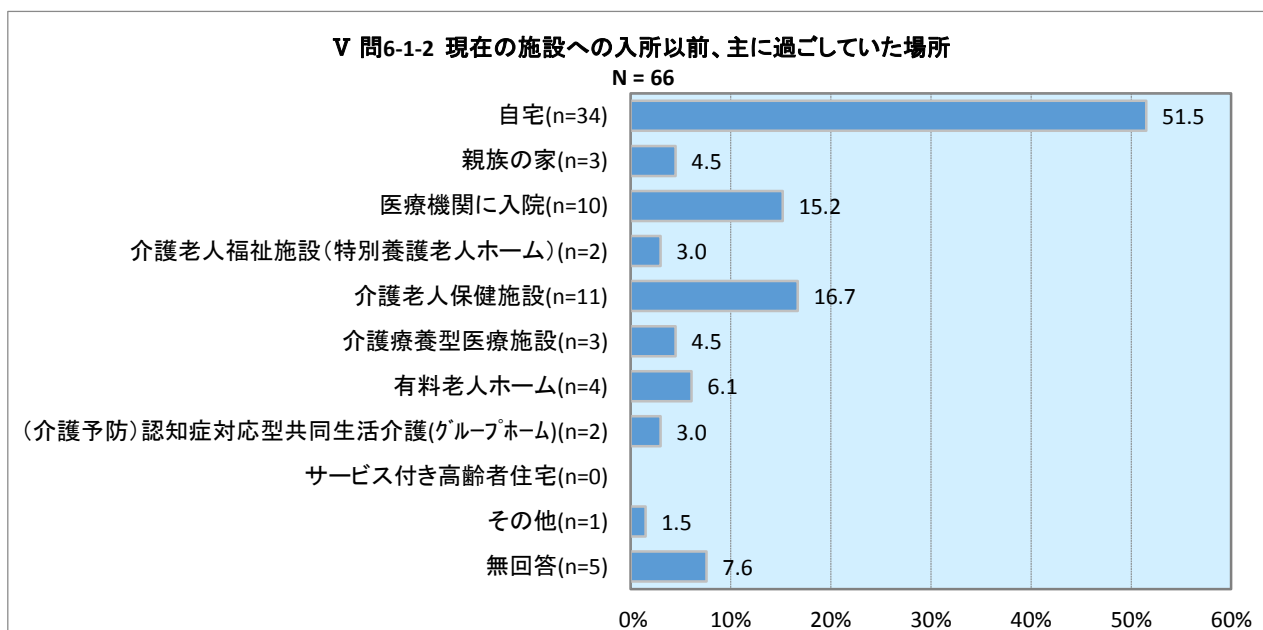
- 【《施設入所者》入所するまでの待機期間】は、「すぐに入れた」が最多で47.0%（31件）、次いで、「3か月未満」が16.7%（11件）、「6か月～1年未満」が9.1%（6件）となっています。



回答条件：【Ⅴ 問2-2 現在の生活の場所】で「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」「介護老人保健施設」「介護療養型医療施設」「有料老人ホーム」「（介護予防）認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」「サービス付き高齢者住宅」の場合のみ回答

## 問6-1-2 《施設入所者》現在の施設への入所以前、主に過ごしていた場所（単一回答形式）

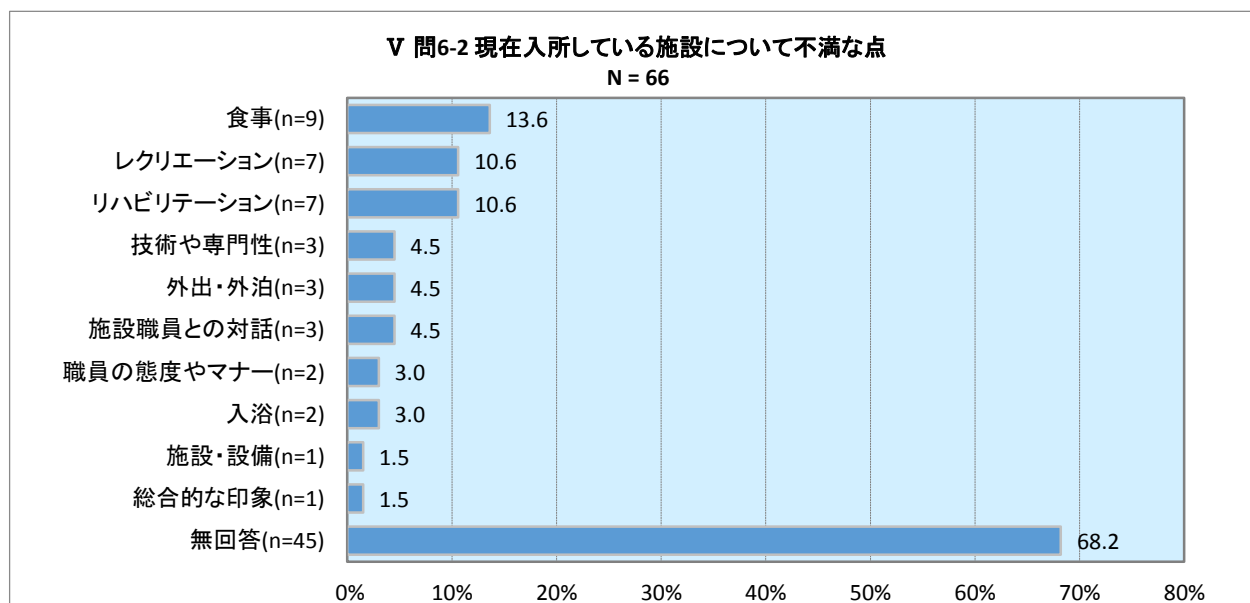
- 【《施設入所者》現在の施設への入所以前、主に過ごしていた場所】は、「自宅」が最多で51.5%（34件）、次いで、「介護老人保健施設」が16.7%（11件）、「医療機関に入院」が15.2%（10件）となっています。



回答条件：【Ⅴ 問2-2 現在の生活の場所】で「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」「介護老人保健施設」「介護療養型医療施設」「有料老人ホーム」「（介護予防）認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」「サービス付き高齢者住宅」の場合のみ回答

## 問6-2 《施設入所者》現在入所している施設について不満な点（複数回答形式）

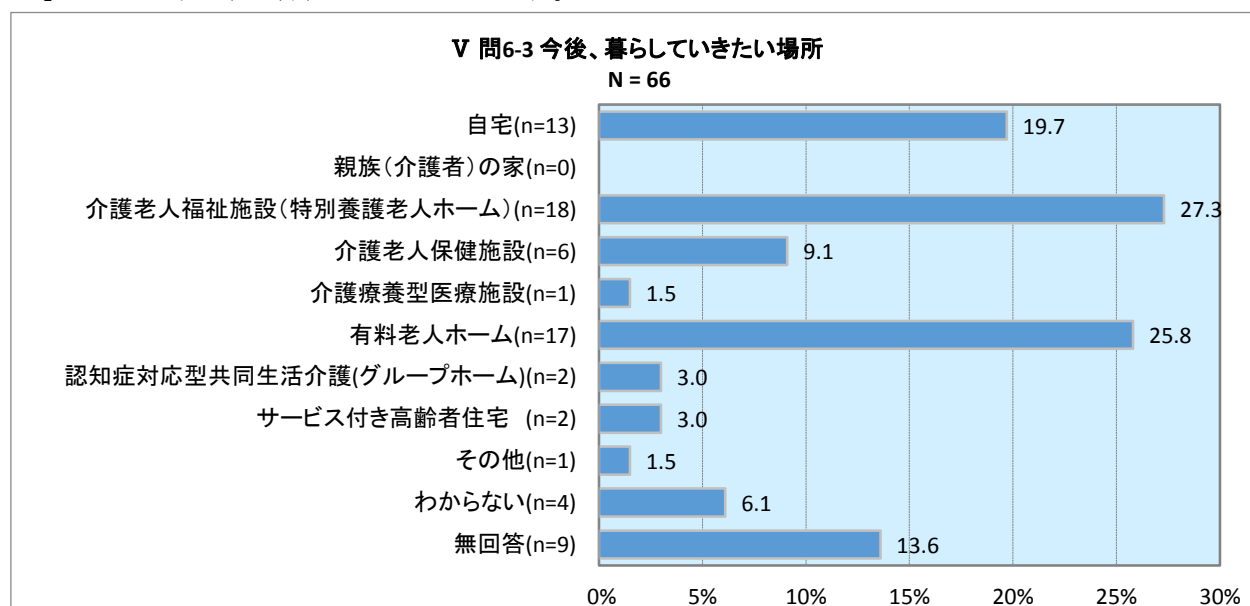
- 【《施設入所者》現在入所している施設について不満な点】は、「食事」が最多で13.6%（9件）、次いで、「レクリエーション」と「リハビリテーション」が10.6%（7件）となっています。なお、「無回答」が68.2%（45件）と高い割合となっています。



回答条件：【V 問 2-2 現在の生活の場所】で「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」「介護老人保健施設」「介護療養型医療施設」「有料老人ホーム」「（介護予防）認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」「サービス付き高齢者住宅」の場合のみ回答

## 問6-3 《施設入所者》今後、暮らしていきたい場所（複数回答形式）

- 【《施設入所者》今後、暮らしていきたい場所】は、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が最多で27.3%（18件）、次いで、「有料老人ホーム」が25.8%（17件）、「自宅」が19.7%（13件）となっています。

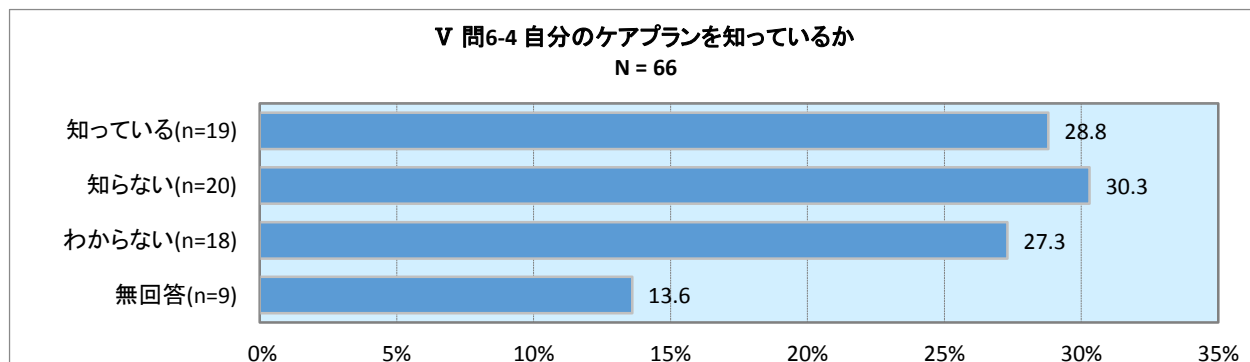


回答条件：【V 問 2-2 現在の生活の場所】で「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」「介護老人保健施設」「介護療養型医療施設」「有料老人ホーム」「（介護予防）認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」「サービス付き高齢者住宅」の場合のみ回答



## 問6-4 《施設入所者》自分のケアプランを知っているか（単一回答形式）

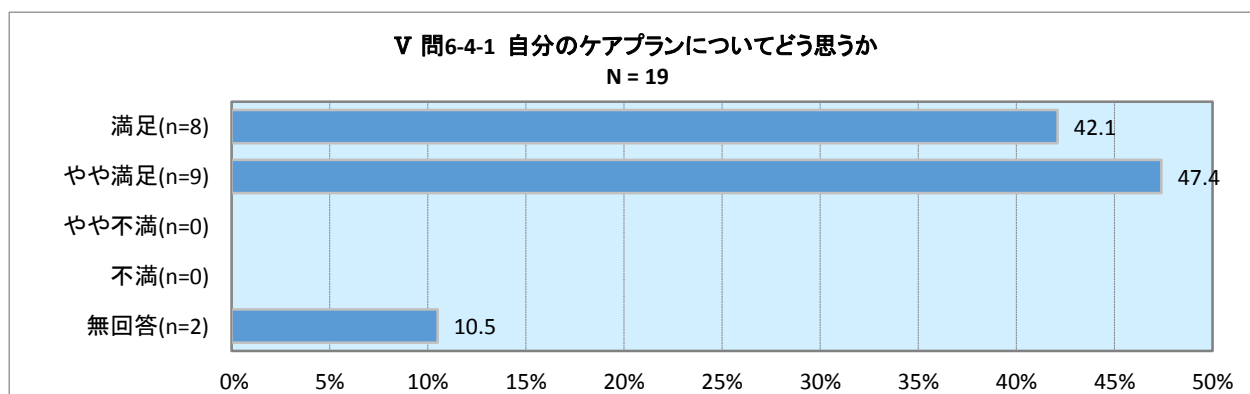
- 【《施設入所者》自分のケアプランを知っているか】は、「知らない」が最多で30.3%（20件）、次いで、「知っている」が28.8%（19件）、「わからない」が27.3%（18件）となっています。



回答条件：【Ⅴ 問2-2 現在の生活の場所】で「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」「介護老人保健施設」「介護療養型医療施設」「有料老人ホーム」「(介護予防)認知症対応型共同生活介護(グループホーム)」「サービス付き高齢者住宅」の場合のみ回答

## 問6-4-1 《施設入所者》自分のケアプランについてどう思うか（単一回答形式）

- 【《施設入所者》自分のケアプランについてどう思うか】は、「やや満足」が最多で47.4%（9件）、次いで、「満足」が42.1%（8件）となっています。

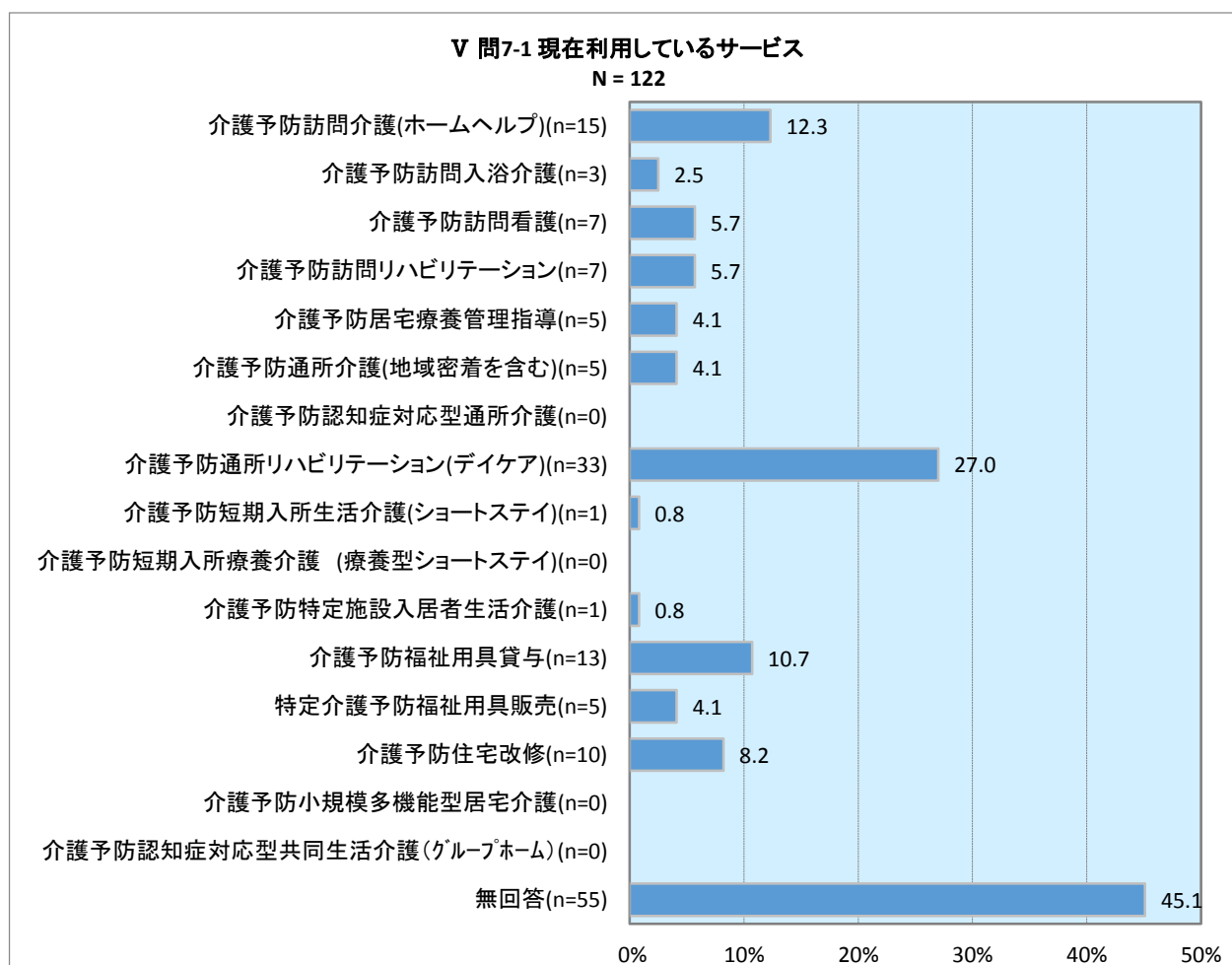


回答条件：【Ⅴ 問6-4 自分のケアプランを知っているか】で、「知っている」の場合のみ回答

問7-1 《要支援1・2の認定者》現在利用しているサービス（複数回答形式）

●【《要支援1・2の認定者》現在利用しているサービス】は、「介護予防通所リハビリテーション(デイケア)」が最多で27.0% (33件)、次いで、「介護予防訪問介護(ホームヘルプ)」が12.3% (15件)、「介護予防福祉用具貸与」が10.7% (13件)となっています。なお、「無回答」が45.1% (55件)と高い割合となっています。

※「介護予防通所リハビリテーション(デイケア)」が最多となっていますが、実際のサービス支給実績は「介護予防通所介護(デイサービス)」の方が多く、サービス名に対する認識違いがあるものと思われます。今後は、回答者にとってわかりやすい記載となるよう、改善します。

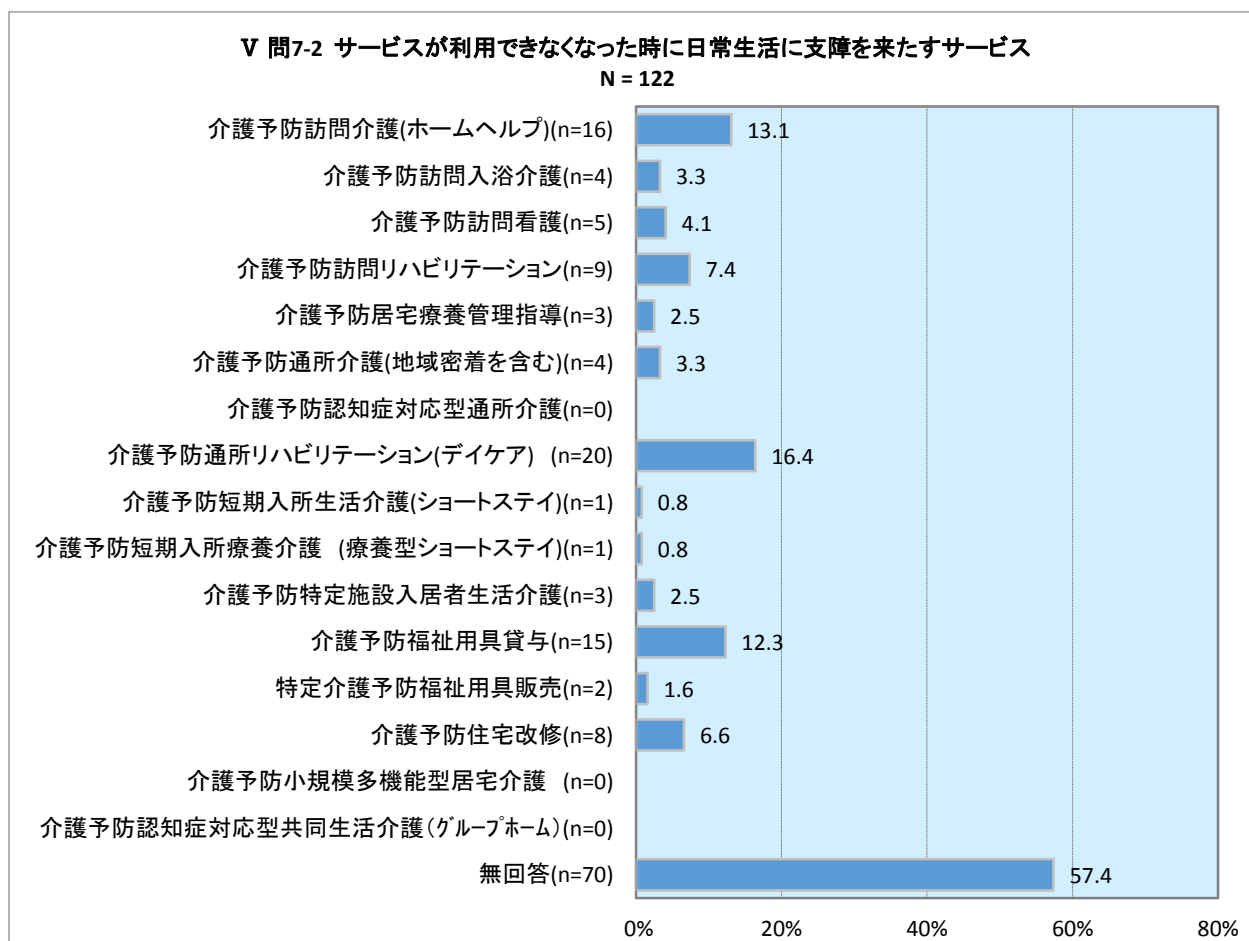


回答条件：【Ⅰ 問4-1 要介護度】で、「要支援1」「要支援2」の場合のみ回答

問7-2 《要支援1・2の認定者》なくなった時に支障を来すサービス（複数回答形式）

●【《要支援1・2の認定者》サービスが利用できなくなった時に日常生活に支障を来すサービス】は、「介護予防通所リハビリテーション(デイケア)」が最多で16.4%（20件）、次いで、「介護予防訪問介護(ホームヘルプ)」が13.1%（16件）、「介護予防福祉用具貸与」が12.3%（15件）となっています。なお、「無回答」が57.4%（70件）と高い割合となっています。

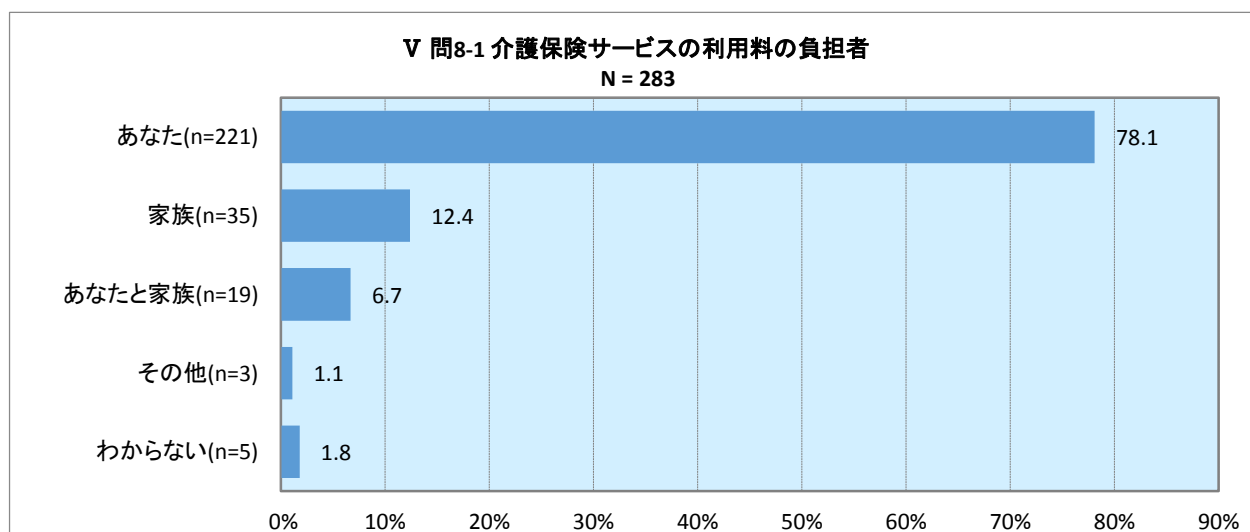
※「介護予防通所リハビリテーション(デイケア)」が最多となっていますが、実際のサービス支給実績は「介護予防通所介護(デイサービス)」の方が多く、サービス名に対する認識違いがあるものと思われます。今後は、回答者にとってわかりやすい記載となるよう、改善します。



回答条件：【Ⅰ 問4-1 要介護度】で、「要支援1」「要支援2」の場合のみ回答

問8-1 《介護保険サービス利用者》介護保険サービスの利用料の負担者（単一回答形式）

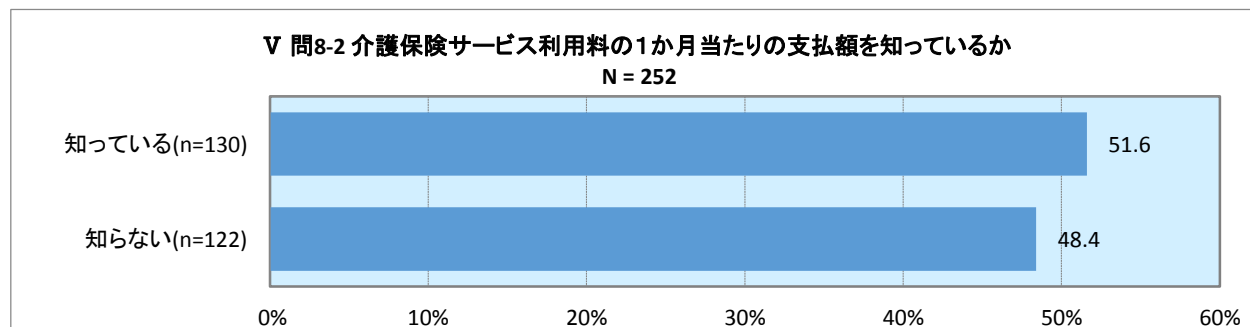
- 【《介護保険サービス利用者》介護保険サービスの利用料の負担者】は、「あなた」が最多で78.1%（221件）、次いで、「家族」が12.4%（35件）、「あなたと家族」が6.7%（19件）となっています。



※「無回答」をの除いて集計

問8-2 《介護保険サービス利用者》介護保険サービスの支払額を知っているか（単一回答形式）

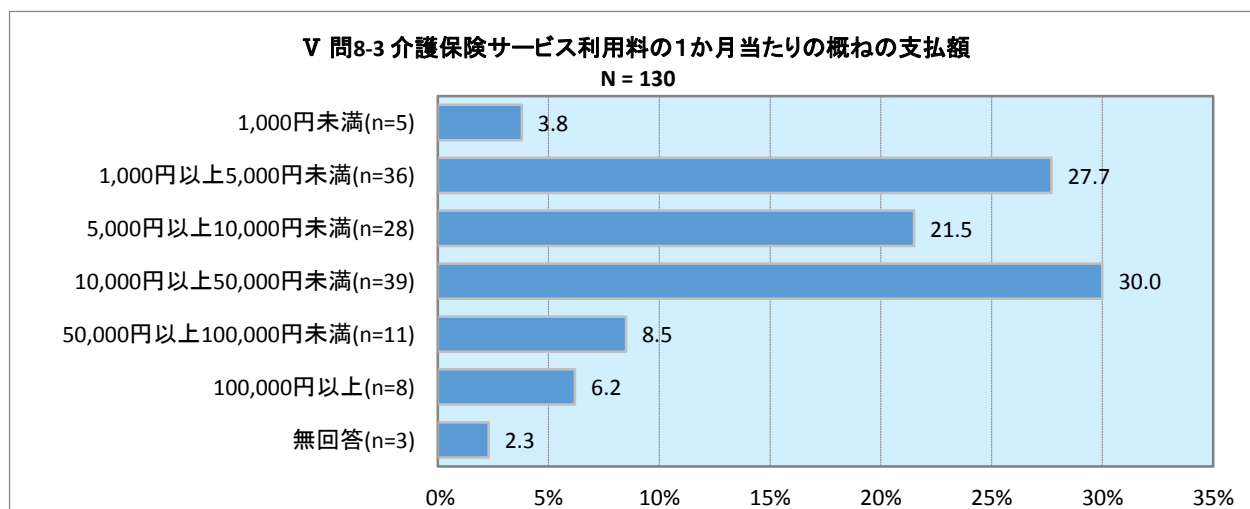
- 【《介護保険サービス利用者》介護保険サービス利用料の1か月当たりの支払額を知っているか】は、「知っている」が51.6%（130件）、「知らない」が48.4%（122件）となっています。



※「無回答」をの除いて集計

問 8-3 《介護保険サービス利用者》介護保険サービス利用料の支払額（単一回答形式）

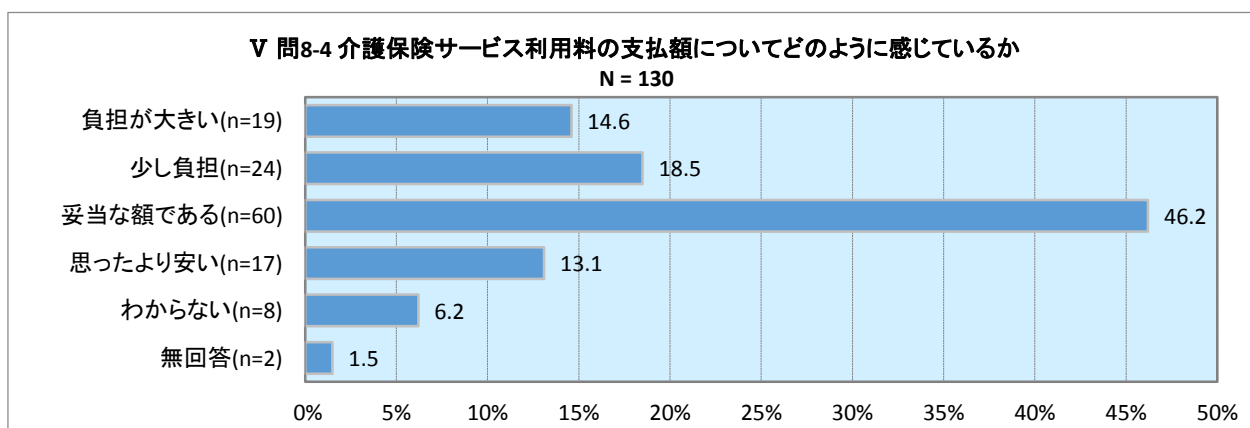
- 【介護保険サービス利用料の1か月当たりの概ねの支払額】は、「10,000円以上50,000円未満」が最多で30.0%（39件）、次いで、「1,000円以上5,000円未満」が27.7%（36件）、「5,000円以上10,000円未満」が21.5%（28件）となっています。



回答条件：【Ⅴ 問 8-2 介護保険サービス利用料の1か月当たりの支払額を知っているか】で、「知っている」の場合のみ回答

問 8-4 《介護保険サービス利用者》利用料の支払額の負担感（単一回答形式）

- 【介護保険サービス利用料の支払額の負担感】は、「妥当な額である」が最多で46.2%（60件）、次いで、「少し負担」が18.5%（24件）、「負担が大きい」が14.6%（19件）となっています。



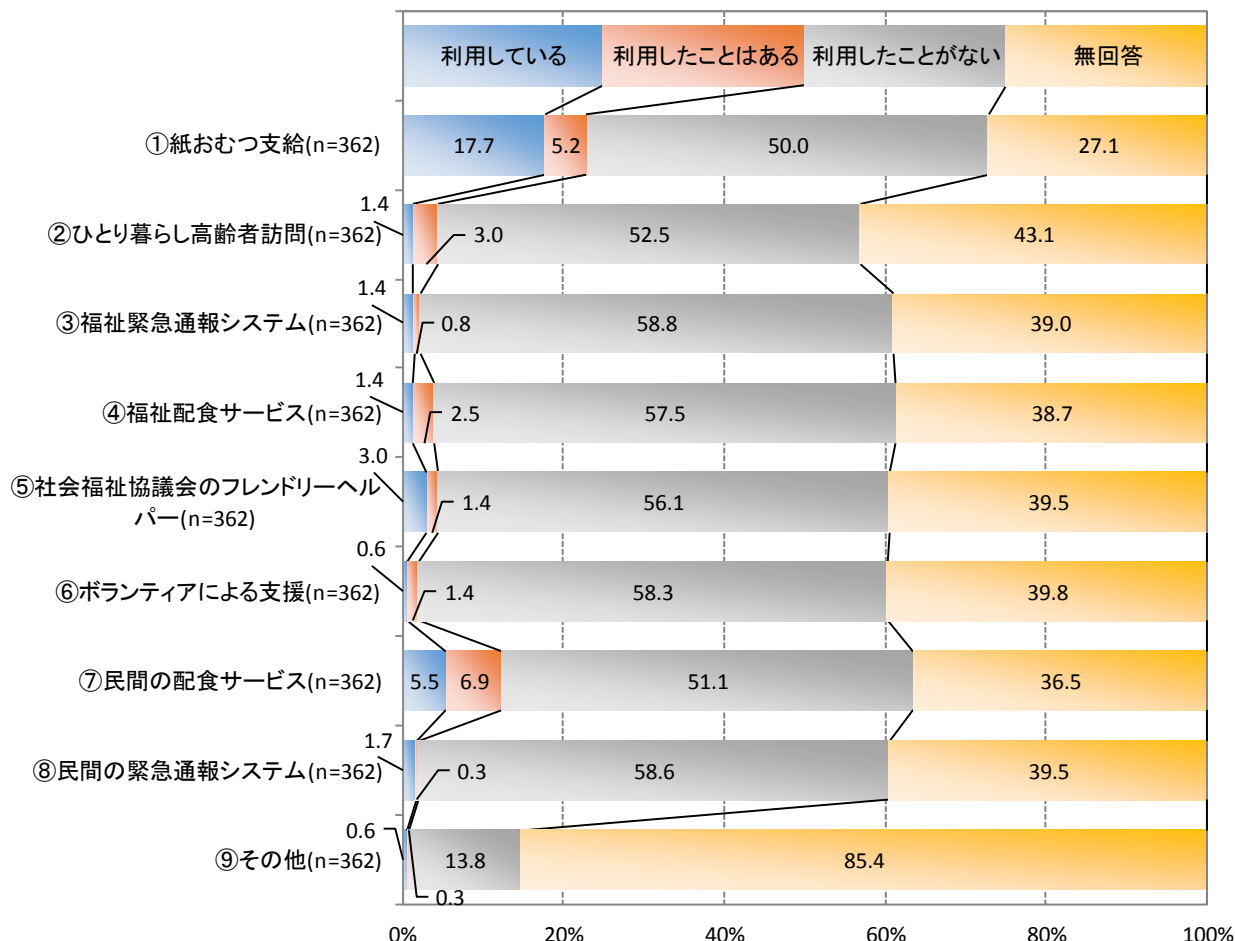
回答条件：【Ⅴ 問 8-2 介護保険サービス利用料の1か月当たりの支払額を知っているか】で、「知っている」の場合のみ回答

VI 高齢者福祉全般

問1 介護給付以外のサービスの利用状況 (単一回答形式)

●【介護給付以外のサービスの利用状況】は、「利用している」で『①紙おむつ支給』が最多で17.7% (64件)、次いで、『⑦民間の配食サービス』が5.5% (20件)となっています。

VI 問1 介護給付以外のサービスの利用状況 N=362

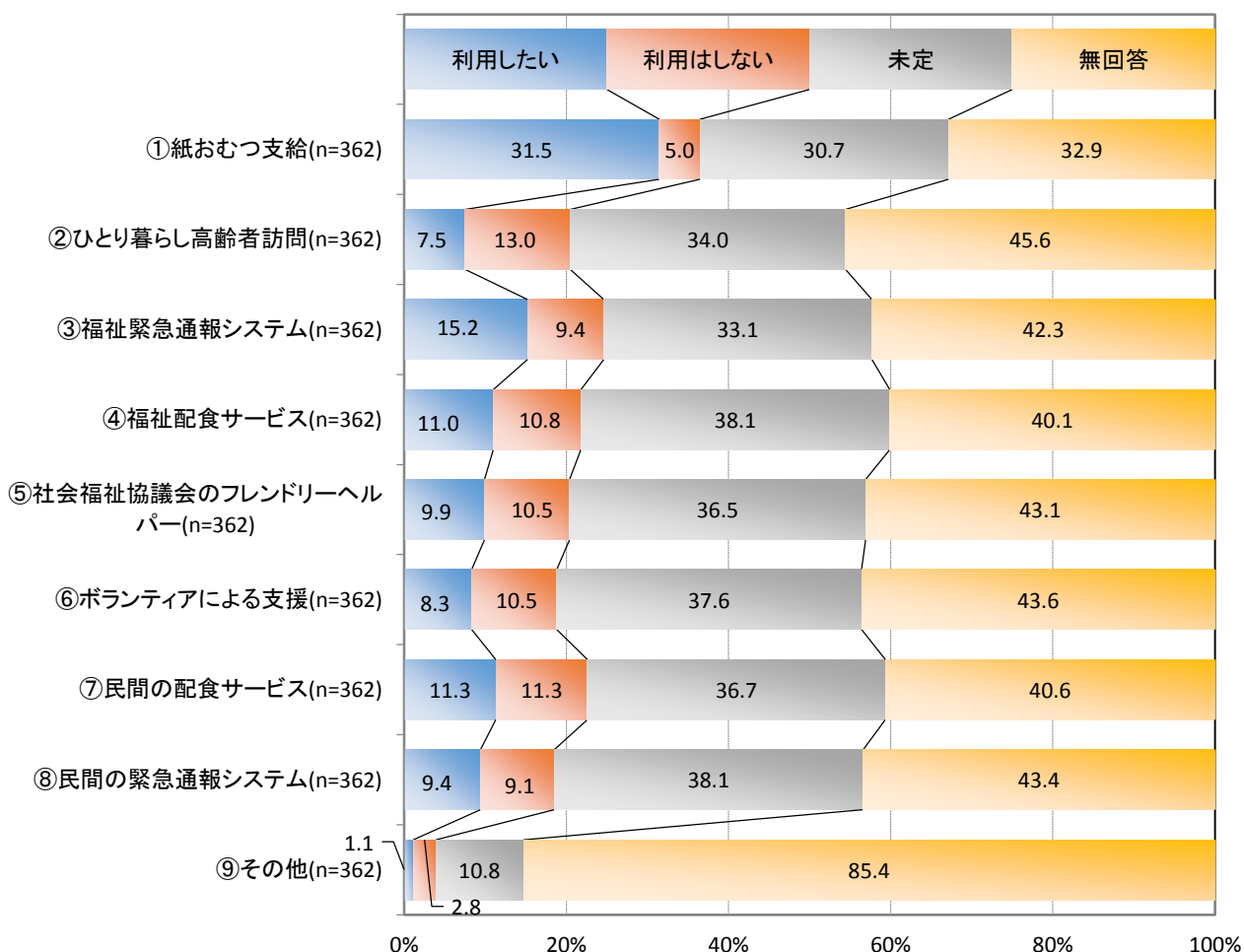


	上段:度数 下段:%	VI 問1 介護給付以外のサービスの利用状況			
		合計	利用している	利用したことはある	利用したことがない
①紙おむつ支給	362 100.0	64 17.7	19 5.2	181 50.0	98 27.1
②ひとり暮らし高齢者訪問	362 100.0	5 1.4	11 3.0	190 52.5	156 43.1
③福祉緊急通報システム	362 100.0	5 1.4	3 0.8	213 58.8	141 39.0
④福祉配食サービス	362 100.0	5 1.4	9 2.5	208 57.5	140 38.7
⑤社会福祉協議会のフレンドリーヘルパー	362 100.0	11 3.0	5 1.4	203 56.1	143 39.5
⑥ボランティアによる支援	362 100.0	2 0.6	5 1.4	211 58.3	144 39.8
⑦民間の配食サービス	362 100.0	20 5.5	25 6.9	185 51.1	132 36.5
⑧民間の緊急通報システム	362 100.0	6 1.7	1 0.3	212 58.6	143 39.5
⑨その他	362 100.0	2 0.6	1 0.3	50 13.8	309 85.4

問1 介護給付以外のサービスの利用意向 (単一回答形式)

●【介護給付以外のサービスの利用意向】は、「利用したい」で『①紙おむつ支給』が最多で31.5% (114件)、次いで、『③福祉緊急通報サービス』が15.2% (55件)、『⑦民間の配食サービス』が11.3% (41件) となっています。

VI 問1 介護給付以外のサービスの利用意向 N=362



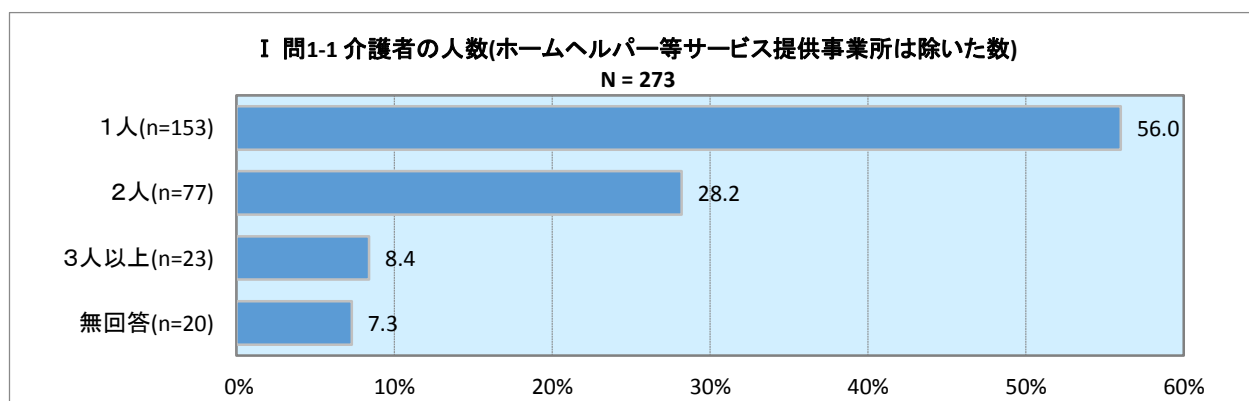
	上段:度数 下段:%	VI 問1 介護給付以外のサービスの利用意向			
		合計	利用したい	利用はしない	未定
①紙おむつ支給	362 100.0	114 31.5	18 5.0	111 30.7	119 32.9
②ひとり暮らし高齢者訪問	362 100.0	27 7.5	47 13.0	123 34.0	165 45.6
③福祉緊急通報システム	362 100.0	55 15.2	34 9.4	120 33.1	153 42.3
④福祉配食サービス	362 100.0	40 11.0	39 10.8	138 38.1	145 40.1
⑤社会福祉協議会のフレンドリーヘルパー	362 100.0	36 9.9	38 10.5	132 36.5	156 43.1
⑥ボランティアによる支援	362 100.0	30 8.3	38 10.5	136 37.6	158 43.6
⑦民間の配食サービス	362 100.0	41 11.3	41 11.3	133 36.7	147 40.6
⑧民間の緊急通報システム	362 100.0	34 9.4	33 9.1	138 38.1	157 43.4
⑨その他	362 100.0	4 1.1	10 2.8	39 10.8	309 85.4

## 第4編 介護者調査結果

## I 介護者の状況

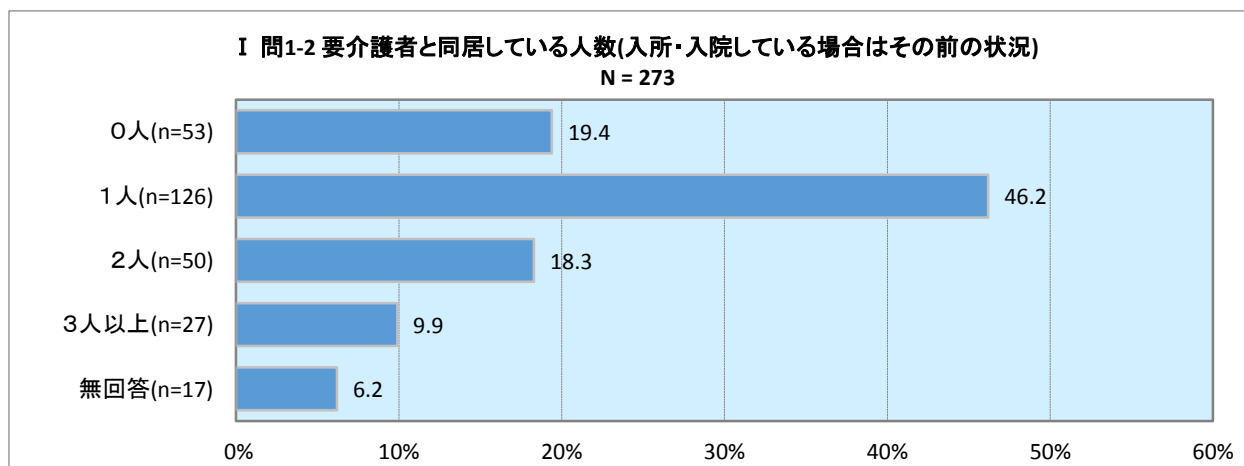
## 問1-1 介護者の人数 (単一回答形式)

- 【介護者の人数(ホームヘルパー等サービス提供事業所は除いた数)】は、「1人」が最多で56.0% (153件)、次いで、「2人」が28.2% (77件)、「3人以上」が8.4% (23件)となっています。



## 問1-2 要介護者と同居している人数 (単一回答形式)

- 【要介護者と同居している人数(入所・入院している場合はその前の状況)】は、「1人」が最多で46.2% (126件)、次いで、「0人」が19.4% (53件)、「2人」が18.3% (50件)となっています。





第4編 介護者調査結果（I 介護者の状況）

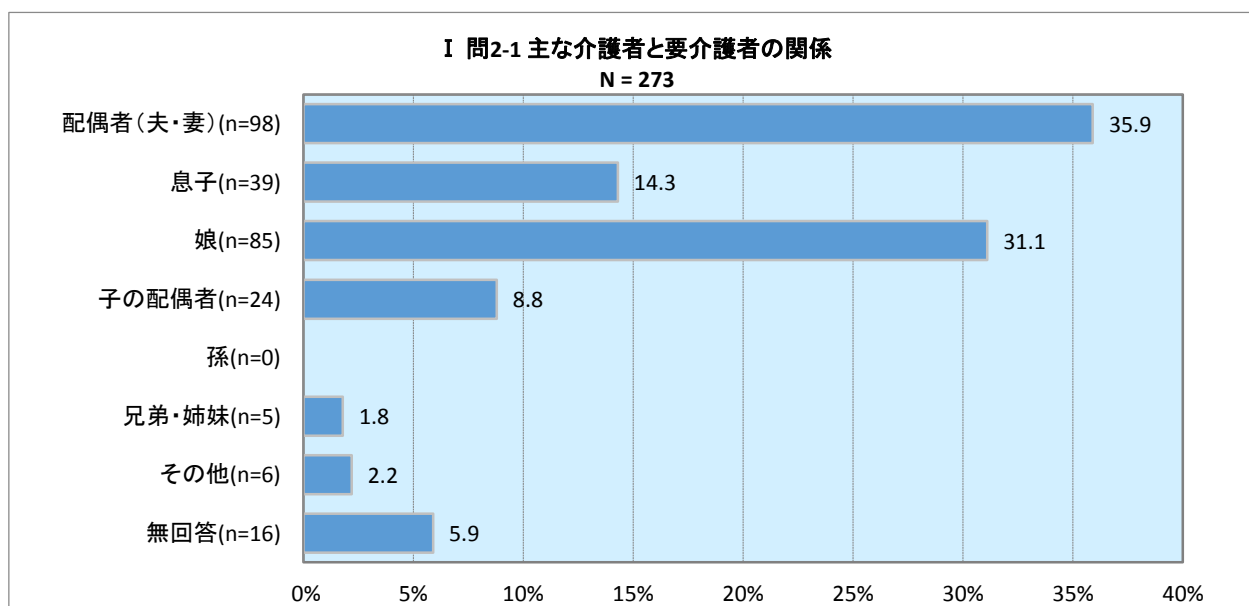
【クロス集計結果一覧】（上位1位をセルに色付け）

- 「性別」「介護者の年齢別」「要介護度別」「サービスの利用別」にみると、どの属性でも、「1人」が最多になる傾向がみられます。

上段:度数 下段:%		I 問1-2 要介護者と同居している人数(入所・入院している場合はその前の状況)					
		合計	0人	1人	2人	3人以上	不明・無回答
全体		273 100.0	53 19.4	126 46.2	50 18.3	27 9.9	17 6.2
I 問2-2 主な介護者の性別	男	75 100.0	14 18.7	45 60.0	12 16.0	2 2.7	2 2.7
	女	184 100.0	39 21.2	80 43.5	38 20.7	24 13.0	3 1.6
	不明・無回答	14 100.0	- -	1 7.1	- -	1 7.1	12 85.7
I 問2-3 主な介護者の年齢	40～49歳	11 100.0	3 27.3	3 27.3	3 27.3	2 18.2	- -
	40～49歳	11 100.0	3 27.3	3 27.3	3 27.3	2 18.2	- -
	50～59歳	48 100.0	14 29.2	14 29.2	11 22.9	7 14.6	2 4.2
	60～64歳	29 100.0	10 34.5	9 31.0	8 27.6	2 6.9	- -
	65～69歳	44 100.0	10 22.7	17 38.6	12 27.3	5 11.4	- -
	70～74歳	35 100.0	8 22.9	19 54.3	5 14.3	2 5.7	1 2.9
	75～79歳	26 100.0	3 11.5	21 80.8	1 3.8	1 3.8	- -
	80～84歳	37 100.0	4 10.8	24 64.9	3 8.1	4 10.8	2 5.4
	85～89歳	21 100.0	- -	13 61.9	5 23.8	3 14.3	- -
	90歳以上	9 100.0	1 11.1	5 55.6	2 22.2	1 11.1	- -
	不明・無回答	13 100.0	- -	1 7.7	- -	- -	12 92.3
II 問1-2 要介護者の要介護度	要支援1	26 100.0	5 19.2	10 38.5	8 30.8	1 3.8	2 7.7
	要支援2	36 100.0	11 30.6	17 47.2	3 8.3	4 11.1	1 2.8
	要介護1	31 100.0	9 29.0	10 32.3	6 19.4	5 16.1	1 3.2
	要介護2	53 100.0	10 18.9	34 64.2	5 9.4	3 5.7	1 1.9
	要介護3	40 100.0	7 17.5	17 42.5	11 27.5	3 7.5	2 5.0
	要介護4	33 100.0	3 9.1	18 54.5	6 18.2	4 12.1	2 6.1
	要介護5	38 100.0	7 18.4	13 34.2	11 28.9	6 15.8	1 2.6
	わからない	3 100.0	- -	3 100.0	- -	- -	- -
	不明・無回答	13 100.0	1 7.7	4 30.8	- -	1 7.7	7 53.8
II 問2 介護保険サービスの利用	在宅サービスを利用している	199 100.0	40 20.1	96 48.2	37 18.6	21 10.6	5 2.5
	施設等に入所・入院している	34 100.0	7 20.6	15 44.1	6 17.6	4 11.8	2 5.9
	利用していない	40 100.0	6 15.0	15 37.5	7 17.5	2 5.0	10 25.0
	不明・無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -

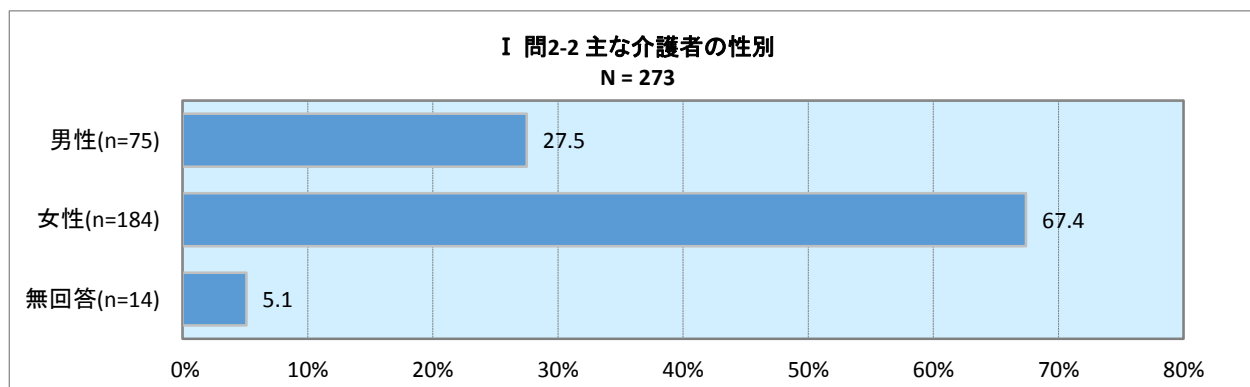
問2-1 主な介護者と要介護者の関係 (単一回答形式)

- 【主な介護者と要介護者の関係】は、「配偶者(夫・妻)」が最多で35.9%(98件)、次いで、「娘」が31.1%(85件)、「息子」が14.3%(39件)となっています。



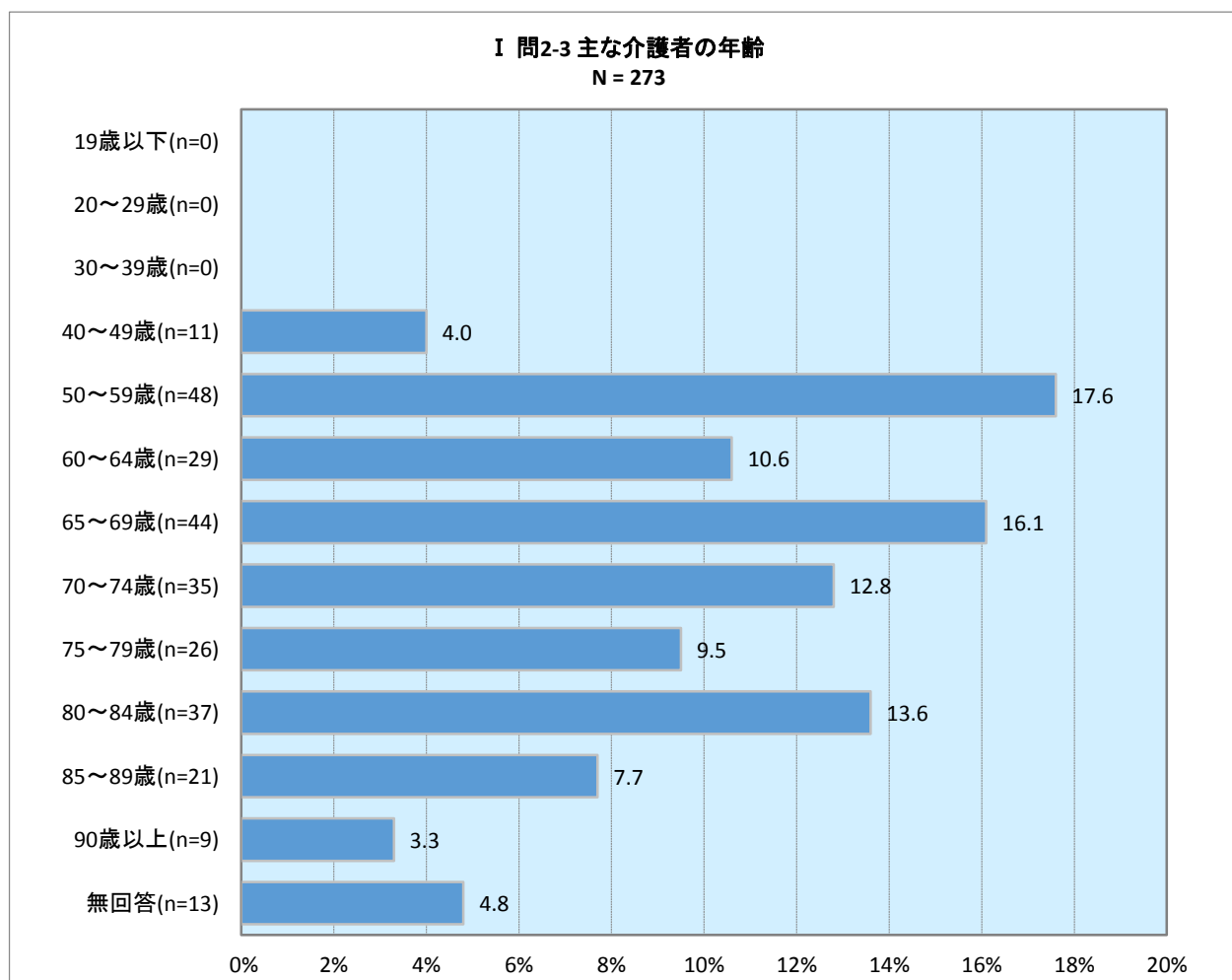
問2-2 主な介護者の性別 (単一回答形式)

- 【主な介護者の性別】は、「男性」が27.5%(75件)、「女性」が67.4%(184件)となっています。



問2-3 主な介護者の年齢 (単一回答形式)

●【主な介護者の年齢】は、「50～59歳」が最多で17.6% (48件)、次いで、「65～69歳」が16.1% (44件)、「80～84歳」が13.6% (37件)となっています。



第4編 介護者調査結果（I 介護者の状況）

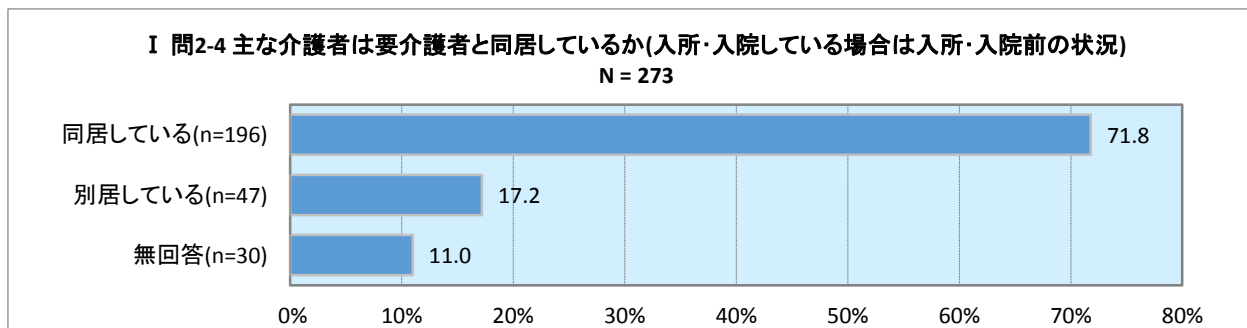
【クロス集計結果一覧】（上位1位をセルに色付け）

- 「主な介護者と要介護者の関係別」にみると、『配偶者（夫・妻）』では「80～84歳」が33.7%（33件）、『息子』では「65～69歳」が30.8%（12件）、『娘』では「50～59歳」が29.4%（25件）、『子の配偶者』では「50～59歳」が45.8%（11件）と最多となっています。配偶者が介護者の場合は介護者も高齢化し、息子、娘、子の配偶者の場合は、「50～59歳」「60～64歳」「65～69歳」の年齢層が多くなっています。

上段:度数 下段:%		I 問2-3 主な介護者の年齢										
		合計	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	無回答
全体		273 100.0	11 4.0	48 17.6	29 10.6	44 16.1	35 12.8	26 9.5	37 13.6	21 7.7	9 3.3	13 4.8
I 問2-1 主な介護者と要介護者の関係	配偶者(夫・妻)	98 100.0	- -	1 1.0	- -	9 9.2	14 14.3	22 22.4	33 33.7	16 16.3	3 3.1	- -
	息子	39 100.0	3 7.7	9 23.1	5 12.8	12 30.8	5 12.8	- -	1 2.6	1 2.6	3 7.7	- -
	娘	85 100.0	7 8.2	25 29.4	19 22.4	15 17.6	11 12.9	2 2.4	- -	3 3.5	2 2.4	1 1.2
	子の配偶者	24 100.0	1 4.2	11 45.8	5 20.8	3 12.5	1 4.2	- -	2 8.3	1 4.2	- -	- -
	孫	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	兄弟・姉妹	5 100.0	- -	- -	- -	3 60.0	1 20.0	- -	1 20.0	- -	- -	- -
	その他	6 100.0	- -	- -	- -	1 16.7	3 50.0	1 16.7	- -	- -	1 16.7	- -
	無回答	16 100.0	- -	2 12.5	- -	1 6.3	- -	1 6.3	- -	- -	- -	12 75.0
I 問2-2 主な介護者の性別	男	75 100.0	3 4.0	8 10.7	5 6.7	16 21.3	6 8.0	7 9.3	17 22.7	10 13.3	3 4.0	- -
	女	184 100.0	8 4.3	39 21.2	24 13.0	28 15.2	29 15.8	19 10.3	19 10.3	11 6.0	6 3.3	1 0.5
	無回答	14 100.0	- -	1 7.1	- -	- -	- -	- -	1 7.1	- -	- -	12 85.7
II 問2 介護保険サービスの利用	在宅サービスを利用している	199 100.0	7 3.5	39 19.6	22 11.1	30 15.1	29 14.6	20 10.1	25 12.6	18 9.0	7 3.5	2 1.0
	施設等に入所・入院している	34 100.0	3 8.8	5 14.7	4 11.8	7 20.6	2 5.9	3 8.8	4 11.8	2 5.9	2 5.9	2 5.9
	利用していない	40 100.0	1 2.5	4 10.0	3 7.5	7 17.5	4 10.0	3 7.5	8 20.0	1 2.5	- -	9 22.5
	無回答	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

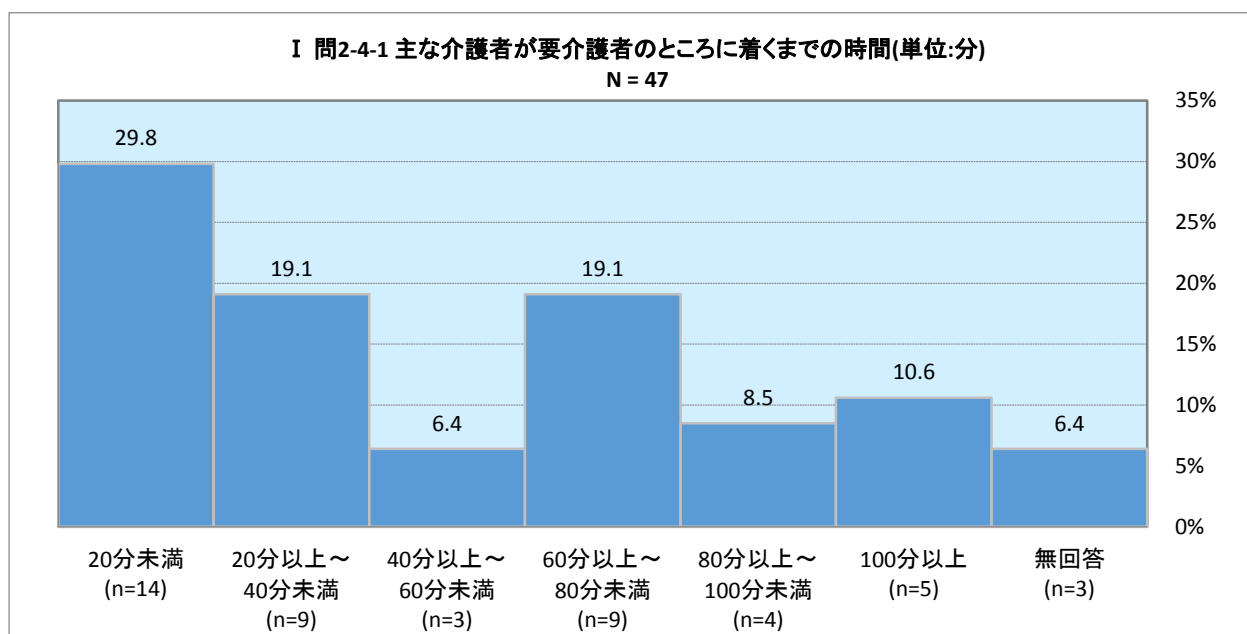
問2-4 主な介護者は要介護者と同居しているか (単一回答形式)

- 【主な介護者は要介護者と同居しているか(入所・入院している場合は入所・入院前の状況)】は、「同居している」が71.8% (196件)、「別居している」が17.2% (47件)となっています。



問2-4-1 主な介護者が要介護者のところに着くまでの時間 (数量回答形式)

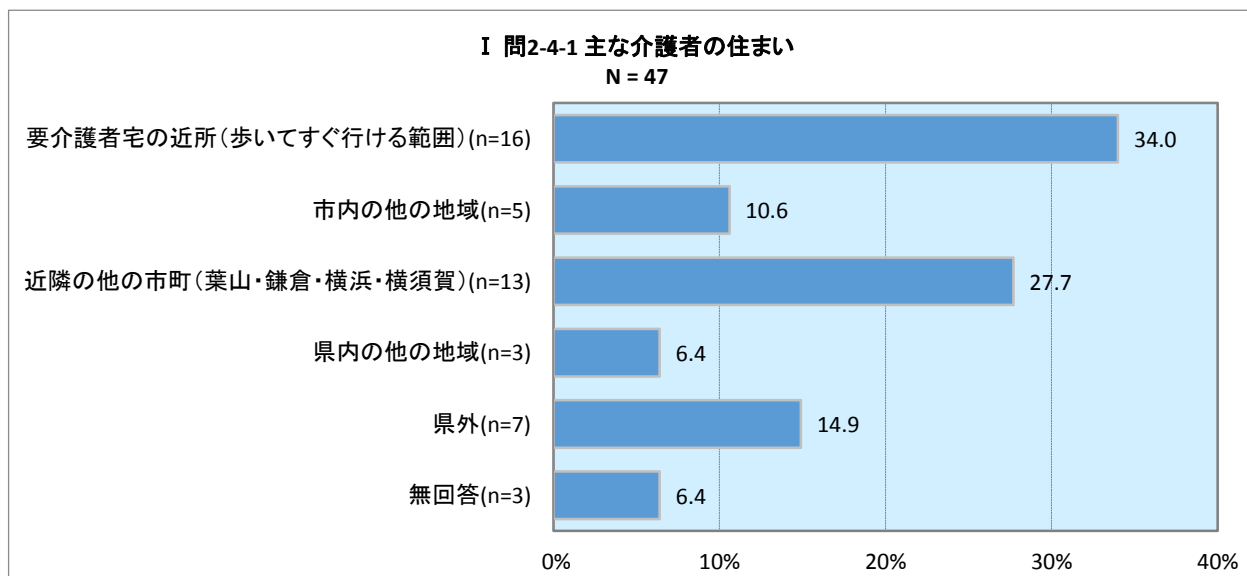
- 【主な介護者が要介護者のところに着くまでの時間(単位:分)】は、「20分未満」が最多で29.8% (14件)、次いで、「20分以上～40分未満」と「60分以上～80分未満」が19.1% (9件)となっています。



回答条件：【I 問2-4 主な介護者は要介護者と同居しているか(入所・入院している場合は入所・入院前の状況)】で、「別居している」の場合のみ回答

問2-4-1 主な介護者の住まい (単一回答形式)

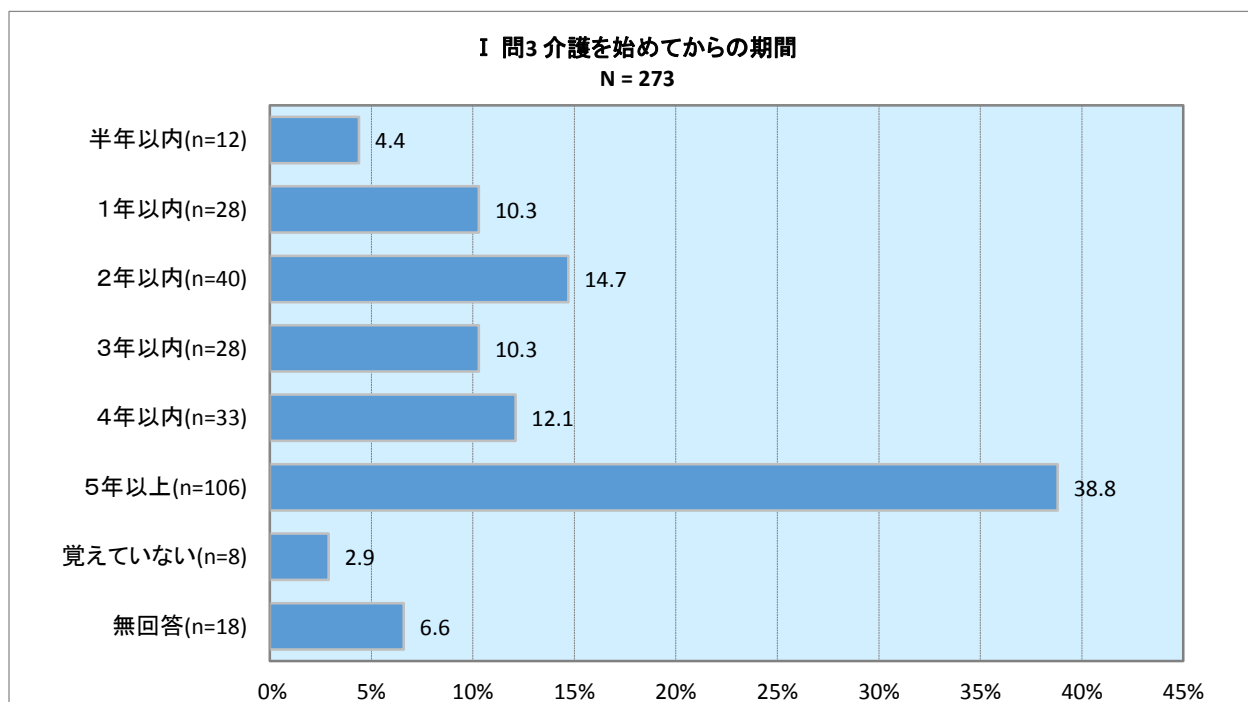
- 【主な介護者の住まい】は、「要介護者宅の近所(歩いてすぐ行ける範囲)」が最多で34.0% (16件)、次いで、「近隣の他の市町(葉山・鎌倉・横浜・横須賀)」が27.7% (13件)、「県外」が14.9% (7件)となっています。



回答条件：【I 問 2-4 主な介護者は要介護者と同居しているか(入所・入院している場合は入所・入院前の状況)】で、「別居している」の場合のみ回答

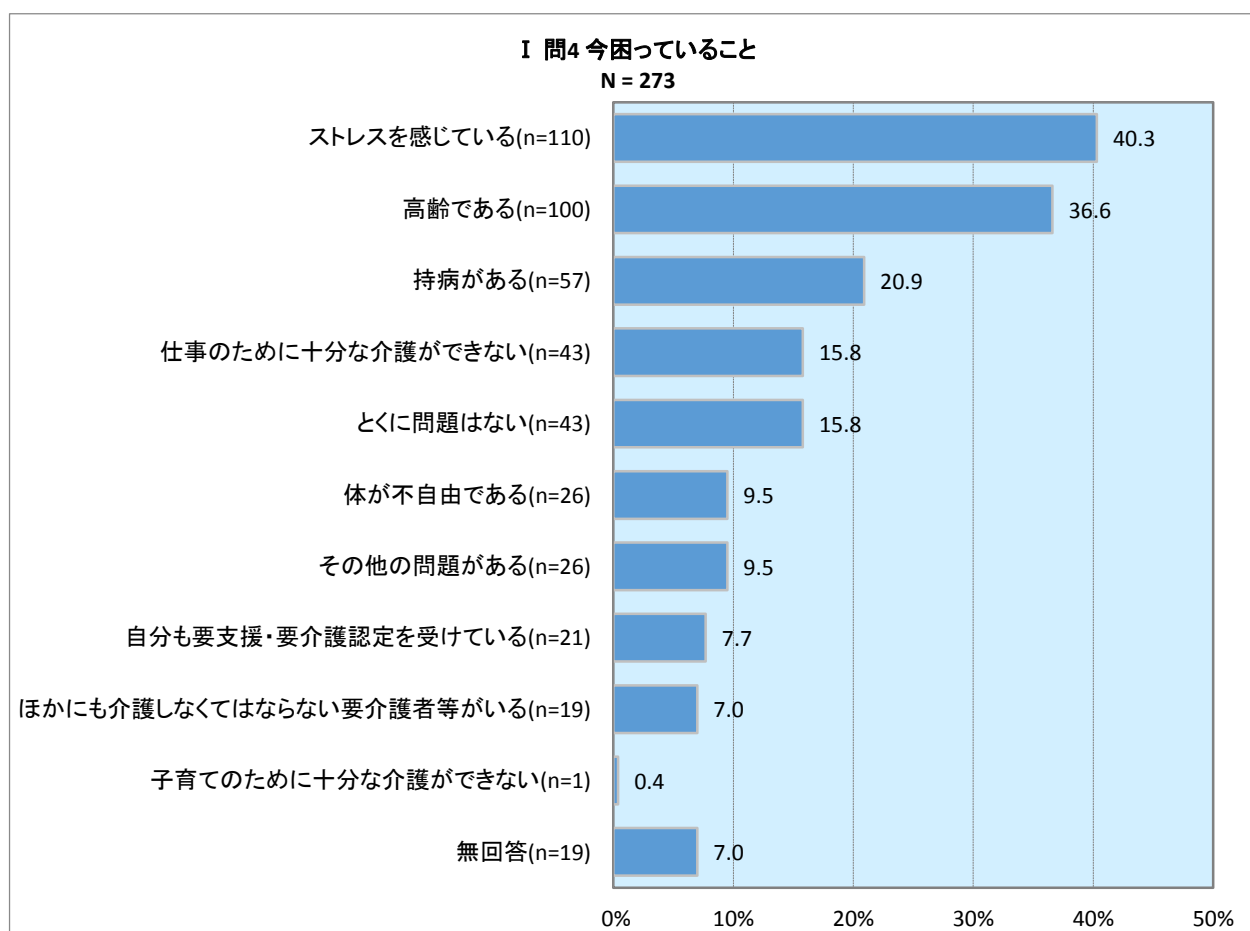
問3 介護を始めてからの期間 (単一回答形式)

- 【介護を始めてからの期間】は、「5年以上」が最多で38.8% (106件)、次いで、「2年以内」が14.7% (40件)、「4年以内」が12.1% (33件)となっています。



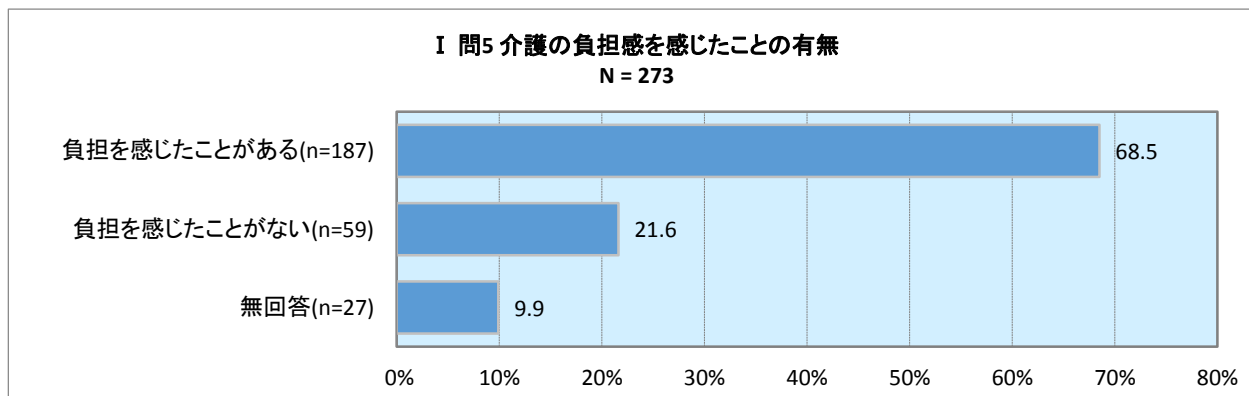
問4 今困っていること (複数回答形式)

- 【今困っていること】は、「ストレスを感じている」が最多で40.3% (110件)、次いで、「高齢である」が36.6% (100件)、「持病がある」が20.9% (57件)となっています。



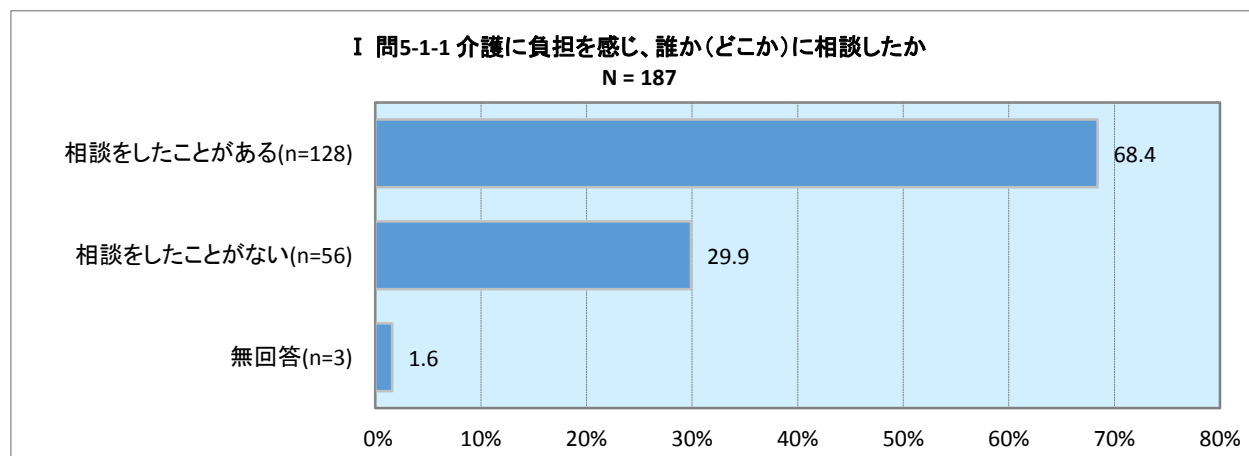
## 問5 介護の負担感を感じたことの有無 (単一回答形式)

- 【介護の負担感を感じたことの有無】は、「負担を感じたことがある」が68.5% (187件)、「負担を感じたことがない」が21.6% (59件)となっています。



## 問5-1-1 介護に負担を感じ、誰か(どこか)に相談したか (単一回答形式)

- 【介護に負担を感じ、誰か(どこか)に相談したか】は、「相談をしたことがある」が68.4% (128件)、「相談をしたことがない」が29.9% (56件)となっています。

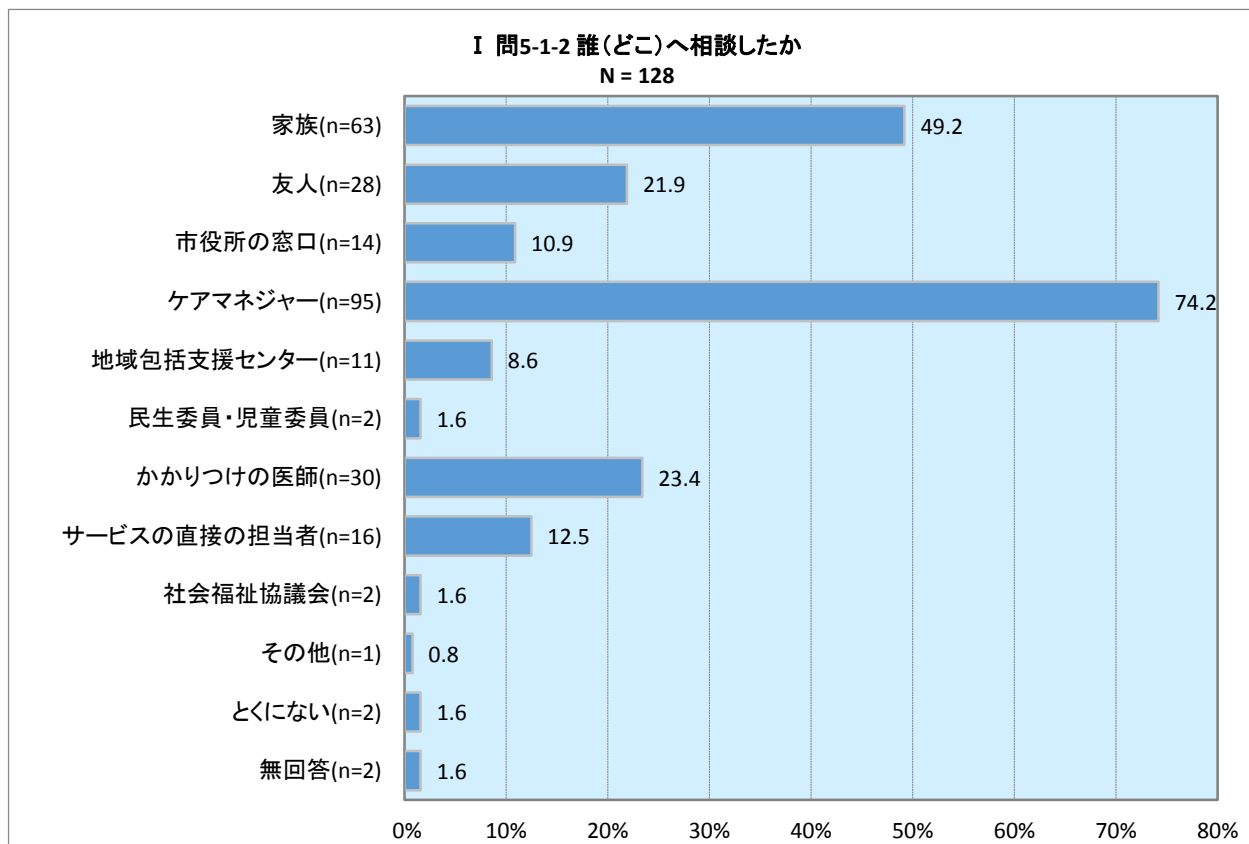


回答条件：【I 問5 介護の負担感を感じたことの有無】で、「負担を感じたことがある」の場合のみ回答



## 問5-1-2 誰(どこ)へ相談したか(複数回答形式)

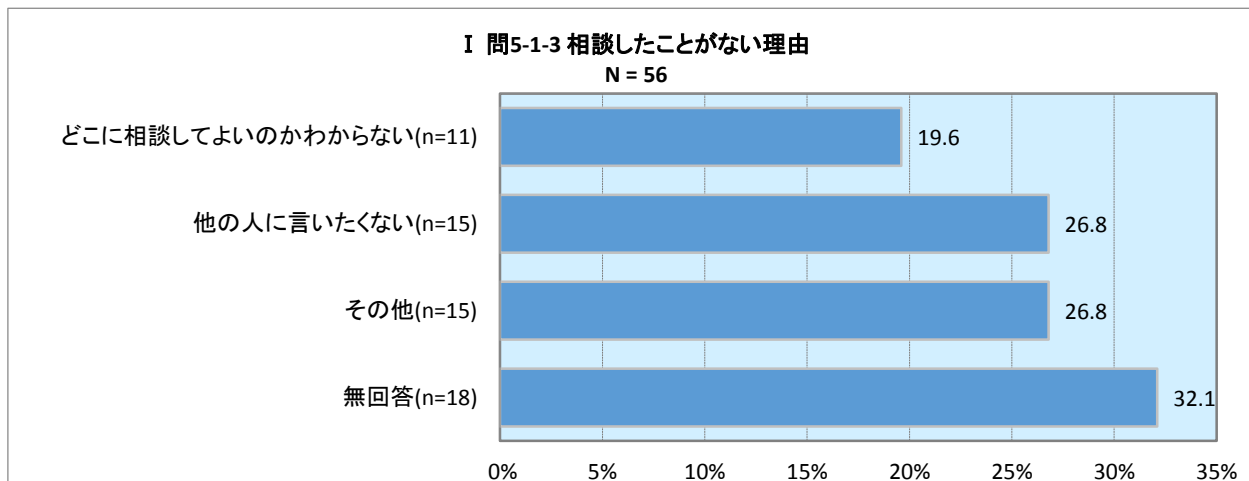
- 【誰(どこ)へ相談したか】は、「ケアマネジャー」が最多で74.2%(95件)、次いで、「家族」が49.2%(63件)、「かかりつけの医師」が23.4%(30件)となっています。



回答条件：【I 問5-1-1 介護に負担を感じ、誰か(どこか)に相談したか】で、「相談をしたことがある」の場合のみ回答

## 問5-1-3 相談したことがない理由(複数回答形式)

- 【相談したことがない理由】は、「他の人に言いたくない」と「その他」が最多で26.8%(15件)、次いで、「どこに相談してよいかわからない」が19.6%(11件)となっています。

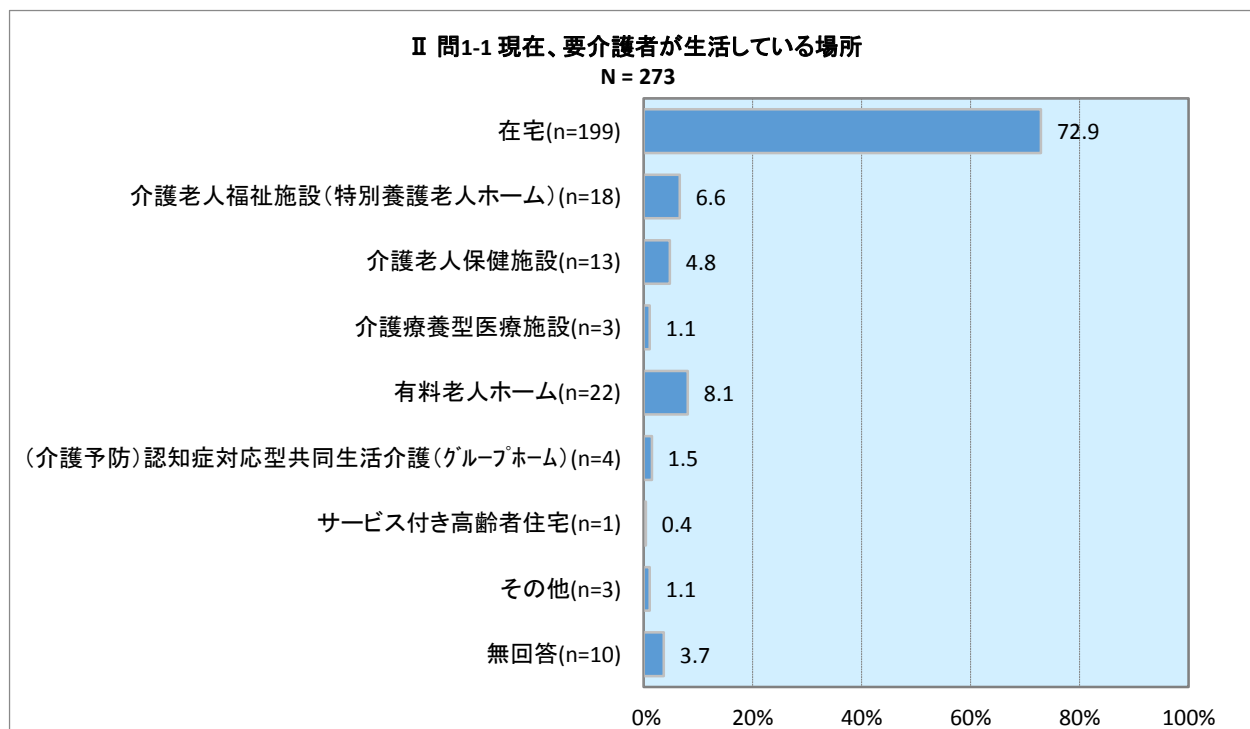


回答条件：【I 問5-1-1 介護に負担を感じ、誰か(どこか)に相談したか】で、「相談をしたことがない」の場合のみ回答

## Ⅱ 要介護者の状況

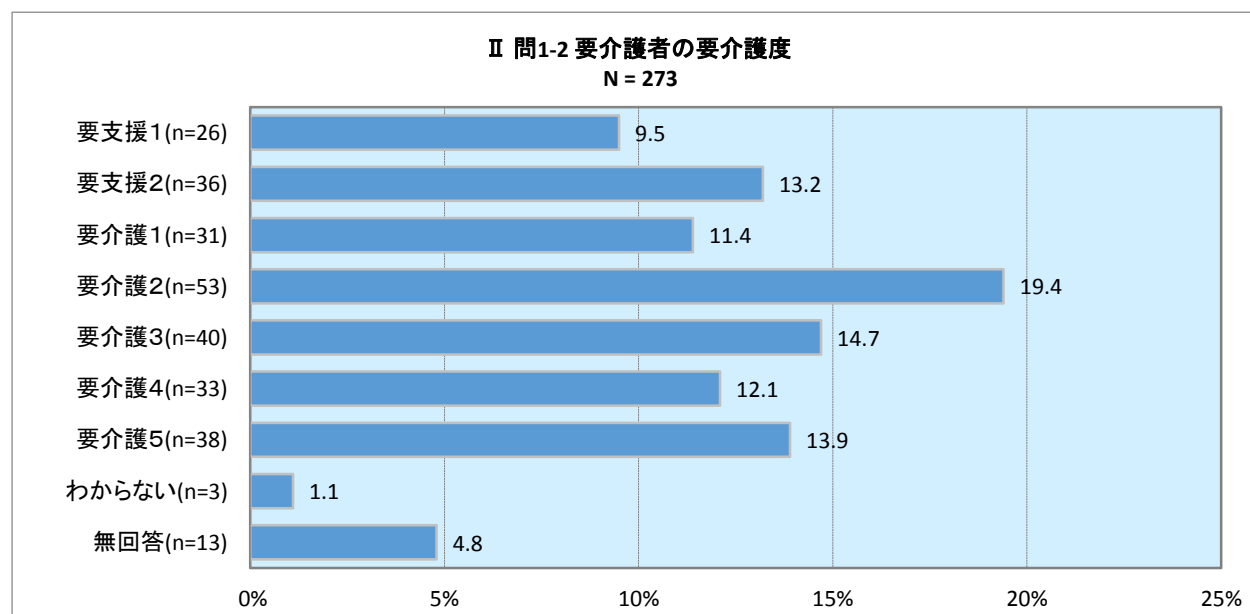
## 問1-1 現在、要介護者が生活している場所（単一回答形式）

- 【現在、要介護者が生活している場所】は、「在宅」が最多で72.9%（199件）、次いで、「有料老人ホーム」が8.1%（22件）、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が6.6%（18件）となっています。



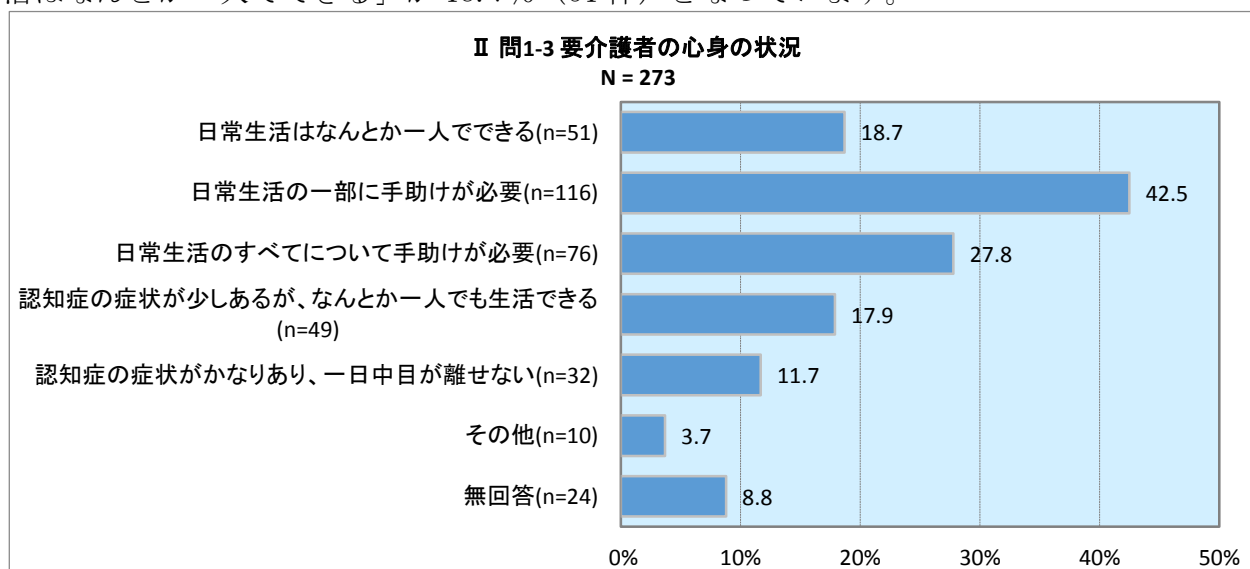
## 問1-2 要介護者の要介護度（単一回答形式）

- 【要介護者の要介護度】は、「要介護2」が最多で19.4%（53件）、次いで、「要介護3」が14.7%（40件）、「要介護5」が13.9%（38件）となっています。



問1-3 要介護者の心身の状況（複数回答形式）

●【要介護者の心身の状況】は、「日常生活の一部に手助けが必要」が最多で42.5%（116件）、次いで、「日常生活のすべてについて手助けが必要」が27.8%（76件）、「日常生活はなんとか一人でできる」が18.7%（51件）となっています。

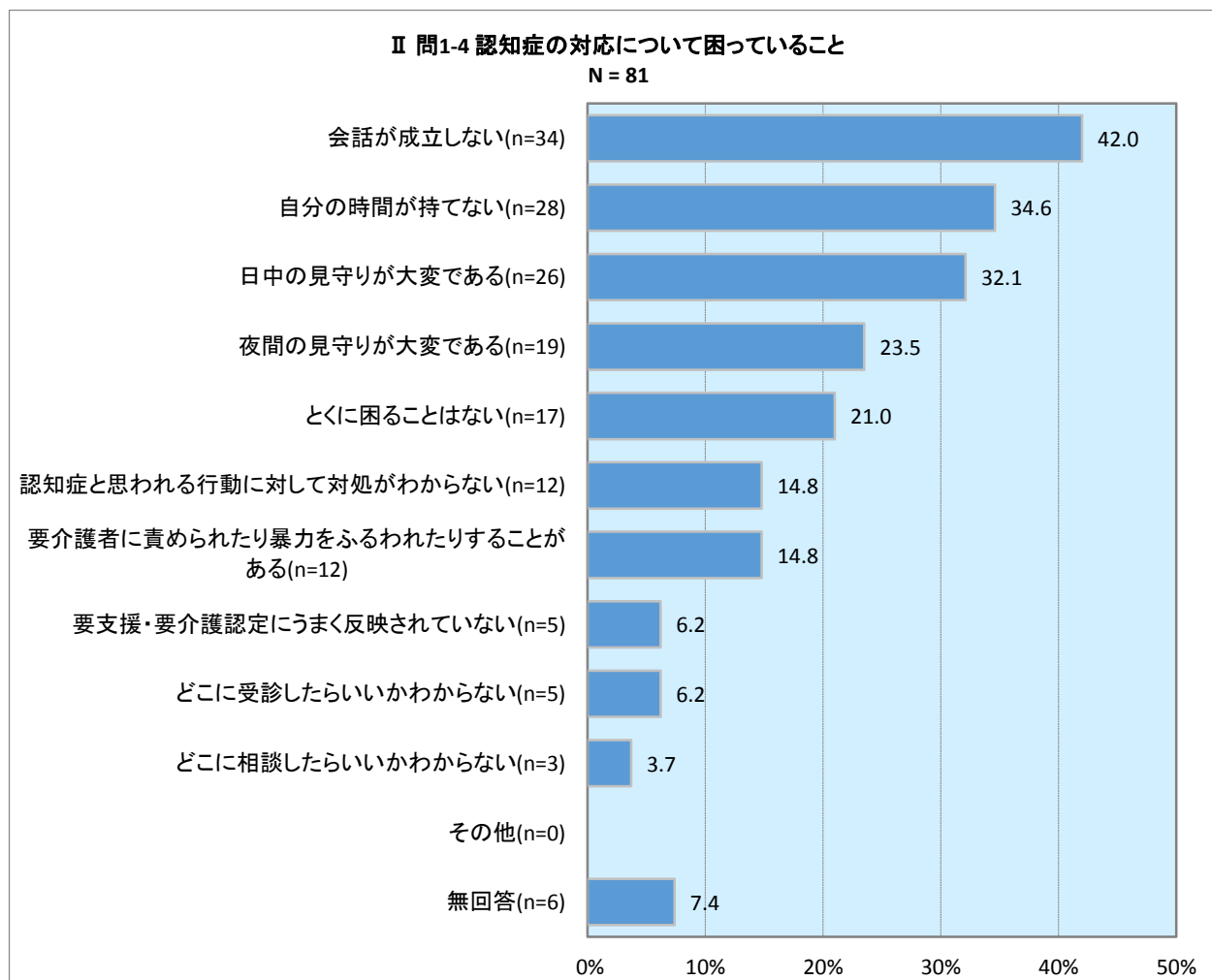


【クロス集計結果一覧】（上位1位をセルに色付け）

上段:度数	II 問1-3 要介護者の心身の状況								
	合計	日常生活はなんとか一人でできる	日常生活の一部に手助けが必要	日常生活のすべてについて手助けが必要	認知症の症状が少しあるが、なんとか一人でも生活できる	認知症の症状がかなりあり、一日中目が離せない	その他	無回答	
全体	273	51	116	76	49	32	10	24	
	100.0	18.7	42.5	27.8	17.9	11.7	3.7	8.8	
II 問1-1 現在、要介護者が生活している場所	在宅	199	47	88	49	42	17	4	13
		100.0	23.6	44.2	24.6	21.1	8.5	2.0	6.5
	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	18	1	6	8	3	7	3	2
		100.0	5.6	33.3	44.4	16.7	38.9	16.7	11.1
	介護老人保健施設	13	1	6	6	1	2	-	-
		100.0	7.7	46.2	46.2	7.7	15.4	-	-
	介護療養型医療施設	3	-	-	2	-	1	2	-
		100.0	-	-	66.7	-	33.3	66.7	-
	有料老人ホーム	22	1	10	6	3	3	1	2
		100.0	4.5	45.5	27.3	13.6	13.6	4.5	9.1
(介護予防)認知症対応型共同生活介護	4	-	1	3	-	2	-	-	
	100.0	-	25.0	75.0	-	50.0	-	-	
サービス付き高齢者住宅	1	-	1	-	-	-	-	-	
	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	
その他	3	-	2	1	-	-	-	-	
	100.0	-	66.7	33.3	-	-	-	-	
無回答	10	1	2	1	-	-	-	7	
	100.0	10.0	20.0	10.0	-	-	-	70.0	
II 問1-2 要介護者の要介護度	要支援1	26	17	8	-	5	1	-	-
		100.0	65.4	30.8	-	19.2	3.8	-	-
	要支援2	36	11	21	4	5	-	-	3
		100.0	30.6	58.3	11.1	13.9	-	-	8.3
	要介護1	31	8	14	3	12	3	1	5
		100.0	25.8	45.2	9.7	38.7	9.7	3.2	16.1
	要介護2	53	10	36	6	10	2	2	2
		100.0	18.9	67.9	11.3	18.9	3.8	3.8	3.8
	要介護3	40	3	21	10	8	8	1	3
		100.0	7.5	52.5	25.0	20.0	20.0	2.5	7.5
要介護4	33	1	6	27	5	5	2	-	
	100.0	3.0	18.2	81.8	15.2	15.2	6.1	-	
要介護5	38	-	5	25	3	10	3	3	
	100.0	-	13.2	65.8	7.9	26.3	7.9	7.9	
わからない	3	1	2	-	1	-	-	-	
	100.0	33.3	66.7	-	33.3	-	-	-	
無回答	13	-	3	1	-	3	1	8	
	100.0	-	23.1	7.7	-	23.1	7.7	61.5	

## 問1-4 認知症の対応について困っていること（複数回答形式）

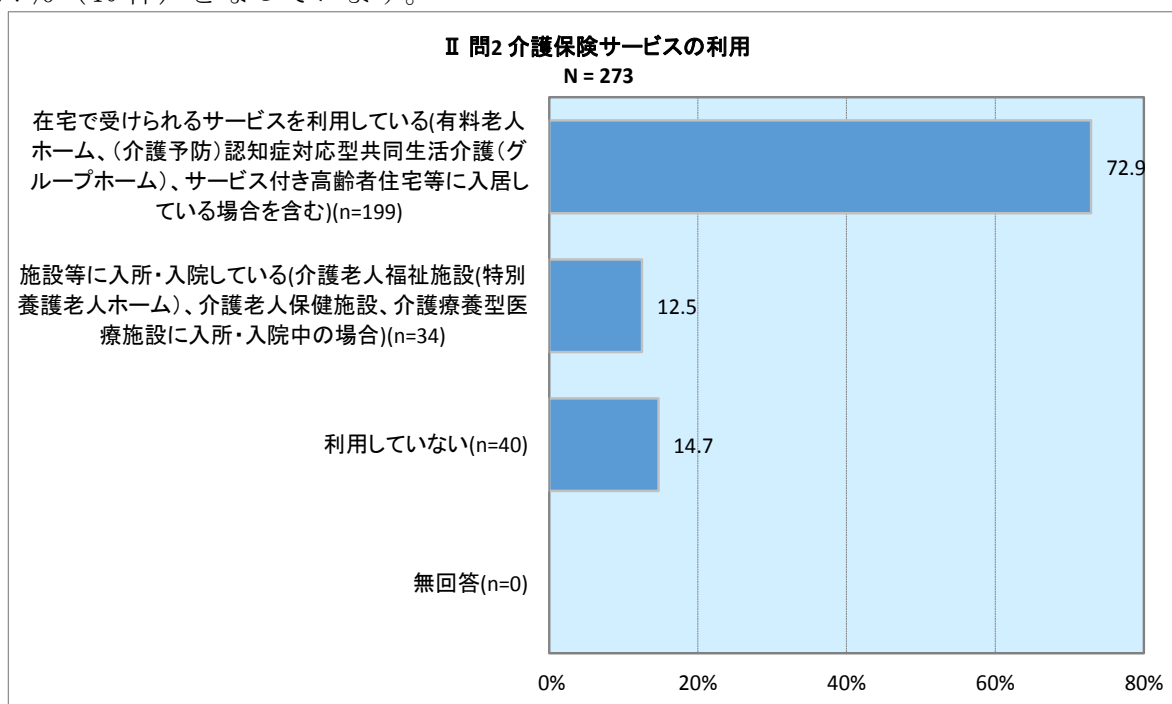
- 【認知症の対応について困っていること】は、「会話が成立しない」が最多で42.0%（34件）、次いで、「自分の時間が持てない」が34.6%（28件）、「日中の見守りが大変である」が32.1%（26件）となっています。



回答条件：【Ⅱ 問1-3 要介護者の心身の状況】で、「認知症の症状がある（「認知症の症状が少しあるが、なんとか一人でも生活できる」「認知症の症状がかなりあり、一日中目が離せない）」の場合のみ回答

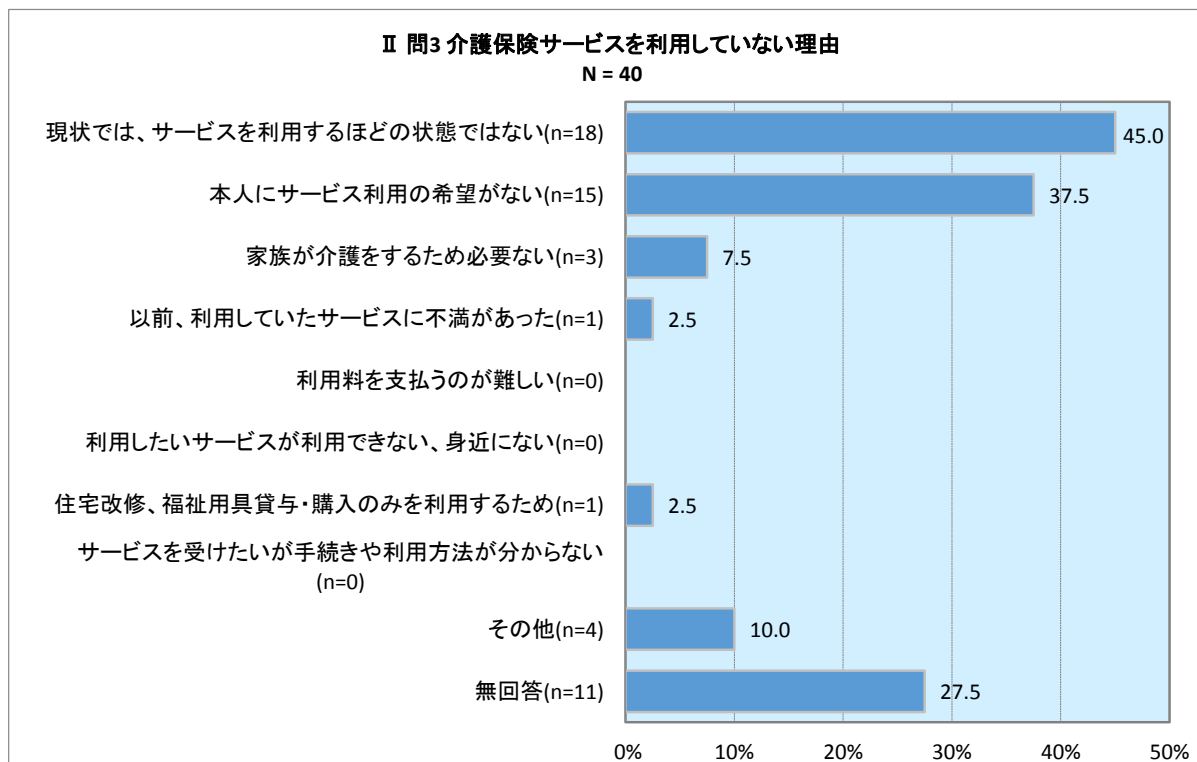
問2 介護保険サービスの利用 (単一回答形式)

- 【介護保険サービスの利用】は、「在宅で受けられるサービスを利用している」が 72.9% (199 件)、「施設等に入所・入院している」が 12.5% (34 件)、「利用していない」が 14.7% (40 件) となっています。



問3 介護保険サービスを利用していない理由 (複数回答形式)

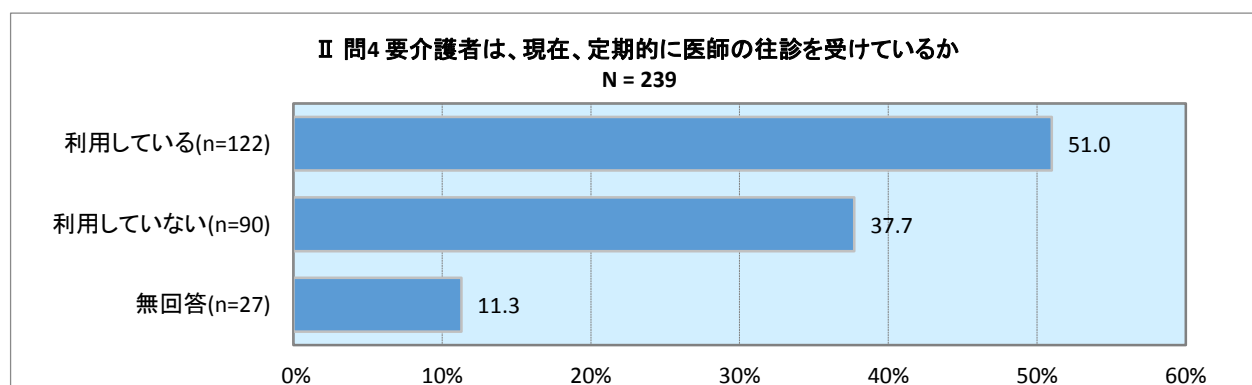
- 【介護保険サービスを利用していない理由】は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が最多で 45.0% (18 件)、次いで、「本人にサービス利用の希望がない」が 37.5% (15 件)、「その他」が 10.0% (4 件) となっています。



回答条件：【Ⅱ 問2 介護保険サービスの利用】で、「利用していない」の場合のみ回答

問4 要介護者は、現在、定期的に医師の往診を受けているか（単一回答形式）

- 【要介護者は、現在、定期的に医師の往診を受けているか】は、「利用している」が51.0%（122件）、「利用していない」が37.7%（90件）となっています。

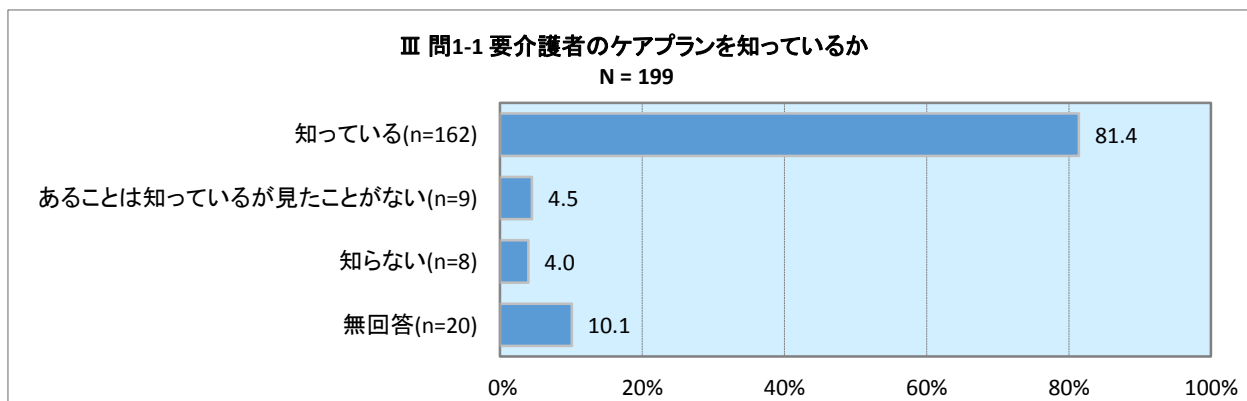


回答条件：【Ⅱ 問2 介護保険サービスの利用】で、「施設等に入所・入院している」以外の場合のみ回答

## Ⅲ 在宅サービスの利用

## 問1-1 要介護者のケアプランを知っているか (単一回答形式)

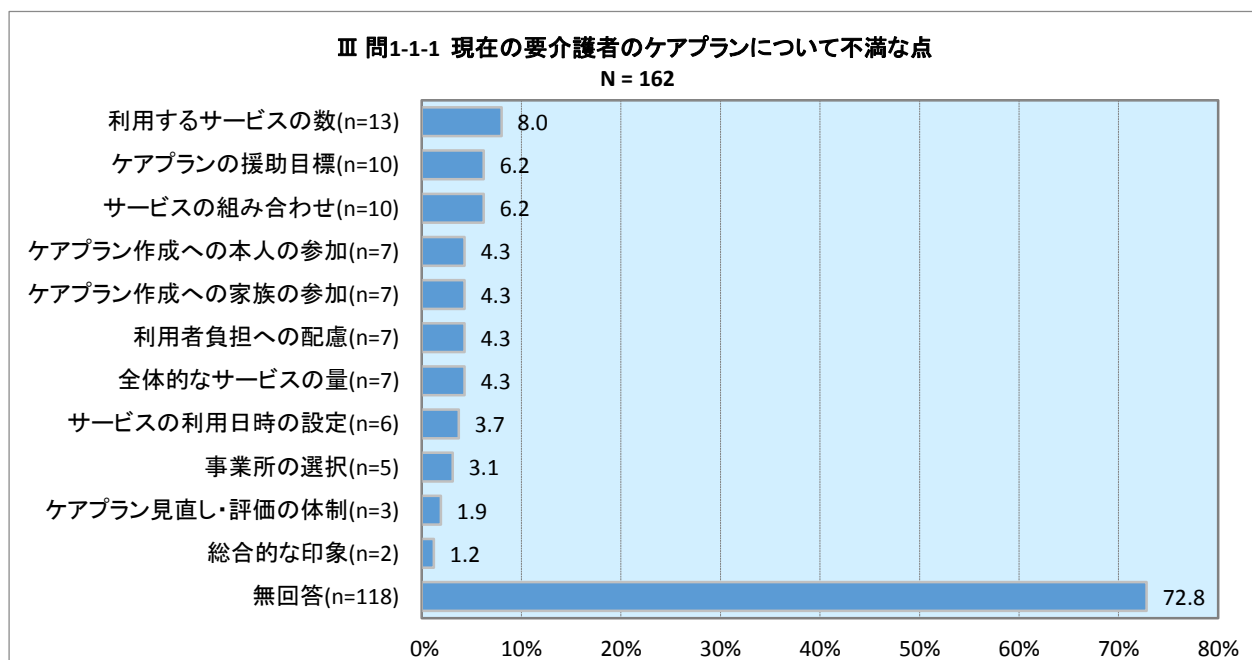
- 【要介護者のケアプランを知っているか】は、「知っている」が81.4% (162件)、「あることは知っているが見たことがない」が4.5% (9件)、「知らない」が4.0% (8件)となっています。



回答条件：【Ⅱ 問2 介護保険サービスの利用】で、「在宅で受けられるサービスを利用している」の場合のみ回答

## 問1-1-1 現在の要介護者のケアプランについて不満な点 (複数回答形式)

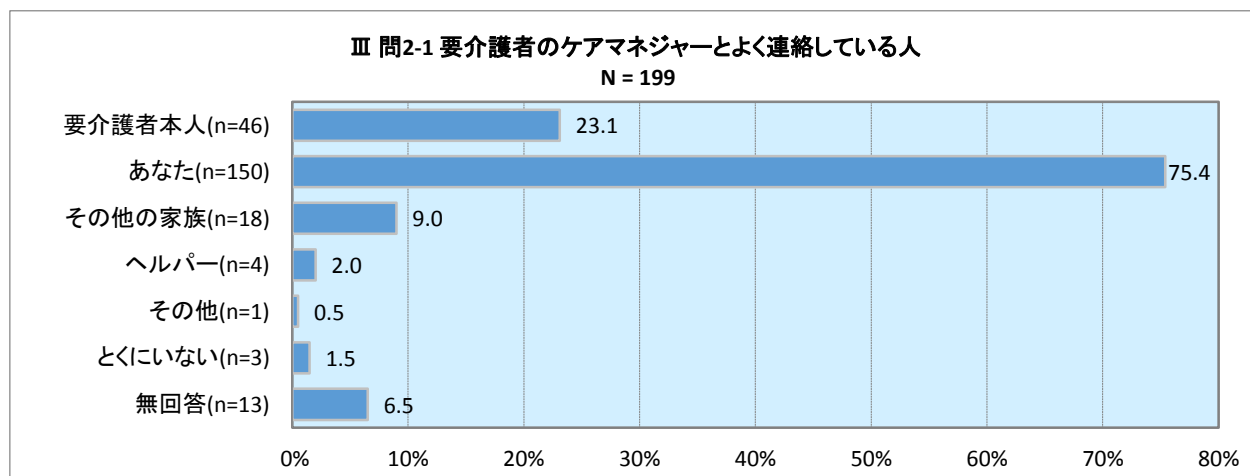
- 【現在の要介護者のケアプランについて不満な点】は、「利用するサービスの数」が最多で8.0% (13件)、次いで、「ケアプランの援助目標」と「サービスの組み合わせ」が6.2% (10件)となっています。なお、「無回答」が72.8% (118件)と高い割合となっています。



回答条件：【Ⅲ 問1-1 要介護者のケアプランを知っているか】で、「知っている」の場合のみ回答

問2-1 要介護者のケアマネジャーとよく連絡している人（単一回答形式）

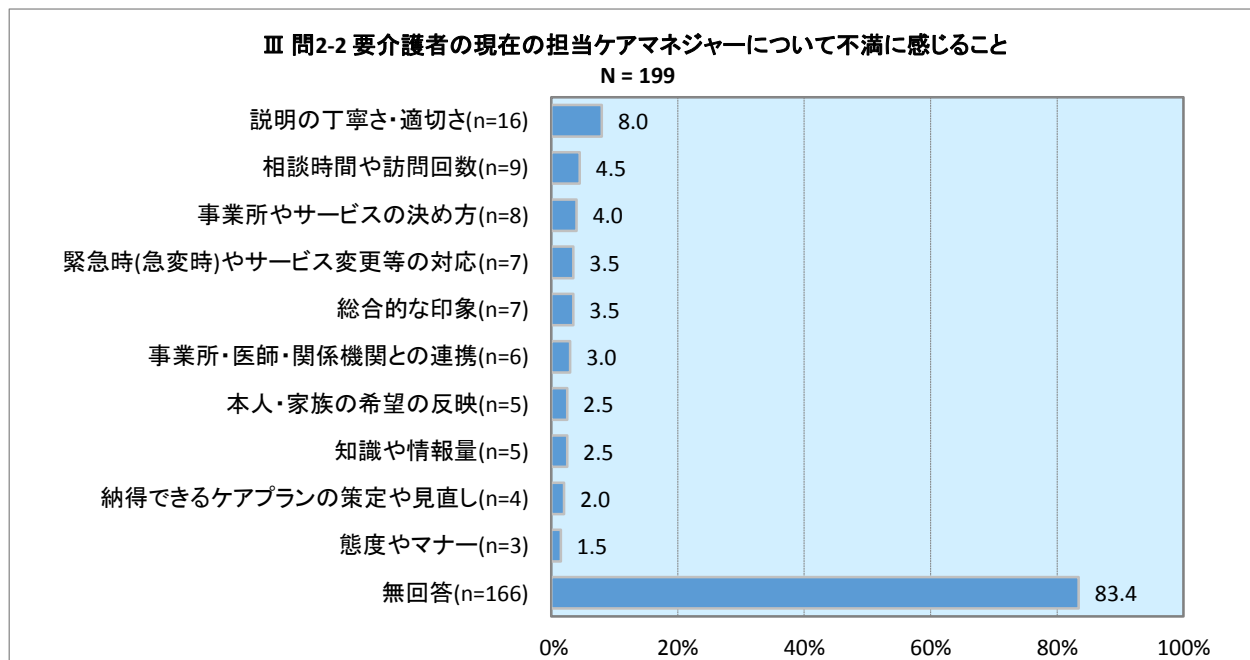
●【要介護者のケアマネジャーとよく連絡している人】は、「あなた」が最多で75.4%（150件）、次いで、「要介護者本人」が23.1%（46件）、「その他の家族」が9.0%（18件）となっています。



回答条件：【Ⅱ 問2 介護保険サービスの利用】で、「在宅で受けられるサービスを利用している」の場合のみ回答

問2-2 要介護者の現在の担当ケアマネジャーについて不満に感じること（複数回答形式）

●【要介護者の現在の担当ケアマネジャーについて不満に感じること】は、「説明の丁寧さ・適切さ」が最多で8.0%（16件）、次いで、「相談時間や訪問回数」が4.5%（9件）、「事業所やサービスの決め方」が4.0%（8件）となっています。なお、「無回答」が83.4%（166件）と高い割合となっています。



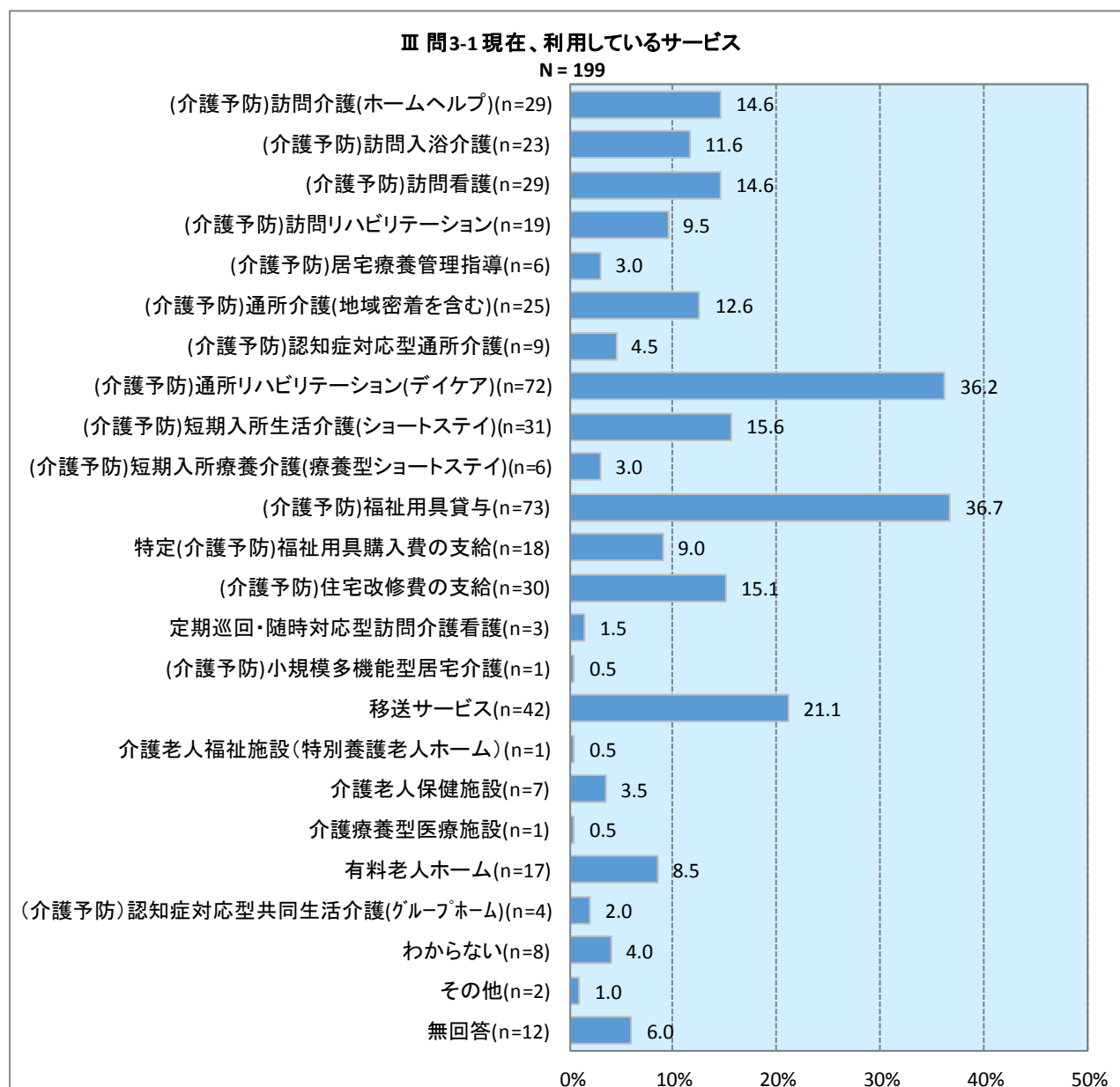
回答条件：【Ⅱ 問2 介護保険サービスの利用】で、「在宅で受けられるサービスを利用している」の場合のみ回答



問3-1 現在、利用しているサービス(複数回答形式)

●【現在、利用しているサービス】は、「(介護予防)福祉用具貸与」が最多で36.7%(73件)、次いで、「(介護予防)通所リハビリテーション(デイケア)」が36.2%(72件)、「移送サービス」が21.1%(42件)となっています。

※「(介護予防)通所リハビリテーション(デイケア)」が最多となっていますが、実際のサービス支給実績は「(介護予防)通所介護(デイサービス)」の方が多く、サービス名に対する認識違いがあるものと思われます。今後は、回答者にとってわかりやすい記載となるよう、改善します。



回答条件：【Ⅱ 問2 介護保険サービスの利用】で、「在宅で受けられるサービスを利用している」の場合のみ回答

第4編 介護者調査結果 (Ⅲ 在宅サービスの利用)

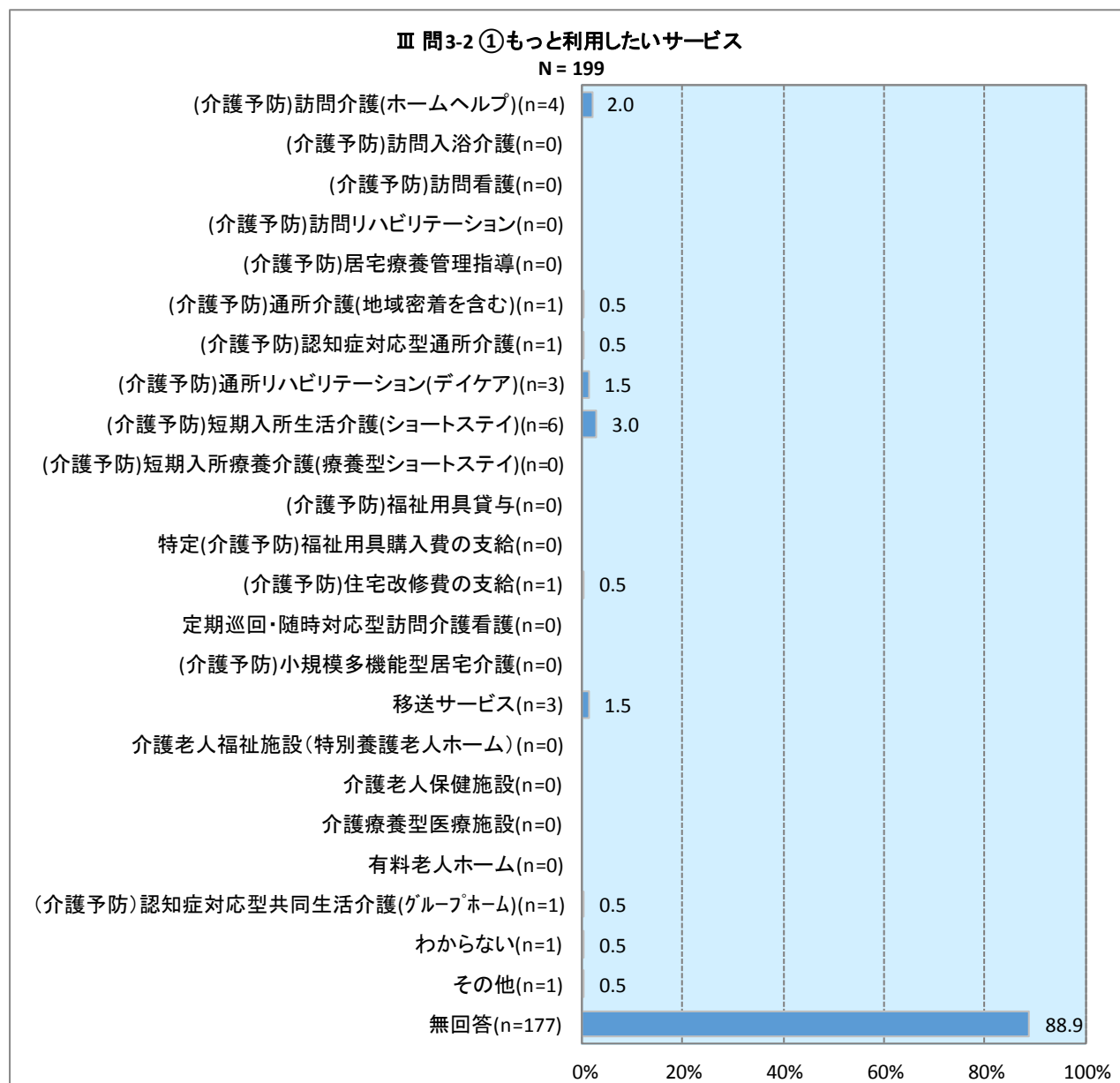
【クロス集計結果一覧】 (上位1位をセルに色付け)

- 「介護度別」にみると、要支援1、要支援2、要介護1、要介護2では「(介護予防)通所リハビリテーション(デイケア)」、要介護3、要介護4、要介護5では「福祉用具貸与」が高い割合となっています。

上段:度数 下段:%		Ⅲ 問3-1 現在、利用しているサービス												
		合計	(介護予防)訪問介護(ホームヘルプ)	(介護予防)訪問入浴介護	(介護予防)訪問看護	(介護予防)訪問リハビリテーション	(介護予防)居宅療養管理指導	(介護予防)通所介護(地域密着を含む)	(介護予防)認知症対応型通所介護	(介護予防)通所リハビリテーション(デイケア)	(介護予防)短期入所生活介護(ショートステイ)	(介護予防)短期入所療養介護(療養型ショートステイ)	(介護予防)福祉用具貸与	特定(介護予防)福祉用具購入費の支給
Ⅱ 問1-2 要介護者の要介護度	全体	199 100.0	29 14.6	23 11.6	29 14.6	19 9.5	6 3.0	25 12.6	9 4.5	72 36.2	31 15.6	6 3.0	73 36.7	18 9.0
	要支援1	16 100.0	1 6.3	1 6.3	2 12.5	2 12.5	-	1 6.3	-	8 50.0	1 6.3	-	1 6.3	-
	要支援2	30 100.0	5 16.7	-	3 10.0	3 10.0	1 3.3	1 3.3	1 3.3	11 36.7	1 3.3	-	8 26.7	2 6.7
	要介護1	25 100.0	2 8.0	1 4.0	-	2 8.0	-	6 24.0	4 16.0	9 36.0	6 24.0	-	5 20.0	1 4.0
	要介護2	44 100.0	6 13.6	4 9.1	6 13.6	3 6.8	1 2.3	3 6.8	-	21 47.7	2 4.5	2 4.5	20 45.5	4 9.1
	要介護3	32 100.0	7 21.9	5 15.6	7 21.9	3 9.4	1 3.1	9 28.1	3 9.4	10 31.3	7 21.9	2 6.3	11 34.4	5 15.6
	要介護4	23 100.0	2 8.7	5 21.7	4 17.4	3 13.0	3 13.0	2 8.7	1 4.3	8 34.8	8 34.8	1 4.3	14 60.9	2 8.7
	要介護5	23 100.0	5 21.7	6 26.1	6 26.1	3 13.0	-	3 13.0	-	3 13.0	5 21.7	1 4.3	12 52.2	4 17.4
	わからない	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	無回答	5 100.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	-	-	-	-	2 40.0	1 20.0	-	2 40.0	-
	合計		(介護予防)住宅改修費の支給	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	(介護予防)小規模多機能型居宅介護	移送サービス	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	有料老人ホーム	(介護予防)認知症対応型共同生活介護	わからない	その他	無回答
全体	199 100.0	30 15.1	3 1.5	1 0.5	42 21.1	1 0.5	7 3.5	1 0.5	17 8.5	4 2.0	8 4.0	2 1.0	12 6.0	
要支援1	16 100.0	2 12.5	-	-	2 12.5	-	-	-	1 6.3	-	2 12.5	-	-	
要支援2	30 100.0	5 16.7	1 3.3	-	7 23.3	1 3.3	1 3.3	-	1 3.3	-	4 13.3	-	1 3.3	
要介護1	25 100.0	1 4.0	-	1 4.0	3 12.0	-	-	-	5 20.0	-	-	-	-	
要介護2	44 100.0	9 20.5	-	-	9 20.5	-	2 4.5	-	3 6.8	-	1 2.3	1 2.3	3 6.8	
要介護3	32 100.0	4 12.5	1 3.1	-	7 21.9	-	3 9.4	-	1 3.1	1 3.1	-	1 3.1	5 15.6	
要介護4	23 100.0	5 21.7	-	-	10 43.5	-	1 4.3	-	2 8.7	2 8.7	-	-	1 4.3	
要介護5	23 100.0	3 13.0	1 4.3	-	4 17.4	-	-	1 4.3	4 17.4	1 4.3	1 4.3	-	1 4.3	
わからない	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無回答	5 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 20.0	

問3-2 ①もっと利用したいサービス (複数回答形式)

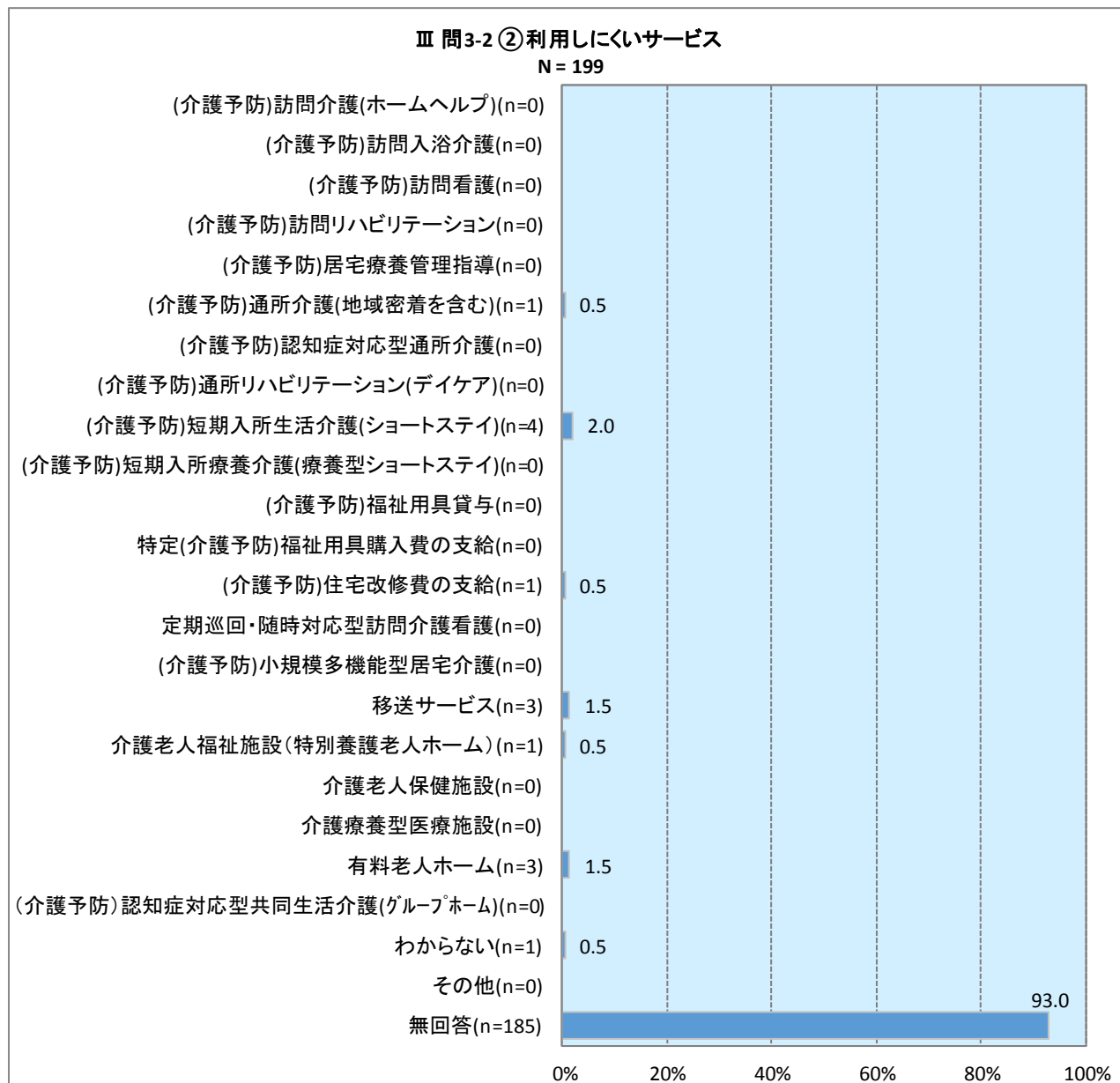
●【もっと利用したいサービス】は、「(介護予防)短期入所生活介護(ショートステイ)」が最多で3.0% (6件)、次いで、「(介護予防)訪問介護(ホームヘルプ)」が2.0% (4件)、「(介護予防)通所リハビリテーション(デイケア)」と「移送サービス」が1.5% (3件)となっています。なお、「無回答」が88.9% (177件)と高い割合となっています。



回答条件：【Ⅱ 問2 介護保険サービスの利用】で、「在宅で受けられるサービスを利用している」の場合のみ回答

問3-2 ②利用しにくいサービス (複数回答形式)

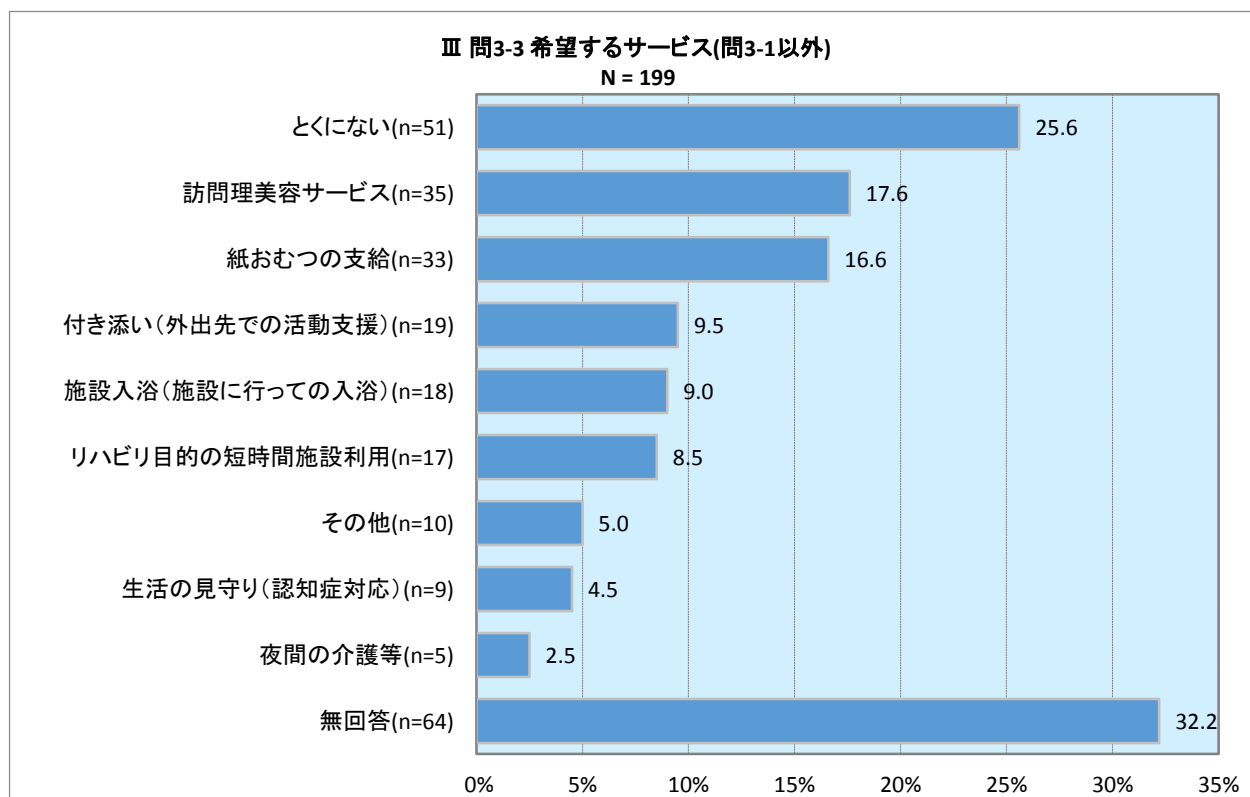
●【利用しにくいサービス】は、「(介護予防)短期入所生活介護(ショートステイ)」が最多で2.0% (4件)、次いで、「移送サービス」と「有料老人ホーム」が1.5% (3件) となっています。なお、「無回答」が93.0% (185件) と高い割合となっています。



回答条件：【Ⅱ 問2 介護保険サービスの利用】で、「在宅で受けられるサービスを利用している」の場合のみ回答

問3-3 希望するサービス(問3-1以外) (複数回答形式)

- 【希望するサービス(問3-1以外)】は、「とくにない」が最多で25.6% (51件)、次いで、「訪問理美容サービス」が17.6% (35件)、「紙おむつの支給」が16.6% (33件)となっています。

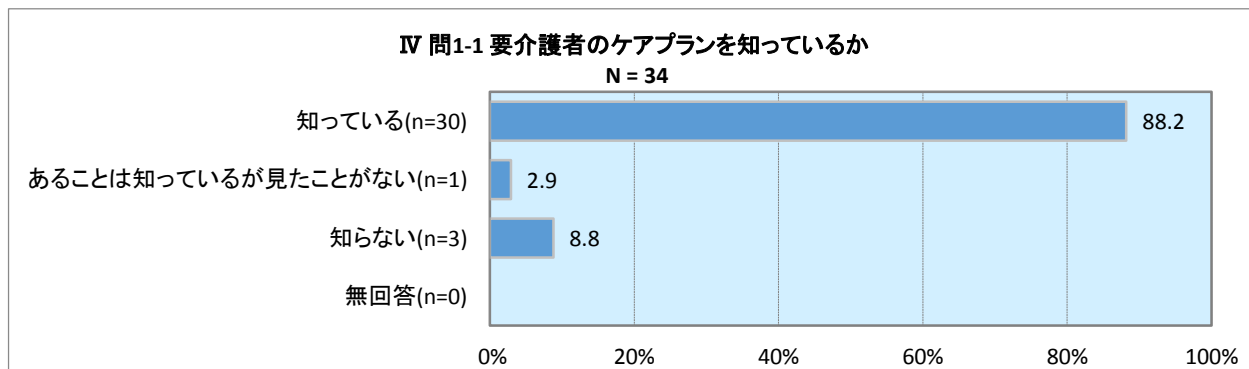


回答条件：【Ⅱ 問2 介護保険サービスの利用】で、「在宅で受けられるサービスを利用している」の場合のみ回答

**IV 要介護者が施設に入所している状況**

問1-1 要介護者のケアプランを知っているか (単一回答形式)

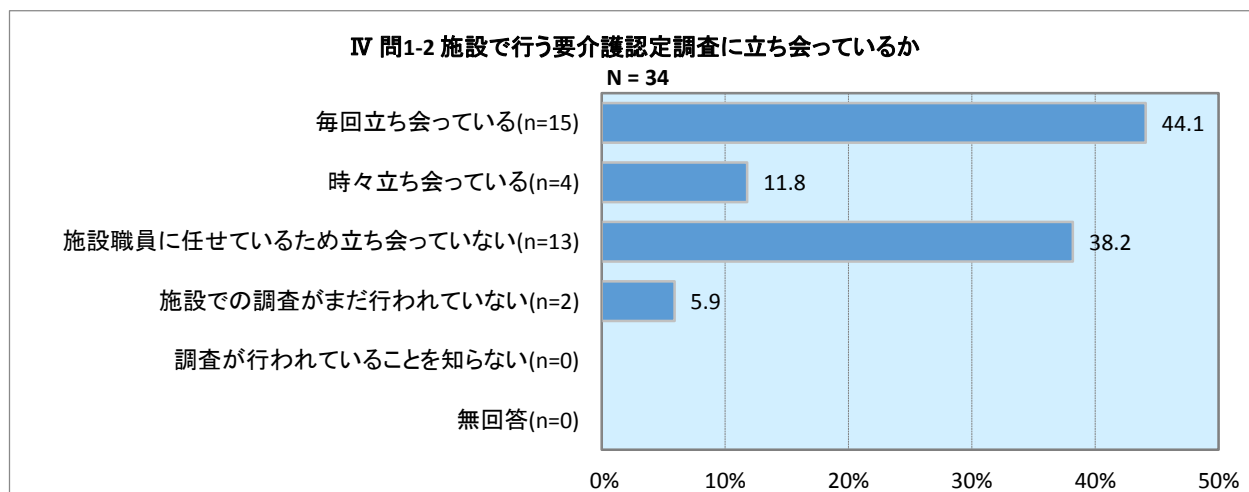
●【要介護者のケアプランを知っているか】は、「知っている」が最多で 88.2% (30 件)、次いで、「知らない」が 8.8% (3 件)、「あることは知っているが見たことがない」が 2.9% (1 件) となっています。



回答条件：【II 問2 介護保険サービスの利用】で、「施設等に入所・入院している」の場合のみ回答

問1-2 施設で行う要介護認定調査に立ち会っているか (単一回答形式)

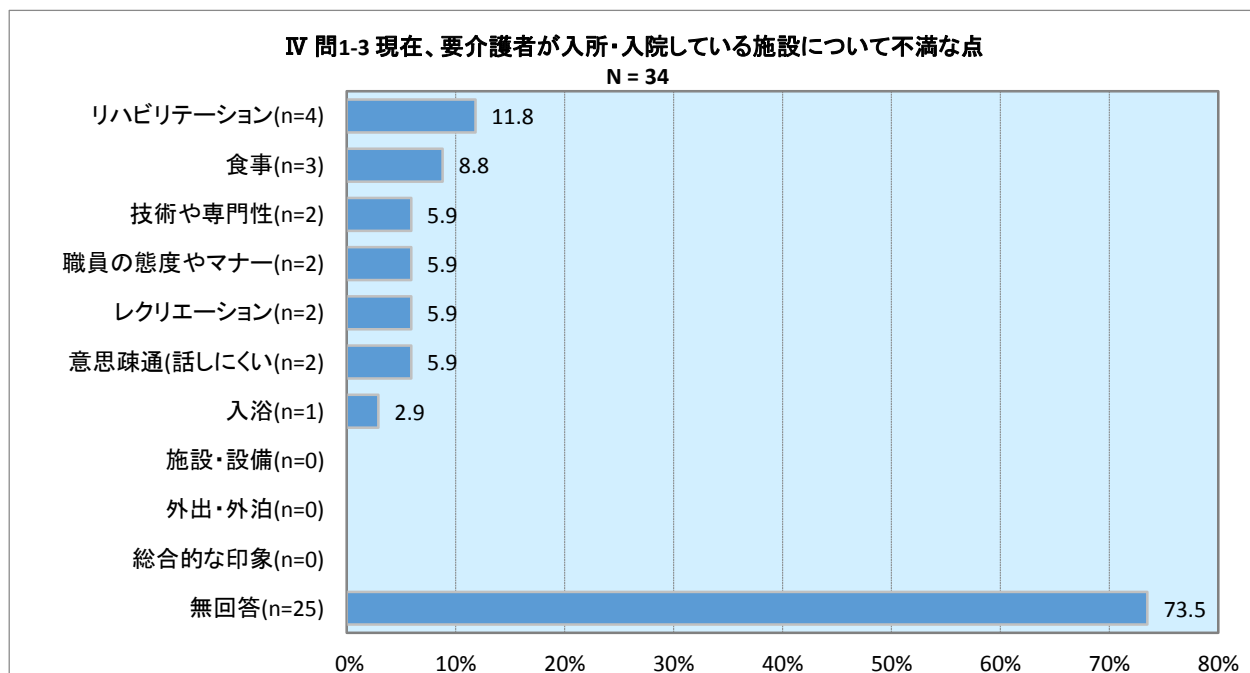
●【施設で行う要介護認定調査に立ち会っているか】は、「毎回立ち会っている」が最多で 44.1% (15 件)、次いで、「施設職員に任せているため立ち会っていない」が 38.2% (13 件)、「時々立ち会っている」が 11.8% (4 件) となっています。



回答条件：【II 問2 介護保険サービスの利用】で、「施設等に入所・入院している」の場合のみ回答

問1-3 現在、要介護者が入所・入院している施設について不満な点 (複数回答形式)

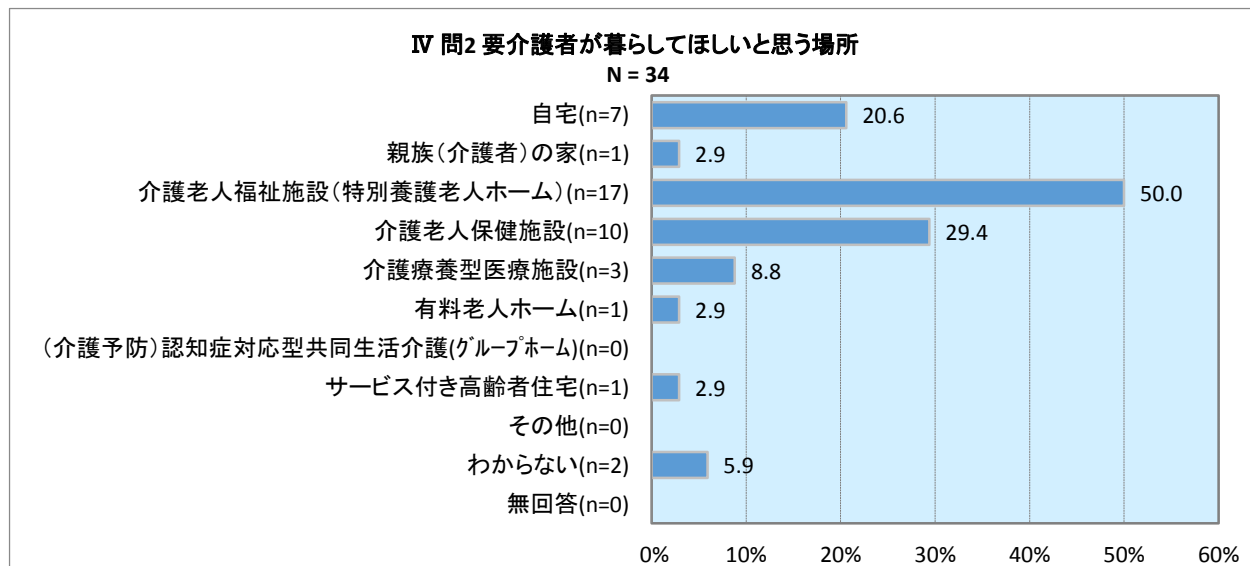
●【現在、要介護者が入所・入院している施設について不満な点】は、「リハビリテーション」が最多で11.8% (4件)、次いで、「食事」が8.8% (3件)となっています。なお、「無回答」が73.5% (25件)と高い割合となっています。



回答条件：【II 問2 介護保険サービスの利用】で、「施設等に入所・入院している」の場合のみ回答

問2 要介護者が暮らしてほしいと思う場所 (複数回答形式)

●【要介護者が暮らしてほしいと思う場所】は、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」が最多で50.0% (17件)、次いで、「介護老人保健施設」が29.4% (10件)、「自宅」が20.6% (7件)となっています。

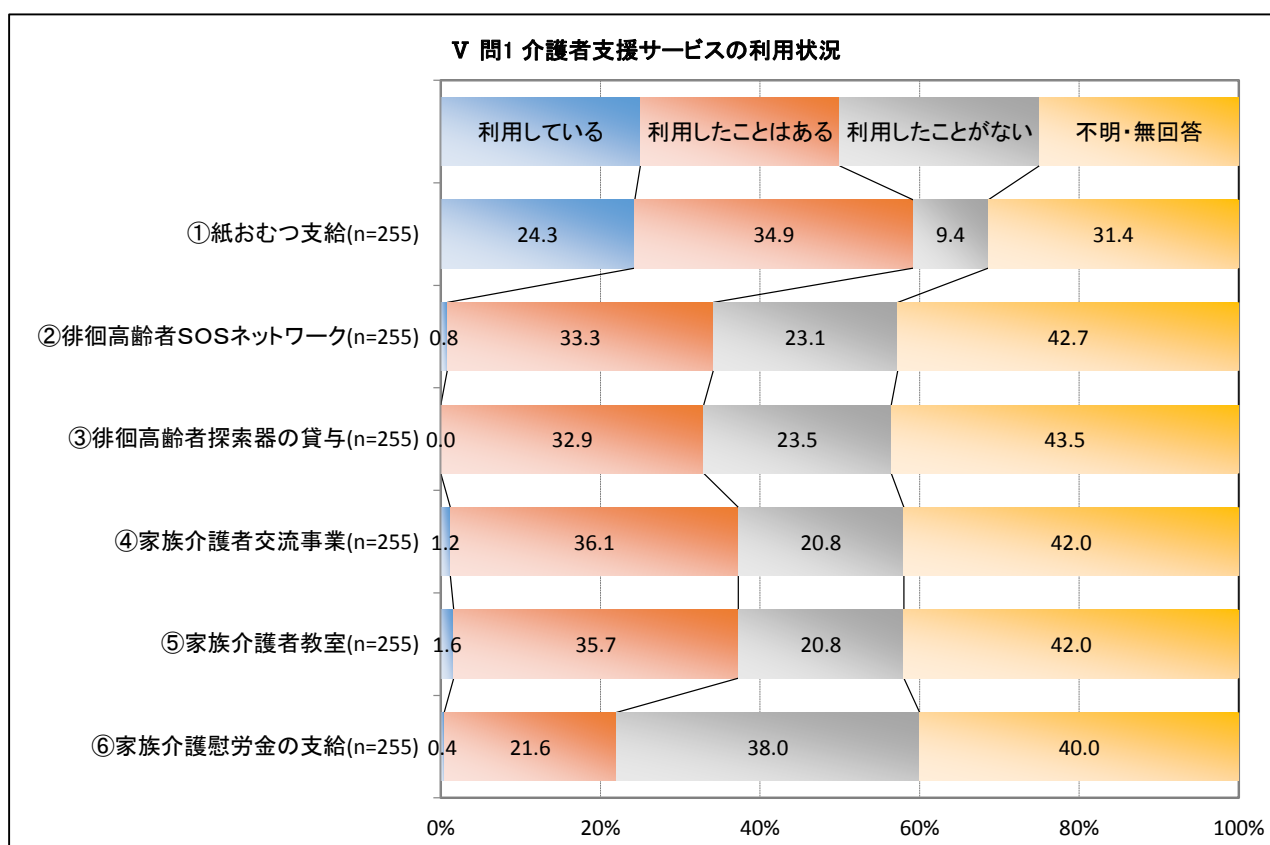


回答条件：【II 問2 介護保険サービスの利用】で、「施設等に入所・入院している」の場合のみ回答

V 介護者支援サービス

問1 介護者支援サービスの利用状況（単一回答形式）

●【介護者支援サービスの利用状況】は、「利用している」で『①紙おむつ支給』が最多で24.3%（62件）となっています。「利用したことはある」で『④家族介護者交流事業』が最多で36.1%（92件）、次いで、『⑤家族介護者教室』が35.7%（91件）、『①紙おむつ支給』が34.9%（89件）となっています。



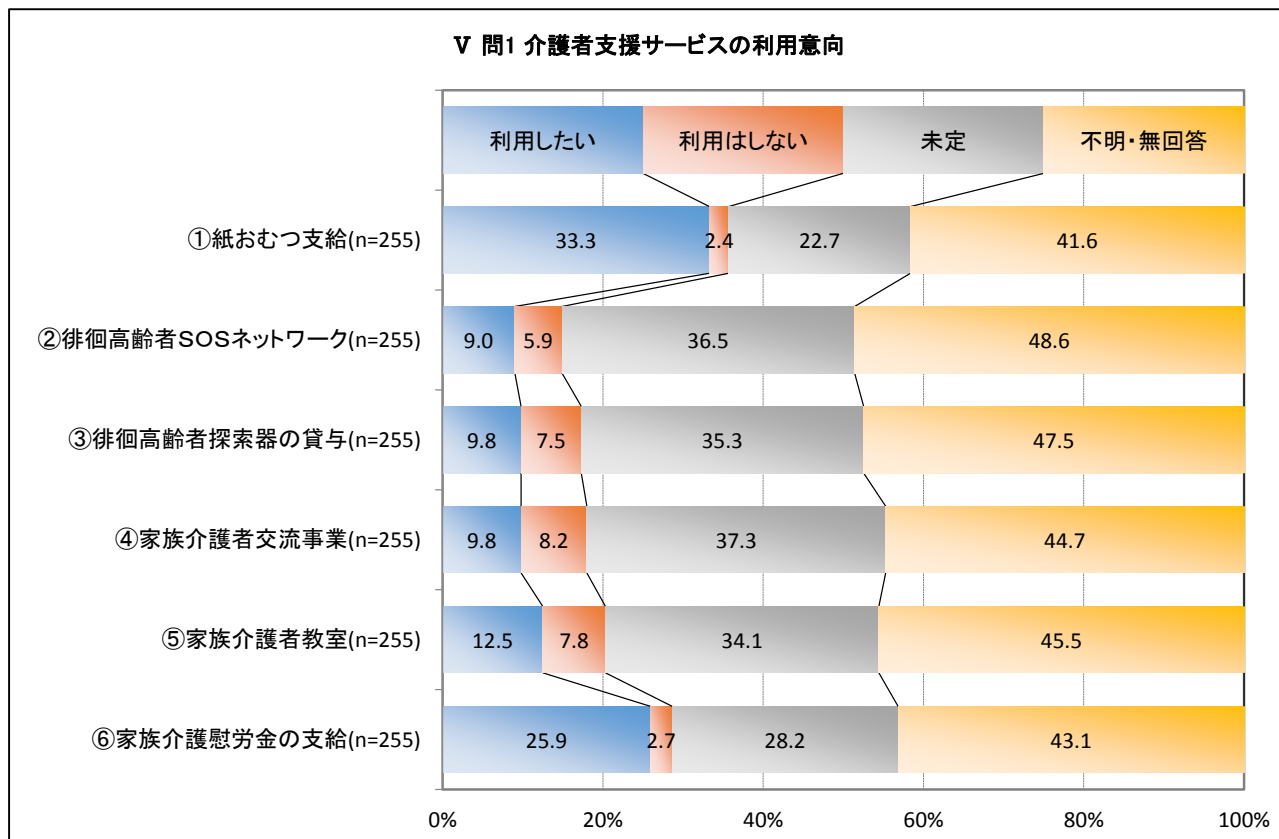
	V 問1 介護者支援サービスの利用状況				
	合計	利用している	利用したことはある	利用したことがない	無回答
①紙おむつ支給	255 100.0	62 24.3	89 34.9	24 9.4	80 31.4
②徘徊高齢者SOSネットワーク	255 100.0	2 0.8	85 33.3	59 23.1	109 42.7
③徘徊高齢者探索器の貸与	255 100.0	0 0.0	84 32.9	60 23.5	111 43.5
④家族介護者交流事業	255 100.0	3 1.2	92 36.1	53 20.8	107 42.0
⑤家族介護者教室	255 100.0	4 1.6	91 35.7	53 20.8	107 42.0
⑥家族介護慰労金の支給	255 100.0	1 0.4	55 21.6	97 38.0	102 40.0

回答条件：【Ⅱ 問 1-1 現在、要介護者が生活している場所】で、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」以外の場合のみ回答



問1 介護者支援サービスの利用意向（単一回答形式）

●【介護者支援サービスの利用意向】は、「利用したい」で『①紙おむつ支給』が最多で33.3%（85件）、次いで、『⑥家族介護慰労金の支給』が25.9%（66件）、『⑤家族介護者教室』が12.5%（32件）となっています。



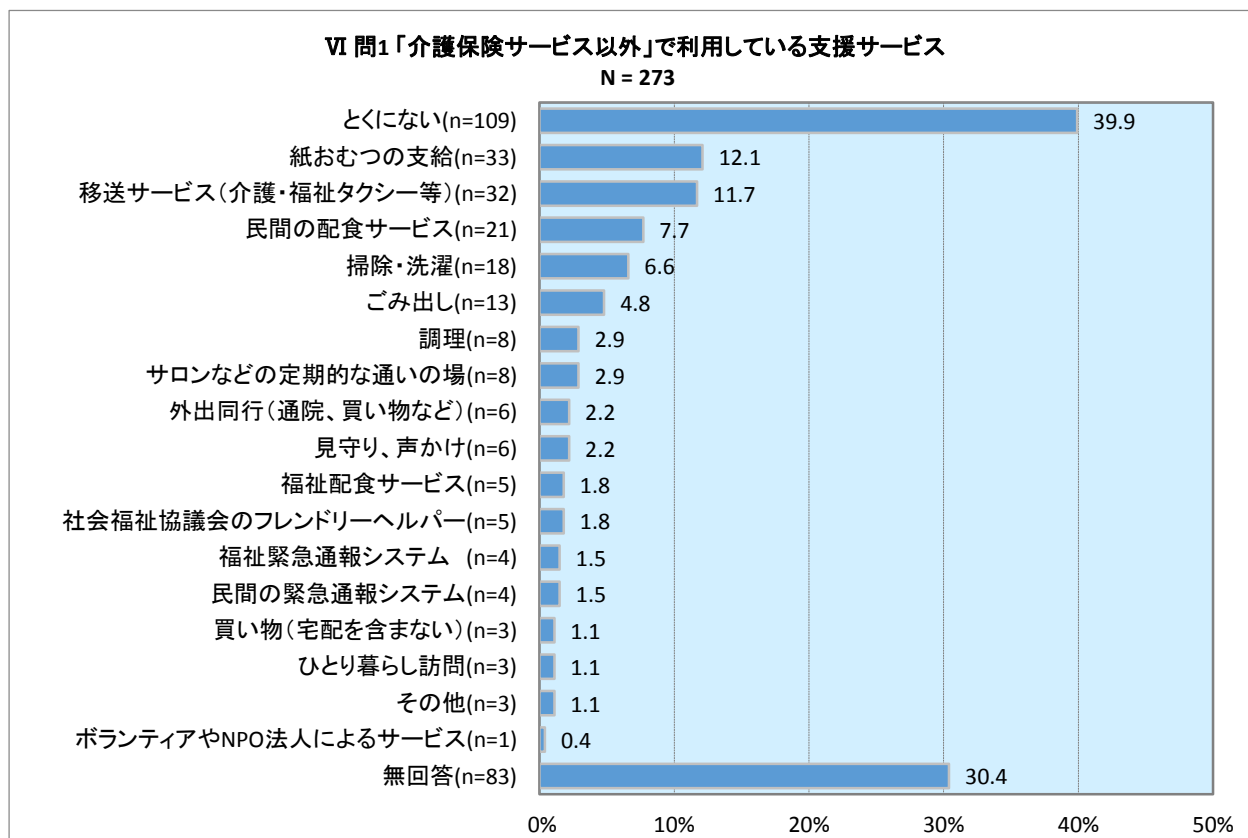
	上段:度数 下段:%	V 問1 介護者支援サービスの利用意向			
		合計	利用したい	利用はしない	未定
①紙おむつ支給	255 100.0	85 33.3	6 2.4	58 22.7	106 41.6
②徘徊高齢者SOSネットワーク	255 100.0	23 9.0	15 5.9	93 36.5	124 48.6
③徘徊高齢者探索器の貸与	255 100.0	25 9.8	19 7.5	90 35.3	121 47.5
④家族介護者交流事業	255 100.0	25 9.8	21 8.2	95 37.3	114 44.7
⑤家族介護者教室	255 100.0	32 12.5	20 7.8	87 34.1	116 45.5
⑥家族介護慰労金の支給	255 100.0	66 25.9	7 2.7	72 28.2	110 43.1

回答条件：【Ⅱ 問 1-1 現在、要介護者が生活している場所】で、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」以外の場合のみ回答

## VI 高齢者福祉全般

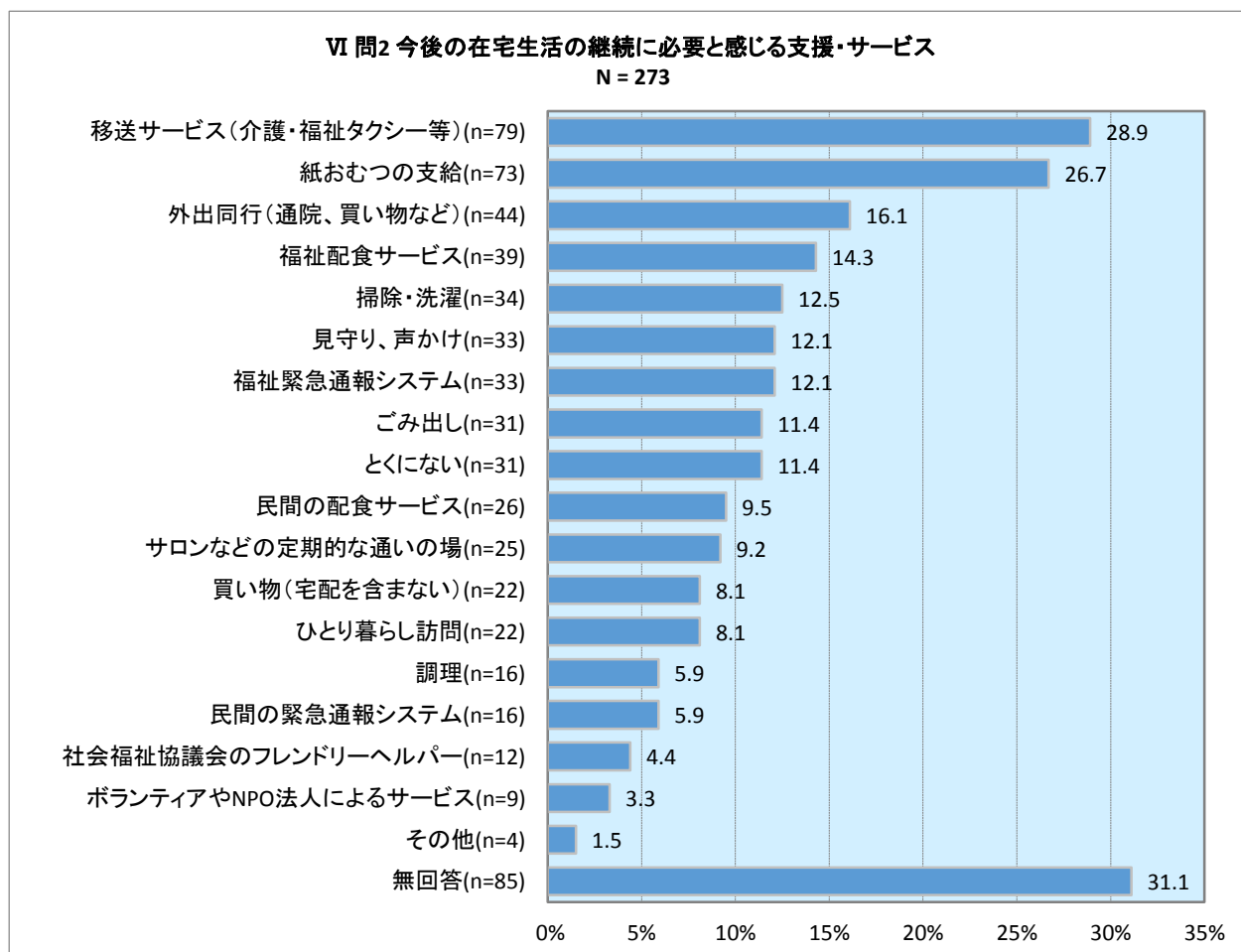
## 問1 「介護保険サービス以外」で利用している支援サービス（複数回答形式）

- 【「介護保険サービス以外」で利用している支援サービス】は、「とくにない」が最多で39.9%（109件）、次いで、「紙おむつの支給」が12.1%（33件）、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が11.7%（32件）となっています。



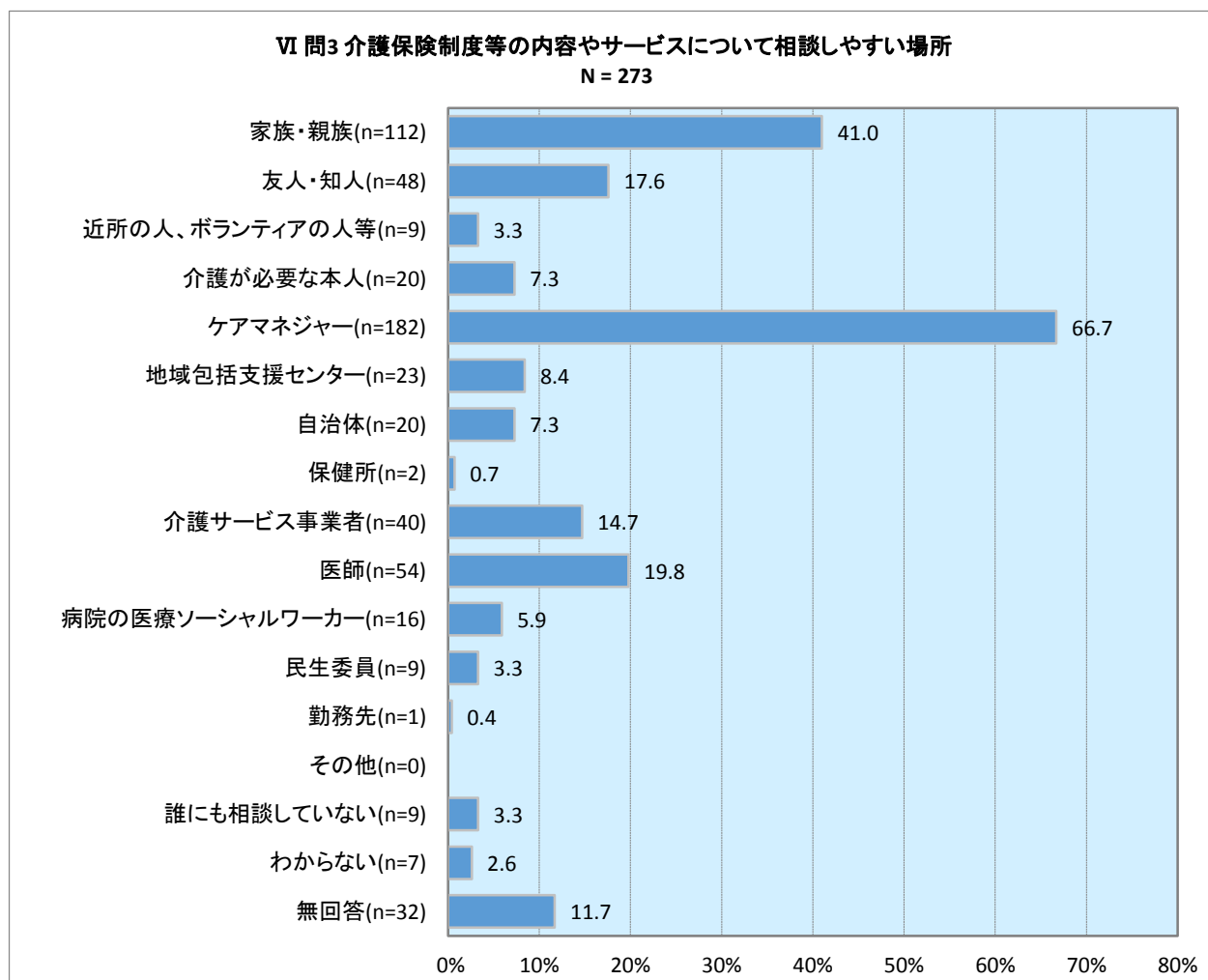
問2 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス (複数回答形式)

●【今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】は、「移送サービス (介護・福祉タクシー等)」が最多で 28.9% (79 件)、次いで、「紙おむつの支給」が 26.7% (73 件)、「外出同行 (通院、買い物など)」が 16.1% (44 件) となっています。



## 問3 介護保険制度等の内容やサービスについて相談しやすい場所 (複数回答形式)

- 【介護保険制度等の内容やサービスについて相談しやすい場所】は、「ケアマネジャー」が最多で66.7% (182件)、次いで、「家族・親族」が41.0% (112件)、「医師」が19.8% (54件) となっています。

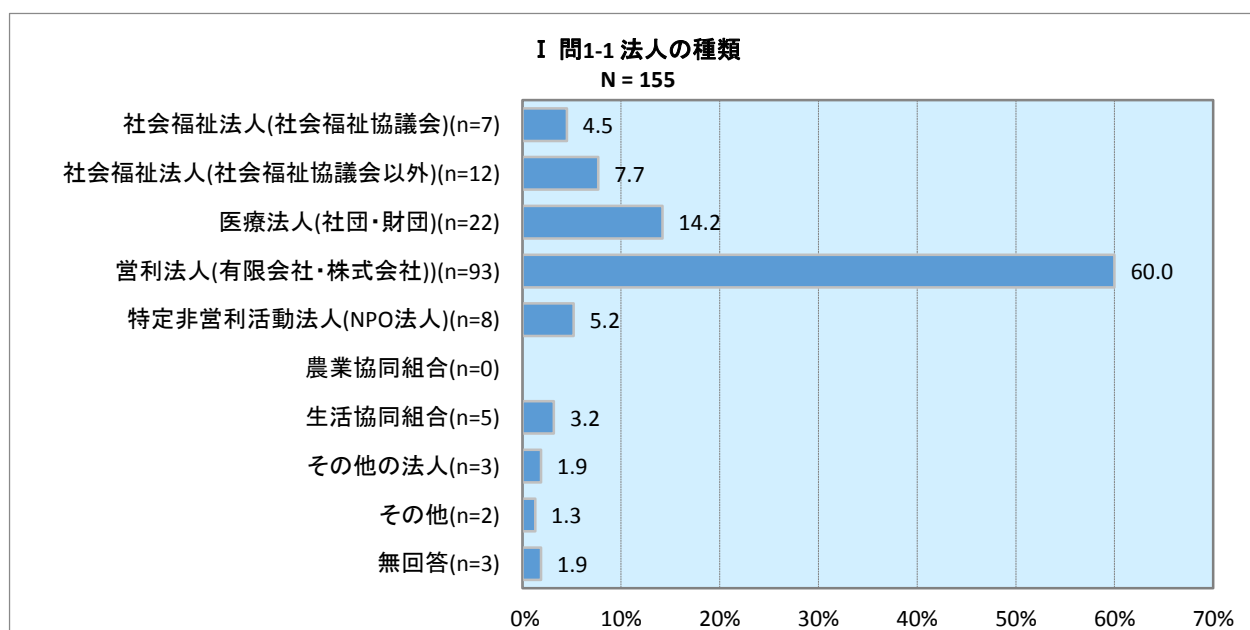


## 第5編 サービス提供事業所調査

### I 事業所の概要、サービスの提供状況、運営状況

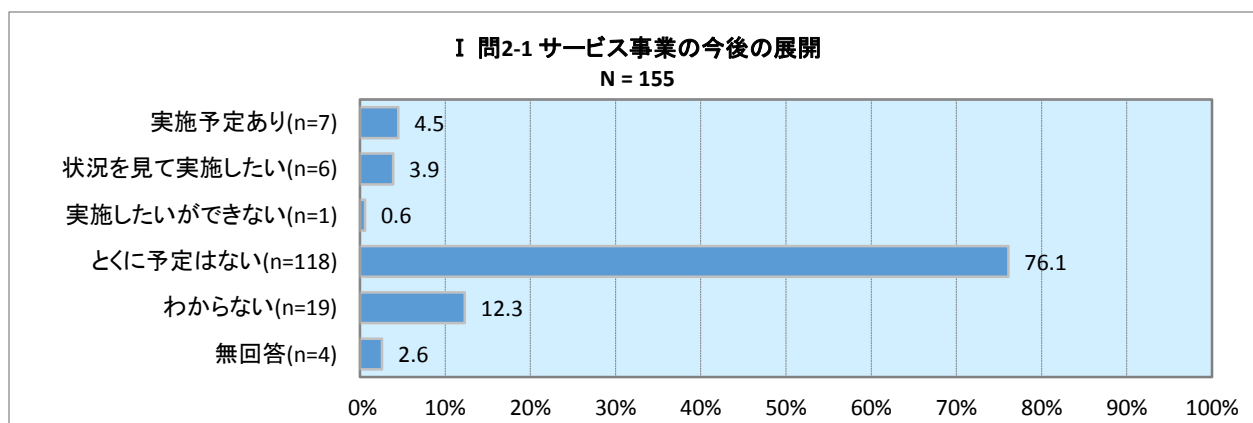
#### 問1-1 法人の種類（複数回答形式）

- 【法人の種類】は、「営利法人(有限会社・株式会社)」が最多で60.0%（93件）、次いで、「医療法人(社団・財団)」が14.2%（22件）、「社会福祉法人(社会福祉協議会以外)」が7.7%（12件）となっています。



#### 問2-1 サービス事業の今後の展開（複数回答形式）

- 【サービス事業の今後の展開】は、「とくに予定はない」が最多で76.1%（118件）、次いで、「わからない」が12.3%（19件）、「実施予定あり」が4.5%（7件）となっています。



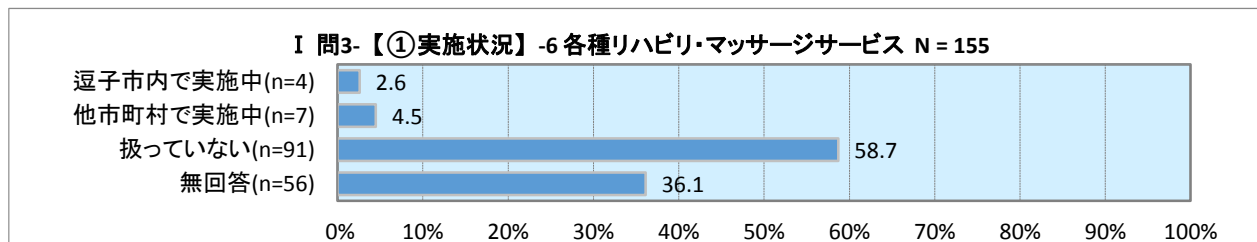
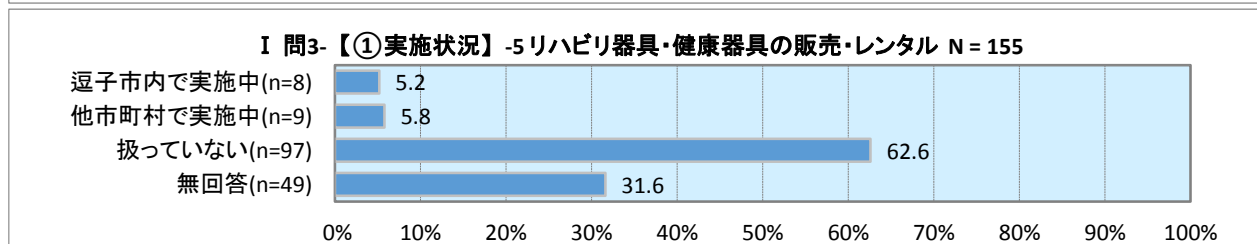
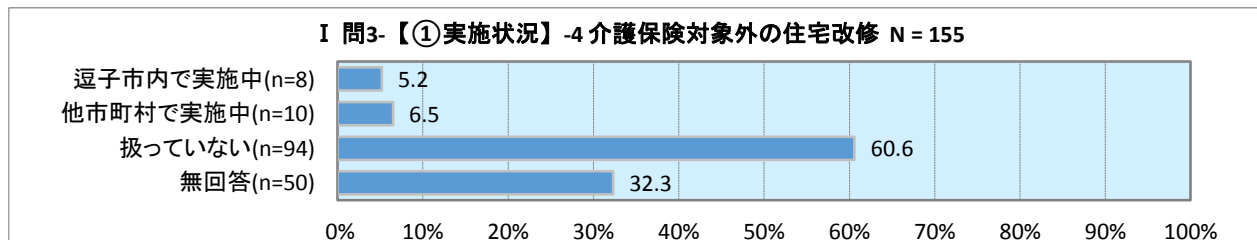
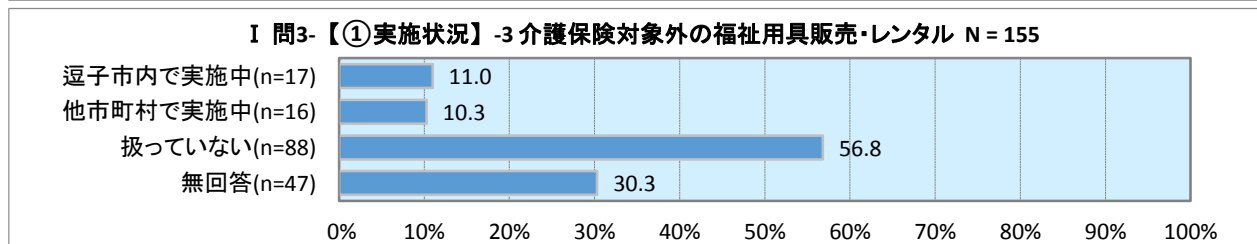
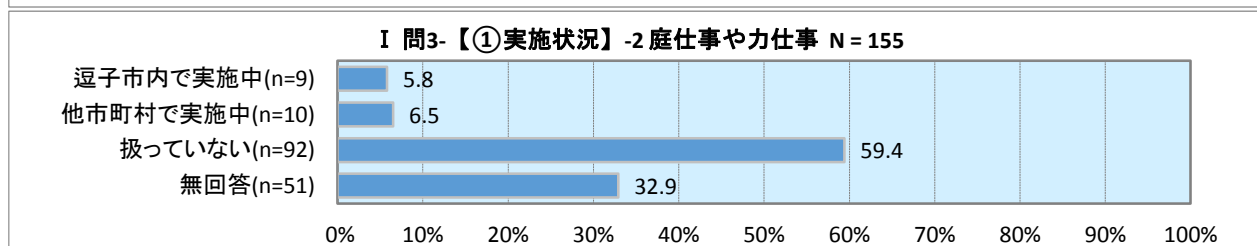
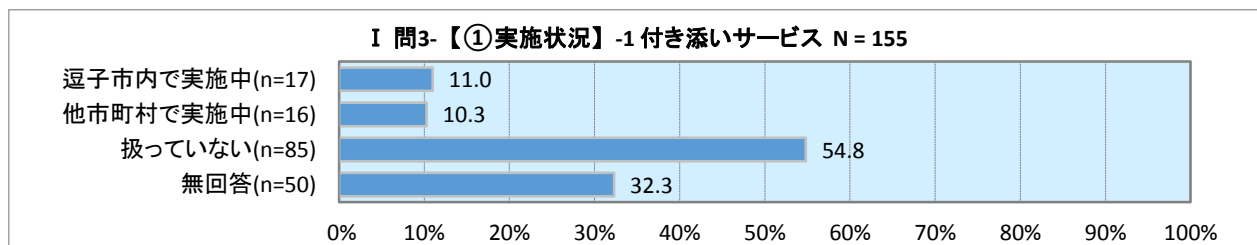
問2-1 新規サービス予定（単一回答形式）

- 新規サービスを予定している事業所をみると、介護給付では、平成30年に「1 居宅介護支援」「14 小規模多機能型居宅介護」「15 認知症対応型共同生活介護」、平成32年に「22 地域密着型介護老人福祉施設」、平成33年以降に「2 訪問介護」「12 福祉用具貸与」「17 地域密着型通所介護」を予定している事業所があります。
- 予防給付では、平成30年に「1 介護予防支援業務(受託分)」、平成33年以降に「7 介護予防通所介護」「15 介護予防福祉用具貸与」「16 介護予防地域密着型通所介護」を予定している事業所があります。

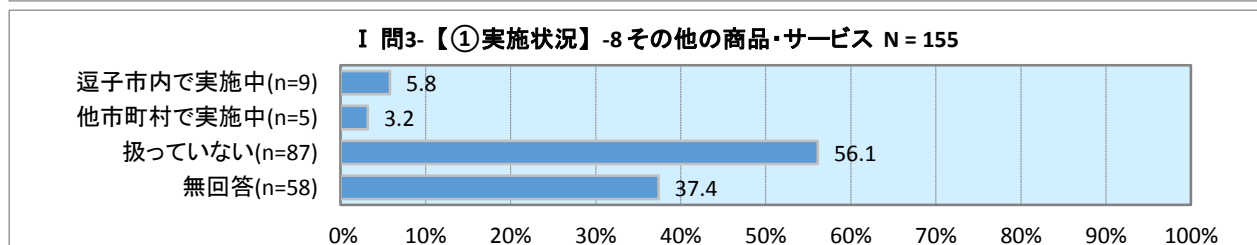
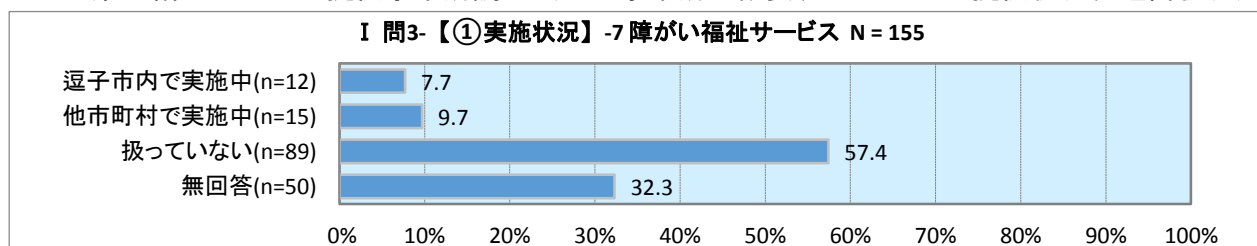
	度数のみ	合計	平成30年	平成31年	平成32年	それ以降
介護給付	1 居宅介護支援	1	1	-	-	-
	2 訪問介護	1	-	-	-	1
	3 訪問入浴介護	-	-	-	-	-
	4 訪問看護	-	-	-	-	-
	5 訪問リハビリテーション	-	-	-	-	-
	6 居宅療養管理指導	-	-	-	-	-
	7 通所介護	-	-	-	-	-
	8 通所リハビリテーション	-	-	-	-	-
	9 短期入所生活介護	-	-	-	-	-
	10 短期入所療養介護	-	-	-	-	-
	11 特定施設入所者生活介護	-	-	-	-	-
	12 福祉用具貸与	2	-	-	-	2
	13 認知症対応型通所介護	-	-	-	-	-
	14 小規模多機能型居宅介護	1	1	-	-	-
	15 認知症対応型共同生活介護	1	1	-	-	-
	16 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	-	-	-	-	-
	17 地域密着型通所介護	2	-	-	-	2
	18 地域密着型特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-
	19 特別給付(移送サービス)	-	-	-	-	-
	20 看護小規模多機能型居宅介護	-	-	-	-	-
	21 夜間対応型訪問介護	-	-	-	-	-
	22 地域密着型介護老人福祉施設	1	-	-	1	-
	23 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	-	-	-	-	-
	24 介護老人保健施設	-	-	-	-	-
予防給付	1 介護予防支援業務(受託分)	1	1	-	-	-
	2 介護予防訪問介護	-	-	-	-	-
	3 介護予防訪問入浴介護	-	-	-	-	-
	4 介護予防訪問看護	-	-	-	-	-
	5 介護予防訪問リハビリテーション	-	-	-	-	-
	6 介護予防居宅療養管理指導	-	-	-	-	-
	7 介護予防通所介護	1	-	-	-	1
	8 介護予防通所リハビリテーション	-	-	-	-	-
	9 介護予防短期入所生活介護	-	-	-	-	-
	10 介護予防短期入所療養介護	-	-	-	-	-
	11 介護予防小規模多機能型居宅介護	-	-	-	-	-
	12 介護予防認知症対応型通所介護	-	-	-	-	-
	13 介護予防認知症対応型共同生活介護	-	-	-	-	-
	14 介護予防特定施設入居者生活介護	-	-	-	-	-
	15 介護予防福祉用具貸与	1	-	-	-	1
	16 介護予防地域密着型通所介護	1	-	-	-	1

問3 ①現在の実施状況〈保健福祉関連の物品やサービス〉（複数回答形式）

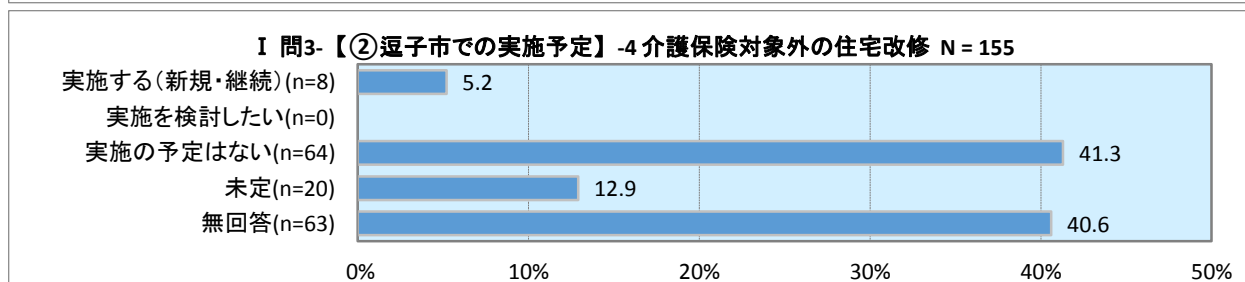
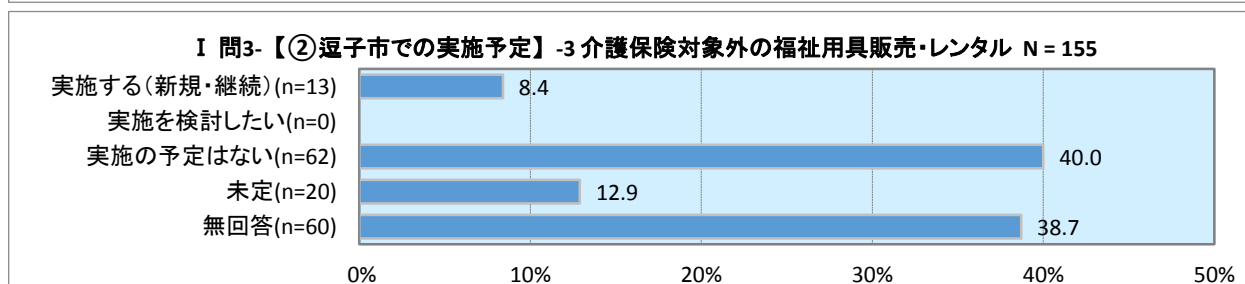
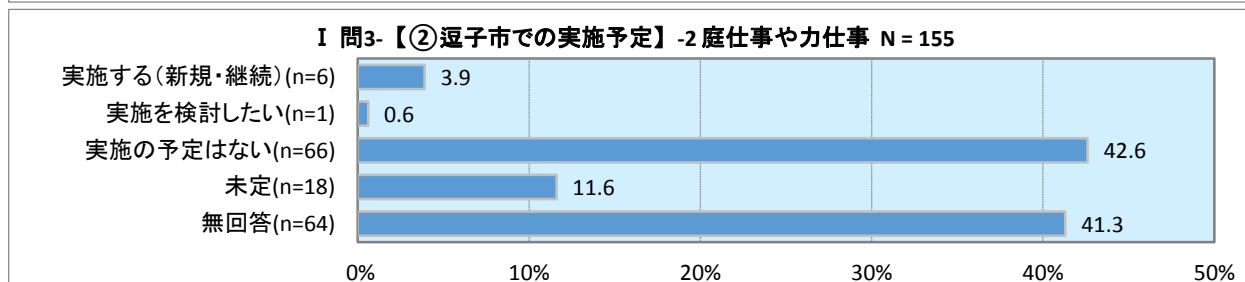
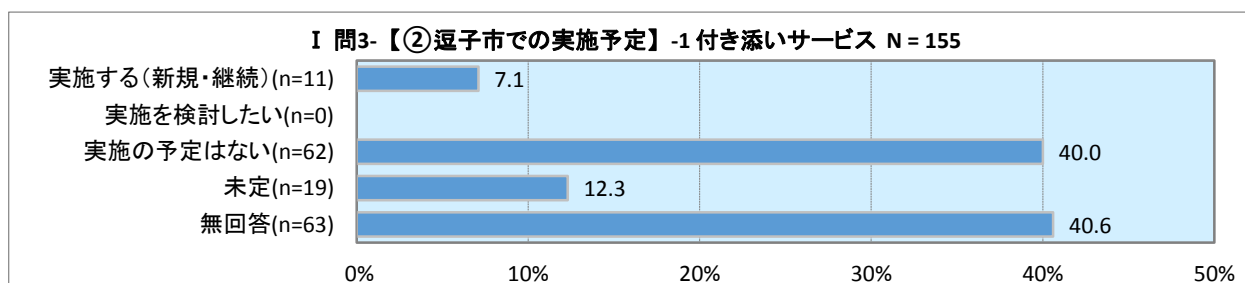
●「逗子市内で実施中」で1割を超えているサービスを見ると、「1 付き添いサービス」では、「逗子市内で実施中」が11.0%（17件）、「3 介護保険対象外の福祉用具販売・レンタル」では、「逗子市内で実施中」が11.0%（17件）となっています。



第5編 サービス提供事業所調査（I 事業所の概要、サービスの提供状況、運営状況）

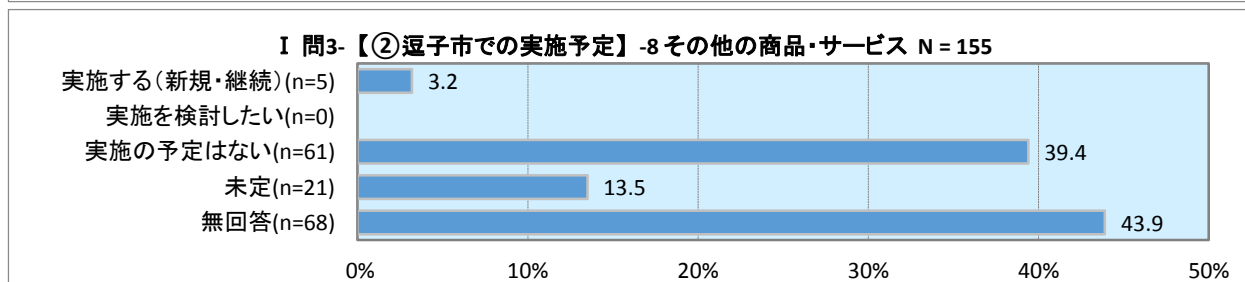
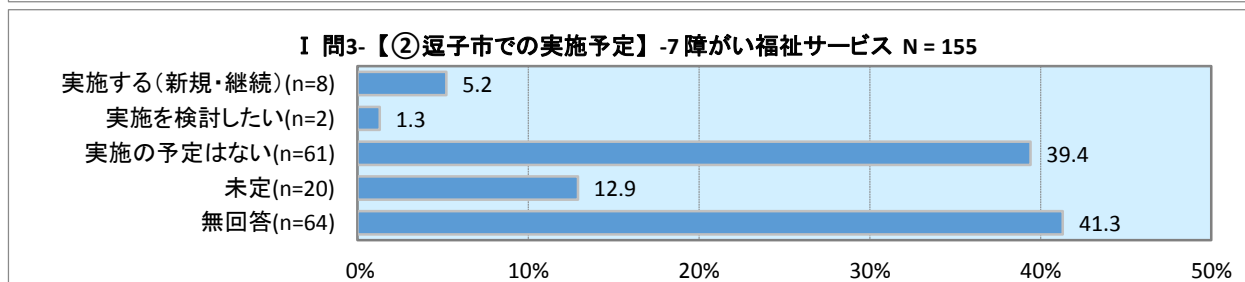
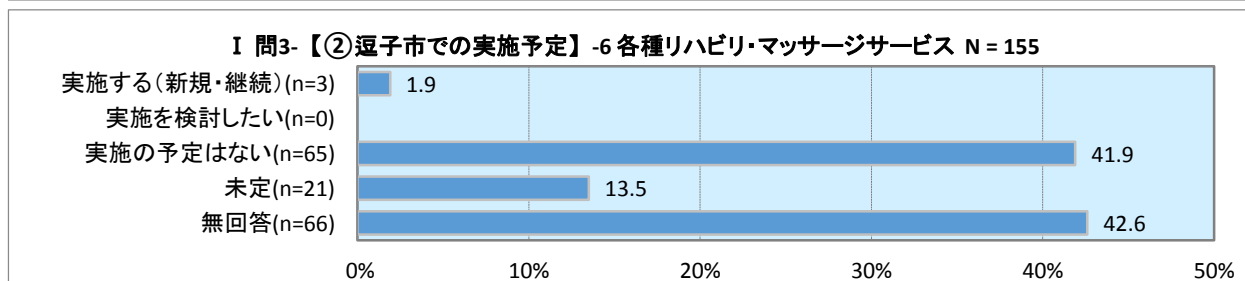
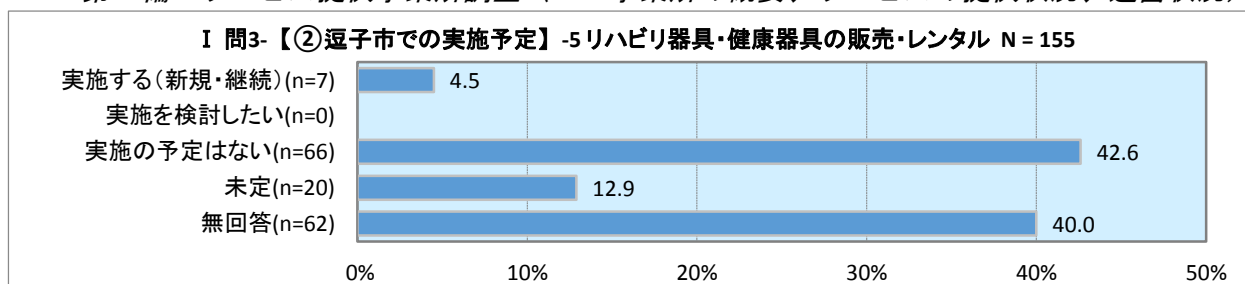


問3 ②逗子市での実施予定〈保健福祉関連の物品やサービス〉（複数回答形式）



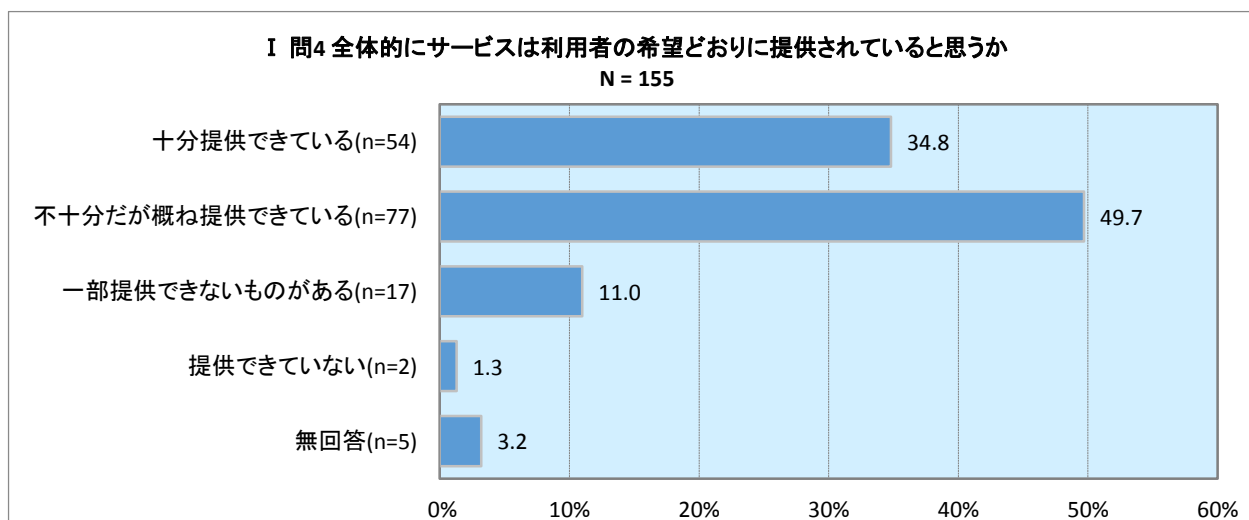


第5編 サービス提供事業所調査（I 事業所の概要、サービスの提供状況、運営状況）



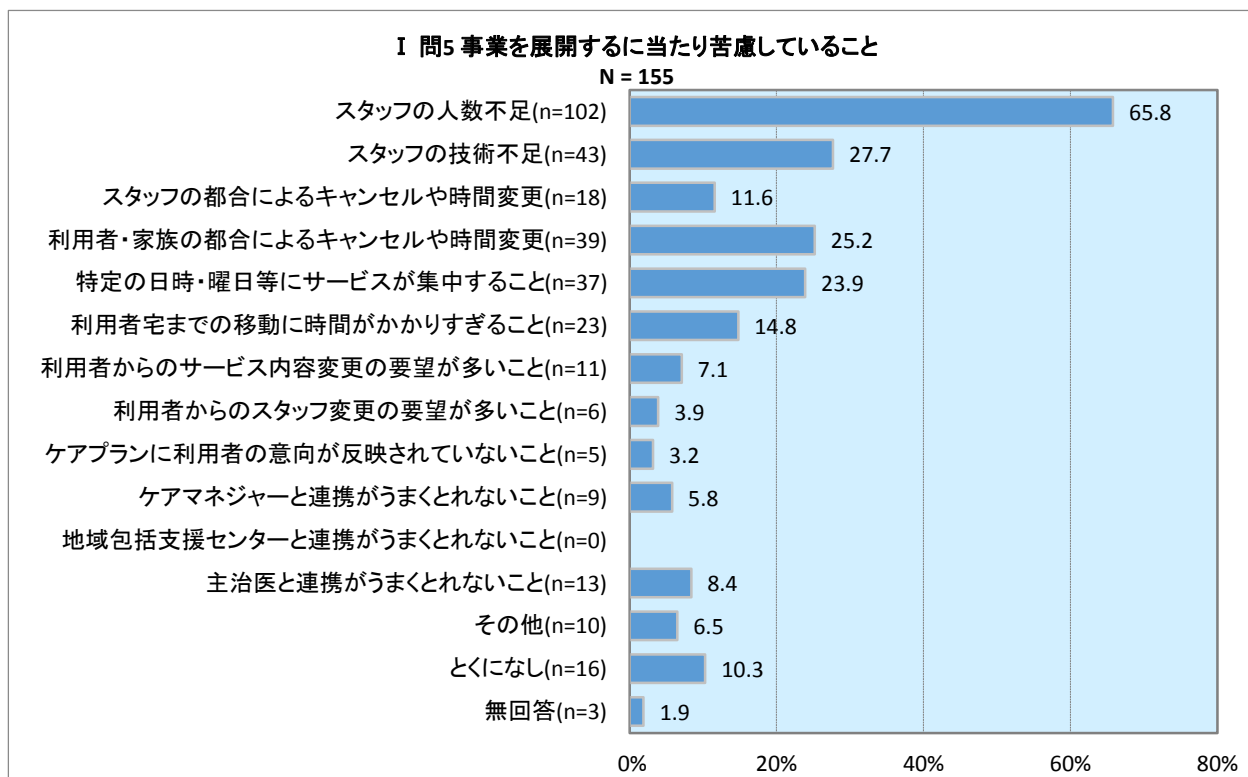
問4 サービスは利用者の希望どおりに提供されていると思うか（単一回答形式）

●【全体的にサービスは利用者の希望どおりに提供されていると思うか】は、「不十分だが概ね提供できている」が最多で49.7%（77件）、次いで、「十分提供できている」が34.8%（54件）、「一部提供できないものがある」が11.0%（17件）となっています。



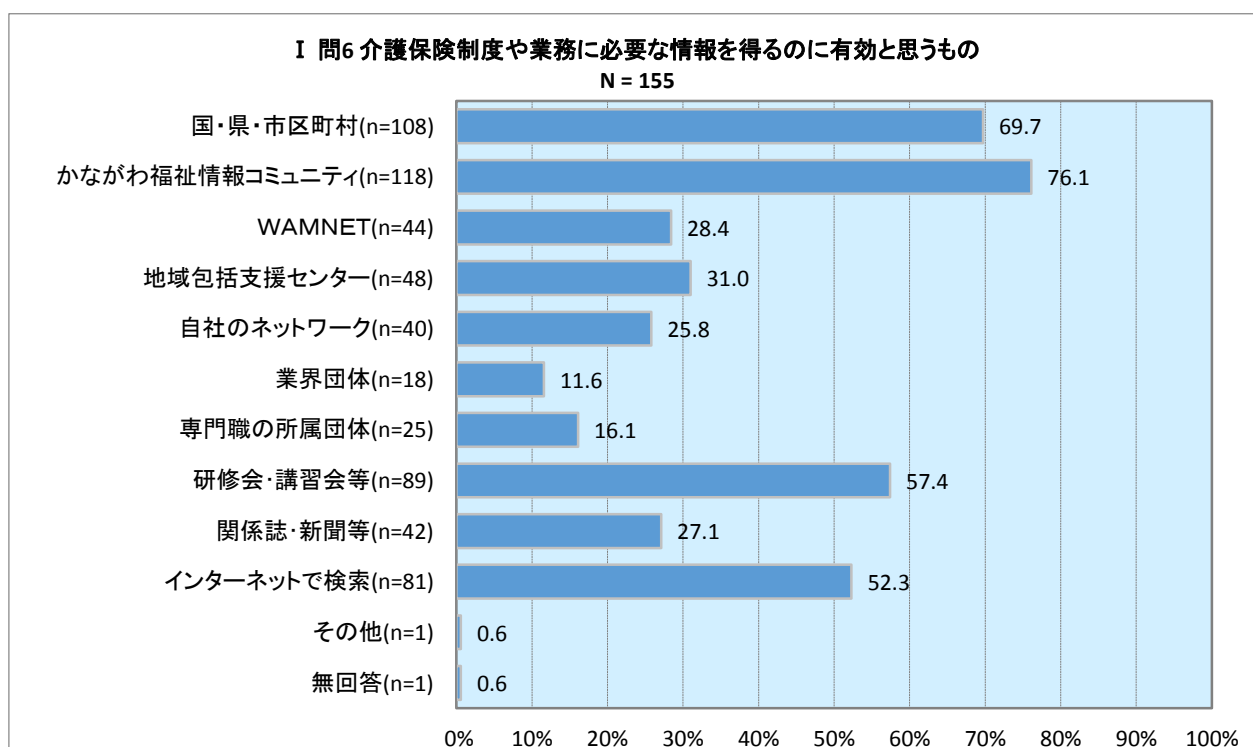
問5 事業を展開するに当たり苦慮していること（複数回答形式）

- 【事業を展開するに当たり苦慮していること】は、「スタッフの人数不足」が最多で 65.8%（102 件）、次いで、「スタッフの技術不足」が 27.7%（43 件）、「利用者・家族の都合によるキャンセルや時間変更」が 25.2%（39 件）となっています。



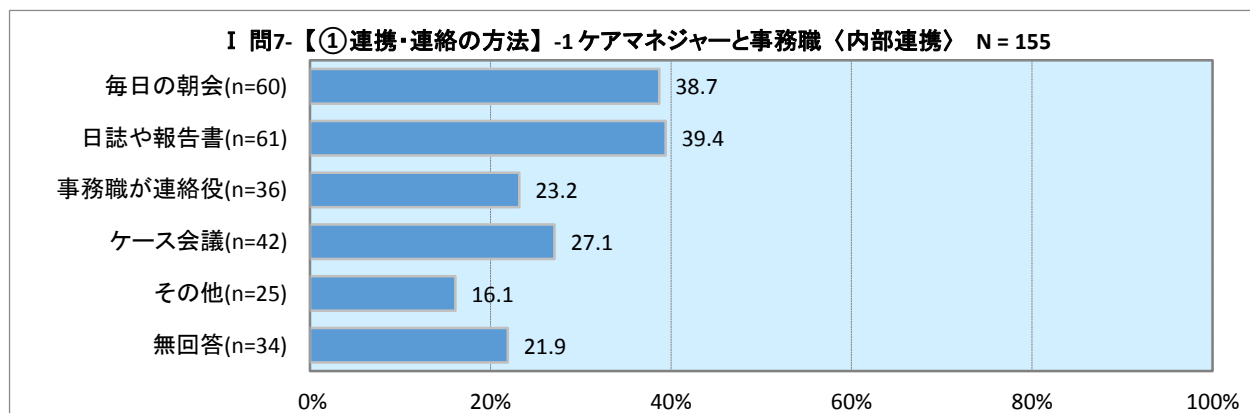
問6 介護保険制度や業務の情報取得に有効だと思うもの（複数回答形式）

- 【介護保険制度や業務に必要な情報を得るのに有効と思うもの】は、「かながわ福祉情報コミュニティ」が最多で 76.1%（118 件）、次いで、「国・県・市区町村」が 69.7%（108 件）、「研修会・講習会等」が 57.4%（89 件）となっています。

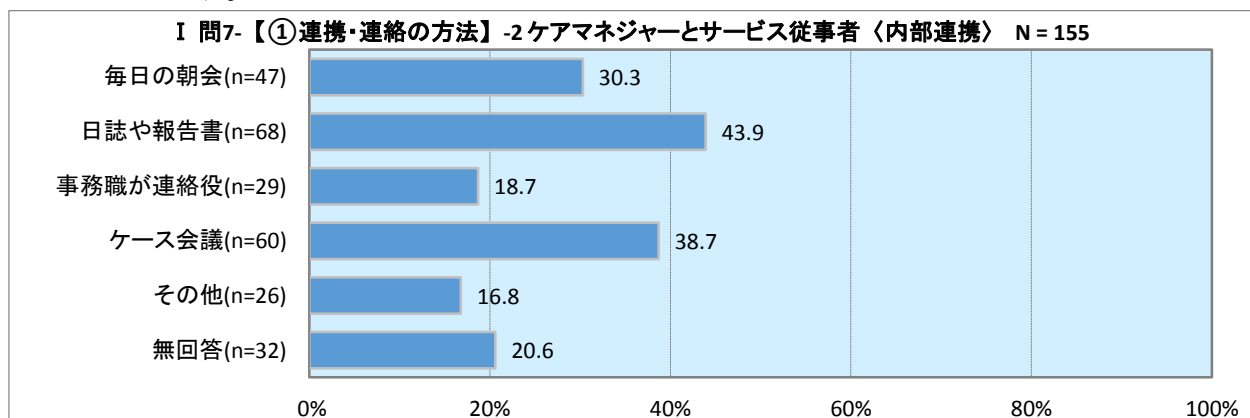


問7-① 関係者間の連携・連絡の方法（複数回答形式）

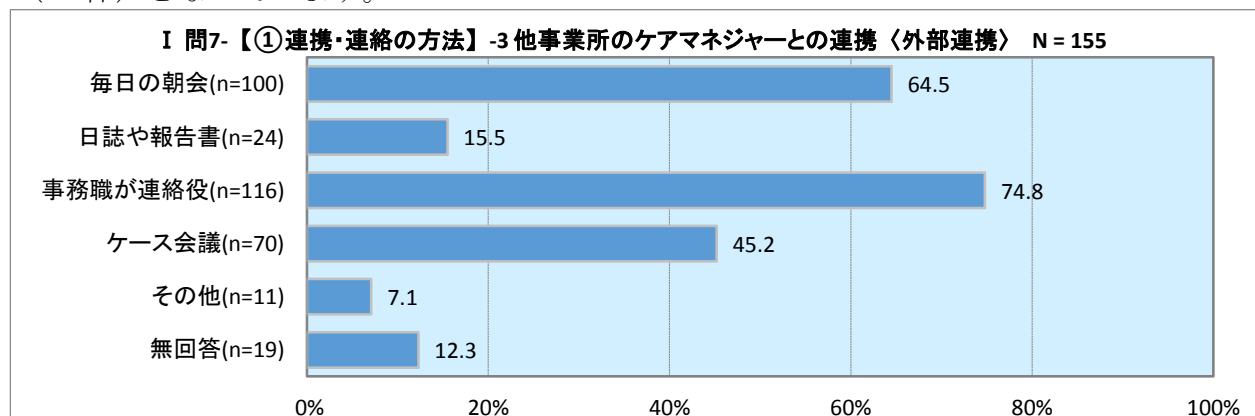
- 【1 ケアマネジャーと事務職〈内部連携〉】では、「日誌や報告書」が最多で 39.4%（61件）、次いで、「毎日の朝会」が 38.7%（60件）、「ケース会議」が 27.1%（42件）となっています。



- 【2 ケアマネジャーとサービス従事者〈内部連携〉】では、「日誌や報告書」が最多で 43.9%（68件）、次いで、「ケース会議」が 38.7%（60件）、「毎日の朝会」が 30.3%（47件）となっています。

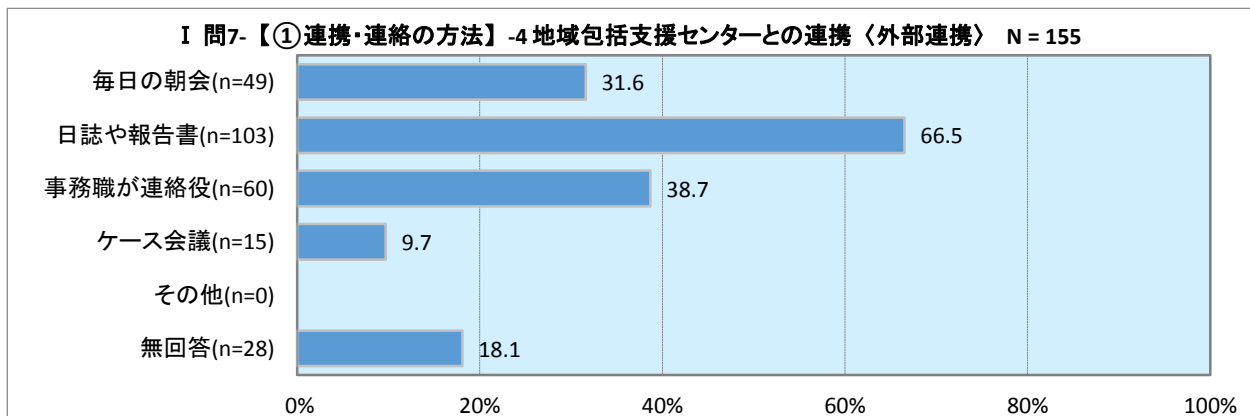


- 【3 他事業所のケアマネジャーとの連携〈外部連携〉】では、「事務職が連絡役」が最多で 74.8%（116件）、次いで、「毎日の朝会」が 64.5%（100件）、「ケース会議」が 45.2%（70件）となっています。

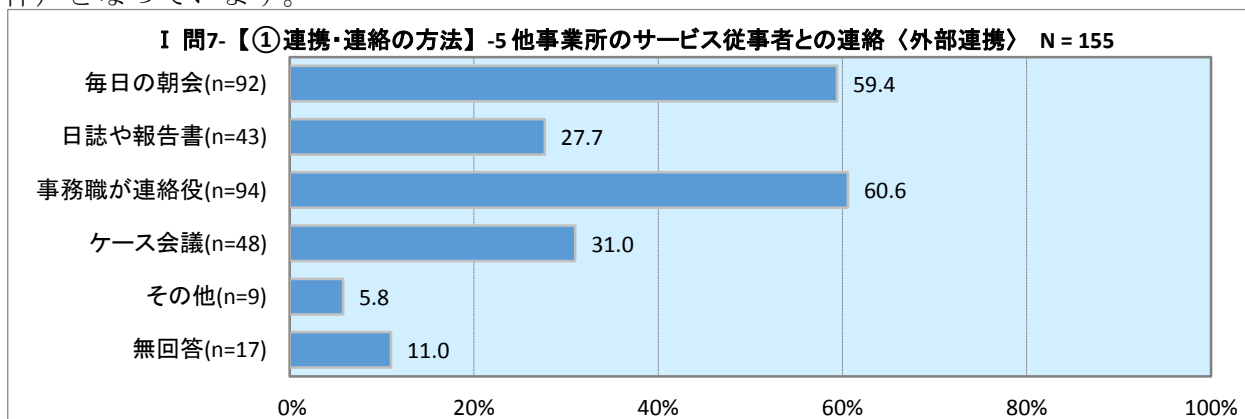


第5編 サービス提供事業所調査（I 事業所の概要、サービスの提供状況、運営状況）

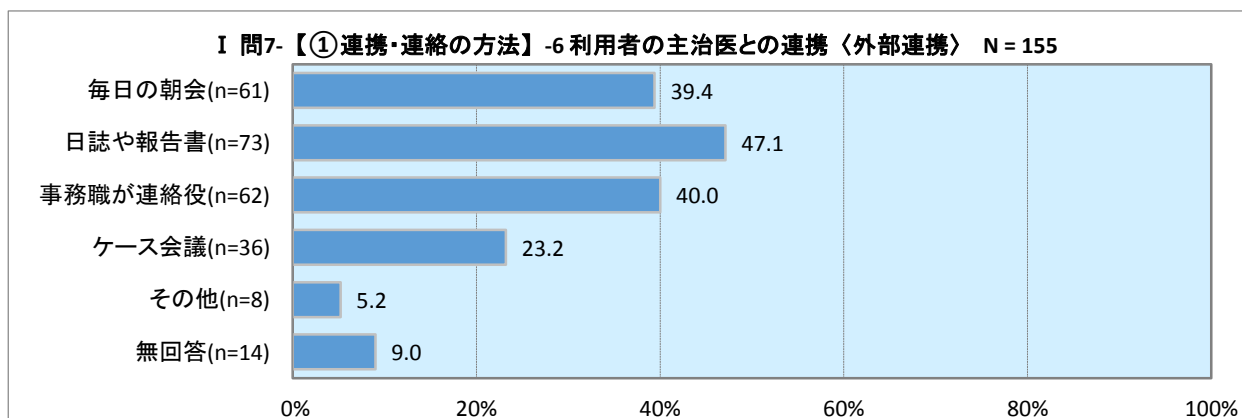
- 【4 地域包括支援センターとの連携〈外部連携〉】では、「日誌や報告書」が最多で66.5%（103件）、次いで、「事務職が連絡役」が38.7%（60件）、「毎日の朝会」が31.6%（49件）となっています。



- 【5 他事業所のサービス従事者との連絡〈外部連携〉】では、「事務職が連絡役」が最多で60.6%（94件）、次いで、「毎日の朝会」が59.4%（92件）、「ケース会議」が31.0%（48件）となっています。

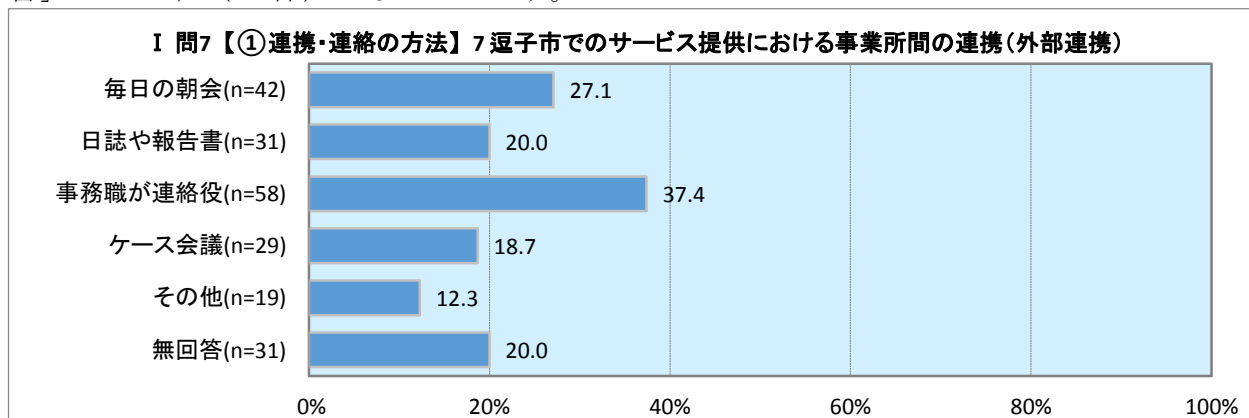


- 【6 利用者の主治医との連携〈外部連携〉】では、「日誌や報告書」が最多で47.1%（73件）、次いで、「事務職が連絡役」が40.0%（62件）、「毎日の朝会」が39.4%（61件）となっています。

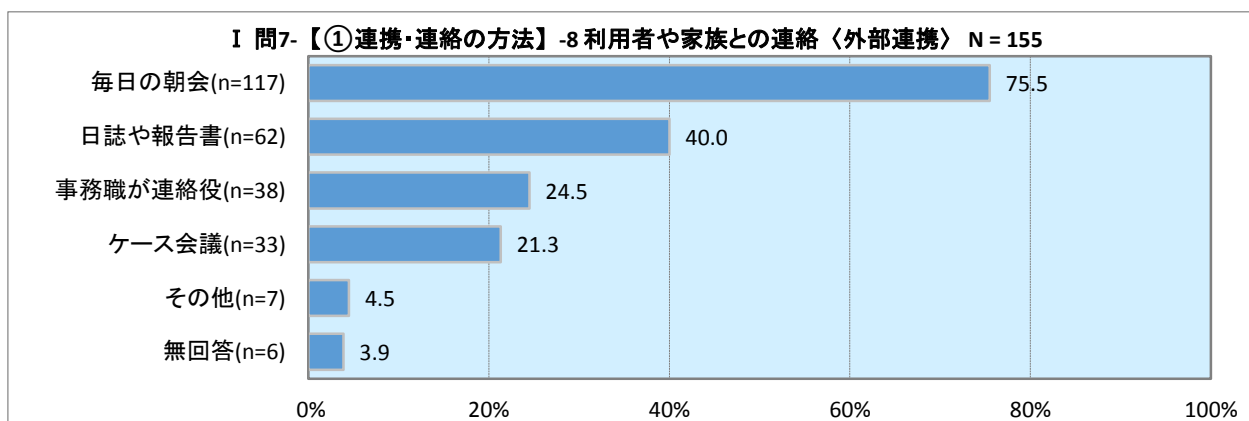


第5編 サービス提供事業所調査（I 事業所の概要、サービスの提供状況、運営状況）

- 【7 逗子市でのサービス提供における事業所間の連携〈外部連携〉】では、「事務職が連絡役」が最多で37.4%（58件）、次いで、「毎日の朝会」が27.1%（42件）、「日誌や報告書」が20.0%（31件）となっています。

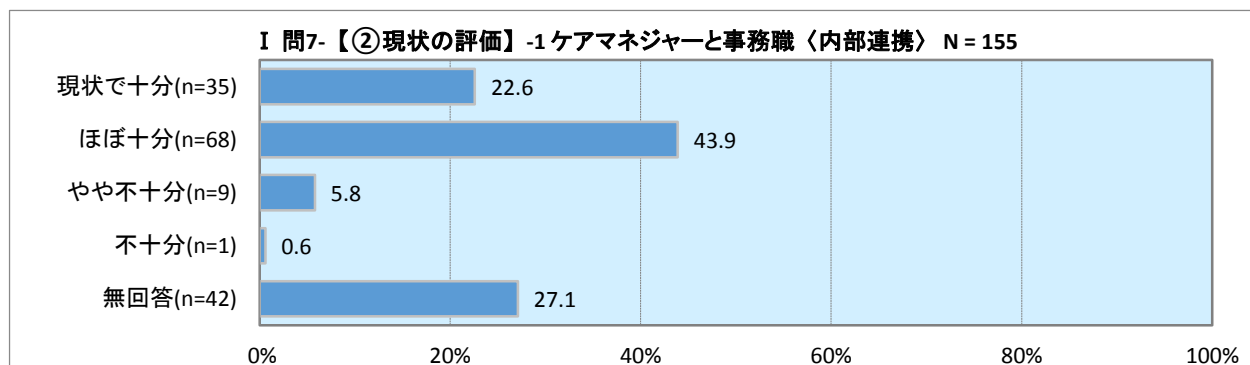


- 【8 利用者や家族との連絡〈外部連携〉】では、「毎日の朝会」が最多で75.5%（117件）、次いで、「日誌や報告書」が40.0%（62件）、「事務職が連絡役」が24.5%（38件）となっています。

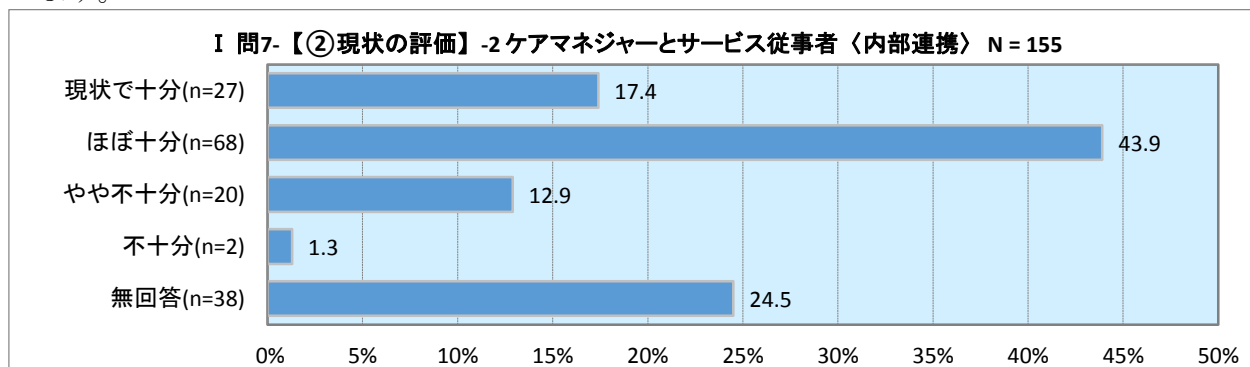


問7-② 関係者間の連携・連絡の現状の評価（単一回答形式）

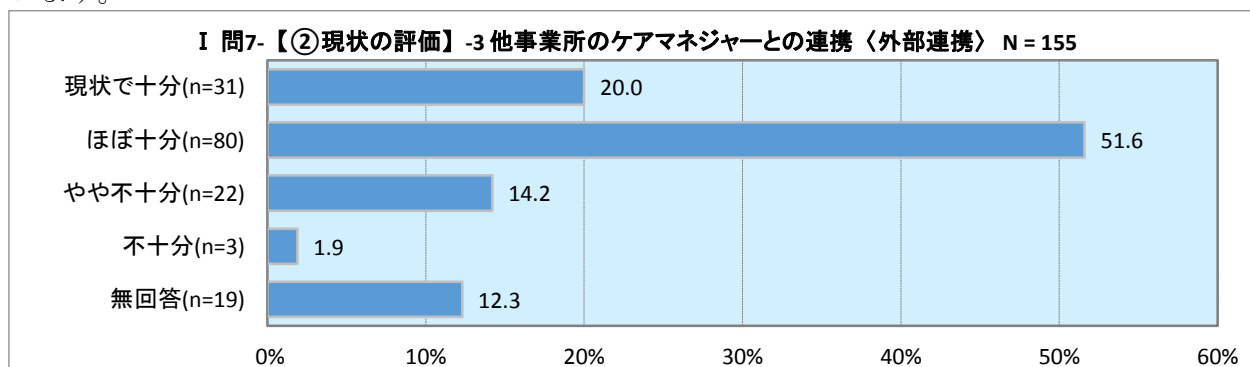
- 【1 ケアマネジャーと事務職〈内部連携〉】では、「ほぼ十分」が最多で43.9%（68件）、次いで、「現状で十分」が22.6%（35件）、「やや不十分」が5.8%（9件）となっています。



- 【2 ケアマネジャーとサービス従事者〈内部連携〉】では、「ほぼ十分」が最多で43.9%（68件）、次いで、「現状で十分」が17.4%（27件）、「やや不十分」が12.9%（20件）となっています。

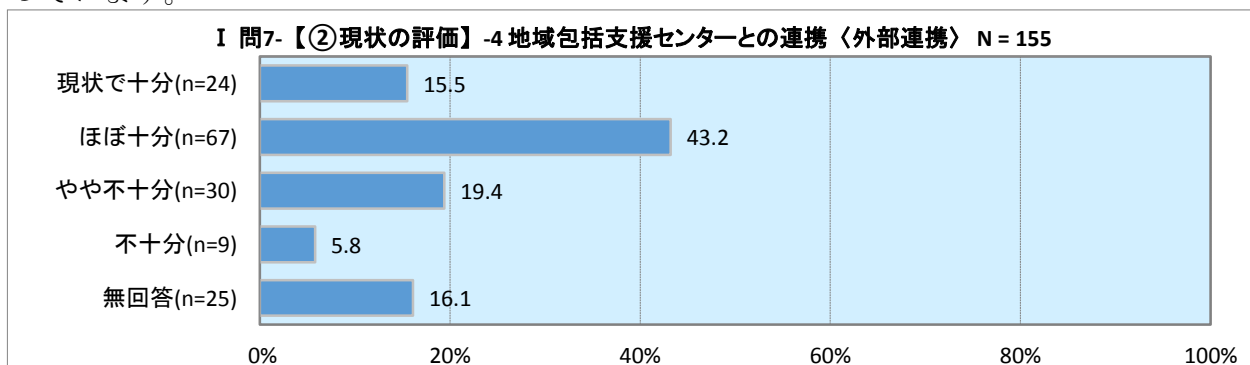


- 【3 他事業所のケアマネジャーとの連携〈外部連携〉】では、「ほぼ十分」が最多で51.6%（80件）、次いで、「現状で十分」が20.0%（31件）、「やや不十分」が14.2%（22件）となっています。

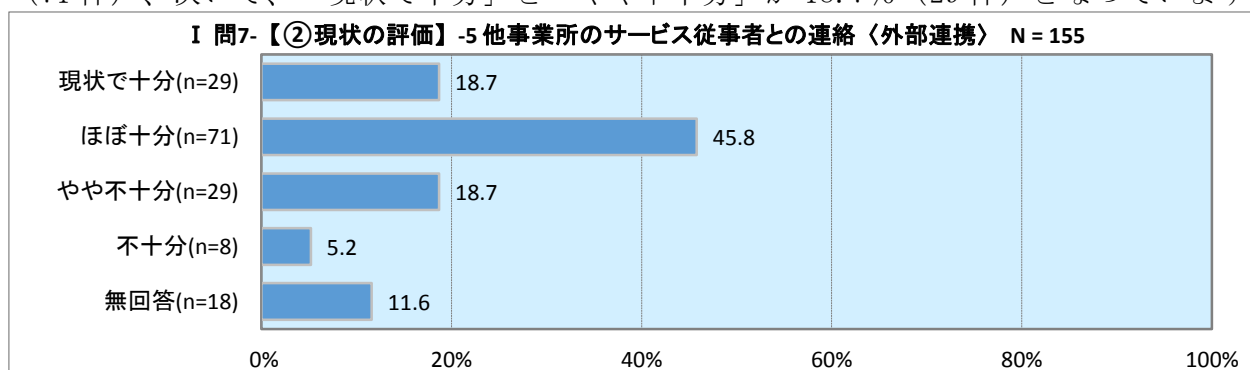


第5編 サービス提供事業所調査（I 事業所の概要、サービスの提供状況、運営状況）

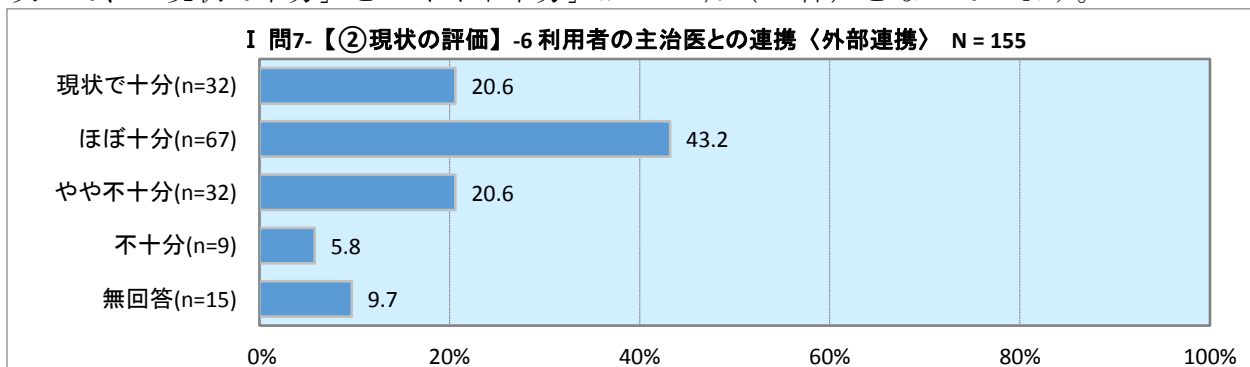
- 【4 地域包括支援センターとの連携〈外部連携〉】では、「ほぼ十分」が最多で43.2%（67件）、次いで、「やや不十分」が19.4%（30件）、「現状で十分」が15.5%（24件）となっています。



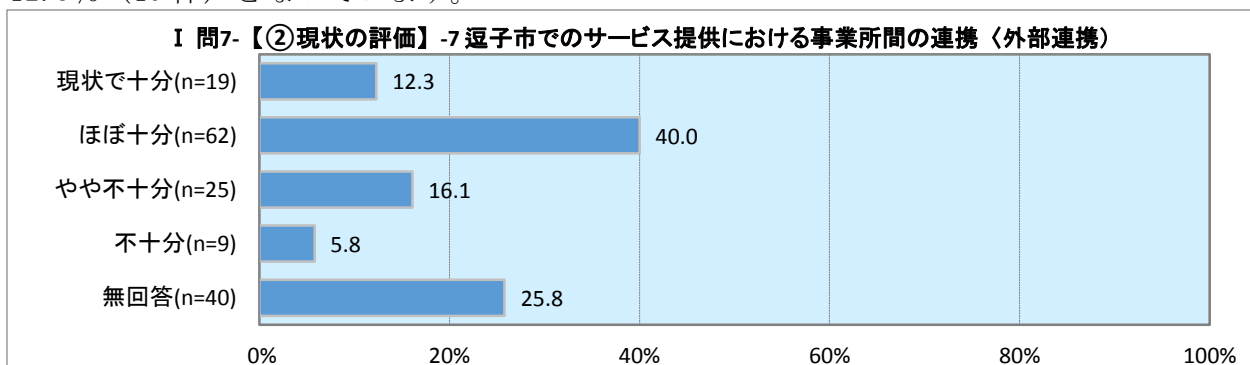
- 【5 他事業所のサービス従事者との連絡〈外部連携〉】では、「ほぼ十分」が最多で45.8%（71件）、次いで、「現状で十分」と「やや不十分」が18.7%（29件）となっています。



- 【6 利用者の主治医との連携〈外部連携〉】では、「ほぼ十分」が最多で43.2%（67件）、次いで、「現状で十分」と「やや不十分」が20.6%（32件）となっています。



- 【7 返子市でのサービス提供における事業所間の連携〈外部連携〉】では、「ほぼ十分」が最多で40.0%（62件）、次いで、「やや不十分」が16.1%（25件）、「現状で十分」が12.3%（19件）となっています。

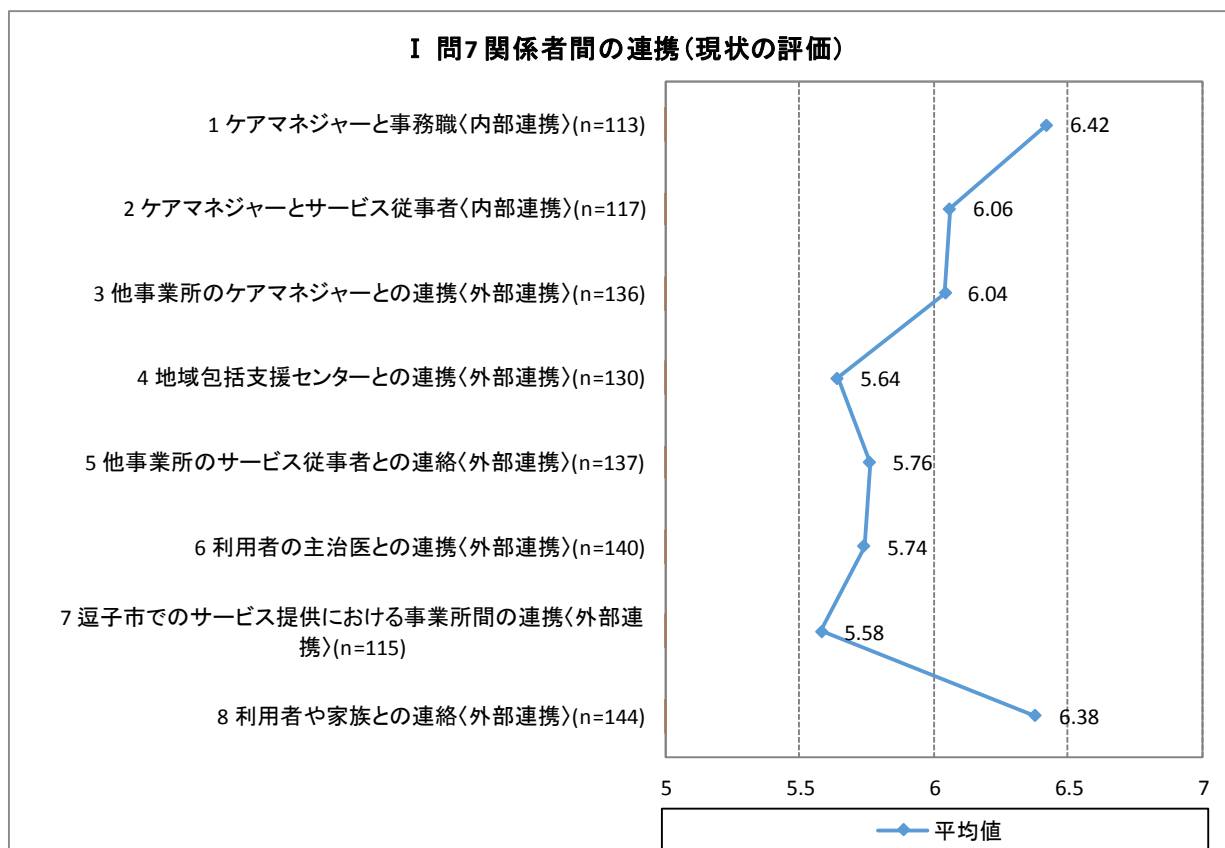


問7-② 関係者間の連携・連絡の現状の評価 ～加重平均値による分析～

- 「問7-② 関係者間の連携・連絡の現状の評価」の回答結果を、それぞれ選択肢に応じ点数化（「現状で十分」が+8、「ほぼ十分」が+6、「やや不十分」が+4、「不十分」が+2）し、それぞれの項目ごとのポイント（加重平均値）を算出しました。
- 8項目のうち、上位3件を挙げると、「1 ケアマネジャーと事務職〈内部連携〉（n=113）」が6.42ポイント、「8 利用者や家族との連絡〈外部連携〉（n=144）」が6.38ポイント、「2 ケアマネジャーとサービス従事者〈内部連携〉（n=117）」が6.06ポイントとなっています。
- 下位3件を挙げると、「7 逗子市でのサービス提供における事業所間の連携〈外部連携〉（n=115）」が5.58ポイント、「4 地域包括支援センターとの連携〈外部連携〉（n=130）」が5.64ポイント、「6 利用者の主治医との連携〈外部連携〉（n=140）」が5.74ポイントと低く、相対的に課題であると考えられます。

○ポイント（加重平均値）の算出について  
 ・回答結果を、それぞれ右のように選択肢に  
 加点（1～8点）し、それぞれの項目ごとの  
 ポイント（加重平均値）を算出しました。

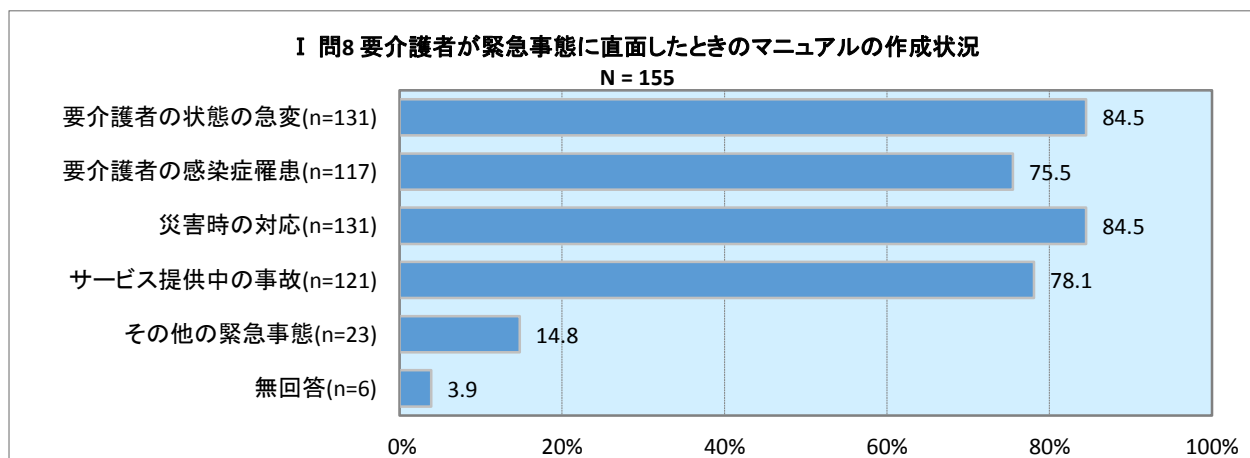
選択肢	加点
現状で十分	+ 8
ほぼ十分	+ 6
やや不十分	+ 4
不十分	+ 2
無回答	未集計





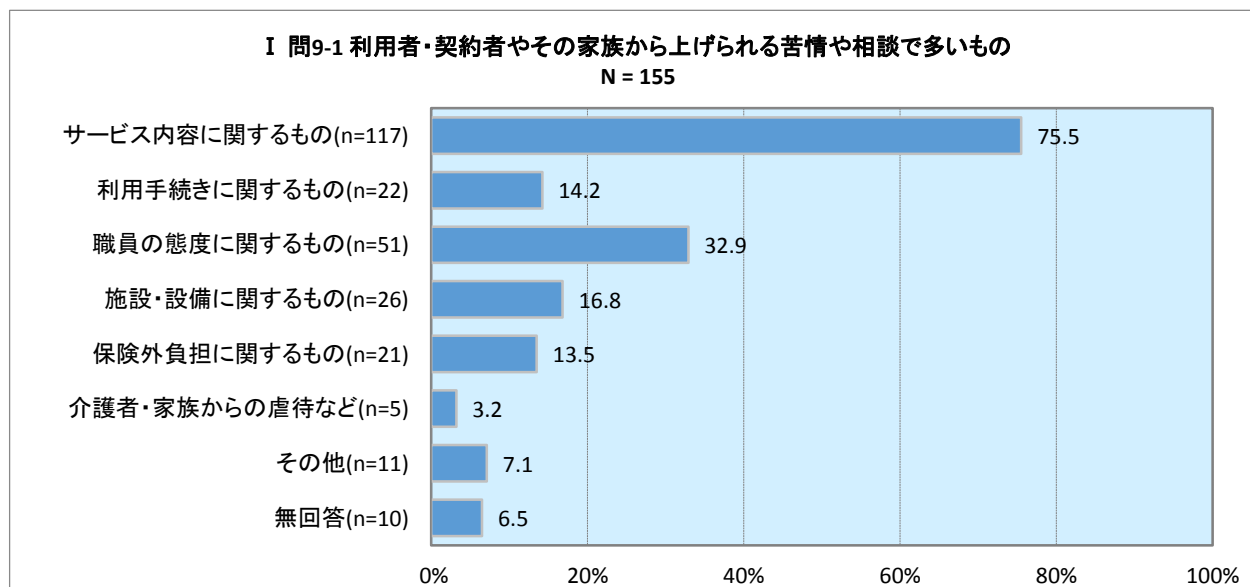
問8 要介護者が緊急事態に直面したときのマニュアルの作成状況（複数回答形式）

- 【要介護者が緊急事態に直面したときのマニュアルの作成状況】は、「要介護者の状態の急変」と「災害時の対応」が最多で84.5%（131件）、「サービス提供中の事故」が78.1%（121件）となっています。



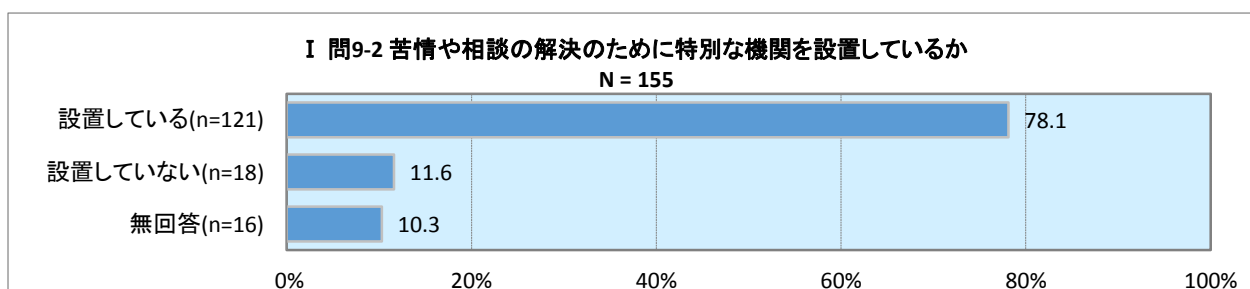
問9-1 利用者・契約者等の苦情や相談で多いもの（複数回答形式）

- 【利用者・契約者やその家族から上げられる苦情や相談で多いもの】は、「サービス内容に関するもの」が最多で75.5%（117件）、次いで、「職員の態度に関するもの」が32.9%（51件）、「施設・設備に関するもの」が16.8%（26件）となっています。



問9-2 苦情や相談の解決のために特別な機関を設置しているか（単一回答形式）

- 【苦情や相談の解決のために特別な機関を設置しているか】は、「設置している」が78.1%（121件）、「設置していない」が11.6%（18件）となっています。



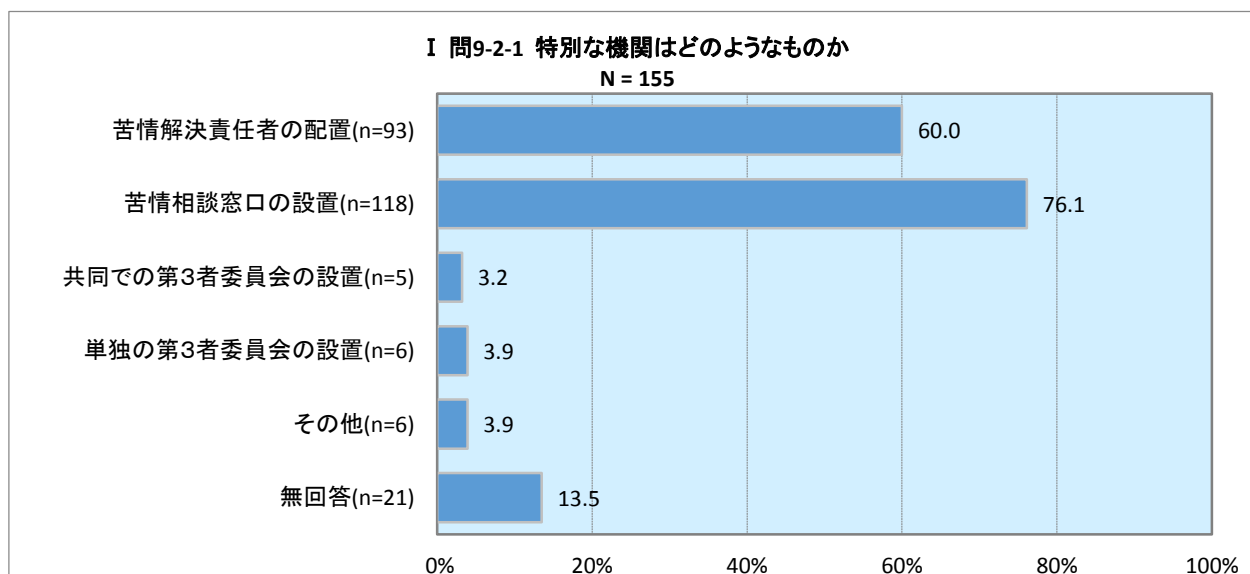
## 第5編 サービス提供事業所調査（I 事業所の概要、サービスの提供状況、運営状況）

### 「設置していない」の場合の対処方法

- ・毎週開催しているスタッフ会で対応・対処する。
- ・施設の受付で、ケアマネジャー・施設長が直接、話をきき、対応している。
- ・事業所長が担当している。
- ・部署内での対応検討、管理職に報告、相談してからの対応。
- ・管理者が窓口になり、対応している。
- ・ケアマネジャーと相談の上、管理者、サービス提供責任者が対応し、店舗内で対処困難な場合は本社に報告し、共に対応。
- ・苦情、相談については各事業所の管理者が窓口になっている。場合によっては施設長も対応している。
- ・相談員及びサービススタッフが直接対応している。
- ・随時対応。
- ・基本的にはサービスの管理者や事業所の所長が対応している。本社にも窓口をおいている。
- ・管理者が迅速に対応している。（3件）
- ・報告書と提出を求め、会議で共有している。
- ・市や町の介護保険課の相談窓口や国民健康保険団体連合会へ連絡してもらうようにしている。
- ・その他の病院苦情、相談と同様の対応している。
- ・相談室で内容を伺い、できる限り対応し、ケアマネジャーに連絡。場合によっては自宅に伺い、状況の把握と対応をする。

問9-2-1 特別な機関はどのようなものか（単一回答形式）

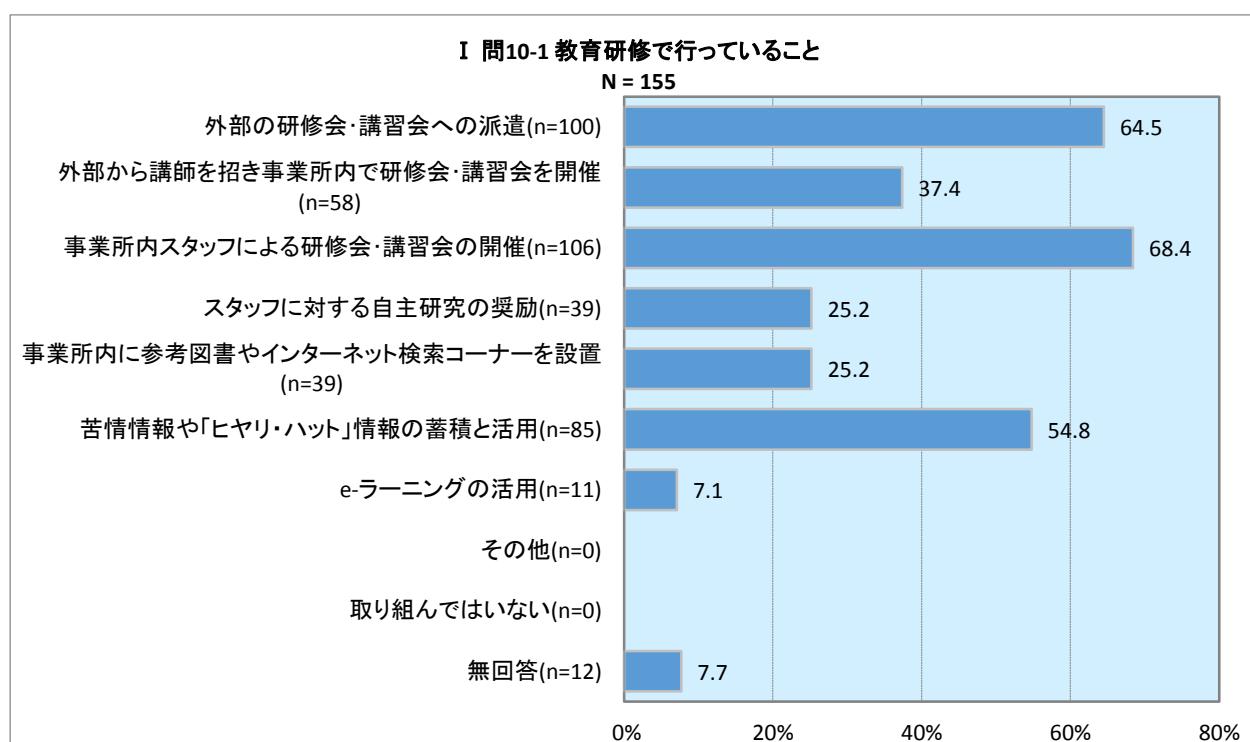
- 【特別な機関はどのようなものか】は、「苦情相談窓口の設置」が最多で76.1%（118件）、次いで、「苦情解決責任者の配置」が60.0%（93件）、「単独の第3者委員会の設置」と「その他」が3.9%（6件）となっています。



回答条件：【I 問9-2 苦情や相談の解決のために特別な機関を設置しているか】で、「設置している」の場合のみ回答

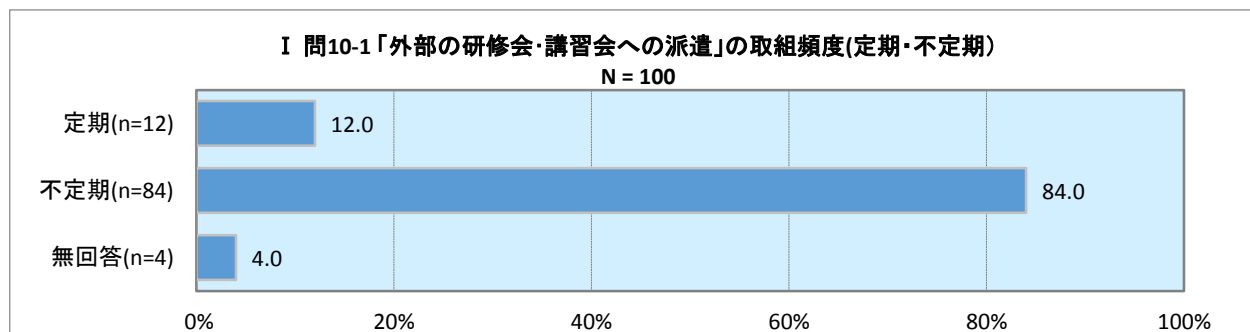
問10-1 教育研修で行っていること（複数回答形式）

- 【教育研修で行っていること】は、「事業所内スタッフによる研修会・講習会の開催」が最多で68.4%（106件）、次いで、「外部の研修会・講習会への派遣」が64.5%（100件）、「苦情情報や「ヒヤリ・ハット」情報の蓄積と活用」が54.8%（85件）となっています。



問10-1 「外部の研修会・講習会への派遣」の取組頻度（単一回答形式）

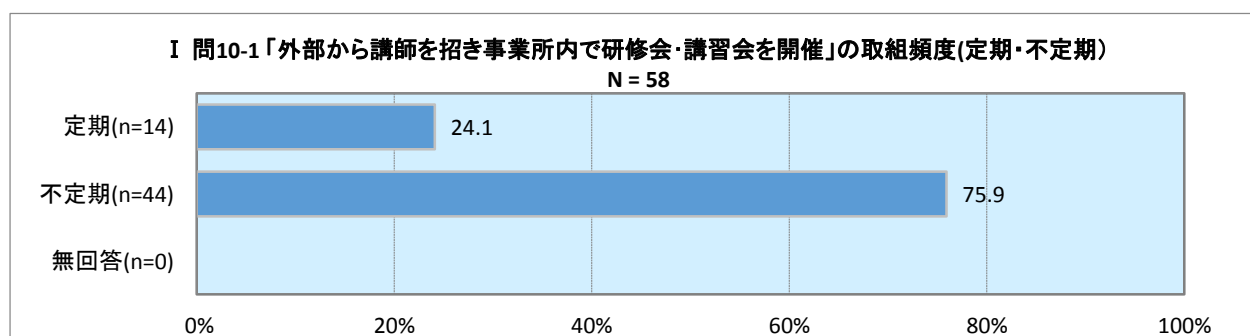
- 【「外部の研修会・講習会への派遣」の取組頻度】は、「定期」が12.0%（12件）、「不定期」が84.0%（84件）となっています。



回答条件：【I 問10-1 教育研修で行っていること】で、「外部の研修会・講習会への派遣」の場合のみ回答

問10-1 「外部から講師を招き事業所内で研修会・講習会を開催」の取組頻度（単一回答形式）

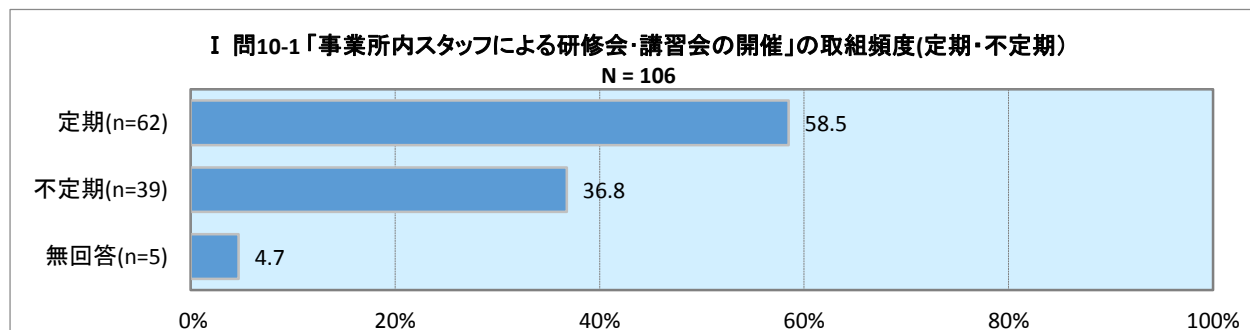
- 【「外部から講師を招き事業所内で研修会・講習会を開催」の取組頻度(定期・不定期)】は、「定期」が24.1%（14件）、「不定期」が75.9%（44件）となっています。



回答条件：【I 問10-1 教育研修で行っていること】で、「外部から講師を招き事業所内で研修会・講習会を開催」の場合のみ回答

問10-1 「事業所内スタッフによる研修会・講習会の開催」の取組頻度（単一回答形式）

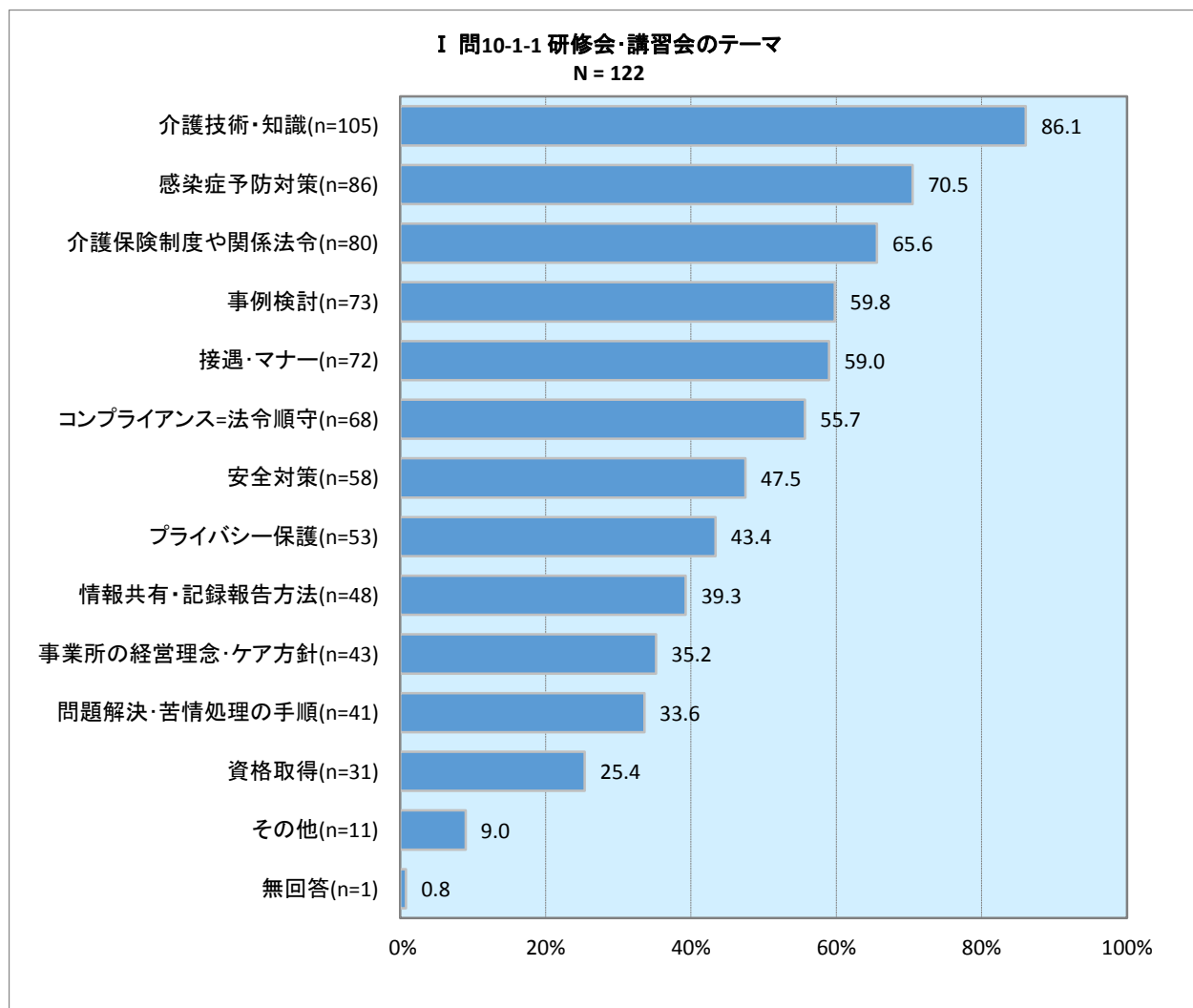
- 【「事業所内スタッフによる研修会・講習会の開催」の取組頻度(定期・不定期)】は、「定期」が58.5%（62件）、「不定期」が36.8%（39件）となっています。



回答条件：【I 問10-1 教育研修で行っていること】で、「事業所内スタッフによる研修会・講習会の開催」の場合のみ回答

問10-1-1 研修会・講習会のテーマ（複数回答形式）

- 【研修会・講習会のテーマ】は、「介護技術・知識」が最多で86.1%（105件）、次いで、「感染症予防対策」が70.5%（86件）、「介護保険制度や関係法令」が65.6%（80件）となっています。

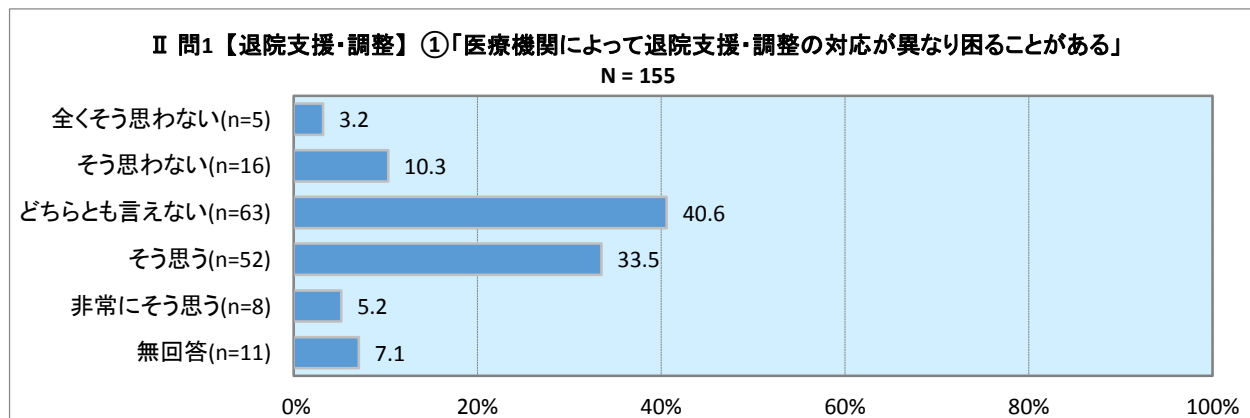


回答条件：【I 問10-1 教育研修で行っていること】で、「外部の研修会・講習会への派遣」「外部から講師を招き事業所内で研修会・講習会を開催」「事業所内スタッフによる研修会・講習会の開催」の場合のみ回答

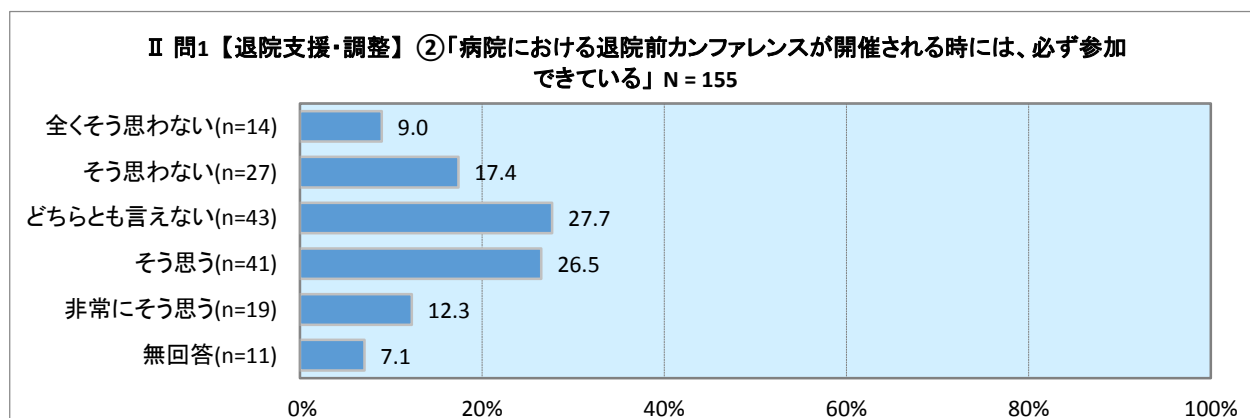
## Ⅱ 医療・介護連携

## 問1 退院支援・調整について感じていること（単一回答形式）

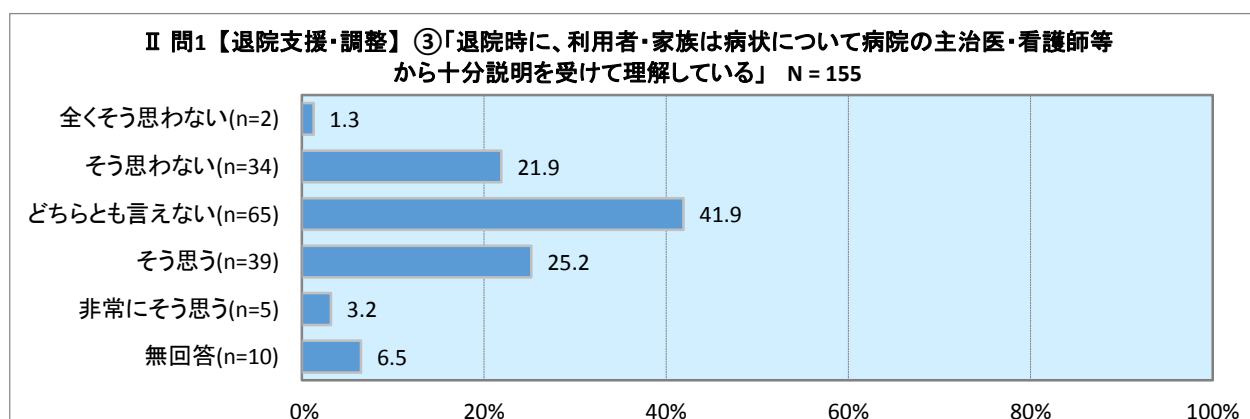
- 【① 医療機関によって退院支援・調整の対応が異なり困ることがある】では、「どちらとも言えない」が最多で40.6%（63件）、次いで、「そう思う」が33.5%（52件）、「そう思わない」が10.3%（16件）となっています。



- 【② 病院における退院前カンファレンスが開催される時には、必ず参加できている】では、「どちらとも言えない」が最多で27.7%（43件）、次いで、「そう思う」が26.5%（41件）、「そう思わない」が17.4%（27件）となっています。

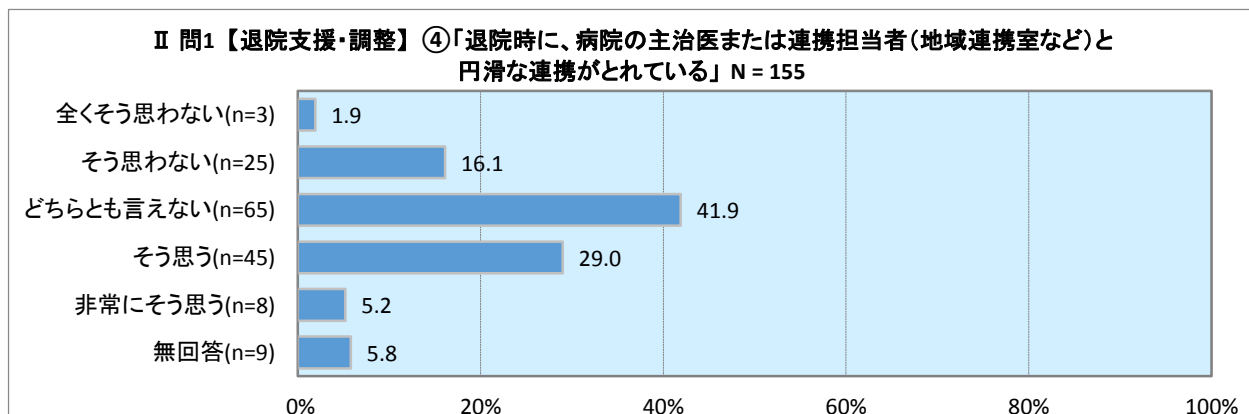


- 【③ 退院時に、利用者・家族は病状について病院の主治医・看護師等から十分説明を受けて理解している】では、「どちらとも言えない」が最多で41.9%（65件）、次いで、「そう思う」が25.2%（39件）、「そう思わない」が21.9%（34件）となっています。

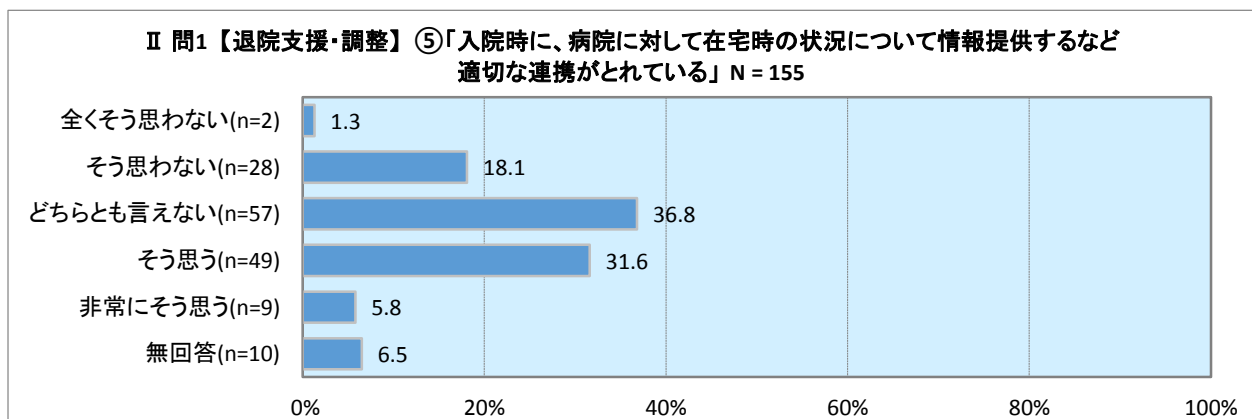


第5編 サービス提供事業所調査（Ⅱ 医療・介護連携）

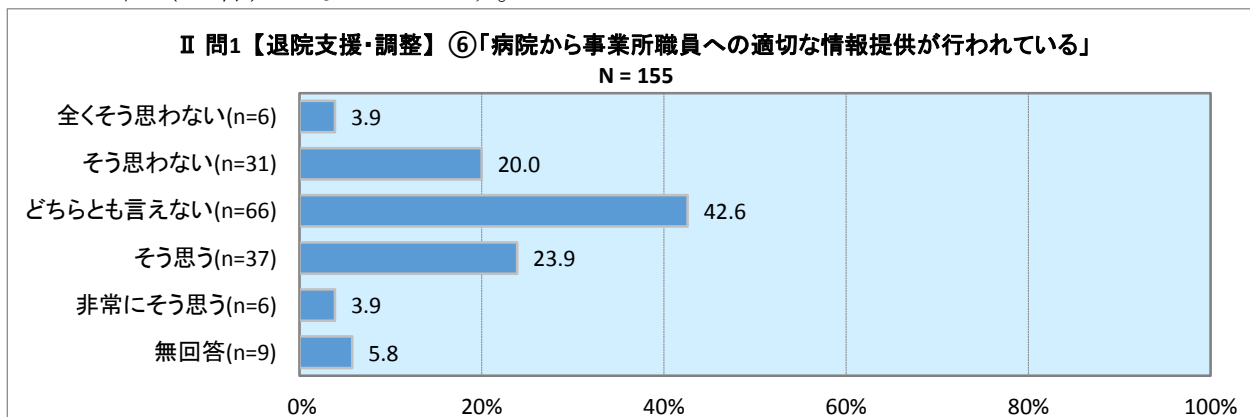
- 【④ 退院時に、病院の主治医または連携担当者（地域連携室など）と円滑な連携がとれている】では、「どちらとも言えない」が最多で41.9%（65件）、次いで、「そう思う」が29.0%（45件）、「そう思わない」が16.1%（25件）となっています。



- 【⑤ 入院時に、病院に対して在宅時の状況について情報提供するなど適切な連携がとれている】では、「どちらとも言えない」が最多で36.8%（57件）、次いで、「そう思う」が31.6%（49件）、「そう思わない」が18.1%（28件）となっています。



- 【⑥ 病院から事業所職員への適切な情報提供が行われている】では、「どちらとも言えない」が最多で42.6%（66件）、次いで、「そう思う」が23.9%（37件）、「そう思わない」が20.0%（31件）となっています。

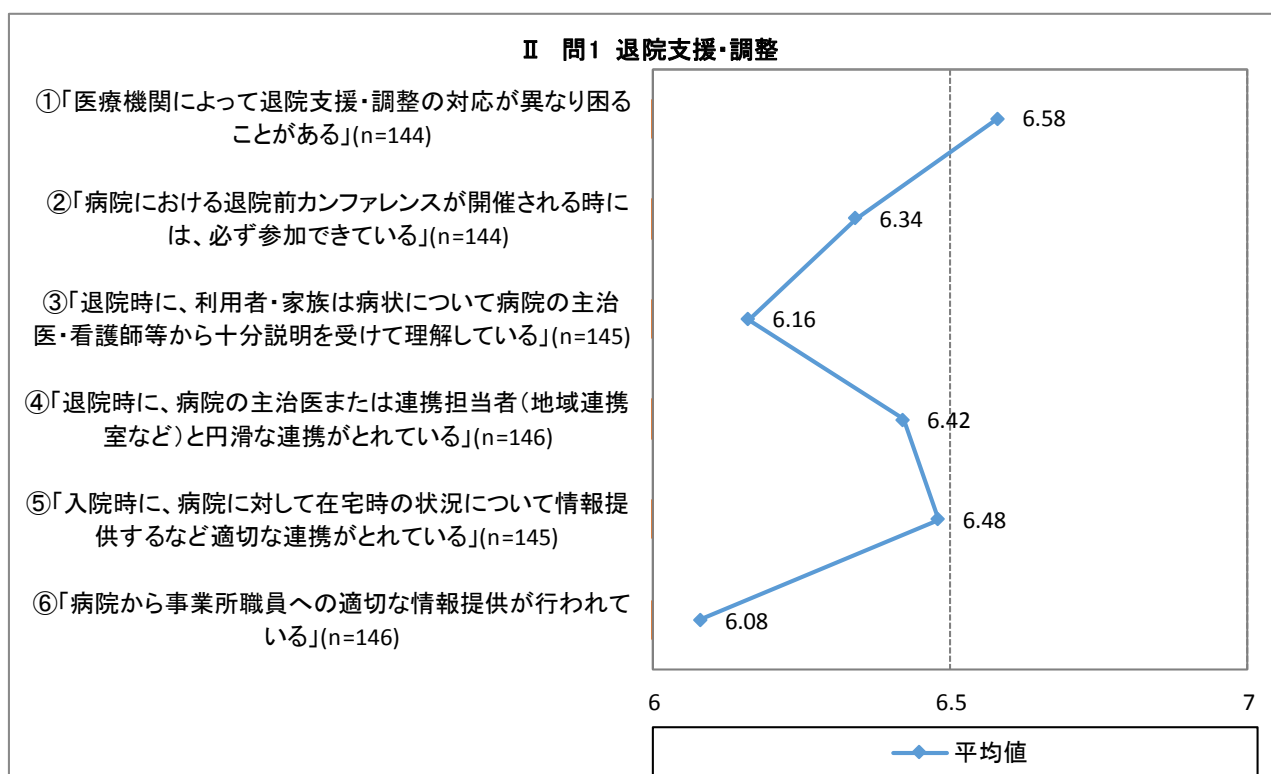


問1 退院支援・調整について感じていること ～加重平均値による分析～

- 「問1 退院支援・調整について感じていること」の回答結果を、それぞれ選択肢に応じ点数化（「全くそう思わない」が+2、「そう思わない」が+4、「どちらとも言えない」が+6、「そう思う」が+8、「非常にそう思う」が+10）し、それぞれの項目ごとのポイント（加重平均値）を算出しました。
- ①「医療機関によって退院支援・調整の対応が異なり困ることがある」(n=144)が6.58ポイントと高く、課題であると考えられます。
- 一方、①以外の項目のうち、下位3件を挙げると、⑥「病院から事業所職員への適切な情報提供が行われている」(n=146)が6.08ポイント、③「退院時に、利用者・家族は病状について病院の主治医・看護師等から十分説明を受けて理解している」(n=145)が6.16ポイント、②「病院における退院前カンファレンスが開催される時には、必ず参加できている」(n=144)が6.34ポイントとなっています。

○ポイント（加重平均値）の算出について  
 ・回答結果を、それぞれ右のように選択肢に加点（1～10点）し、それぞれの項目ごとのポイント（加重平均値）を算出しました。

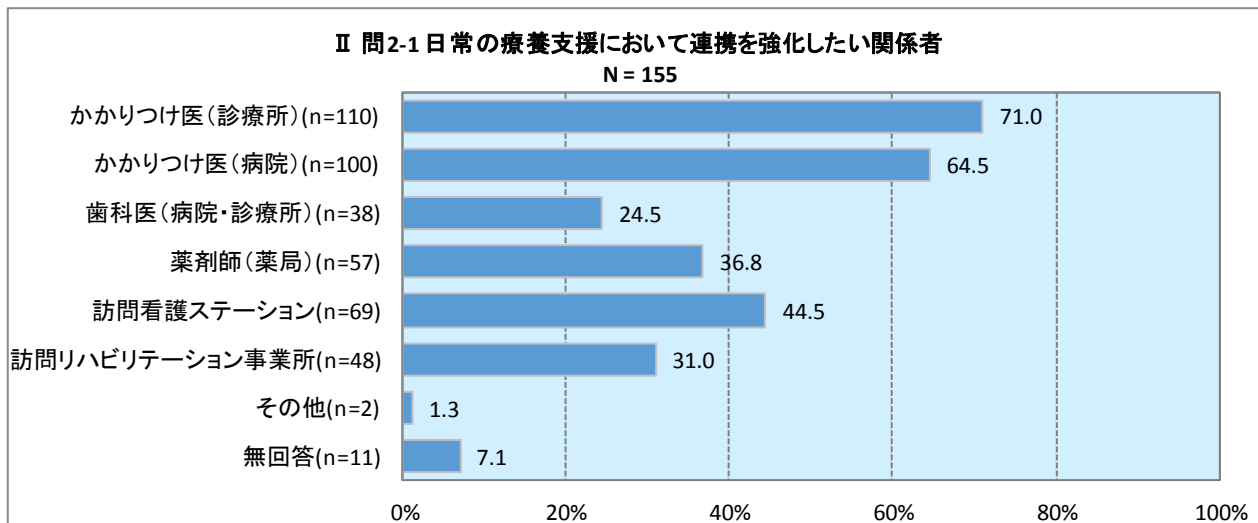
選択肢	加点
全くそう思わない	+2
そう思わない	+4
どちらとも言えない	+6
そう思う	+8
非常にそう思う	+10
無回答	未集計





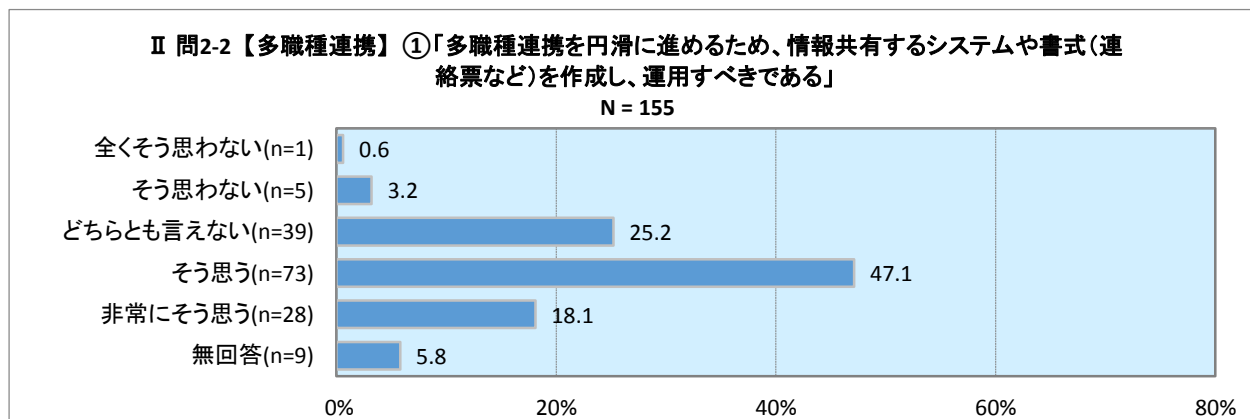
問2-1 日常の療養支援において連携を強化したい関係者（複数回答形式）

●【日常の療養支援において連携を強化したい関係者】は、「かかりつけ医（診療所）」が最多で71.0%（110件）、次いで、「かかりつけ医（病院）」が64.5%（100件）、「訪問看護ステーション」が44.5%（69件）となっています。

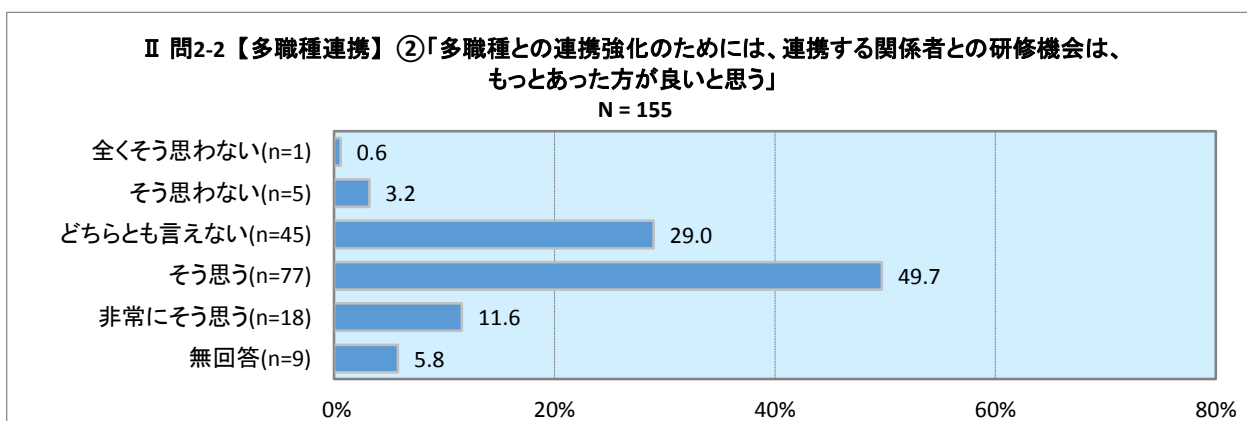


問2-2 多職種連携について感じていること（単一回答形式）

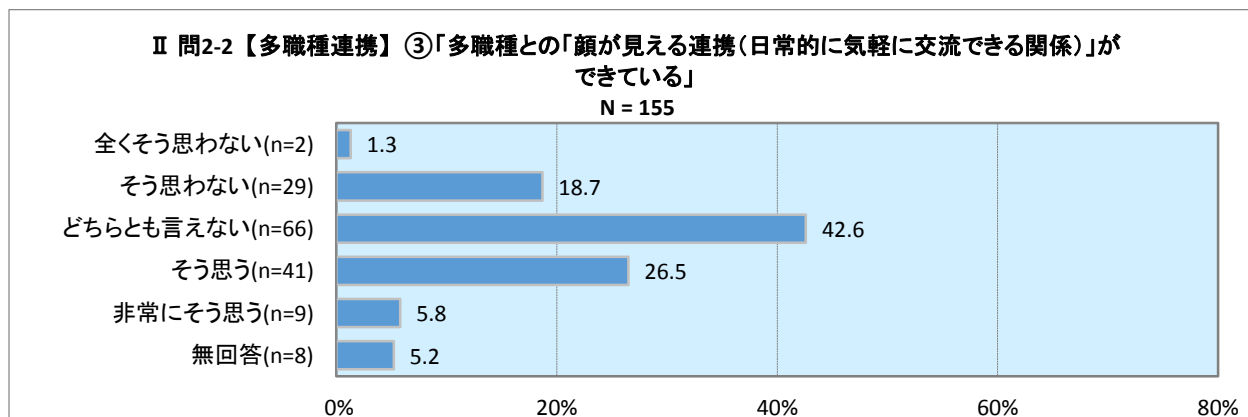
- 【① 多職種連携を円滑に進めるため、情報共有するシステムや書式（連絡票など）を作成し、運用すべきである】では、「そう思う」が最多で47.1%（73件）、次いで、「どちらとも言えない」が25.2%（39件）、「非常にそう思う」が18.1%（28件）となっています。



- 【② 多職種との連携強化のためには、連携する関係者との研修機会は、もっとあった方が良いと思う】では、「そう思う」が最多で49.7%（77件）、次いで、「どちらとも言えない」が29.0%（45件）、「非常にそう思う」が11.6%（18件）となっています。



- 【③ 多職種との「顔が見える連携（日常的に気軽に交流できる関係）」ができています】では、「どちらとも言えない」が最多で42.6%（66件）、次いで、「そう思う」が26.5%（41件）、「そう思わない」が18.7%（29件）となっています。

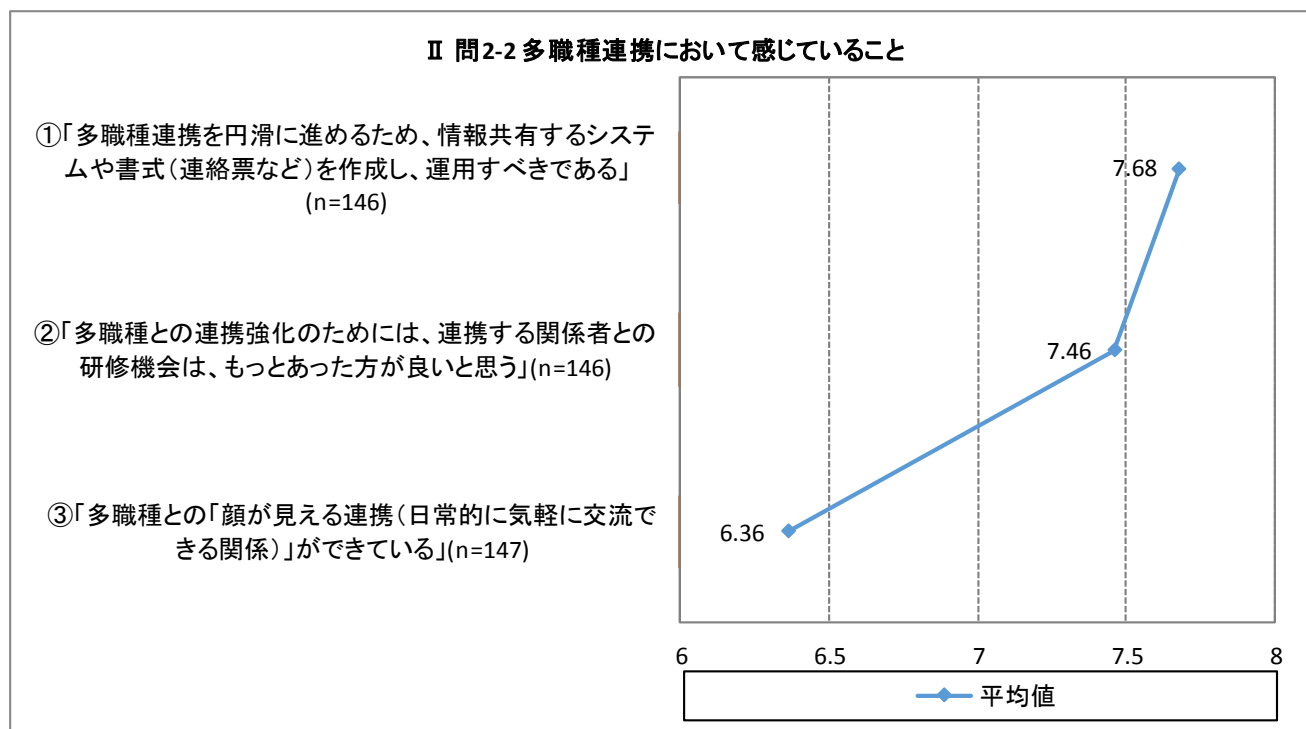


問2-2 多職種連携について感じていること ～加重平均値による分析～

- 「多職種連携について感じていること」の回答結果を、それぞれ選択肢に応じ点数化（「全くそう思わない」が+2、「そう思わない」が+4、「どちらとも言えない」が+6、「そう思う」が+8、「非常にそう思う」が+10）し、それぞれの項目ごとのポイント（加重平均値）を算出しました。
- ①「多職種連携を円滑に進めるため、情報共有するシステムや書式（連絡票など）を作成し、運用すべきである」（n=146）が7.68ポイント、②「多職種との連携強化のためには、連携する関係者との研修機会は、もっとあった方が良いと思う」（n=146）が7.46ポイントとなり、相対的に重要であることが見られます。

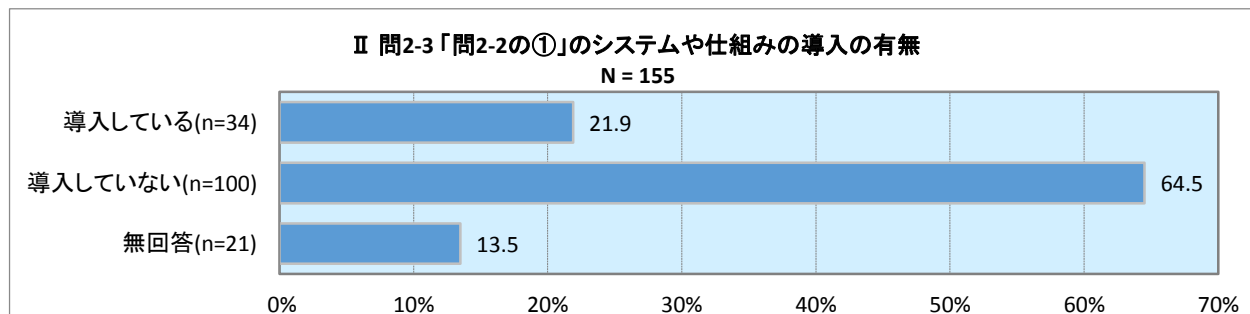
○ポイント（加重平均値）の算出について  
 ・回答結果を、それぞれ右のように選択肢に  
 加点（1～10点）し、それぞれの項目ごとの  
 ポイント（加重平均値）を算出しました。

選択肢	加点
全くそう思わない	+2
そう思わない	+4
どちらとも言えない	+6
そう思う	+8
非常にそう思う	+10
無回答	未集計



## 問2-3 「問2-2の①」のシステムや仕組みの導入の有無（単一回答形式）

●【問2-2の「①多職種連携を円滑に進めるため、情報共有するシステムや書式（連絡票など）を作成し、運用すべきである」のシステムや仕組みの導入の有無】は、「導入している」が21.9%（34件）、「導入していない」が64.5%（100件）となっています。



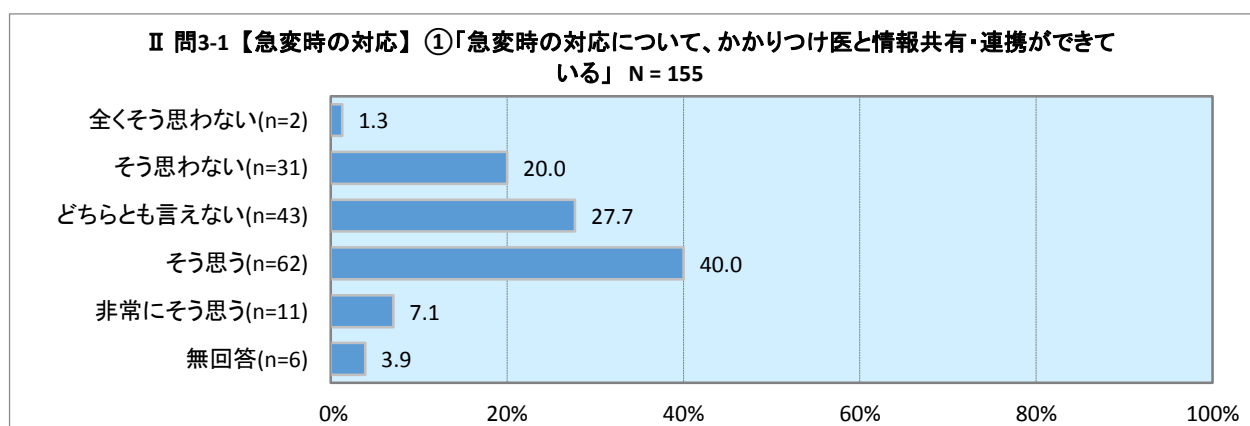
## 「導入している」の場合の仕組み

- ・共有できるデータベースとアプリケーションで使用している。
- ・介護ソフト
- ・ケアマネとの連携が主のため。
- ・システムはないが、施設内事業所と、必要時連絡、相談行っている。
- ・診療所からのお誘いで参加している。
- ・主に連絡ノートの共有
- ・記録システム、申し送り
- ・施設のため、計画書・評価表を使用。プラス顔を毎日合わせているため交流はできているが、外部との交流ができていない。
- ・ケースによって事情は違う。特に在宅療養に対する医師の取組み方により違ってくる。
- ・入院時に在宅の状況をお知らせする書式を作っているが求められた時のみになっている。
- ・連絡ノートの活用
- ・インターネットにおける情報共有ツール
- ・介護ソフト「一部事業所と共有」
- ・タブレットでの記録システム
- ・情報通信技術活用
- ・往診時連絡帳など
- ・共有な書式をつくっても充分活用されない（周知不足）など問題がある。
- ・導入ソフトによる医師、ケアマネとの連携
- ・医療側から情報共有ツールによるインターネット上での共有システムを提供されている。
- ・入退院時情報提供書の活用に努めている。
- ・連絡票を作成し、活用している。
- ・連絡ノート等を活用
- ・同一法人の訪問看護事業所とは毎月研修を行っている。
- ・記録用ソフトを導入している。
- ・連絡票を導入している。
- ・パソコンに共有フォルダを作り、各部署が見られるようにしている。

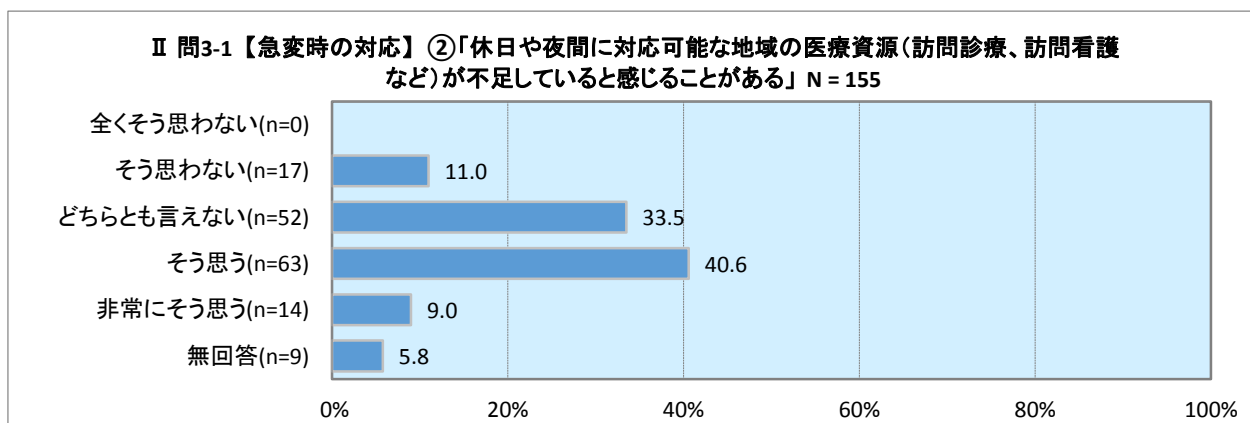
- ・連絡票を主に重視している。
- ・照会票など
- ・アセスメントシート
- ・連絡票
- ・研修を行っている(社内)。

問3-1 急変時の対応で感じていること（単一回答形式）

- 【①「急変時の対応について、かかりつけ医と情報共有・連携ができていいる」と思うか】は、「そう思う」が最多で 40.0%（62 件）、次いで、「どちらとも言えない」が 27.7%（43 件）、「そう思わない」が 20.0%（31 件）となっています。



- 【②「休日や夜間に対応可能な地域の医療資源（訪問診療、訪問看護など）が不足していると感じることがある」と思うか】は、「そう思う」が最多で 40.6%（63 件）、次いで、「どちらとも言えない」が 33.5%（52 件）、「そう思わない」が 11.0%（17 件）となっています。

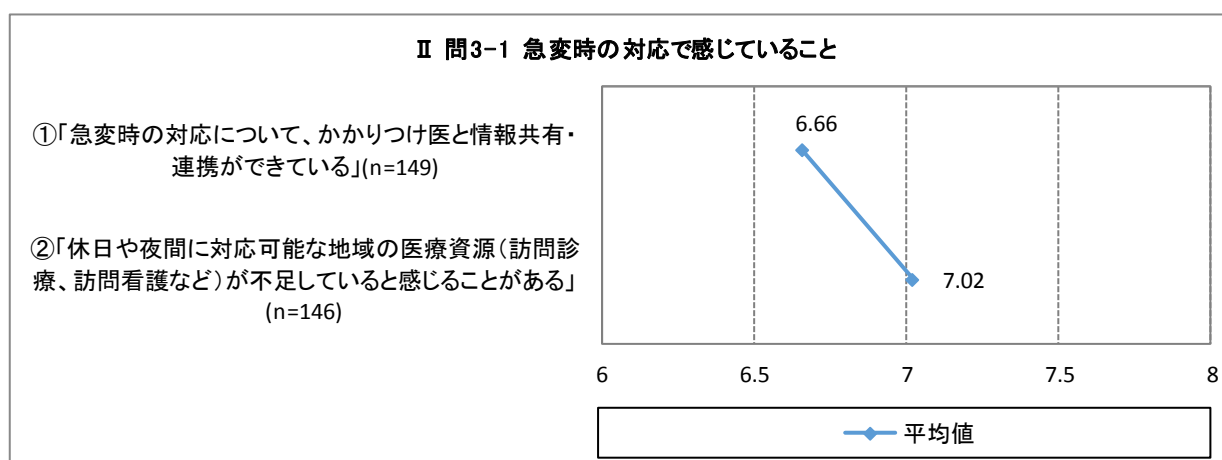


問3-1 急変時の対応で感じていること ～加重平均値による分析～

- 「急変時の対応で感じていること」の回答結果を、それぞれ選択肢に応じ点数化（「全くそう思わない」が+2、「そう思わない」が+4、「どちらとも言えない」が+6、「そう思う」が+8、「非常にそう思う」が+10）し、それぞれの項目ごとのポイント（加重平均値）を算出しました。
- ①「急変時の対応について、かかりつけ医と情報共有・連携ができている」（n=149）が6.66ポイント、②「休日や夜間に対応可能な地域の医療資源（訪問診療、訪問看護など）が不足していると感じることがある」（n=146）が7.02ポイントとなっています。

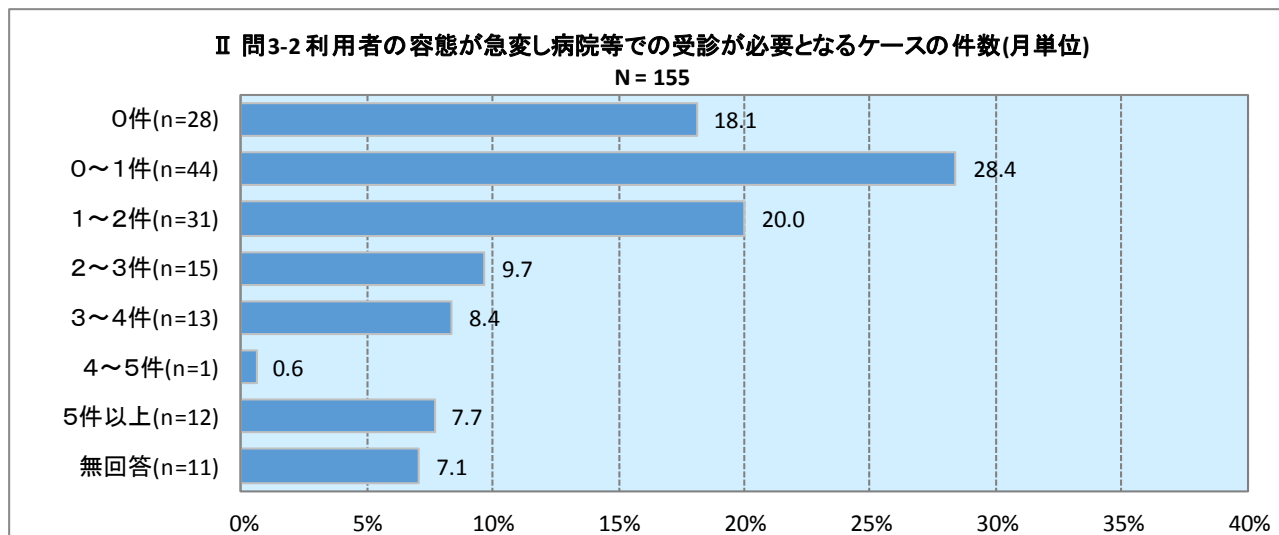
○ポイント（加重平均値）の算出について  
 ・回答結果を、それぞれ右のように選択肢に  
 加点（1～10点）し、それぞれの項目ごとの  
 ポイント（加重平均値）を算出しました。

選択肢	加点
全くそう思わない	+2
そう思わない	+4
どちらとも言えない	+6
そう思う	+8
非常にそう思う	+10
無回答	未集計



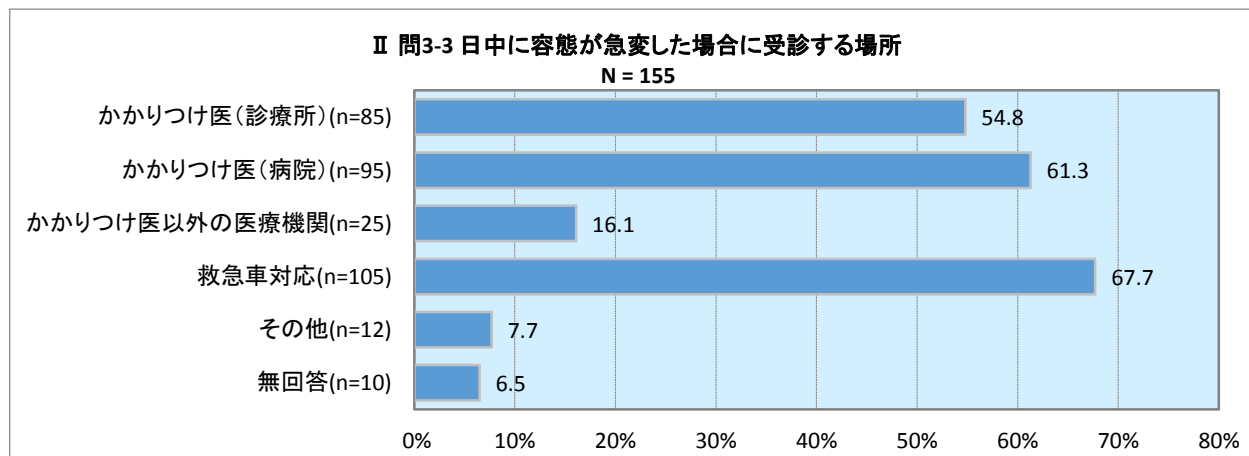
問3-2 利用者の容態が急変し病院等での受診が必要となるケースの件数（単一回答形式）

- 【利用者の容態が急変し病院等での受診が必要となるケースの件数(月単位)】は、「0～1件」が最多で28.4%（44件）、次いで、「1～2件」が20.0%（31件）、「0件」が18.1%（28件）となっています。



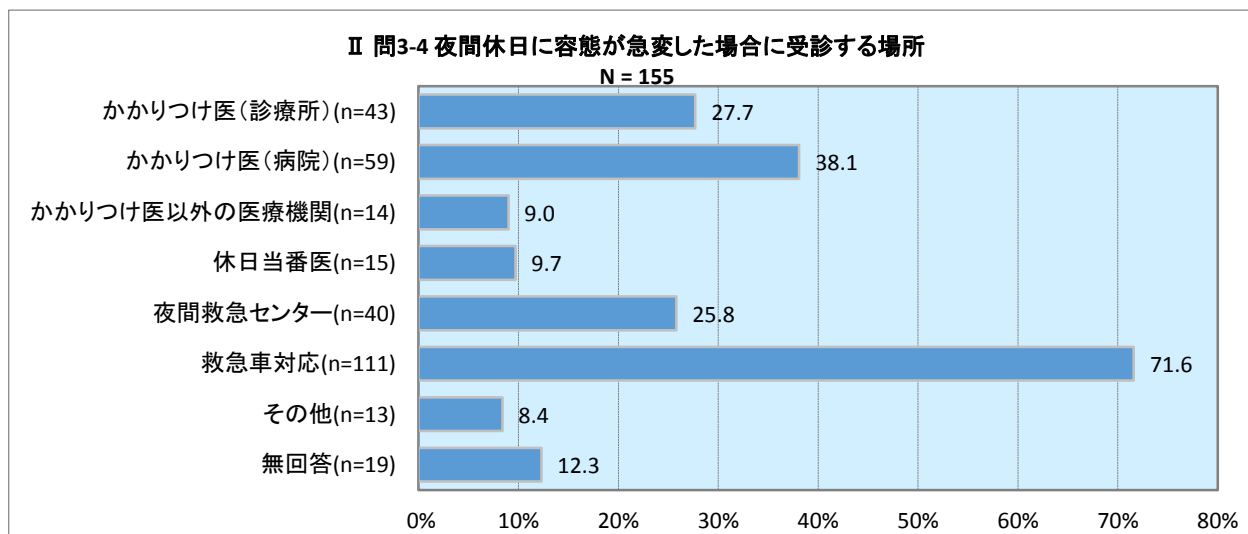
問3-3 日中に容態が急変した場合に受診する場所（複数回答形式）

- 【日中に容態が急変した場合に受診する場所】は、「救急車対応」が最多で67.7%（105件）、次いで、「かかりつけ医（病院）」が61.3%（95件）、「かかりつけ医（診療所）」が54.8%（85件）となっています。



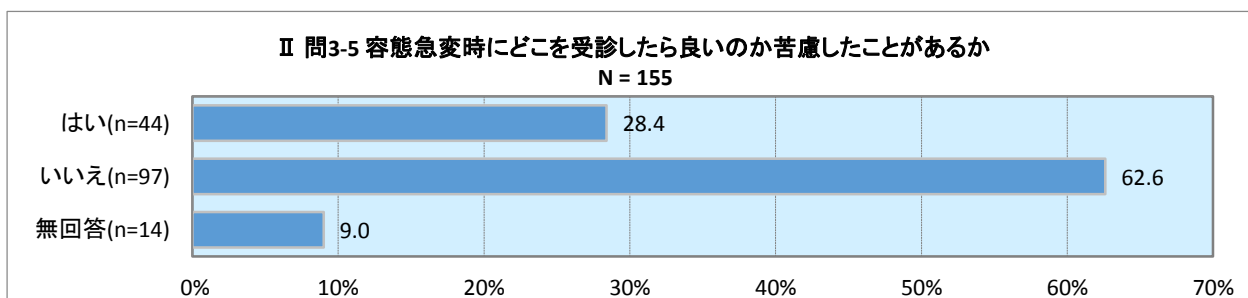
問3-4 夜間休日に容態が急変した場合に受診する場所（複数回答形式）

●【夜間休日に容態が急変した場合に受診する場所】は、「救急車対応」が最多で71.6%（111件）、次いで、「かかりつけ医（病院）」が38.1%（59件）、「かかりつけ医（診療所）」が27.7%（43件）となっています。



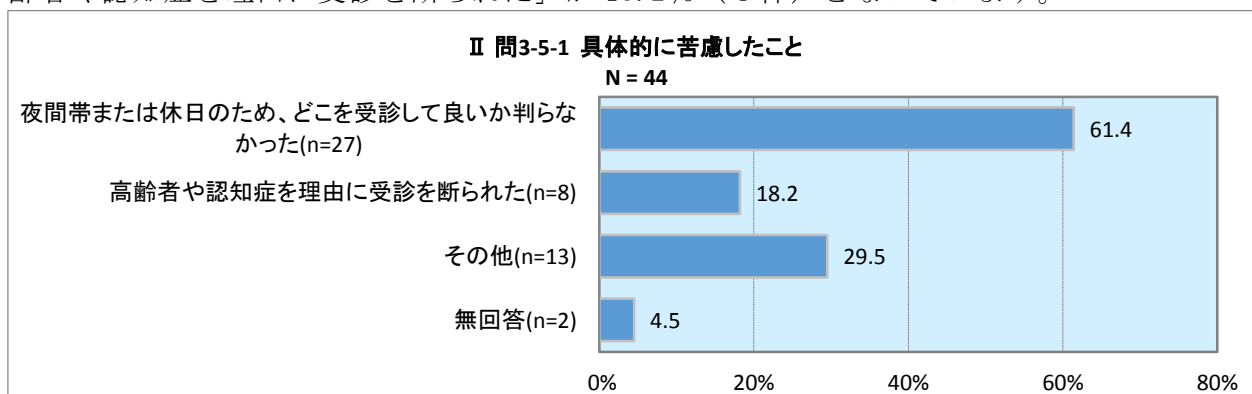
問3-5 容態急変時に受診先で苦慮したことがあるか（単一回答形式）

●【容態急変時にどこを受診したら良いのか苦慮したことがあるか】は、「はい」が28.4%（44件）、「いいえ」が62.6%（97件）となっています。



問3-5-1 容態急変時に具体的に苦慮したこと（複数回答形式）

●【容態急変時に具体的に苦慮したこと】は、「夜間帯または休日のため、どこを受診して良いか判らなかった」が最多で61.4%（27件）、次いで、「その他」が29.5%（13件）、「高齢者や認知症を理由に受診を断られた」が18.2%（8件）となっています。

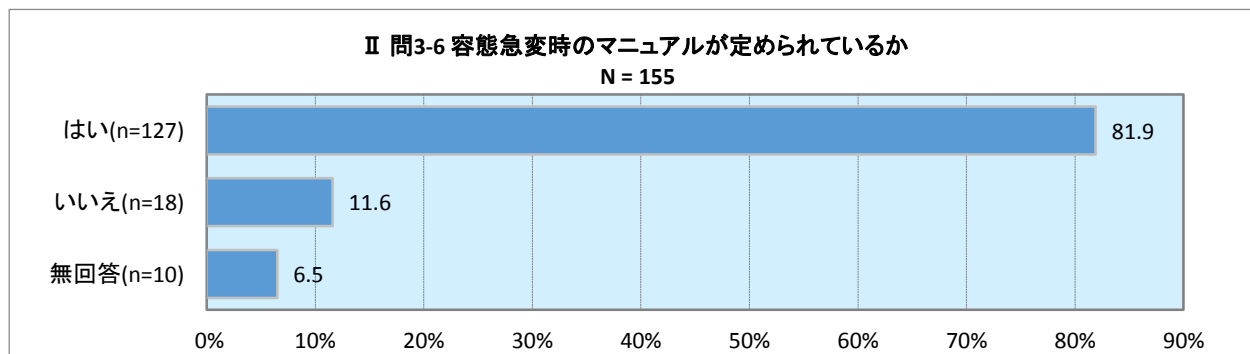


回答条件：【問3-5 容態急変時に受診先で苦慮したことがあるか】で、「はい」の場合のみ回答



## 問3-6 容態急変時のマニュアルが定められているか（単一回答形式）

- 【容態急変時のマニュアルが定められているか】は、「はい」が81.9%（127件）、「いいえ」が11.6%（18件）となっています。



## 問3-7 利用者の容態急変時における課題や要望（自由回答形式）

## 医療との連携（9件）

- ・病状の理解を、日頃より行ない、医療的対応が必要な時はすみやかに施設看護師に連絡相談し、指示をあおいでいる。
- ・近くに救急の病院がないため、せめて逗子に病院があればと思う。
- ・かかりつけ医も診療時間外で、救急搬送になった時に、入院させてもらえず、独居の場合などは、1人ですぐすことも困難な時に受け入れてくれる病院がないこと。
- ・搬送された病院に家族が来るまで同行していますが、3時間～4時間程かかる時があった。事業所に戻るための交通経費が事業所持ちになるが病院での待ち時間はボランティアとなる。
- ・受け入れ病院がなかなか決まらない事があるので、速やかに受け入れてもらいたい。
- ・逗子市、葉山町に急変に対応出来る医療機関が欲しい。
- ・医療機関と施設間の対応の温度差。各事業所が他事業所のことをもっと知るべきだと思う。
- ・急変時の対応マニュアル・連絡先・病院・主治医・服薬・留意点等を業界内で統一した書式とし、保管場所も統一（逗子市では冷蔵庫内に置いている方もいるが）したら良いと思う。
- ・逗子市の診療所が在宅医療に積極的にとりくんでほしい。

## 救急対応（4件）

- ・救急隊員（消防）との連携強化、搬送先の情報共有方法
- ・救急車対応の際の同乗者
- ・救急車を呼んでもヘルパーが同乗できないため、ご家族、ケアマネに連絡するが、ご家族が居ない、ケアマネに連絡が行かない場合の対応方法に苦慮する。最近では天涯孤独の利用者がおり、急変時どうすればわからないケースがあるが、市や包括がどこまで関わってくれるのか知りたい。
- ・特養施設で夜間帯に急変した場合、ワーカーが担当看護師に状況説明し、救急搬送するか、薬を飲ませ朝まで様子をみるか判断する。在宅では本人や家族が救急車を呼んでいる。

## ひとり暮らしの方への対応（4件）

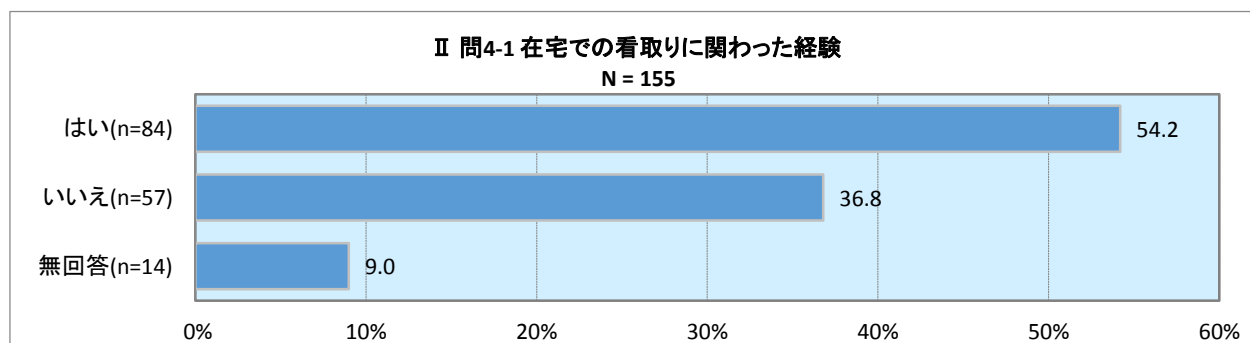
- ・家族と連絡がとれない事が多い。
- ・ひとり暮らし、または遠方の場合で、受診した場合、どこまで対応すべきなのか。病院からは、付きそいをするよう依頼される事が多い。
- ・家族が対応できない場合や、一人暮らしの夜間の対応等が課題となる。
- ・ひとり人暮らしの救急車対応(同乗等)や、夜間に処置が終り、帰宅をする様、病院から指示。対応調整ができない。

## その他（4件）

- ・休み、時間外により、連絡が全く取れないと現場のヘルパーが判断できないこともあるので緊急、転送電話等で対応してほしい。
- ・各々のご利用者について、起こりうる可能性のあるリスクについて関係するスタッフ間で予測、共有している。
- ・連れていく手段がないので救急車に頼らざるを得ない。また、付き添いがいないため、同行することになる。さらに、長く待つことになる。しかしながら、無報酬である。
- ・急変時対応がわからないことが多い。

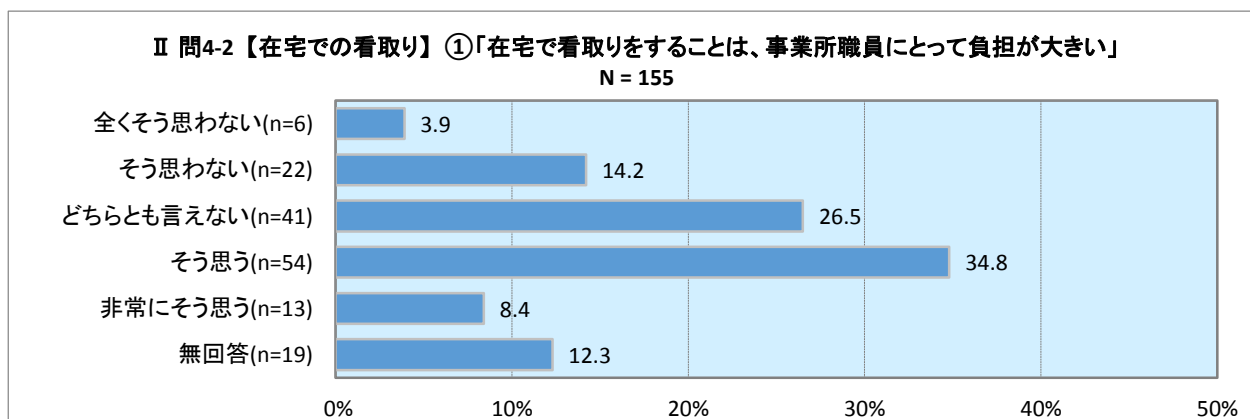
## 問4-1 在宅での看取りに関わった経験（単一回答形式）

- 【在宅での看取りに関わった経験】は、「はい」が54.2%（84件）、「いいえ」が36.8%（57件）となっています。

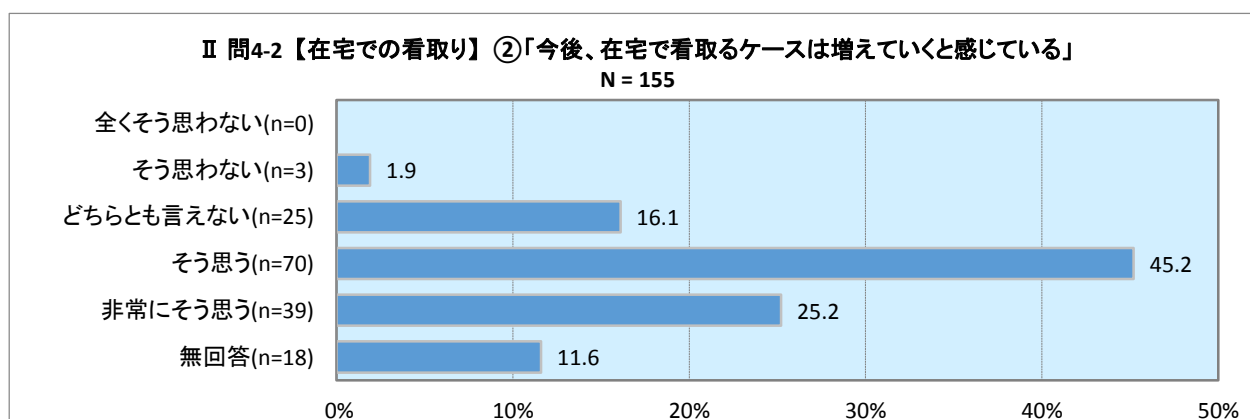


問4-2 在宅での看取りについて感じていること（単一回答形式）

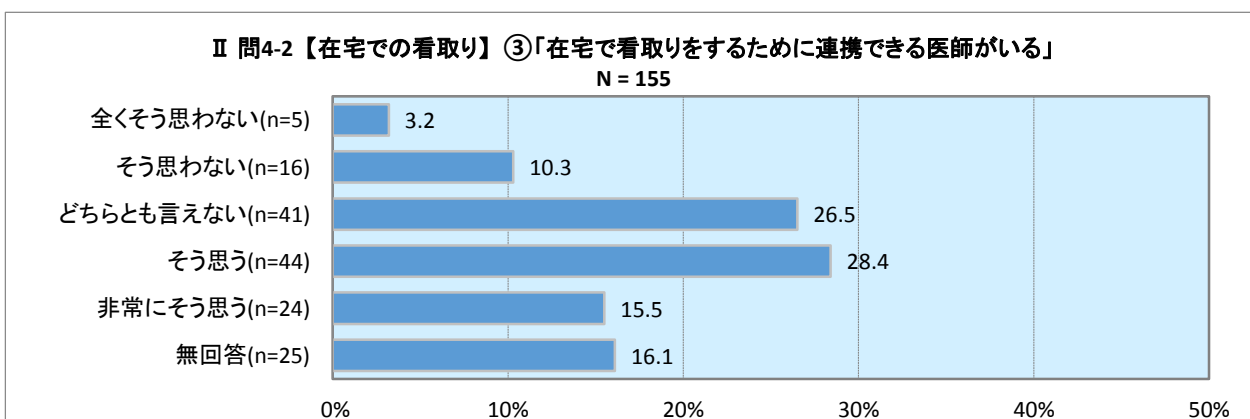
- 【① 在宅で看取りをすることは、事業所職員にとって負担が大きい】では、「そう思う」が最多で34.8%（54件）、次いで、「どちらとも言えない」が26.5%（41件）、「そう思わない」が14.2%（22件）となっています。



- 【② 今後、在宅で看取るケースは増えていくと感じている】は、「そう思う」が最多で45.2%（70件）、次いで、「非常にそう思う」が25.2%（39件）、「どちらとも言えない」が16.1%（25件）となっています。



- 【③ 在宅で看取りをするために連携できる医師がいる】は、「そう思う」が最多で28.4%（44件）、次いで、「どちらとも言えない」が26.5%（41件）、「非常にそう思う」が15.5%（24件）となっています。

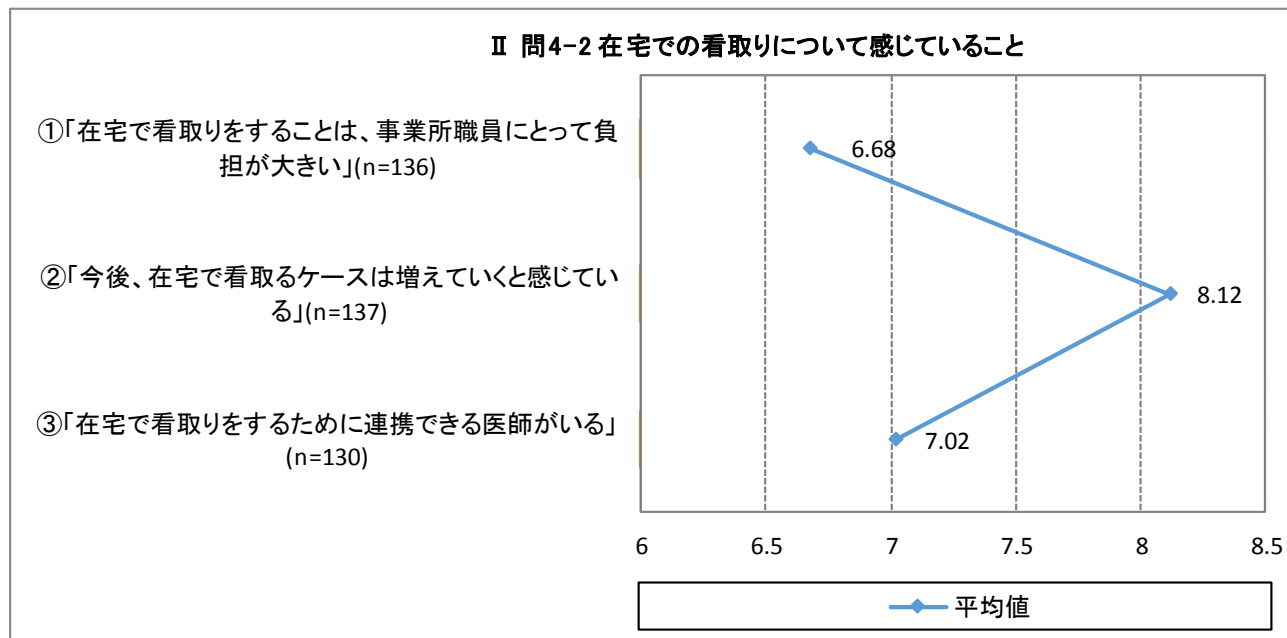


問4-2 在宅での看取りについて感じていること ～加重平均値による分析～

- 「在宅での看取りについて感じていること」の回答結果を、それぞれ選択肢に応じ点数化（「全くそう思わない」が+2、「そう思わない」が+4、「どちらとも言えない」が+6、「そう思う」が+8、「非常にそう思う」が+10）し、それぞれの項目ごとのポイント（加重平均値）を算出しました。
- ②「今後、在宅で看取るケースは増えていくと感じている」（n=137）が最多で8.12ポイント、次いで、③「在宅で看取りをするために連携できる医師がいる」（n=130）が7.02ポイント、①「在宅で看取りをすることは、事業所職員にとって負担が大きい」（n=136）が6.68ポイントとなっています。

○ポイント（加重平均値）の算出について  
 ・回答結果を、それぞれ右のように選択肢に  
 加点（1～10点）し、それぞれの項目ご  
 のポイント（加重平均値）を算出しました。

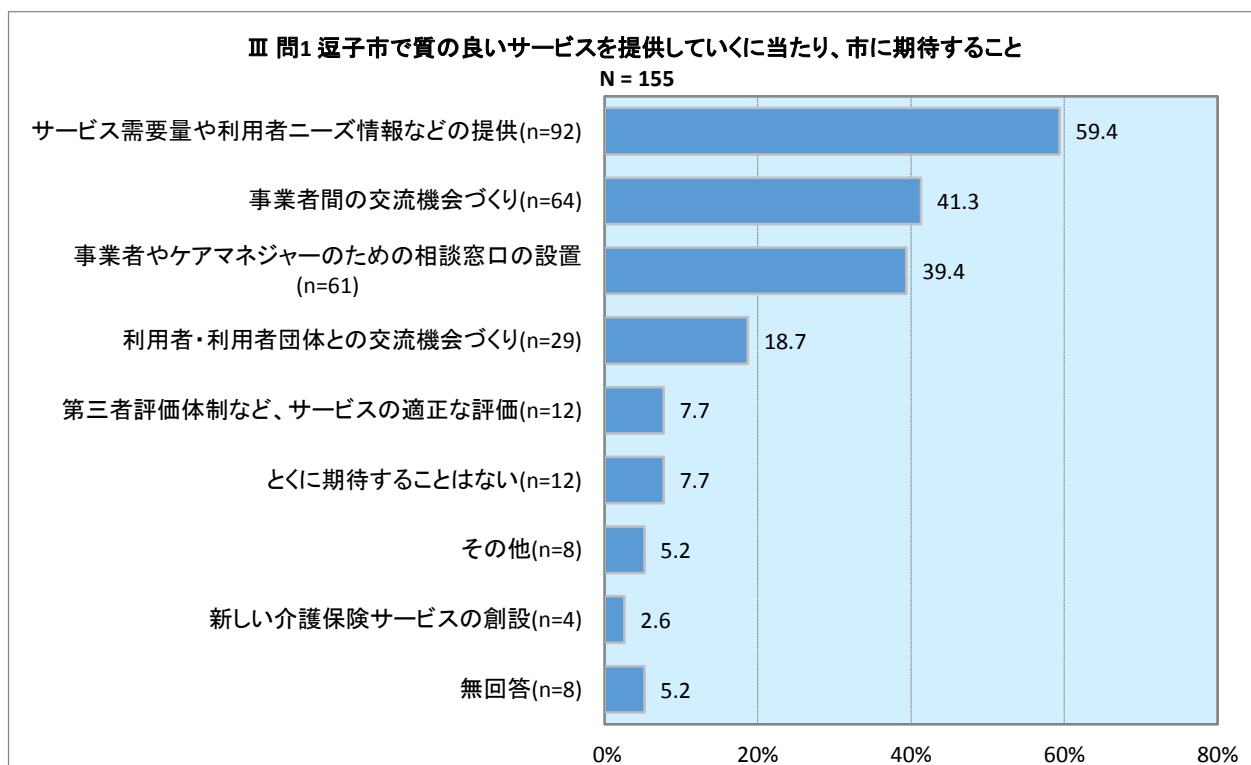
選択肢	加点
全くそう思わない	+ 2
そう思わない	+ 4
どちらとも言えない	+ 6
そう思う	+ 8
非常にそう思う	+10
無回答	未集計



Ⅲ 市の介護保険事業との連携

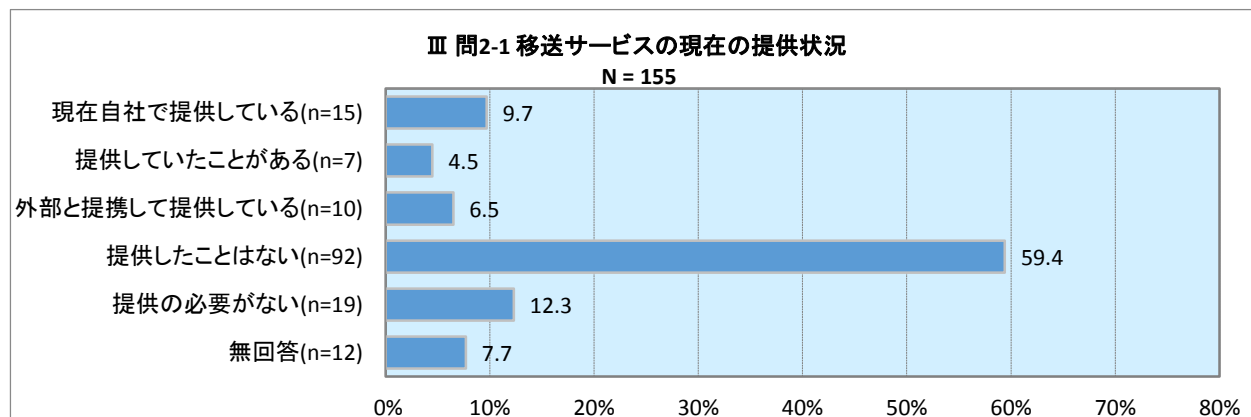
問1 逗子市で質の良いサービスを提供するため、市に期待すること（複数回答形式）

●【逗子市で質の良いサービスを提供していくに当たり、市に期待すること】は、「サービス需要量や利用者ニーズ情報などの提供」が最多で 59.4%（92 件）、次いで、「事業者間の交流機会づくり」が 41.3%（64 件）、「事業者やケアマネジャーのための相談窓口の設置」が 39.4%（61 件）となっています。



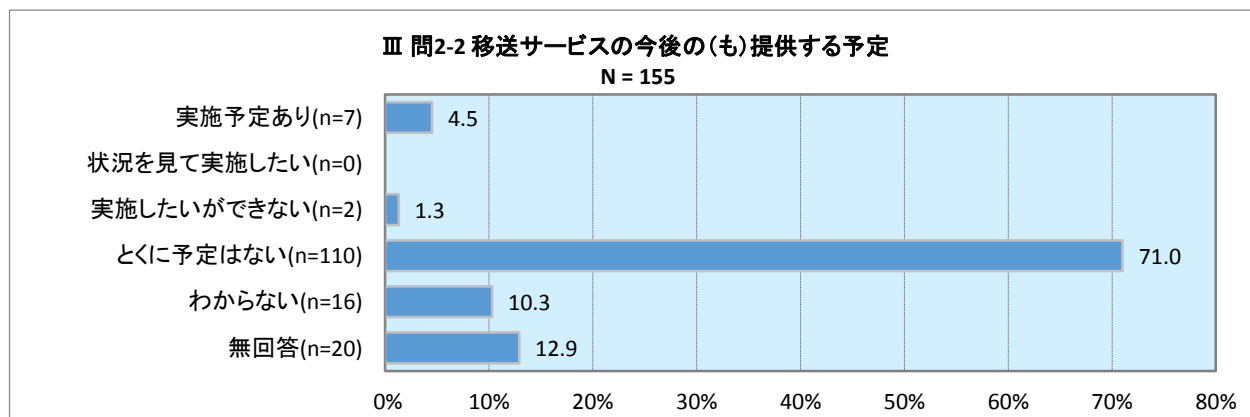
問2-1 移送サービスの現在の提供状況（単一回答形式）

●【移送サービスの現在の提供状況】は、「提供したことはない」が最多で 59.4%（92 件）、次いで、「提供の必要がない」が 12.3%（19 件）、「現在自社で提供している」が 9.7%（15 件）となっています。



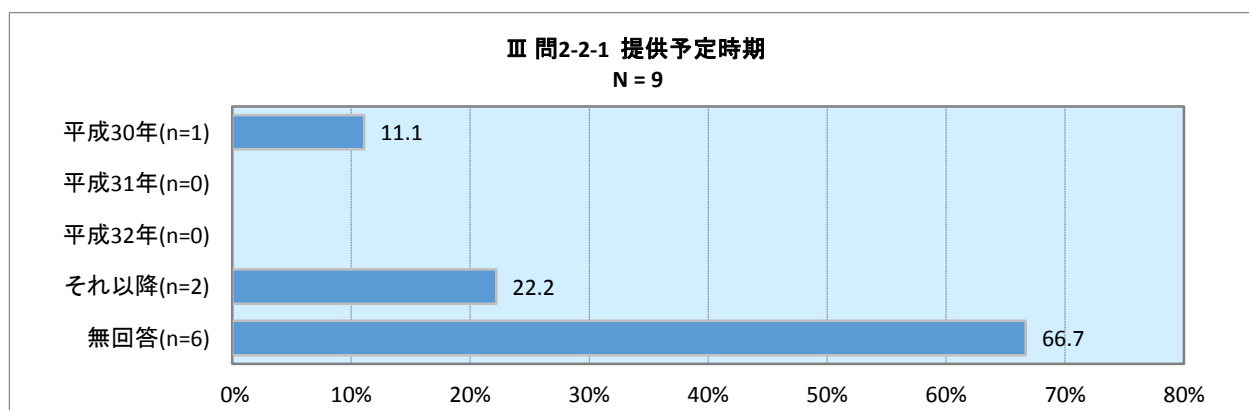
問 2-2 移送サービスの今後の（も）提供予定（単一回答形式）

- 【移送サービスの今後の（も）提供予定】は、「とくに予定はない」が最多で71.0%（110件）、次いで、「わからない」が10.3%（16件）、「実施予定あり」が4.5%（7件）となっています。



問 2-2-1 移送サービスの提供予定時期（単一回答形式）

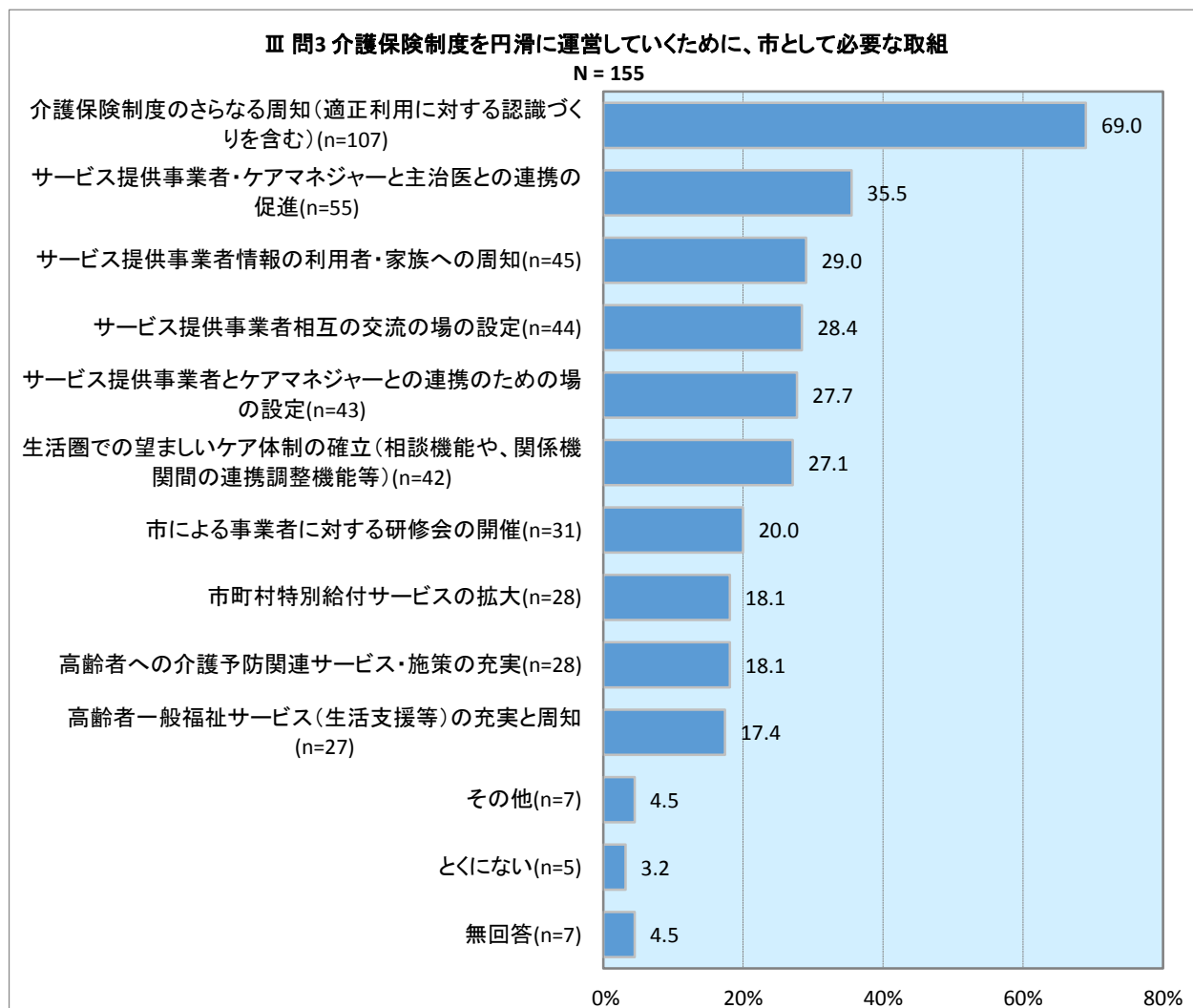
- 【移送サービスの提供予定時期】は、「平成30年」が11.1%（1件）、「それ以降」が22.2%（2件）となっています。



回答条件：【問 2-2 移送サービスの今後の（も）提供予定】で、「実施予定あり」「状況を見て実施したい」「実施したいができない」の場合のみ回答

問3 介護保険制度を円滑に運営するため、市として必要な取組（複数回答形式）

●【介護保険制度を円滑に運営していくために、市として必要な取組】は、「介護保険制度のさらなる周知（適正利用に対する認識づくりを含む）」が最多で69.0%（107件）、次いで、「サービス提供事業者・ケアマネジャーと主治医との連携の促進」が35.5%（55件）、「サービス提供事業者情報の利用者・家族への周知」が29.0%（45件）となっています。

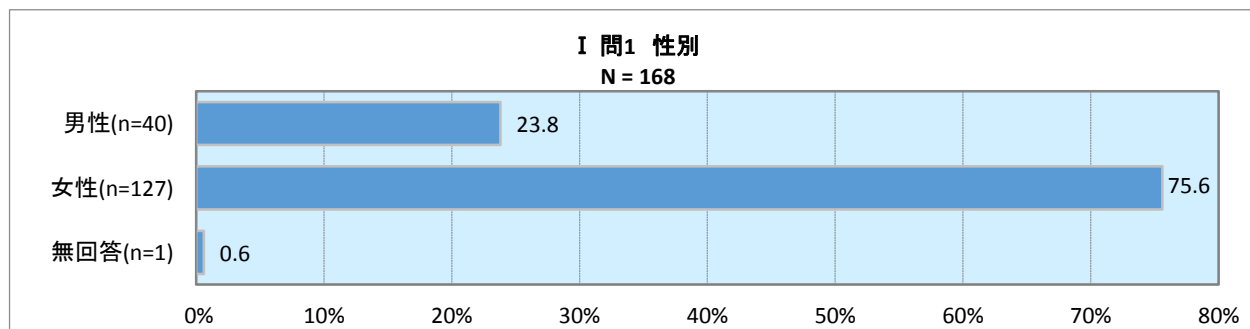


第6編 介護支援専門員（ケアマネジャー）調査

I あなたご自身のこと

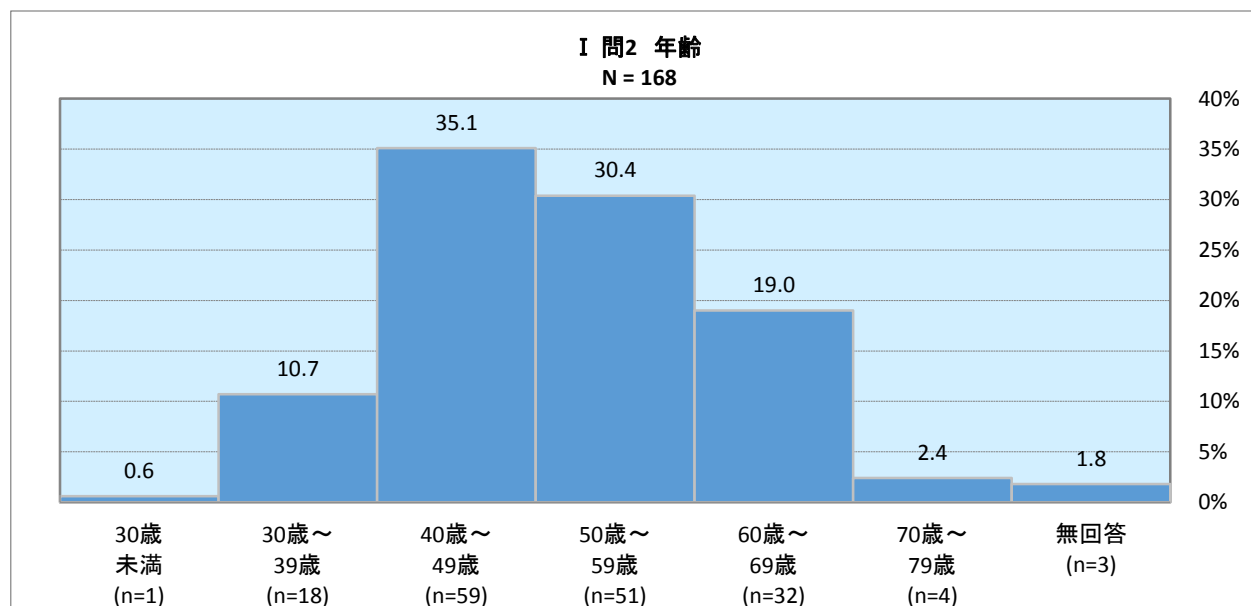
問1 性別（単一回答形式）

●【性別】は、「男性」が23.8%（40件）、「女性」が75.6%（127件）となっています。



問2 年齢（数量回答形式）

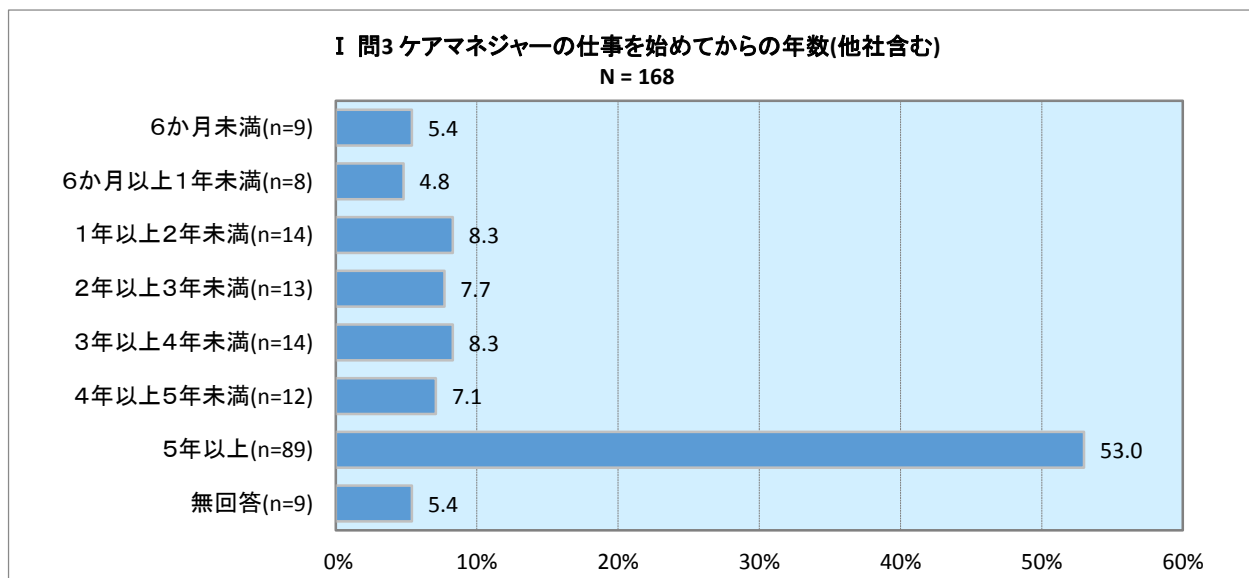
●【年齢】は、「40歳～49歳」が最多で35.1%（59件）、次いで、「50歳～59歳」が30.4%（51件）、「60歳～69歳」が19.0%（32件）となっています。



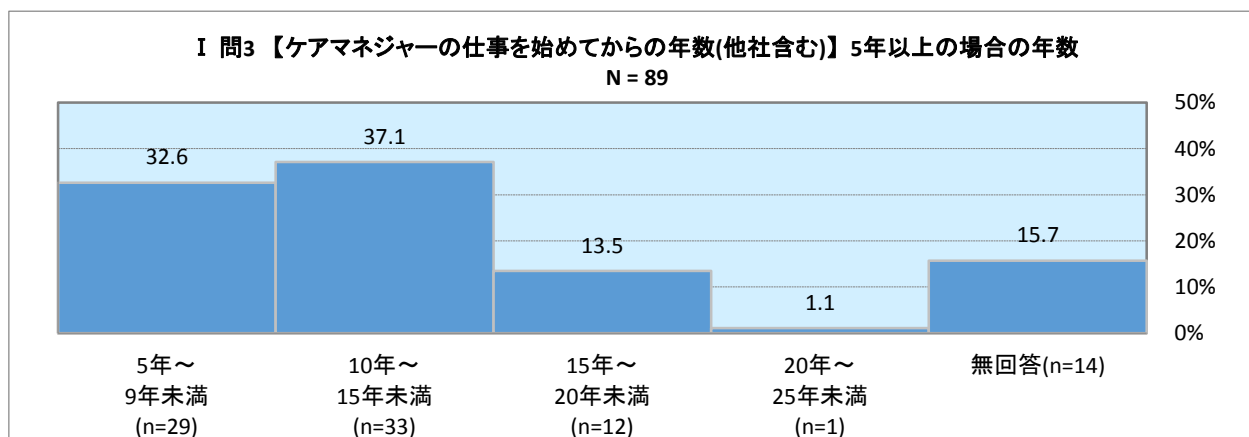


問3 ケアマネジャーの仕事をはじめてからの年数（単一回答形式）

- 【ケアマネジャーの仕事をはじめてからの年数(他社含む)】は、「5年以上」が最多で53.0%（89件）、次いで、「1年以上2年未満」と「3年以上4年未満」が8.3%（14件）となっています。



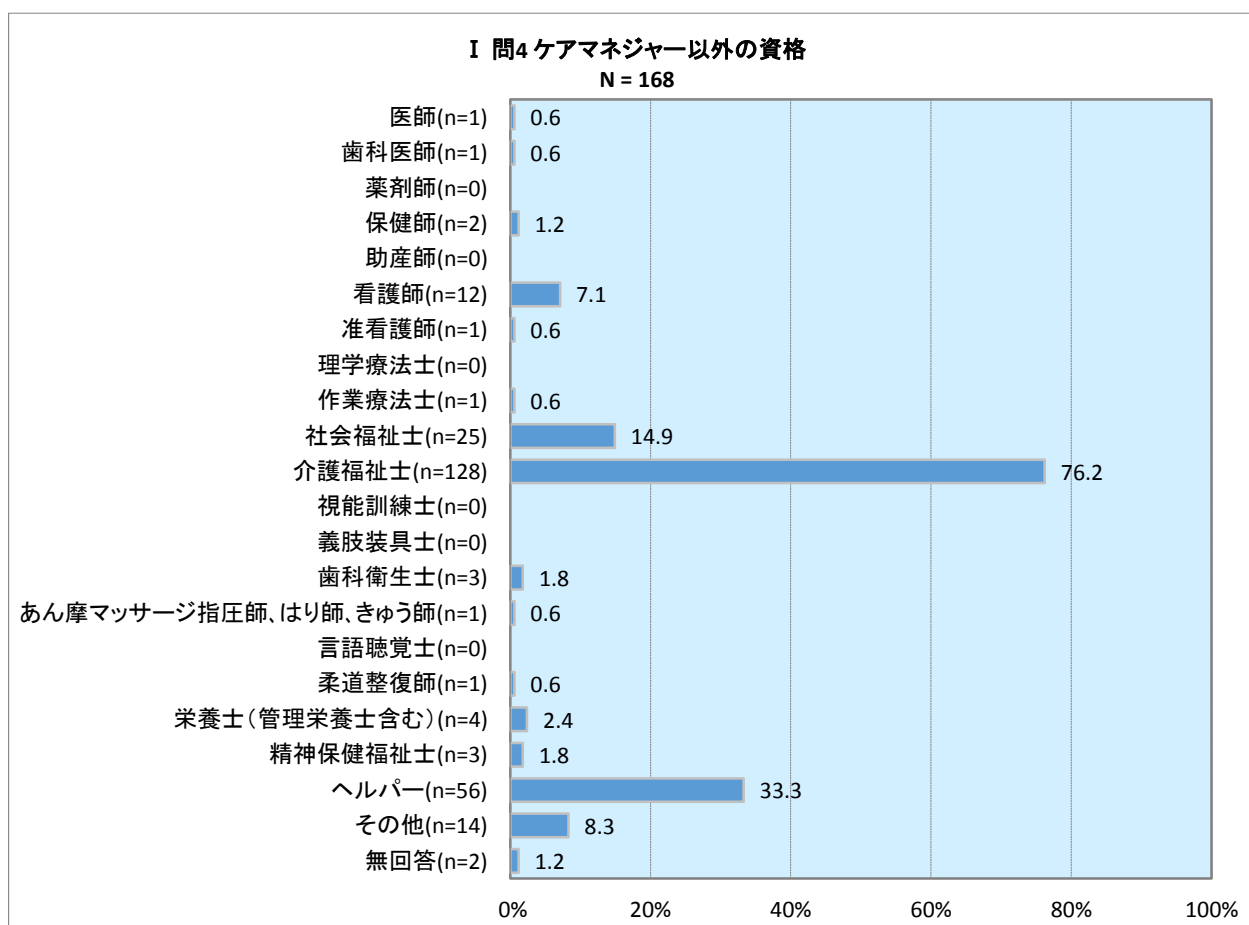
- 【5年以上の場合の年数】は、「10年～15年未満」が最多で37.1%（33件）、次いで、「5年～9年未満」が32.6%（29件）、「15年～20年未満」が13.5%（12件）となっています。



回答条件：【I 問3 ケアマネジャーの仕事をはじめてからの年数】で、「5年以上」の場合のみ回答

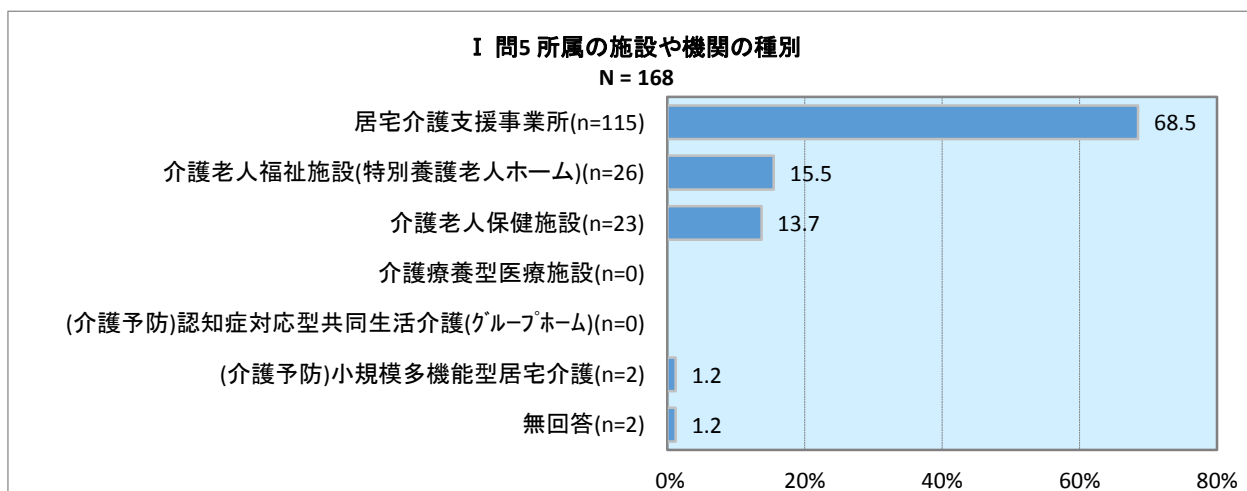
問4 ケアマネジャー以外の資格（複数回答形式）

●【ケアマネジャー以外の資格】は、「介護福祉士」が最多で76.2%（128件）、次いで、「ヘルパー」が33.3%（56件）、「社会福祉士」が14.9%（25件）となっています。



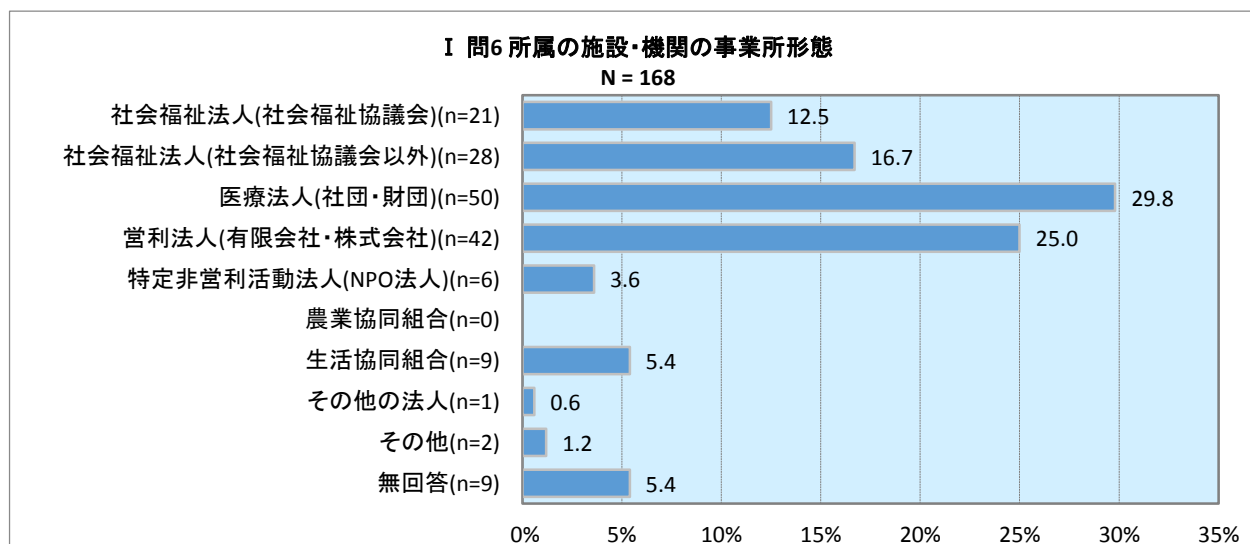
問5 所属の施設や機関の種別（複数回答形式）

●【所属の施設や機関の種別】は、「居宅介護支援事業所」が最多で68.5%（115件）、次いで、「介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」が15.5%（26件）、「介護老人保健施設」が13.7%（23件）となっています。



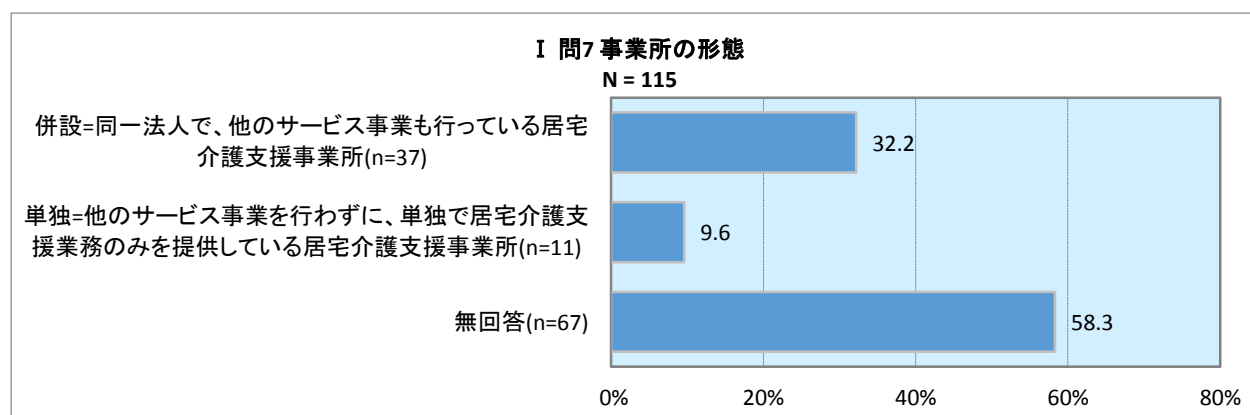
問6 所属の施設・機関の事業所形態（複数回答形式）

●【所属の施設・機関の事業所形態】は、「医療法人(社団・財団)」が最多で29.8%（50件）、次いで、「営利法人(有限会社・株式会社)」が25.0%（42件）、「社会福祉法人(社会福祉協議会以外)」が16.7%（28件）となっています。



問7 事業所の形態（単一回答形式）

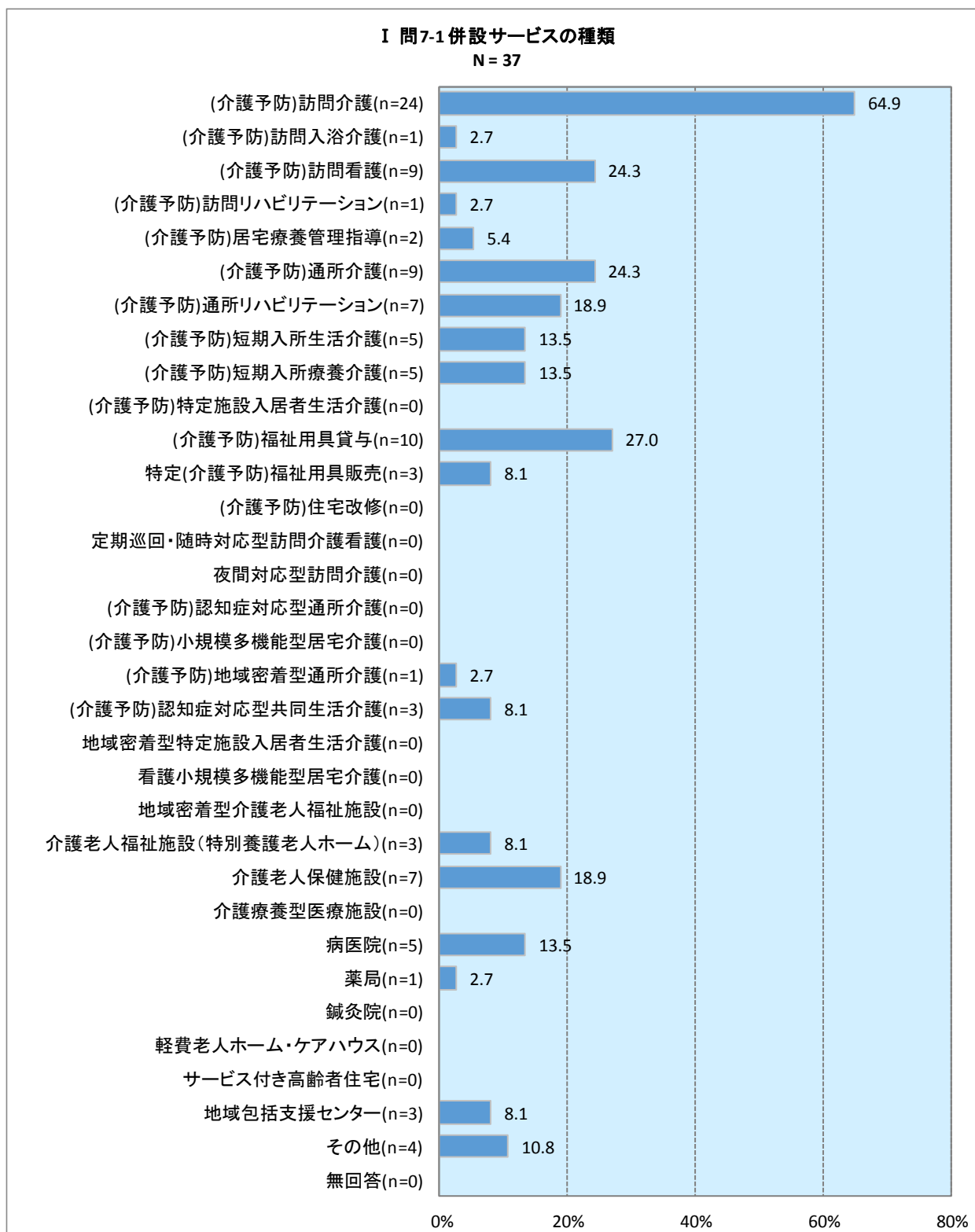
●【事業所の形態】は、「併設=同一法人で、他のサービス事業も行っている居宅介護支援事業所」が32.2%（37件）、「単独=他のサービス事業を行わずに、単独で居宅介護支援業務のみを提供している居宅介護支援事業所」が9.6%（11件）となっています。



回答条件：【I 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問7-1 併設サービスの種類（複数回答形式）

- 【併設サービスの種類】は、「(介護予防)訪問介護」が最多で64.9%（24件）、次いで、「(介護予防)福祉用具貸与」が27.0%（10件）、「(介護予防)訪問看護」と「(介護予防)通所介護」が24.3%（9件）となっています。

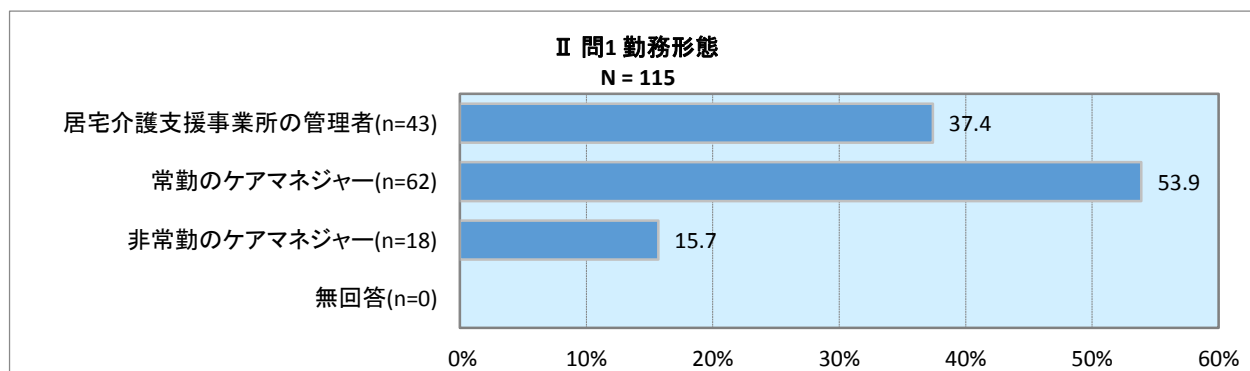


回答条件：【I 問7 事業所の形態】で、「併設=同一法人で、他のサービス事業も行っている居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

## Ⅱ 勤務形態など

## 問1 勤務形態（単一回答形式）

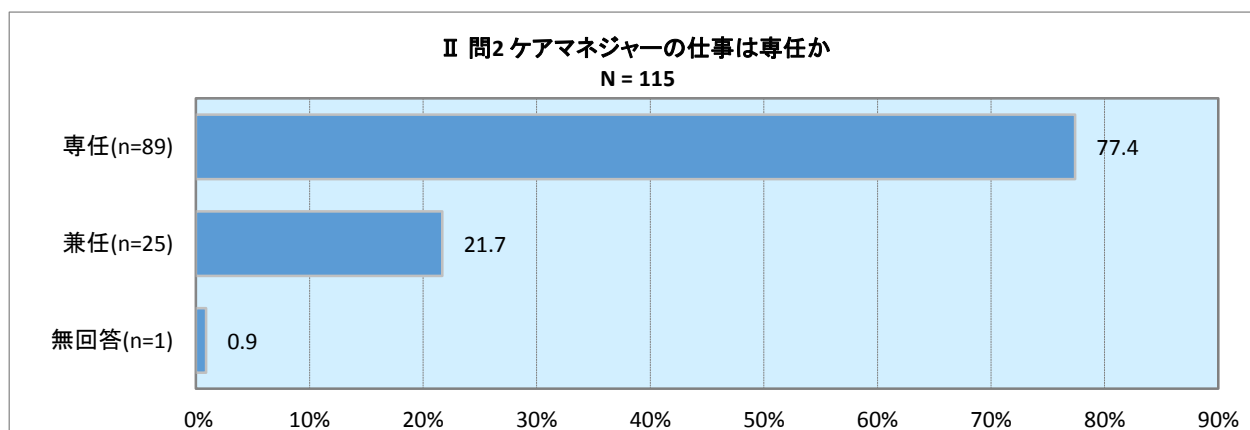
- 【勤務形態】は、「常勤のケアマネジャー」が最多で 53.9%（62 件）、次いで、「居宅介護支援事業所の管理者」が 37.4%（43 件）、「非常勤のケアマネジャー」が 15.7%（18 件）となっています。



回答条件：【Ⅰ 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

## 問2 ケアマネジャーの仕事は専任か（単一回答形式）

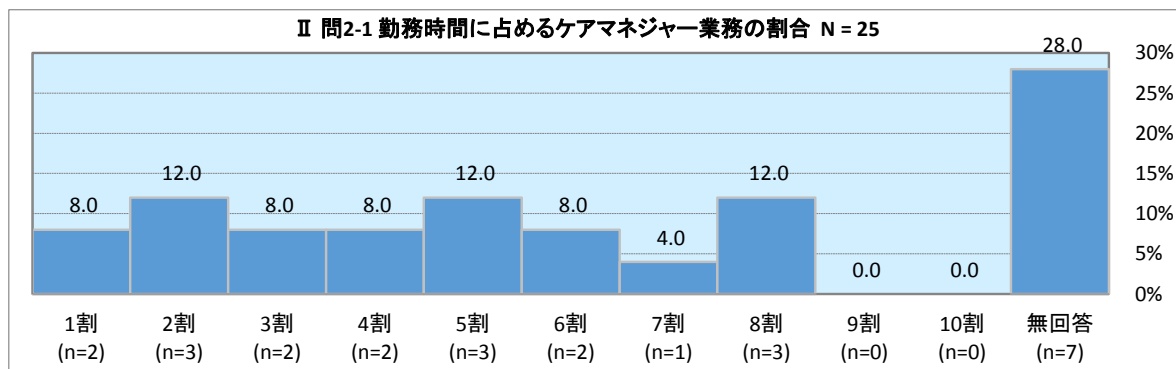
- 【ケアマネジャーの仕事は専任か】は、「専任」が 77.4%（89 件）、「兼任」が 21.7%（25 件）となっています。



回答条件：【Ⅰ 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問2-1 勤務時間に占めるケアマネジャー業務の割合（数量回答形式）

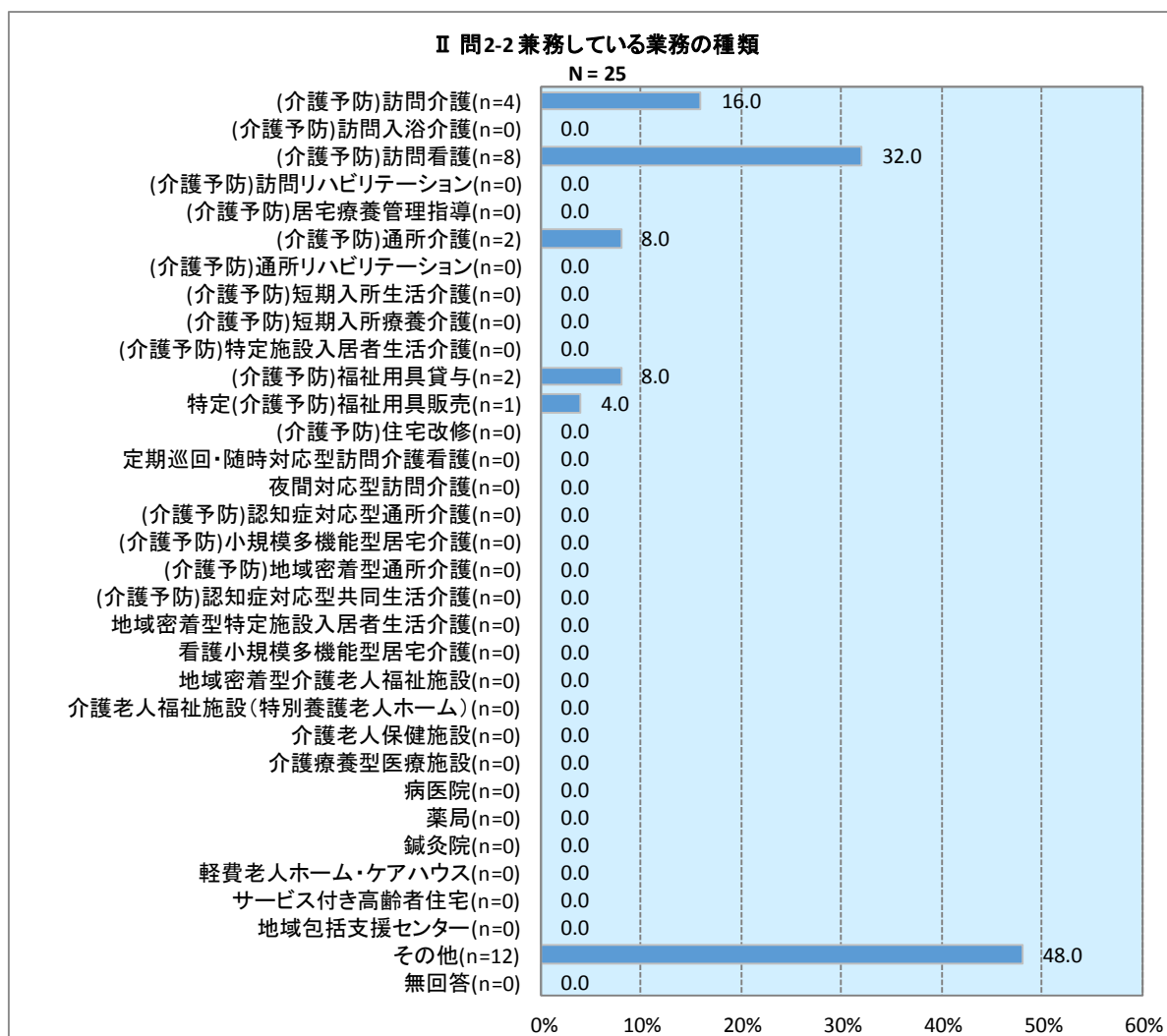
●【勤務時間に占めるケアマネジャー業務の割合】は、「2割」、「5割」、「8割」が12.0%（3件）となっています。



回答条件：【問2 ケアマネジャーの仕事は専任か】で、「兼任」の場合のみ回答

問2-2 兼務している業務の種類（複数回答形式）

●【兼務している業務の種類】は「その他」が最多で48.0%（12件）、次いで、「(介護予防)訪問看護」が32.0%（8件）、「(介護予防)訪問介護」が16.0%（4件）となっています。



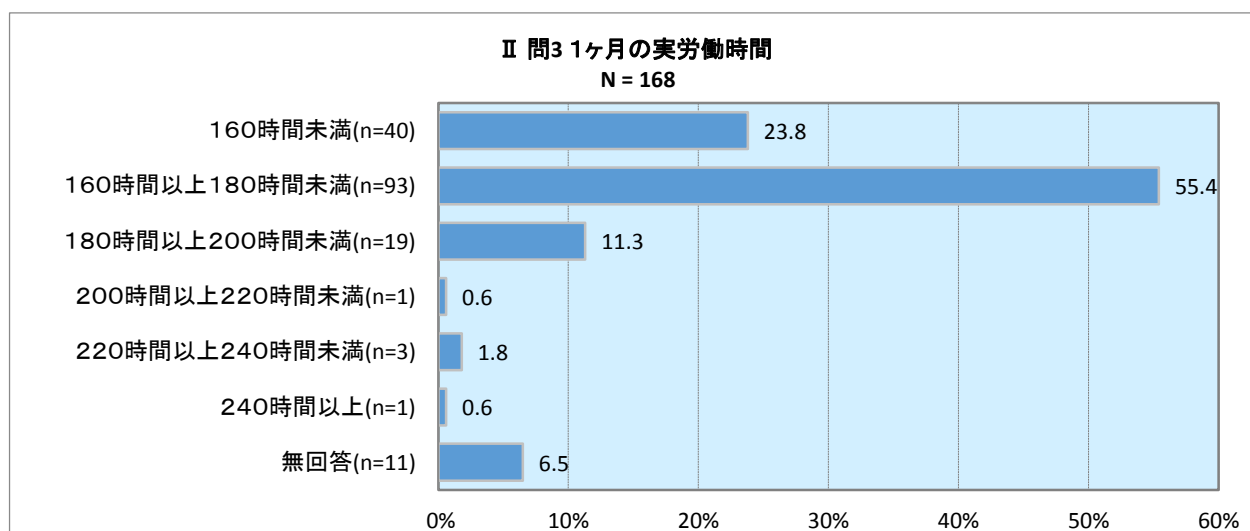
回答条件：【問2 ケアマネジャーの仕事は専任か】で、「兼任」の場合のみ回答

その他の意見

- ・施設ケアマネ、相談員と兼務
- ・相談支援専門員
- ・エリアの統括
- ・管理者兼居宅介護支援専門員
- ・相談支援専門員
- ・障害福祉サービス相談
- ・管理者
- ・居宅介護支援事業所
- ・地域支援業務
- ・老健の支援相談員
- ・ケアマネセンターの管理
- ・住宅型有料老人ホーム

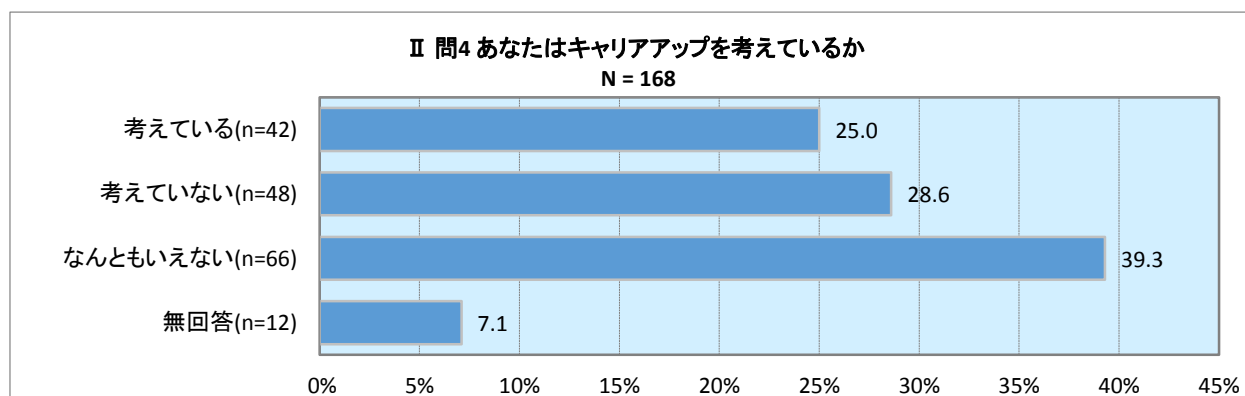
問3 1ヶ月の実労働時間（単一回答形式）

●【1ヶ月の実労働時間】は、「160時間以上180時間未満」が最多で55.4%（93件）、次いで、「160時間未満」が23.8%（40件）、「180時間以上200時間未満」が11.3%（19件）となっています。



問4 あなたはキャリアアップを考えているか（単一回答形式）

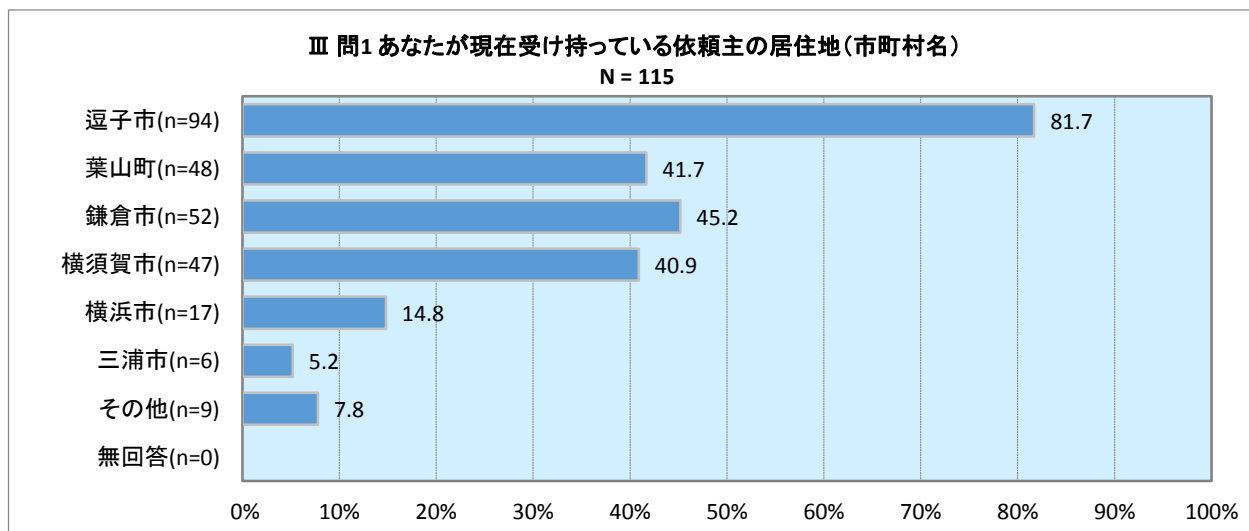
●【あなたはキャリアアップを考えているか】は、「なんともいえない」が最多で39.3%（66件）、次いで、「考えていない」が28.6%（48件）、「考えている」が25.0%（42件）となっています。



Ⅲ ケアプラン作成・給付管理業務など

問1 あなたが現在受け持っている依頼主の居住地（複数回答形式）

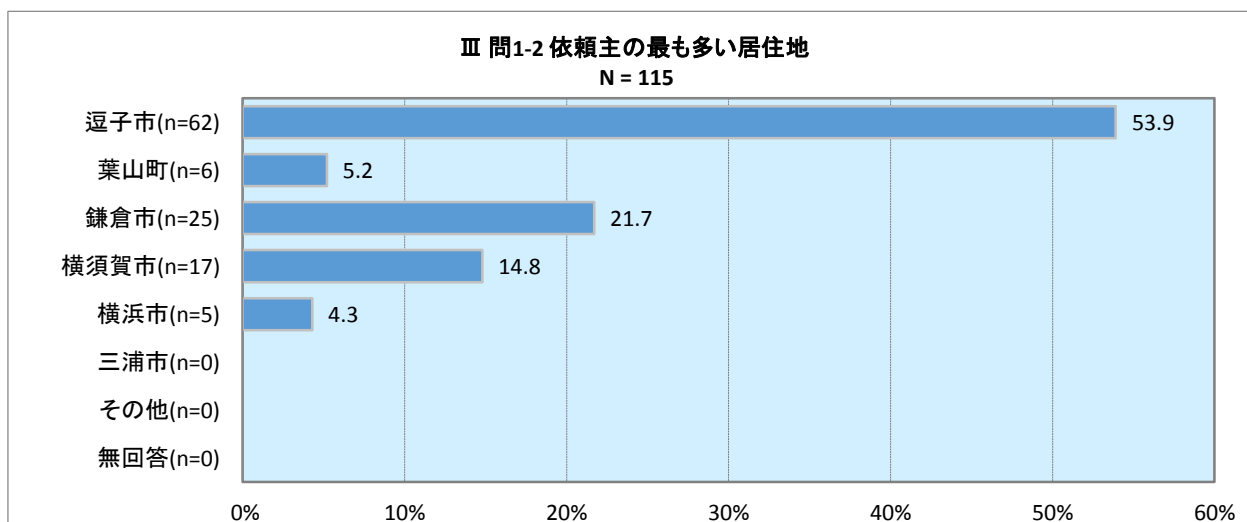
●【あなたが現在受け持っている依頼主の居住地（市町村名）】は、「逗子市」が最多で81.7%（94件）、次いで、「鎌倉市」が45.2%（52件）、「葉山町」が41.7%（48件）となっています。



回答条件：【I 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問1-2 依頼主の最も多い居住地（単一回答形式）

●【依頼主の最も多い居住地】は、「逗子市」が最多で53.9%（62件）、次いで、「鎌倉市」が21.7%（25件）、「横須賀市」が14.8%（17件）となっています。

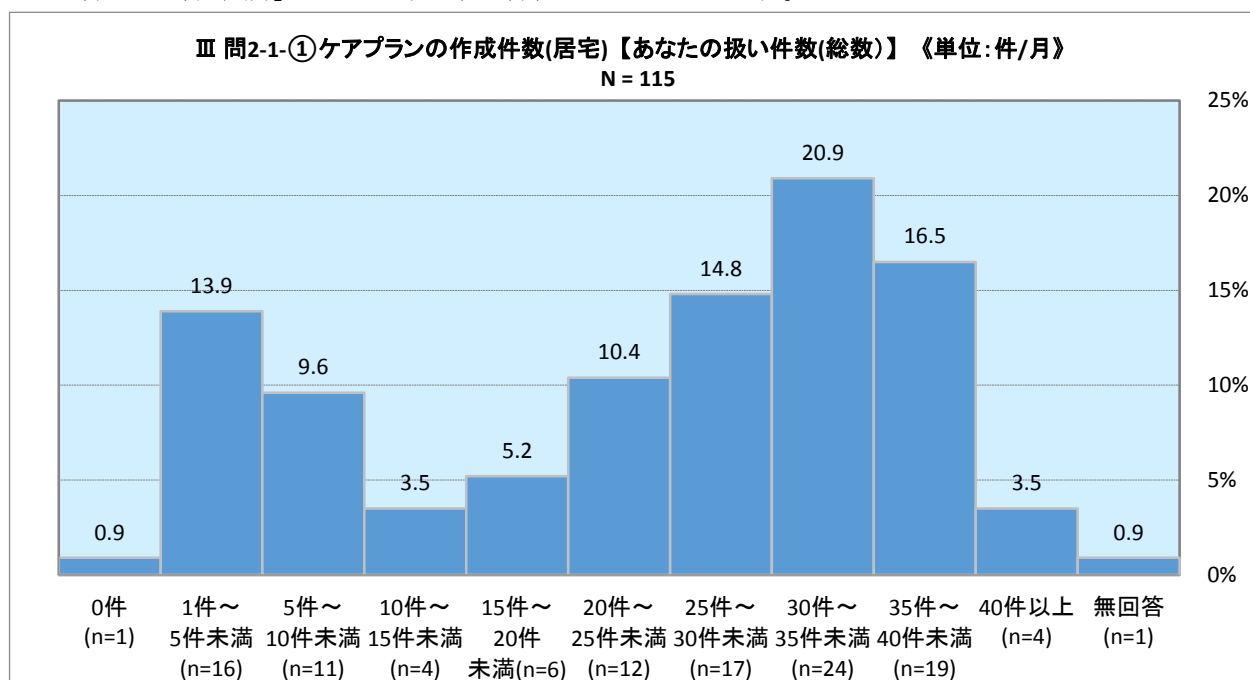


回答条件：【I 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

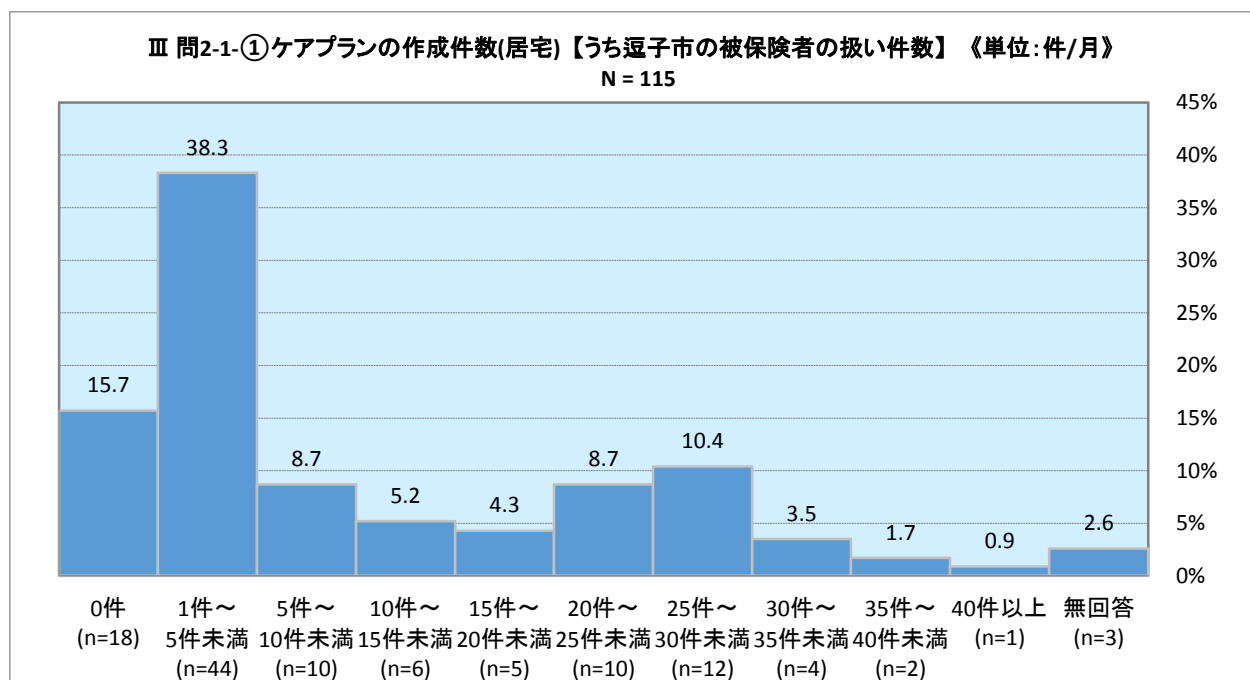


問2-1-①ケアプランの作成件数(居宅) (数量回答形式)

- 【①ケアプランの作成件数(居宅) あなたの扱い件数(総数)《単位：件/月》】は、「30件～35件未満」が最多で20.9%（24件）、次いで、「35件～40件未満」が16.5%（19件）、「25件～30件未満」が14.8%（17件）となっています。



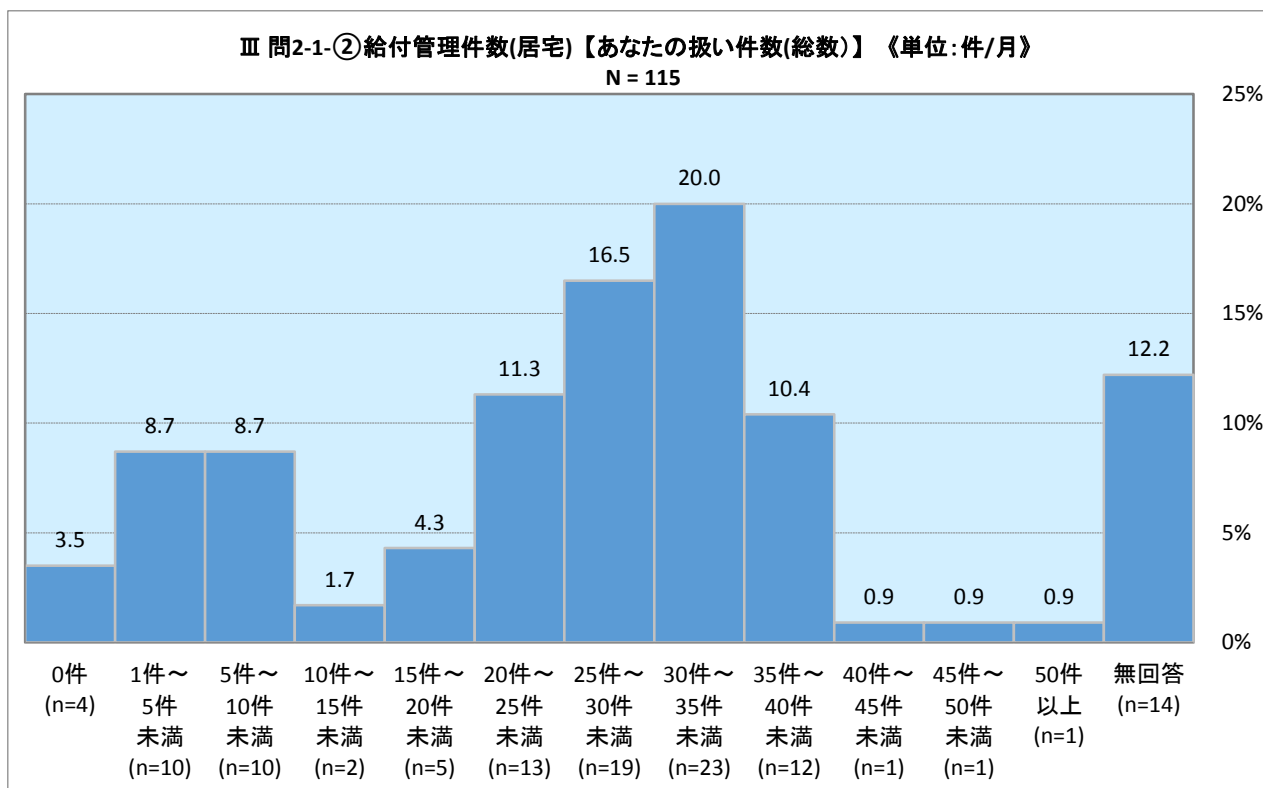
- 【①ケアプランの作成件数(居宅) うち逗子市の被保険者の扱い件数《単位：件/月》】は、「1件～5件未満」が最多で38.3%（44件）、次いで、「0件」が15.7%（18件）、「25件～30件未満」が10.4%（12件）となっています。



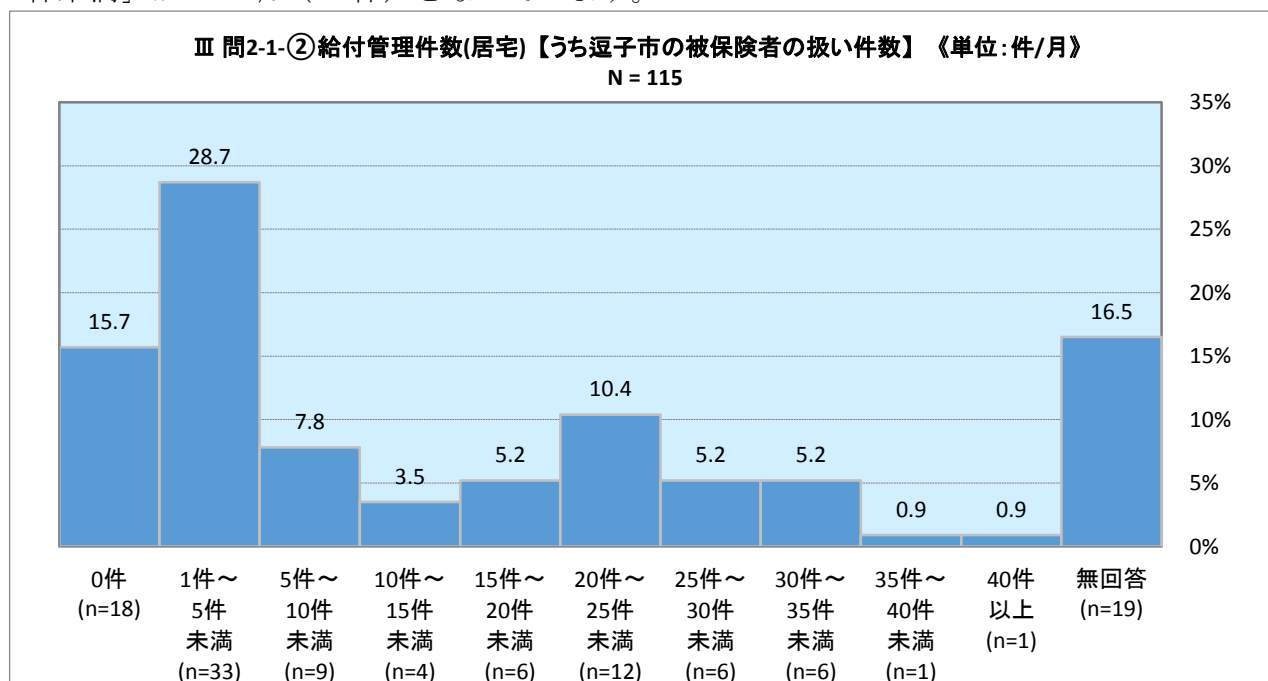
回答条件：【I 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問2-1-②給付管理件数(居宅) (数量回答形式)

- 【②給付管理件数(居宅) あなたの扱い件数(総数)《単位：件/月》】は、「30件～35件未満」が最多で20.0%（23件）、次いで、「25件～30件未満」が16.5%（19件）、「20件～25件未満」が11.3%（13件）となっています。



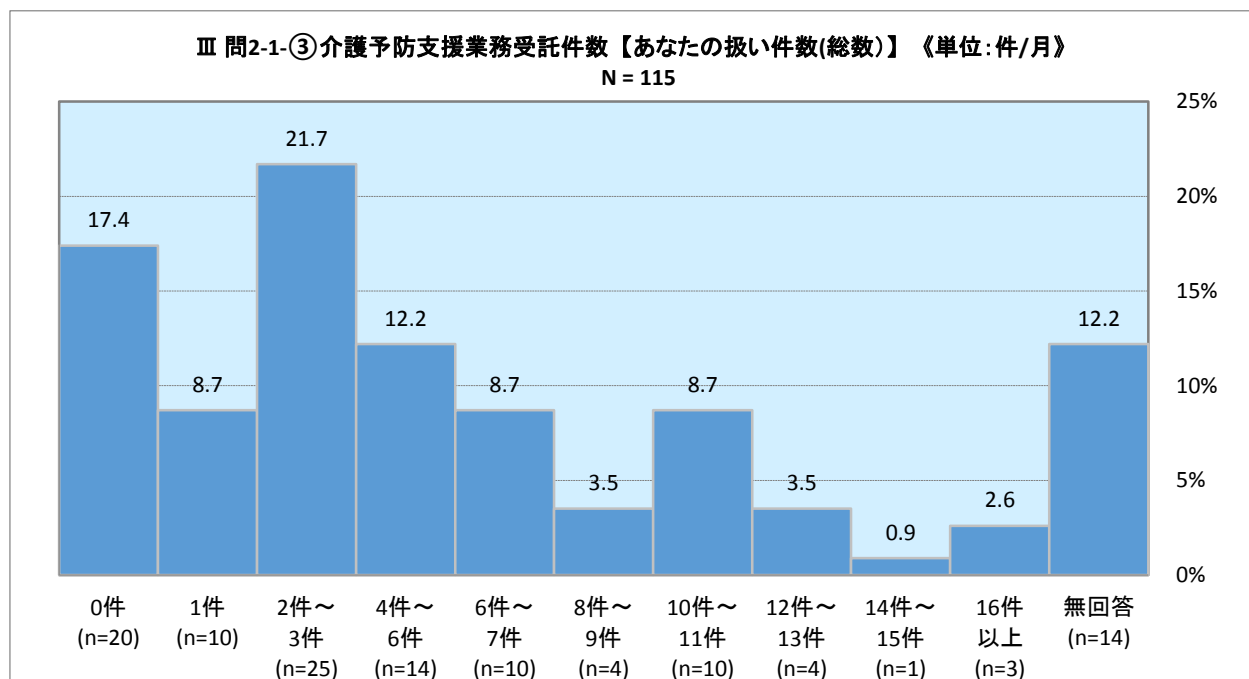
- 【②給付管理件数(居宅) うち逗子市の被保険者の扱い件数《単位：件/月》】は、「1件～5件未満」が最多で28.7%（33件）、次いで、「0件」が15.7%（18件）、「20件～25件未満」が10.4%（12件）となっています。



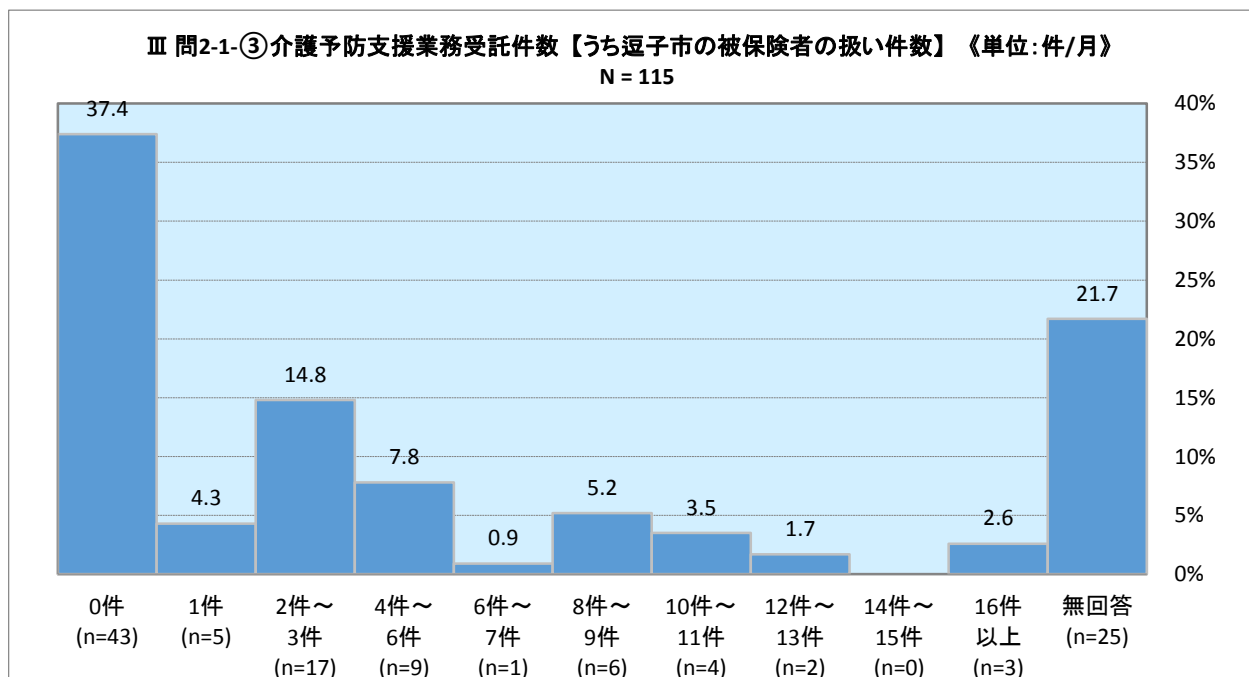
回答条件：【Ⅰ 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問2-1-③介護予防支援業務受託件数（数量回答形式）

- 【③介護予防支援業務受託件数 あなたの扱い件数（総数）《単位：件/月》】は、「2件～3件」が最多で21.7%（25件）、次いで、「0件」が17.4%（20件）、「4件～6件」が12.2%（14件）となっています。



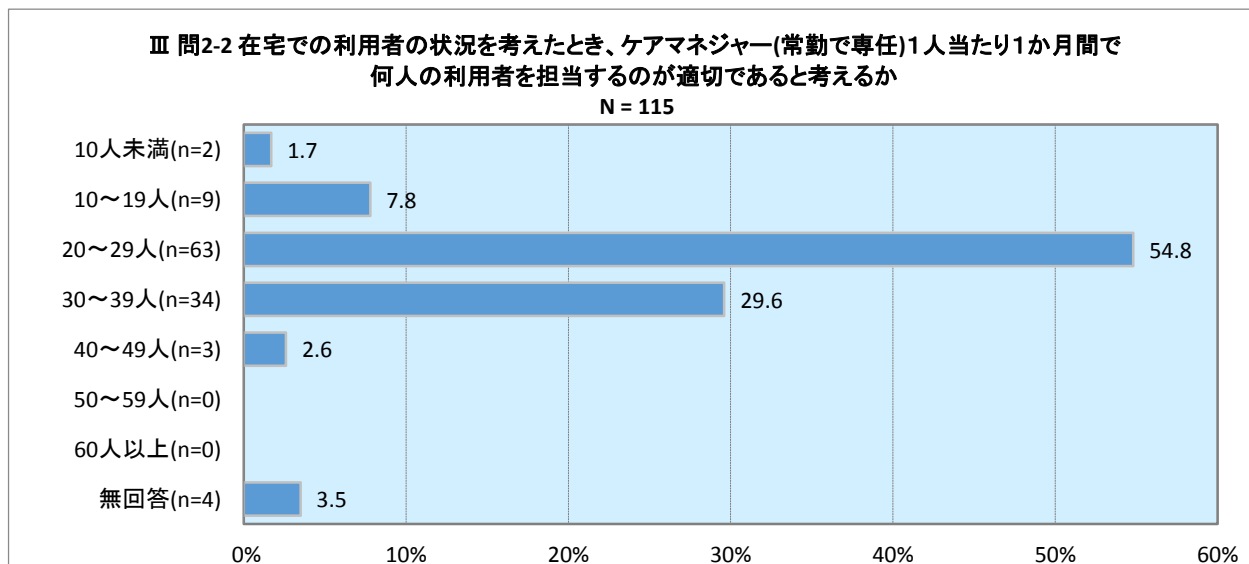
- 【③介護予防支援業務受託件数 うち逗子市の被保険者の扱い件数《単位：件/月》】は、「0件」が最多で37.4%（43件）、次いで、「2件～3件」が14.8%（17件）、「4件～6件」が7.8%（9件）となっています。



回答条件：【Ⅰ 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問2-2 ケアマネジャーが担当するのが適切な利用者数（単数回答形式）

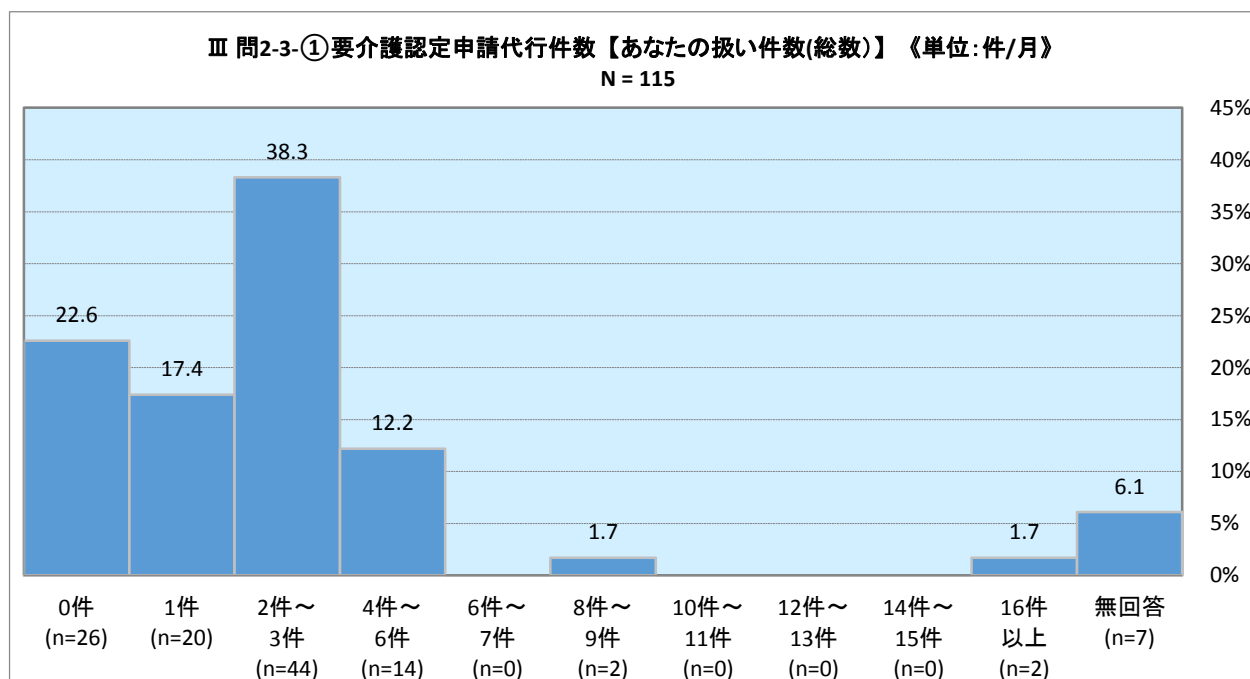
●【在宅での利用者の状況を考えたとき、ケアマネジャー（常勤で専任）1人当たり1か月間で何人の利用者を担当するのが適切であると考えるか】は、「20～29人」が最多で54.8%（63件）、次いで、「30～39人」が29.6%（34件）、「10～19人」が7.8%（9件）となっています。



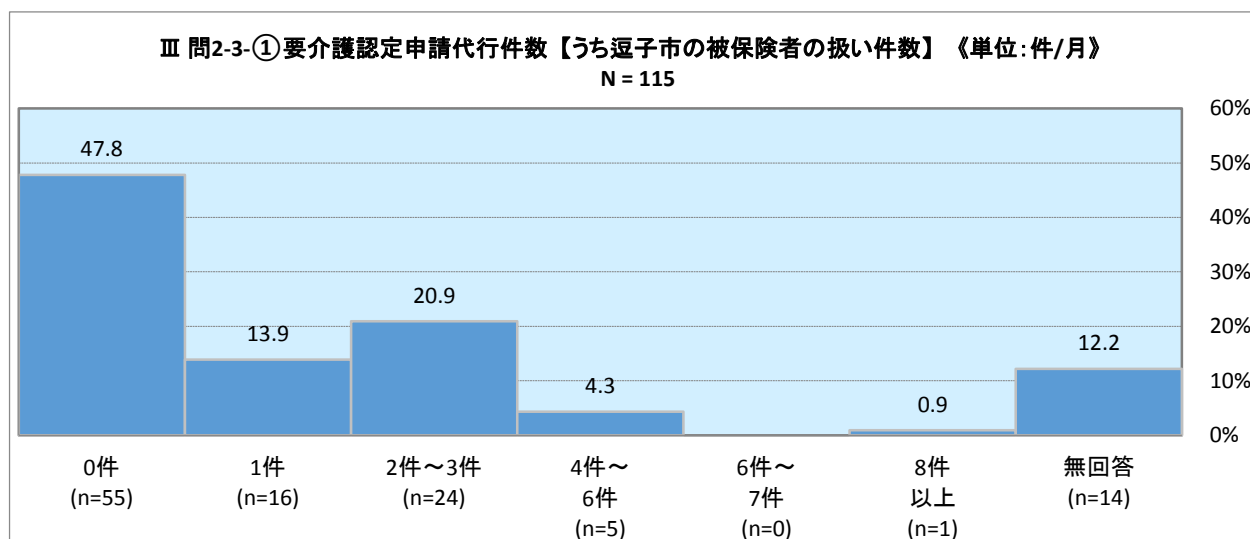
回答条件：【Ⅰ 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問2-3-① 要介護認定申請代行件数（数量回答形式）

- 【①要介護認定申請代行件数 あなたの扱い件数（総数）《単位：件/月》】は、「2件～3件」が最多で38.3%（44件）、次いで、「0件」が22.6%（26件）、「1件」が17.4%（20件）となっています。



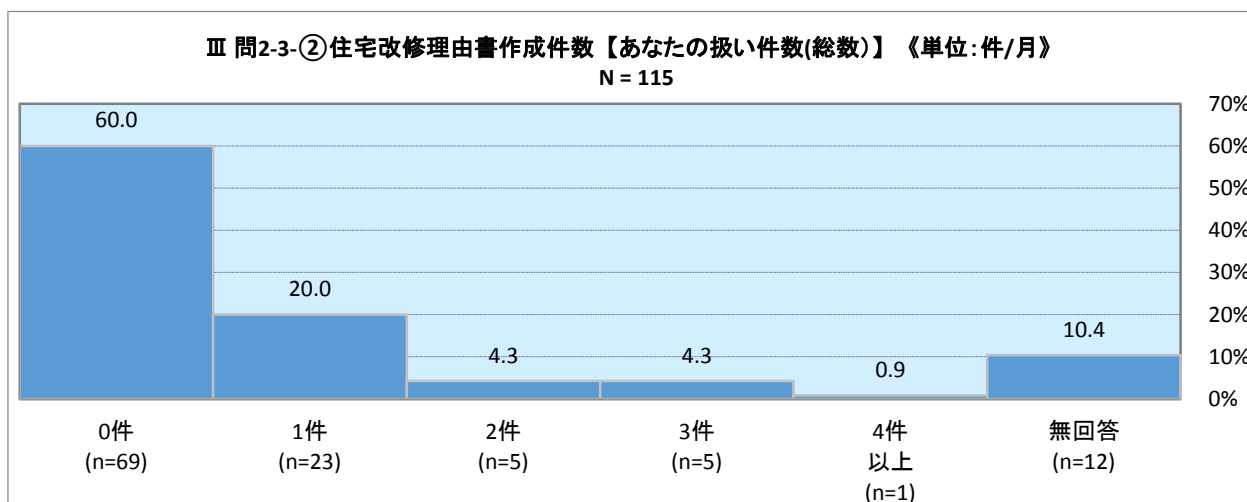
- 【①要介護認定申請代行件数 うち逗子市の被保険者の扱い件数《単位：件/月》】は、「0件」が最多で47.8%（55件）、次いで、「2件～3件」が20.9%（24件）、「1件」が13.9%（16件）となっています。



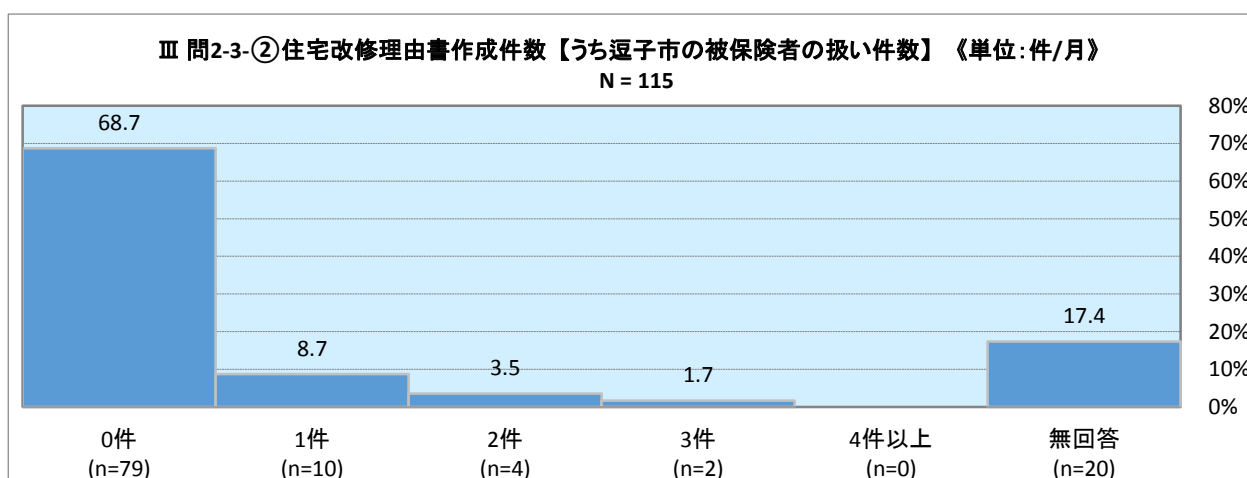
回答条件：【I 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問2-3-② 住宅改修理由書作成件数（数量回答形式）

- 【②住宅改修理由書作成件数 あなたの扱い件数（総数）《単位：件/月》】は、「0件」が最多で60.0%（69件）、次いで、「1件」が20.0%（23件）、「2件」と「3件」が4.3%（5件）となっています。



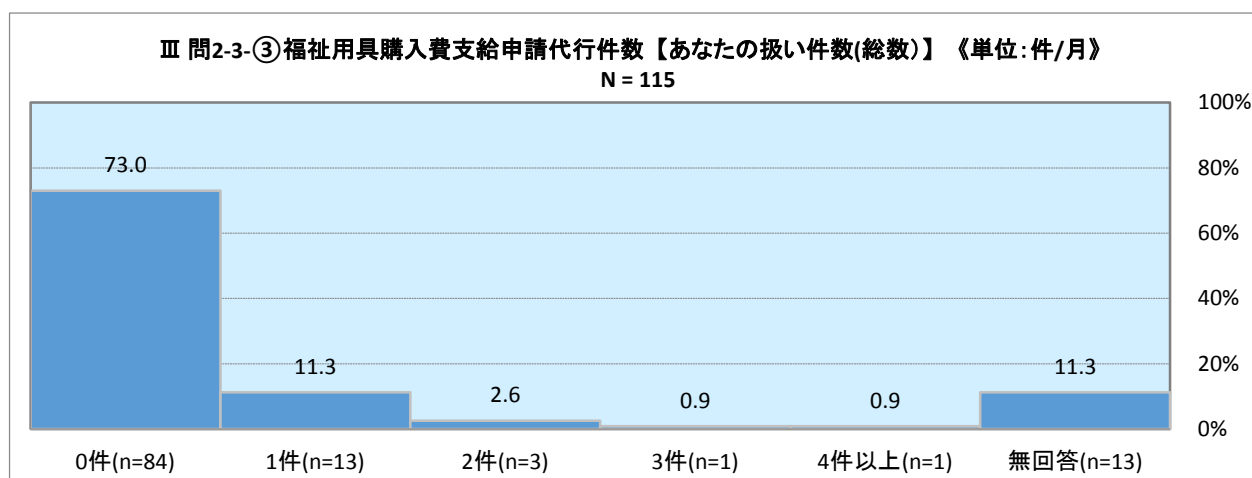
- 【②住宅改修理由書作成件数 うち返子市の被保険者の扱い件数《単位：件/月》】は、「0件」が最多で68.7%（79件）、次いで、「1件」が8.7%（10件）、「2件」が3.5%（4件）となっています。



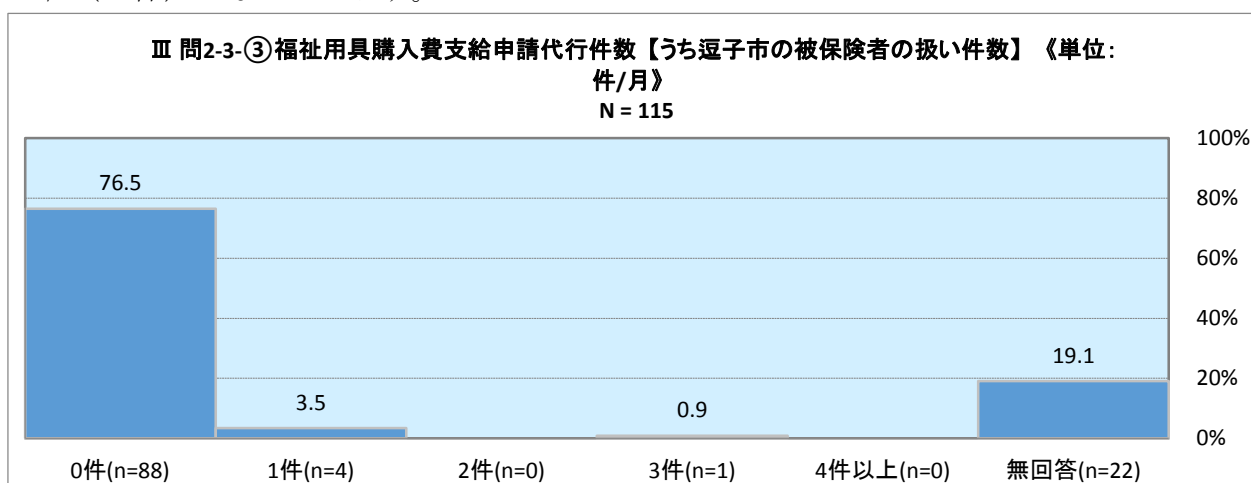
回答条件：【Ⅰ 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問2-3-③ 福祉用具購入費支給申請代行件数（数量回答形式）

- 【③福祉用具購入費支給申請代行件数 あなたの扱い件数(総数)《単位：件/月》】は、「0件」が最多で73.0%（84件）、次いで、「1件」が11.3%（13件）となっています。



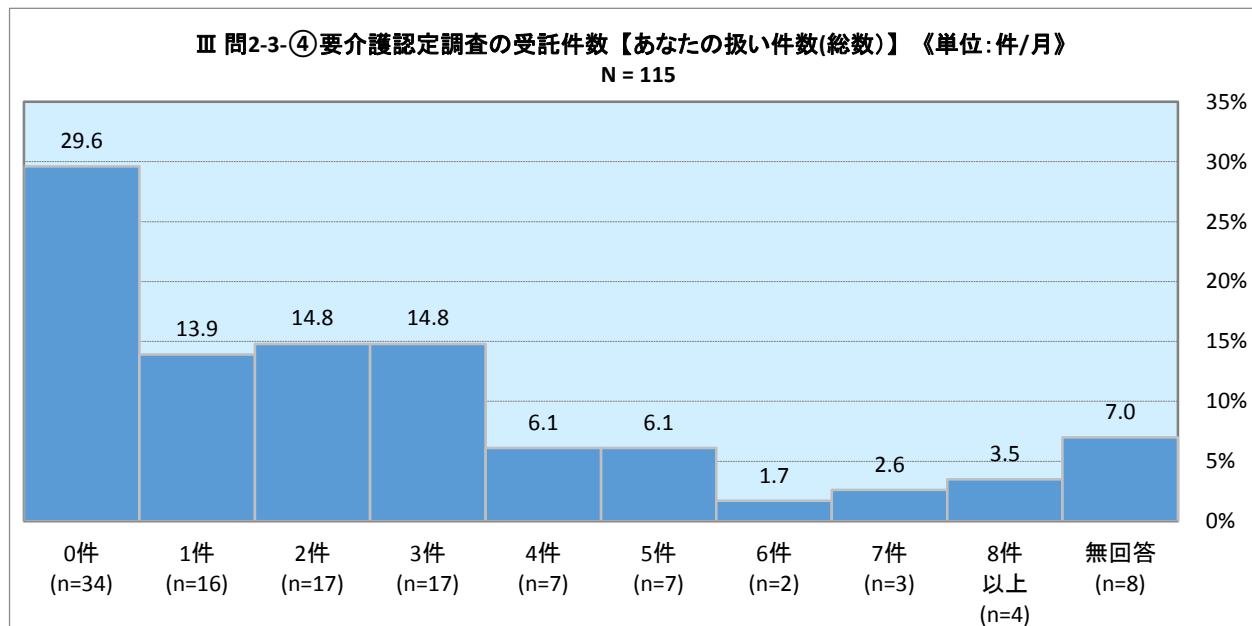
- 【③福祉用具購入費支給申請代行件数 うち逗子市の被保険者の扱い件数《単位：件/月》】は、「0件」が最多で76.5%（88件）、次いで、「1件」が3.5%（4件）、「3件」が0.9%（1件）となっています。



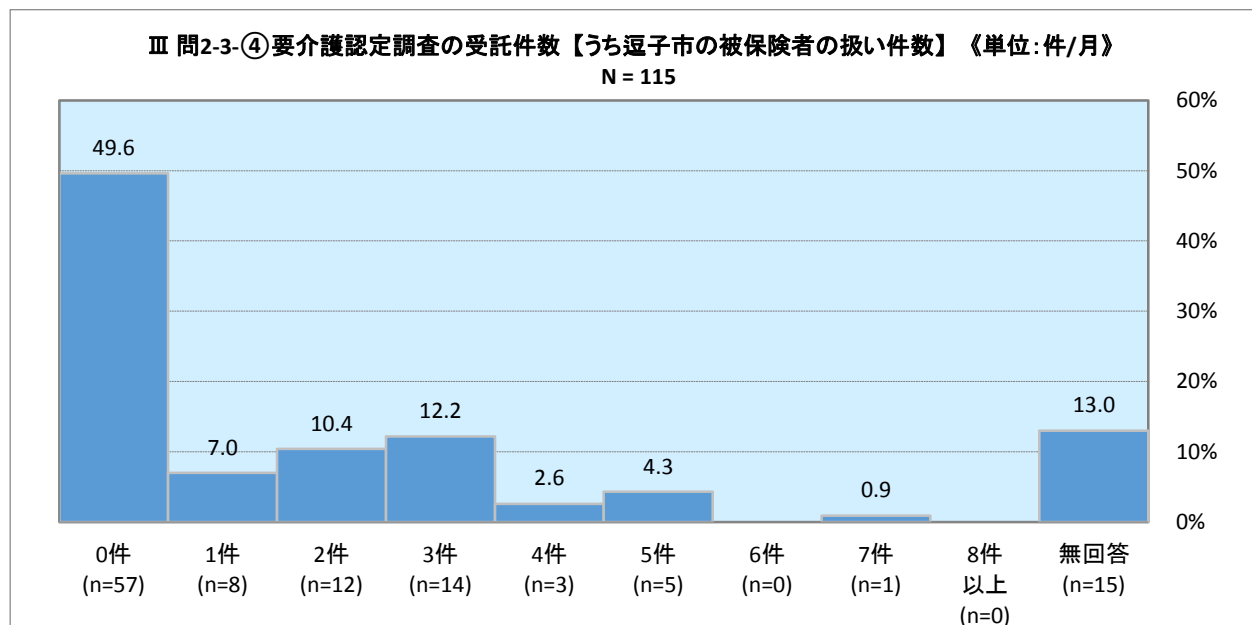
回答条件：【I 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問2-3-④ 要介護認定調査の受託件数（数量回答形式）

- 【④要介護認定調査の受託件数 あなたの扱い件数（総数）《単位：件/月》】は、「0件」が最多で29.6%（34件）、次いで、「2件」と「3件」が14.8%（17件）となっています。



- 【④要介護認定調査の受託件数 うち逗子市の被保険者の扱い件数《単位：件/月》】は、「0件」が最多で49.6%（57件）、次いで、「3件」が12.2%（14件）、「2件」が10.4%（12件）となっています。

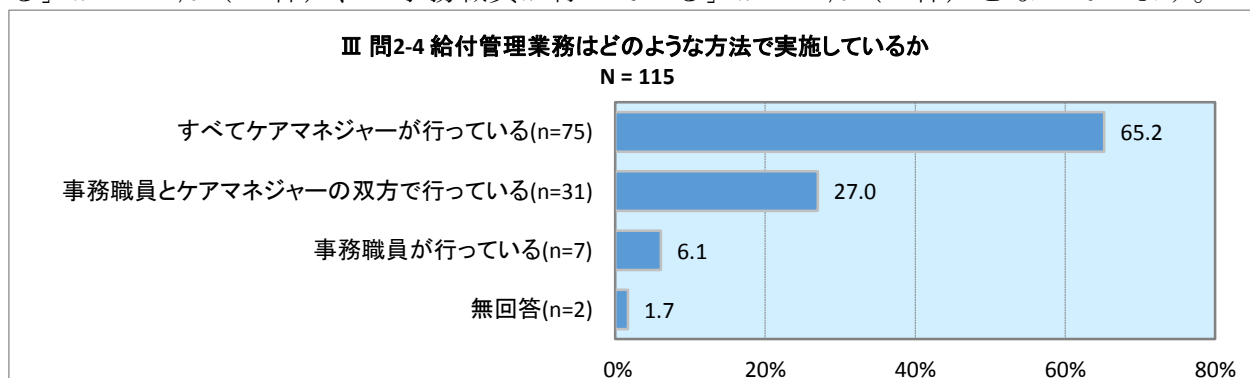


回答条件：【I 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答



問2-4 給付管理業務の実施方法（単一回答形式）

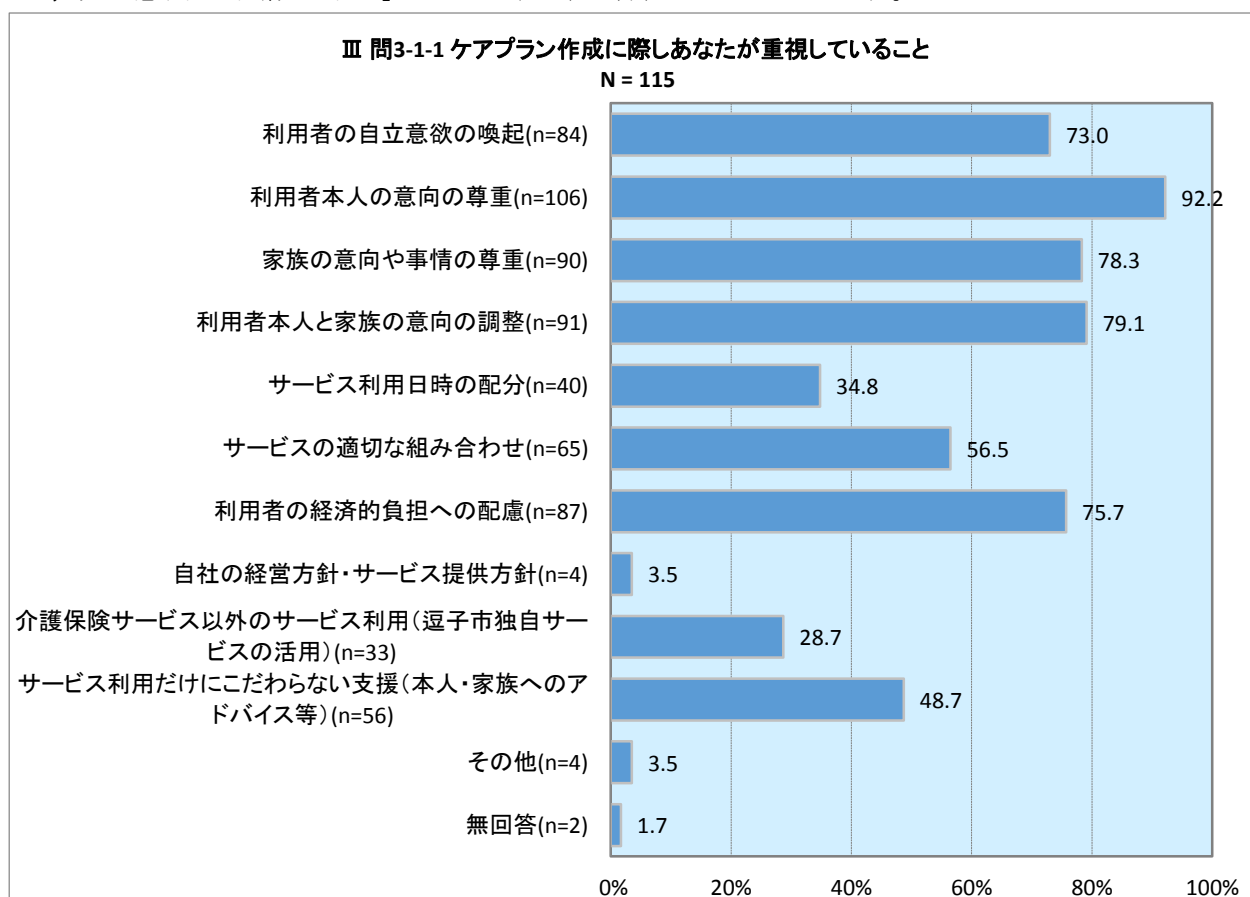
- 【給付管理業務はどのような方法で実施しているか】は、「すべてケアマネジャーが行っている」が最多で65.2%（75件）、次いで、「事務職員とケアマネジャーの双方で行っている」が27.0%（31件）、「事務職員が行っている」が6.1%（7件）となっています。



回答条件：【I 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問3-1-1 ケアプラン作成に際し、重視していること（複数回答形式）

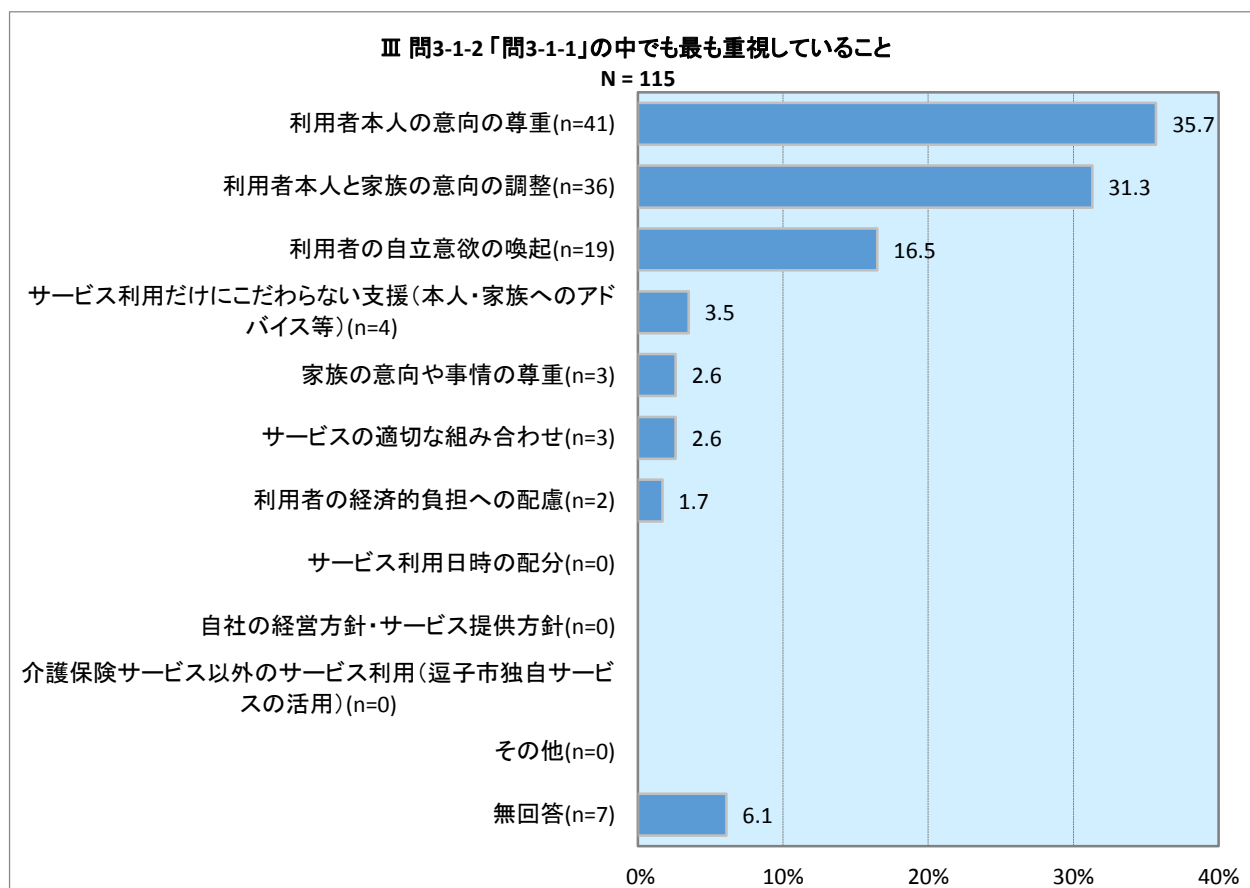
- 【ケアプラン作成に際しあなたが重視していること】は、「利用者本人の意向の尊重」が最多で92.2%（106件）、次いで、「利用者本人と家族の意向の調整」が79.1%（91件）、「家族の意向や事情の尊重」が78.3%（90件）となっています。



回答条件：【I 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問3-1-2 「問3-1-1」の中でも最も重視していること（単一回答形式）

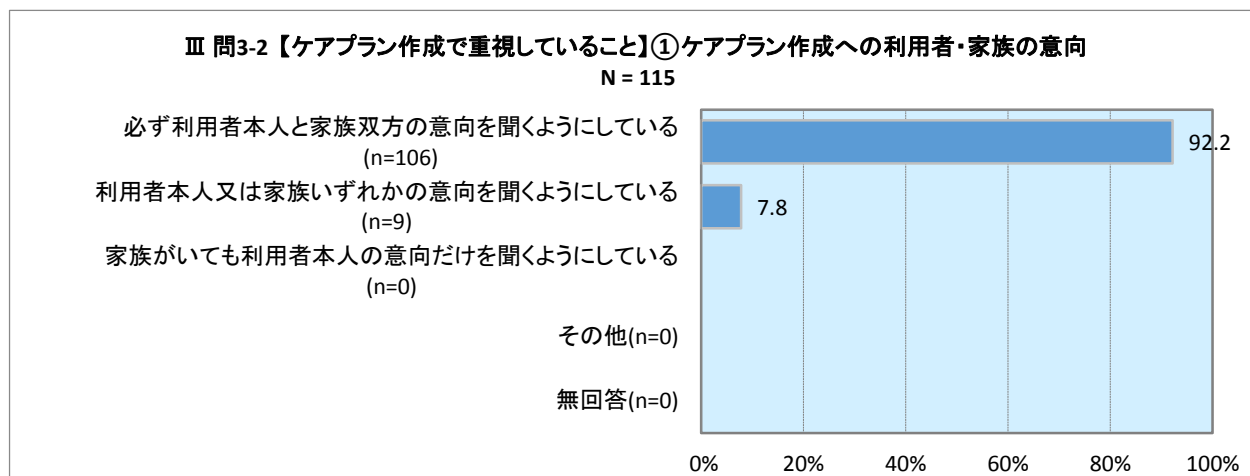
●【「問3-1-1」の中でも最も重視していること】は、「利用者本人の意向の尊重」が最多で35.7%（41件）、次いで、「利用者本人と家族の意向の調整」が31.3%（36件）、「利用者の自立意欲の喚起」が16.5%（19件）となっています。



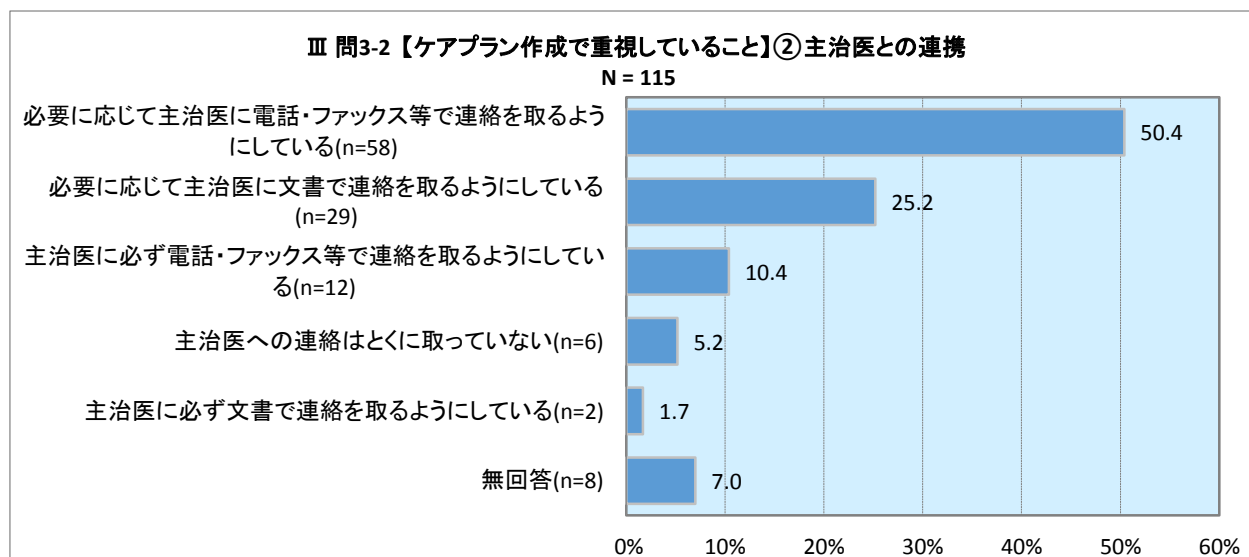
回答条件：【Ⅰ 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問3-2 ケアプラン作成で重視していること（単一回答形式）

- 【①ケアプラン作成への利用者・家族の意向】は、「必ず利用者本人と家族双方の意向を聞くようにしている」が最多で92.2%（106件）、次いで、「利用者本人又は家族いずれかの意向を聞くようにしている」が7.8%（9件）となっています。



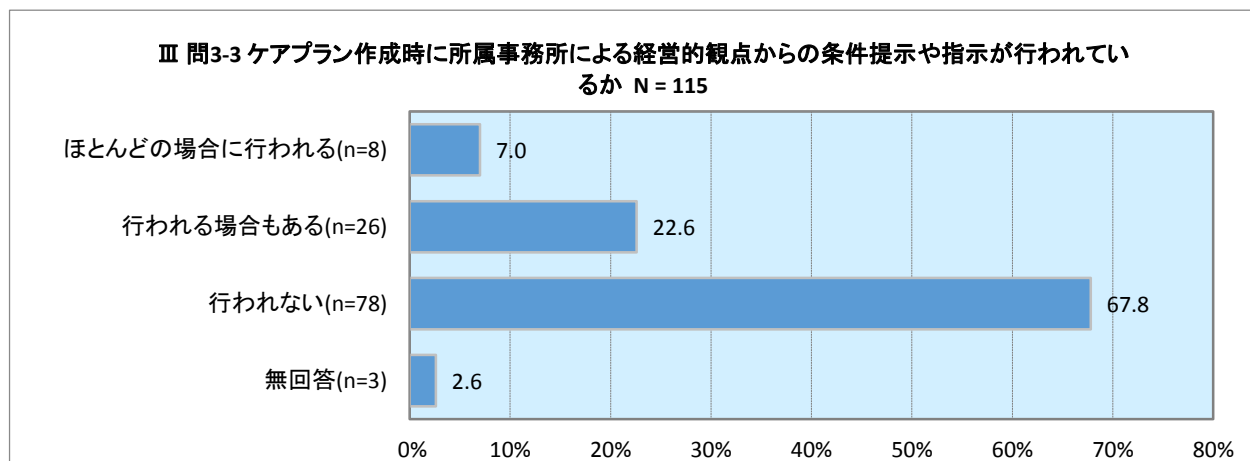
- 【②主治医との連携】は、「必要に応じて主治医に電話・ファックス等で連絡を取るようになっている」が最多で50.4%（58件）、次いで、「必要に応じて主治医に文書で連絡を取るようになっている」が25.2%（29件）、「主治医に必ず電話・ファックス等で連絡を取るようになっている」が10.4%（12件）となっています。



回答条件：【I 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問3-3 ケアプラン作成時に事務所の経営的観点からの条件提示等があるか（単一回答形式）

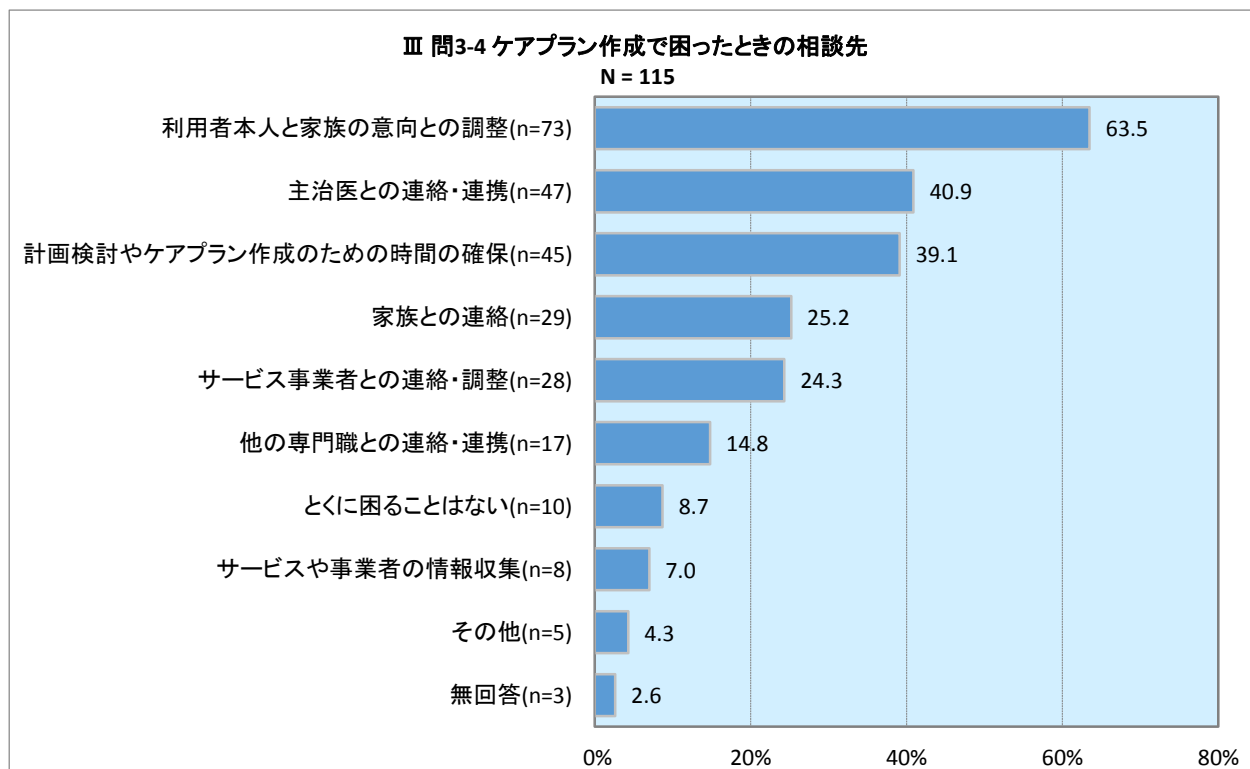
●【ケアプラン作成時に所属事務所による経営的観点からの条件提示や指示が行われているか】は、「行われない」が最多で67.8%（78件）、次いで、「行われる場合もある」が22.6%（26件）、「ほとんどの場合に行われる」が7.0%（8件）となっています。



回答条件：【Ⅰ 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問3-4 ケアプラン作成に当たり、困ること（複数回答形式）

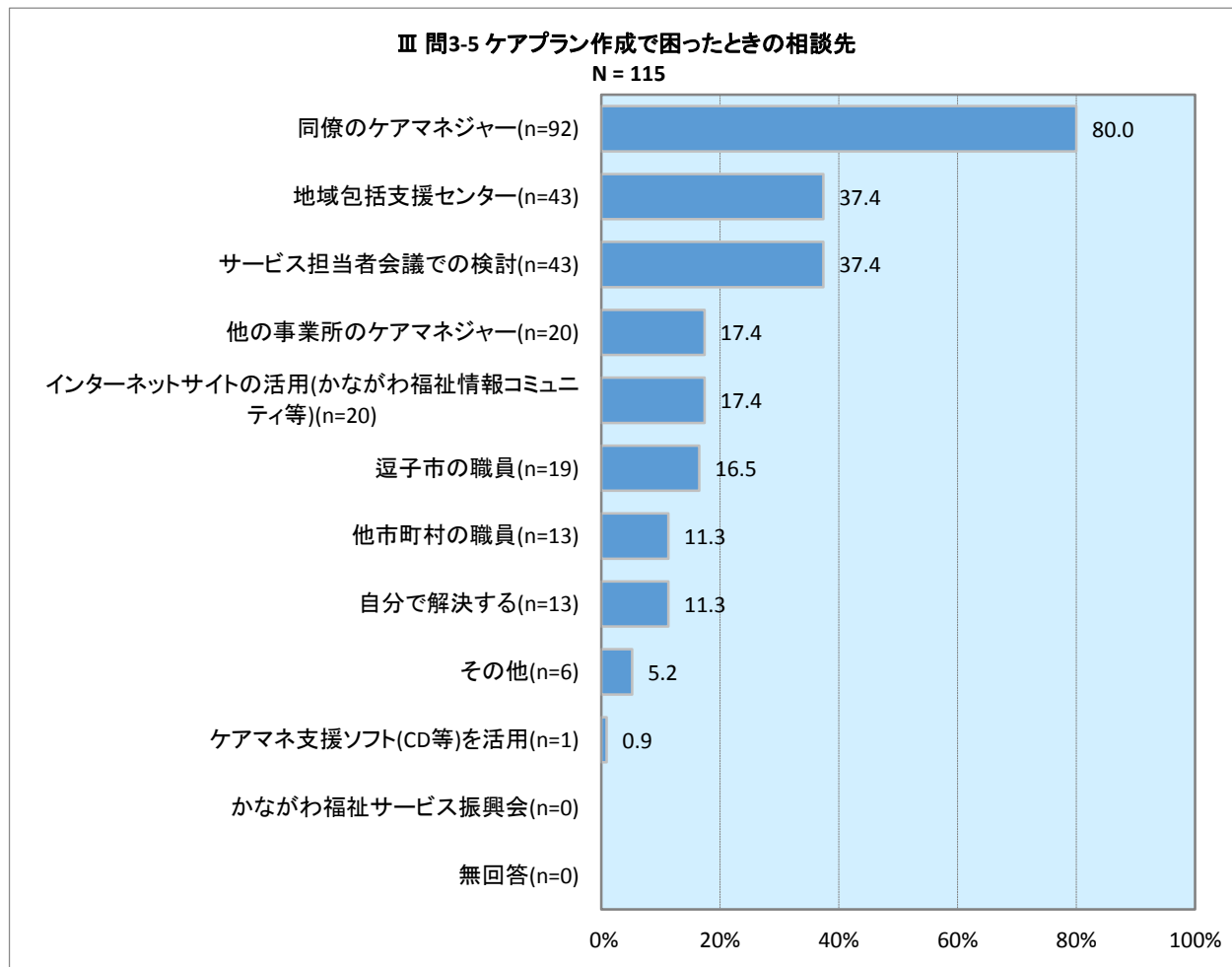
●【ケアプラン作成に当たり、困ること】は、「利用者本人と家族の意向との調整」が最多で63.5%（73件）、次いで、「主治医との連絡・連携」が40.9%（47件）、「計画検討やケアプラン作成のための時間の確保」が39.1%（45件）となっています。



回答条件：【Ⅰ 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問3-5 ケアプラン作成で困ったときの相談先（複数回答形式）

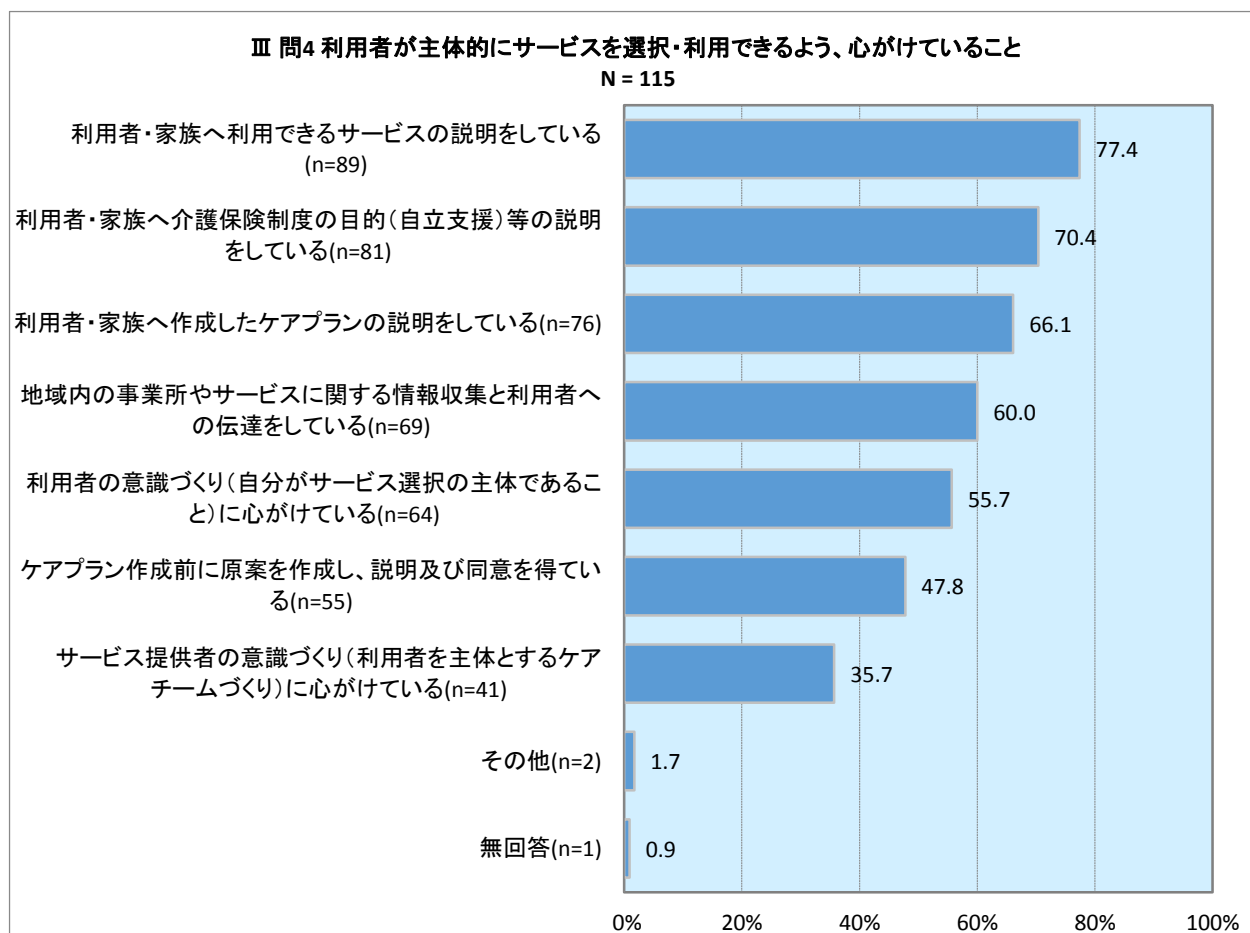
- 【ケアプラン作成で困ったときの相談先】は、「同僚のケアマネジャー」が最多で 80.0%（92 件）、次いで、「地域包括支援センター」と「サービス担当者会議での検討」が 37.4%（43 件）となっています。



回答条件：【Ⅰ 問 5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問4 利用者が主体的にサービスを選択・利用できるよう、心がけていること（複数回答形式）

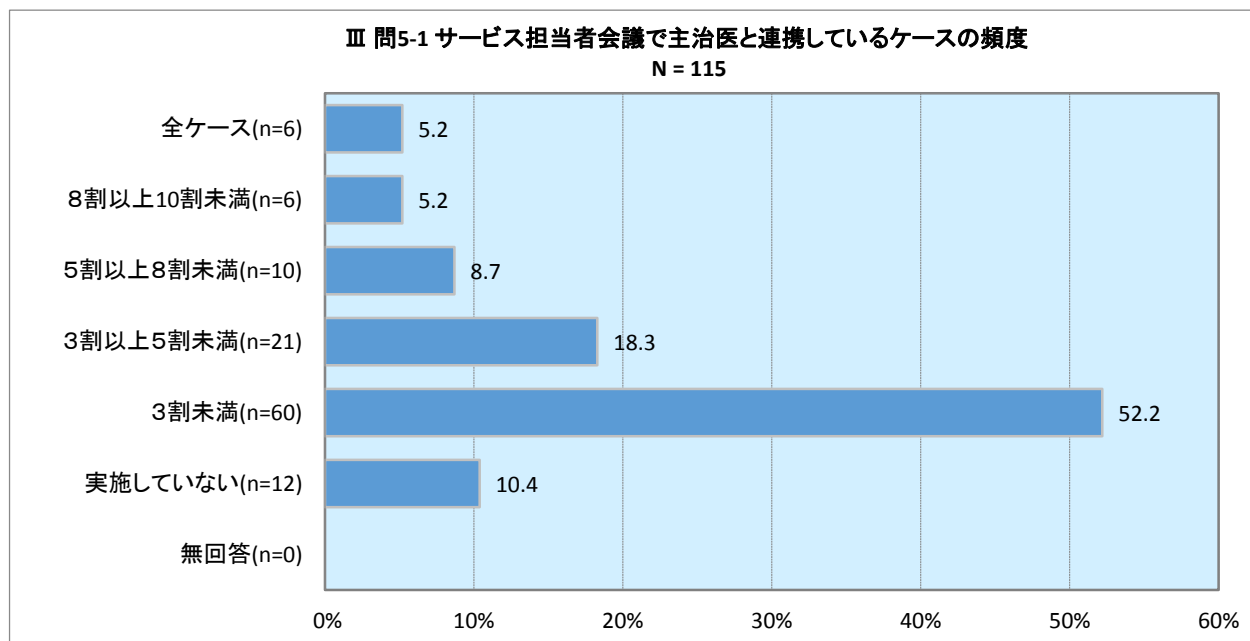
●【利用者が主体的にサービスを選択・利用できるよう、心がけていること】は、「利用者・家族へ利用できるサービスの説明をしている」が最多で77.4%（89件）、次いで、「利用者・家族へ介護保険制度の目的（自立支援）等の説明をしている」が70.4%（81件）、「利用者・家族へ作成したケアプランの説明をしている」が66.1%（76件）となっています。



回答条件：【Ⅰ 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問5-1 サービス担当者会議で主治医と連携しているケースの頻度（単一回答形式）

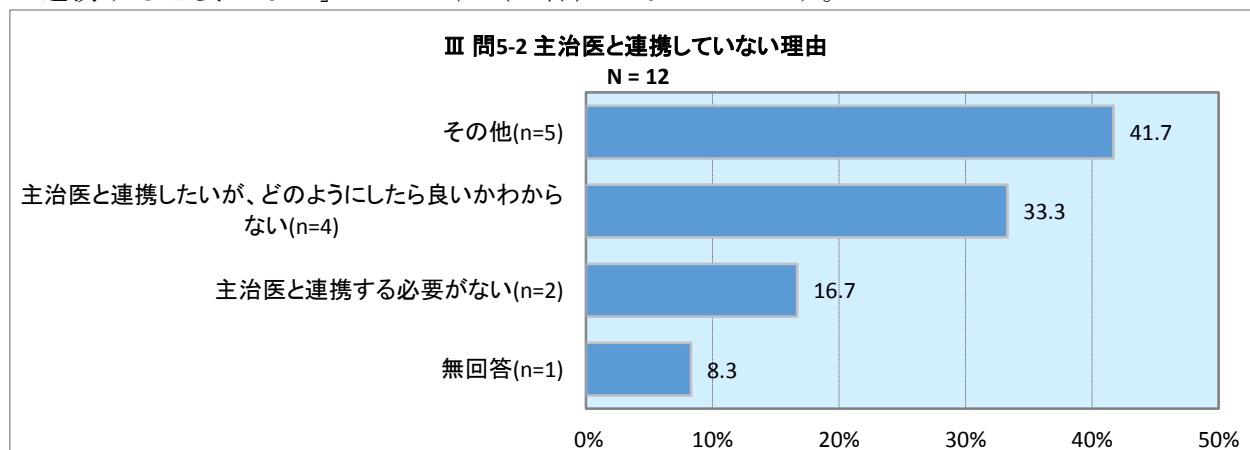
- 【サービス担当者会議で主治医と連携しているケースの頻度】は、「3割未満」が最多で52.2%（60件）、次いで、「3割以上5割未満」が18.3%（21件）、「実施していない」が10.4%（12件）となっています。



回答条件：【I 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問5-2 主治医と連携していない理由（単一回答形式）

- 【主治医と連携していない理由】は、「その他」が最多で41.7%（5件）、次いで、「主治医と連携したいが、どのようにしたら良いかわからない」が33.3%（4件）、「主治医と連携する必要がある」が16.7%（2件）となっています。



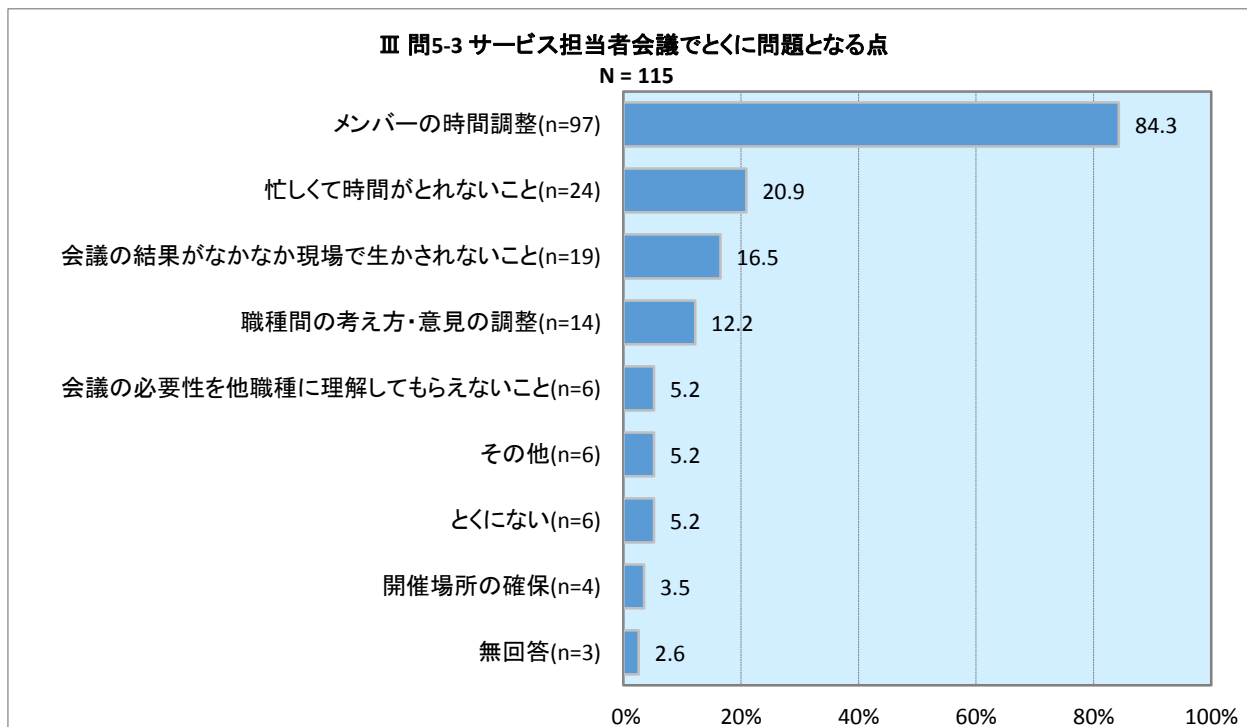
回答条件：【問5-1 サービス担当者会議で主治医と連携しているケースの頻度】で、「実施していない」の場合のみ回答

その他の意見

- ・主治医が忙しく期待できない。
- ・施設内で日頃から確認している。
- ・受診の際に伺っている。
- ・担当者会議ではなく受診に同行した時等に連携。
- ・訪問診療が月2回ある。

問5-3 サービス担当者会議でとくに問題となる点（複数回答形式）

●【問 5-3 サービス担当者会議でとくに問題となる点】は、「メンバーの時間調整」が最多で84.3%（97件）、次いで、「忙しくて時間がとれないこと」が20.9%（24件）、「会議の結果がなかなか現場で生かされないこと」が16.5%（19件）となっています。

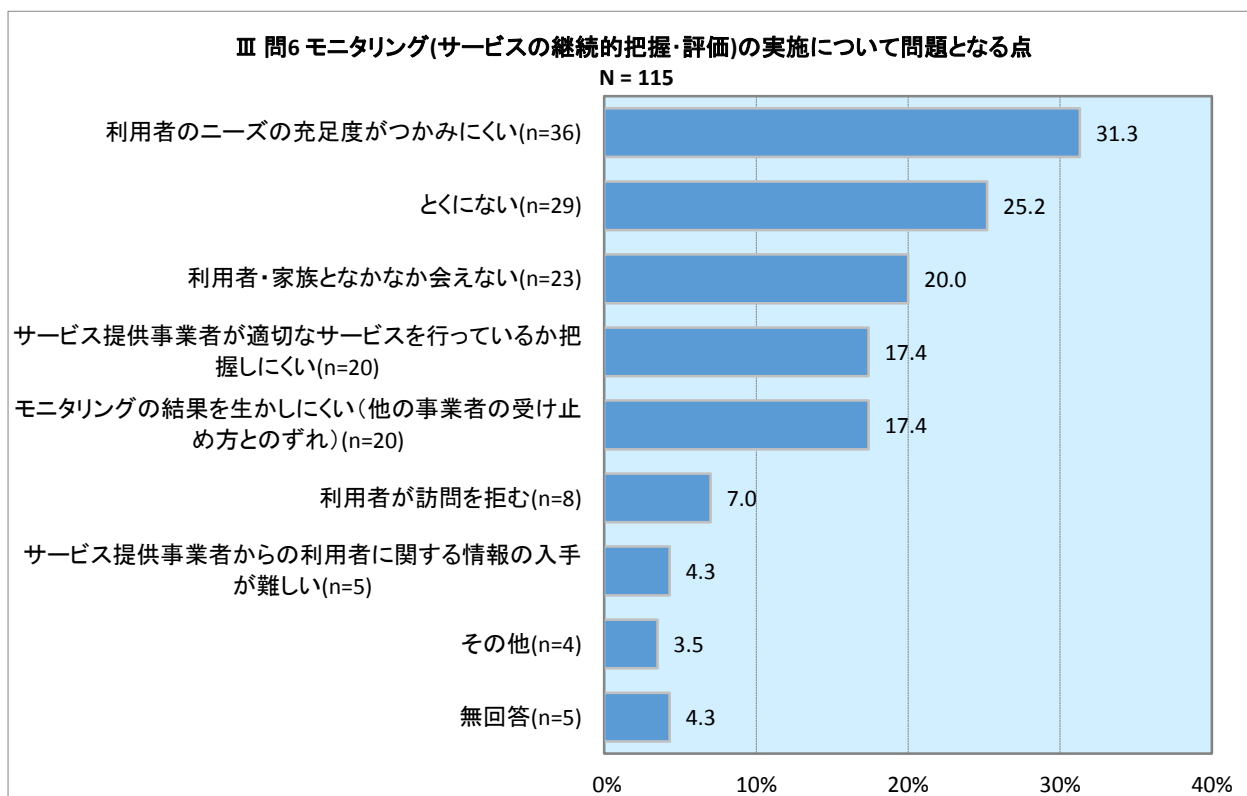


回答条件：【 I 問 5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答



問6 モニタリングの実施について問題となる点（複数回答形式）

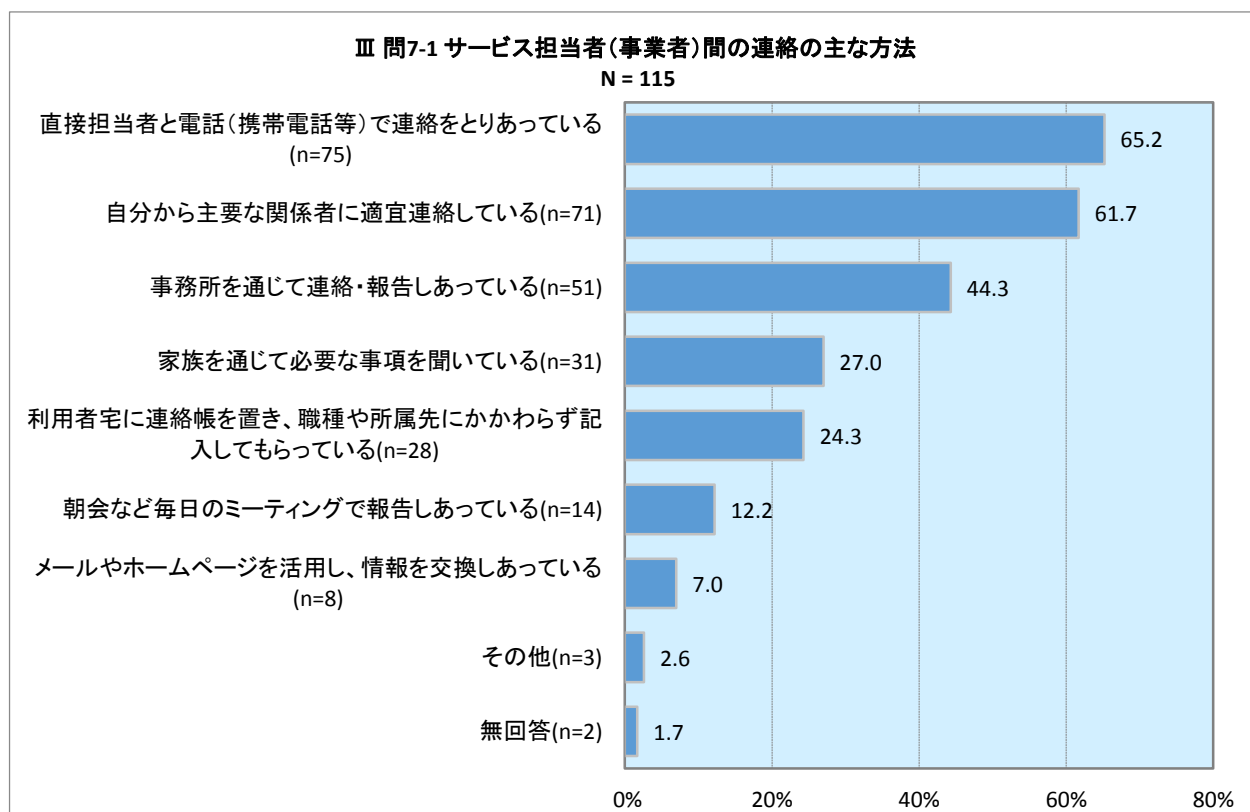
●【モニタリング（サービスの継続的把握・評価）の実施について問題となる点】は、「利用者のニーズの充足度がつかみにくい」が最多で31.3%（36件）、次いで、「とくにない」が25.2%（29件）、「利用者・家族となかなか会えない」が20.0%（23件）となっています。



回答条件：【Ⅰ 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問7-1 サービス担当者（事業者）間の連絡の主な方法（複数回答形式）

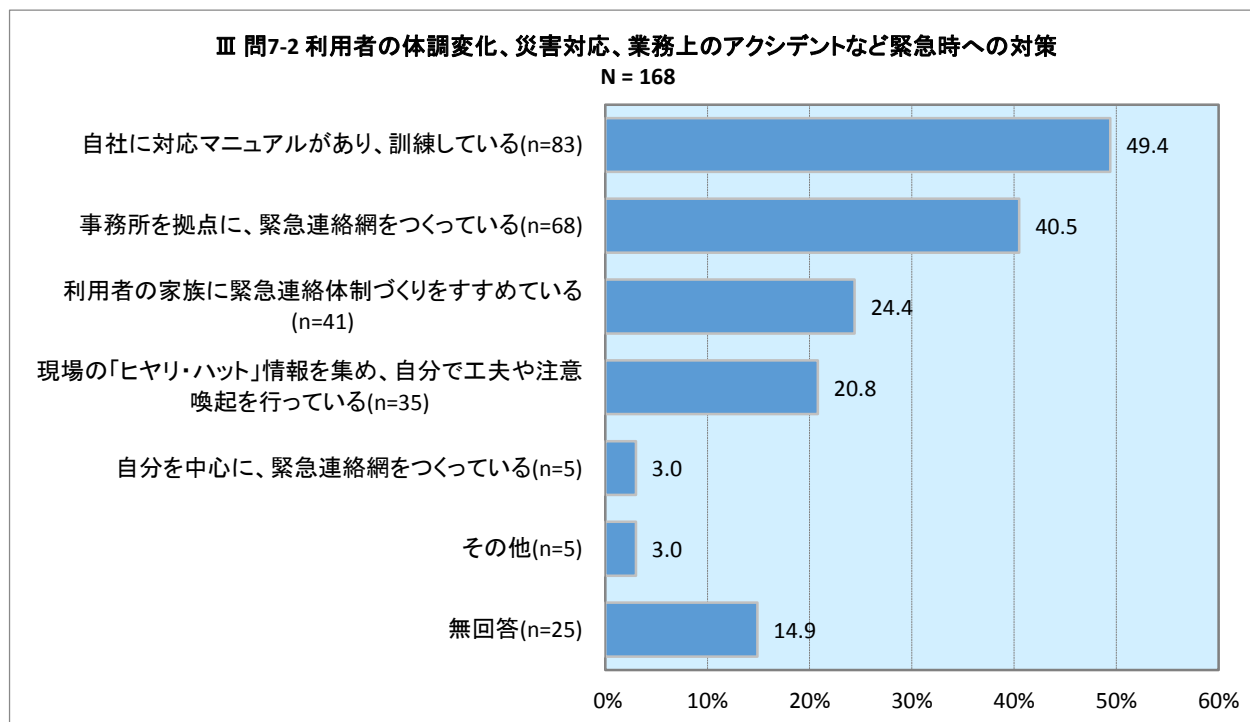
- 【サービス担当者（事業者）間の連絡の主な方法】は、「直接担当者と電話（携帯電話等）で連絡をとりあっている」が最多で65.2%（75件）、次いで、「自分から主要な関係者に適宜連絡している」が61.7%（71件）、「事務所を通じて連絡・報告しあっている」が44.3%（51件）となっています。



回答条件：【Ⅰ 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問7-2 利用者の体調変化など緊急時への対策（複数回答形式）

●【利用者の体調変化、災害対応、業務上のアクシデントなど緊急時への対策】は、「自社に対応マニュアルがあり、訓練している」が最多で49.4%（83件）、次いで、「事務所を拠点に、緊急連絡網をつくっている」が40.5%（68件）、「利用者の家族に緊急連絡体制づくりをすすめている」が24.4%（41件）となっています。



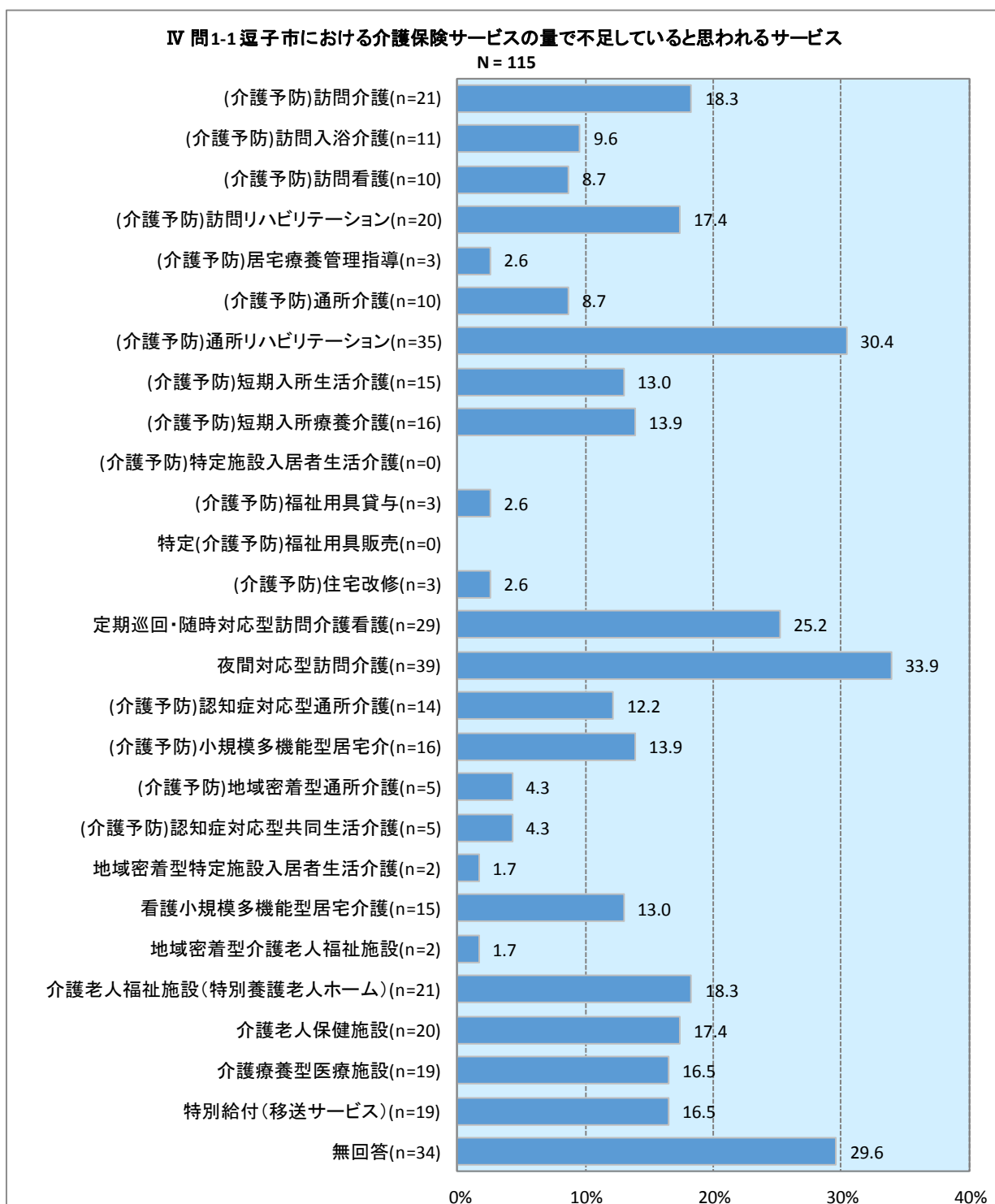
問7-3 地域包括支援センターとの連絡体制の望ましいあり方など（自由回答形式）

- ・横須賀市役所のように、地域包括の担当窓口と連携をすることがよい。
- ・もっと積極的に介護という事について知って欲しい。
- ・今まで関わりがあまりなかったが、相談は受けて行きたい。
- ・分からない事や困った事がある時に相談したい。
- ・誰がどのような仕事をしてどのような結果を出しているのかオープンにしてほしい。誰と連携とれば良いのか把握したい。
- ・現在のかかわり方の継続で災害時には各事業所への連絡の徹底及び災害状況を知らせてほしい。利用者の安否確認の初期情報がほしい。
- ・職員の人数が少なく連絡をしてもつながらないことがある。
- ・24時間の対応ができてないのは、「形」だけの存在と思うしかない。
- ・困難ケース等、ケアマネが相当困難な場合、包括と利用者の自己プラン作成の支援をお願いしたい。委託されたケースについて、どこまで関わってもらえるのか、更新時だけでない関わりについて悩む。困難なケースについて、相談しやすい体制を検討してほしい。時間的にも、就業が早く、土日祝も連絡がとれず、担当含め留守の時も多い。人員不足であると思う。
- ・相談したい時に連絡がとれる。
- ・協力的でとてもありがたい。相談にも気軽にのって下さり、適切なアドバイスをいただけることが多く良好な関係を保っている。
- ・大規模災害発生時の体制をどうするのかの協議してほしい（安否確認の役割分担、情報集約方法等）
- ・相談しやすい環境にあると思う。
- ・認知症状のある方が車に乗っている。どのように対応すればよいか体制をつくって頂きたい。
- ・問題が発生した時など、タイムリーに連携して頂き、役割に応じた対応をしてくれるとありがたい。
- ・逗子市の方がなく連絡体制がないため、今後、包括と連携していけたらと思う。
- ・予防支援など、解離している。現場の欲しい情報と離れている。事例は検討会など、スーパービジョンの機会をつくって、展開してほしい。
- ・養護老人ホームと地域包括支援センターとの接点を増やしたい。機会が頂けるならアピールしたいと思う。
- ・地域の情報や不安に思う事などを遠慮なく相談できる様に窓口が広がると良いと思う。個別に連絡すれば親切に対応して下さっているが、担当者も忙しい仕事なので…。また、日頃、目にする事の少ない福祉用具で展示される事が少ない。車いすの階段昇降機などの実際の操作のデモなどを見る機会を作ってもらえると今後の仕事に役立つと思う。
- ・「包括主催の行事が、利用者置き去りで、職員だけで盛り上がっている」とよく耳にする。利用者主体の行事をお願いしたい。
- ・逗子市包括支援センターと一緒にすることがないので、不明。
- ・生活保護者の次の施設への受け入れ時の協力等。
- ・利用者から電話等で苦情や問題提示があった場合、適切に対応していただいているので安心してサービスの提供ができる。

**Ⅳ 逗子市の提供サービス**

問 1-1 不足していると思われるサービス（複数回答形式）

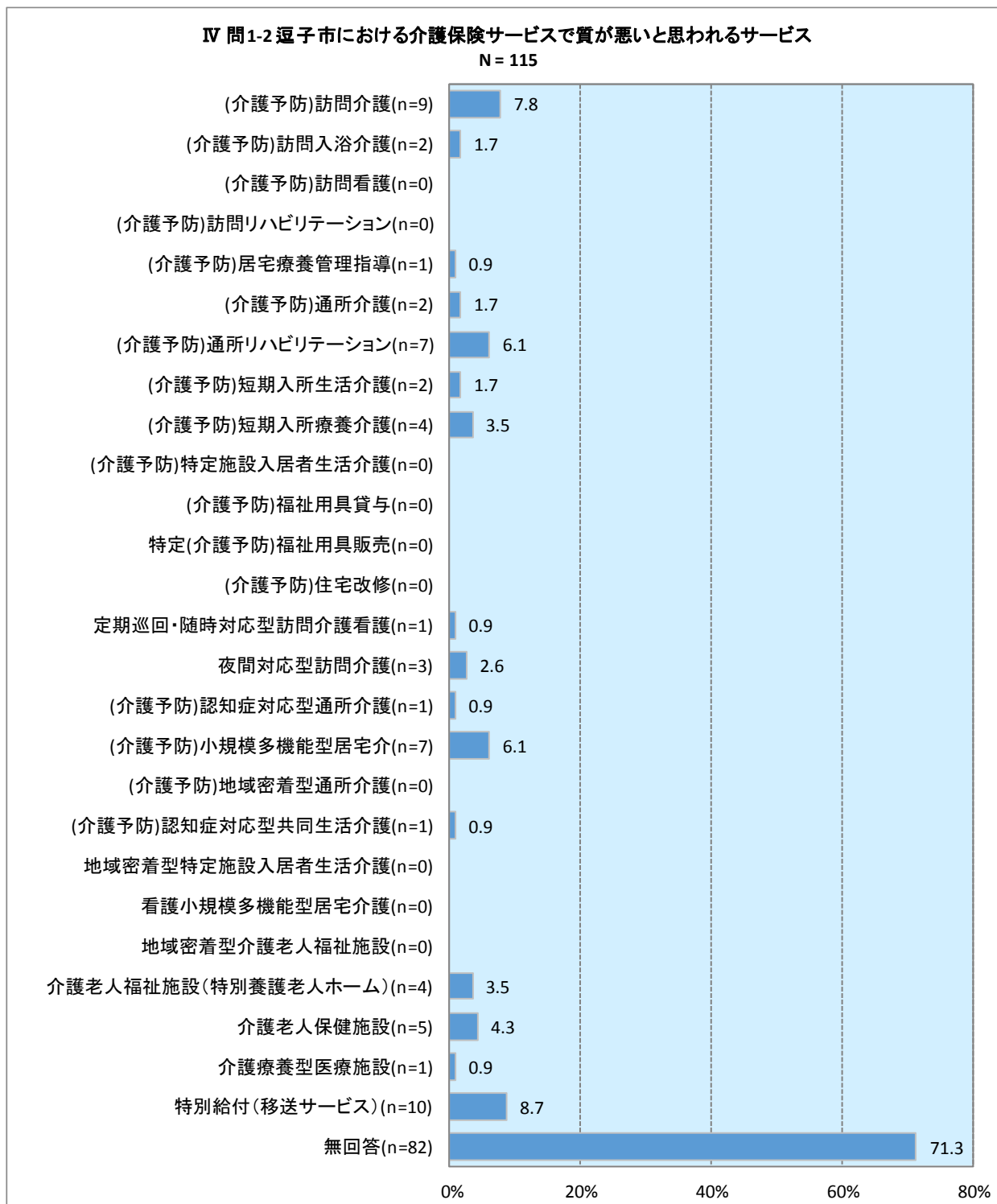
●【逗子市における介護保険サービスの量で不足していると思われるサービス】は、「夜間対応型訪問介護」が最多で33.9%（39件）、次いで、「（介護予防）通所リハビリテーション」が30.4%（35件）、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が25.2%（29件）となっています。



回答条件：【Ⅰ 問 5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問1-2 質が悪いと思われるサービス（複数回答形式）

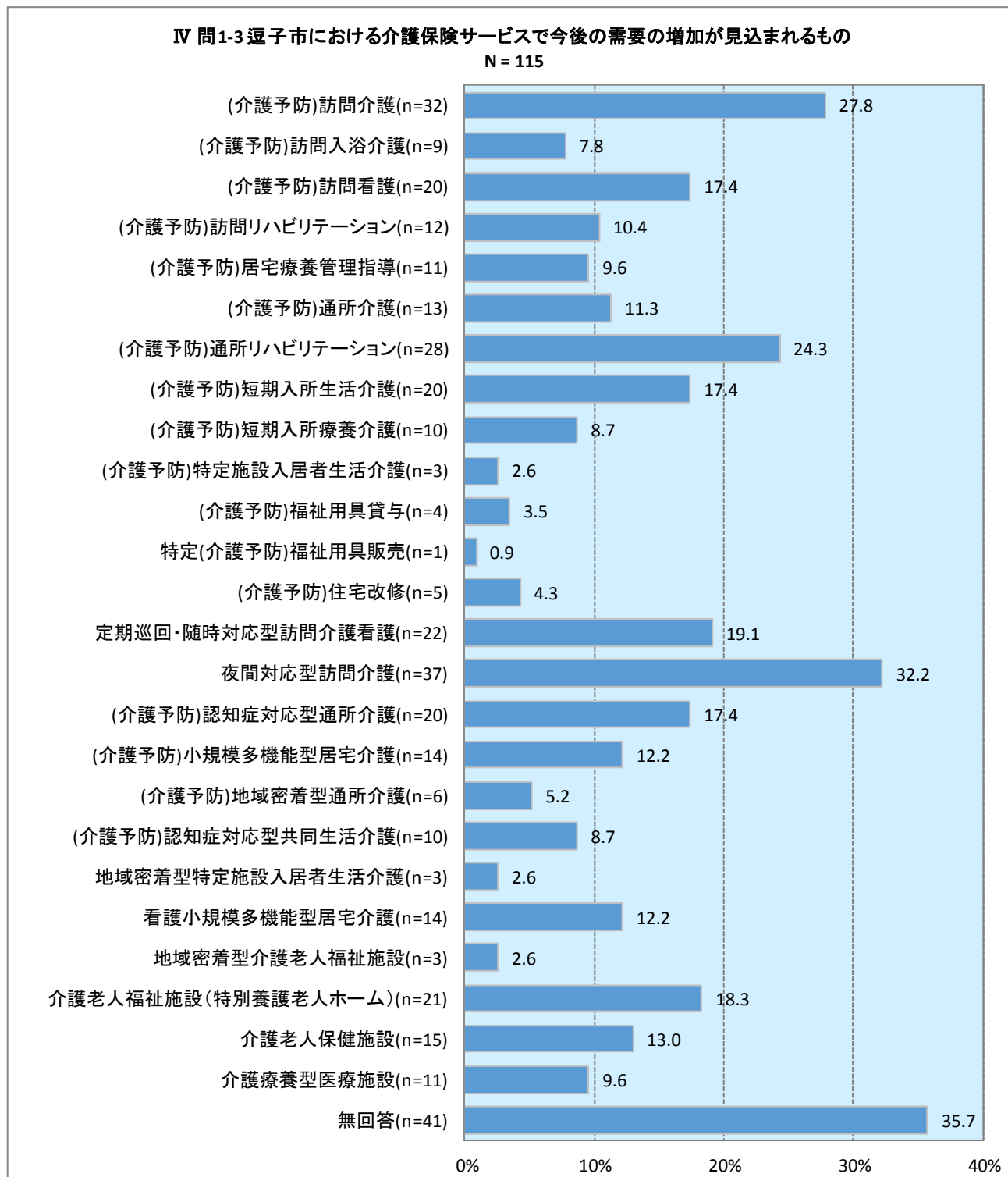
●【逗子市における介護保険サービスで質が悪いと思われるサービス】は、「特別給付（移送サービス）」が最多で8.7%（10件）、次いで、「（介護予防）訪問介護」が7.8%（9件）、「（介護予防）通所リハビリテーション」と「（介護予防）小規模多機能居宅介護」が6.1%（7件）となっています。なお、「無回答」が71.3%（82件）と高い割合となっています。



回答条件：【I 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問1-3 今後の需要の増加が見込まれるサービス（複数回答形式）

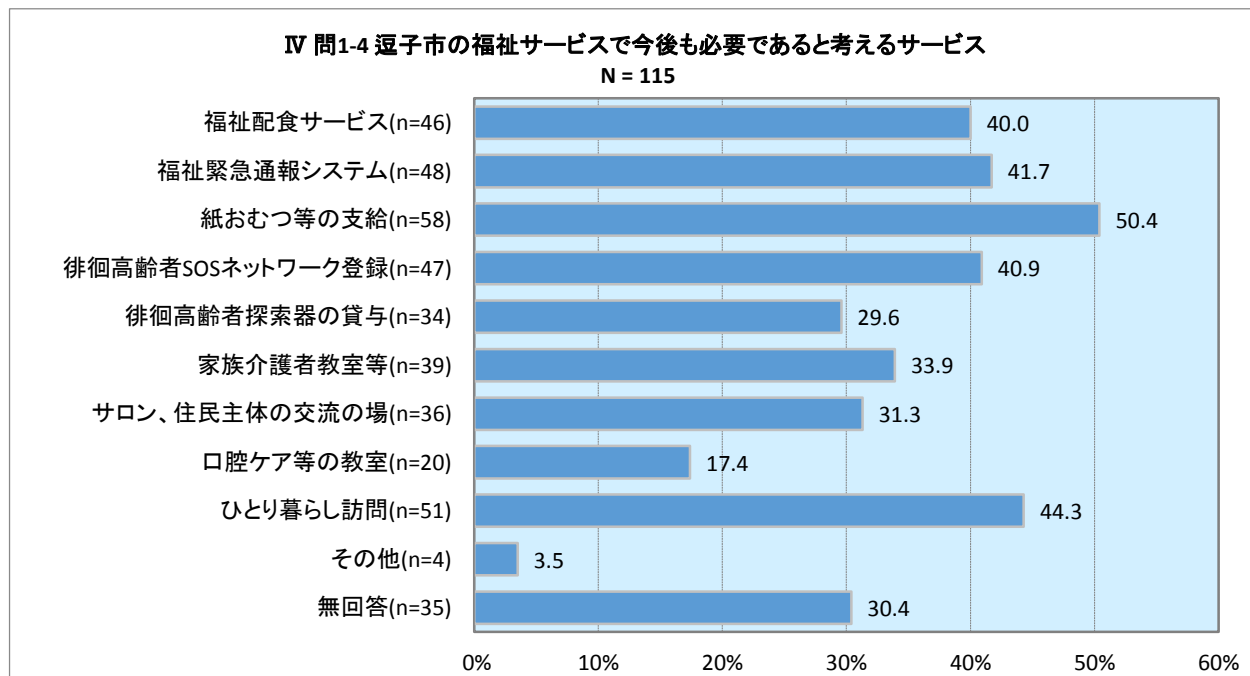
●【逗子市における介護保険サービスで今後の需要の増加が見込まれるもの】は、「夜間対応型訪問介護」が最多で 32.2%（37 件）、次いで、「（介護予防）訪問介護」が 27.8%（32 件）、「（介護予防）通所リハビリテーション」が 24.3%（28 件）となっています。



回答条件：【Ⅰ 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問1-4 福祉サービスで今後も必要なサービス（複数回答形式）

●【逗子市の福祉サービスで今後も必要であると考えるサービス】は、「紙おむつ等の支給」が最多で50.4%（58件）、次いで、「ひとり暮らし訪問」が44.3%（51件）、「福祉緊急通報システム」が41.7%（48件）となっています。



回答条件：【I 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問2 逗子市におけるサービス利用で気づいている点・問題と感ずる点（自由回答形式）

サービス全般(18件)

- ・福祉用具購入され、あまり使われないままになっている物(シャワーチェア、車いす、ポータブルトイレ)がある。新たな必要なケースにリサイクルしてはどうか。
- ・逗子市と横須賀市でルールが違うので戸惑うことがある。(横須賀は通院等乗降介助の事業所とヘルパーの事業所が異なってもOKである)
- ・特別給付の移送サービスの質が悪いこと。
- ・配食弁当事業所に助成金を出し、事業所を増やして欲しい。
- ・エレベーターのない公団や、高台にある住宅に移住される方の外出について、利用施設での送迎困難な場合があり、必要なサービス利用につながらないことがある。
- ・ストレッチャー対応などの移送サービスが少なく、退院時・外来受診時など非常に困っている。
- ・通院等乗降介助のサービスが少ない。入浴ができる半日型のデイがあると良い。
- ・老健の動きがよくないように見える。入所希望でも、部屋の空くののに時間がかかっているようである。
- ・疾吸引可能なヘルパー又はヘルパー事業所が不足。今後は身体介護が主になっていくには、経管栄養の技術向上などしないで養成できるとよい。
- ・住宅型にお住まいの方を担当しているため、サービスについては十分と考えている。



## 第6編 介護支援専門員（ケアマネジャー）調査（Ⅳ 逗子市の提供サービス）

- ・独居、高齢夫婦のみ世帯が多い市なのに、配慮が足りない。例えば、1人では乗れない特別サービス（移送）、箱で届くおむつ支給。
- ・以前、逗子市の福祉給食は、とてもお年寄りが喜んでおいしく食べていたが、業者に委託してから、「生きていくには、食べるしかない。がまんしている」と利用者からよく聞く。
- ・タクシー券等の助成が少ない。
- ・本来の機能をきちんと発揮してほしい。数が少ないサービスほど事業所の意向で利用方針が決められているのはおかしい。サービス付住宅における支援のあり方はきちんと指導願いたい。
- ・地域包括支援センターとの連携を強化し、ショート利用やDVの受け入れの窓口として機能していきたい。
- ・機能訓練型の通所介護（短時間）が足りない。
- ・認定調査票特記事項が横須賀市と違い書きづらい。
- ・老健、特養施設が少ない点。

### 市への要望（3件）

- ・介護保険の事務処理が無駄に煩雑。毎年同じ質問をし、反映しないのなら聞かないでもらいたい。鎌倉を見習ってほしい。
- ・認定調査の書式が記入しづらい。
- ・民生委員との連携。市のサービス通知が不十分である。

### 高齢者の生活実態の課題（2件）

- ・セルフネグレクトやサービスに結びつかない方の対応。
- ・家族がいつも高齢者同志の生活支援は必須だと考える。家族も病弱利用者本人だけではない。

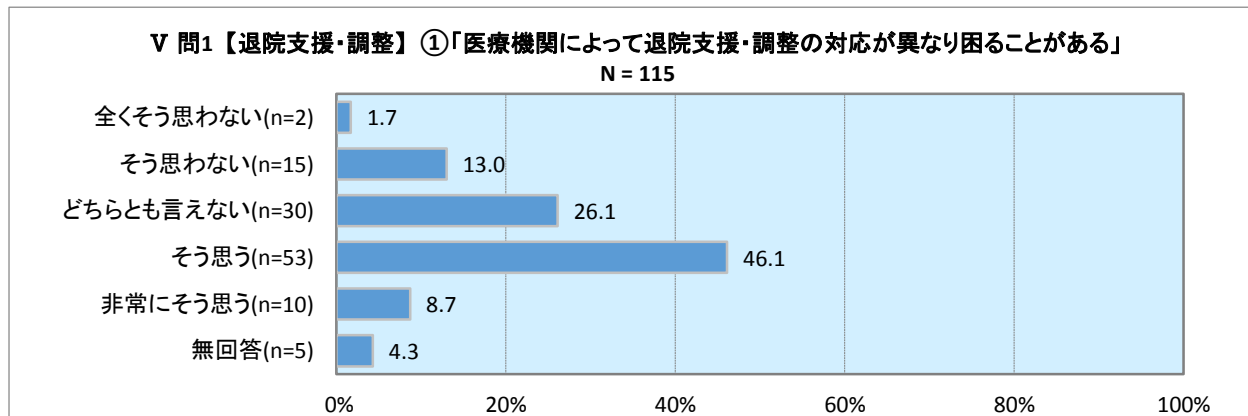
### その他（3件）

- ・貧困がサービス利用拒否、虐待を引き起こすことが危惧される。他制度との連携を道筋つけてほしい。
- ・逗子市のサービスを利用していないのでわからない。
- ・今は、利用者・介護者・サービス提供者にすべてに対してケアが必要な時代。それぞれのケア体制が整えられたらよいと思う。

## V 医療・介護連携

## 問1 退院支援・調整について感じていること（単一回答形式）

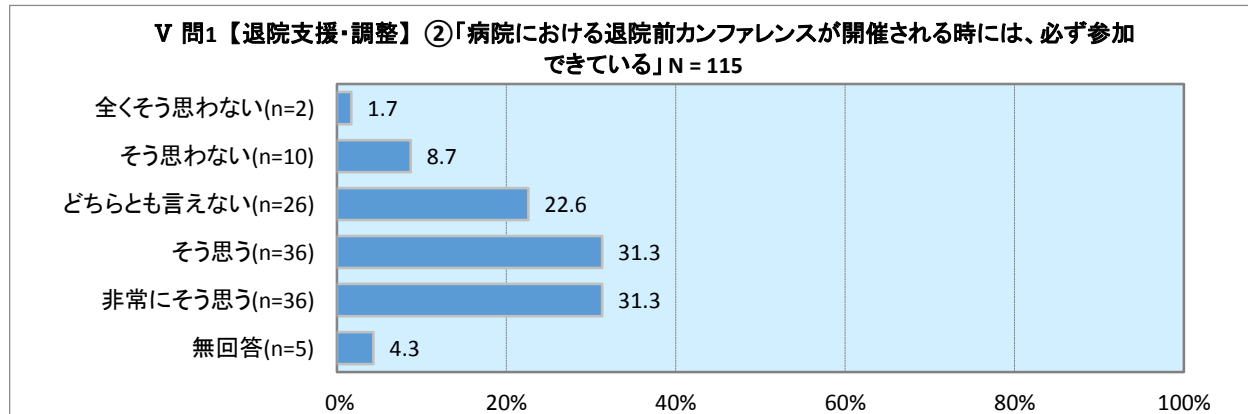
- 【① 医療機関によって退院支援・調整の対応が異なり困ることがある】では、「そう思う」が最多で46.1%（53件）、次いで、「どちらとも言えない」が26.1%（30件）、「そう思わない」が13.0%（15件）、「そう思わない」が13.0%（15件）となっています。



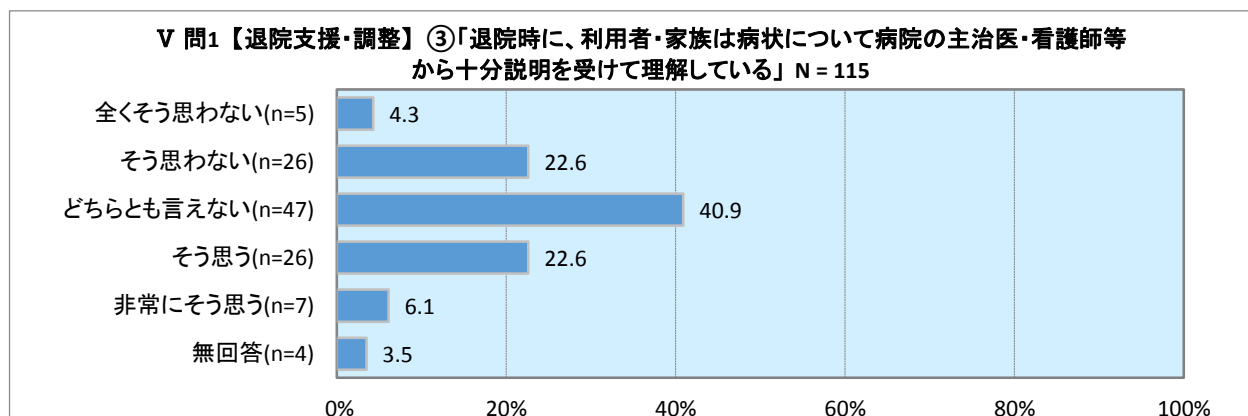
回答条件：【I 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

※以下、同回答条件

- 【② 病院における退院前カンファレンスが開催される時には、必ず参加できている】では、「そう思う」と「非常にそう思う」が最多で31.3%（36件）、「どちらとも言えない」が22.6%（26件）となっています。

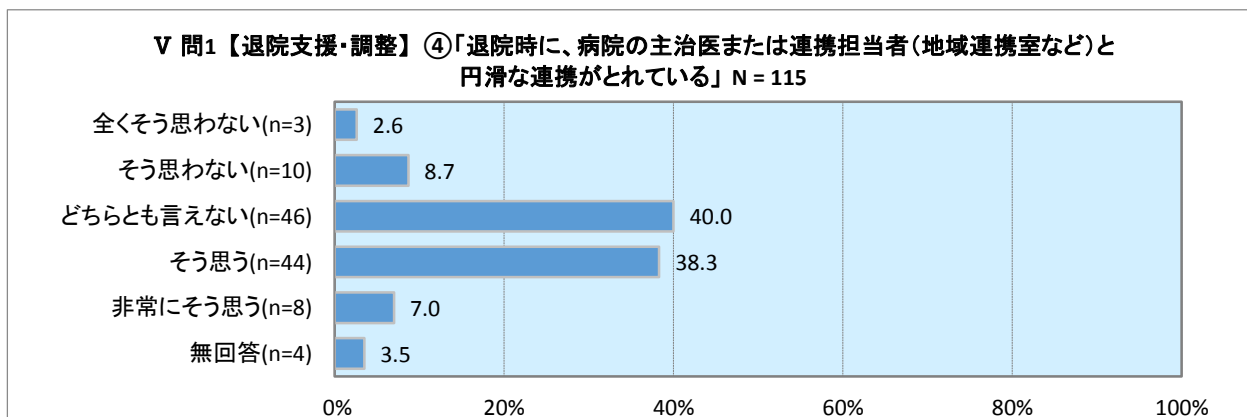


- 【③ 退院時に、利用者・家族は病状について病院の主治医・看護師等から十分説明を受けて理解している】では、「どちらとも言えない」が最多で40.9%（47件）、次いで、「そう思わない」と「そう思う」が22.6%（26件）となっています。

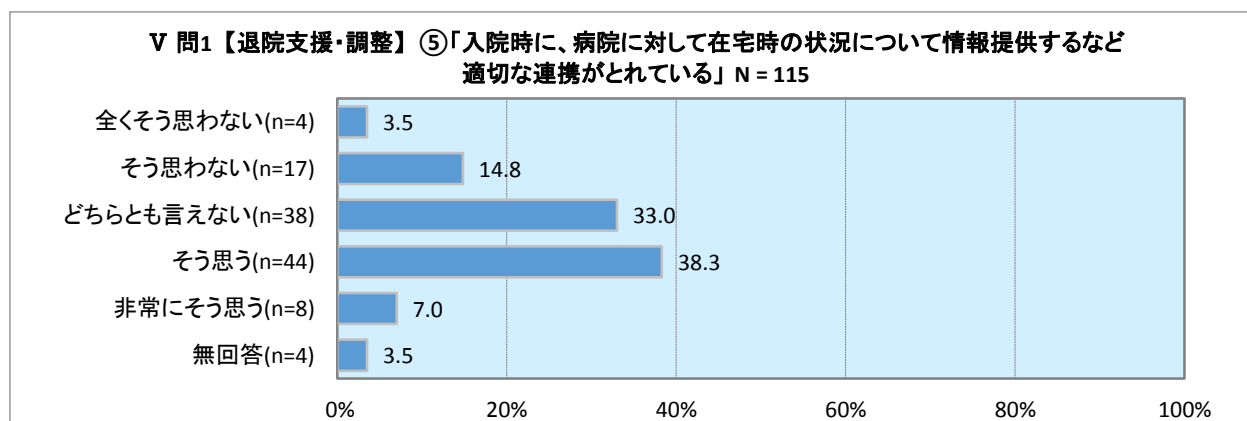


第6編 介護支援専門員（ケアマネジャー）調査（V 医療・介護連携）

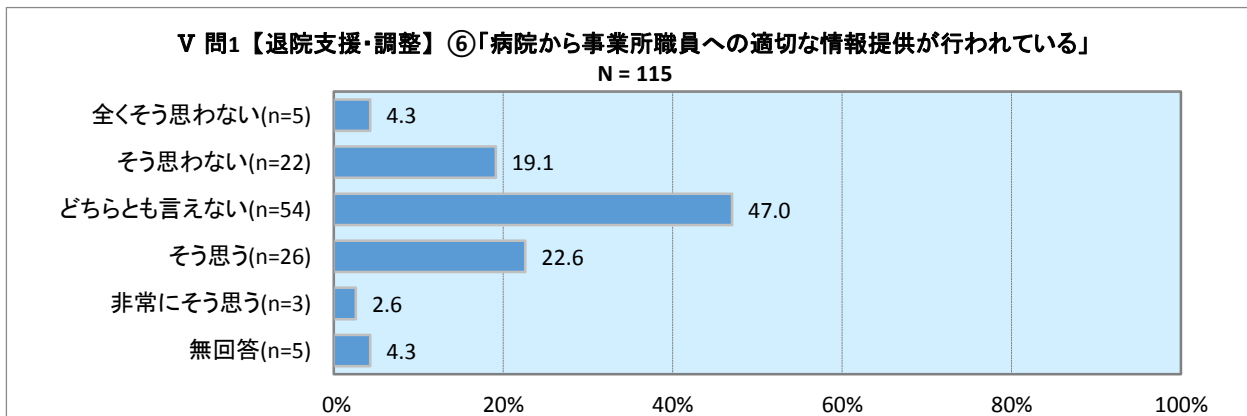
- 【④ 退院時に、病院の主治医または連携担当者（地域連携室など）と円滑な連携がとれている】は、「どちらとも言えない」が最多で40.0%（46件）、次いで、「そう思う」が38.3%（44件）、「そう思わない」が8.7%（10件）となっています。



- 【⑤ 入院時に、病院に対して在宅時の状況について情報提供するなど適切な連携がとれている】では、「そう思う」が最多で38.3%（44件）、次いで、「どちらとも言えない」が33%（38件）、「そう思わない」が14.8%（17件）となっています。



- 【⑥ 病院から事業所職員への適切な情報提供が行われている】では、「どちらとも言えない」が最多で47.0%（54件）、次いで、「そう思う」が22.6%（26件）、「そう思わない」が19.1%（22件）となっています。

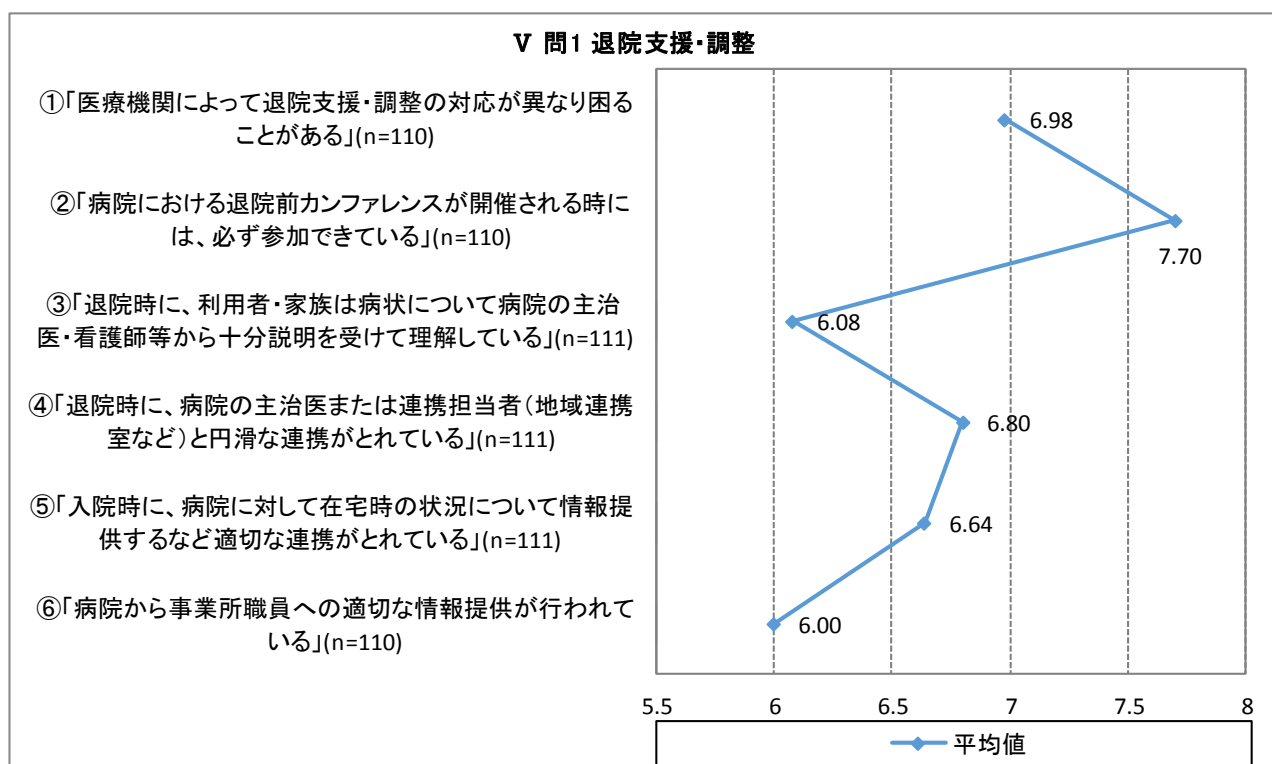


問1 退院支援・調整について感じていること ～加重平均値による分析～

- 「問1 退院支援・調整について感じていること」の回答結果を、それぞれ選択肢に応じ点数化（「全くそう思わない」が+2、「そう思わない」が+4、「どちらとも言えない」が+6、「そう思う」が+8、「非常にそう思う」が+10）し、それぞれの項目ごとのポイント（加重平均値）を算出しました。
- ②「病院における退院前カンファレンスが開催される時に、必ず参加できている」（n=110）が7.70ポイントと高くなっています。
- 一方、下位3件を挙げると、⑥「病院から事業所職員への適切な情報提供が行われている」（n=110）が6.00ポイント、③「退院時に、利用者・家族は病状について病院の主治医・看護師等から十分説明を受けて理解している」（n=111）が6.08ポイント、⑤「入院時に、病院に対して在宅時の状況について情報提供するなど適切な連携がとれている」（n=111）が6.64ポイントと低く、相対的に課題であると考えられます。

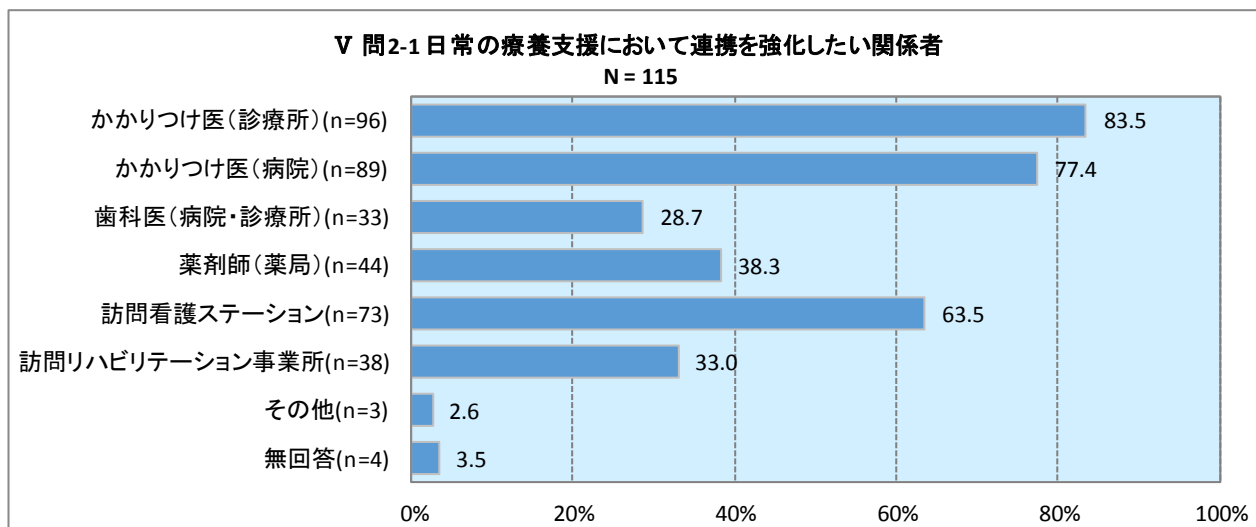
○ポイント（加重平均値）の算出について  
 ・回答結果を、それぞれ右のように選択肢に  
 加点（1～10点）し、それぞれの項目ご  
 のポイント（加重平均値）を算出しました。

選択肢	加点
全くそう思わない	+2
そう思わない	+4
どちらとも言えない	+6
そう思う	+8
非常にそう思う	+10
無回答	未集計



問2-1 日常の療養支援において連携を強化したい関係者（複数回答形式）

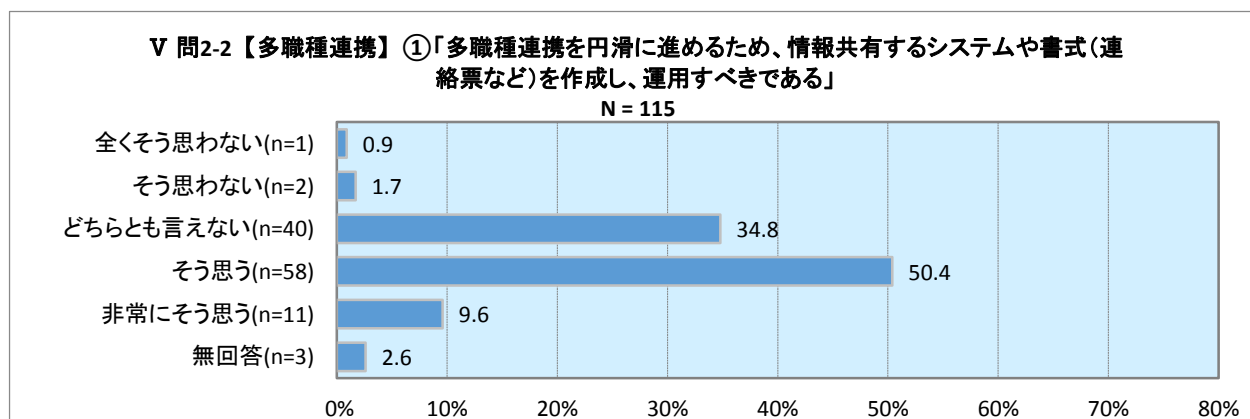
●【日常の療養支援において連携を強化したい関係者】は、「かかりつけ医（診療所）」が最多で83.5%（96件）、次いで、「かかりつけ医（病院）」が77.4%（89件）、「訪問看護ステーション」が63.5%（73件）となっています。



回答条件：【I 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問2-2 多職種連携について感じていること（単一回答形式）

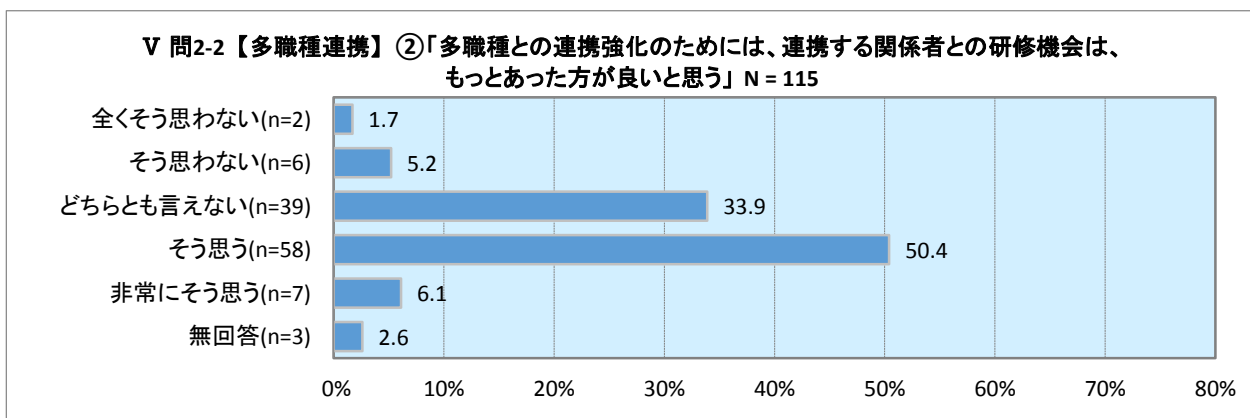
- 【① 多職種連携を円滑に進めるため、情報共有するシステムや書式（連絡票など）を作成し、運用すべきである】では、「そう思う」が最多で50.4%（58件）、次いで、「どちらとも言えない」が34.8%（40件）、「非常にそう思う」が9.6%（11件）となっています。



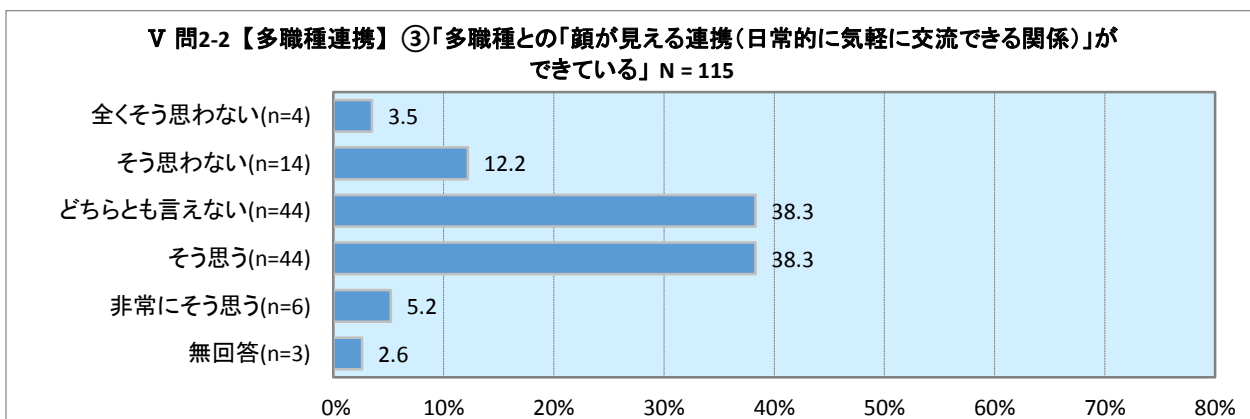
回答条件：【Ⅰ 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

※以下、同回答条件

- 【② 多職種との連携強化のためには、連携する関係者との研修機会は、もっとあった方が良いと思う】では、「そう思う」が最多で50.4%（58件）、次いで、「どちらとも言えない」が33.9%（39件）、「非常にそう思う」が6.1%（7件）となっています。



- 【③ 多職種との「顔が見える連携（日常的に気軽に交流できる関係）」ができている】では、「どちらとも言えない」と「そう思う」が最多で38.3%（44件）、次いで、「そう思わない」が12.2%（14件）となっています。

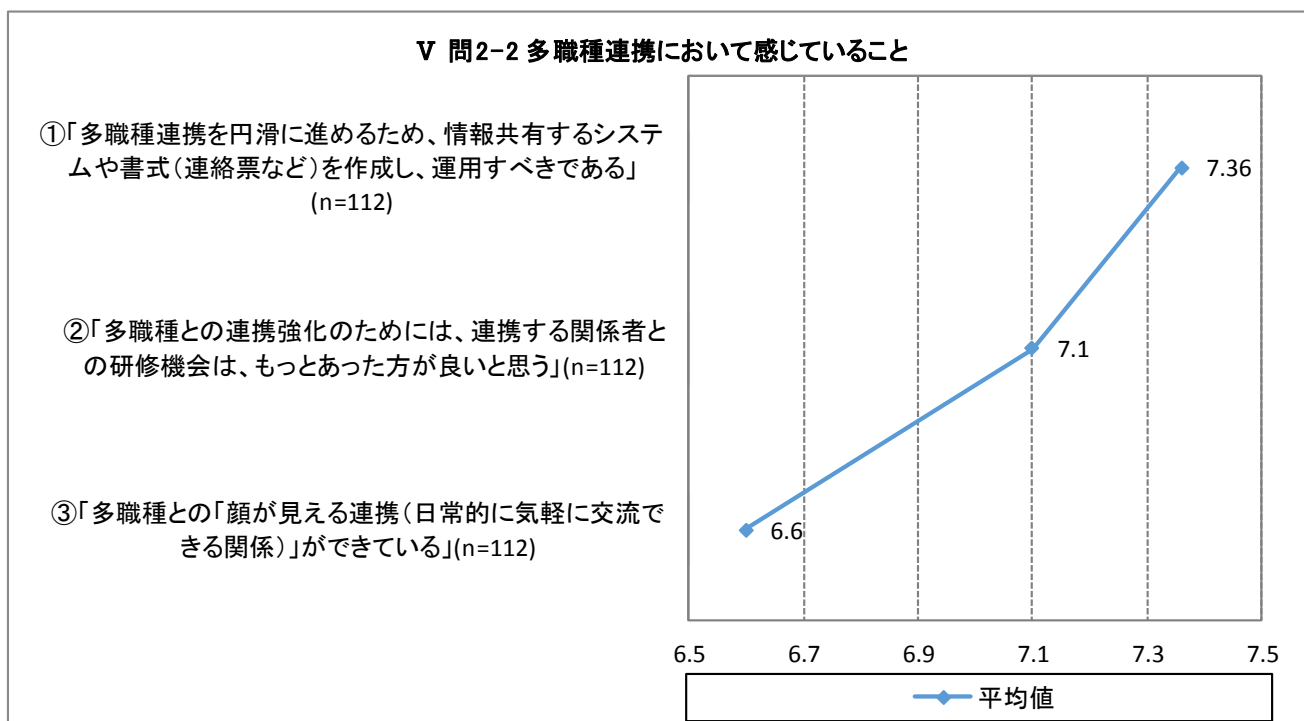


問2-2 多職種連携について感じていること ～加重平均値による分析～

- 「多職種連携について感じていること」の回答結果を、それぞれ選択肢に応じ点数化（「全くそう思わない」が+2、「そう思わない」が+4、「どちらとも言えない」が+6、「そう思う」が+8、「非常にそう思う」が+10）し、それぞれの項目ごとのポイント（加重平均値）を算出しました。
- ①「多職種連携を円滑に進めるため、情報共有するシステムや書式（連絡票など）を作成し、運用すべきである」（n=112）が7.36ポイント、②「多職種との連携強化のためには、連携する関係者との研修機会は、もっとあった方が良いと思う」（n=112）が7.1ポイントとなり、相対的に重要であることが見られます。

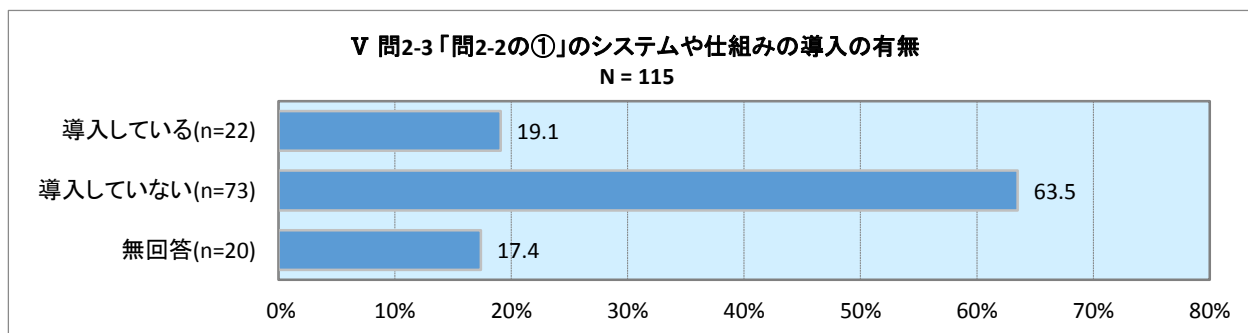
○ポイント（加重平均値）の算出について  
 ・回答結果を、それぞれ右のように選択肢に  
 加点（1～10点）し、それぞれの項目ご  
 のポイント（加重平均値）を算出しました。

選択肢	加点
全くそう思わない	+2
そう思わない	+4
どちらとも言えない	+6
そう思う	+8
非常にそう思う	+10
無回答	未集計



## 問2-3 「問2-2の①」のシステムや仕組みの導入の有無（単一回答形式）

- 【問2-2の「①多職種連携を円滑に進めるため、情報共有するシステムや書式（連絡票など）を作成」のシステムや仕組みの導入の有無】は、「導入している」が19.1%（22件）、「導入していない」が63.5%（73件）となっています。



回答条件：【I 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

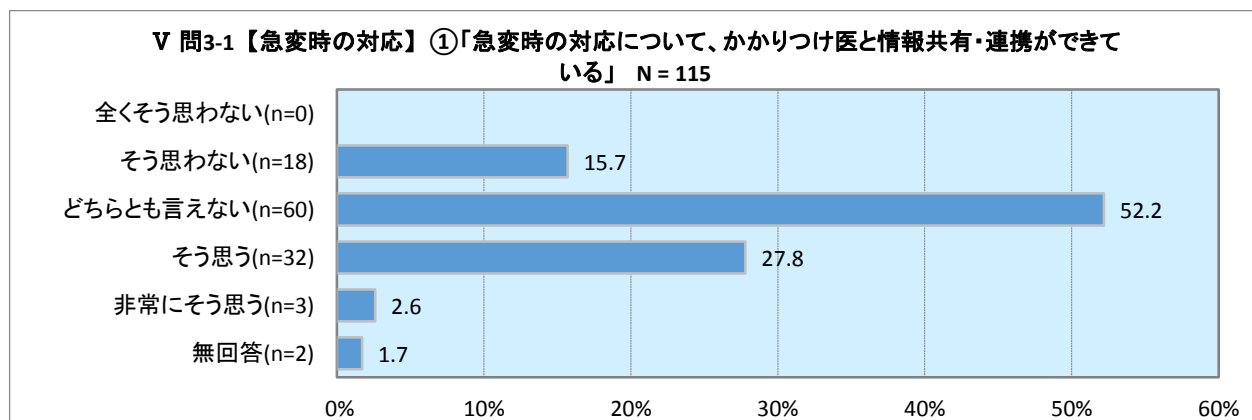
## 「導入している」の場合の仕組み

- ・インターネットにおける情報共有ツール（3件）
- ・主治医とのファイル共有ソフトの活用
- ・日々連絡をとりあっている。
- ・各専門職アセスメントの提出・利用者の細かな状態をパソコンへの入力を徹底している。
- ・医師との連携ファックス書式。
- ・日頃から連絡相談を密にし対応する。
- ・主治医の在宅医療への取り組み方により違いが生じる。
- ・顔の見える関係があってシステムが活きると思う。
- ・モニタリング式など
- ・メール
- ・共通の書式はないが、あまり書類がふえるのも混乱を招く。
- ・定期的に勉強会を開催
- ・パソコンで関係ある事業所とメールでのやりとり
- ・サービス提供時に訪問をしたり、何かあれば電話にて連携を取っている。
- ・同一法人の訪問介護事業所とは毎月研修を行っている。
- ・医師との連絡票を作成して活用している。
- ・連絡票を作成し、活用している。
- ・連絡等、全体会議
- ・照会票など
- ・院内LANを導入予定
- ・連携について会議に参加した報告を受けている。



問3-1 急変時の対応で感じていること（単一回答形式）

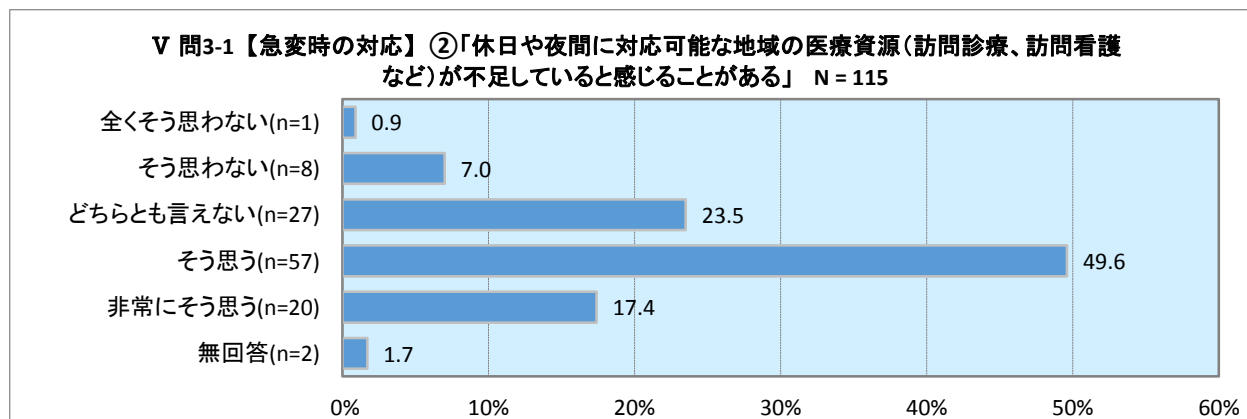
- 【① 急変時の対応について、かかりつけ医と情報共有・連携ができていると思うか】は、「どちらとも言えない」が最多で 52.2%（60 件）、次いで、「そう思う」が 27.8%（32 件）、「そう思わない」が 15.7%（18 件）となっています。



回答条件：【I 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

※以下、同回答条件

- 【②「休日や夜間に対応可能な地域の医療資源（訪問診療、訪問看護など）が不足していると感じることがあると思うか】は、「そう思う」が最多で 49.6%（57 件）、次いで、「どちらとも言えない」が 23.5%（27 件）、「非常にそう思う」が 17.4%（20 件）となっています。



問3-1 急変時の対応で感じていること ～加重平均値による分析～

- 「急変時の対応で感じていること」の回答結果を、それぞれ選択肢に応じ点数化（「全くそう思わない」が+2、「そう思わない」が+4、「どちらとも言えない」が+6、「そう思う」が+8、「非常にそう思う」が+10）し、それぞれの項目ごとのポイント（加重平均値）を算出しました。
- ①「急変時の対応について、かかりつけ医と情報共有・連携ができている」（n=113）が6.36ポイント、②「休日や夜間に対応可能な地域の医療資源（訪問診療、訪問看護など）が不足していると感じることがある」（n=113）が7.54ポイントとなっています。

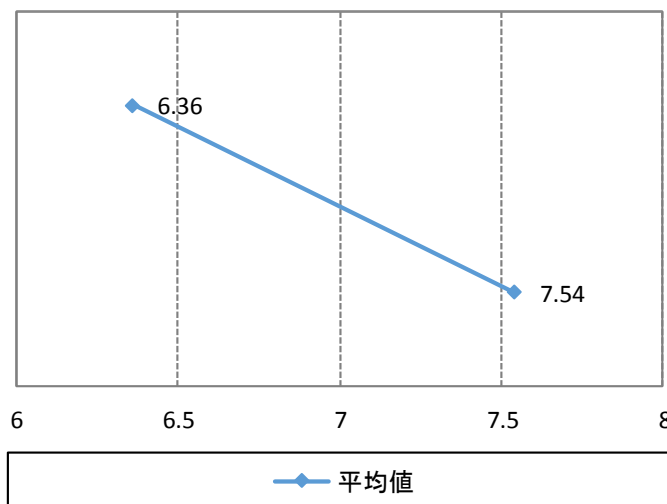
○ポイント（加重平均値）の算出について  
 ・回答結果を、それぞれ右のように選択肢に  
 加点（1～10点）し、それぞれの項目ごとの  
 ポイント（加重平均値）を算出しました。

選択肢	加点
全くそう思わない	+ 2
そう思わない	+ 4
どちらとも言えない	+ 6
そう思う	+ 8
非常にそう思う	+10
無回答	未集計

V 問3-1 急変時の対応で感じていること

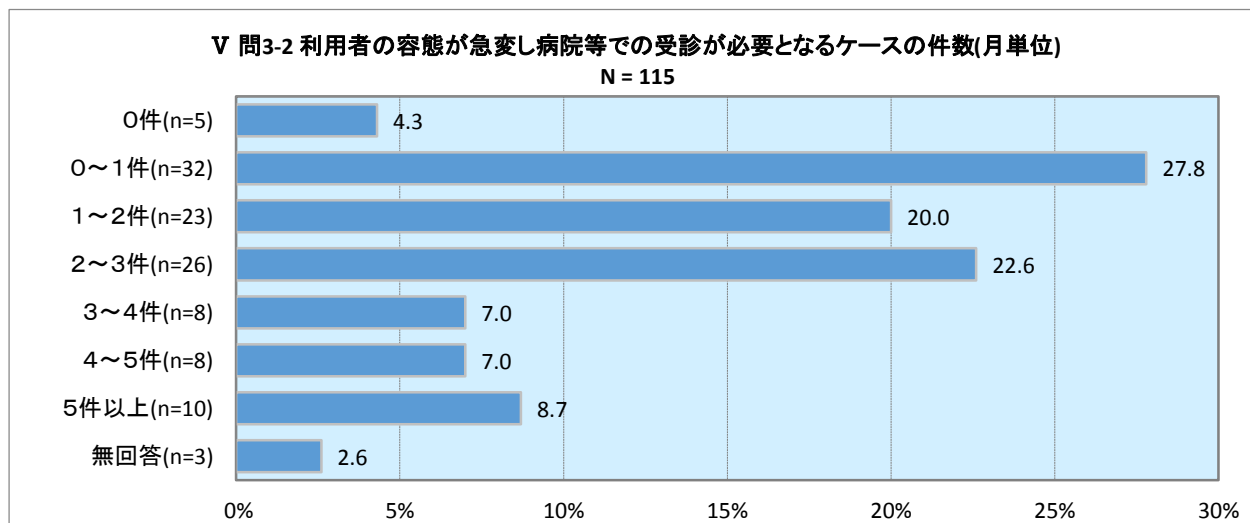
①「急変時の対応について、かかりつけ医と情報共有・連携ができている」(n=113)

②「休日や夜間に対応可能な地域の医療資源（訪問診療、訪問看護など）が不足していると感じることがある」(n=113)



問3-2 利用者の容態が急変し病院等での受診が必要となるケースの件数（単一回答形式）

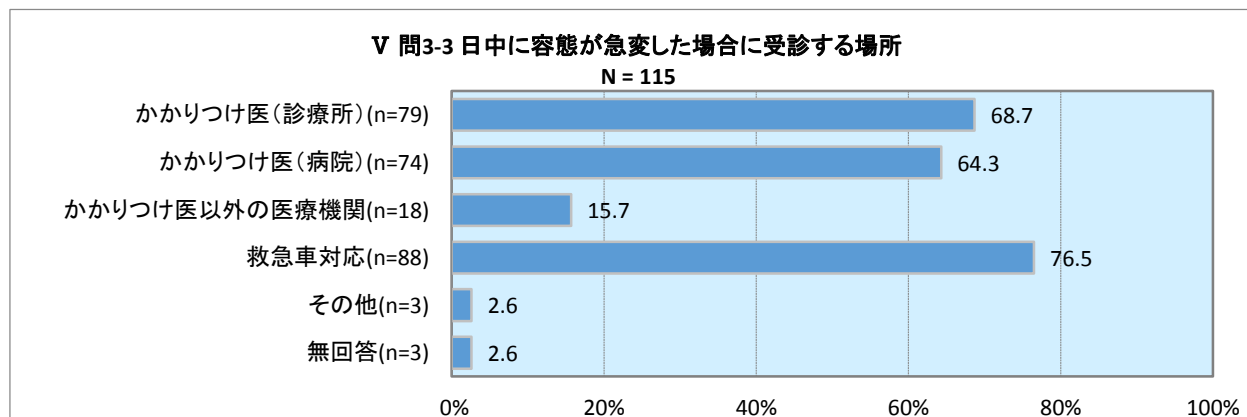
●【利用者の容態が急変し病院等での受診が必要となるケースの件数(月単位)】は、「0～1件」が最多で27.8%（32件）、次いで、「2～3件」が22.6%（26件）、「1～2件」が20.0%（23件）となっています。



回答条件：【I 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問3-3 日中に容態が急変した場合に受診する場所（複数回答形式）

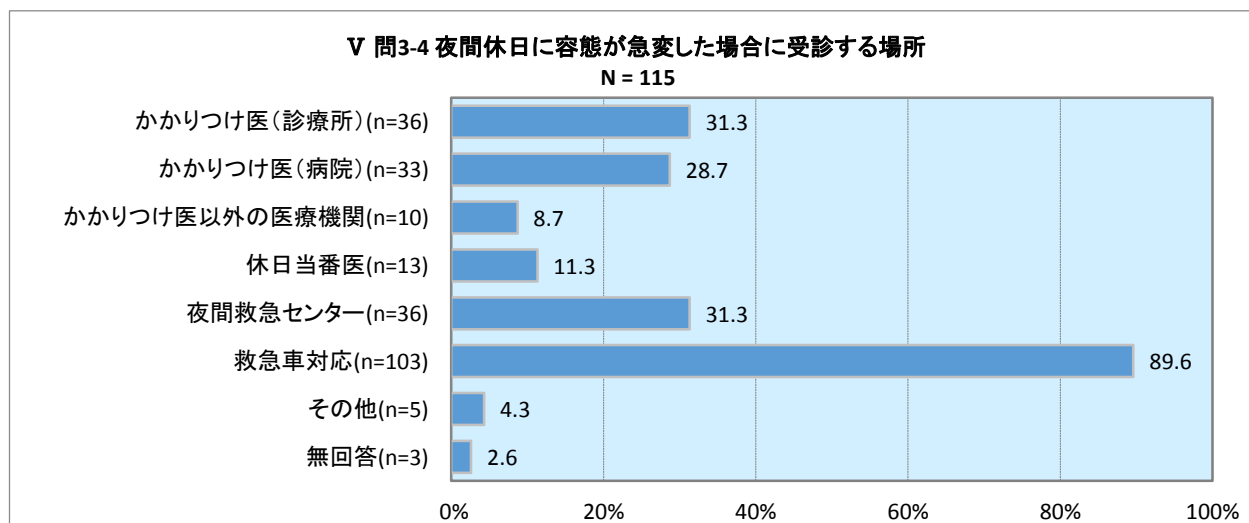
●【日中に容態が急変した場合に受診する場所】は、「救急車対応」が最多で76.5%（88件）、次いで、「かかりつけ医（診療所）」が68.7%（79件）、「かかりつけ医（病院）」が64.3%（74件）となっています。



回答条件：【I 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問3-4 夜間休日に容態が急変した場合に受診する場所（複数回答形式）

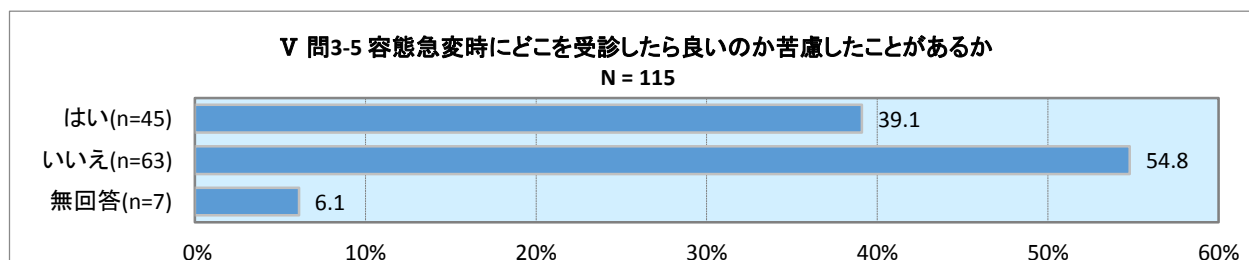
●【夜間休日に容態が急変した場合に受診する場所】は、「救急車対応」が最多で89.6%（103件）、次いで、「かかりつけ医（診療所）」と「夜間救急センター」が31.3%（36件）となっています。



回答条件：【Ⅰ 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問3-5 容態急変時に受診先で苦慮したことがあるか（単一回答形式）

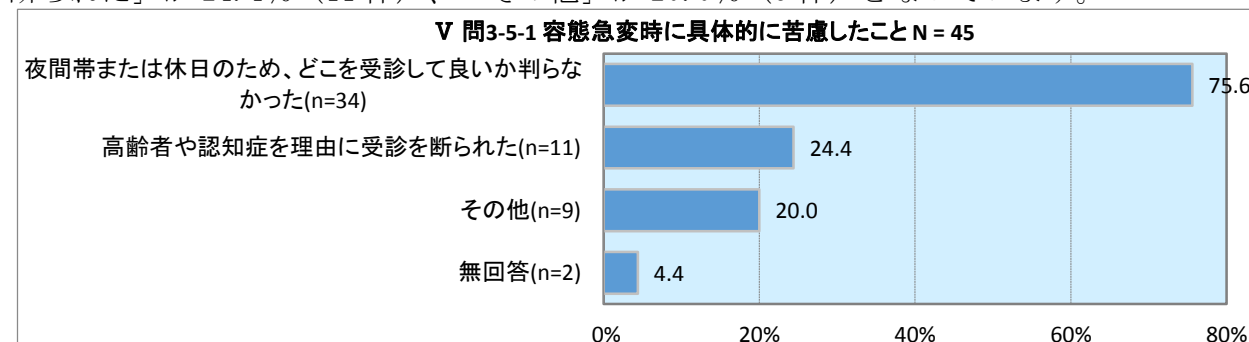
●【容態急変時にどこを受診したら良いのか苦慮したことがあるか】は、「はい」が39.1%（45件）、「いいえ」が54.8%（63件）となっています。



回答条件：【Ⅰ 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問3-5-1 容態急変時に具体的に苦慮したこと（複数回答形式）

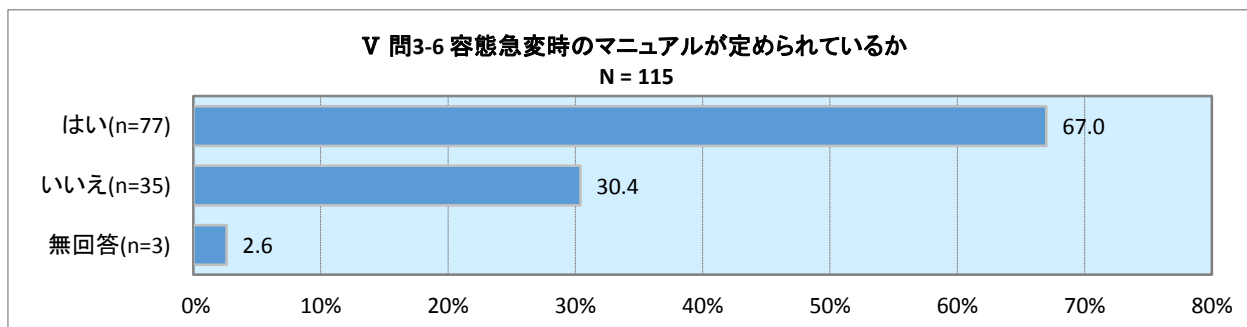
●【容態急変時に具体的に苦慮したこと】は、「夜間帯または休日のため、どこを受診して良いか判らなかつた」が最多で75.6%（34件）、次いで、「高齢者や認知症を理由に受診を断られた」が24.4%（11件）、「その他」が20.0%（9件）となっています。



回答条件：【問3-5 容態急変時に受診先で苦慮したことがあるか】で、「はい」の場合のみ回答

問3-6 容態急変時のマニュアルが定められているか（単一回答形式）

- 【容態急変時のマニュアルが定められているか】は、「はい」が67.0%（77件）、「いいえ」が30.4%（35件）となっています。



回答条件：【Ⅰ 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問3-7 利用者の容態急変時における課題や要望（自由回答形式）

医療との連携(10件)

- ・かかりつけ医と急変時の受け入れ先を決めておく。
- ・緊急時に搬送された病院でかかりつけの医院に行くよう、たらいまわしにされた。
- ・体調不良者は正常バイタル等、把握している。正常・異常を確認し、相談できる電話システムがあり、指示を受けられることができたらと思う。
- ・主治医より、日頃本人の疾患におけるリスク対応の説明を十分にしてもらえ、ご家族が理解されているケースはスムーズな処置につながる。
- ・在宅医療しており、往診医で間に合わない時、緊急時に確実に受け入れてもらえる後方支援病院があると安心して療養できると思う。
- ・私、個人が逗子市に在住していた時、夜間の病院受診先を探すことが大変であった。総合病院がないため、鎌倉市や横須賀市へ行っていた。夜間救急センターがあるが、その場限りのため、不安であった。
- ・がん等の病気で、いつ急変してもおかしくない場合は、家族指導がサービス事業所や医師から行われると思うが、食物の詰まりや、入浴中の事故等の急変は、かなりあわてると思う。家の中でも危険があるということの指導が出来たらよいと思う。
- ・事前に家族と流れを確認していても、いざ当日に3次救急にしてと変わることがある。
- ・かかりつけの病院だと、24時間の急変時対応ができない。
- ・病院によっては家族だけではダメで、職員も付き添うよう求められる事があるが、少ない人手では中々困難である。先方が知りたい情報を簡単に共有できるツールがあれば付き添いも減らせるのではと思う。

ひとり暮らしの方への対応(9件)

- ・独居、身よりのない方、親戚間に頼りたくない方がこれから増えるケースである。何か対応策があるといい。
- ・家族との連絡を確実なものにしたい。
- ・ひとり暮らしの方の対応をどうすれば良いか。

## 第6編 介護支援専門員（ケアマネジャー）調査（V 医療・介護連携）

- ・独居、認知症の方の対応。
- ・独居の方、近くに家族等がない場合や休日の対応については常に不安がある。
- ・1人暮らしの方の支援。
- ・家族との同居がある方は、良いが、独居の方の夜間は大変難しい。
- ・独居者の対応(本人が連絡をできるか否か)
- ・独居対策

### 救急対応(3件)

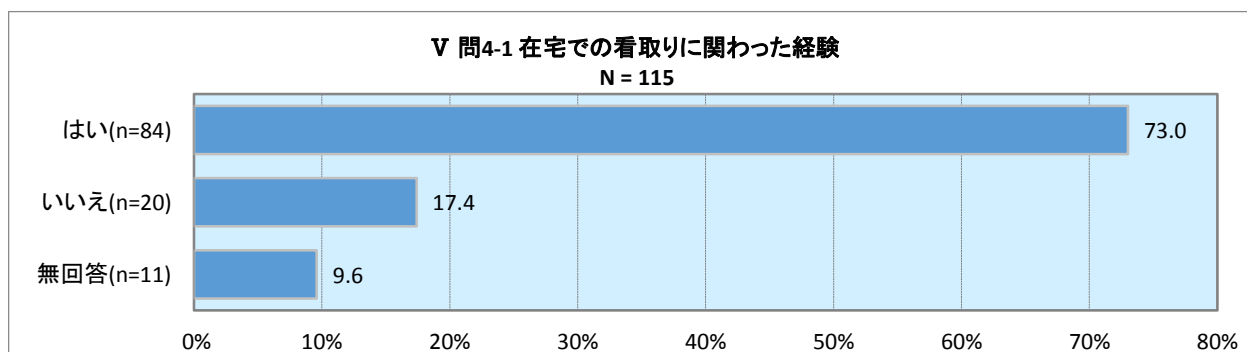
- ・救急対応時の同乗者。
- ・救急対応の場合の際に、対応してくれる家族が遠方であったり、高齢の場合は課題である。
- ・本人が救急車にのるのを拒否した場合、実際に困っている。隊員は本人の意思を尊重しなければならないと話されている。

### その他(2件)

- ・家族と連絡がつかない時の対応に困ることがある。職員(サービス事業所)の人数がギリギリで対応していることが多いため、時間がかかると他の利用者の対応に影響がでることがある。
- ・それぞれのHPにも事業があるので利用者にあわせて書類や手順をととのえていくことが大事であること。

### 問4-1 在宅での看取りに関わった経験（単一回答形式）

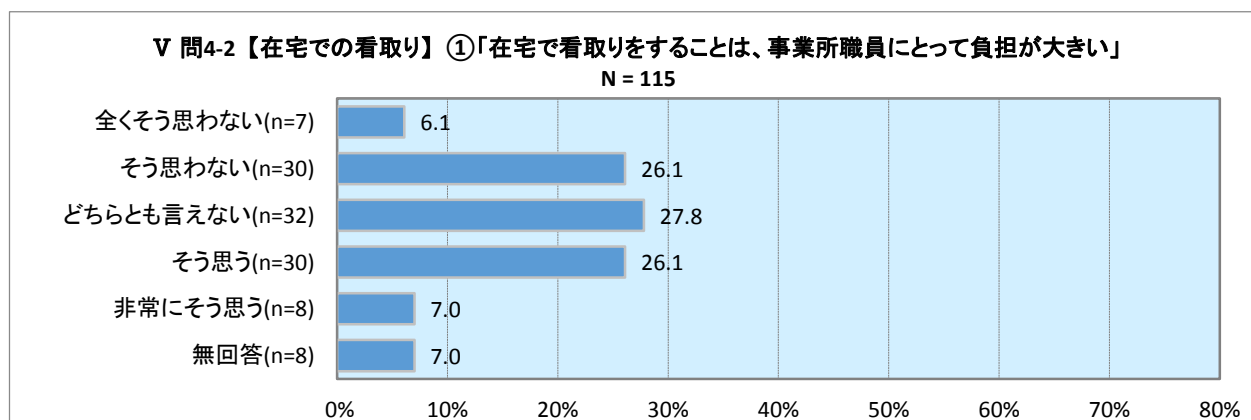
- 【在宅での看取りに関わった経験】は、「はい」が73.0%（84件）、「いいえ」が17.4%（20件）となっています。



回答条件：【I 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

問4-2 在宅での看取りについて感じていること（単一回答形式）

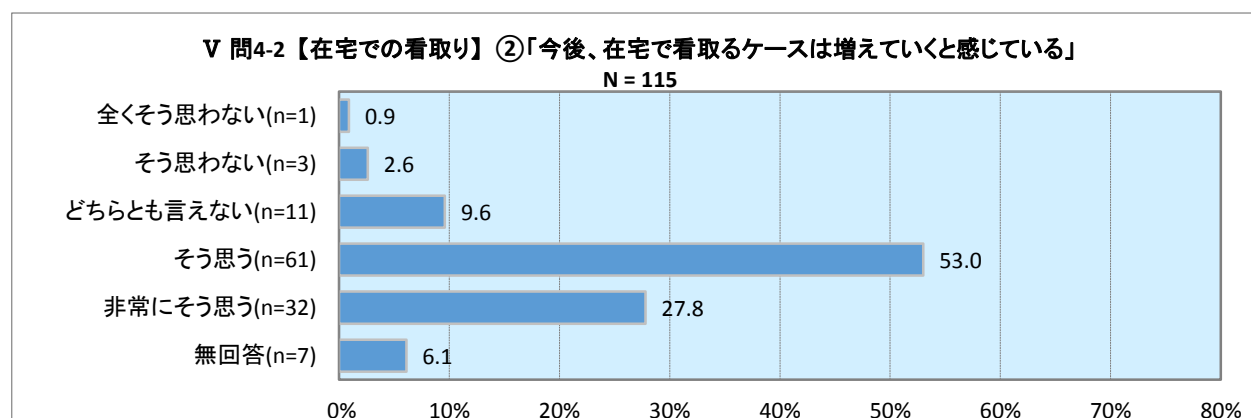
- 【① 在宅で看取りをすることは、事業所職員にとって負担が大きい】では、「どちらとも言えない」が最多で27.8%（32件）、次いで、「そう思わない」と「そう思う」が26.1%（30件）となっています。



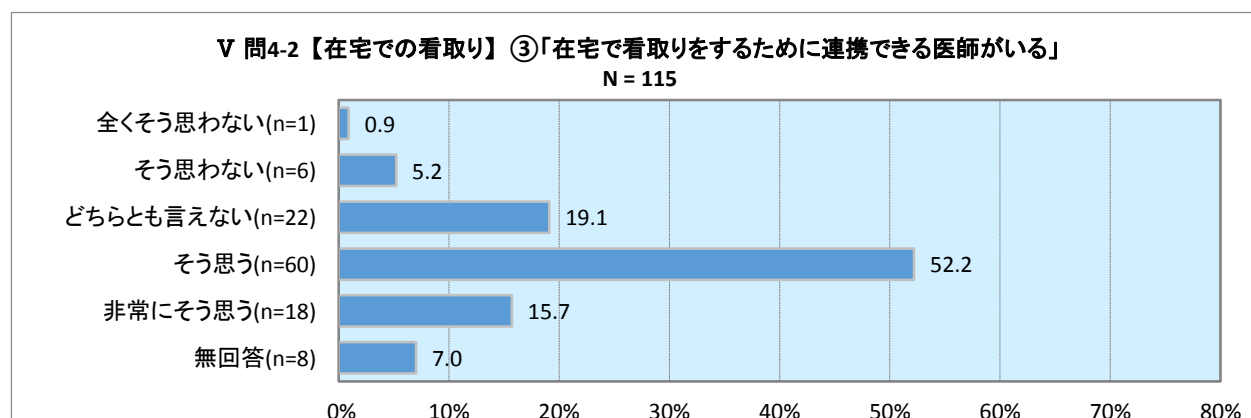
回答条件：【Ⅰ 問5 所属の施設や機関の種別】で、「居宅介護支援事業所」の場合のみ回答

※以下、同回答条件

- 【② 今後、在宅で看取るケースは増えていくと感じている】は、「そう思う」が最多で53.0%（61件）、次いで、「非常にそう思う」が27.8%（32件）、「どちらとも言えない」が9.6%（11件）となっています。



- 【③ 在宅で看取りをするために連携できる医師がいる】は、「そう思う」が最多で52.2%（60件）、次いで、「どちらとも言えない」が19.1%（22件）、「非常にそう思う」が15.7%（18件）となっています。

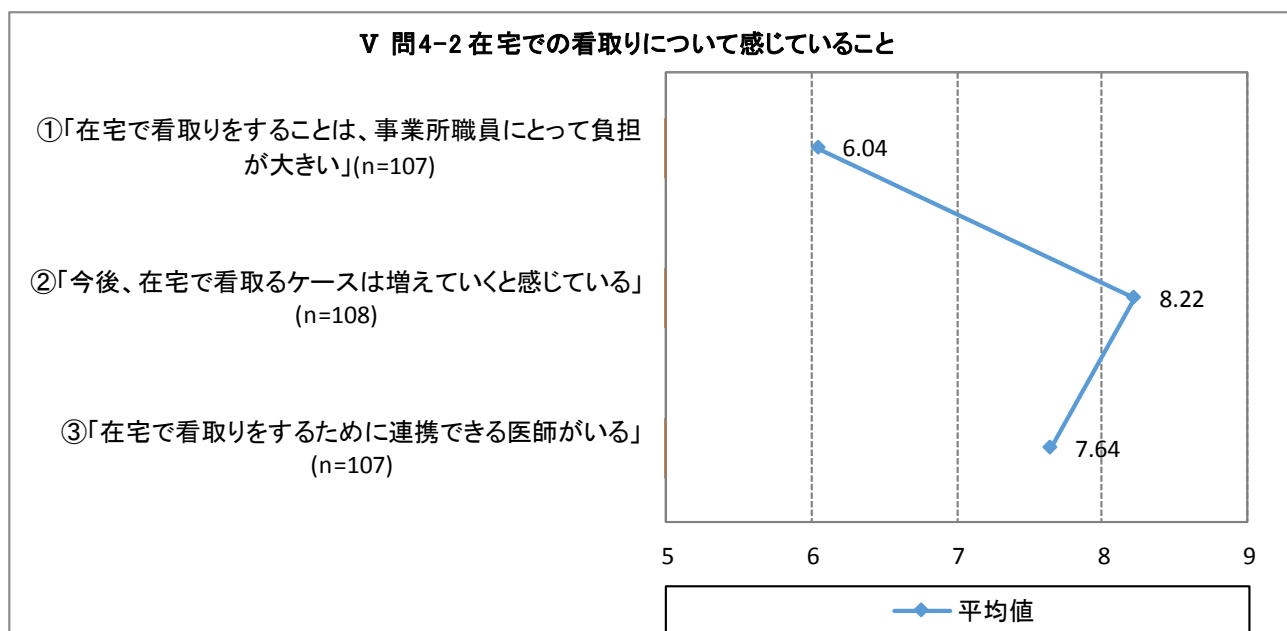


問4-2 在宅での看取りについて感じていること ～加重平均値による分析～

- 「在宅での看取りについて感じていること」の回答結果を、それぞれ選択肢に応じ点数化（「全くそう思わない」が+2、「そう思わない」が+4、「どちらとも言えない」が+6、「そう思う」が+8、「非常にそう思う」が+10）し、それぞれの項目ごとのポイント（加重平均値）を算出しました。
- ①「在宅で看取りをすることは、事業所職員にとって負担が大きい」（n=107）が6.04ポイント、②「今後、在宅で看取るケースは増えていくと感じている」（n=108）が8.22ポイント、③「在宅で看取りをするために連携できる医師がいる」（n=107）が7.64ポイントとなっています。

○ポイント（加重平均値）の算出について  
 ・回答結果を、それぞれ右のように選択肢に  
 加点（1～10点）し、それぞれの項目ご  
 のポイント（加重平均値）を算出しました。

選択肢	加点
全くそう思わない	+ 2
そう思わない	+ 4
どちらとも言えない	+ 6
そう思う	+ 8
非常にそう思う	+10
無回答	未集計

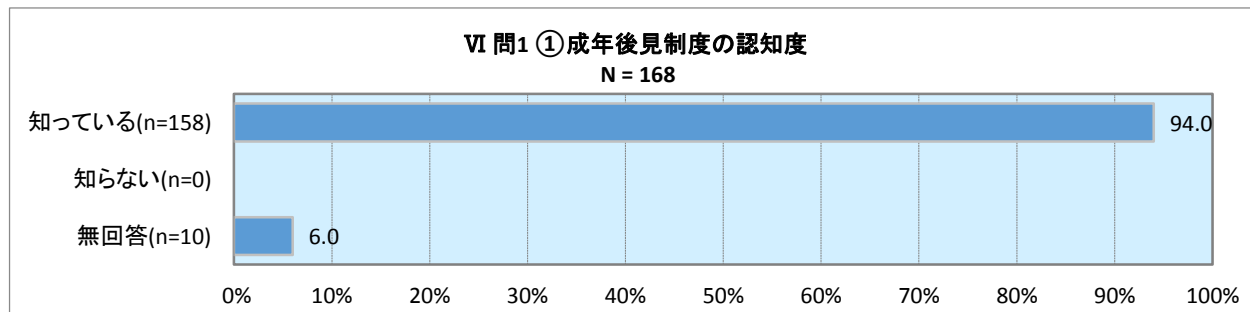




VI 権利擁護、市の制度運営等

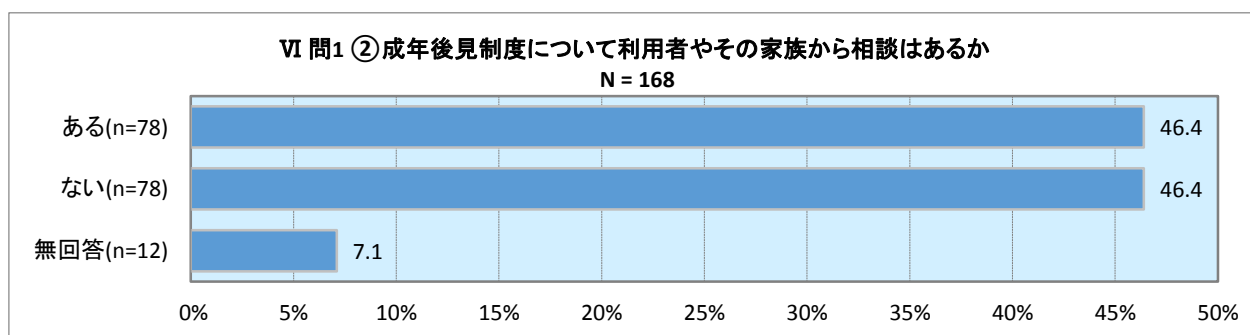
問1 ①成年後見制度の認知度（単一回答形式）

●【成年後見制度の認知度】は、「知っている」が94.0%（158件）となっています。



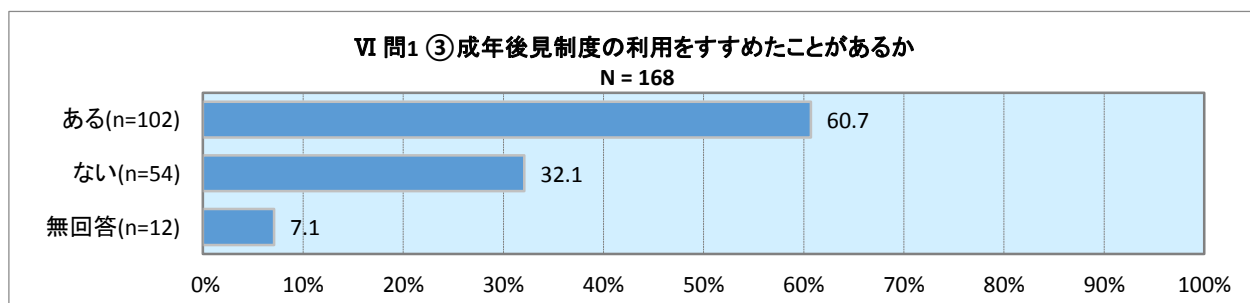
問1 ②成年後見制度について利用者やその家族から相談はあるか（単一回答形式）

●【②成年後見制度について利用者やその家族から相談はあるか】は、「ある」と「ない」が46.4%（78件）となっています。



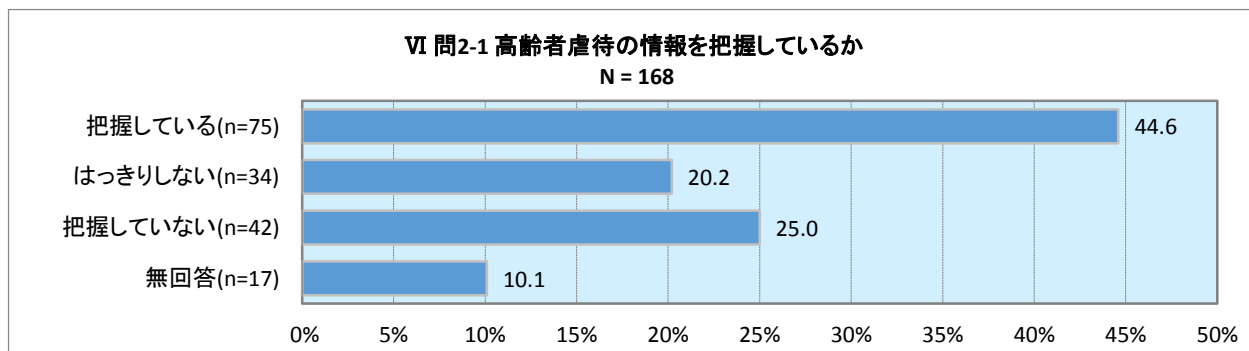
問1 ③成年後見制度の利用をすすめたことがあるか（単一回答形式）

●【③成年後見制度の利用をすすめたことがあるか】は、「ある」が60.7%（102件）、「ない」が32.1%（54件）となっています。



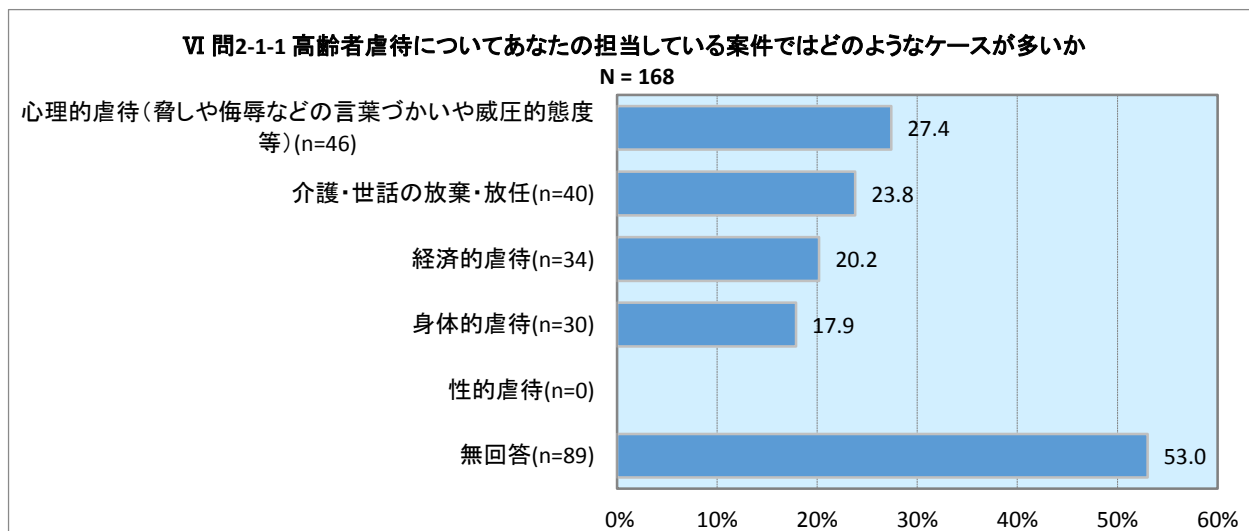
問 2-1 高齢者虐待の情報を把握しているか（単一回答形式）

- 【高齢者虐待の情報を把握しているか】は、「把握している」が最多で 44.6%（75 件）、次いで、「把握していない」が 25.0%（42 件）、「はっきりしない」が 20.2%（34 件）となっています。



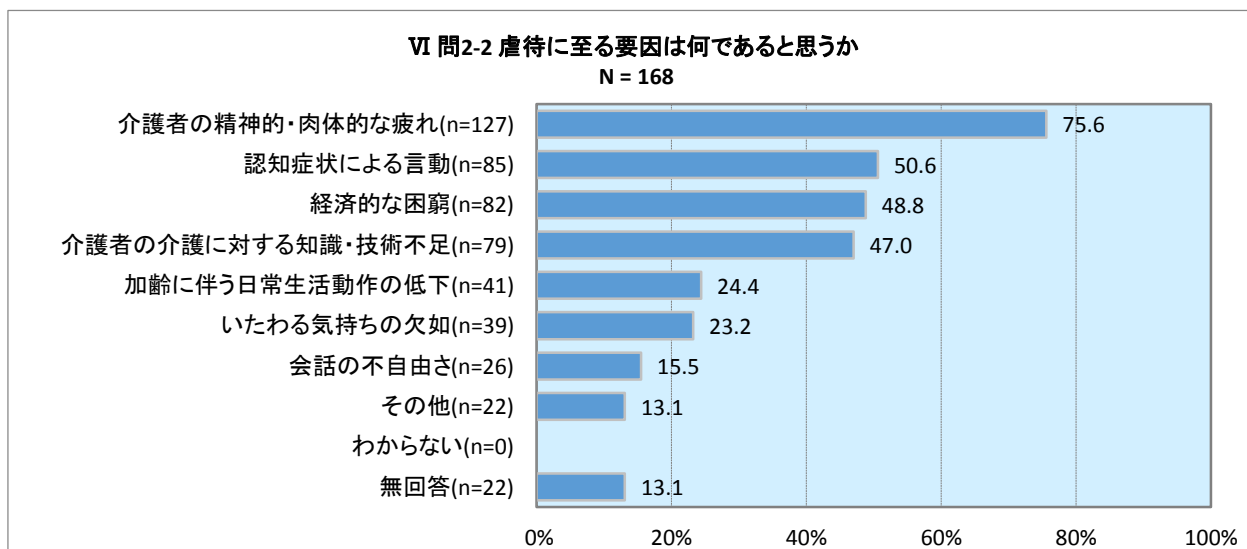
問 2-1-1 高齢者虐待で担当している案件で多いケース（複数回答形式）

- 【高齢者虐待についてあなたの担当している案件ではどのようなケースが多いか】は、「心理的虐待（脅しや侮辱などの言葉づかいや威圧的態度等）」が最多で 27.4%（46 件）、次いで、「介護・世話の放棄・放任」が 23.8%（40 件）、「経済的虐待」が 20.2%（34 件）となっています。



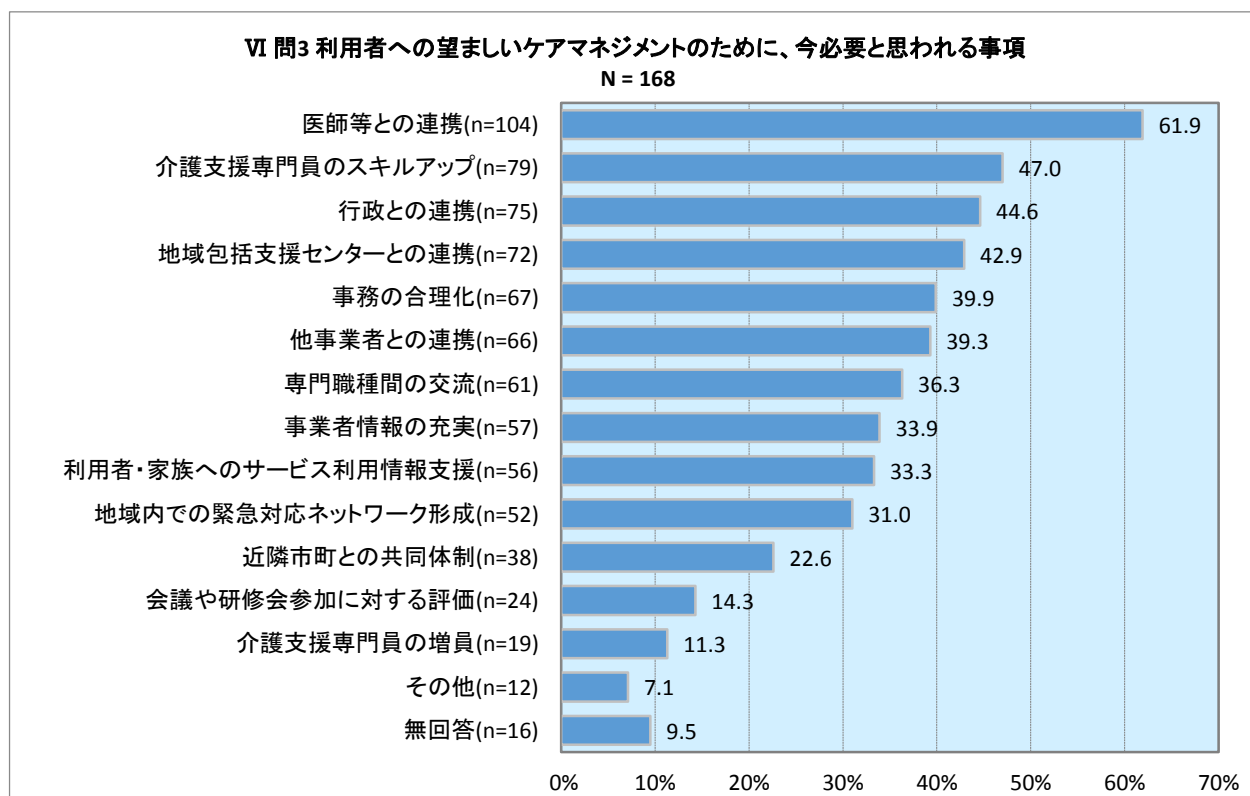
問2-2 虐待に至る要因は何であると思うか（複数回答形式）

●【虐待に至る要因は何であると思うか】は、「介護者の精神的・肉体的な疲れ」が最多で75.6%（127件）、次いで、「認知症状による言動」が50.6%（85件）、「経済的な困窮」が48.8%（82件）となっています。



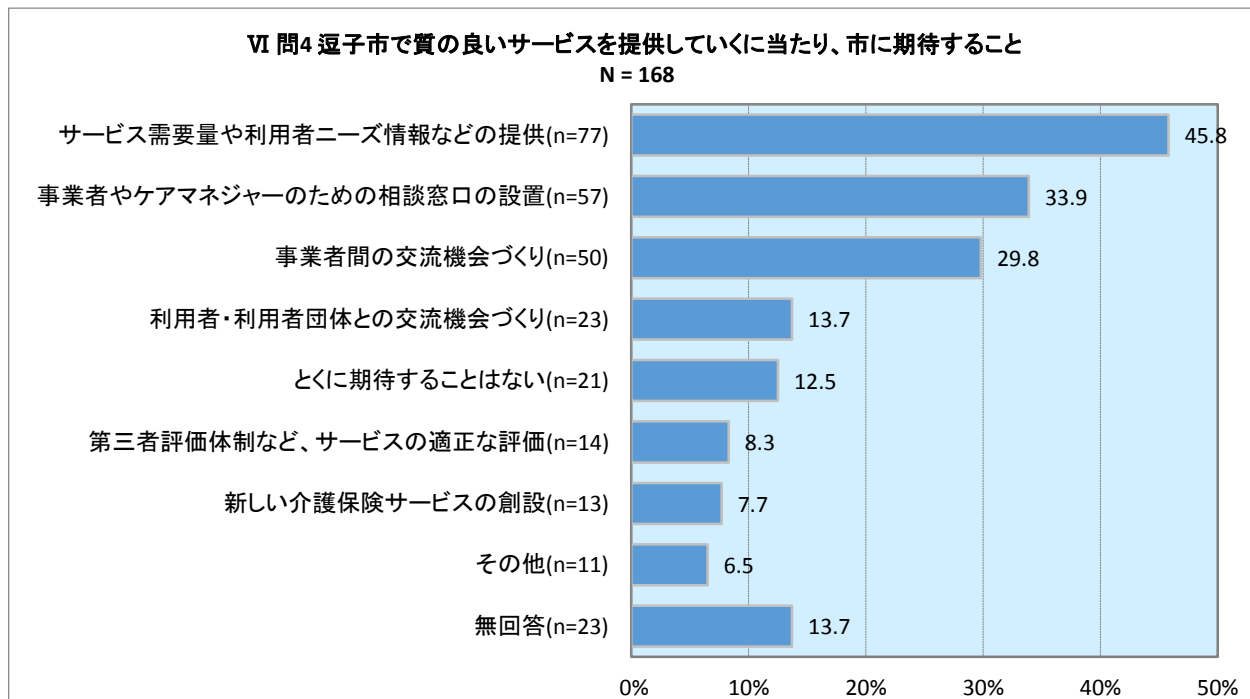
問3 望ましいケアマネジメントのために必要な事項（複数回答形式）

●【利用者への望ましいケアマネジメントのために、今必要と思われる事項】は、「医師等との連携」が最多で61.9%（104件）、次いで、「介護支援専門員のスキルアップ」が47.0%（79件）、「行政との連携」が44.6%（75件）となっています。



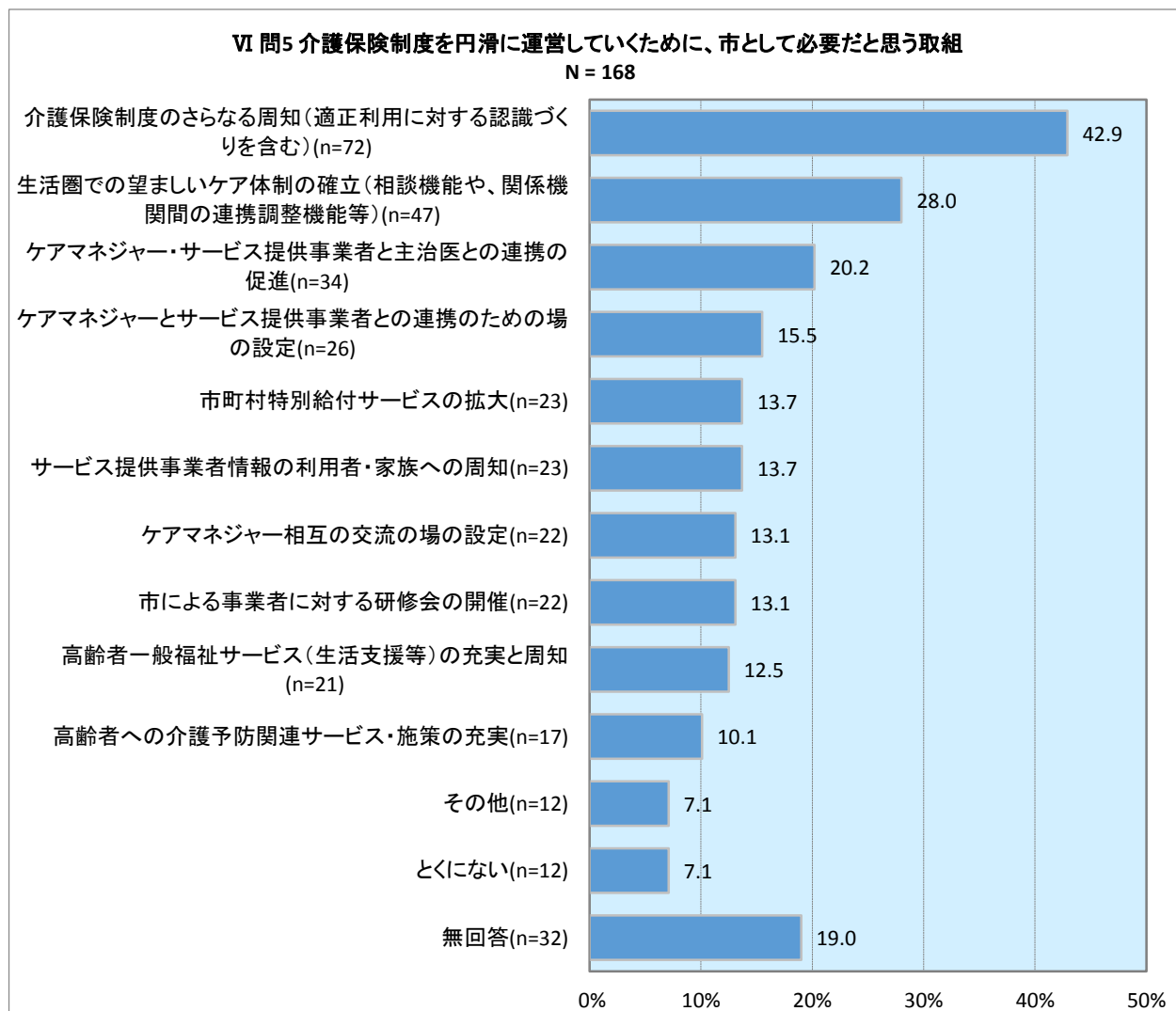
問4 質の良いサービスを提供するため、市に期待すること（複数回答形式）

- 【逗子市で質の良いサービスを提供していくに当たり、市に期待すること】は、「サービス需要量や利用者ニーズ情報などの提供」が最多で45.8%（77件）、次いで、「事業者やケアマネジャーのための相談窓口の設置」が33.9%（57件）、「事業者間の交流機会づくり」が29.8%（50件）となっています。



問5 介護保険制度を円滑に運営していくために、市として必要な取組（複数回答形式）

●【介護保険制度を円滑に運営していくために、市として必要だと思う取組】は、「介護保険制度のさらなる周知（適正利用に対する認識づくりを含む）」が最多で42.9%（72件）、次いで、「生活圏での望ましいケア体制の確立（相談機能や、関係機関間の連携調整機能等）」が28.0%（47件）、「ケアマネジャー・サービス提供事業者と主治医との連携の促進」が20.2%（34件）となっています。



## 第7編 自由回答意見

## I 要介護認定者調査 自由回答結果

## サービス (13件)

- ・逗子市の保健福祉サービスは、小さい都市ながら大変充実している。(女性、75～79歳、配偶者のみ、要介護5)
- ・ショートステイを利用しているが、1日中、いすに座っているだけなので筋力が落ちてしまうのが心配。(女性、75～79歳、その他の世帯、要介護3)
- ・サービスに満足している。(女性、80～84歳、配偶者のみ、要介護4)
- ・入所施設では大変お世話になり、感謝している。(女性、85歳以上、配偶者以外の65歳以上の方との世帯、要介護5)
- ・有料老人ホームと特別養護老人ホームの中間的存在を作ってもらいたい。(女性、40～64歳、配偶者のみ、要介護5)
- ・病院入院と市内の介護ヘルパーに助けて頂きながら自宅介護をしていた。介護者である私の体調と母の体調も双方が悪化し、特別養護老人ホーム入所となったが、時々、外泊で自宅に戻るのが母の希望である。施設入所となると、自宅介護で来て頂いたヘルパーは使えないという規則を知らず、外泊で月に数日自宅に戻りたいという母の希望を叶えてあげたいのと、今までの近くの介護事務所は使えないと誰にも助けて頂けずどうしたものかと思案している。介護者である私の勉強不足を痛感している。(女性、85歳以上、その他の世帯、要介護4)
- ・高次脳機能障害について理解を深めて欲しい。ADLはほぼ自立でも、缶ジュースを買う能力もない状態。介護保険認定時はその点を考慮して頂きたい。(女性、75～79歳、その他の世帯、要介護2)
- ・入浴、トイレをひとりでするので、週2回のデイサービスを楽しみにしている。ひざの治療で、痛みが少し減ったが、長く歩けないので、外出はできない。(女性、85歳以上、ひとり暮らし、要介護3)
- ・介護認定を受けるのに2ヶ月ぐらい経過した。手続きを簡便にしてほしい。(女性、85歳以上、配偶者のみ、要支援1)
- ・週1でデイサービスに通っている。スタッフの方々がとても良くしてくれ、楽しみにしている。また、大家さんがとても良い方で年中様子を見に来てくれ、何かと御世話になっている。(女性、80～84歳、ひとり暮らし、要支援2)
- ・週1度、45分間のサービスだが1時間は欲しい。時間がせまってくるとヘルパーが忙しそう。(女性、80～84歳、ひとり暮らし、要支援2)
- ・介護タクシーの値段を安くしてほしい。(男性、85歳以上、配偶者のみ、要介護5)
- ・痰がらみをする様になったら、ショートをとことわられた。夜、看護師やできる人がいないとのことだが、1人で介護を行っているが、ショートがないと負担になる。今2ヶ所だったのが1ヶ所のみ受入れてくれるが、夜間の経験者を育成してほしい。(女性、65～69歳、世帯無回答、要介護5)

### 理解・周知 (3件)

- ・介護サービスを受けなければいけなくなったときに、市役所窓口、社会福祉協議会、ケアマネジャーと、様々な方に相談したが、どこに行ってもサービスの全体像、今すべきこと、これから必要になるかもしれないから、視野に入れておかなければいけないことを的確に説明してもらえた感じがしない。何も知らない所に、一度に必要な情報まで、全て同じようなボリュームで説明を受け、大事なことがいつも分からず、とほうにくれ、不安がおしよせる…といった有様である。(女性、40～64歳、その他の世帯、要介護5)
- ・サービスを知らなくて受けていない人が多いと思われる。わかりやすく広報等で知らせることが必要。(女性、85歳以上、配偶者以外の65歳以上の方との世帯、要介護3)
- ・サービスは沢山ある様だが、内容について分かり易い表記を求めたい。事業者などの情報はHP等で調べるが、内容そのものが不足していると思う。(女性、80～84歳、世帯無回答、要支援2)

### 経済的負担 (2件)

- ・年金額によってサービス料負担の限度額を設定して欲しい。(女性、75～79歳、その他の世帯、要介護1)
- ・高齢であっても持家とは限らない。家賃を払うことは大きい負担になっている。食費衣類等全て最低でやりくりすることは、時には辛い。(女性、80～84歳、ひとり暮らし、要介護1)

### ケアマネジャー (2件)

- ・ケアマネジャーの方の親切、優しい態度など、とても感じがよいので、この方達の待遇がよくて長続きできることを願っている。(女性、85歳以上、その他の世帯、要支援1)
- ・ケアマネジャーには感謝している。(女性、80～84歳、その他の世帯、要介護3)

### アンケート (2件)

- ・福祉の用語が分からず、アンケートの記入に大変時間がかかった。アンケート用紙と共に福祉サービスの手引き書(説明書)もほしい。(女性、85歳以上、ひとり暮らし、要介護1)
- ・質問が難しすぎて、一つ一つ説明を受けながらでないと正しい答えがわからない。(女性、75～79歳、配偶者のみ、要支援2)

### その他 (8件)

- ・年金生活者にはサービスは大変ありがたいが、戦後苦しい生活を乗り越えてきた人々に対しても国はもっと住みやすい生活を考慮して欲しい。(女性、80～84歳、配偶者のみ、要介護1)
- ・大変良くしてもらい感謝している。逗子に住んでいて良かった。健康が守られる様に頑張りたい。(女性、80～84歳、ひとり暮らし、要支援2)
- ・足、腰の悪い人にとっては、道路の傾斜とデコボコが危険である。(女性、85歳以上、ひとり暮らし、要介護2)
- ・自宅ですごしている時、ごみ捨てが出来ず、結局毎週娘(私)が遠方まで持ち帰った。自宅の前に出しておく、それをごみ集積所(地域の)まで持って行ってくれる人を募集してみる…とか。小さなことな

## 第7編 自由回答意見（I 要介護認定者調査 自由回答結果）

ので地域の小・中・高校生が登校する時にでもささやかな地域への貢献として出来るかと思う。（女性、85歳以上、ひとり暮らし、要介護1）

- ・介護については手厚くお世話になっている。逗子に住んだ事を嬉しく思う。（女性、85歳以上、ひとり暮らし、要介護2）
- ・感謝している。（女性、85歳以上、ひとり暮らし、要介護4）
- ・1人でつえをついて歩きたくても道幅がせまく1人では歩けない。海岸通りは人も車も多く歩きづらいので、歩きやすい道路の整備を検討してほしい。（女性、80～84歳、その他の世帯、要介護2）
- ・ひとりぐらし高齢者訪問は以前とても良い方が月に1回ぐらい来てくれた。要介護度が2になってからは、ケアマネジャーさんが2ヶ月に1度着てくれる。感謝している。（女性、85歳以上、ひとり暮らし、要支援2）



## Ⅱ 介護者調査 自由回答結果

## サービス(26件)

- ・実際より悪く評価(介護度)されている人がいるようで、何らかの公平なチェックが必要である。(男性、65～69歳、要介護2、在宅サービスを利用)
- ・特別養護老人ホームに入所しているが、感謝している。(男性、65～69歳、要介護5、在宅サービスを利用)
- ・家族介護慰労金の支給があることを知らなかった。腰痛、高血圧、等の病があり整骨院にかかっている。少しでも援助して頂ければ幸いである。(女性、80～84歳、要介護4、在宅サービスを利用)
- ・介護保険の制度があつてよかった。(男性、70～74歳、要介護2、施設等に入所・入院)
- ・有料老人ホームに入所しているが、施設長が本人の言動に困っているという。心の病気で入所しているので、毎回、行くと、老人ホームに行くことがめいってしまう。(女性、65～69歳、要介護3、サービス未利用)
- ・私たちは母をサポートできていても、子どもがいない。要介護の状態になった時、高齢化率の高い市であるし、相談、サポートを適切に求めることができるのか将来を不安に思う時がある。(女性、50～59歳、要介護3、施設等に入所・入院)
- ・介護者が体力、気力の衰えがきた時は、入所を希望する。本当に入れるのでしょうか、ここが一番の重要な問題である。(女性、60～64歳、要介護1、サービス未利用)
- ・グループホームへの支援をして、利用しやすいサービスにして欲しい。(男性、40～49歳、要介護1、在宅サービスを利用)
- ・高齢者が2人で暮らしているが、社会に迷惑をかけないように懸命に生きている。その中でどうしても避けられないことがある。その時にこそ優しい御手を下さることを願う。(男性、80～84歳、要介護度無回答、在宅サービスを利用)
- ・現在のサービスの内容や利用状況をわかりやすく、広報等で知らせてほしい。市のごみ出しは分別が複雑なので高齢者世帯には個別指導して負担を軽くしてあげて欲しい。ごみ集収サービスも必要かと思う。(女性、60～64歳、要介護3、在宅サービスを利用)
- ・社会福祉協議会のフレンドリーヘルパーをもっと使いやすいようにして欲しい。(女性、50～59歳、要支援1、在宅サービスを利用)
- ・私がすでに高齢のため、今後家内の介護を続けられなくなった場合、公営の特別養護老人ホームへの入所が必要になると思う。現在、市には十分な受入れ床数の確保充分の計画があるのか。(男性、80～84歳、要介護5、在宅サービスを利用)
- ・介護には感謝している。(女性、85～89歳、要介護5、在宅サービスを利用)
- ・施設利用料金が負担になって生活保護者になる危険を感じる事がある負担金が2割になって一層感じる。特養入居希望も3年以上も待っている。(女性、85～89歳、要介護4、在宅サービスを利用)
- ・資源ごみ等、置き場所が遠いので、自費で支援サービスをお願いしている。有料でも個別に回収して頂ければ助かる(今ある市のサービスは、可燃ごみも出せない人が対象と聞いた)。(女性、70～74歳、要介護2、在宅サービスを利用)
- ・介護保険制度で必要なサービスを受けられたことに感謝している。いくら制度が良くても介護される人の意識が高くないとサービスを使えないことになる。母も2年間、医者、ケアマネさんの説得で序々

## 第7編 自由回答意見（Ⅱ 介護者調査 自由回答結果）

- に現代の介護システムを受け入れるようになった。認知症ではない高齢者のメンタル的なケアがいかに難しいか知らされた2年間だった。（女性、70～74歳、要介護4、施設等に入所・入院）
- ・入浴、トイレを自分で、できるのでいまのところデイサービスを1週間に2日、利用しているので、他人と話もする日もあるので、本人は、気にいっている。（女性、65～69歳、要介護3、サービス未利用）
  - ・紙おむつは要介護3以上だと支給があると聞いた事がある。がん等の病を持つ人は介護度が小さくても紙おむつの需要は大きい。（女性、80～84歳、要介護1、在宅サービスを利用）
  - ・デイケア施設と小規模多機能型居宅介護施設が違う施設が選べないのが困る。（女性、65～69歳、要介護3、在宅サービスを利用）
  - ・介護事業に携わる全ての方々にお礼をいいたい。（女性、50～59歳、要介護2、在宅サービスを利用）
  - ・家族の事情がある場合、本人の家事全般を保険サービスでまかなえると助かる。（女性、50～59歳、要介護1、在宅サービスを利用）
  - ・健康で長生きするように日頃心掛けています。要介護になった場合は、問2の支援、サービスを全て利用したい。（女性、75～79歳、要介護3、施設等に入所・入院）
  - ・2割負担になり、負担が増えて金銭的に厳しくなった。介護しているので仕事を増やす事も出来ず（時間的な余裕もなく）少しずつおいつめられている。精神的に相談する場がなくきつい。近所や知人が助けてくれるが 行政には期待出来ない。これは民間の件だが、薬局窓口で、心ない言葉をかけられた。また、保健所からの医師の心ない言葉にショックを受けたこともある。福祉関係にたずさわる仕事の人は、言葉選びにも気をつけて欲しい。相手は看護、又は介護する人がいて心配等で、神経質になっている事が多々ある。（男性、85～89歳、要介護3、在宅サービスを利用）
  - ・今年の7月までにデイサービスに4回（週）、通っているが、8月から2割負担になり、きつい。（女性、70～74歳、要介護4、在宅サービスを利用）
  - ・独身就労者にとって、介護が非常に負担となる。在宅→グループホーム→療養型医療施設と進んできたがなかなかスムーズに次の段階にすすむことができず、受け入れてもらえる施設を探すのに非常に苦労している。介護度の進行、病状の悪化に沿った施設の充実が必要。（女性、50～59歳、要介護5、施設等に入所・入院）
  - ・週1回のリハビリは効率的に行われ、大変感謝している。いつまでもこの制度が維持されると良い。（女性、50～59歳、要支援1、在宅サービスを利用）

### アンケート（4件）

- ・封筒が小さい。調査が面倒である。（女性、85～89歳、要介護3、サービス未利用）
- ・パーキンソン病を診断されリハビリの支援を受けて1ヶ月あまり。未知の世界でアンケートに十分に答えられない。（男性、90歳以上、要支援1、在宅サービスを利用）
- ・今までに、こんなに深く説明を受けたとか、聞かれた事もないので質問内容が良く理解していないのでアンケートを受けても解答が正しく出来なかった。一対一でないと無理だと思う。（男性、80～84歳、要支援2、在宅サービスを利用）
- ・外来語がわかりにくい。（女性、75～79歳、要支援2、在宅サービスを利用）

### 都市環境の整備（2件）

- ・高齢者が歩きやすい道路整備、小道含む、特に車の通りの少ない小道の整備をお願いしたい。（女性、50～59歳、要介護1、在宅サービスを利用）

## 第7編 自由回答意見（Ⅱ 介護者調査 自由回答結果）

- ・近くの病院、スーパーの買物など車いすで出かける時、道路の状態が悪くて、車いすをおすのはいつも大変で、整備して欲しいと思う。（女性、70～74歳、要介護2、在宅サービスを利用）

### ケアマネジャー（2件）

- ・特にないが、ケアマネジャーの方には色々と話をしたり、相談できて良かった。（女性、50～59歳、要介護3、在宅サービスを利用）
- ・要介護者も様々なのでケアマネジャー等のきめ細かな指導がほしい。（女性、60～64歳、要介護2、在宅サービスを利用）

### 相談（2件）

- ・刻、刻と変化していきだろろう状況に気軽に相談できる、自治体の窓口がもっと気軽であることを希望する。（女性、70～74歳、要介護2、在宅サービスを利用）
- ・市の窓口の担当者は親切で、良く話を聞いてくれる。（女性、85～89歳、要介護2、在宅サービスを利用）

### 理解・周知（2件）

- ・介護が必要になったときに、必要な情報を的確に分かりやすく説明してほしい。これはとても重要だが、できているとは思わない。（女性、40～49歳、要介護5、施設等に入所・入院）
- ・自治体の説明資料について、具体的なケーススタディができる詳しい内容にまとめてほしい。窓口の職員は多忙なので、予め相談する前の知識を得たい。（男性、70～74歳、要介護5、施設等に入所・入院）

## その他(10件)

- ・空き家等を利用したサロンの充実。ボランティアの評価と育成。サービス事業所や施設への第三者評価の実施。（女性、75～79歳、要介護2、施設等に入所・入院）
- ・介護者も80歳半ばであり、介護が必要な配偶者と暮らしている。とても穏やかな毎日である。毎日の犬の散歩(約30分)と駅前のお店等での買い出しなどで、私の足もまだまだ達者であり、自主的に暮らしたいと願う。（女性、80～84歳、要介護4、在宅サービスを利用）
- ・年金生活が年々厳しい現実で、介護とは問題が異なるとは考えるが、実生活における、日常は非常に難しい状況と思われる。（男性、80～84歳、要介護1、サービス未利用）
- ・アンケートを終えて、介護者に専従を強いている印象を受ける。介護手引書とかあるのか。（それすら知らない）簡単に理解、対処できるノウハウ本をまず出して渡して下さい。高齢者の問題は、高齢者関連の問題ではないと思う。（女性、65～69歳、要介護3、在宅サービスを利用）
- ・担当窓口のベテラン担当者を増やす。（女性、70～74歳、要介護度無回答、サービス未利用）
- ・母との同居を始め半年だが、本人も自分のできる事をできるだけしようとする意欲がある。コミュニケーションをマメにとり、できるだけ自主性を重んじている。しかし高齢であり、やりすぎて自信を失わせぬよう心掛けてサポートしている。楽しく！（女性、65～69歳、要支援2、サービス未利用）
- ・要介護者は有料老人ホームに入所している。入所前は1人で生活し、この間に市の対応はほとんどなかった様に記憶している。（男性、60～64歳、要支援2、在宅サービスを利用）
- ・近所に気楽に集まれるサロンのような場所があり、人の交流を通じて要介護者が休日などに家から出られるようになると本人も明るくなるし、介護者の負担軽減にもつながる。（男性、80～84歳、要介護2、サービス未利用）
- ・高齢者であっても、今までの生活のスペースをくずすことなく、少しの支援と、工夫で医療に過度に頼ることなく、生活できるサービスや連携を望む。（女性、40～49歳、要支援2、サービス未利用）
- ・介護者も高齢になり、全てに不安が増すばかりである。今まで動けたこと、やれたことが、出来なくなっている。（女性、70～74歳、要介護2、在宅サービスを利用）

## Ⅲ サービス提供事業所調査 自由回答結果

## 職員の処遇改善、職員の不足(11件)

- ・現場で働く人材確保が難しく、日々奮闘中です。
- ・介護報酬額が改定の都度に下げられている。介護スタッフへの待遇が悪い。
- ・スタッフの確保が難しくなっている。
- ・各事業所の介護保険費用増を実現して、介護職への処遇改善が出来る様にして欲しい。
- ・国が考えている以上に人員不足が深刻。制度も大事だが働く人がいなければ何も成り立たない。早急な対応が必要と感じている
- ・利用者様のニーズへの取り組みなどは各事業所出来てきていると思う。ニーズに対し関わる職員が書類や接客におわれてしまっている。もっと働き手の環境、賃金面を見直し、働き手の確保へとつなげてほしい。
- ・職員の賃金アップ。
- ・介護現場の離職率が高いのは今のシステムでは避けられないと思う。
- ・高齢者増加するが、サービス内容の限定、ヘルパー不足により在宅での看取りは今のままでは無理と思われる。
- ・人員基準がきびしく、職員にストレスがかかっていると感じる。
- ・介護保険にかかわる事業は、スタッフが集まらない、運営を充実させるための資金不足など、1人のスタッフにかかる負担が増えている。近年書類等、事務仕事が大変増えているように思い、スタッフの負担も現場の仕事より、仕事の後の事務仕事の比重が高まっている。

## 市への意見・要望(9件)

- ・情報の伝達が遅い。
- ・市として他市を研究されていると思うので、他市のよいところはすべてとり入れるべき理由があるわけでの点強く思う。横浜市ほどの市の在宅特別支給など予算はかかると思うが、これがないと在宅はつづけられない。
- ・制度、法律がどう変わったかを伝える所に力を入れるだけでなく何故変わったかを伝えることが大事なこと。意識的環境の醸成、住民を利用と参加の主体として位置付けることが地域福祉の推進にとって必要と考える。
- ・実地指導が厳しすぎるとは思う。
- ・チームケアの要となるケアマネジャーの資質、待遇の向上をお願いしたい。
- ・特定事業所集中減算(80%)はなくして欲しい。
- ・低所得、ご家族がいない高齢者の受け入先としての養護老人ホームを活用して欲しい。地域包括で対応する特定高齢者と養護老人ホーム受入れ基準と重なることがあるので地域包括にアピールする場を提供してほしい。
- ・当事業所は、横浜市、横須賀市を中心として展開している。市によって書類、提出方法等異なるのは不便を感じている。
- ・もっと現場を知ってほしい。役所内での横の連携も重要。

### 制度全般（8件）

- ・介護保険制度にやや行き詰まりを感じる。利用者や事業者の意見が反映されていない気がする。
- ・介護保険制度が短い期間で変わり、その後対応に追われて大変なのでもう少し長い期間での見直しをして欲しい。
- ・報酬改定（報酬減）や軽度者（要介護1・2）切りについての議論など、事業者としては適正な運営を行うにあたり不安要素が多い。
- ・サービス提供事業者に対して要求される事務の量が増加してきている。その質においても形式的だと感じられるものが少なからずある。
- ・合理的な介護事業を進めていく上で、運営要件、人員要件の緩和等、期待する。総合事業の立ち位置には不安を感じる。
- ・日常生活支援総合事業については、訪問型Aの内容に無理があると感じている。特に、ヘルパーの資格がない人が、「訪問介護におけるサービス行為ごとの区分等について」と題した通知（老計10号）の範囲内でサービスを提供すること、また、報酬が減っての提供（最低賃金が高くなっている中で）であり、事業所運営はとて厳しくなる。在宅での看取りを望んでいると思うが、24時間、365日、対応できるほど、人材（ケアマネも含め）がいないと思う。
- ・利用者の負担を増さずに介護報酬を上げてほしい。サービスの質を上げるためにも、人員体制を厚くすることが必要。現状の報酬では、とても事業として成り立たない。
- ・貸与中心にしているから、介護保険制度の限界が生じるのでは。介保制度前のモデル事業時の補助金制度を導入しては？（例えばベット<sup>®</sup>等）

### その他（4件）

- ・対策を示さずに問題だけ示すと不安だけ増すことになる。
- ・行政と利用者の地域包括システムに関する理解の差を感じる。
- ・今後ますます事業所の存続が厳しくなると思う。（働き手の人手不足、報酬減）
- ・情報を集約して合理的な連携が図れるシステムづくり。

## IV 介護支援専門員 (ケアマネジャー) 調査 自由回答結果

## 制度全般(15件)

- ・全体的に分かりやすくする必要があると思う。この仕事に就いていなかったら理解できるかわからない。
- ・介護保険料が高く、いざ使うときは2割負担で高くて使えない。1割負担の方とお金のある人に片寄っている。
- ・その場の、つなぎで対応するほど、介護保険は甘くない。
- ・在宅復帰がいはれるようになってから、病院→老健という流れが途絶えつつあるように思う。医療依存度が高い人が老健に入ることが多い。医療対応できず、部屋が空いてしまう。在宅復帰を支援しないと、経営が成立せずでも、復帰できる人が少ない。老健と特養を合体したらどうか。また、療養型老健のみにするとか。
- ・どの世帯も(年金がある家も・ない家も)、生活費で年金がぎりぎりになってきている。これからも、サービスの負担金を出せなくなり、利用しなくなると思う。
- ・老健は多職種がいるのに、医療行為によっては受け入れられないことがある。必要な方に必要な医療や介護が受けられる仕組みをつくってほしい。
- ・財源確保のため、介護保険料の支払い開始を現在の40歳ではなく、もっと引き下げるべきと思う。
- ・介護保険の破たんが近いような気がする。
- ・予防利用者のサービス利用について、いつかは利用できなくなるのでは?という不安を与えてしまっている現状をなんとかしてほしい。
- ・予防のケアプランがわかりにくいので改善してほしい。
- ・どんどんやりにくい、使いづらい制度になっている。
- ・急激に増加している支介護者の対応が追いついていないと思われる。他国のケースをまねしてみる必要もある。
- ・サービス利用におけるルールのしびりを緩和させて、利用者、家族にとって困らないようにしてほしい。
- ・施設を利用する上で制限が生じている。何もかも介護保険サービスでまかなうことに限界があり、制度の利用、認識づくり行って欲しい。
- ・もっとシンプルな仕組み作りをしてほしい。

## 市への意見・要望(9件)

- ・自分たちで支えられる街づくりをしてほしい。
- ・最終的には行政は担当者により対応が異なる。
- ・プランチェックの徹底、包括の人材を厚めにしてほしい(委託金を増加する)。
- ・海に面していることもあり、災害時の近隣市町村との連携ネットワークを構築してほしい。
- ・保険者の考え方が市によって違うため、訪問介護などのサービス内容について迷う事が多い。認定調査票もばらばらで、一本化してほしい。
- ・医療、介護の人手不足を解決するために積極的な対策を打ち出してほしい。介護報酬の見直し時に大幅な賃上げを検討、実施してほしい。

## 第7編 自由回答意見 (IV 介護支援専門員 (ケアマネジャー) 調査 自由回答結果)

- ・地域包括ケアシステムを導入する前に、行政はサービス事業への働きかけや、NPOなどや民生委員の充実などへの支援を行う事を願いたい。
- ・委託で受けているので逗子のサービス自体が分からないことが多い。
- ・サービス事業者はそれぞれ利用者のために本当一生懸命やってくれていると感じる。事業者のモチベーションが下がるような、制度や行政の指導の規制をあまり強化しないでほしい。ほとんどの事業者はよくやっている。

### 書類や研修の負担感(7件)

- ・法定研修の費用が高すぎると思う。
- ・書類ばかりが増えて、書類のために仕事をしているかの様である。
- ・ケアマネジャーが作成する書類が多く、時間をとられている。省略できれば、利用者や家族と話をし信頼関係を築く時間が作れると思う。
- ・介護支援専門員のみ、更新が必要で、そのコストもかなり高額なのはなぜなのか。年々、ケアマネの業務は細かくなり書類も手間も減っていないので負担感が大きくなる一方である。
- ・届出など介護保険に関する用紙を全国統一してほしい。書式の用意など余計な手間がかかるので。
- ・ケアマネに課される事務がますます煩雑化してきている。本来は利用者との関係を密にして fact to face を優先させるべき。それを阻害する過度の事務を要求するのではなく、行政サイドだけでなく、ケアマネ業務(事務)の合理化を考えてもらいたい。
- ・施設ケアマネが参加できる研修等をお願いしたい。

### 職員の処遇改善、職員の不足(4件)

- ・介護についての若い人達への関心は低い。もっと国をあげて介護についての関心、また、職業とする事への目標職種となるような取組を希望する。
- ・老老介護により、介護ができない高齢者が沢山いる。施設入所を希望しても、介護者が不足している状態で、介護職員もへトヘトの状態が続いている。また、重症化により受診者も増えている。もっと介護職員が働きがいを感じるよう、待遇の面で見習ってほしい。→退職につながる。
- ・加算を取るためにとくはおかしい。必要ない薬が多すぎる。在宅へというのなら、そうできる環境を。介護者は死への関わりも多い、最低でも夜勤4回手取り25万確保。
- ・施設職員を増員し介護にゆとりを持って取り組んでいきたいので、人数が増えれば職員の連勤がなくなり、利用者に対してゆとりをもった介護が行える。

### その他(3件)

- ・自立支援者(健康高齢者)を出すための対策、がん患者・認知症患者をいかに減らせるか、医療費介護費の支出削減、などが重要である。
- ・孤立している本人や家族への支援、孤独死やごみ屋敷、空き家対策のために、包括職員の数を増やしてほしい。
- ・高齢者の医療費が膨大となっているが、必要のない通院や、服薬量が多すぎる。医療、医薬品業界が、そうさせていると思う。



## 第8編 日常生活圏域ニーズ調査(概要版)

## 1 調査の概要

## (1) 調査対象

- ・平成28年6月20日現在、逗子市内に住所を持ち、市内にお住いの65歳以上の方（要支援・要介護認定を受けている方を除く）。

## (2) 調査方法

- ・郵送による配布・回収

## (3) 調査期間

- ・平成28年7月5日～7月19日  
（その後未回収者に対しては調査票を再送付して9月27日まで回収）

## (4) 調査項目

- ① 家族や生活状況
- ② 生活機能
- ③ 外出
- ④ 運動・転倒予防
- ⑤ 栄養・食事・口腔
- ⑥ 記憶
- ⑦ 社会参加
- ⑧ 健康
- ⑨ 運動・栄養改善プログラムや保健福祉サービス

## (5) 回収結果

単位：人

性別	調査対象者数	有効回収数	有効回収率(%)
男性	6,756	4,974	73.6
女性	8,162	6,146	75.3
総数	14,918	11,120	74.5

## 2 回答者の属性

## (1) 年齢構成

単位:人

性別	65～74歳			75歳以上				総数	
	65～69歳	70～74歳	計	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上		
男性	27.2% 1,355	25.1% 1,247	52.3% 2,602	22.7% 1,127	16.2% 804	7.3% 362	1.6% 79	47.7% 2,372	100.0% 4,974
女性	26.7% 1,644	26.4% 1,623	53.2% 3,267	23.2% 1,423	16.1% 992	5.9% 360	1.7% 104	46.8% 2,879	100.0% 6,146
総数	27.0% 2,999	25.8% 2,870	52.8% 5,869	22.9% 2,550	16.2% 1,796	6.5% 722	1.6% 183	47.2% 5,251	100.0% 11,120

※上段の構成比は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある(以下同じ)。

## (2) 認定・該当状況

単位:人

性別	一次予防 事業対象者	二次予防 事業対象者	不明	総数
男性	78.5% 3,905	19.8% 986	1.7% 83	100.0% 4,974
女性	72.3% 4,442	25.5% 1,566	2.2% 138	100.0% 6,146
総数	75.1% 8,347	22.9% 2,552	2.0% 221	100.0% 11,120

## (3) 世帯構成

単位:人

性別	一人暮らし	配偶者と 二人暮らし	配偶者 以外と 二人暮らし	同居 (三人以上)	その他	無回答 不明	総数
男性	8.9% 441	48.3% 2,404	3.6% 179	34.2% 1,701	2.7% 136	2.3% 113	100.0% 4,974
女性	19.9% 1,224	34.4% 2,116	10.3% 631	29.9% 1,837	2.5% 152	3.0% 186	100.0% 6,146
総数	15.0% 1,665	40.6% 4,520	7.3% 810	31.8% 3,538	2.6% 288	2.7% 299	100.0% 11,120

## (4) 圏域

単位:人

性別	東部	中部	西部	総数
男性	36.8% 1,832	24.6% 1,225	38.5% 1,917	100.0% 4,974
女性	36.2% 2,223	25.4% 1,562	38.4% 2,361	100.0% 6,146
総数	36.5% 4,055	25.1% 2,787	38.5% 4,278	100.0% 11,120

## 3 生活機能

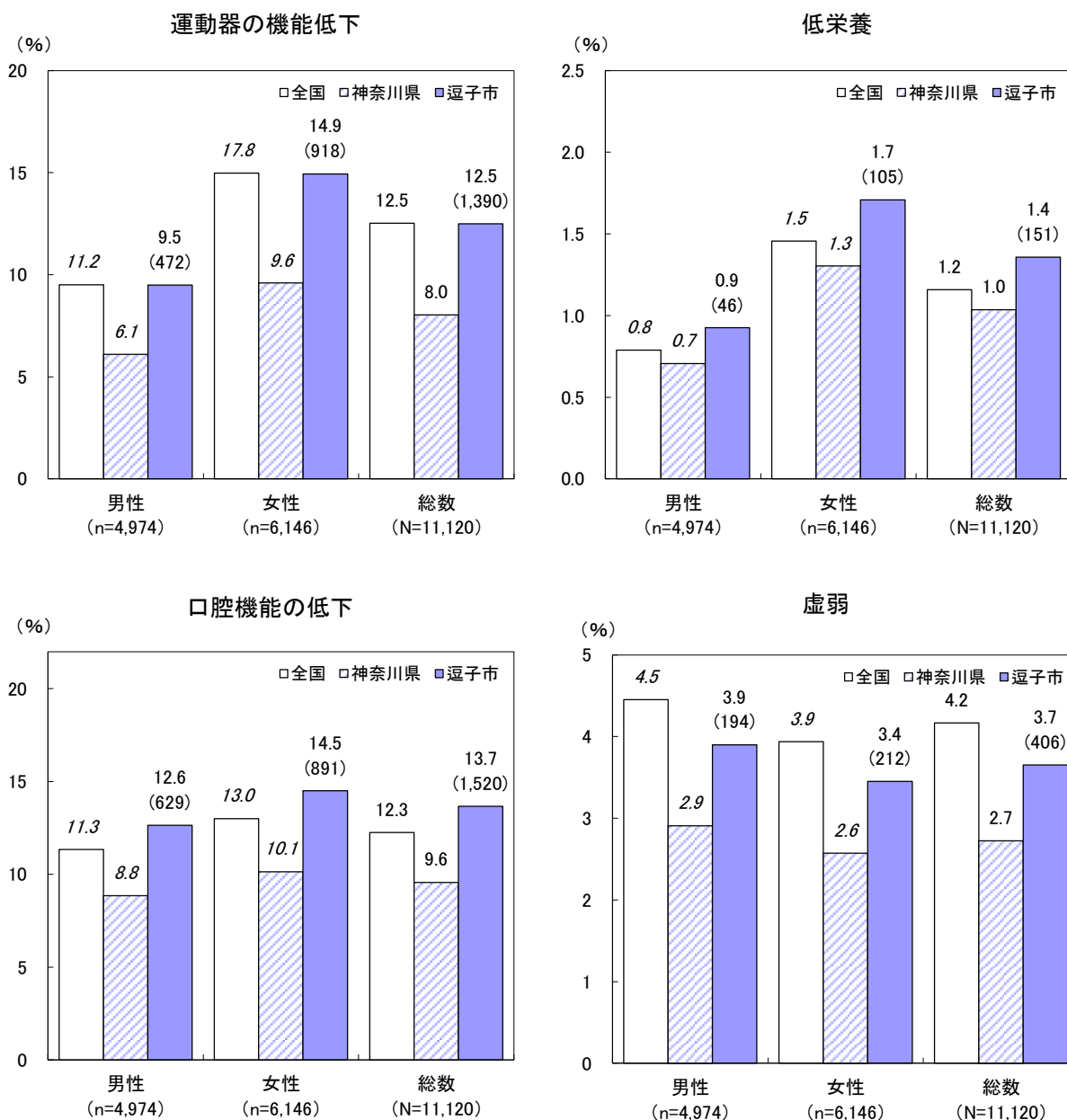
## (1) 基本チェックリスト主要評価項目

国で定めている基本チェックリストの主要評価項目別の該当者割合をみると、口腔機能低下が全体の13.7%で最も高く、次いで運動器の機能低下(12.5%)、虚弱(3.7%)が続いています。低栄養の該当者は全体の1.4%と少なくなっています。

性別にみると、運動器や低栄養、口腔機能では女性のほうが該当者割合が高くなっています。

調査対象の年齢構成が異なるため、単純な比較はできませんが、全国、神奈川県との調査結果と比較すると、いずれの項目も神奈川県よりは該当者割合が高くなっています。全国との比較では、低栄養、口腔機能は全国の値を上回っていますが、虚弱は下回っています。

図表 評価項目別該当者割合



※1 全国、神奈川県の総数の値は、「平成26年度介護予防事業及び日常生活支援総合事業(地域支援事業)の実施状況に関する調査結果」(厚生労働省)から算出(以下同じ)。

※2 全国、神奈川県の男女別の値(斜次で表記)については、全国、神奈川県の総数の値に逗子市の総数の値に対する男女それぞれの値の比を乗じて求めた参考値(以下同じ)。

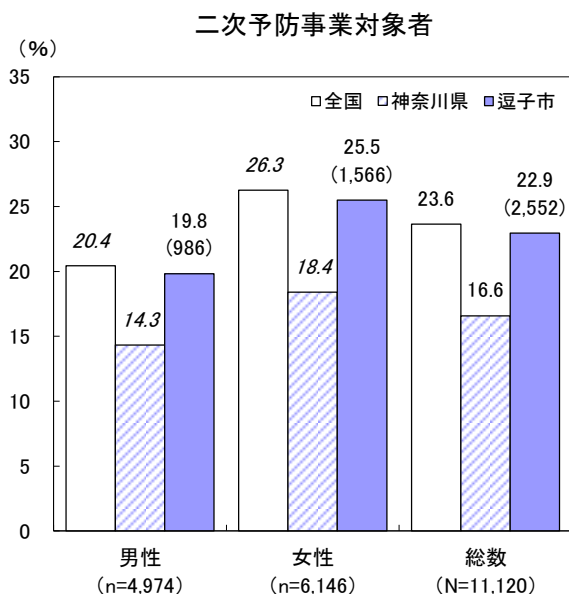
※3 逗子市のグラフ上の()書きは、該当者数(以下同じ)。

運動、栄養、口腔、虚弱のいずれかで該当した場合には、二次予防事業対象者となりますが、同一人が重複して該当している場合があるため、こうした重複を除いた「二次予防事業対象者」として評価すると、全体で2,552人、22.9%（男性19.8%、女性25.5%）が二次予防事業対象者となっています。

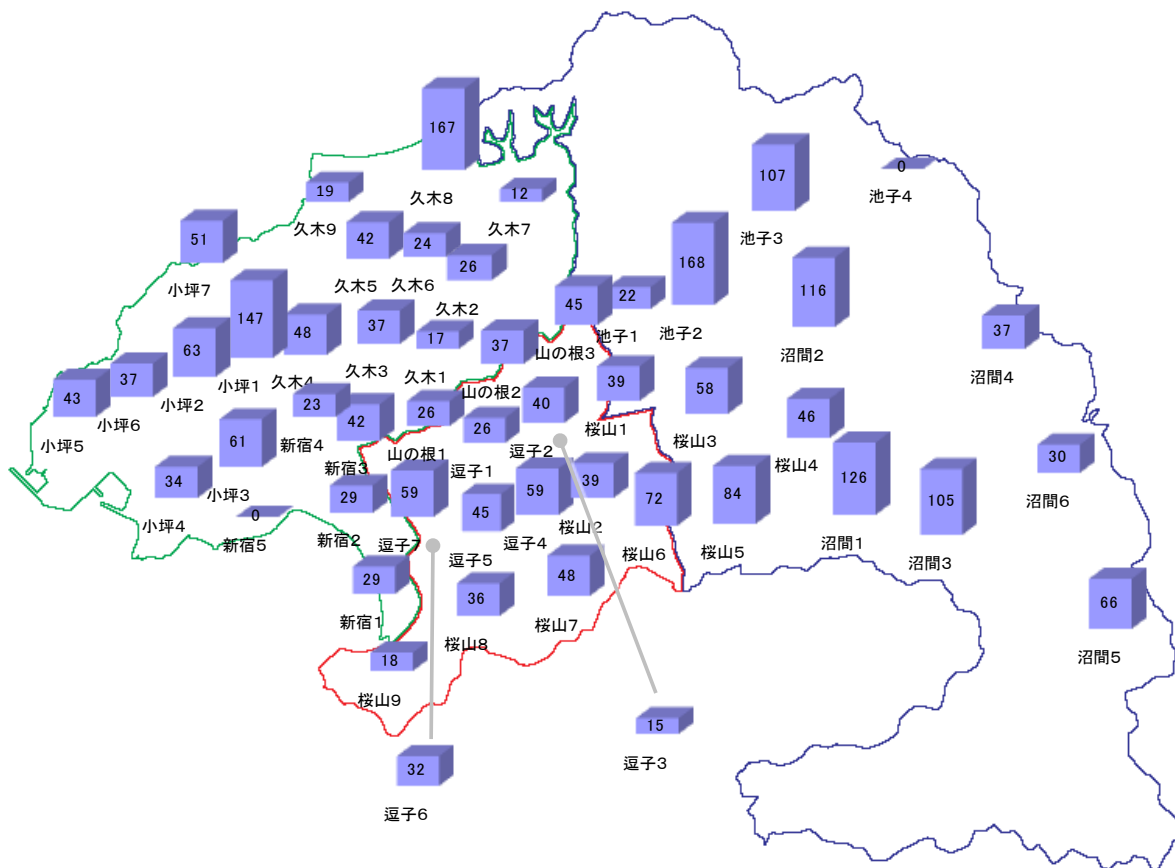
全国、神奈川県と比較すると、全国より0.7ポイント低い一方、神奈川県より6.3ポイント高くなっています。

町丁別にみると、池子2丁目、久木8丁目が160人超と介護予防事業対象者が多くなっています。

図表 二次予防事業対象者割合



図表 対象者数の分布 (二次予防事業対象者)



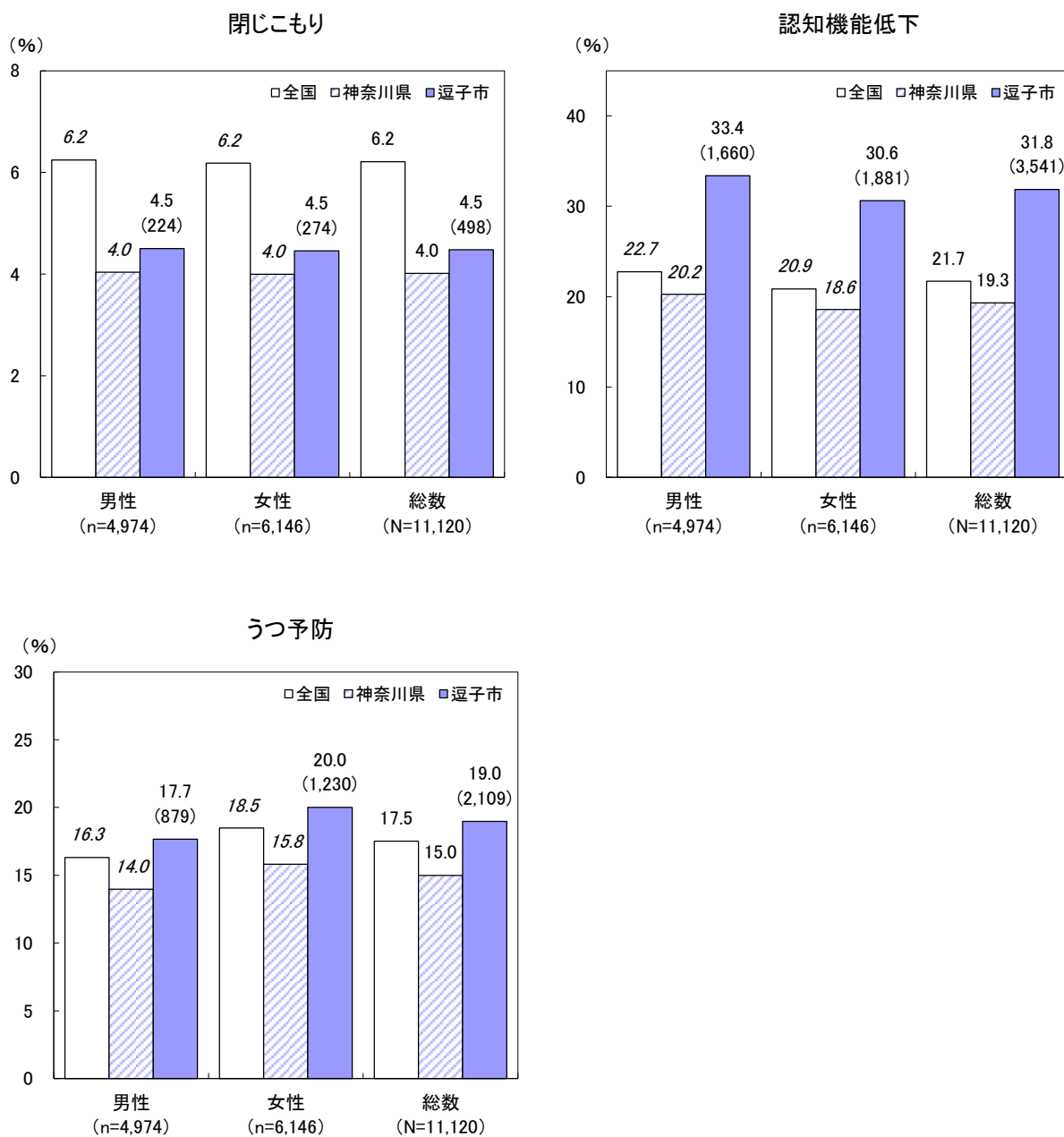
(2) その他の評価項目

基本チェックリストのその他の評価項目である閉じこもり、認知機能低下、うつ予防に該当する方は、それぞれの状況にも考慮した支援が必要になります。

これらのうち、最も多いのが認知機能低下で全体の31.8%を占め、次いでうつ予防(19.0%)、閉じこもり予防(4.5%)となっています。

全国との比較では、閉じこもりの該当者割合が全国の結果より1.7ポイント低くなっている一方、特に認知機能では全国の結果より10.1ポイント上回っています。

図表 項目別該当者割合



## 4 健康・疾病

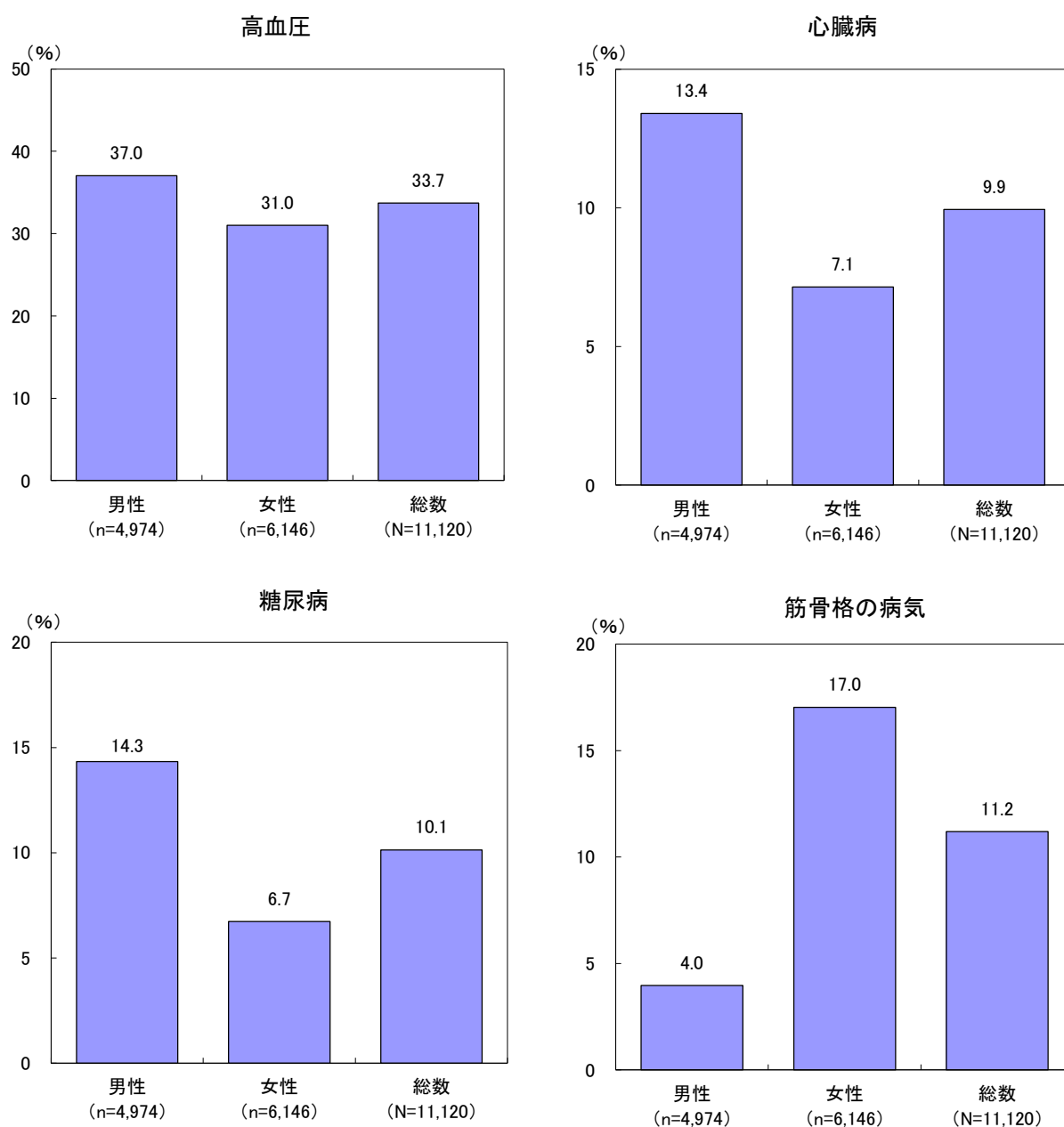
## (1) 疾病

今回の対象者の疾病の状況（「現在治療中または後遺症のある病気」）を、要介護原因と関連すると考えられる主な疾病についてみてみます。

全体では「高血圧」が33.7%で最も多く、次いで「筋骨格の病気」(11.2%)、「糖尿病」(10.1%)、「心臓病」(9.9%)となっています。

性別にみると、「高血圧」「心臓病」「糖尿病」といった生活習慣病は男性で多い一方、「筋骨格の病気」は女性で多くなっています。

図表 疾病別有病率①

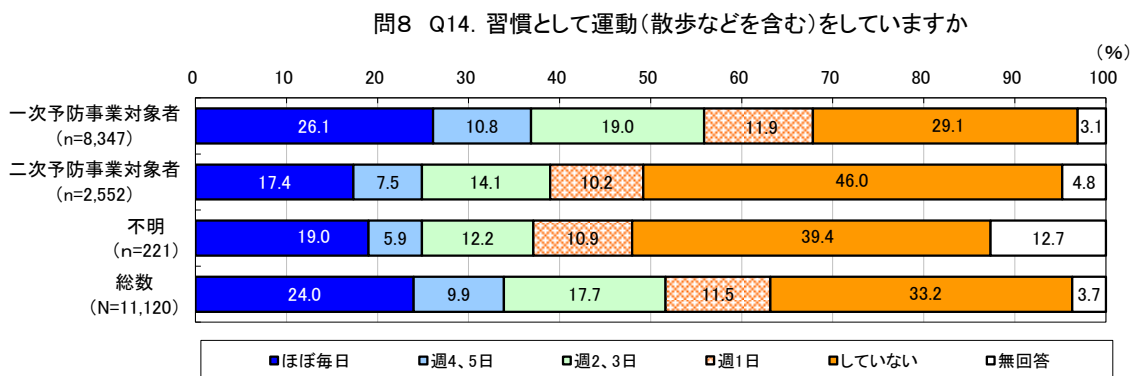


(2) 運動習慣

運動習慣についてみると、全体で最も多いのは「していない」で33.2%、次いで「ほぼ毎日」(24.0%)、「週2~3日」(17.7%)、「週1日」(11.5%)が続いています。

該当状況別にみると、二次予防事業対象者で「していない」との回答が多くなっています。

図表 運動習慣

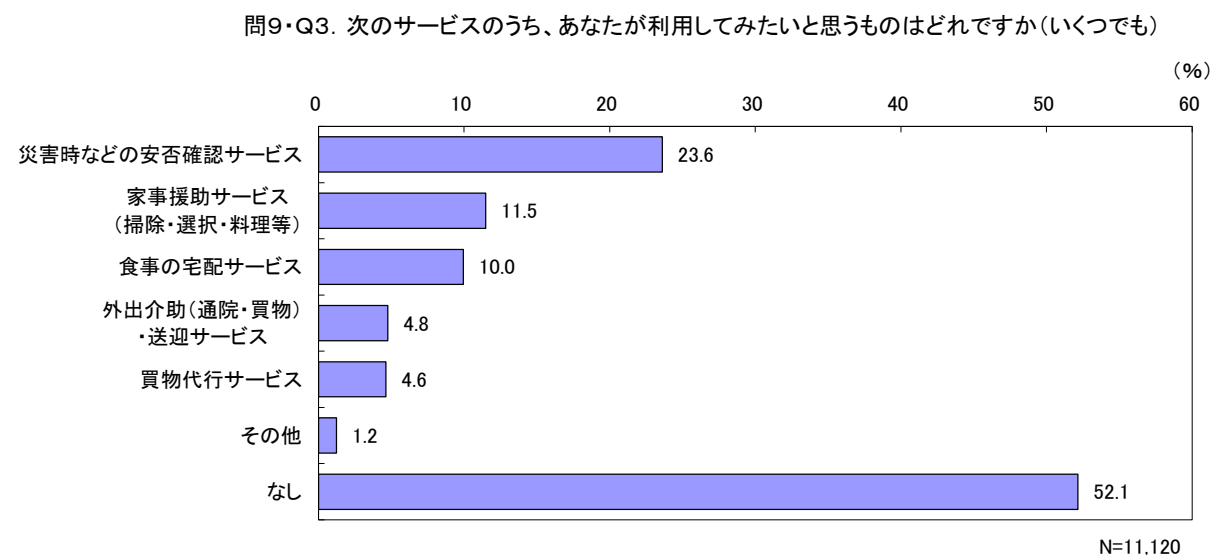


5 保健福祉サービス

(1) 利用したいサービス

利用したい保健福祉サービスとしては、「災害時などの安否確認サービス」が23.6%で最も多く、次いで「家事援助サービス」が11.5%、「食事の宅配サービス」が10.0%などとなっています。

図表 利用したい保健福祉サービス

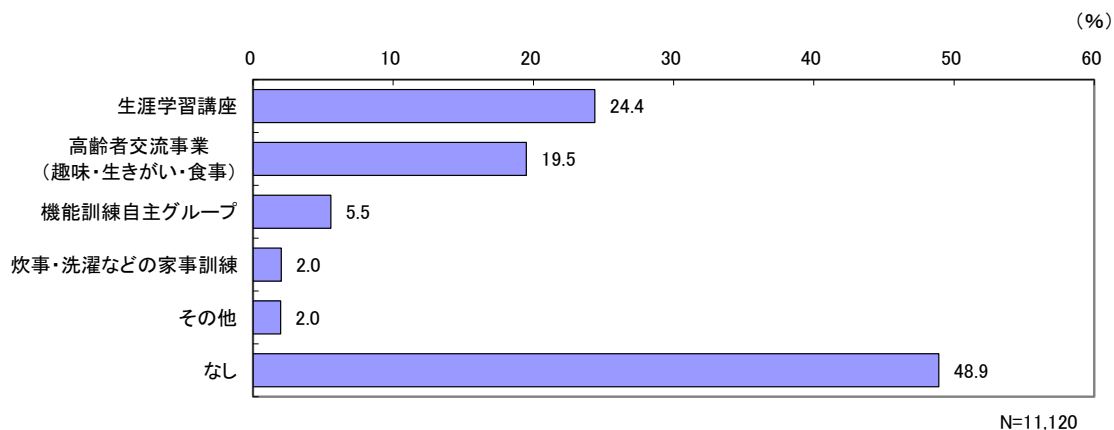


## (2) 参加したい事業

参加したい事業としては、「生涯学習講座」が24.4%で最も多く、次いで「高齢者交流事業（趣味・生きがい・食事）」19.5%、「機能訓練自主グループ」が5.5%、「炊事・洗濯などの家事訓練」が2.0%となっています。

図表 参加したい事業

問9・Q4. 次の事業のうち、あなたが参加してみたいと思うものはどれですか(いくつでも)

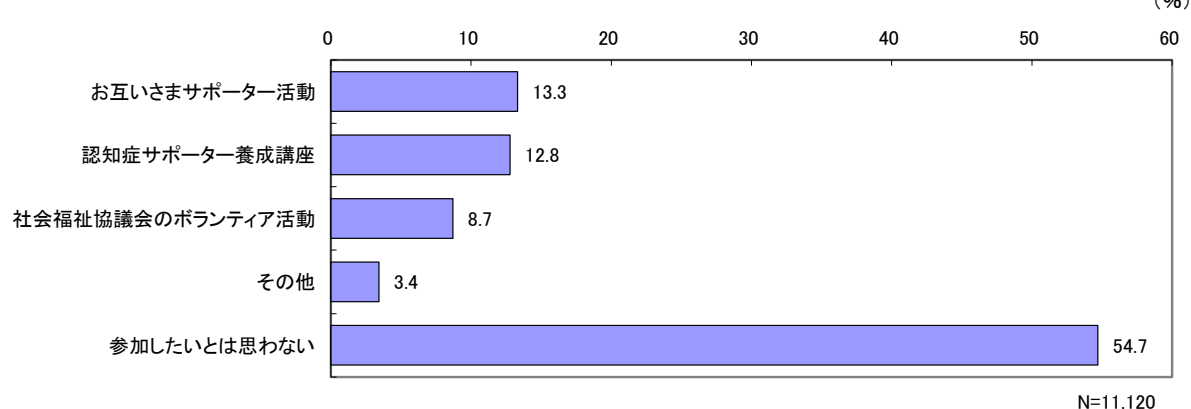


## (3) 市が主催している講座等への参加意向

参加したい市主催の事業としては、「お互いさまサポーター活動」が13.3%で最も多く、次いで「認知症サポーター養成講座」が12.8%、「社会福祉協議会のボランティア活動」が8.7%などとなっています。

図表 参加したい事業

問9・Q5. お互いさまサポーター活動や認知症サポーター養成講座など、市などが主催している講習・講座、活動で参加してもよいと思うものをお答えください(いくつでも)





## 第9編 在宅介護実態調査

### 1 調査目的

平成28年9月、厚生労働省老健局介護保険計画課より、計画策定のための新たな基礎調査として、「在宅介護実態調査」が示されました。

本調査は、介護保険事業計画の策定において、これまでの「地域包括ケアシステム」の観点に加え、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点から、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的としています。

対象者は、在宅で要支援・要介護認定を受けている方です。

調査の実施にあたっては、介護認定の更新及び区分変更申請に伴い行われる、認定調査の機会を活用し、市認定調査員により実施しました。

### 2 調査対象、回収数

#### (1) 調査対象者

在宅で生活している要支援・要介護者のうち、調査期間に「要支援・要介護認定の更新申請又は区分変更申請」を行った方で、市認定調査員による認定調査を受ける方から抽出しました。

※医療機関に入院している方、又は以下の施設に入所若しくは入居している方については、調査対象外としました。

特別養護老人ホーム・老人保健施設・介護療養型医療施設・特定施設・グループホーム・地域密着型特定施設・地域密着型特別養護老人ホーム

#### (2) 調査事例数

193件の回答を回収しました。

#### (3) 調査期間

平成28年12月16日（金）から平成29年3月31日（金）

#### (4) 調査方法

更新・区分変更申請に伴う認定調査時に、実施しました。

はじめに調査への同意書をご記入いただき、調査票に沿って聞き取りを行いました。

調査票は、国から示された必須項目を使用し、A票（認定調査員が、概況調査等と並行して記載していただく項目）、B票（主な介護者様、もしくはご本人にご回答・ご記入いただく項目）があります。

### 3 調査結果

国提示の自動集計分析ソフトを使用し、認定調査結果と関連付けた分析を行います。

## 資料1 調査項目対照表

※今期は「平成28年度調査」、前期は「平成25年度調査」を示す。

	一般高齢者		要介護認定者		介護者	
	今期(ニーズ調査)	前期	今期	前期	今期	前期
<b>I 回答者の属性</b>						
性別	表紙	I問1	I問1	I問1		
年齢	表紙	I問2	I問2	I問2		
家族構成	問1-Q1	I問3-1	I問3-1	I問3-1		
(ひとり暮らしの親族の居住場所)		I問3-2	I問3-2	I問3-2		
(同居家族)	問1-Q1-1	I問3-3	I問3-3	I問3-3		
(普段の過ごし方)	問1-Q1-2	I問3-4	I問3-4	I問3-4		
同居家族に介護・介助が必要な人がいるか		I問3-5				
誰か		I問3-5-1				
その場合の介助・介護者						
要介護度			I問4-1	I問4-1	II問1-2	II問1-2
要介護者の傷病					II問1-3	
要介護者の心身の状況					II問1-4	II問1-3
介護・介助が必要か	問1-Q9	I問4-1				
要介護状態になった原因	問1-Q9-1	I問4-2	I問4-2	I問4-2		
(介護者人数)					I問1-1	I問1-1
(同居介護者人数)					I問1-2	I問1-2
(主な介護者)	問1-Q9-2	I問4-4	I問4-3	I問4-3	I問3-1	I問2-1
(主な介護者の性別)					I問3-2	I問2-2
(主な介護者の年齢)	問1-Q9-3	I問4-4-2	I問4-5	I問4-5	I問3-3	I問2-3
(主な介護者の同居の有無)		I問4-4-1	I問4-4	I問4-4	I問3-4	I問2-4
(別居している場合)					I問3-4-1	I問2-4-1
(主な介護者の到達時間)						I問2-5
(主な介護者の介護期間)					I問4	I問3
(主な介護者の状態)		I問4-4-3	I問4-6	I問4-6	I問5	I問4
介護離職した家族の有無					I問6	
(主な介護者の介護の内容)					I問7	
(主な介護者の負担感)					I問8-1	I問5-1
(介護者の負担の相談の有無)					I問8-1-1	I問5-1-1
(相談相手)					I問8-1-2	I問5-1-2
(相談したことがない理由)					I問8-1-3	I問5-1-3
(主な介護者が不安に感じる介護)					I問9	
(主な介護者の現在の勤務形態)					I問10	
(主な介護者の介護にあたって働き方の調整)					I問11	
(仕事と介護の両立に必要な支援)					I問12	
(今後も働きながら介護を続けていけるか)					I問13	
(認知症の場合に困っている点)					II問1-4-1	II問1-3-1
生活環境(悩み・心配事)、(相談相手)	問7-Q6	I問5-1、4	I問5-1、4	I問5-1、4		
生活環境(家事の手伝い)(手伝ってくれる人)	問7-Q5	I問5-2、4	I問5-2、4	I問5-2、4		
生活環境(災害等での支援)(支援者)		I問5-3、4	I問5-3、4	I問5-3、4		
相談しやすいところ	類似：問7-Q6	I問6	I問6	I問6		
心配なこと・困っていること	類似問8-Q15~19	I問7	I問7	I問7		
収入ある仕事への就業の有無	問7-Q4	I問8-1	I問8-1	I問8-1		
世帯年収	類似：問1-Q2、2	I問8-2		I問8-2		
暮らし向き	類似：問1-Q2、3	I問8-3	I問8-2	I問8-3		
居住期間		I問9-1	I問9-1	I問9-1		
居住地区	表紙	I問9-2	I問9-2	I問9-2		
戸建てか否か	問1-Q4	I問9-3	I問9-3	I問9-3		
住まいの形態	問1-Q5	I問9-4	I問9-4	I問9-4		
2階以上か	問1-Q7	I問9-5	I問9-5	I問9-5		
玄関まで段差があるか	問1-Q6					
(エレベーター等はありますか)	問1-Q7-1	I問9-6	I問9-5-1	I問9-5-1		

## 資料 1 調査項目対照表

	一般高齢者		要介護認定者		介護者	
	今期(ニーズ調査)	前期	今期	前期	今期	前期
<b>II 健康状態</b>						
健康と思うか	問8-Q1	II問1	II問1	II問1		
治療中・後遺症のある病気	問8-Q3	II問2	II問2	II問2		
服薬中の薬の種類	問8-Q4	II問3	II問3	II問3		
治療を受けているか	問8-Q5	II問4	II問4	II問4		
(通院方法)			II問4-1	II問4-1		
(通院場所)			II問4-2	II問4-2		
(通院頻度)			II問4-3	II問4-3		
(介助が必要か)			II問4-4	II問4-4		
健康状態	問8	II問5	II問5	II問5		
転倒	問4-Q1~7	II問6	II問6	II問6		
骨粗しょう症予防対策		II問7				
体重減少の有無	問5-Q1	II問8	II問7	II問7		
身長・体重	問5-Q2	II問9	II問8	II問8		
口腔機能	問1-Q9-4	II問10	II問9	II問9		
1日の食事回数	問5-Q12	II問11	II問10	II問10		
食事を抜くことの有無	問5-Q3~12	II問12	II問11	II問11		
食事をともにする機会	問5-Q13	II問13	II問12	II問12		
(誰とするか)	問5-Q13-1		II問12-1	II問12-1		
寝床に入る際の介助	問1-Q9-5					
座位保持	問1-Q9-6					
洗面・ハミガキ	問1-Q9-7					
トイレ	問1-Q9-8					
入浴	問1-Q9-9					
50M歩けるか	問1-Q9-10					
階段昇降	問1-Q9-11					
着替え	問1-Q9-12					
便失禁	問1-Q9-13					
尿失禁	問1-Q9-14					
物忘れ	問6-Q1~6	II問14	II問13	II問13		
<b>III 日常生活</b>						
日常生活	問2-Q2~11	III問1	III問1	III問1		
生活上困っていること	類似：問2	III問2	III問2	III問2		
<b>IV 外出・社会参加</b>						
運動・外出状況	問2-Q1、問3-Q1・2	IV問1	IV問1	IV問1		
(外出を控える理由)	問3-Q3		IV問1-1	IV問1-1		
買い物・散歩の頻度	問3-Q4	IV問2	IV問2	IV問2		
外出時の移動手段	問3-Q5	IV問3	IV問3	IV問3		
社会参加	問7	IV問4	IV問4	IV問4		
友人関係	問1-Q10.11、問7-Q7	IV問5				
団体活動等への参加の有無	問7-Q3	IV問6	IV問5	IV問5		
地域活動等への参加の有無	問7-Q4	IV問7				

資料1 調査項目対照表

	一般高齢者		要介護認定者		介護者	
	今期(ニーズ調査)	前期	今期	前期	今期	前期
<b>V 介護保険</b>						
介護保険料負担者		V問1-1	V問1-1	V問1-1		
保険料認知度		V問1-2	V問1-2	V問1-2		
保険料負担感		V問1-3	V問1-3	V問1-3		
サービス水準と保険料		V問1-4	V問1-4	V問1-4		
(適切な保険料)		V問1-5	V問1-4-1	V問1-4-1		
今後の生活形態	問1-Q8	V問2	V問3-1	V問3-1		
充実希望サービス		V問4	V問2	V問2		
現在の生活場所			V問3-2	V問3-2	Ⅱ問1-1	Ⅱ問1-1
必要になれば要介護認定をするか		V問3-1				
必要になっても要介護認定をしない理由		V問3-1-1				
介護が必要なのに要介護認定をしていない理由		I問4-3				
介護保険サービス利用の有無			V問4	V問4	Ⅱ問2	Ⅱ問2
施設等への入所・入居検討状況					Ⅱ問3	
訪問診療の利用の有無					Ⅱ問4	
利用していない理由			V問5-1	V問5-1		
利用を考えているサービス			V問5-2	V問5-2		
(利用を考えている在宅サービス)			V問5-2-1	V問5-2-1		
(入所・入居を考えている施設)			V問5-2-2	V問5-2-2		
ケアプランの認知度			V問6-1-1	V問6-1-1	Ⅲ問1-1	Ⅲ問1-1
(ケアプランに対する不満点)			V問6-1-1-1	V問6-1-1-1	Ⅲ問1-1-1	Ⅲ問1-1-1
ケアマネとの連絡を取る人					Ⅲ問2-1	Ⅲ問2-1
ケアマネに対する不満点					Ⅲ問2-2	Ⅲ問2-2
地域包括職員に対する不満点			V問6-1-2	V問6-1-2		
利用サービス					Ⅲ問3-1	Ⅲ問3-1
もっと利用したいサービス、利用しにくいサービス					Ⅲ問3-2	Ⅲ問3-2
希望サービス					Ⅲ問3-3	Ⅲ問3-3
利用サービスの不満点			V問6-2-1	V問6-2-1		
事業所選択に際し重視する点			V問6-2-2	V問6-2-2		
利用限度額とサービス利用			V問6-3-1	V問6-3-1		
(限度額を超えて利用している理由)			V問6-3-2	V問6-3-2		
(主な利用サービス)			V問6-3-3	V問6-3-3		
(限度額の何割まで利用しているか)			V問6-3-4	V問6-3-4		
(限度額まで利用していない理由)			V問6-3-5	V問6-3-5		
施設入所・入院希望の有無			V問6-4-1	V問6-4-1		
(申し込んでいる介護保険施設)			V問6-4-2	V問6-4-2		
(希望している介護保険施設以外の場所)			V問6-4-3	V問6-4-3		
(その理由)			V問6-4-4	V問6-4-4		
(希望時期)			V問6-4-5	V問6-4-5		
介護保険施設入所・入院待機期間			V問7-1-1	V問7-1-1		
入所・入院以前の生活場所			V問7-1-2	V問7-1-2		
入所・入院施設に対する不満点			V問7-2	V問7-2	Ⅳ問1-3	Ⅳ問1-3
今後の生活希望場所	問1-Q8		V問7-3	V問7-3	Ⅳ問2	Ⅳ問2
施設での要介護認定調査への立ち合いの有無					Ⅳ問1-2	Ⅳ問1-2
施設ケアプランの認知度			V問7-4	V問7-4	Ⅳ問1-1	Ⅳ問1-1
(施設ケアプランの満足度)			V問7-4-1	V問7-4-1		
要支援者利用サービス			V問8-1	V問8-1		
要支援者が生活に支障を来さずサービス			V問8-2	V問8-2		
利用料負担者			V問9-1	V問9-1		
利用料負担額の認知度			V問9-2	V問9-2		
(利用料負担額)			V問9-3	V問9-3		
(利用料負担額負担感)			V問9-4	V問9-4		
<b>VI 高齢者福祉全般</b>						
福祉サービス利用状況・利用意向	問9	Ⅵ問1	Ⅵ問1	Ⅵ問1		
介護予防サービス利用状況・利用意向	問9	Ⅵ問2				
ふれあいサロン参加意向		Ⅵ問3-1				
ふれあいサロンで望ましいイベント		Ⅵ問3-2				
介護者支援サービス利用状況・利用意向					V問1	V問1
介護保険のサービス以外の支援サービス利用状況					Ⅵ問1	
今後の在宅生活の継続に津用途感じる支援・サービス					Ⅵ問2	
高齢者の保険福祉制度の内容やサービスについて相談しやすい場所					Ⅵ問3	
自由意見		Ⅳ問4	Ⅵ問2	Ⅵ問2	Ⅵ問4	

## 資料 1 調査項目対照表

	サービス提供事業所	
	今期	前期
<b>I 事業所について</b>		
概要	I 問 1	I 問 1
介護保険サービスの実績と予定		I 問 2-1
新たなサービスの実施予定	I 問 2-1	I 問 2-2
(新たなサービスの具体的内容)		I 問 2-2-1
(実施予定サービスの詳細)	I 問 2-1-1	
介護保険サービスの他に扱っている物品、サービスの実施状況・予定	I 問 3	I 問 3
地域密着型サービスの実施状況・予定		I 問 4
サービスが利用者の希望どおり提供されているか	I 問 4	I 問 5
事業展開上の苦慮する点	I 問 5	I 問 6
介護保険制度や業務に必要な情報を得るための有効な方法	I 問 6	I 問 7
関係者間の連携と連絡の評価	I 問 7	I 問 8
要介護者用の各種マニュアルの有無	I 問 8	I 問 9
利用者・契約者・家族からの苦情や相談の傾向	I 問 9-1	I 問 10-1
苦情や相談にむけた特別な機関の設置の有無	I 問 9-2	I 問 10-2
(特別な機関の種類)	I 問 9-2-1	I 問 10-2-1
(特別な機関を設置せずに対応する方法)	I 問 9-2-2	I 問 10-2-2
教育研修の取り組み	I 問 10-1	I 問 11-1
(研修会・講習会のテーマ)	I 問 10-1-1	I 問 11-1-1
<b>II 市の介護保険事業との連携</b>		
質の良いサービスの提供のために逗子市に期待すること	II 問 1	II 問 1
移送サービスの提供状況と提供意向	II 問 2	II 問 2
介護保険制度の運営における市に必要な取り組み	II 問 3	II 問 3
自由意見	II 問 4	II 問 4

	介護支援専門員（ケアマネジャー）	
	今期	前期
<b>I 回答者の属性</b>		
性別	I 問 1	I 問 1
年齢	I 問 2	I 問 2
経験年数	I 問 3	I 問 3
ケアマネジャー以外の資格	I 問 4	I 問 4
所属組織の種類別	I 問 5	I 問 5
所属組織の事業所形態	I 問 6	I 問 6
併設サービスの有無	I 問 7	I 問 7
(併設サービスの種類)	I 問 7-1	I 問 7-1
<b>II 回答者の勤務形態</b>		
回答者の勤務形態	II 問 1	II 問 1
専任か兼任か	II 問 2	II 問 2
(ケアマネジャー業務の割合)	II 問 2-1	II 問 2-1
(兼務している業務の種類)	II 問 2-2	II 問 2-2
1ヶ月の実労働時間	II 問 3	II 問 3
キャリアアップ意向	II 問 4	II 問 4
<b>III ケアプラン作成・給付管理業務等</b>		
依頼主の居住地	III 問 1-1	III 問 1-1
最も多い依頼主の居住地	III 問 1-2	III 問 1-2
ケアプランの作成件数及び給付管理業務担当件数	III 問 2-1	III 問 2-1
ケアマネジャー1人あたりの1カ月の適切な担当利用者数	III 問 2-2	III 問 2-2
業務別実施件数	III 問 2-3	III 問 2-3
給付管理業務を担当する職種	III 問 2-4	III 問 2-4
ケアプラン作成時に重視していること	III 問 3-1	III 問 3-1
ケアプラン作成時に利用者・家族の意向や、主治医との連携がとれているか	III 問 3-2	III 問 3-2
ケアプラン作成時に所属事務所による経営的観点からの条件提示や指示があるか	III 問 3-3	III 問 3-3
ケアプラン作成時に困ること	III 問 3-4	III 問 3-4
ケアプラン作成で困ったときの相談者	III 問 3-5	III 問 3-5
利用者が主体的にサービスを選択・利用できるような心がけていること	III 問 4	III 問 4
サービス担当者会議で利用者の主治医と連携しているケースの割合	III 問 5-1	III 問 5-1
(連携していない理由)	III 問 5-2	III 問 5-2
サービス担当者会議で問題となる点	III 問 5-3	III 問 5-3
モニタリングの実施について問題となる点	III 問 6	III 問 6
サービス担当者（事業者）間の主な連絡手段	III 問 7-1	III 問 7-1
緊急時の対策（利用者の体調変化、災害対応、業務上のアクシデント）	III 問 7-2	III 問 7-2
地域包括支援センターとの連絡体制について（自由意見）	III 問 7-3	III 問 7-3
<b>IV 逗子市の提供サービスについて</b>		
量が不足している逗子市の介護保険サービス	IV 問 1-1	IV 問 1-1
質が悪い逗子市の介護保険サービス	IV 問 1-2	IV 問 1-2
逗子市に需要増が見込まれる介護保険サービス	IV 問 1-3	IV 問 1-3
逗子市に今後も必要な福祉サービス	IV 問 1-4	IV 問 1-4
逗子市におけるサービス利用について（自由意見）	IV 問 2	IV 問 2
<b>V その他</b>		
成年後見制度	V 問 1	V 問 1
高齢者虐待の情報把握の有無	V 問 2-1	V 問 2-1
(高齢者虐待の中でも件数の多いもの)	V 問 2-1-1	V 問 2-1-1
虐待に至る要因	V 問 2-2	V 問 2-2
利用者への望ましいケアマネジメントに必要なもの	V 問 3	V 問 3
質の良いサービスの提供のために逗子市に期待すること	V 問 4	V 問 4
介護保険制度の運営における市に必要な取り組み	III 問 5-1	III 問 5-1
自由意見	V 問 6	V 問 6

## 資料2 調査票

## 要介護認定者等個別調査票

～要支援・要介護認定を受けておられる方へ～

## 介護保険制度の円滑な実施を図るためのアンケート調査のお願い

日頃から逗子市の高齢者保健福祉行政につきまして格別のご理解・ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、逗子市では、高齢者が安心して暮らしていける環境づくりを進めるため、平成30年度以降の高齢者保健福祉計画の見直しを行います。

このため、要支援・要介護の認定を受けている方（以下「要介護者」といいます。）の中から、本市が要介護(支援)度別層化比例・無作為に抽出し、600名の方（11月1日現在）を対象に、アンケート調査を実施します。

この調査は、介護保険サービスの利用状況や今後の利用意向などをお伺いします。

皆さまからの回答は、個人が特定できないように、すべてコンピューターにより統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

平成28年11月

## ご記入に当たってのお願い

1. この調査票でいう「あなた」とは、**要介護者ご本人**のことです。できるだけご本人が回答してください。ご本人が回答できない場合は、ご本人のお気持ちを考え、ご家族の方等が回答して下さっても結構です。
2. 回答は、**平成28年11月の状況**でご記入ください。
3. 回答は、選択肢に○を付けていただく場合と、記述していただく場合、数字を記入していただく場合があります。

回答の仕方は、質問ごとの指定に従ってください。

- ◆付けていただく○の数が複数の場合は、質問ごとに示してあります。
- ◆記述していただく場合は、（ ）の中または枠の中にご記入ください。
- ◆回答により、次に進む質問が異なる場合があります。ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわりのない場合は、次の設問にお進みください。
- ◆回答したくない設問は無記入にし、次の設問にお進みください。

ご記入いただいた調査票は、**12月20日（火曜日）までに**、同封の返信用封筒により、逗子市福祉部介護保険課介護保険係までご返送ください（切手を貼る必要はありません）。

なお、この調査票についてご不明の点がございましたら、お手数ですが、介護保険課介護保険係までお問い合わせください。

問い合わせ先 逗子市福祉部介護保険課介護保険係

電話 046 (873) 1111 内線 246・247

◎最初にこの調査にご回答いただく方についておたずねします。

1. ご本人自らが回答
2. ご本人の回答を、別の方が代筆
3. ご本人の思いを想定し、別の方が代理で回答



【2、3とお答えの方におたずねします】

それは、ご本人からみてどなたですか。

- |        |         |         |      |
|--------|---------|---------|------|
| 1. 配偶者 | 2. 子    | 3. 兄弟姉妹 | 4. 孫 |
| 5. 親   | 6. その他（ |         | ）    |

## I あなたとあなたのご家族や生活状況について

問1. あなたの性別はどちらですか。(ひとつだけに○)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2. あなたの年齢はおいくつですか。(ひとつだけに○)

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1. 40～64 歳 | 2. 65～69 歳 | 3. 70～74 歳 |
| 4. 75～79 歳 | 5. 80～84 歳 | 6. 85 歳以上  |

問3. あなたの住まい方についておたずねします。施設や病院等に入所・入院中の場合は、ご自宅の状況についてお答えください。

問3-1. 家族構成についておたずねします。(ひとつだけに○)

- |                      |             |
|----------------------|-------------|
| 1. ひとり暮らし            | ⇒ 問3-2へ     |
| 2. 配偶者のみ(あなたと二人世帯)   | ⇒ 問3-4へ     |
| 3. 配偶者以外の65歳以上の方との世帯 | } ⇒ 問3-3・4へ |
| 4. その他の世帯(同居世帯)      |             |

【「1.ひとり暮らし」とお答えの方のみ】

問3-2. 親族は、どちらにお住まいですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 二世帯住宅にいるが、生活は別 | 2. 同じ敷地内にいるが、生活は別 |
| 3. 近所(歩ける範囲)にいる   | 4. 近所ではないが、市内にいる  |
| 5. 県内(市外)にいる      | 6. 県外にいる          |
| 7. その他(           | ) 8. 親族はいない       |

⇒ 問4へ



【「3.配偶者以外の65歳以上の方との世帯」及び「4.その他の世帯(同居世帯)」とお答えの方のみ】

問3-3. ご自分を含めて何人で暮らしていますか。また、それは、あなたからみてどんな方ですか。

(あてはまるものすべてに○)

( )人

- |                 |           |         |
|-----------------|-----------|---------|
| 1. 父母(配偶者の親も含む) | 2. 配偶者    | 3. 息子   |
| 4. 娘            | 5. 子の配偶者  | 6. 兄弟姉妹 |
| 7. 孫            | 8. その他( ) |         |

【「2.配偶者のみ(あなたと二人世帯)」及び「3.配偶者以外の65歳以上の方との世帯」及び「4.その他の世帯(同居世帯)」のみ】

問3-4. 普段、誰と一緒に過ごしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                        |                              |
|------------------------|------------------------------|
| 1. 一日中ひとりである           | 2. 昼間(夜間)はひとりで、夜間(昼間)のみ家族という |
| 3. 一日中家族といることが多い       | 4. 一日中家族以外の人といることが多い         |
| 5. 近所の親族・親しい知人といることが多い | 6. 病院や施設の職員といることが多い          |

⇒ 問4へ

問4. あなた自身の生活状態についておたずねします。

問4-1. あなたの要介護度は次のどれに該当しますか。(ひとつだけに○)

- |         |          |         |
|---------|----------|---------|
| 1. 要支援1 | 2. 要支援2  | 3. 要介護1 |
| 4. 要介護2 | 5. 要介護3  | 6. 要介護4 |
| 7. 要介護5 | 8. わからない |         |

問4-2. 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                        |                  |                   |
|------------------------|------------------|-------------------|
| 1. 高血圧                 | 2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) |                   |
| 3. 心臓病                 | 4. 糖尿病           | 5. 脂質異常症(高脂血症)    |
| 6. 呼吸器の病気(肺炎や慢性閉塞性肺疾患) | 7. 骨・関節の病気       |                   |
| 8. 外傷(転倒・骨折等)          | 9. がん            | 10. 認知症(アルツハイマー病) |
| 11. パーキンソン病            | 12. 視覚・聴覚障害      | 13. 高齢による衰弱       |
| 14. 脊椎疾患(脊柱管狭窄症等)      | 15. 心の病気         |                   |
| 16. その他(具体的に: )        |                  |                   |

問4-3. 主にどなたから介護・介助を受けていますか。(ひとつだけに○)

- |                |           |         |               |
|----------------|-----------|---------|---------------|
| 1. 配偶者(夫・妻)    | 2. 息子     | 3. 娘    | } ⇒ 問4-4・5・6へ |
| 4. 子の配偶者       | 5. 孫      | 6. 兄弟姉妹 |               |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他( ) |         | } ⇒ 問5へ       |
| 9. いない         |           |         |               |

問4-4. 主な介護者とは、同居されていますか。(ひとつだけに○)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 同居している | 2. 同居していない |
|-----------|------------|

問4-5. あなたを主に介護・介助してくれている方の年齢は、次のどれですか。(ひとつだけに○)

1. 65歳未満      2. 65～74歳      3. 75～84歳      4. 85歳以上

問4-6. 主な介護者の実状についてお知らせください。(あてはまるものすべてに○)

1. とくに問題はない      2. 高齢である  
3. 病弱である      4. 介護者も要介護認定を受けている  
5. 仕事のために十分介護ができない      6. 子育てのために十分介護ができない  
7. ほかに介護しなければならない人がいる      8. その他の問題がある (      )

問5. あなた自身の生活環境についておたずねします。

問5-1. 悩みや心配事の相談に乗ってくれる人がいますか。(ひとつだけに○)

1. いる ⇒ 問5-4へ      2. いない ⇒ 問6へ

問5-2. 何かあった時に家事を手伝ってくれる人がいますか。(ひとつだけに○)

1. いる ⇒ 問5-4へ      2. いない ⇒ 問6へ

問5-3. 災害や緊急時に支援をしてくれる人がいますか。(ひとつだけに○)

1. いる ⇒ 問5-4へ      2. いない ⇒ 問6へ

【相談に乗ってくれる人・何かあった時に家事を手伝ってくれる人・災害や緊急時に支援をしてくれる人が「1.いる」場合のみ】

問5-4. その人はどなたですか。

(それぞれにつき、あてはまる番号をすべて記入、「17.その他」を選んだ場合には具体的に記入)

いる場合	あてはまる番号	その他(具体的に記入)
①悩みや心配事の相談に乗ってくれる人		
②何かあった時に家事を手伝ってくれる人		
③災害や緊急時に支援をしてくれる人		

1. 配偶者(夫・妻)      2. 息子      3. 娘      4. 子の配偶者  
5. 兄弟姉妹      6. 友人・知人      7. 近所の人      8. 自治会・町内会  
9. 老人クラブ      10. 民生委員・児童委員  
11. 医師・歯科医師・看護師      12. ケアマネジャー  
13. その他の介護サービス従事者      14. 社会福祉協議会  
15. 地域包括支援センター      16. 市役所      17. その他 ⇒ 問6へ

問6. 介護保険制度をはじめ、各種高齢者の保健福祉制度の内容やサービスについて、あなたが相談しやすいところはどこですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市役所の窓口      2. ケアマネジャー      3. 地域包括支援センター  
4. 民生委員・児童委員      5. かかりつけの医師      6. サービスの直接の担当者  
7. 社会福祉協議会      8. その他 (      )  
9. とくにない

問7. 現在心配なこと・困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                         |                    |               |
|-------------------------|--------------------|---------------|
| 1. 自分の健康のこと             | 2. 家族の健康のこと        | 3. 家計のこと      |
| 4. 自分と家族の関係             | 5. 友だちつきあい         | 6. 家族同士の間人間関係 |
| 7. 孤独                   | 8. 自由に外出できない       |               |
| 9. 家族に面倒をみてもらうのがつらい     | 10. 家族が一緒にいる時間が少ない |               |
| 11. 居住空間(狭い・段差・プライバシー等) | 12. 家族の将来(就職や結婚など) |               |
| 13. 災害時の対応              | 14. 自分らしく過ごせていない   |               |
| 15. その他( )              | 16. とくにない          |               |

問8. あなたの経済状況についておたずねします。

問8-1. 現在、収入のある仕事をしていますか。(ひとつだけに○)

1. はい      2. いいえ

問8-2. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(ひとつだけに○)

1. 苦しい    2. やや苦しい    3. 支障はない    4. ややゆとりがある    5. ゆとりがある

問9. あなたのお住まいについておたずねします。施設や病院等に入所・入院中の場合は、ご自宅の状況についてお答えください。

問9-1. あなたが逗子市にお住まいの期間は、通算でどのくらいですか。(ひとつだけに○)

- |               |               |               |
|---------------|---------------|---------------|
| 1. 1年未満       | 2. 1年以上3年未満   | 3. 3年以上5年未満   |
| 4. 5年以上10年未満  | 5. 10年以上20年未満 | 6. 20年以上30年未満 |
| 7. 30年以上40年未満 | 8. 40年以上      |               |

問9-2. お住まいはどちらですか。(ひとつだけに○、そのうえで丁目を記入)

- |        |       |       |       |        |
|--------|-------|-------|-------|--------|
| 1. 逗子  | 2. 桜山 | 3. 沼間 | 4. 池子 | ( ) 丁目 |
| 5. 山の根 | 6. 久木 | 7. 小坪 | 8. 新宿 |        |

問9-3. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(ひとつだけに○)

1. 一戸建て    2. 集合住宅

問9-4. それはどんなお住まいですか。(ひとつだけに○)

- |                          |            |           |
|--------------------------|------------|-----------|
| 1. 自己所有の持家               | 2. 家族所有の持家 | 3. 民間賃貸住宅 |
| 4. 公営賃貸住宅(市・県営、都市機構、公社等) |            |           |
| 5. その他( )                |            |           |

問9-5. お住まい(主に生活する部屋)は2階以上にありますか。(ひとつだけに○)

1. はい ⇒ 問9-5-1へ      2. いいえ ⇒ IIへ

【2階以上にあり「1.はい」と答えた方のみ】

問9-5-1. お住まいにエレベーター・昇降機は設置されていますか。(ひとつだけに○)

1. はい      2. いいえ

⇒ IIへ

## Ⅱ 健康状態について

問1. 普段、ご自分で健康だと思えますか。(ひとつだけに○)

- |       |           |             |          |
|-------|-----------|-------------|----------|
| 1. 健康 | 2. まあまあ健康 | 3. あまり健康でない | 4. 健康でない |
|-------|-----------|-------------|----------|

問2. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                        |                  |                   |
|------------------------|------------------|-------------------|
| 1. 高血圧                 | 2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) |                   |
| 3. 心臓病                 | 4. 糖尿病           | 5. 脂質異常症(高脂血症)    |
| 6. 呼吸器の病気(肺炎や慢性閉塞性肺疾患) | 7. 骨・関節の病気       |                   |
| 8. 外傷(転倒・骨折等)          | 9. がん            | 10. 認知症(アルツハイマー病) |
| 11. パーキンソン病            | 12. 視覚・聴覚障害      | 13. 高齢による衰弱       |
| 14. 脊椎疾患(脊柱管狭窄症等)      | 15. 心の病気         |                   |
| 16. その他(具体的に: )        |                  |                   |
| 17. なし                 |                  |                   |

問3. 現在、医師の処方した薬を何種類飲んでありますか。(ひとつだけに○)

- |        |          |           |
|--------|----------|-----------|
| 1. 1種類 | 2. 2種類   | 3. 3種類    |
| 4. 4種類 | 5. 5種類以上 | 6. 飲んでいない |

問4. 入院・通院状況についておたずねします。(あてはまるものすべてに○)

- |                               |
|-------------------------------|
| 1. 最近1年間で、2週間以上の入院経験がある ⇒ 問5へ |
| 2. 現在入院中 ⇒ 問5へ                |
| 3. 現在通院中 ⇒ 問4-1, 2, 3, 4へ     |
| 4. 現在往診を受けている ⇒ 問5へ           |
| 5. とくに医者にはかかっていない ⇒ 問5へ       |

## 【「3.現在通院中」の方のみ】

問4-1. どのような方法で通院していますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                   |                            |                   |
|-------------------|----------------------------|-------------------|
| 1. 徒歩(自力歩行・杖歩行など) | 2. 車いす                     | 3. 自家用車(家族が運転を含む) |
| 4. 電車             | 5. 路線バス                    | 6. タクシー           |
| 7. 民間による移送サービス    | 8. 特殊車両(ストレッチャーや車いすで乗れるもの) |                   |
| 9. その他( )         |                            |                   |

問4-2. 通院しているところはどこですか。(ひとつだけに○)

- |         |              |       |
|---------|--------------|-------|
| 1. 逗子市内 | 2. 神奈川県内(市外) | 3. 県外 |
|---------|--------------|-------|

問4-3. 通院の頻度はどのくらいですか。(ひとつだけに○)

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 週2回以上  | 2. 週1回程度  | 3. 月に2回程度 |
| 4. 月に1回程度 | 5. その他( ) |           |

問4-4. 通院に介助が必要ですか。(ひとつだけに○)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

⇒ 問5へ

問5. 健康状態についておたずねします。思い当たるものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

1. (ここ2週間) 毎日の生活に張りあいけなくなった
2. (ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった
3. (ここ2週間) 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうになった
4. (ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えなくなった
5. (ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがするようになった
6. (ここ2週間) 睡眠が不規則で充分取れなくなった

問6. 転倒についておたずねします。思い当たるものをお選びください。(あてはまるものに○)

1. この1年間に転んだことがある
2. 転倒に対する不安は大きい

問7. 6か月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか。(ひとつだけに○)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問8. あなたの身長と体重を教えてください。

身長	<input type="text"/>	cm	体重	<input type="text"/>	kg
----	----------------------	----	----	----------------------	----

問9. 口腔機能についておたずねします。思い当たるものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

1. 半年前に比べて固いものが食べにくくなった
2. お茶や汁物等でむせることがある
3. 口の渴きが気になる
4. 歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日している
5. 定期的に歯科受診(健診を含む)をしている

問10. 1日の食事の回数は何回ですか。(ひとつだけに○)

- |           |          |          |
|-----------|----------|----------|
| 1. 朝昼晩の3食 | 2. 朝晩の2食 | 3. 朝昼の2食 |
| 4. 昼晩の2食  | 5. 1食    | 6. その他   |

問11. 食事を抜くことがありますか。(ひとつだけに○)

- |           |            |            |
|-----------|------------|------------|
| 1. 毎日ある   | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. ほとんどない |            |            |

問12. 自分一人でなく、どなたかと食事をとる機会がありますか。(ひとつだけに○)

- |                  |            |            |
|------------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある          | 2. 週に何度かある | } ⇒ 問12-1へ |
| 3. 月に何度かある       | 4. 年に何度かある |            |
| 5. ほとんどない ⇒ 問13へ |            |            |

【どなたかと食事をとる機会があり「1.毎日ある」「2.週に何度かある」「3.月に何度かある」「4.年に何度かある」と答えた方のみ】

問12-1. 食事をとる人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- |        |            |              |
|--------|------------|--------------|
| 1. 家族  | 2. 近所の人や友人 | 3. デイサービスの仲間 |
| 4. その他 |            | ⇒ 問13へ       |

問13. もの忘れについておたずねします。思い当たるものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

1. 周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるといわれる
2. 自分で電話番号を調べて、電話をかけることができない
3. 今日が何月何日かわからない時がある
4. 5分前のことが思い出せない
5. その日の活動(食事をする、衣服を選ぶなど)を自分で判断できない
6. 人に自分の考えをうまく伝えることができない

### Ⅲ 日常生活について

問1. 日常生活についておたずねします。できるものをお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- |                             |                    |
|-----------------------------|--------------------|
| 1. バスや電車で一人で外出している(自家用車でも可) | 2. 自分で日用品の買い物をしている |
| 3. 自分で預貯金の出し入れをしている         |                    |

問2. 生活しているうえで、とくに困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |            |                 |            |       |       |
|------------|-----------------|------------|-------|-------|
| 1. 買い物     | 2. 食事の用意        | 3. 入浴      | 4. 掃除 | 5. 洗濯 |
| 6. ゴミ捨て    | 7. 電球替えや部屋の模様替え | 8. 通院手段    |       |       |
| 9. お金の管理   | 10. 草むしりなど庭の手入れ | 11. 他人との交流 |       |       |
| 12. その他( ) |                 |            |       |       |

### Ⅳ 外出・社会参加について

問1. 運動・外出についておたずねします。思い当たるものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

- |                               |         |
|-------------------------------|---------|
| 1. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っている        | } ⇒ 問2へ |
| 2. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっている |         |
| 3. 15分位続けて歩いている               |         |
| 4. 週に1回以上は外出している              |         |
| 5. 5m以上歩ける                    |         |
| 6. 昨年と比べて外出の回数が減っている          |         |
| 7. 外出を控えている ⇒ 問1-1へ           |         |
| 8. その他( )                     | ⇒ 問2へ   |

【「7.外出を控えている」方のみ】

問1-1. 外出を控えている理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                 |                    |            |
|-----------------|--------------------|------------|
| 1. 病気           | 2. 障がい(脳卒中の後遺症など)  | 3. 足腰などの痛み |
| 4. トイレの心配(失禁など) | 5. 耳の障がい(聞こえの問題など) | 6. 目の障がい   |
| 7. 外での楽しみがない    | 8. 経済的に出られない       |            |
| 9. 面倒なので        | 10. 交通手段がない        |            |
| 11. その他( )      |                    | ⇒ 問2へ      |

問2. 買い物、散歩で外出する頻度はどのくらいですか。(ひとつだけに○)

- |         |         |          |          |        |            |
|---------|---------|----------|----------|--------|------------|
| A. 買い物… | 1. ほぼ毎日 | 2. 週4~5日 | 3. 週2~3日 | 4. 週1日 | 5. ほぼ外出しない |
| B. 散歩…  | 1. ほぼ毎日 | 2. 週4~5日 | 3. 週2~3日 | 4. 週1日 | 5. ほぼ外出しない |

問3. 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                  |                |                |               |
|------------------|----------------|----------------|---------------|
| 1. 徒歩            | 2. 自転車         | 3. バイク         | 4. 自動車(自分で運転) |
| 5. 自動車(人に乗せてもらう) | 6. 電車          | 7. 路線バス        | 8. 病院や施設のバス   |
| 9. 車いす           | 10. 電動車いす(カート) | 11. 歩行器・シルバーカー |               |
| 12. タクシー         | 13. その他( )     |                |               |

問4. 人との交流等についておたずねします。思い当たるものをお選びください。(あてはまるものすべてに○)

- |                             |
|-----------------------------|
| 1. 友人の家を訪ねている、または友人が訪ねてくる   |
| 2. 家族や友人の相談にのっている、または相談している |
| 3. 趣味や生きがいがある               |
| 4. 若い人に自分から話しかけることがある       |
| 5. 隣の家(部屋)の人の名前や顔を知っている     |

問5. 社会参加・地域活動等に参加していますか。(あてはまるものすべてに○)

- |            |             |                        |
|------------|-------------|------------------------|
| 1. 祭り・行事   | 2. 自治会・町内会  | 3. サークル・自主グループ(住民グループ) |
| 4. 老人クラブ   | 5. ボランティア活動 | 6. その他(具体的に: )         |
| 7. 参加していない |             |                        |

## V 介護保険について

問1. 次のうち、今後充実して欲しいものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |   |
|---|
| 1. 小規模多機能型居宅介護<br>…心身の状態や希望に応じて、サービス拠点への「通い」を中心に随時「訪問」や「泊まり」を組み合わせ、入浴等の介護や機能訓練等が受けられる施設 |
| 2. (介護予防)認知症対応型共同生活介護(認知症の方向けのグループホーム)  |
| 3. 有料老人ホーム  |
| 4. 身近な地域での29人以内の小規模な特別養護老人ホーム   |
| 5. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護<br>…日中・夜間を通じて、訪問介護(ホームヘルプ)と訪問看護が一体的にまたは密接に連携しながら、定期巡回と随時の対応を行います    |



## 問2. 生活場所についておたずねします。

問2-1. これからの生活をどこでどのように送りたいとお考えですか。(ひとつだけに○)

1. 自宅で、家族からのみの介護を受けながら暮らしたい
2. 自宅で、介護保険のサービスを利用しながら暮らしたい
3. 有料老人ホーム、サービス付き高齢者住宅等で暮らしたい
4. 特別養護老人ホームで暮らしたい
5. その他(具体的に: \_\_\_\_\_ )

問2-2. あなたは、現在、どこで生活していますか。(ひとつだけに○)

- |   |                |         |
|---|----------------|---------|
| 1. 自宅                                     | 2. 親族の家        | } ⇒ 問3へ |
| ※ 一時的な入院やショートステイ利用中の方は、1・2いずれかに○をつけてください。 |                |         |
| 3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)                    | 4. 介護老人保健施設    | } ⇒ 問6へ |
| 5. 介護療養型医療施設                              | 6. 有料老人ホーム     |         |
| 7. (介護予防)認知症対応型共同生活介護(グループホーム)            | 8. サービス付き高齢者住宅 |         |
| 9. その他( _____ ) ⇒ 問3へ                     |                |         |

問3. 【「1.自宅」か「2.親族の家」で生活している方、「9.その他」に記入した方のみ】におたずねします。  
あなたは、現在、介護保険のサービスを利用していますか。(ひとつだけに○)

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1. 利用していない ⇒ 問4へ | 2. 利用している ⇒ 問5へ |
|------------------|-----------------|

問4. 【介護保険サービスを「1.利用していない」方のみ】におたずねします。

問4-1. 介護サービスを利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |  |                          |
|--|--------------------------|
| 1. 利用したい介護サービスがない                        | 2. 家族が介護しているので必要ない       |
| 3. 介護サービスを利用するほどの状態ではない                  | 4. どんなサービスを利用したらよいかわからない |
| 5. 利用料を支払うのが困難だった                        | 6. サービスを利用することに抵抗がある     |
| 7. 友人、知人、近所の方が手伝ってくれるから必要ない              |                          |
| 8. 利用したかったが、事業者が予約でいっぱいだった(サービス名 _____ ) |                          |
| 9. その他( _____ )                          |                          |

問4-2. 今後、利用を考えている介護保険サービスはありますか。(ひとつだけに○)

- |                                   |                         |
|-----------------------------------|-------------------------|
| 1. 在宅で利用できるサービス ⇒ 問4-2-1へ         | 2. 施設等への入所・入居 ⇒ 問4-2-2へ |
| 3. 今はまだわからない ⇒ VI (高齢者福祉全般について) へ |                         |

## 【「1.在宅で利用できるサービス」を考えている方のみ】

問4-2-1. 在宅で利用できるサービスの中で考えているものはどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

- |                                  |                             |
|----------------------------------|-----------------------------|
| 1. (介護予防) 訪問介護 (ホームヘルプ)          | 2. (介護予防) 訪問入浴介護            |
| 3. (介護予防) 訪問看護                   | 4. (介護予防) 訪問リハビリテーション       |
| 5. (介護予防) 居宅療養管理指導               | 6. (介護予防) 通所介護 (地域密着を含む)    |
| 7. (介護予防) 認知症対応型通所介護             | 8. (介護予防) 通所リハビリテーション(デイケア) |
| 9. (介護予防) 短期入所生活介護 (ショートステイ)     |                             |
| 10. (介護予防) 短期入所療養介護 (療養型ショートステイ) | 11. (介護予防) 福祉用具貸与           |
| 12. 特定(介護予防) 福祉用具購入費の支給          | 13. (介護予防) 住宅改修費の支給         |
| 14. 定期巡回・随時対応型訪問看護               | 15. (介護予防) 小規模多機能型居宅介護      |
| 16. 移送サービス                       | ⇒VI(高齢者福祉全般について)へ           |

## 【「2.施設等への入所・入居」を考えている方のみ】

問4-2-2. 入所・入居を考えている施設等はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                                  |                    |
|----------------------------------|--------------------|
| 1. 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)          | 2. 介護老人保健施設        |
| 3. 介護療養型医療施設                     | 4. 有料老人ホーム         |
| 5. (介護予防) 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム) | 6. サービス付き高齢者住宅     |
| 7. その他 ( )                       | ⇒ VI(高齢者福祉全般について)へ |

問5. 【介護保険サービスを「2.利用している」方のみ】におたずねします。

問5-1. 介護(予防)サービス計画(以下「ケアプラン」といいます。)についておたずねします。

問5-1-1. あなたは、ご自身のケアプランの内容をご存じですか。(ひとつだけに○)

- |             |           |           |
|-------------|-----------|-----------|
| 1. 知っている    | 2. 知らない   | 3. わからない  |
| ⇒ 問5-1-1-1へ | ⇒ 問5-1-2へ | ⇒ 問5-1-2へ |

## 【ご自身のケアプランを「1.知っている」方のみ】

問5-1-1-1. 現在のご自身のケアプランについて、不満な点はありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. ケアプランの援助目標     | 2. ケアプラン作成への本人の参加 |
| 3. ケアプラン作成への家族の参加 | 4. 事業所の選択         |
| 5. 利用者負担への配慮      | 6. ケアプラン見直し・評価の体制 |
| 7. 利用するサービスの数     | 8. サービスの組み合わせ     |
| 9. サービスの利用日時の設定   | 10. 全体的なサービスの量    |
| 11. 総合的な印象        | ⇒ 問5-1-2へ         |

問5-1-2. 現在のケアプラン等を作成しているケアマネジャーや地域包括支援センター職員について、不満な点はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                               |                      |
|-------------------------------|----------------------|
| 1. 説明の丁寧さ・適切さ                 | 2. 本人・家族の希望の反映       |
| 3. 相談時間や訪問回数                  | 4. 納得できるケアプランの策定や見直し |
| 5. 事業所やサービスの決め方               | 6. 事業所・医師・市役所との連携    |
| 7. 知識や情報量                     | 8. 態度やマナー            |
| 9. 緊急時(急変時)やサービス変更等の対応        | 10. 総合的な印象           |
| 11. ケアマネジャーや地域包括支援センター職員を知らない |                      |

問5-2. 現在利用している、または利用したことがあるサービスの評価についておたずねします。

問5-2-1. サービスについて不満な点はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                             |                                 |
|-----------------------------|---------------------------------|
| 1. (介護予防) 訪問介護(ホームヘルプ)      | 2. (介護予防) 訪問入浴介護                |
| 3. (介護予防) 訪問看護              | 4. (介護予防) 訪問リハビリテーション           |
| 5. (介護予防) 居宅療養管理指導          | 6. (介護予防) 通所介護(地域密着を含む)         |
| 7. (介護予防) 認知症対応型通所介護        | 8. (介護予防) 通所リハビリテーション(デイケア)     |
| 9. (介護予防) 短期入所生活介護(ショートステイ) | 10. (介護予防) 短期入所療養介護(療養型ショートステイ) |
| 11. (介護予防) 福祉用具貸与           | 12. 特定(介護予防) 福祉用具購入費の支給         |
| 13. (介護予防) 住宅改修費の支給         | 14. 定期巡回・随時対応型訪問看護              |
| 15. (介護予防) 小規模多機能型居宅介護      | 16. 移送サービス                      |

問5-2-2. サービス事業所を選ぶ際に重視したいことはどのようなことですか。  
(それぞれ、あてはまるものすべてに○)

<p>① 家庭を訪問するサービス</p> <p>(介護予防)訪問介護 (介護予防)訪問入浴介護 (介護予防)訪問看護 (介護予防)訪問リハビリテーション (介護予防)居宅療養管理指導 定期巡回・随時対応型訪問看護</p>	<p>1. 仕事の正確さ(時間や契約内容の履行)</p> <p>2. 職員の技術や態度</p> <p>3. 連絡のとりやすさ(日頃の意思疎通や緊急対応等)</p> <p>4. 事業所の規模</p> <p>5. 事業所の知名度や評判</p> <p>6. 提携施設や紹介便宜</p> <p>7. その他( )</p>
<p>② 施設へ通所・入所するサービス</p> <p>(介護予防)通所介護(地域密着を含む) (介護予防)認知症対応型通所介護 (介護予防)通所リハビリテーション (介護予防)短期入所生活介護 (介護予防)短期入所療養介護 (介護予防)小規模多機能居宅介護</p>	<p>1. 施設や設備の使い勝手(移動しやすさ、安全性)</p> <p>2. 居心地よさ(清潔さ、明るさ、雰囲気など)</p> <p>3. 活動内容(リハビリ、趣味活動、行事等)</p> <p>4. 食事の質</p> <p>5. 職員の技術や態度</p> <p>6. 意思疎通のしやすさ</p> <p>7. 併設・提携施設や紹介便宜</p> <p>8. 自宅からの近さ</p> <p>9. 事業所の知名度や評判</p> <p>10. その他( )</p>
<p>③ (介護予防)福祉用具貸与</p>	<p>1. 用具の種類の多さ</p> <p>2. 用具の質(新しさ、清潔さ等)</p> <p>3. 職員の知識や態度</p> <p>4. 事業所の知名度や評判</p> <p>5. その他( )</p>
<p>④ 移送サービス</p>	<p>1. 車の設備や快適さ</p> <p>2. 職員の運転・態度</p> <p>3. 連絡のとりやすさ(日頃の意思疎通や緊急対応等)</p> <p>4. 事業所の知名度や評判</p> <p>5. その他( )</p>

## 問5-3. 利用限度額（以下、限度額）についておたずねします。

(参考) 要介護度別の1か月の限度額です。記載の額は平成28年度のものです。

(ただし、ご負担いただいている金額はこの1割または2割です)

要支援1	50,030円	要介護2	196,160円	要介護4	308,060円
要支援2	104,730円	要介護3	269,310円	要介護5	360,650円
要介護1	166,920円				

※ ケアマネジャーから渡された「サービス利用票別表」の「サービス点数/金額」の金額欄に記載があります。

問5-3-1. あなたは、認定された限度額のどの程度までサービスを利用していますか。  
(ひとつだけに○)

1. 限度額を超えて保険外でも利用している ⇒ 問5-3-2・3へ
2. 限度額をほぼ満額利用している(9割以上) ⇒ 問5-4へ
3. 限度額までは利用していない ⇒ 問5-3-4・5へ
4. ケアマネジャーから「サービス利用票別表」をもらっていない ⇒ 問5-4へ
5. わからない ⇒ 問5-4へ

【「1.限度額を超えて保険外でも利用している」と答えた方のみ】

問5-3-2. 限度額を超えて利用している理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 限度額の範囲内では在宅生活が続けられない
2. 介護者の介護時間を減らす必要がある
3. もっと多くのサービスを利用したい
4. ケアマネジャーや事業所の勧めに納得して
5. その他 ( )

問5-3-3. 主に利用しているサービスは何ですか。(あてはまるもの3つまでに○)

1. (介護予防)訪問介護(ホームヘルプ)
2. (介護予防)訪問入浴介護
3. (介護予防)訪問看護
4. (介護予防)訪問リハビリテーション
5. (介護予防)居宅療養管理指導
6. (介護予防)通所介護(地域密着を含む)
7. (介護予防)認知症対応型通所介護
8. (介護予防)通所リハビリテーション(デイケア)
9. (介護予防)短期入所生活介護(ショートステイ)
10. (介護予防)短期入所療養介護(医療型ショートステイ)
11. (介護予防)福祉用具貸与
12. 定期巡回・随時対応型訪問看護
13. (介護予防)小規模多機能型居宅介護
14. わからない
15. その他 ( ) ⇒ 問5-4へ

【3.限度額までは利用していない】と答えた方のみ】

問5-3-4. 利用された額は、限度額の何割ぐらいですか。(ひとつだけに○)

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 1. 3割未満     | 2. 3割以上5割未満 |
| 3. 5割以上7割未満 | 4. 7割以上9割未満 |

問5-3-5. 限度額まで利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 1. 利用料の負担が大変だから   | 2. 家族も協力してくれるから      |
| 3. 他人を家に入れたくないから  | 4. サービス事業所が見つからないから  |
| 5. 利用したいサービスがないから | 6. 限度額まで使う必要はとくにないから |
| 7. その他( )         |                      |

⇒ 問5-4へ

問5-4. 施設等への入所・入居についておたずねします。

問5-4-1. 介護保険3施設等への入所・入居希望について伺います。(短期入所は除きます。)  
(ひとつだけに○)

1. 申し込んでいる ⇒ 問5-4-2・4・5へ
2. その他の生活の場への入居を希望している ⇒ 問5-4-3・4・5へ
3. 入所・入居は希望していない ⇒ 問7(要支援の方)あるいは問8(介護保険サービスを利用している方)へ

【1.申し込んでいる】とお答えの方のみ】

問5-4-2. 申し込んでいる施設はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
2. 介護老人保健施設
3. 介護療養型医療施設

⇒ 問5-4-4・5へ

【2.その他の生活の場への入居を希望している】とお答えの方のみ】

問5-4-3. どのような場所への入居を希望されていますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                |                                |
|----------------|--------------------------------|
| 1. 有料老人ホーム     | 2. (介護予防)認知症対応型共同生活介護(グループホーム) |
| 3. サービス付き高齢者住宅 | 4. その他( )                      |

⇒ 問5-4-4・5へ

【「1.申し込んでいる」とお答えの方及び「2.その他の生活の場への入居を希望している」とお答えの方のみ】

問5-4-4. 入所を希望する理由はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 今の生活を続けたいが先々の心配がある
2. ひとり住まいなので介護をしてくれる人がいない
3. 介護者の負担が大きい
4. 私が入所を希望している
5. 病院や施設から退院・退所を迫られている
6. 在宅サービスを受けているが経済的負担が大きい
7. その他(具体的に: \_\_\_\_\_ )

問5-4-5. 入所・入居を希望する時期はいつごろですか。(ひとつだけに○)

1. すぐにでも
2. 3~6か月くらい先
3. 1年先くらい
4. 将来必要なとき

⇒ 問7(要支援の方)あるいは問8(介護保険サービスを利用している方)へ

問6. 【生活している場所が「3.介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)」「4.介護老人保健施設」「5.介護療養型医療施設」「6.有料老人ホーム」「7.(介護予防)認知症対応型共同生活介護(グループホーム)」「8.サービス付き高齢者住宅」の方のみ】におたずねします。

問6-1. 現在入所している施設について、それまでの経緯をおたずねします。

問6-1-1. 入所するまでの待機期間は、どのくらいありましたか(ひとつだけに○)

1. すぐに入れた
2. 3か月未満
3. 3か月~6か月未満
4. 6か月~1年未満
5. 1年~2年未満
6. 2年以上
7. わからない

問6-1-2. 現在の施設への入所以前は、主にどちらで過ごされましたか(あてはまるものすべてに○)

1. 自宅
2. 親族の家
3. 医療機関に入院
4. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
5. 介護老人保健施設
6. 介護療養型医療施設
7. 有料老人ホーム
8. (介護予防)認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
9. サービス付き高齢者住宅
10. その他( \_\_\_\_\_ )

問6-2. 現在入所している施設について、不満な点はありますか(あてはまるものすべてに○)

1. 施設・設備
2. 技術や専門性
3. 職員の態度やマナー
4. 食事
5. 入浴
6. 外出・外泊
7. レクリエーション
8. 施設職員との対話
9. リハビリテーション
10. 総合的な印象





## 問8. 【介護保険サービスを利用している方すべて】におたずねします。

問8. あなたの介護にかかる費用についておたずねします。

問8-1. 介護保険サービスの利用料はどなたがご負担していますか。(ひとつだけに○)

- |                |          |           |
|----------------|----------|-----------|
| 1. あなた         | 2. 家族    | 3. あなたと家族 |
| 4. その他(具体的に: ) | 5. わからない |           |

問8-2. 介護保険サービス利用料の1か月当たりの支払額がいくらか知っていますか。(ひとつだけに○)

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| 1. 知っている ⇒ 問8-3へ | 2. 知らない ⇒ VIへ |
|------------------|---------------|

【「1.知っている」場合のみ】

問8-3. 介護保険サービス利用料の1か月当たりの概ねの支払額をお知らせください。(ひとつだけに○)

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 1,000円未満            | 2. 1,000円以上5,000円未満   |
| 3. 5,000円以上10,000円未満   | 4. 10,000円以上50,000円未満 |
| 5. 50,000円以上100,000円未満 | 6. 100,000円以上         |

⇒ 問8-4へ

問8-4. 介護保険サービス利用料の支払額について、どのようにお感じですか。(ひとつだけに○)

- |            |          |            |
|------------|----------|------------|
| 1. 負担が大きい  | 2. 少し負担  | 3. 妥当な額である |
| 4. 思ったより安い | 5. わからない | ⇒ VIへ      |

## Ⅵ 高齢者福祉全般について

問1. 介護給付以外のサービスについて、利用状況、今後の利用希望はいかがですか。

(各サービスについて、利用状況欄および今後の利用希望欄それぞれに1～3のいずれか1つずつを○で囲んでください。)

サービスの種類	利用状況(○はそれぞれ1つ)				今後の利用希望(○はそれぞれ1つ)		
	利用している	利用したことはある	利用したことがない		利用したい	利用はしない	未定
① 紙おむつ支給	1	2	3	→	1	2	3
② ひとり暮らし高齢者訪問	1	2	3	→	1	2	3
③ 福祉緊急通報システム	1	2	3	→	1	2	3
④ 福祉配食サービス	1	2	3	→	1	2	3
⑤ 社会福祉協議会のフレンドリーヘルパー	1	2	3	→	1	2	3
⑥ ボランティアによる支援	1	2	3	→	1	2	3
⑦ 民間の配食サービス	1	2	3	→	1	2	3
⑧ 民間の緊急通報システム	1	2	3	→	1	2	3
⑨ その他 ( )	1	2	3	→	1	2	3

問2. 市の高齢者保健福祉サービス及び介護保険制度全般の改善についてご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

\*調査票は三つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、ご返送ください(切手を貼る必要はありません)。

## 介護者個別調査票 ～高齢者の介護をしておられる方へ～

### 介護保険制度の円滑な実施を図るためのアンケート調査のお願い

日頃から逗子市の高齢者保健福祉行政につきまして格別のご理解・ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、逗子市では、高齢者が安心して暮らしていける環境づくりを進めるため、平成30年度以降の高齢者保健福祉計画の見直しを行います。

このため、要支援・要介護の認定を受けている方（以下「要介護者」といいます。）の中から、本市が要介護(支援)度別層化比例・無作為に抽出し、600名の方（11月1日現在）を対象に、アンケート調査を実施します。

この調査は、介護保険サービスの利用状況や今後の利用意向などをお伺いします。

皆さまからの回答は、個人が特定できないように、すべてコンピューターにより統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

平成28年11月

### ご記入に当たってのお願い

1. この調査票でいう「あなた」とは、**主な介護者**のことです。できるだけ主な介護者が回答してください。**主な介護者が複数おられる場合は、どなたか1名をお決めください。**
2. 回答は、**平成28年11月の状況**でご記入ください。
3. 回答は、選択肢に○を付けていただく場合と、記述していただく場合、数字を記入していただく場合があります。回答の仕方は、質問ごとの指定に従ってください。
  - ◆付けていただく○の数などは、質問ごとに示してあります。
  - ◆記述していただく場合は、( )の中または枠の中にご記入ください。
  - ◆回答により、次に進む質問が異なる場合があります。ことわり書きや矢印に従って回答してください。特にことわりのない場合は、次の設問にお進みください。
  - ◆回答したくない設問は無記入にし、次の設問にお進みください。

ご記入いただいた調査票は、**12月20日(火曜日)までに**、同封の返信用封筒により、逗子市福祉部介護保険課介護保険係までご返送ください（切手を貼る必要はありません）。

なお、この調査票についてご不明の点がございましたら、お手数ですが、介護保険課介護保険係までお問い合わせください。

問い合わせ先 逗子市福祉部介護保険課介護保険係

電話 046(873)1111 内線246・247

調査にご協力いただく方は、「無作為」に選ばせていただきました。

主な介護者がいない場合、この調査票の返送の必要はありません。

## I あなた(介護者)について

問1. 要介護者を介護している状況についておたずねします。

問1-1. 介護者は、あなたを含めて何人いますか。ホームヘルパー等サービス提供事業所は除いた数でお答えください。(ひとつだけに○)

1. 1人                      2. 2人                      3. 3人以上

問1-2. そのうち、要介護者と同居している人は何人ですか。要介護者が入所・入院している場合は、その前の状況でお答えください。(ひとつだけに○)

1. 0人                      2. 1人                      3. 2人                      4. 3人以上

問2. 主な介護者についておたずねします。

問2-1. 主な介護者は、要介護者から見て、どなたですか。(ひとつだけに○)

1. 配偶者(夫・妻)    2. 息子                      3. 娘                      4. 子の配偶者  
5. 孫                      6. 兄弟・姉妹  
7. その他(具体的に:                      )

問2-2. 主な介護者の性別をおたずねします。(ひとつだけに○)

1. 男                      2. 女

問2-3. 主な介護者の年齢をおたずねします。(ひとつだけに○)

1. 19歳以下              2. 20~29歳              3. 30~39歳              4. 40~49歳  
5. 50~59歳              6. 60~64歳              7. 65~69歳              8. 70~74歳  
9. 75~79歳              10. 80~84歳              11. 85~89歳              12. 90歳以上

問2-4. 主な介護者は要介護者と同居していますか。要介護者が施設等に入所・入院している場合は、入所・入院前の状況でお答えください。(ひとつだけに○)

1. 同居している ⇒ 問3へ  
2. 別居している ⇒ 問2-4-1へ

【「2別居している」場合のみ】

問2-4-1. 主な介護者が要介護者のところに着くまでに何分かかりますか。また、主な介護者の住まいはどちらですか。要介護者が施設等に入所・入院している場合は、入所・入院前の状況でお答えください。(枠内に数字を入れ、ひとつだけに○)

要介護者のところに着くまでに  時間  分ほどかかる

1. 要介護者宅の近所(歩いてすぐ行ける範囲)    2. 市内の他の地域  
3. 近隣の他の市町(葉山・鎌倉・横浜・横須賀)    4. 県内の他の地域    5. 県外

⇒ 問3へ

問3. あなたが介護を始めてどのくらいになりますか。(ひとつだけに○)

- |           |         |         |
|-----------|---------|---------|
| 1. 半年以内   | 2. 1年以内 | 3. 2年以内 |
| 4. 3年以内   | 5. 4年以内 | 6. 5年以上 |
| 7. 覚えていない |         |         |

問4. あなたが今困っていることはなんですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                           |                      |
|---------------------------|----------------------|
| 1. 高齢である                  | 2. 持病がある             |
| 3. 体が不自由である               | 4. ストレスを感じている        |
| 5. 自分も要支援・要介護認定を受けている     |                      |
| 6. ほかに介護しなくてはならない要介護者等がいる |                      |
| 7. 仕事のために十分な介護ができない       | 8. 子育てのために十分な介護ができない |
| 9. その他の問題がある(具体的に: _____) |                      |
| 10. とくに問題はない              |                      |

問5. 介護の負担感についておたずねします。

問5-1. あなたは、介護に負担を感じたことはありますか。(あてはまるものに○)

- |                |       |                        |
|----------------|-------|------------------------|
| 1. 負担を感じたことがある | →     | 〔どんな時ですか<br>⇒ 問5-1-1へ〕 |
| 2. 負担を感じたことがない | ⇒ IIへ |                        |

【「1.負担を感じたことがある」場合のみ】

問5-1-1. あなたは、介護に負担を感じ、誰か(どこか)に相談したことはありますか。  
(あてはまるものに○)

- |               |           |
|---------------|-----------|
| 1. 相談をしたことがある | ⇒ 問5-1-2へ |
| 2. 相談をしたことがない | ⇒ 問5-1-3へ |

【「1.相談をしたことがある」場合のみ】

問5-1-2. 誰(どこ)へ相談したことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                  |                |              |
|------------------|----------------|--------------|
| 1. 家族            | 2. 友人          | 3. 市役所の窓口    |
| 4. ケアマネジャー       | 5. 地域包括支援センター  | 6. 民生委員・児童委員 |
| 7. かかりつけの医師      | 8. サービスの直接の担当者 | 9. 社会福祉協議会   |
| 10. その他( _____ ) | 11. とくにない      |              |

【「2.相談をしたことがない」場合のみ】

問5-1-3. 相談したことがない理由をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

- |                     |               |
|---------------------|---------------|
| 1. どこに相談してよいのかわからない | 2. 他の人に言いたくない |
| 3. その他( _____ )     |               |

## Ⅱ あなたが介護をしている方(要介護者)についておたずねします

問1. 要介護者の現在の状況についておたずねします。

問1-1. 現在、要介護者はどこで生活していますか。(ひとつだけに○)

※ 短期入所や短期間の入院をしているときは、入所や入院前の状況でお答えください。

- |                |                                |
|----------------|--------------------------------|
| 1. 在宅          | 2. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)         |
| 3. 介護老人保健施設    | 4. 介護療養型医療施設                   |
| 5. 有料老人ホーム     | 6. (介護予防)認知症対応型共同生活介護(グループホーム) |
| 7. サービス付き高齢者住宅 | 8. その他( )                      |

問1-2. 要介護者の要介護度は現在どれにあてはまりますか。(ひとつだけに○)

- |         |         |         |          |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 要支援1 | 2. 要支援2 | 3. 要介護1 | 4. 要介護2  |
| 5. 要介護3 | 6. 要介護4 | 7. 要介護5 | 8. わからない |

問1-3. 要介護者の心身の状況はいかがですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                               |             |
|-------------------------------|-------------|
| 1. 日常生活はなんとか一人でできる            | } ⇒ 問2へ     |
| 2. 日常生活の一部に手助けが必要             |             |
| 3. 日常生活のすべてについて手助けが必要         |             |
| 4. 認知症の症状が少しあるが、なんとか一人でも生活できる | } ⇒ 問1-3-1へ |
| 5. 認知症の症状がかなりあり、一日中目が離せない     |             |
| 6. その他(具体的に: )                | ⇒ 問2へ       |

【認知症の症状がある場合(「4.認知症の症状が少しあるが、なんとか一人でも生活できる」「5.認知症の症状がかなりあり、一日中目が離せない」)場合のみ】

問1-3-1. 認知症の対応について、どのようなことでお困りですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 会話が成立しない
2. 認知症と思われる行動に対して対処がわからない
3. 日中の見守りが大変である
4. 夜間の見守りが大変である
5. 自分の時間が持てない
6. 要介護者に責められたり暴力をふるわれたりすることがある
7. 要支援・要介護認定にうまく反映されていない
8. どこに相談したらいいかわからない
9. どこに受診したらいいかわからない
10. その他( )
11. とくに困ることはない

⇒ 問2へ

問2. 要介護者は、介護保険サービスを利用していますか。(ひとつだけに○)

1. 在宅で受けられるサービスを利用している  
(有料老人ホーム、(介護予防)認知症対応型共同生活介護(グループホーム)、サービス付き高齢者住宅等に入居している場合を含む) ⇒ 問4へ
2. 施設等に入所・入院している ⇒ IVへ  
(介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)、介護老人保健施設、介護療養型医療施設に入所・入院中の場合)
3. 利用していない ⇒ 問3へ

【介護保険サービスを「3. 利用していない」場合のみ】

問3. 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他

問4. 要介護者は、現在、定期的に医師の往診を受けていますか。(ひとつだけに○)

1. 利用している
2. 利用していない

### Ⅲ 要介護者が在宅サービスを利用しているご家族におたずねします

※ 要介護者が有料老人ホーム、(介護予防)認知症対応型共同生活介護(グループホーム)、軽費老人ホーム等に  
入居している場合もお答えください。

問1. 要介護者の介護サービス計画(ケアプラン)についておたずねします。

問1-1. あなたは、要介護者のケアプランをご存じですか。(ひとつだけに○)

- |                       |           |
|-----------------------|-----------|
| 1. 知っている              | ⇒ 問1-1-1へ |
| 2. あることは知っているが見たことがない | } ⇒ 問2へ   |
| 3. 知らない               |           |

【要介護者のケアプランを「1.知っている」場合のみ】

問1-1-1. 現在の要介護者のケアプランについて、不満な点はありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. ケアプランの援助目標     | 2. ケアプラン作成への本人の参加 |
| 3. ケアプラン作成への家族の参加 | 4. 事業所の選択         |
| 5. 利用者負担への配慮      | 6. ケアプラン見直し・評価の体制 |
| 7. 利用するサービスの数     | 8. サービスの組み合わせ     |
| 9. サービスの利用日時の設定   | 10. 全体的なサービスの量    |
| 11. 総合的な印象        |                   |

⇒ 問2へ

問2. 介護支援専門員(ケアマネジャー)についておたずねします。

問2-1. 要介護者のケアマネジャーとよく連絡している人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 要介護者本人 | 2. あなた    | 3. その他の家族 |
| 4. ヘルパー   | 5. その他( ) | 6. とくにいない |

問2-2. 要介護者の現在の担当ケアマネジャーについて不満に感じることはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 1. 説明の丁寧さ・適切さ          | 2. 本人・家族の希望の反映       |
| 3. 相談時間や訪問回数           | 4. 納得できるケアプランの策定や見直し |
| 5. 事業所やサービスの決め方        | 6. 事業所・医師・関係機関との連携   |
| 7. 知識や情報量              | 8. 態度やマナー            |
| 9. 緊急時(急変時)やサービス変更等の対応 |                      |
| 10. 総合的な印象             |                      |



問3. 要介護者が利用している介護保険サービスについておたずねします。

問3-1. 現在、利用しているサービスにはどのようなものがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                                 |                                |
|---------------------------------|--------------------------------|
| 1. (介護予防)訪問介護(ホームヘルプ)           | 2. (介護予防)訪問入浴介護                |
| 3. (介護予防)訪問看護                   | 4. (介護予防)訪問リハビリテーション           |
| 5. (介護予防)居宅療養管理指導               | 6. (介護予防)通所介護(地域密着を含む)         |
| 7. (介護予防)認知症対応型通所介護             | 8. (介護予防)通所リハビリテーション(デイケア)     |
| 9. (介護予防)短期入所生活介護(ショートステイ)      | 10. (介護予防)短期入所療養介護(療養型ショートステイ) |
| 11. (介護予防)福祉用具貸与                | 12. 特定(介護予防)福祉用具購入費の支給         |
| 13. (介護予防)住宅改修費の支給              | 14. 定期巡回・随時対応型訪問看護             |
| 15. (介護予防)小規模多機能型居宅介護           | 16. 移送サービス                     |
| 17. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)         | 18. 介護老人保健施設                   |
| 19. 介護療養型医療施設                   | 20. 有料老人ホーム                    |
| 21. (介護予防)認知症対応型共同生活介護(グループホーム) |                                |
| 22. わからない                       | 23. その他( )                     |

問3-2. 問3-1のサービスについて、① もっと利用したい、または、② 利用しにくいと感じのサービスがありましたら、その内容についてご自由にお書きください。

① もっと利用したいと思うサービス

サービス名称	もっと利用したいと思う内容や理由

② 利用しにくいと思うサービス

サービス名称	利用しにくいと思う内容や理由

問3-3. 問3-1以外で、希望するサービスをお知らせください。(あてはまるものすべてに○)

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1. 付き添い(外出先での活動支援) | 2. 生活の見守り(認知症対応)   |
| 3. 夜間の介護等          | 4. 施設入浴(施設に行つての入浴) |
| 5. リハビリ目的の短時間施設利用  | 6. 紙おむつの支給         |
| 7. 訪問理美容サービス       | 8. その他( )          |
| 9. とくにない           |                    |

## IV 要介護者が施設に入所しているご家族におたずねします

※ 要介護者が介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設、介護療養型医療施設に入所中の場合にお答えください。

問1. 要介護者の介護サービス計画(ケアプラン)についておたずねします。

問1-1. 要介護者のケアプランをご存じですか。(ひとつだけに○)

1. 知っている                      2. あることは知っているが見たことがない                      3. 知らない

問1-2. 施設で行う要介護認定調査に立ち会っていますか。(ひとつだけに○)

1. 毎回立ち会っている                      2. 時々立ち会っている  
3. 施設職員に任せているため立ち会っていない                      4. 施設での調査がまだ行われていない  
5. 調査が行われていることを知らない

問1-3. 現在、要介護者が入所・入院している施設について、不満な点はありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 施設・設備                      2. 技術や専門性                      3. 職員の態度やマナー  
4. 食事                      5. 入浴                      6. 外出・外泊  
7. レクリエーション                      8. 意思疎通(話しにくい)                      9. リハビリテーション  
10. 総合的な印象

問2. 今後、要介護者がどこで暮らして欲しいと思いますか。(2つまでに○)

1. 自宅                      2. 親族(介護者)の家  
3. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)                      4. 介護老人保健施設  
5. 介護療養型医療施設                      6. 有料老人ホーム  
7. (介護予防)認知症対応型共同生活介護(グループホーム)  
8. サービス付き高齢者住宅                      9. その他(                      )  
10. わからない





## サービス提供事業所個別調査票

### 介護保険制度の円滑な実施を図るためのアンケート調査のお願い

日頃から逗子市の高齢者保健福祉行政につきまして、格別のご理解・ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、逗子市では、高齢者が安心して暮らしていける環境づくりを進めるため、平成30年度以降の高齢者保健福祉計画の見直しを行います。

このため、サービス提供の現場を担う事業者の皆様に対し、サービス提供の現状や今後のご意向、逗子市に対するご意見などをお伺いするアンケート調査を実施します。

皆さまからの回答は、すべてコンピューターにより統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することは決してありません。調査結果は集計・分析の後、報告書として公開しますので、ご参照いただければ幸いです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

平成28年11月

### ご記入に当たってのお願い

1. ことわりのないかぎり、平成28年11月の状況でご記入ください。
2. 回答は、選択肢に○を付けていただく場合、記述していただく場合、数字を記入していただく場合があります。回答の仕方は、質問ごとの指定に従ってください。
  - ◆付けていただく○の数などは、質問ごとに指定してあります。
  - ◆記述していただく場合は、( )の中または枠の中にご記入ください。
  - ◆数字の記入欄について、流動的な場合は、おおよその平均値でご記入ください。
3. 回答はお差し支えない範囲で結構ですが、今後の介護保険制度の円滑な遂行のために、できる限りご記入くださいますようお願いいたします。

ご記入いただいた調査票は、**12月20日(火曜日)までに**、同封の返信用封筒により、逗子市福祉部介護保険課介護保険係までご返送ください(切手を貼る必要はありません)。

なお、この調査票についてご不明の点がございましたら、お手数ですが、介護保険課介護保険係までお問い合わせください。

問い合わせ先 逗子市福祉部介護保険課介護保険係  
電話 046(873)1111 内線246・247

質問の該当する答えの番号に○をつけ、数字記入欄は数字を記入してください。

## I 貴事業所についておたずねします

問1. 貴事業所の概要について下欄にご記入ください。

事業所名			
電話		連絡先(担当者)	
法人の種類 (ひとつだけに○)			
1. 社会福祉法人(社会福祉協議会)	2. 社会福祉法人(社会福祉協議会以外)		
3. 医療法人(社団・財団)	4. 営利法人(有限会社・株式会社)		
5. 特定非営利活動法人(NPO 法人)	6. 農業協同組合		
7. 生活協同組合	8. その他の法人(名称 )		
9. その他(具体的に: )			

問2. 貴事業所の介護保険サービス事業量についておたずねします。

問2-1. サービス事業の今後の展開についておたずねします。現行サービスに加え、新たにサービスを提供する予定はありますか。(ひとつだけに○)

- |               |             |
|---------------|-------------|
| 1. 実施予定あり     | } ⇒ 問2-1-1へ |
| 2. 状況を見て実施したい |             |
| 3. 実施したいができない |             |
| 4. とくに予定はない   |             |
| 5. わからない      |             |

【「1.~3.」を選んだ方のみ】

問2-1-1. どのようなサービスをいつごろ提供する予定ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 平成30年                      2. 平成31年                      3. 平成32年                      4. それ以降

<介護給付分>

サービス名		逗子市内での開始時期 (ひとつだけに○)			
		平成30年	平成31年	平成32年	それ以降
1	居宅介護支援	1	2	3	4
2	訪問介護	1	2	3	4
3	訪問入浴介護	1	2	3	4
4	訪問看護	1	2	3	4
5	訪問リハビリテーション	1	2	3	4

サービス名		逗子市内での開始時期(ひとつだけに○)			
		平成30年	平成31年	平成32年	それ以降
6	居宅療養管理指導	1	2	3	4
7	通所介護	1	2	3	4
8	通所リハビリテーション	1	2	3	4
9	短期入所生活介護	1	2	3	4
10	短期入所療養介護	1	2	3	4
11	特定施設入所者生活介護	1	2	3	4
12	福祉用具貸与	1	2	3	4
13	認知症対応型通所介護	1	2	3	4
14	小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4
15	認知症対応型共同生活介護	1	2	3	4
16	定期巡回・随時対応型訪問看護	1	2	3	4
17	地域密着型通所介護	1	2	3	4
18	地域密着型特定施設入居者生活介護	1	2	3	4
19	特別給付(移送サービス)	1	2	3	4
20	看護小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4
21	夜間対応型訪問介護	1	2	3	4
22	地域密着型介護老人福祉施設	1	2	3	4
23	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	1	2	3	4
24	介護老人保健施設	1	2	3	4

## ＜予防給付分＞

サービス名		逗子市内での開始時期（ひとつだけに○）			
		平成30年	平成31年	平成32年	それ以降
1	介護予防支援業務(受託分)	1	2	3	4
2	介護予防訪問介護	1	2	3	4
3	介護予防訪問入浴介護	1	2	3	4
4	介護予防訪問看護	1	2	3	4
5	介護予防訪問リハビリテーション	1	2	3	4
6	介護予防居宅療養管理指導	1	2	3	4
7	介護予防通所介護	1	2	3	4
8	介護予防通所リハビリテーション	1	2	3	4
9	介護予防短期入所生活介護	1	2	3	4
10	介護予防短期入所療養介護	1	2	3	4
11	介護予防小規模多機能型居宅介護	1	2	3	4
12	介護予防認知症対応型通所介護	1	2	3	4
13	介護予防認知症対応型共同生活介護	1	2	3	4
14	介護予防特定施設入居者生活介護	1	2	3	4
15	介護予防福祉用具貸与	1	2	3	4
16	介護予防地域密着型通所介護	1	2	3	4



問3. 貴事業所が介護保険サービスの他に扱っている保健福祉関連の物品やサービス（高齢者向け以外も含む）について、①現在の実施状況、②逗子市での今後の実施予定をおたずねします。

サービス区分 (実施の場合商品名や概要をご記入)		① 現在の実施状況 (あてはまるものすべてに○)	②逗子市での今後の実施予定 (それぞれひとつだけに○)
1	付き添いサービス 〔 〕	1. 逗子市内で実施中 2. 他市町村で実施中 3. 扱っていない	1. 実施する(新規・継続) 2. 実施を検討したい 3. 実施の予定はない 4. 未定
2	庭仕事や力仕事 〔 〕	1. 逗子市内で実施中 2. 他市町村で実施中 3. 扱っていない	1. 実施する(新規・継続) 2. 実施を検討したい 3. 実施の予定はない 4. 未定
3	介護保険対象外の福祉用具 販売・レンタル 〔 〕	1. 逗子市内で実施中 2. 他市町村で実施中 3. 扱っていない	1. 実施する(新規・継続) 2. 実施を検討したい 3. 実施の予定はない 4. 未定
4	介護保険対象外の住宅改修 〔 〕	1. 逗子市内で実施中 2. 他市町村で実施中 3. 扱っていない	1. 実施する(新規・継続) 2. 実施を検討したい 3. 実施の予定はない 4. 未定
5	リハビリ器具・健康器具の販 売・レンタル 〔 〕	1. 逗子市内で実施中 2. 他市町村で実施中 3. 扱っていない	1. 実施する(新規・継続) 2. 実施を検討したい 3. 実施の予定はない 4. 未定
6	各種リハビリ・マッサージサー ビス 〔 〕	1. 逗子市内で実施中 2. 他市町村で実施中 3. 扱っていない	1. 実施する(新規・継続) 2. 実施を検討したい 3. 実施の予定はない 4. 未定
7	障がい福祉サービス 〔 〕	1. 逗子市内で実施中 2. 他市町村で実施中 3. 扱っていない	1. 実施する(新規・継続) 2. 実施を検討したい 3. 実施の予定はない 4. 未定
8	その他の商品・サービス 〔 〕	1. 逗子市内で実施中 2. 他市町村で実施中 3. 扱っていない	1. 実施する(新規・継続) 2. 実施を検討したい 3. 実施の予定はない 4. 未定

問4. 全体的にサービスは利用者の希望どおりに提供されていると思いますか。(ひとつだけに○)

- |                               |                   |
|-------------------------------|-------------------|
| 1. 十分提供できている                  | 2. 不十分だが概ね提供できている |
| 3. 一部提供できないものがある(具体的に: _____) | )                 |
| 4. 提供できていない(具体的に: _____)      | )                 |

問5. 事業を展開するに当たり、どのようなことに苦慮していますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                             |
|-----------------------------|
| 1. スタッフの人数不足                |
| 2. スタッフの技術不足                |
| 3. スタッフの都合によるキャンセルや時間変更     |
| 4. 利用者・家族の都合によるキャンセルや時間変更   |
| 5. 特定の日時・曜日等にサービスが集中すること    |
| 6. 利用者宅までの移動に時間がかかりすぎることに   |
| 7. 利用者からのサービス内容変更の要望が多いこと   |
| 8. 利用者からのスタッフ変更の要望が多いこと     |
| 9. ケアプランに利用者の意向が反映されていないこと  |
| 10. ケアマネジャーと連携がうまくとれないこと    |
| 11. 地域包括支援センターと連携がうまくとれないこと |
| 12. 主治医と連携がうまくとれないこと        |
| 13. その他(具体的に: _____)        |
| 14. とくになし                   |

問6. 介護保険制度や業務に必要な情報を得るのに有効と思うものはどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1. 国・県・市区町村      | 2. かながわ福祉情報コミュニティ |
| 3. WAMNET        | 4. 地域包括支援センター     |
| 5. 自社のネットワーク     | 6. 業界団体           |
| 7. 専門職の所属団体      | 8. 研修会・講習会等       |
| 9. 関係誌・新聞等       | 10. インターネットで検索    |
| 11. その他( _____ ) |                   |

問7. サービス提供に当たり、関係者間の連携・連絡はとれていますか。

区 分		①連携・連絡の方法 (あてはまるものすべてに○)	②現状の評価 (それぞれひとつだけに○)
内部連携	1	ケアマネジャーと事務職	1. 現状で十分 2. ほぼ十分 3. やや不十分 4. 不十分
	2	ケアマネジャーとサービス従事者	1. 現状で十分 2. ほぼ十分 3. やや不十分 4. 不十分
外部連携	3	他事業所のケアマネジャーとの連携	1. 現状で十分 2. ほぼ十分 3. やや不十分 4. 不十分
	4	地域包括支援センターとの連携	1. 現状で十分 2. ほぼ十分 3. やや不十分 4. 不十分
	5	他事業所のサービス従事者との連絡	1. 現状で十分 2. ほぼ十分 3. やや不十分 4. 不十分
	6	利用者の主治医との連携	1. 現状で十分 2. ほぼ十分 3. やや不十分 4. 不十分
	7	逗子市でのサービス提供における事業所間の連携	1. 現状で十分 2. ほぼ十分 3. やや不十分 4. 不十分
	8	利用者や家族との連絡	1. 現状で十分 2. ほぼ十分 3. やや不十分 4. 不十分

問8. 要介護者が次のような緊急事態に直面したときのマニュアルを作っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

- |               |               |           |
|---------------|---------------|-----------|
| 1. 要介護者の状態の急変 | 2. 要介護者の感染症罹患 | 3. 災害時の対応 |
| 4. サービス提供中の事故 | 5. その他の緊急事態 ( | )         |

問9. 利用者・契約者やその家族から上げられる苦情や相談についておたずねします。

問9-1. 利用者・契約者やその家族から上げられる苦情や相談はどのようなものが多いですか。

(あてはまるもの3つまでに○)

- |                 |                |                  |
|-----------------|----------------|------------------|
| 1. サービス内容に関するもの | 2. 利用手続きに関するもの | 3. 職員の態度に関するもの   |
| 4. 施設・設備に関するもの  | 5. 保険外負担に関するもの | 6. 介護者・家族からの虐待など |
| 7. その他(具体的に:    |                | )                |

問9-2. 苦情や相談の解決のために特別な機関を設置していますか。(ひとつだけに○)

1. 設置している ⇒ 問9-2-1へ    2. 設置していない ⇒ 問9-2-2へ

【「1. 設置している」と答えた方のみ】

問9-2-1. 特別な機関はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1. 苦情解決責任者の配置    | 2. 苦情相談窓口の設置    |
| 3. 共同での第三者委員会の設置 | 4. 単独の第三者委員会の設置 |
| 5. その他(具体的に:     | )               |

【「2. 設置していない」と答えた方のみ】

問9-2-2. 苦情・相談にはどのように対処していますか。

--

## 問10. 教育研修についておたずねします。

問10-1. どのような取り組みをしていますか。(あてはまるものすべてに○をつけ、1~3を選んだ場合は「ア、イ」からそれぞれ1つお選びください。)

- |                             |        |         |     |
|-----------------------------|--------|---------|-----|
| 1. 外部の研修会・講習会への派遣           | 〔ア. 定期 | イ. 不定期〕 | } ↓ |
| 2. 外部から講師を招き事業所内で研修会・講習会を開催 | 〔ア. 定期 | イ. 不定期〕 |     |
| 3. 事業所内スタッフによる研修会・講習会の開催    | 〔ア. 定期 | イ. 不定期〕 |     |
4. スタッフに対する自主研究の奨励
5. 事業所内に参考図書やインターネット検索コーナーを設置
6. 苦情情報や「ヒヤリ・ハット」情報の蓄積と活用
7. e-ラーニングの活用
8. その他(具体的に: \_\_\_\_\_)
9. 取り組んではいない

問10-1-1へ

【「1. 外部の研修会・講習会への派遣」「2. 外部から講師を招き事業所内で研修会・講習会を開催」「3. 事業所内スタッフによる研修会・講習会の開催」と答えた方のみ】

問10-1-1. 研修会・講習会のテーマは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |                      |                |
|----------------------|----------------|
| 1. 介護技術・知識           | 2. 介護保険制度や関係法令 |
| 3. 接遇・マナー            | 4. 情報共有・記録報告方法 |
| 5. コンプライアンス=法令順守     | 6. プライバシー保護    |
| 7. 感染症予防対策           | 8. 事例検討        |
| 9. 問題解決・苦情処理の手順      | 10. 安全対策       |
| 11. 事業所の経営理念・ケア方針    | 12. 資格取得       |
| 13. その他(具体的に: _____) |                |

## II 医療・介護連携についておたずねします

問1. 退院支援・調整について、どのように感じていますか。

(①～⑥の項目ごとに1つだけ選択)

質問項目	回答欄				
	全くそう思わない	そう思わない	どちらとも言えない	そう思う	非常にそう思う
①医療機関によって退院支援・調整の対応が異なり困ることがある。	1	2	3	4	5
②病院における退院前カンファレンスが開催される時には、必ず参加できている。	1	2	3	4	5
③退院時に、利用者・家族は病状について病院の主治医・看護師等から十分説明を受けて理解している。	1	2	3	4	5
④退院時に、病院の主治医または連携担当者(地域連携室など)と円滑な連携がとれている。	1	2	3	4	5
⑤入院時に、病院に対して在宅時の状況について情報提供するなど適切な連携がとれている。	1	2	3	4	5
⑥病院から事業所職員への適切な情報提供が行われている。	1	2	3	4	5

問2. 日常の療養支援についておたずねします。

問2-1. 日常の療養支援において、連携を強化したい関係者を選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

1. かかりつけ医(診療所)

2. かかりつけ医(病院)

3. 歯科医(病院・診療所)

4. 薬剤師(薬局)

5. 訪問看護ステーション

6. 訪問リハビリテーション事業所

7. その他( )

問2-2. 多職種連携について、どのように感じていますか。

(①~③の項目ごとに1つだけ選択)

質問項目	回答欄				
	全くそう 思わない	そう思わ ない	どちらとも 言えない	そう思う	非常にそ う思う
①多職種連携を円滑に進めるため、情報共有するシステムや書式(連絡票など)を作成し、運用すべきである。	1	2	3	4	5
②多職種との連携強化のためには、連携する関係者との研修機会は、もっとあった方が良いと思う。	1	2	3	4	5
③多職種との「顔が見える連携(日常的に気軽に交流できる関係)」ができています。	1	2	3	4	5

問2-3. 問2-2の①について、すでにそういったシステムや仕組みを導入していますか。

(どちらかに○)

1. 導入している(具体的に: \_\_\_\_\_)
2. 導入していない

問3. 急変時の対応についておたずねします。

問3-1. 急変時の対応について、どのように感じていますか。

(①~②の項目ごとに1つだけ選択)

質問項目	回答欄				
	全くそう 思わない	そう思わ ない	どちらとも 言えない	そう思う	非常にそ う思う
①急変時の対応について、かかりつけ医と情報共有・連携ができています。	1	2	3	4	5
②休日や夜間に対応可能な地域の医療資源(訪問診療、訪問看護など)が不足していると感じることがある。	1	2	3	4	5

問3-2. 貴事業所において、利用者の容態が急変し病院等での受診が必要となるケースは月にどれくらいあり

ますか。

- |         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 0件   | 2. 0~1件 | 3. 1~2件 | 4. 2~3件 |
| 5. 3~4件 | 6. 4~5件 | 7. 5件以上 |         |

問3-3. 日中に容態が急変した場合、どこを受診しますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| 1. かかりつけ医 (診療所)  | 2. かかりつけ医 (病院) |
| 3. かかりつけ医以外の医療機関 | 4. 救急車対応       |
| 5. その他 (         | )              |

問3-4. 夜間休日に容態が急変した場合、どこを受診しますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| 1. かかりつけ医 (診療所)  | 2. かかりつけ医 (病院) |
| 3. かかりつけ医以外の医療機関 | 4. 休日当番医       |
| 5. 夜間救急センター      | 6. 救急車対応       |
| 7. その他 (         | )              |

問3-5. 容態急変時にどこを受診したら良いのか苦慮したことがありますか。(どちらかに○)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

【「1. はい」と答えた方のみ】

問3-5-1. 具体的にどのようなことで苦慮されましたか。(あてはまるものすべてに○)

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1. 夜間帯または休日のため、どこを受診して良いか判らなかつた |
| 2. 高齢者や認知症を理由に受診を断られた           |
| 3. その他 (具体的に :                  |
| )                               |

問3-6. 貴事業所では容態急変時のマニュアルが定められていますか。(どちらかに○)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問3-7. 利用者の容態急変時における課題や要望がありましたらお書きください。





### Ⅲ 市の介護保険事業との連携についておたずねします

問1. 逗子市で質の良いサービスを提供していくに当たり、市に期待することは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. サービス需要量や利用者ニーズ情報などの提供
2. 事業者間の交流機会づくり
3. 利用者・利用者団体との交流機会づくり
4. 事業者やケアマネジャーのための相談窓口の設置
5. 新しい介護保険サービスの創設 (例えば: )
6. 第三者評価体制など、サービスの適正な評価
7. その他 ( )
8. とくに期待することはない

問2. 移送サービス(福祉有償運送を含む)への取り組みについて、これまでの提供状況と今後の提供意向についておたずねします。

問2-1. 移送サービスを現在提供していますか。(ひとつだけに○)

1. 現在自社で提供している
2. 提供していたことがある
3. 外部と提携して提供している
4. 提供したことはない
5. 提供の必要がない

問2-2. 移送サービスを今後(も)提供する予定はありますか。(ひとつだけに○)

- |   |   |           |
|---|---|-----------|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実施予定あり</li> <li>2. 状況を見て実施したい</li> <li>3. 実施したいができない</li> </ol> | } | ⇒ 問2-2-1へ |
| <ol style="list-style-type: none"> <li>4. とくに予定はない</li> <li>5. わからない</li> </ol>                           |   |           |

【「1.～3.」を選んだ方のみ】

問2-2-1. いつごろ提供する予定ですか。(ひとつだけに○)

- |          |          |          |         |
|----------|----------|----------|---------|
| 1. 平成30年 | 2. 平成31年 | 3. 平成32年 | 4. それ以降 |
|----------|----------|----------|---------|

問3. 介護保険制度を円滑に運営していくためには、市としてどのような取り組みが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 介護保険制度のさらなる周知(適正利用に対する認識づくりを含む)
2. 市町村特別給付サービスの拡大(具体的に： )
3. 高齢者への介護予防関連サービス・施策の充実  
(具体的に： )
4. 高齢者一般福祉サービス(生活支援等)の充実と周知  
(具体的に： )
5. 生活圏での望ましいケア体制の確立(相談機能や、関係機関間の連携調整機能等)
6. サービス提供事業者情報の利用者・家族への周知
7. サービス提供事業者とケアマネジャーとの連携のための場の設定
8. サービス提供事業者・ケアマネジャーと主治医との連携の促進
9. サービス提供事業者相互の交流の場の設定
10. 市による事業者に対する研修会の開催(研修の内容を具体的に： )
11. その他(具体的に： )
12. とくにない

問4. 最後に、国・県・市に対する意見など、感じていることを自由に記入してください。

ご協力ありがとうございました。

\*調査票は三つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、ご返送ください(切手を貼る必要はありません)。

## 介護支援専門員(ケアマネジャー)個別調査票

### 介護保険制度の円滑な実施を図るためのアンケート調査のお願い

日頃から逗子市の高齢者保健福祉行政につきまして、格別のご理解・ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、逗子市では、高齢者が安心して暮らしていける環境づくりを進めるため、平成30年度以降の高齢者保健福祉計画の見直しを行います。

このため、逗子市域でケアマネジメントの現場を担う介護支援専門員(以下「ケアマネジャー」といいます。)の皆様から、居宅(施設)サービス計画(以下「ケアプラン」といいます。)の作成などについて、ご意見をお伺いするアンケート調査を実施します。

皆さまからの回答は、個人が特定できないように、すべてコンピューターにより統計的に処理し、本調査の目的以外に使用することはありません。調査結果は集計・分析の後、報告書として公開しますので、ご参照いただければ幸いです。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

また、本調査により、ケアマネジャーの皆様が個々に抱える問題点等について、忌たんのないご意見等をいただきたいと考えておりますので、誠に恐縮ではございますが、ケアマネジャーご本人が個別に封をして返送していただきますよう、お願い申し上げます。

平成28年11月

### ご記入に当たってのお願い

1. この調査票は、必ずケアマネジャーご本人がお答えください。
2. 回答は、ことわりのないかぎり、平成28年11月の状況でご記入ください。
3. 回答は、選択肢に○を付けていただく場合、記述していただく場合、数字を記入していただく場合があります。回答の仕方は、質問ごとの指定に従ってください。
  - ◆付けていただく○の数などは、質問ごとに指定してあります。
  - ◆記述していただく場合は、( )の中または枠の中にご記入ください。
  - ◆数字の記入欄について、流動的な場合は、おおよその平均値でご記入ください。
4. 答えたくない設問は、無記入のままで結構ですが、今後の介護保険制度の円滑な遂行のために、できる限りご記入くださいますようお願いいたします。

ご記入いただいた調査票は、12月20日(火曜日)までに、同封の返信用封筒により、逗子市福祉部介護保険課介護保険係までご返送ください(切手を貼る必要はありません)。

なお、この調査票についてご不明の点がございましたら、お手数ですが、介護保険課介護保険係までお問い合わせください。

問い合わせ先 逗子市福祉部介護保険課介護保険係

電話 046(873)1111 内線246・247



問6. 所属の施設・機関の事業所形態についておたずねします。(ひとつだけに○) **施設**

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 社会福祉法人(社会福祉協議会)   | 2. 社会福祉法人(社会福祉協議会以外) |
| 3. 医療法人(社団・財団)       | 4. 営利法人(有限会社・株式会社)   |
| 5. 特定非営利活動法人(NPO 法人) | 6. 農業協同組合            |
| 7. 生活協同組合            | 8. その他の法人(名称 )       |
| 9. その他(具体的に :        | )                    |

問7. 事業所の形態をおたずねします。(ひとつだけに○)

1. 併設=同一法人で、他のサービス事業も行っている居宅介護支援事業所 ⇒ **問7-1へ**  
 病医院、薬局、鍼灸院は「1 併設」に○を付けてください。
2. 単独=他のサービス事業を行わずに、単独で居宅介護支援業務のみを提供している居宅介護支援事業所  
 ⇒ **Ⅱ問1へ**

【「1.併設」と答えた方のみ】

問7-1. 併設サービスの種類をお知らせください。(あてはまるものすべてに○)

- |                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. (介護予防)訪問介護           | 2. (介護予防)訪問入浴介護       |
| 3. (介護予防)訪問看護           | 4. (介護予防)訪問リハビリテーション  |
| 5. (介護予防)居宅療養管理指導       | 6. (介護予防)通所介護         |
| 7. (介護予防)通所リハビリテーション    | 8. (介護予防)短期入所生活介護     |
| 9. (介護予防)短期入所療養介護       | 10. (介護予防)特定施設入居者生活介護 |
| 11. (介護予防)福祉用具貸与        | 12. 特定(介護予防)福祉用具販売    |
| 13. (介護予防)住宅改修          | 14. 定期巡回・随時対応型訪問看護    |
| 15. 夜間対応型訪問介護           | 16. (介護予防)認知症対応型通所介護  |
| 17. (介護予防)小規模多機能型居宅介護   | 18. (介護予防)地域密着型通所介護   |
| 19. (介護予防)認知症対応型共同生活介護  | 20. 地域密着型特定施設入居者生活介護  |
| 21. 看護小規模多機能型居宅介護       | 22. 地域密着型介護老人福祉施設     |
| 23. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) | 24. 介護老人保健施設          |
| 25. 介護療養型医療施設           |                       |
| 26. 病医院                 | 27. 薬局                |
| 28. 鍼灸院                 | 29. 軽費老人ホーム・ケアハウス     |
| 30. サービス付き高齢者住宅         | 31. 地域包括支援センター        |
| 32. その他(具体的に :          | )                     |

⇒ **Ⅱ問1へ**

## II 勤務形態などについておたずねします

問1. あなたの勤務形態についてお答えください。(あてはまるものに○)

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| 1. 居宅介護支援事業所の管理者 | 2. 常勤のケアマネジャー |
| 3. 非常勤のケアマネジャー   |               |

問2. ケアマネジャーの仕事は専任ですか。それとも兼任ですか(ひとつだけに○)

- |       |                 |
|-------|-----------------|
| 1. 専任 | 2. 兼任 ⇒ 問2-1・2へ |
|-------|-----------------|

【「2.兼任」と答えた方のみ】

問2-1. 勤務時間に占めるケアマネジャー業務の割合をお知らせください。

(約 割)

問2-2. 兼務している業務の種類をお知らせください。(あてはまるものすべてに○)

- |                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. (介護予防)訪問介護           | 2. (介護予防)訪問入浴介護       |
| 3. (介護予防)訪問看護           | 4. (介護予防)訪問リハビリテーション  |
| 5. (介護予防)居宅療養管理指導       | 6. (介護予防)通所介護         |
| 7. (介護予防)通所リハビリテーション    | 8. (介護予防)短期入所生活介護     |
| 9. (介護予防)短期入所療養介護       | 10. (介護予防)特定施設入居者生活介護 |
| 11. (介護予防)福祉用具貸与        | 12. 特定(介護予防)福祉用具販売    |
| 13. (介護予防)住宅改修          | 14. 定期巡回・随時対応型訪問看護    |
| 15. 夜間対応型訪問介護           | 16. (介護予防)認知症対応型通所介護  |
| 17. (介護予防)小規模多機能型居宅介護   | 18. (介護予防)地域密着型通所介護   |
| 19. (介護予防)認知症対応型共同生活介護  | 20. 地域密着型特定施設入居者生活介護  |
| 21. 看護小規模多機能型居宅介護       | 22. 地域密着型介護老人福祉施設     |
| 23. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) | 24. 介護老人保健施設          |
| 25. 介護療養型医療施設           |                       |
| 26. 病医院                 | 27. 薬局                |
| 28. 鍼灸院                 | 29. 軽費老人ホーム・ケアハウス     |
| 30. サービス付き高齢者住宅         | 31. 地域包括支援センター        |
| 32. その他(具体的に: _____)    |                       |

問3. 1ヶ月の実労働時間をお教えてください。(ひとつだけに○) **施設**

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. 160時間未満        | 2. 160時間以上180時間未満 |
| 3. 180時間以上200時間未満 | 4. 200時間以上220時間未満 |
| 5. 220時間以上240時間未満 | 6. 240時間以上        |

問4. あなたはキャリアアップを考えていますか。(ひとつだけに○) **施設**

- |                       |             |
|-----------------------|-------------|
| 1. 考えている(具体的に: _____) |             |
| 2. 考えていない             | 3. なんともいえない |





問3. ケアプランの作成や利用者への説明などについておたずねします。

問3-1-1. ケアプラン作成に際し、あなたが重視していることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 利用者の自立意欲の喚起
2. 利用者本人の意向の尊重
3. 家族の意向や事情の尊重
4. 利用者本人と家族の意向の調整
5. サービス利用日時の配分
6. サービスの適切な組み合わせ
7. 利用者の経済的負担への配慮
8. 自社の経営方針・サービス提供方針
9. 介護保険サービス以外のサービス利用(逗子市独自サービスの活用)
10. サービス利用だけにこだわらない支援(本人・家族へのアドバイス等)
11. その他( )

問3-1-2. 「問3-1-1.」の中でも、最も重視していることは何ですか。

(番号でひとつだけ回答してください)

「最も重視している  
こと」の番号を記入




問3-2. あなたは、ケアプランをどのように作成するようにしていますか。

(それぞれについてひとつだけに○)

① ケアプラン作成への利用者・家族の意向	1. 必ず利用者本人と家族双方の意向を聞くようにしている 2. 利用者本人又は家族いずれかの意向を聞くようにしている 3. 家族がいても利用者本人の意向だけを聞くようにしている 4. その他( )
② 主治医との連携	1. 主治医に必ず文書で連絡を取るようになっている 2. 主治医に必ず電話・ファックス等で連絡を取るようになっている 3. 必要に応じて主治医に文書で連絡を取るようになっている 4. 必要に応じて主治医に電話・ファックス等で連絡を取るようになっている 5. 主治医への連絡はとくに取っていない 6. その他( )

問3-3. ケアプラン作成時に、所属事務所による経営的観点からの条件提示や指示が行われていますか。

(ひとつだけに○)

1. ほとんどの場合に行われる    2. 行われる場合もある    3. 行われない

問3-4. ケアプラン作成に当たり、困ることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 利用者本人と家族の意向との調整
2. サービス事業者との連絡・調整
3. 主治医との連絡・連携
4. 他の専門職との連絡・連携
5. 家族との連絡
6. サービスや事業者の情報収集
7. 計画検討やケアプラン作成のための時間の確保
8. その他 ( )
9. とくに困ることはない

問3-5. ケアプラン作成で困ったとき、誰(どこ)に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 同僚のケアマネジャー
2. 他の事業所のケアマネジャー
3. 地域包括支援センター
4. 逗子市の職員
5. 他市町村の職員
6. かながわ福祉サービス振興会
7. インターネットサイトの活用(かながわ福祉情報コミュニティ等)
8. ケアマネ支援ソフト(CD等)を活用
9. サービス担当者会議での検討
10. 自分で解決する
11. その他 ( )

問4. 利用者が主体的にサービスを選択・利用できるよう、あなたが心がけていることは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 利用者・家族へ介護保険制度の目的(自立支援)等の説明をしている
2. 利用者の意識づくり(自分がサービス選択の主体であること)に心がけている
3. 地域内の事業所やサービスに関する情報収集と利用者への伝達をしている
4. 利用者・家族へ利用できるサービスの説明をしている
5. ケアプラン作成前に原案を作成し、説明及び同意を得ている
6. 利用者・家族へ作成したケアプランの説明をしている
7. サービス提供者の意識づくり(利用者を主体とするケアチームづくり)に心がけている
8. その他 ( )

問5. サービス担当者会議の実施についておたずねします。

問5-1. サービス担当者会議で利用者の主治医と連携しているケースはどのくらいありますか。

(ひとつだけに○)

1. 全ケース
2. 8割以上 10割未満
3. 5割以上8割未満
4. 3割以上5割未満
5. 3割未満
6. 実施していない ⇒ 問5-2へ

## 【「6. 実施していない」と答えた方のみ】

問5-2. 実施していない理由は何ですか。(ひとつだけに○)

1. 主治医と連携する必要がない
2. 主治医と連携したいが、どのようにしたら良いかわからない
3. その他 ( )

問5-3. サービス担当者会議でとくに問題となる点についておたずねします。

(あてはまるもの3つまでに○)

- |                  |                           |
|------------------|---------------------------|
| 1. 開催場所の確保       | 2. 忙しくて時間がとれないこと          |
| 3. メンバーの時間調整     | 4. 会議の必要性を他職種に理解してもらえないこと |
| 5. 職種間の考え方・意見の調整 | 6. 会議の結果がなかなか現場で生かされないこと  |
| 7. その他 ( )       | 8. とくにない                  |

問6. モニタリング(サービスの継続的把握・評価)の実施について、問題となる点についておたずねします。

(あてはまるものすべてに○)

1. 利用者・家族となかなか会えない
2. 利用者が訪問を拒む
3. サービス提供事業者が適切なサービスを行っているか把握しにくい
4. サービス提供事業者からの利用者に関する情報の入手が難しい
5. 利用者のニーズの充足度がつかみにくい
6. モニタリングの結果を生かしにくい(他の事業者の受け止め方とのずれ)
7. その他 ( )
8. とくにない

問7. 各ケースについての日々の連絡体制についておたずねします。

問7-1. サービス担当者(事業者)間の連絡は、主にどのように行っていますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 朝会など毎日のミーティングで報告しあっている
2. 直接担当者と電話(携帯電話等)で連絡をとりあっている
3. 事務所を通じて連絡・報告しあっている
4. 利用者宅に連絡帳を置き、職種や所属先にかかわらず記入してもらっている
5. 自分から主要な関係者に適宜連絡している
6. メールやホームページを活用し、情報を交換しあっている
7. 家族を通じて必要な事項を聞いている
8. その他 ( )

問7-2. 利用者の体調変化、災害対応、業務上のアクシデントなど緊急時への対策についておたずねします。(あてはまるものすべてに○) **施設**

1. 自社に対応マニュアルがあり、訓練している
2. 現場の「ヒヤリ・ハット」情報を集め、自分で工夫や注意喚起を行っている
3. 事務所を拠点に、緊急連絡網をつくっている
4. 自分を中心に、緊急連絡網をつくっている
5. 利用者の家族に緊急連絡体制づくりをすすめている
6. その他 ( )

問7-3. 逗子市における地域包括支援センターとの連絡体制について、今後の望ましいあり方など、あなたの現在の実感やお考えをご記入ください。

## IV 本市の提供サービスについておたずねします

問1. 逗子市における介護保険サービスについておたずねします。

問1-1. 逗子市における介護保険サービスの量は、あなたからみて適切ですか。不足していると思われるサービスをお示しください。(あてはまるものすべてに○)

- |                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. (介護予防)訪問介護           | 2. (介護予防)訪問入浴介護       |
| 3. (介護予防)訪問看護           | 4. (介護予防)訪問リハビリテーション  |
| 5. (介護予防)居宅療養管理指導       | 6. (介護予防)通所介護         |
| 7. (介護予防)通所リハビリテーション    | 8. (介護予防)短期入所生活介護     |
| 9. (介護予防)短期入所療養介護       | 10. (介護予防)特定施設入居者生活介護 |
| 11. (介護予防)福祉用具貸与        | 12. 特定(介護予防)福祉用具販売    |
| 13. (介護予防)住宅改修          | 14. 定期巡回・随時対応型訪問看護    |
| 15. 夜間対応型訪問介護           | 16. (介護予防)認知症対応型通所介護  |
| 17. (介護予防)小規模多機能型居宅介護   | 18. (介護予防)地域密着型通所介護   |
| 19. (介護予防)認知症対応型共同生活介護  | 20. 地域密着型特定施設入居者生活介護  |
| 21. 看護小規模多機能型居宅介護       | 22. 地域密着型介護老人福祉施設     |
| 23. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) | 24. 介護老人保健施設          |
| 25. 介護療養型医療施設           | 26. 特別給付(移送サービス)      |

問1-2. 逗子市における介護保険サービスの質は、あなたからみて適切ですか。質が悪いと思われるサービスをお示しください。(あてはまるものすべてに○)

- |                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. (介護予防)訪問介護           | 2. (介護予防)訪問入浴介護       |
| 3. (介護予防)訪問看護           | 4. (介護予防)訪問リハビリテーション  |
| 5. (介護予防)居宅療養管理指導       | 6. (介護予防)通所介護         |
| 7. (介護予防)通所リハビリテーション    | 8. (介護予防)短期入所生活介護     |
| 9. (介護予防)短期入所療養介護       | 10. (介護予防)特定施設入居者生活介護 |
| 11. (介護予防)福祉用具貸与        | 12. 特定(介護予防)福祉用具販売    |
| 13. (介護予防)住宅改修          | 14. 定期巡回・随時対応型訪問看護    |
| 15. 夜間対応型訪問介護           | 16. (介護予防)認知症対応型通所介護  |
| 17. (介護予防)小規模多機能型居宅介護   | 18. (介護予防)地域密着型通所介護   |
| 19. (介護予防)認知症対応型共同生活介護  | 20. 地域密着型特定施設入居者生活介護  |
| 21. 看護小規模多機能型居宅介護       | 22. 地域密着型介護老人福祉施設     |
| 23. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) | 24. 介護老人保健施設          |
| 25. 介護療養型医療施設           | 26. 特別給付(移送サービス)      |

問1-3. 逗子市における介護保険サービスで今後の需要の増加が見込まれるものをお示しください。(あてはまるものすべてに○)

- |                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. (介護予防)訪問介護           | 2. (介護予防)訪問入浴介護       |
| 3. (介護予防)訪問看護           | 4. (介護予防)訪問リハビリテーション  |
| 5. (介護予防)居宅療養管理指導       | 6. (介護予防)通所介護         |
| 7. (介護予防)通所リハビリテーション    | 8. (介護予防)短期入所生活介護     |
| 9. (介護予防)短期入所療養介護       | 10. (介護予防)特定施設入居者生活介護 |
| 11. (介護予防)福祉用具貸与        | 12. 特定(介護予防)福祉用具販売    |
| 13. (介護予防)住宅改修          | 14. 定期巡回・随時対応型訪問看護    |
| 15. 夜間対応型訪問介護           | 16. (介護予防)認知症対応型通所介護  |
| 17. (介護予防)小規模多機能型居宅介護   | 18. (介護予防)地域密着型通所介護   |
| 19. (介護予防)認知症対応型共同生活介護  | 20. 地域密着型特定施設入居者生活介護  |
| 21. 看護小規模多機能型居宅介護       | 22. 地域密着型介護老人福祉施設     |
| 23. 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム) | 24. 介護老人保健施設          |
| 25. 介護療養型医療施設           |                       |

問1-4. 逗子市の福祉サービスで今後も必要であるとお考えのサービスをお示しください。

(あてはまるものすべてに○)

- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| 1. 福祉配食サービス      | 2. 福祉緊急通報システム         |
| 3. 紙おむつ等の支給      | 4. 徘徊高齢者 SOS ネットワーク登録 |
| 5. 徘徊高齢者探索器の貸与   | 6. 家族介護者教室等           |
| 7. サロン、住民主体の交流の場 | 8. 口腔ケア等の教室           |
| 9. ひとり暮らし訪問      | 10. その他( )            |

問2. 逗子市におけるサービス利用について、お気づきの点・とくに問題と感じる点などありましたら、ご自由にお書きください。 **施設**

## V 医療・介護連携についておたずねします

問1. 退院支援・調整について、どのように感じていますか。

(①～⑥の項目ごとに1つだけ選択)

質問項目	回答欄				
	全くそう思わない	そう思わない	どちらとも言えない	そう思う	非常にそう思う
①医療機関によって退院支援・調整の対応が異なり困ることがある。	1	2	3	4	5
②病院における退院前カンファレンスが開催される時には、必ず参加できている。	1	2	3	4	5
③退院時に、利用者・家族は病状について病院の主治医・看護師等から十分説明を受けて理解している。	1	2	3	4	5
④退院時に、病院の主治医または連携担当者(地域連携室など)と円滑な連携がとれている。	1	2	3	4	5
⑤入院時に、病院に対して在宅時の状況について情報提供するなど適切な連携がとれている。	1	2	3	4	5
⑥病院から事業所職員への適切な情報提供が行われている。	1	2	3	4	5

問2. 日常の療養支援についておたずねします。

問2-1. 日常の療養支援において、連携を強化したい関係者を選んでください。

(あてはまるものすべてに○)

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 1. かかりつけ医(診療所) | 2. かかりつけ医(病院)     |
| 3. 歯科医(病院・診療所) | 4. 薬剤師(薬局)        |
| 5. 訪問看護ステーション  | 6. 訪問リハビリテーション事業所 |
| 7. その他( )      |                   |

問2-2. 多職種連携について、どのように感じていますか。

(①~④の項目ごとに1つだけ選択)

質問項目	回答欄				
	全くそう 思わない	そう思わ ない	どちらとも 言えない	そう思う	非常にそ う思う
①多職種連携を円滑に進めるため、情報共有するシステムや書式(連絡票など)を作成し、運用すべきである。	1	2	3	4	5
②多職種との連携強化のためには、連携する関係者との研修機会は、もっとあった方が良いと思う。	1	2	3	4	5
③多職種との「顔が見える連携(日常的に気軽に交流できる関係)」ができています。	1	2	3	4	5

問2-3. 問2-2の①について、すでにそういったシステムや仕組みを導入していますか。

(どちらかに○)

1. 導入している(具体的に: \_\_\_\_\_ )
2. 導入していない

問3. 急変時の対応についておたずねします。

問3-1. 急変時の対応について、どのように感じていますか。

(①~②の項目ごとに1つだけ選択)

質問項目	回答欄				
	全くそう 思わない	そう思わ ない	どちらとも 言えない	そう思う	非常にそ う思う
①急変時の対応について、かかりつけ医と情報共有・連携ができています。	1	2	3	4	5
②休日や夜間に対応可能な地域の医療資源(訪問診療、訪問看護など)が不足していると感じることがある。	1	2	3	4	5

問3-2. 貴事業所において、利用者の容態が急変し病院等での受診が必要となるケースは月にどれくらいあり

ますか。

- |         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 0件   | 2. 0~1件 | 3. 1~2件 | 4. 2~3件 |
| 5. 3~4件 | 6. 4~5件 | 7. 5件以上 |         |

問3-3. 日中に容態が急変した場合、どこを受診しますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| 1. かかりつけ医(診療所)   | 2. かかりつけ医(病院) |
| 3. かかりつけ医以外の医療機関 | 4. 救急車対応      |
| 5. その他( )        |               |

問3-4. 夜間休日に容態が急変した場合、どこを受診しますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| 1. かかりつけ医(診療所)   | 2. かかりつけ医(病院) |
| 3. かかりつけ医以外の医療機関 | 4. 休日当番医      |
| 5. 夜間救急センター      | 6. 救急車対応      |
| 7. その他( )        |               |

問3-5. 容態急変時にどこを受診したら良いのか苦慮したことがありますか。(どちらかに○)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

【「1. はい」と答えた方のみ】

問3-5-1. 具体的にどのようなことで苦慮されましたか。(あてはまるものすべてに○)

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1. 夜間帯または休日のため、どこを受診して良いか判らなかつた |
| 2. 高齢者や認知症を理由に受診を断られた           |
| 3. その他(具体的に: )                  |

問3-6. 貴事業所では容態急変時のマニュアルが定められていますか。(どちらかに○)

- |       |        |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

問3-7. 利用者の容態急変時における課題や要望がありましたらお書きください。





## VI 以下の質問にもお答えください

問1. 成年後見制度についておたずねします。(それぞれ、ひとつだけに○) **施設**

①制度を知っていますか	1. 知っている	2. 知らない
②利用者やその家族から相談はありますか	1. ある	2. ない
③利用をすすめたことがありますか	1. ある	2. ない

問2. 家族や施設従事者による高齢者虐待についておたずねします。 **施設**

問2-1. 高齢者虐待の情報を把握していますか。(ひとつだけに○)

1. 把握している ⇒ **問2-1-1**へ    2. はっきりしない    3. 把握していない

【「1.把握している」と答えた方のみ】

問2-1-1. あなたの担当している案件ではどのようなケースが多いですか。

(あてはまるものすべてに○)

- |                                |                |
|--------------------------------|----------------|
| 1. 身体的虐待                       | 2. 介護・世話の放棄・放任 |
| 3. 心理的虐待(脅しや侮辱などの言葉づかいや威圧的態度等) |                |
| 4. 性的虐待                        | 5. 経済的虐待       |

問2-2. 虐待に至る要因は何にあると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                      |               |
|----------------------|---------------|
| 1. 介護者の精神的・肉体的な疲れ    | 2. 会話の不自由さ    |
| 3. 介護者の介護に対する知識・技術不足 | 4. いたわる気持ちの欠如 |
| 5. 経済的な困窮            |               |
| 6. 加齢に伴う日常生活動作の低下    | 7. 認知症状による言動  |
| 8. その他(具体的に: _____)  |               |
| 9. わからない             |               |

問3. 利用者への望ましいケアマネジメントのために、今必要と思われる事項についておたずねします。

(あてはまるものすべてに○) **施設**

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 医師等との連携             | 2. 行政との連携             |
| 3. 地域包括支援センターとの連携      | 4. 他事業者との連携           |
| 5. 介護支援専門員の増員          | 6. 事務の合理化             |
| 7. 会議や研修会参加に対する評価      | 8. 専門職種間の交流           |
| 9. 介護支援専門員のスキルアップ      | 10. 事業者情報の充実          |
| 11. 近隣市町との共同体制         | 12. 地域内での緊急対応ネットワーク形成 |
| 13. 利用者・家族へのサービス利用情報支援 |                       |
| 14. その他( _____ )       |                       |

問4. 逗子市で質の良いサービスを提供していくに当たり、市に期待することは何ですか。

(あてはまるものすべてに○) **施設**

1. サービス需要量や利用者ニーズ情報などの提供
2. 事業者間の交流機会づくり
3. 利用者・利用者団体との交流機会づくり
4. 事業者やケアマネジャーのための相談窓口の設置
5. 新しい介護保険サービスの創設(例えば: )
6. 第三者評価体制など、サービスの適正な評価
7. その他( )
8. とくに期待することはない

問5. 介護保険制度を円滑に運営していくためには、市としてどのような取り組みが必要であると思いますか。

(あてはまるものすべてに○) **施設**

1. 介護保険制度のさらなる周知(適正利用に対する認識づくりを含む)
2. 市町村特別給付サービスの拡大  
(具体的に: )
3. 高齢者への介護予防関連サービス・施策の充実  
(具体的に: )
4. 高齢者一般福祉サービス(生活支援等)の充実と周知  
(具体的に: )
5. 生活圏での望ましいケア体制の確立(相談機能や、関係機関間の連携調整機能等)
6. サービス提供事業者情報の利用者・家族への周知
7. ケアマネジャーとサービス提供事業者との連携のための場の設定
8. ケアマネジャー・サービス提供事業者と主治医との連携の促進  
(連携の内容を具体的に: )
9. ケアマネジャー相互の交流の場の設定
10. 市による事業者に対する研修会の開催  
(研修の内容を具体的に: )
11. その他(具体的に: .. )
12. とくにない

問6. 最後に、国・県・市に対する意見など、感じていることを自由に記入してください。 **施設**

ご協力ありがとうございました。

\*調査票は三つ折りにして、同封の返信用封筒に入れて、ご返送ください(切手を貼る必要はありません)。

# 在宅介護実態調査 調査票

被保険者番号[ \_\_\_\_\_ ]

## 【A票の聞き取りを行った相手の方は、どなたですか】（複数選択可）

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 1. 調査対象者本人       | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. 調査対象者のケアマネジャー    |
| 5. その他           |                     |

## A票 認定調査員が、概況調査等と並行して記載する項目

問1 世帯類型について、ご回答ください(1つを選択)

- |         |           |        |
|---------|-----------|--------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他 |
|---------|-----------|--------|

問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(1つを選択)

- |                            |   |                |
|----------------------------|---|----------------|
| 1. ない                      | } | 問5を回答し、調査は終了です |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない |   |                |
| 3. 週に1～2日ある                |   |                |
| 4. 週に3～4日ある                |   |                |
| 5. ほぼ毎日ある                  |   |                |

問3～問5を回答し、B票へ

問3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つを選択)

- |          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代   | 3. 30代   |
| 4. 40代   | 5. 50代   | 6. 60代   |
| 7. 70代   | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

問4 ご家族やご親族の中で、ご本人(認定調査対象者)の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか(現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません)(複数選択可)

- |                          |                               |
|--------------------------|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)    | 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く) |
| 3. 主な介護者が転職した            | 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した         |
| 5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない | 6. わからない                      |

※ 自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

### ● ここから再び、全員に調査してください。

問5 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください(1つを選択)

- |                      |                 |
|----------------------|-----------------|
| 1. 入所・入居は検討していない     | 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている |                 |

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

● 問2で「2.」～「5.」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方にB票へのご回答・ご記入をお願いしてください。

● 「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人(調査対象者の方)にご回答・ご記入をお願いしてください(ご本人にご回答・ご記入をお願いすることが困難な場合は、無回答で結構です)。

## B票

## 主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入頂く項目

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入(調査票の該当する番号に○)をお願い致します。

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください(1つを選択)

- |                       |   |        |
|-----------------------|---|--------|
| 1. フルタイムで働いている        | } | 問2～問4へ |
| 2. パートタイムで働いている       |   |        |
| 3. 働いていない             | } | 問4へ    |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない |   |        |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

問2 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか(複数選択可)

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇(年休や介護休暇等)」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

問3 問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか(1つを選択)

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける        | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい      | 4. 続けていくのは、かなり難しい   |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない |                     |

● ここから再び、全員の方にお伺いします。

問4 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください(現状で行っているか否かは問いません)(3つまで選択可)

〔身体介護〕

- |                          |                |
|--------------------------|----------------|
| 1. 日中の排泄                 | 2. 夜間の排泄       |
| 3. 食事の介助(食べる時)           | 4. 入浴・洗身       |
| 5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)        | 6. 衣服の着脱       |
| 7. 屋内の移乗・移動              | 8. 外出の付き添い、送迎等 |
| 9. 服薬                    | 10. 認知症状への対応   |
| 11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等) |                |

〔生活援助〕

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 12. 食事の準備(調理等)       | 13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等) |
| 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き |                         |

〔その他〕

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 15. その他                | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. 主な介護者に確認しないと、わからない |                      |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。同意書と合わせてのご提出をお願い致します。

逗子市高齢者保健福祉計画(平成 30 年度～平成 32 年度)  
策定に向けたアンケート調査結果

発行 平成 29 年 3 月

発行:逗子市 福祉部 介護保険課

住所:〒249-8686 神奈川県逗子市逗子 5-2-16

電話: 046-873-1111(代表)

URL:<http://www.city.zushi.kanagawa.jp/>